Ⅱ　調査結果

1　保護者の状況

（1）経済的な状況、暮らしの状況

保護者票問 20.　世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。

※2022 年の年間収入についてお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

・勤め先収入（定期収入、賞与等）

・事業収入（原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）

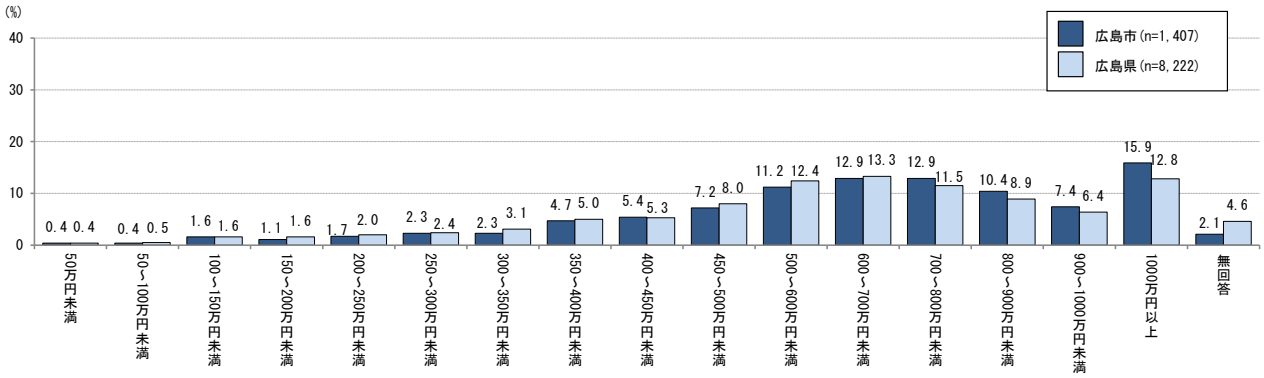
・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）

・農林漁業収入（農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く）

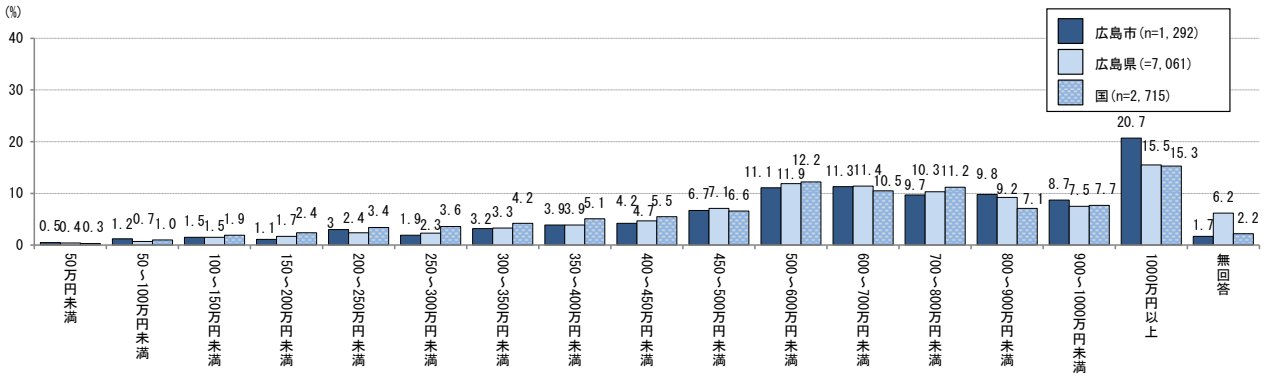
・資産収入（預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。）

・その他の収入（仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等）

【小学５年生の保護者】



【中学２年生の保護者】



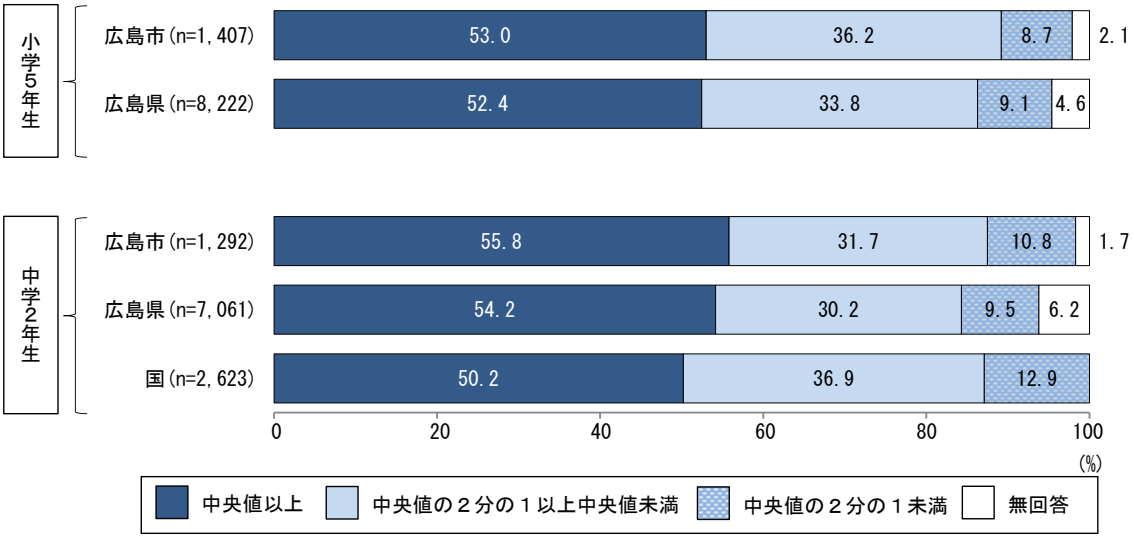
世帯全体の年間収入について、小学５年生の保護者では、「1000 万円以上」が 15.9%と最も高く、次いで、「600～700 万円未満」、「700～800 万円未満」（ともに 12.9%）、「500～600 万円未満」（11.2%）などの順となっている。

中学２年生の保護者では、「1000 万円以上」が 20.7%と最も高く、次いで、「600～700 万円未満」（11.3%）、「500～600 万円未満」（11.1%）などの順となっている。

本資料においては、世帯の年間収入の水準について、「子どもと同居し、生計を同一にしている家族の人数」の情報も踏まえて下記のような処理をし、「等価世帯収入」による分類を行う。

○年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50 万円未満」であれば 25 万円、「50～100 万円未満」であれば 75 万円とする。なお、「1,000 万円以上」は 1,050 万円とする）。
○上記の値を、保護者票問３で把握される同居家族の人数の平方根で除す。
○上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その２分の１未満であるか否かで分類する。

＜全体＞

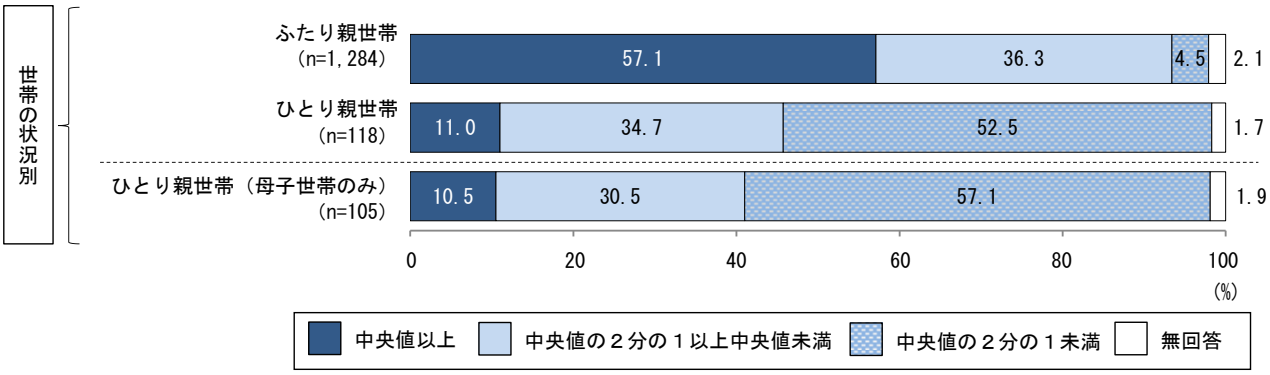


※国調査は単身赴任が含まれていない。また無回答を除いて集計している。

等価世帯収入の水準について、小学５年生の保護者では、「中央値の２分の１未満」が 8.7%、「中央値の２分の１以上中央値未満」が 36.2%、「中央値以上」が 53.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

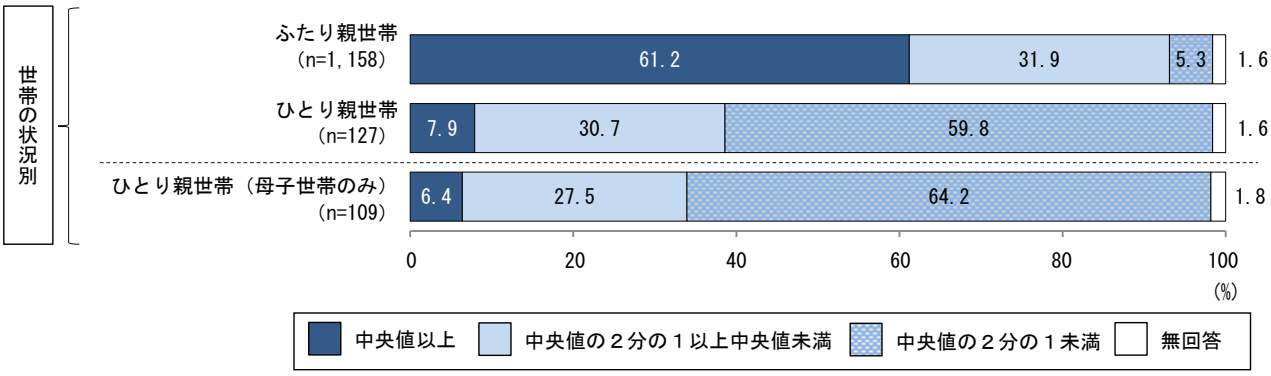
中学２年生の保護者では、「中央値の２分の１未満」が 10.8%、「中央値の２分の１以上中央値未満」が 31.7%、「中央値以上」が 55.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「中央値以上」は広島市（55.8%）が国（50.2%）を 5.6 ポイント上回っている。

＜世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



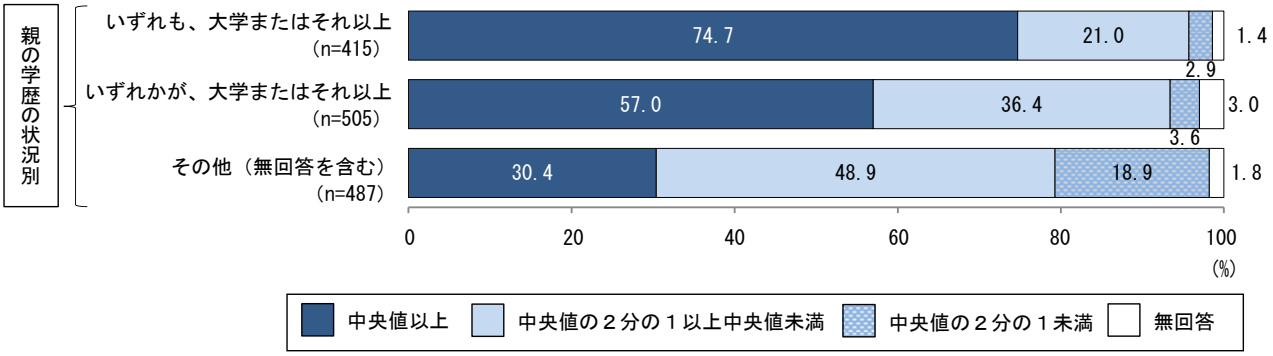
世帯の状況別にみると、「中央値の２分の１未満」は、「ふたり親世帯」では 4.5%、「ひとり親世帯」では 52.5%、「母子世帯」では 57.1%となっている。

＜世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



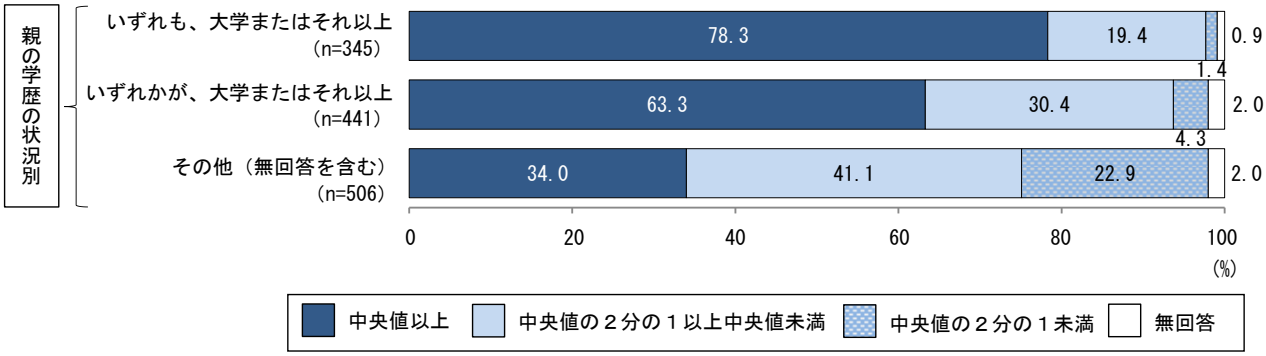
世帯の状況別にみると、「中央値の２分の１未満」は、「ふたり親世帯」では 5.3%、「ひとり親世帯」では 59.8%、「母子世帯」では 64.2%となっている。

＜親の学歴状況別（小学５年生の保護者）＞



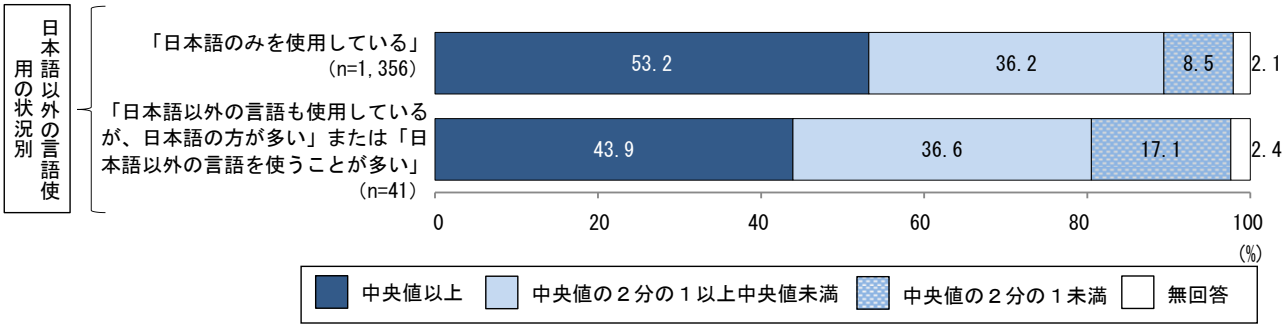
親の学歴状況別にみると、「中央値の２分の１未満」は、「いずれも、大学またはそれ以上」では2.9%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では3.6%となっている。

＜親の学歴状況別（中学２年生の保護者）＞



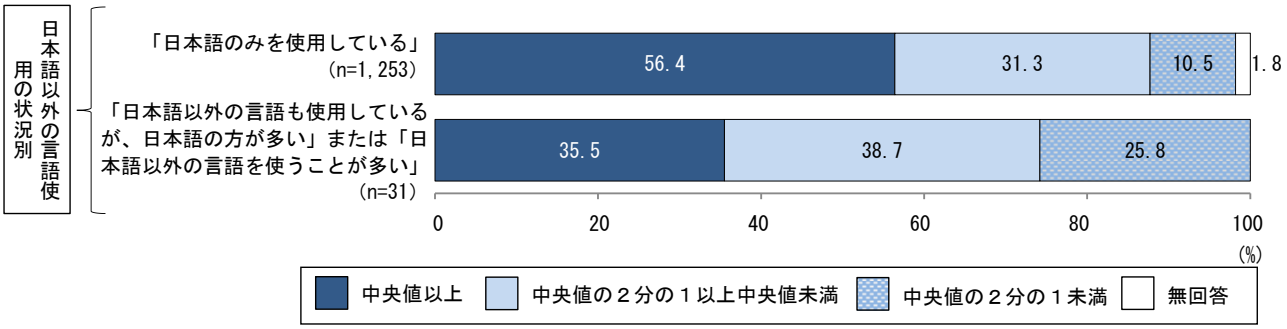
親の学歴状況別にみると、「中央値の２分の１未満」は、「いずれも、大学またはそれ以上」では1.4%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では4.3%となっている。

＜日本語以外の言語使用状況別（小学５年生の保護者）＞



日本語以外の言語使用状況別にみると、「中央値の２分の１未満」は、『日本語以外も使用している（「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」と「日本語以外の言語を使うことが多い」を合わせた割合）』（17.1%）が「日本語のみを使用している」（8.5%）を 8.6 ポイント上回っている。

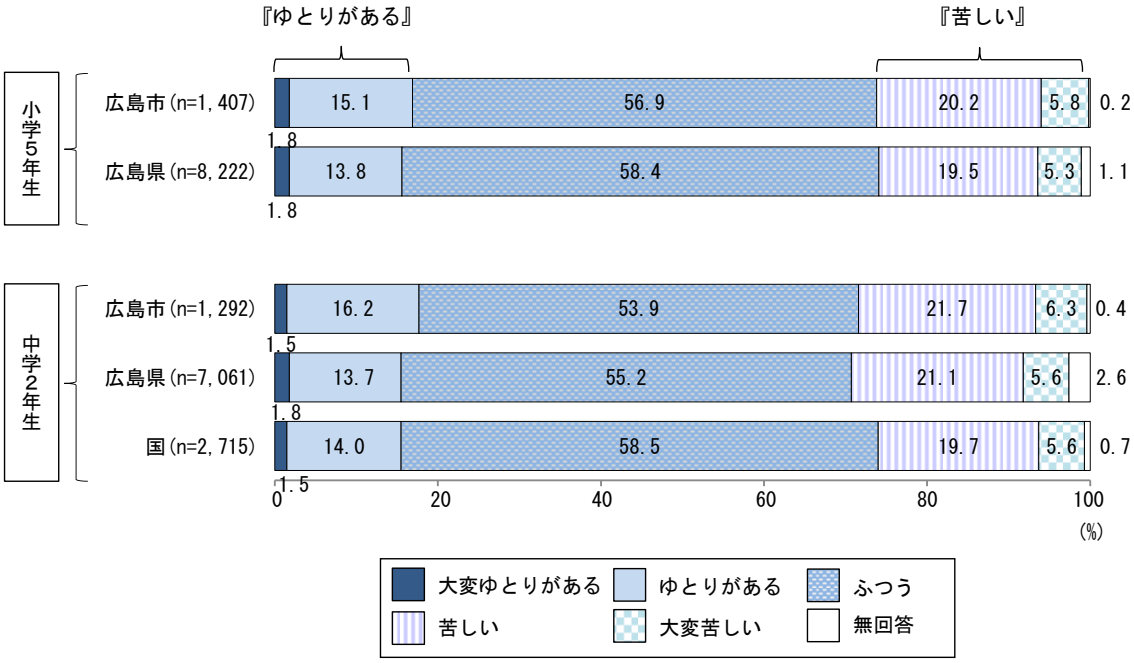
＜日本語以外の言語使用状況別（中学２年生の保護者）＞



日本語以外の言語使用状況別にみると、「中央値の２分の１未満」は、『日本語以外も使用している』（25.8%）が「日本語のみを使用している」（10.5%）を 15.3 ポイント上回っている。

保護者票問 19.　あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

＜全体＞

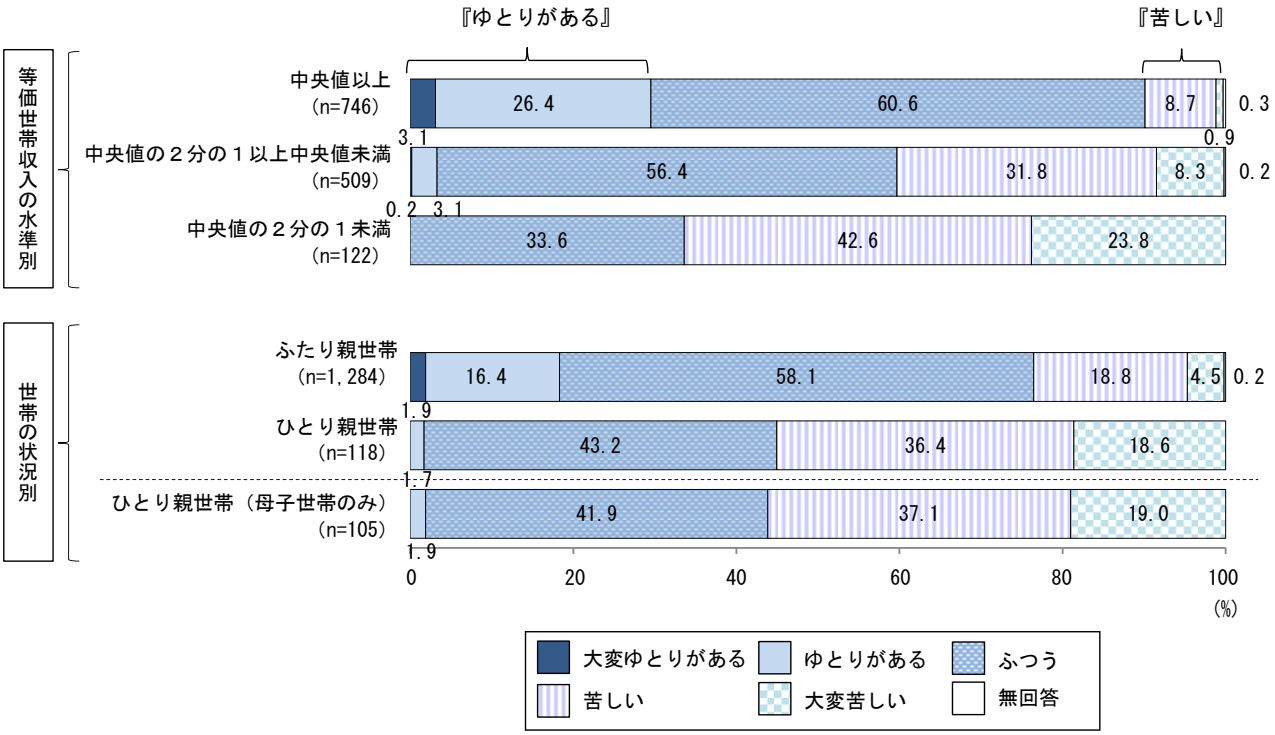


暮らしの状況について、小学５年生の保護者では、『ゆとりがある（「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた割合）』が 16.9%、「ふつう」が 56.9%、『苦しい（「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合）』が 26.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、『ゆとりがある』が 17.7%、「ふつう」が 53.9%、『苦しい』が 28.0%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 19.　あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞

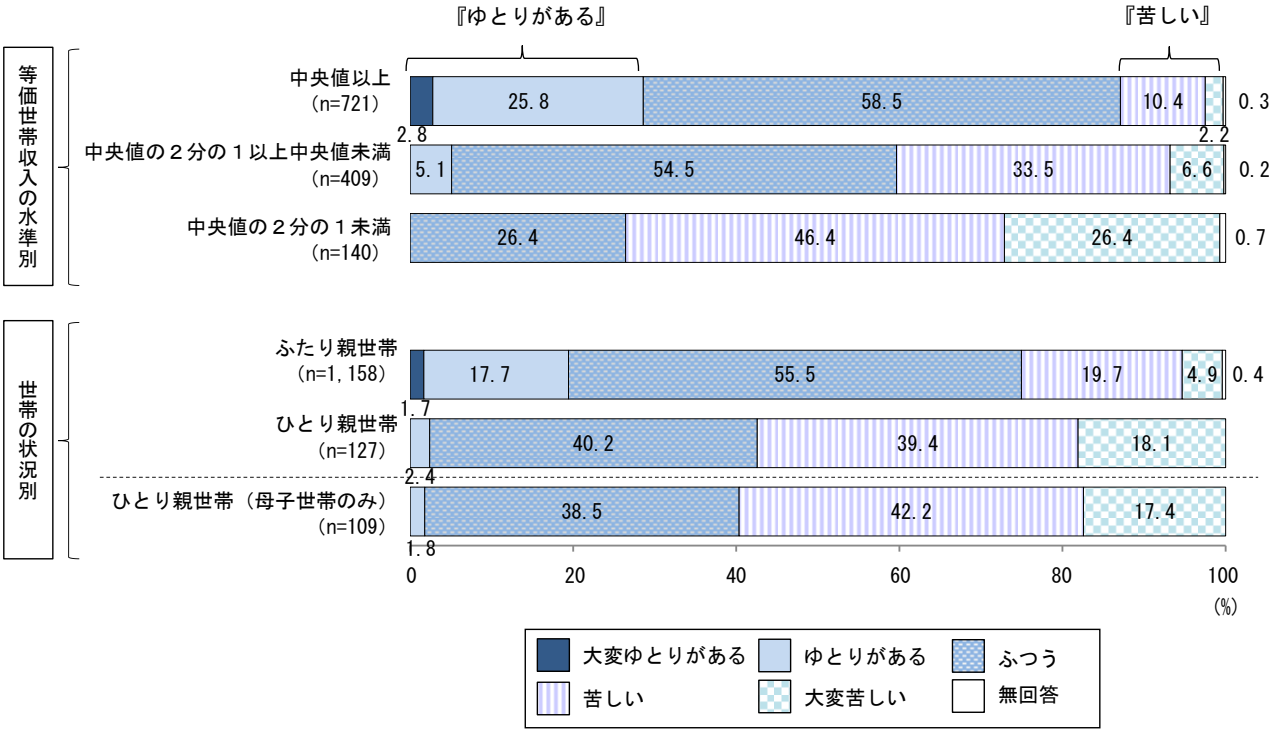


等価世帯収入の水準別にみると、『苦しい』は、「中央値以上」では 9.6%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 40.1%、「中央値の２分の１未満」では 66.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『苦しい』は、「ふたり親世帯」では 23.3%、「ひとり親世帯」では 55.0%、「母子世帯」では 56.1%となっている。

保護者票問 19.　あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞

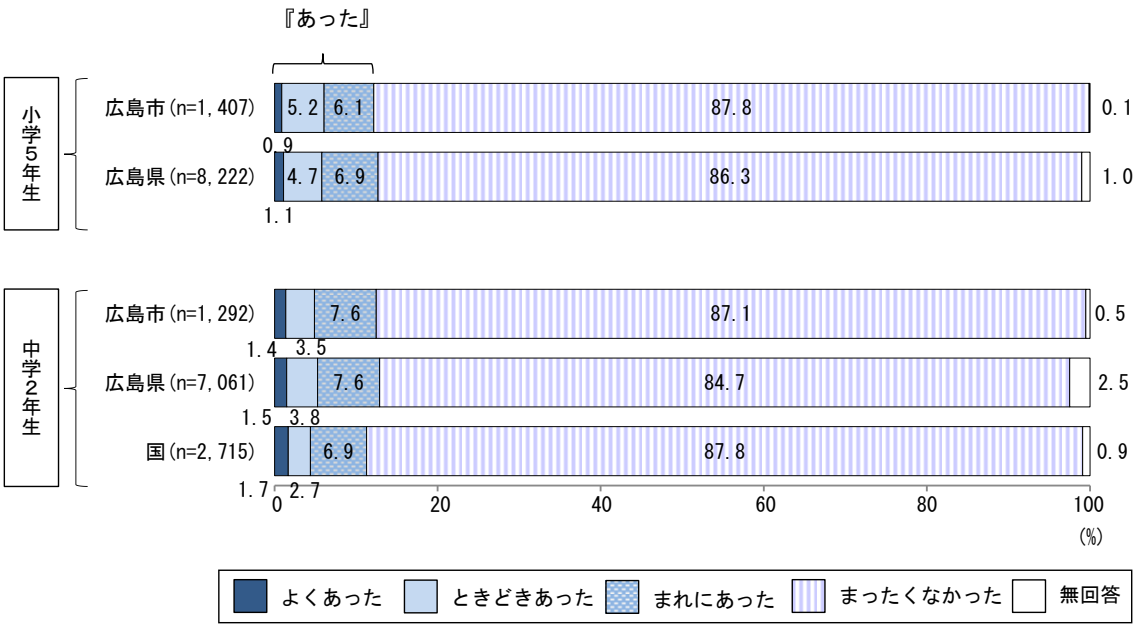


等価世帯収入の水準別にみると、『苦しい』は、「中央値以上」では 12.6%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 40.1%、「中央値の２分の１未満」では 72.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『苦しい』は、「ふたり親世帯」では 24.6%、「ひとり親世帯」では 57.5%、「母子世帯」では 59.6%となっている。

保護者票問 21. あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。

＜全体＞

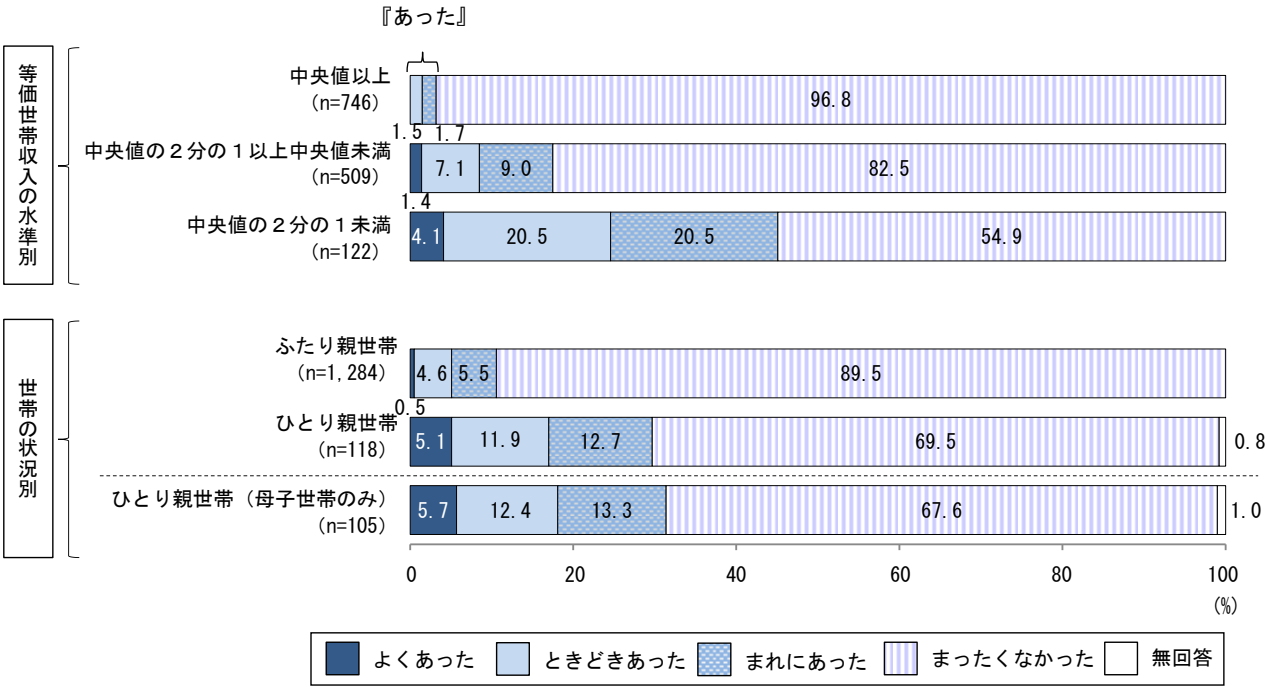


食料が買えなかった経験について、小学５年生の保護者では、『あった（「よくあった」と「ときどきあった」と「まれにあった」を合わせた割合）』が 12.2%、「まったくなかった」が 87.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、『あった』が 12.5%、「まったくなかった」が 87.1%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 21. あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞

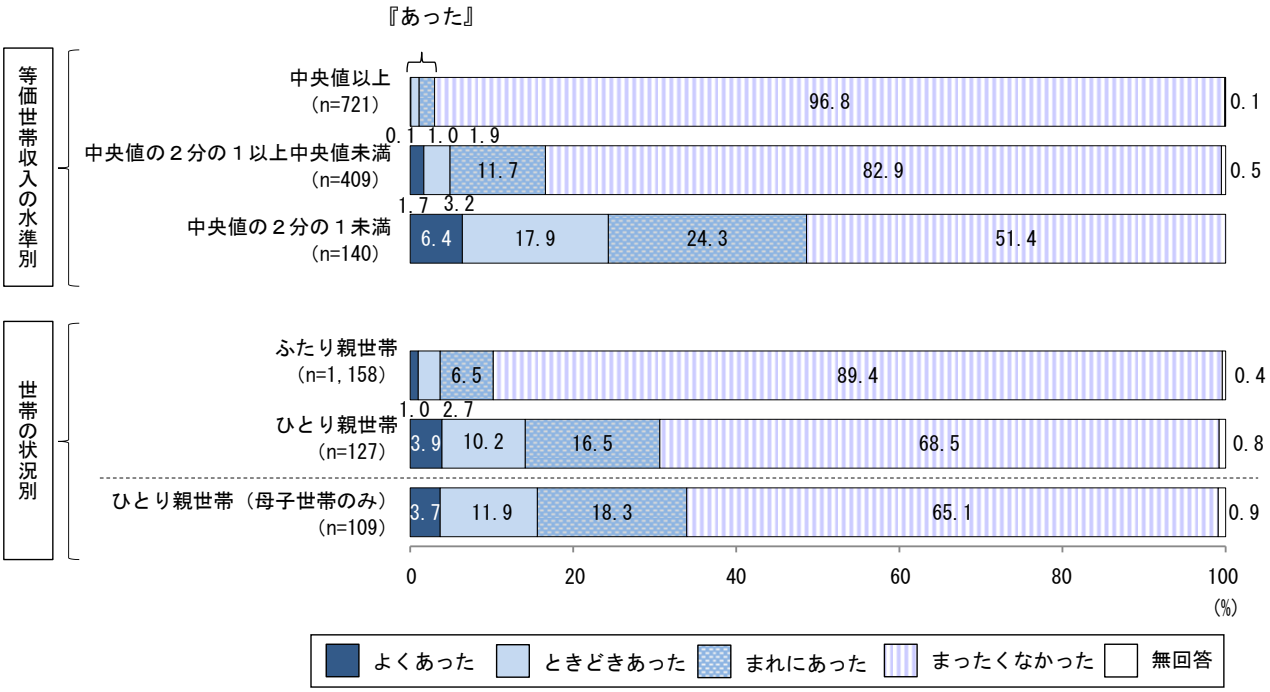


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 3.2%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 17.5%、「中央値の２分の１未満」では 45.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 10.6%、「ひとり親世帯」では 29.7%、「母子世帯」では 31.4%となっている。

保護者票問 21. あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞

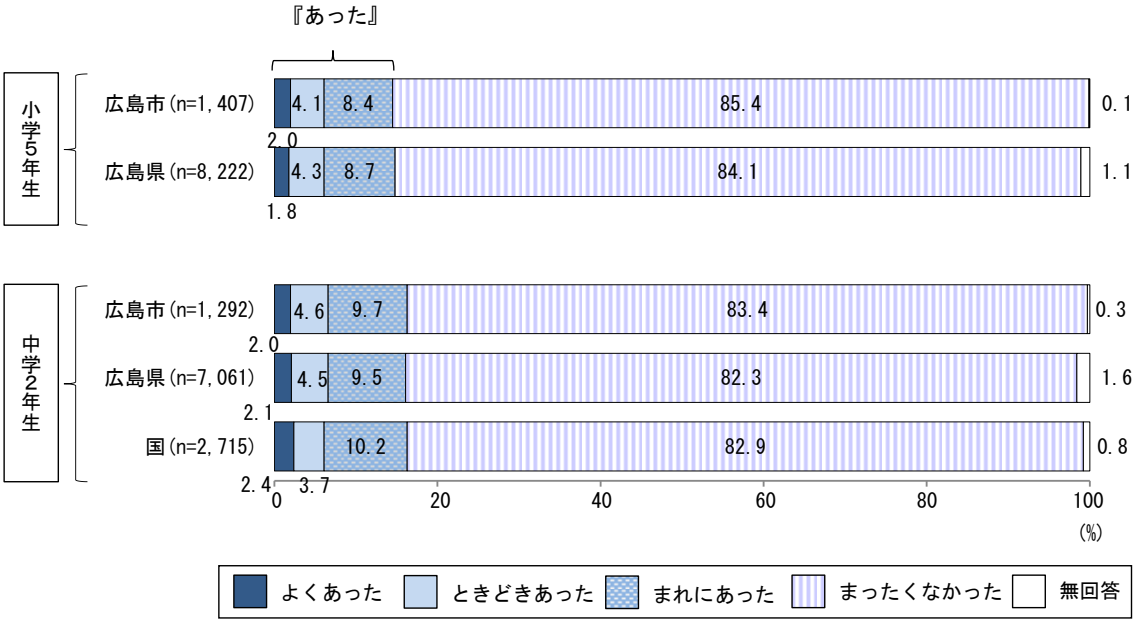


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 3.0%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 16.6%、「中央値の２分の１未満」では 48.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 10.2%、「ひとり親世帯」では 30.6%、「母子世帯」では 33.9%となっている。

保護者票問 22. あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

＜全体＞

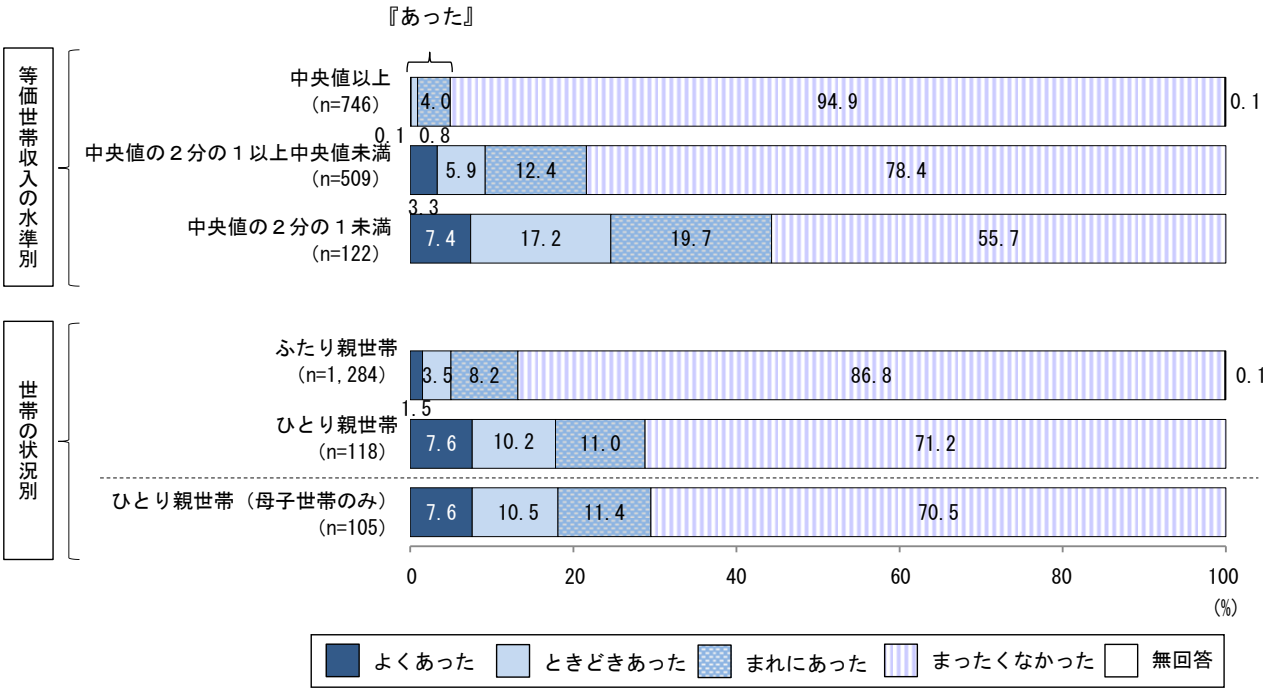


衣服が買えなかった経験について、小学５年生の保護者では、『あった（「よくあった」と「ときどきあった」と「まれにあった」を合わせた割合）』が 14.5%、「まったくなかった」が 85.4%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、『あった』が 16.3%、「まったくなかった」が 83.4%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 22. あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞

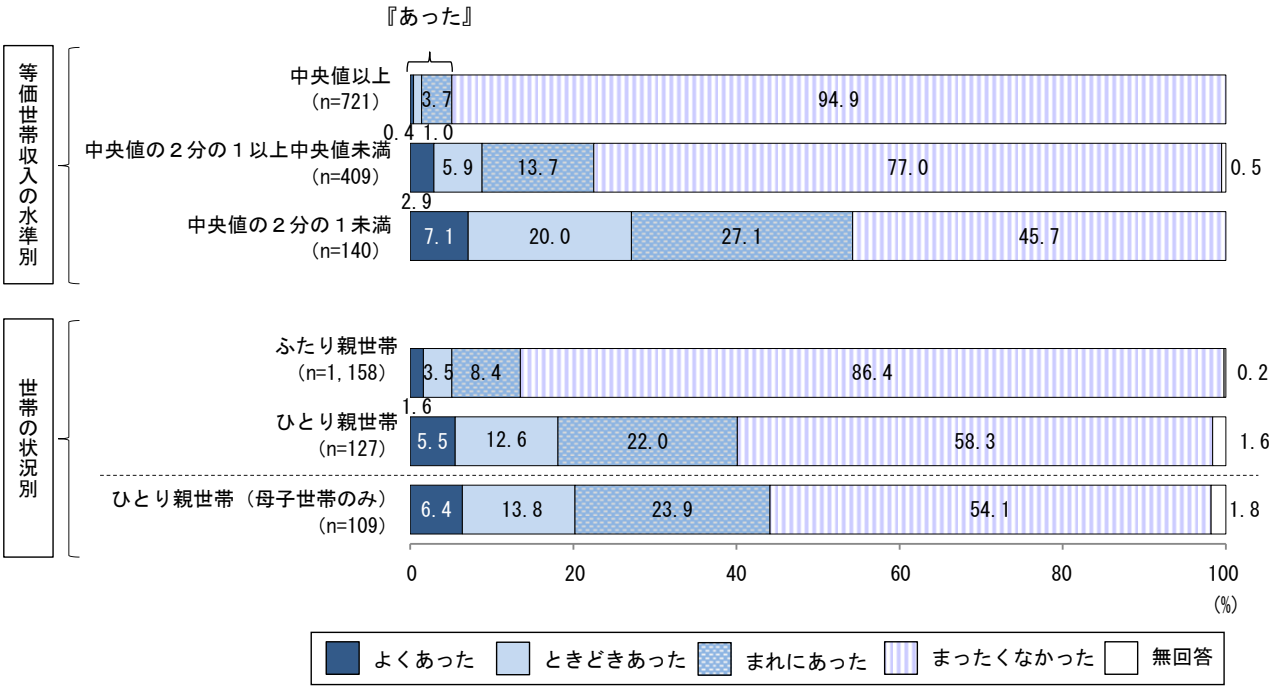


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 4.9%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 21.6%、「中央値の２分の１未満」では 44.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 13.2%、「ひとり親世帯」では 28.8%、「母子世帯」では 29.5%となっている。

保護者票問 22. あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞

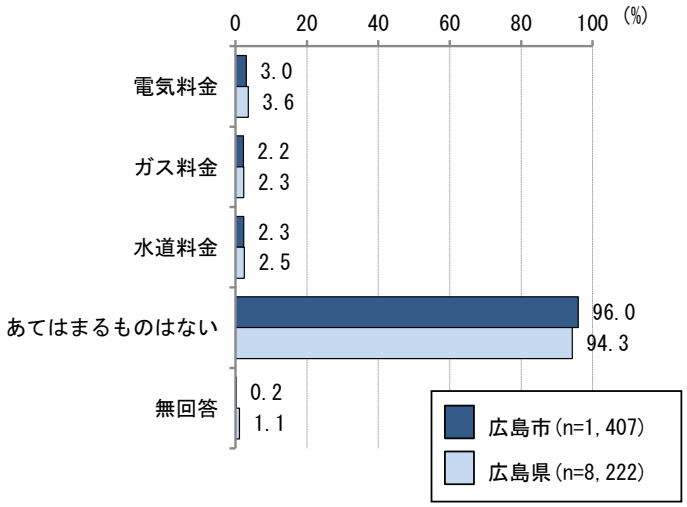


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では 5.1%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 22.5%、「中央値の２分の１未満」では 54.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では 13.5%、「ひとり親世帯」では 40.1%、「母子世帯」では 44.1%となっている。

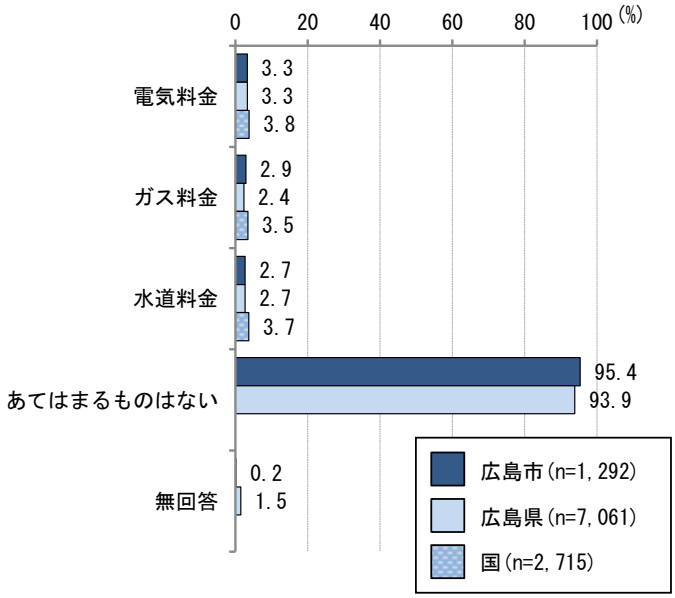
保護者票問 23. あなたの世帯では、過去１年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。（複数回答）

＜小学５年生の保護者＞



公共料金における未払いの経験について、小学５年生の保護者では、「電気料金」が 3.0%、「ガス料金」が 2.2%、「水道料金」が 2.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

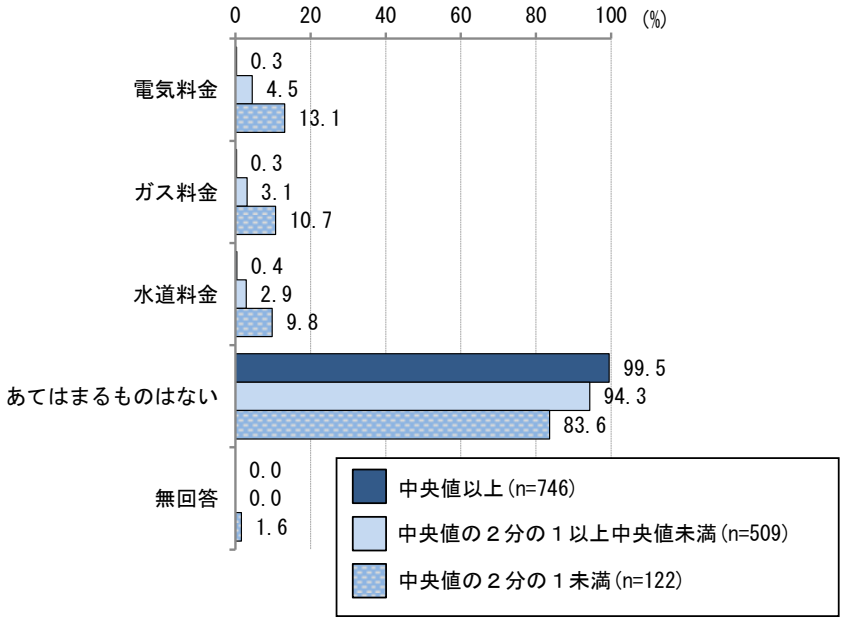
＜中学２年生の保護者＞



中学２年生の保護者では、「電気料金」が 3.3%、「ガス料金」が 2.9%、「水道料金」が 2.7%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

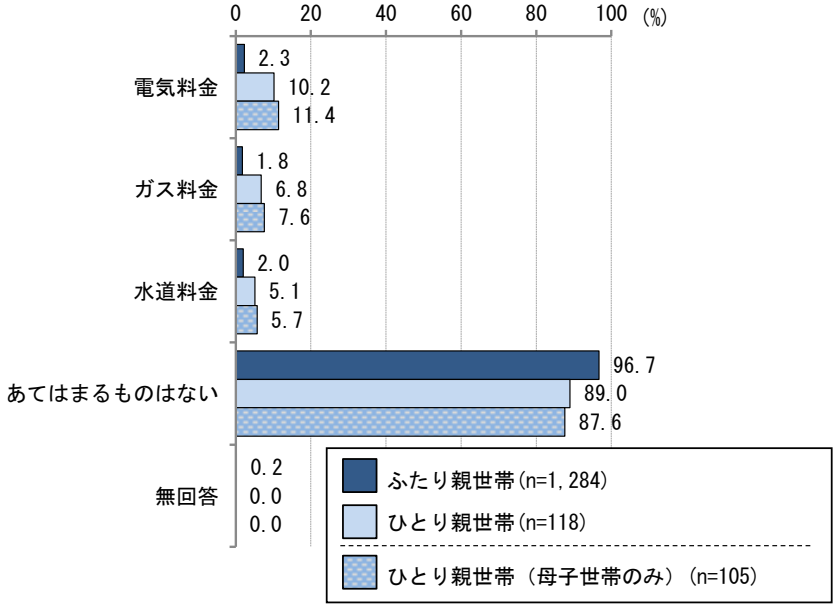
保護者票問 23. あなたの世帯では、過去１年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。（複数回答）

＜等価世帯収入の水準別（小学５年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」の世帯では、「電気料金」は 13.1%、「ガス料金」は 10.7%、「水道料金」は 9.8%となっている。

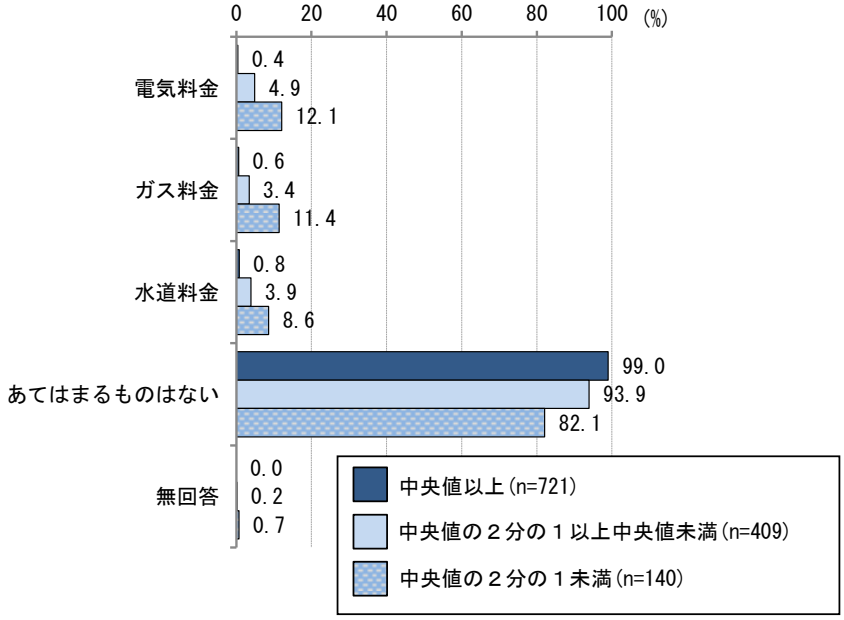
＜世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「電気料金」は 10.2%、「ガス料金」は 6.8%、「水道料金」は 5.1%となっている。

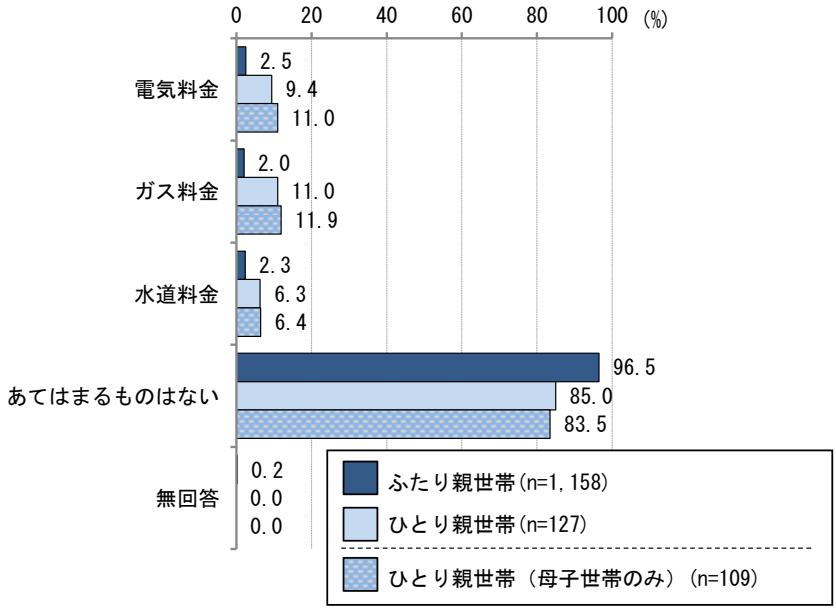
保護者票問 23. あなたの世帯では、過去１年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。（複数回答）

＜等価世帯収入の水準別（中学２年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」の世帯では、「電気料金」は 12.1%、「ガス料金」は 11.4%、「水道料金」は 8.6%となっている。

＜世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞

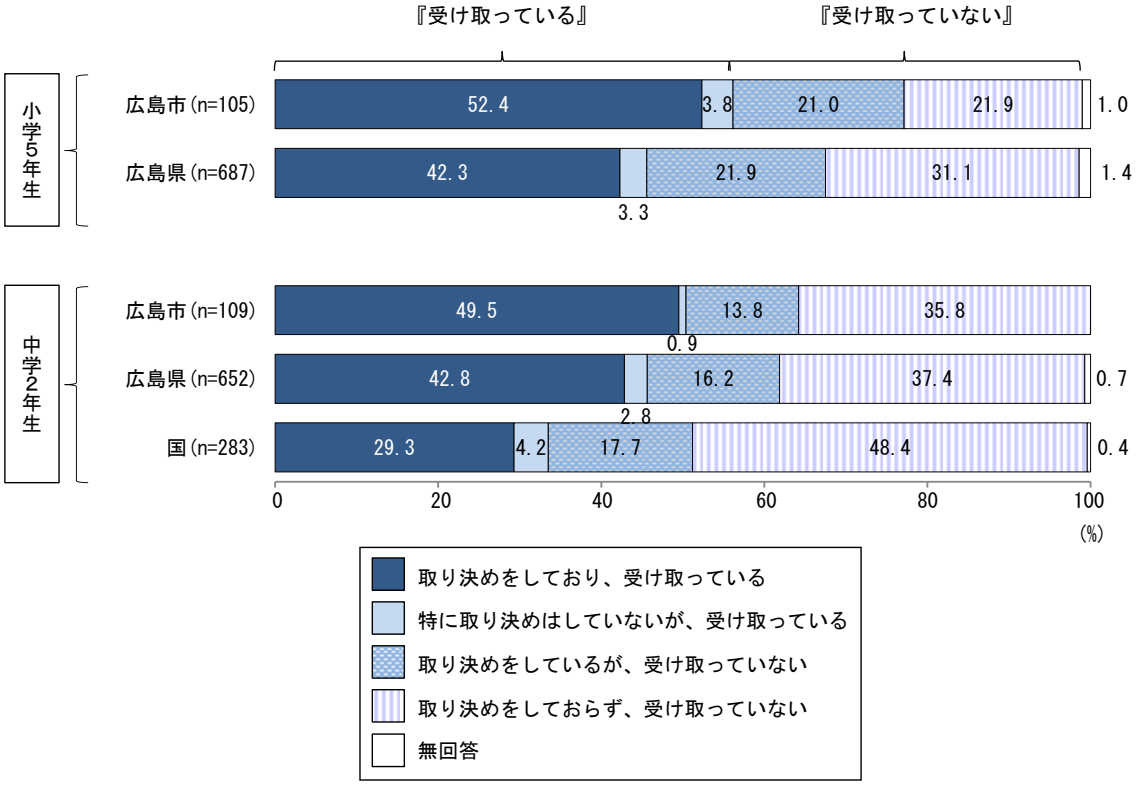


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「電気料金」は 9.4%、「ガス料金」は 11.0%、「水道料金」は 6.3%となっている。

※問６で「２ 離婚」を選んだ方に

保護者票問７．離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。

＜全体＞



養育費について、離婚した小学５年生の保護者では、『受け取っている（「取り決めをしており、養育費を受け取っている」と「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」を合わせた割合）』が 56.2%、『受け取っていない（「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」と「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」を合わせた割合）』が 42.9%となっている。広島県と比較すると、『受け取っている』は、広島市（56.2%）が広島県（45.6%）を 10.6 ポイント上回っている。

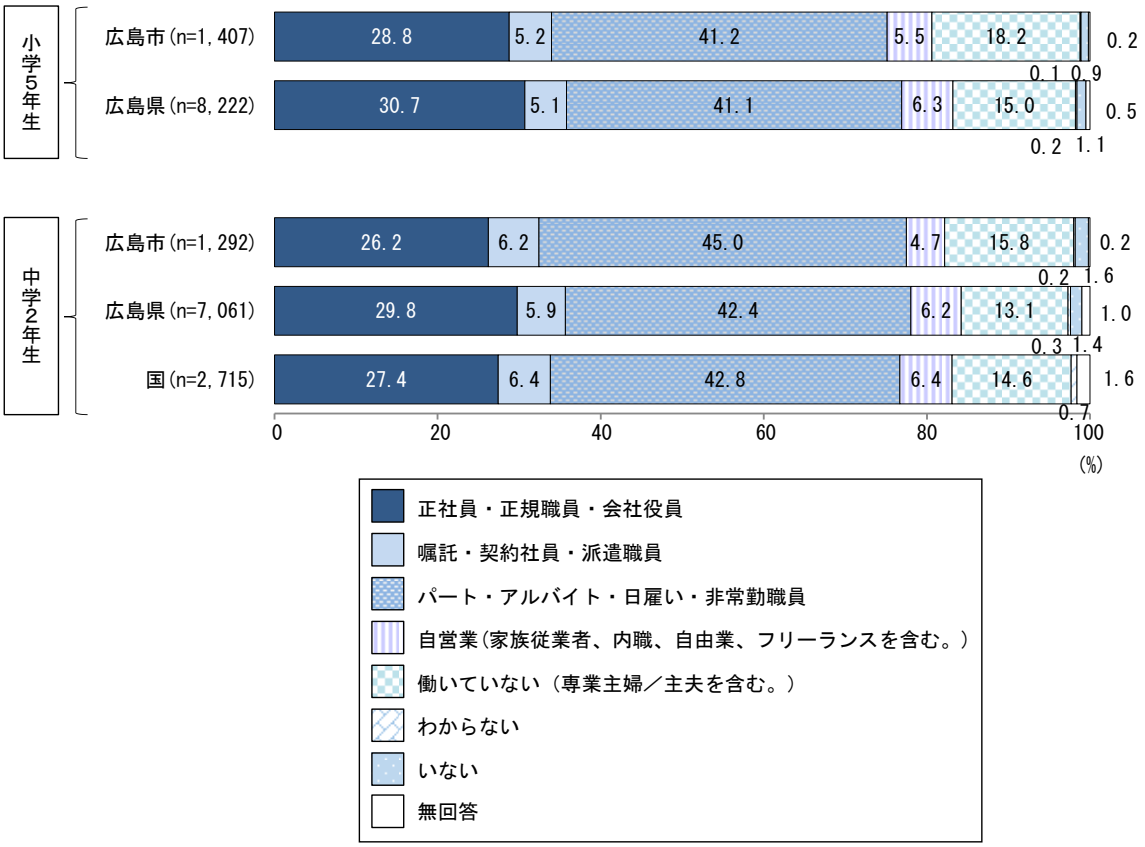
離婚した中学２年生の保護者では、『受け取っている』が 50.4%、『受け取っていない』が 49.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、『受け取っている』は、広島市（50.4%）が国（33.5%）を 16.9 ポイント上回っている。

（2）就労の状況

保護者票問 10.　お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

＝ 母親の就労状況 ＝

＜全体＞



※国調査では「いない、わからない」という選択肢になっている

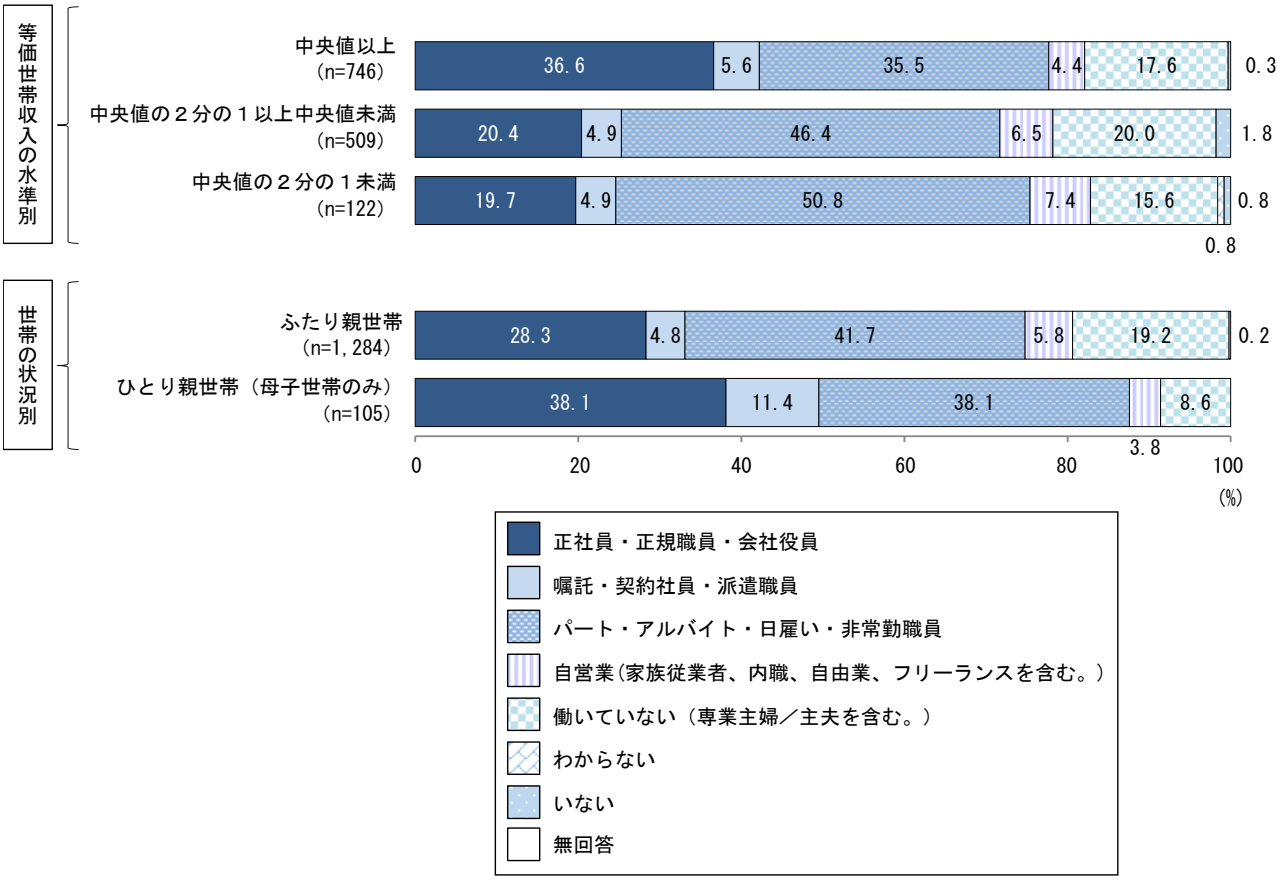
母親の就労状況について、小学５年生の保護者では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 41.2%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が 28.8%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む。)」が 18.2%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 45.0%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が 26.2%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む。)」が 15.8%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 10.　お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

＝ 母親の就労状況 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



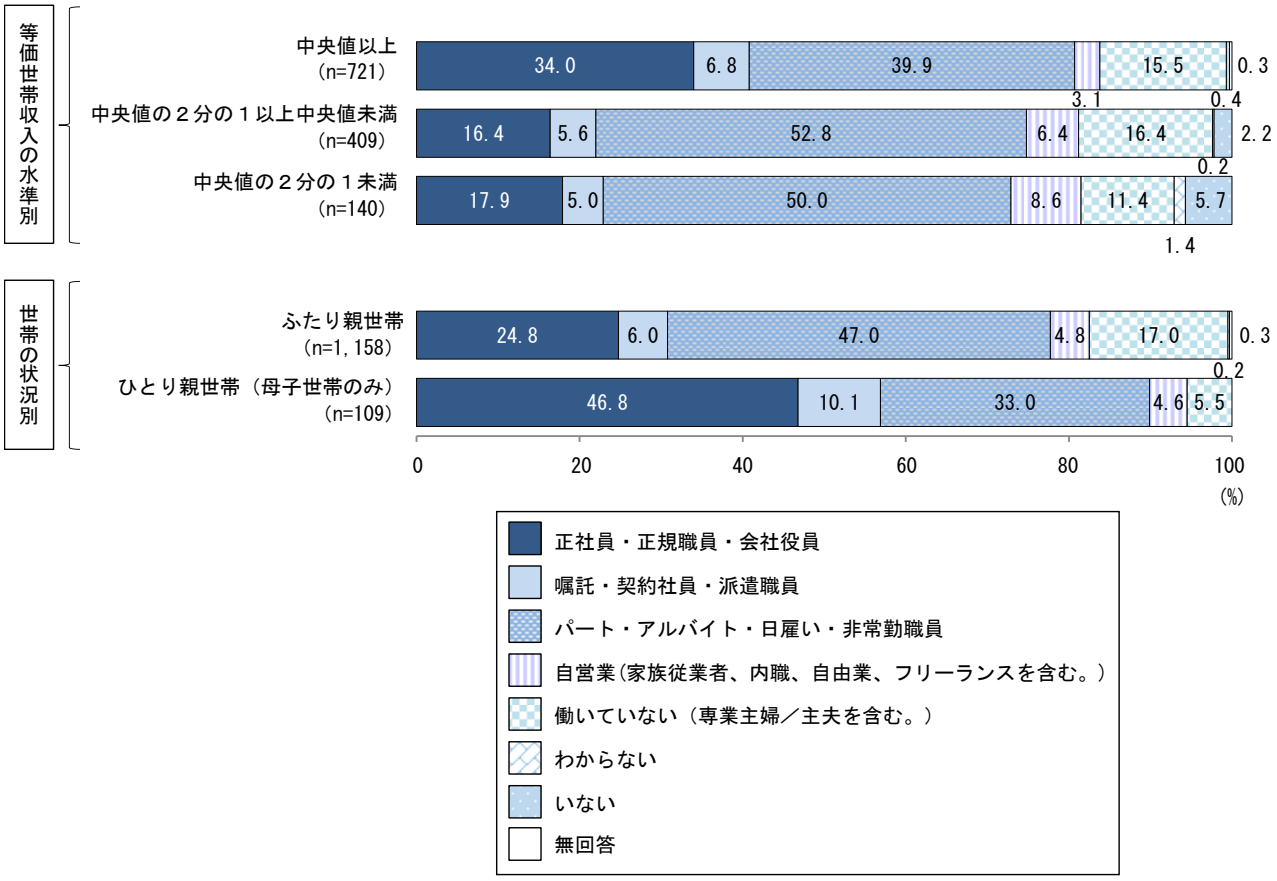
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 50.8%と最も高くなっている。また、「正社員・正規職員・会社役員」は、等価世帯収入の水準が下がるにつれて、低くなる傾向がみられる。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 41.7%、「母子世帯」では「正社員・正規職員・会社役員」、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」がともに 38.1%と最も高くなっている。

保護者票問 10.　お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

＝ 母親の就労状況 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



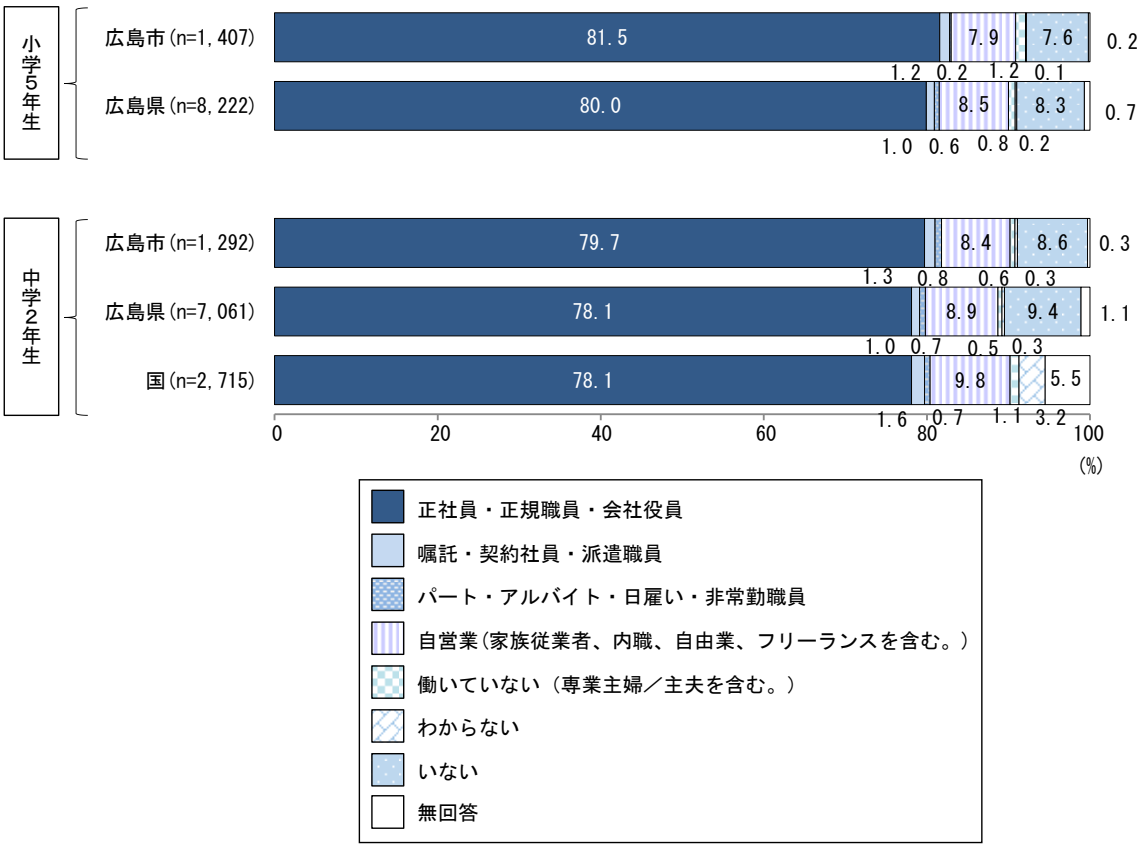
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 50.0%と最も高くなっている。また、「正社員・正規職員・会社役員」は、「中央値以上」では 34.0%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」では 16.4%、「中央値の 2 分の 1 未満」では 17.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 47.0%、「母子世帯」では「正社員・正規職員・会社役員」が 46.8%と最も高くなっている。

保護者票問 10.　お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

＝ 父親の就労状況 ＝

＜全体＞



※国調査では「いない、わからない」という選択肢になっている

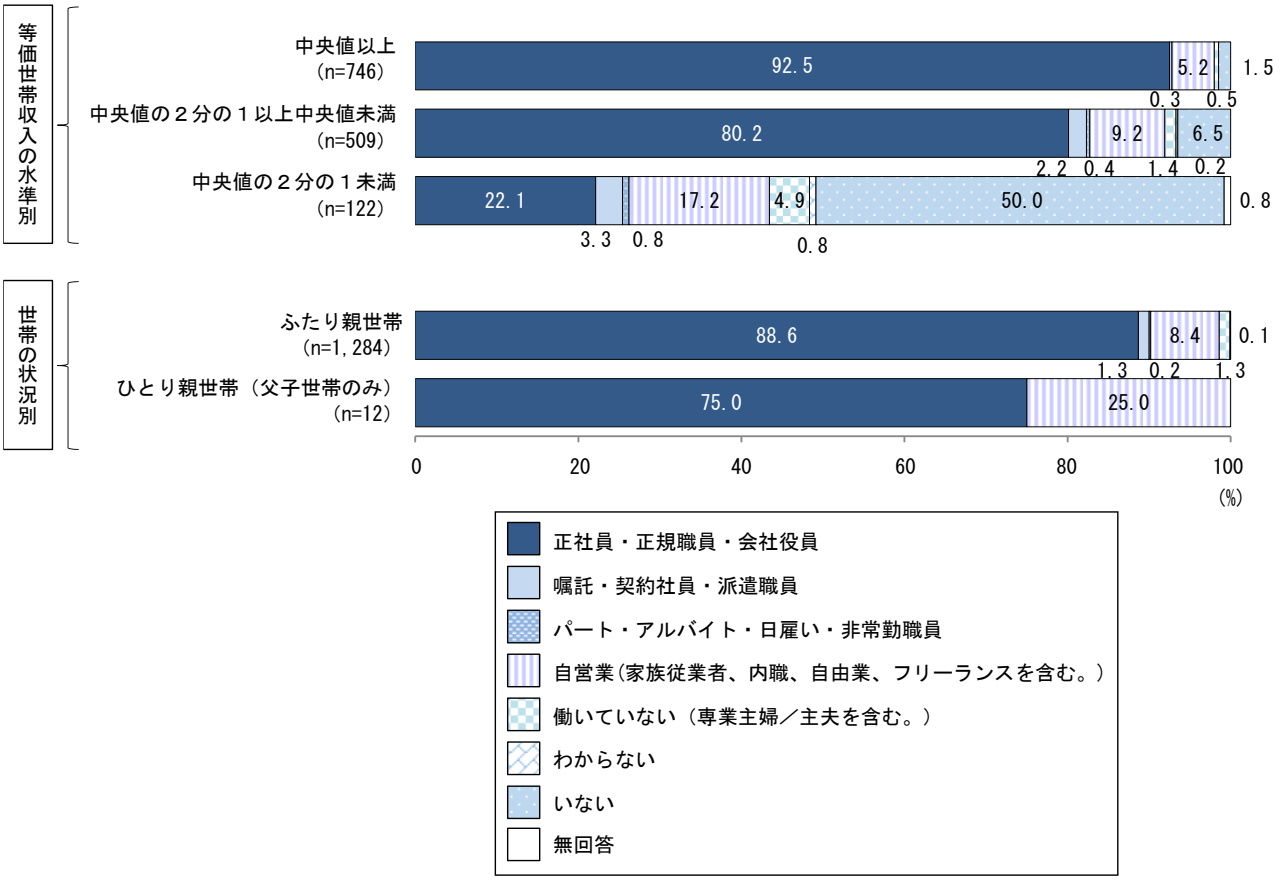
父親の就労状況について、小学５年生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が 81.5%と最も高く、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が 7.9%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が 79.7%と最も高く、次いで、「(父親が) いない」を除き、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が 8.4%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 10.　お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

＝ 父親の就労状況 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



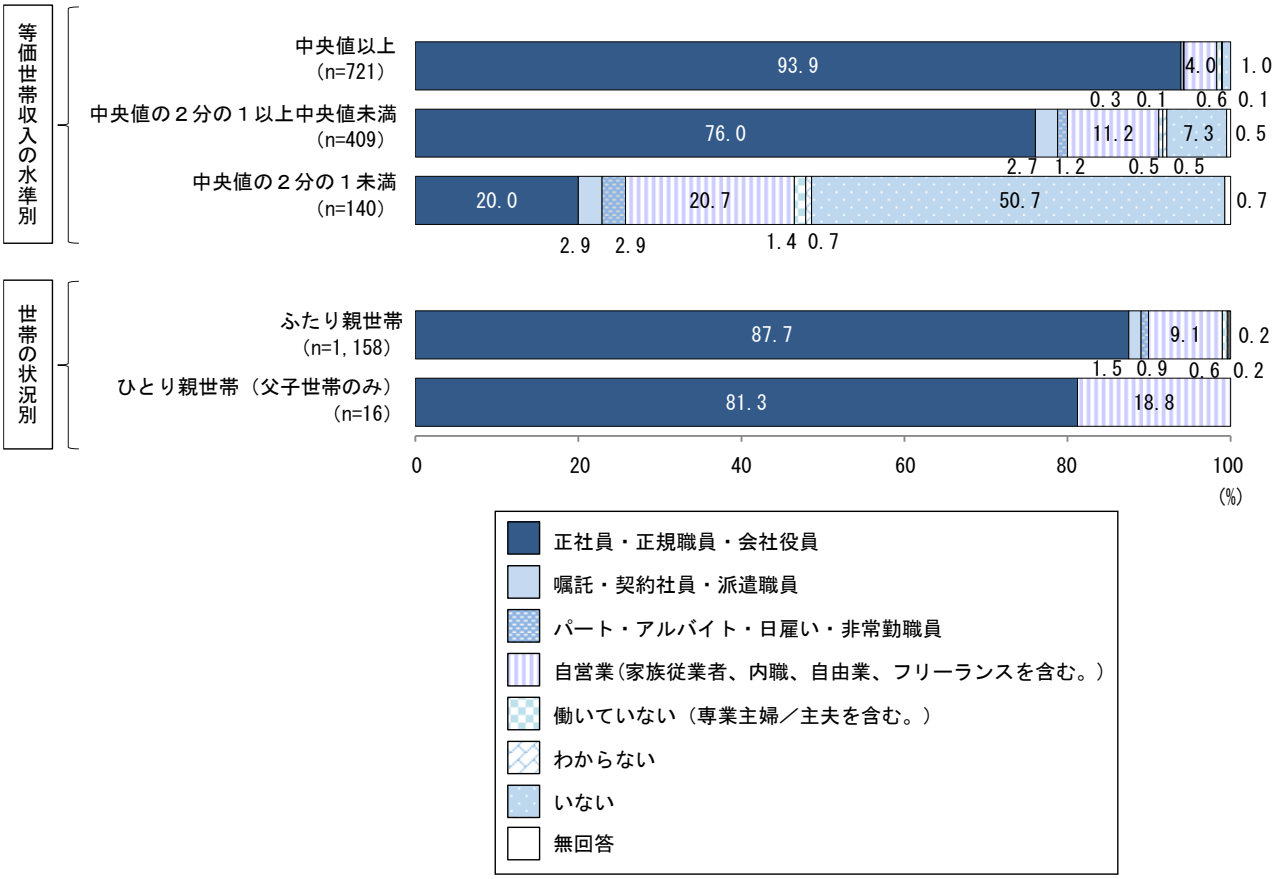
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「正社員・正規職員・会社役員」が 22.1%と他の世帯に比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では 88.6%、「父子世帯」では 75.0%となっている。

保護者票問 10.　お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

＝ 父親の就労状況 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「正社員・正規職員・会社役員」が 20.0%と他の世帯に比べて低くなっている。

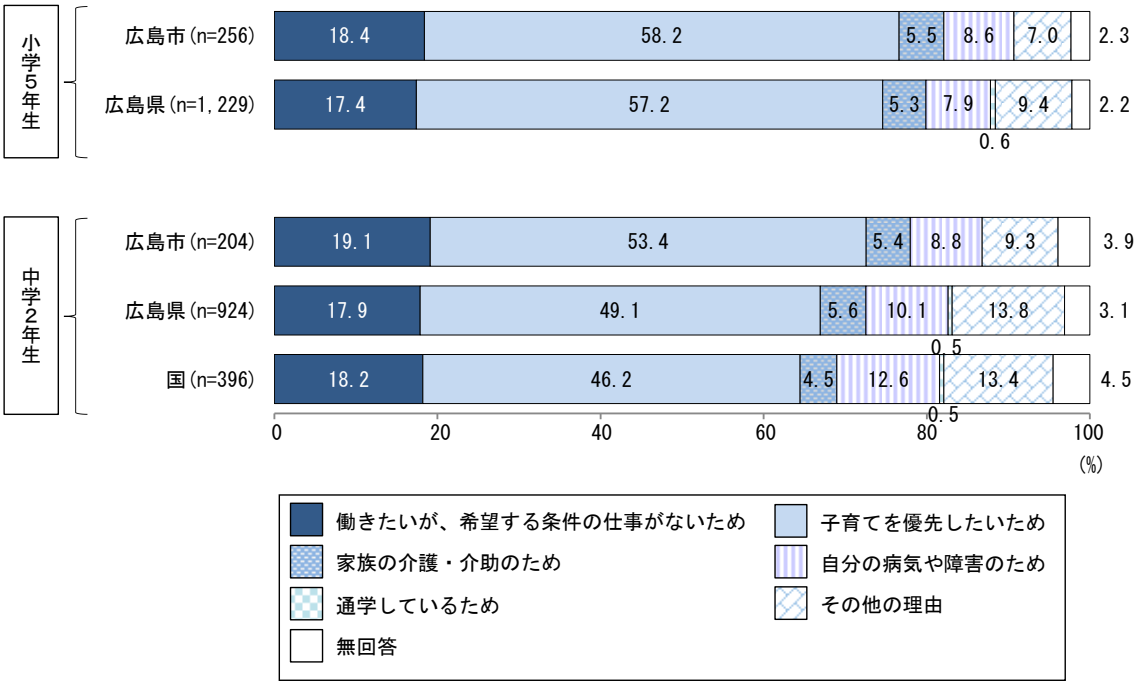
世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では 87.7%、「父子世帯」では 81.3%となっている。

※問 10 で「5 働いていない」と答えた方に

保護者票問 11. 働いていない最も主な理由を教えてください。

＝ 母親が働いていない理由 ＝

＜全体＞



母親が働いていない理由について、小学５年生の保護者では、「子育てを優先したいため」が 58.2%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 18.4%、「自分の病気や障害のため」が 8.6%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

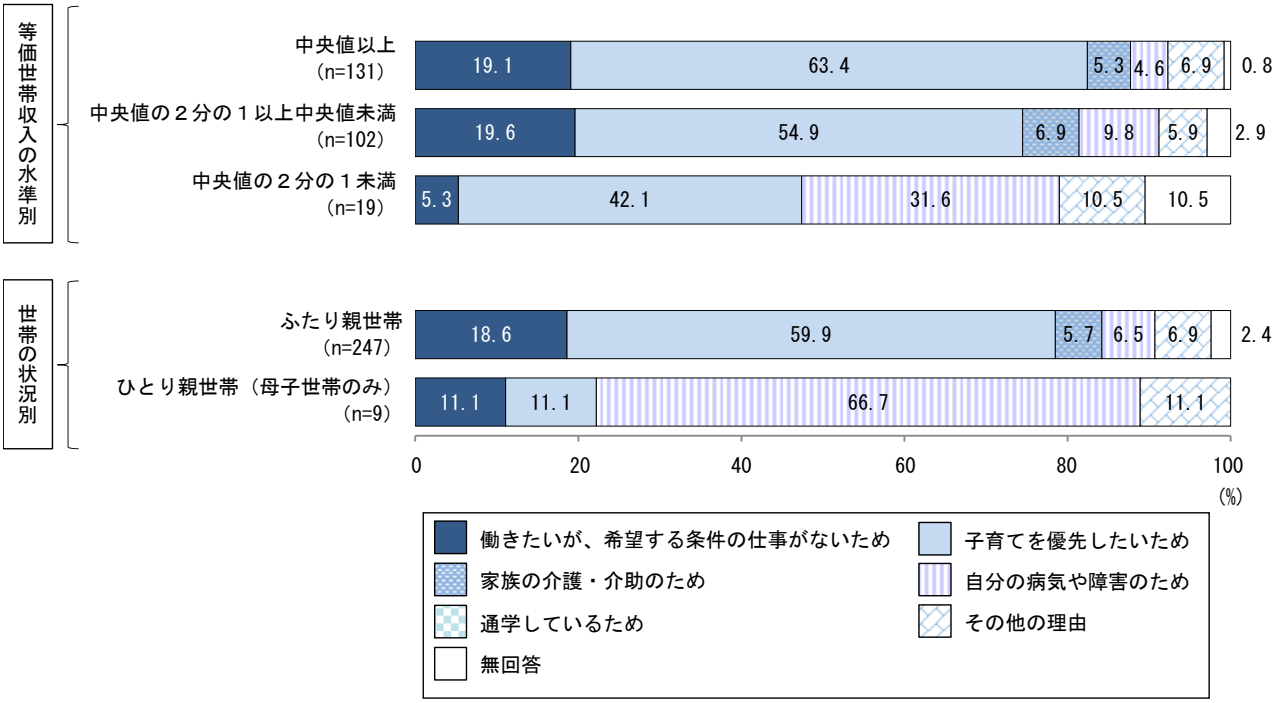
中学２年生の保護者では、「子育てを優先したいため」が 53.4%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 19.1%、「その他の理由」が 9.3%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「子育てを優先したいため」は、広島市（53.4%）が国（46.2%）を 7.2 ポイント上回っている。

※問 10 で「5 働いていない」と答えた方に

保護者票問 11. 働いていない最も主な理由を教えてください。

＝ 母親が働いていない理由 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「自分の病気や障害のため」が 31.6%と他の世帯に比べて高くなっている。

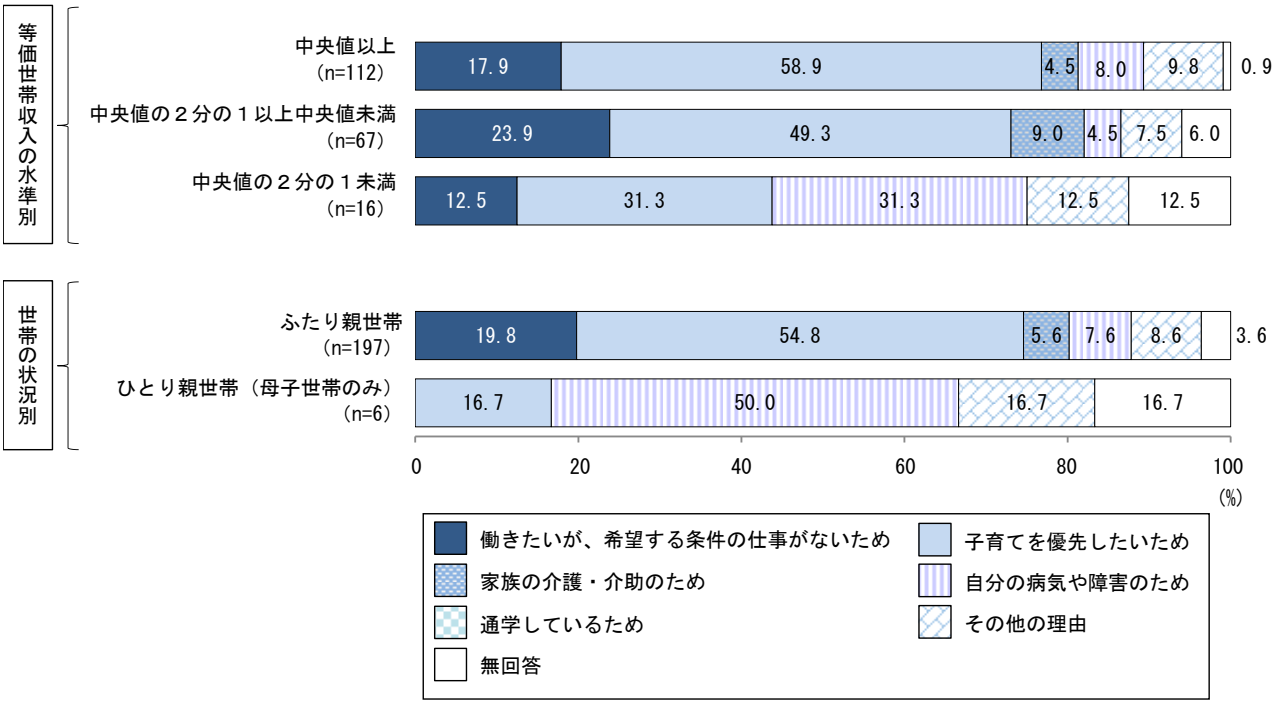
世帯の状況別にみると、「母子世帯」では「自分の病気や障害のため」が 66.7%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

※問 10 で「5 働いていない」と答えた方に

保護者票問 11. 働いていない最も主な理由を教えてください。

＝ 母親が働いていない理由 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「自分の病気や障害のため」が 31.3%と他の世帯に比べて高くなっている。

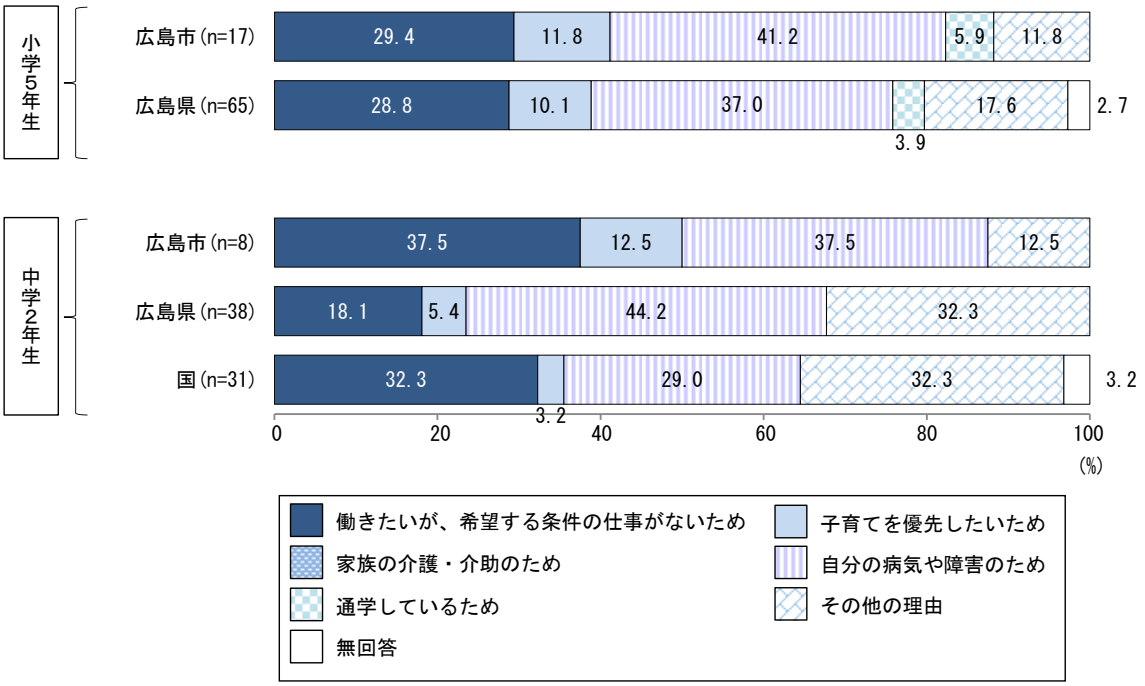
世帯の状況別にみると、「母子世帯」では「自分の病気や障害のため」が 50.0%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

※問 10 で「5 働いていない」と答えた方に

保護者票問 11. 働いていない最も主な理由を教えてください。

＝ 父親が働いていない理由 ＝

＜全体＞



父親が働いていない理由について、小学５年生の保護者では、「自分の病気や障害のため」が 41.2%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 29.4%、「子育てを優先したいため」、「その他の理由」がともに 11.8%などの順となっている。広島県と比較すると、「その他の理由」は、広島市（11.8%）が広島県（17.6%）を 5.8 ポイント下回っている。

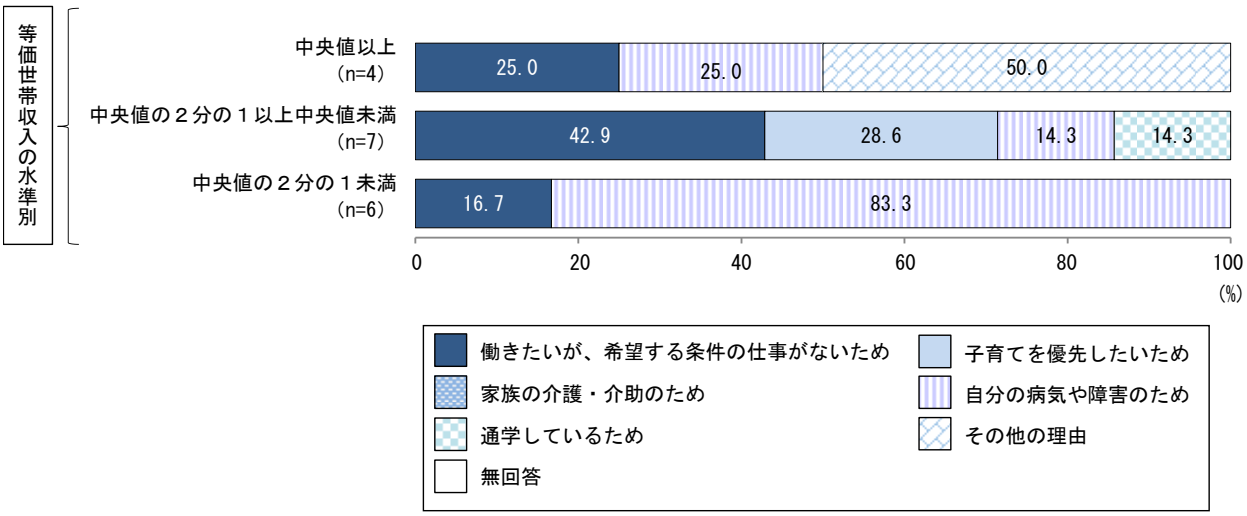
中学２年生の保護者では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」、「自分の病気や障害のため」がともに 37.5%と最も高く、次いで「子育てを優先したいため」、「その他の理由」がともに 12.5%となっている。広島県と比較すると、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」は、広島市（37.5%）が広島県（18.1%）を 19.4 ポイント、「子育てを優先したいため」は、広島市（12.5%）が広島県（5.4%）を 7.1 ポイント上回っており、「自分の病気や障害のため」は、広島市（37.5%）が広島県（44.2%）を 6.7 ポイント、「その他の理由」は、広島市（12.5%）が広島県（32.3%）を 19.8 ポイント下回っている。国と比較すると、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」は、広島市（37.5%）が国（32.3%）を 5.2 ポイント、「子育てを優先したいため」は、広島市（12.5%）が国（3.2%）を 9.3 ポイント、「自分の病気や障害のため」は、広島市（37.5%）が国（29.0%）を 8.5 ポイント上回っており、「その他の理由」は、広島市（12.5%）が国（32.3%）を 19.8 ポイント下回っている。

※問 10 で「5　働いていない」と答えた方に

保護者票問 11.　働いていない最も主な理由を教えてください。

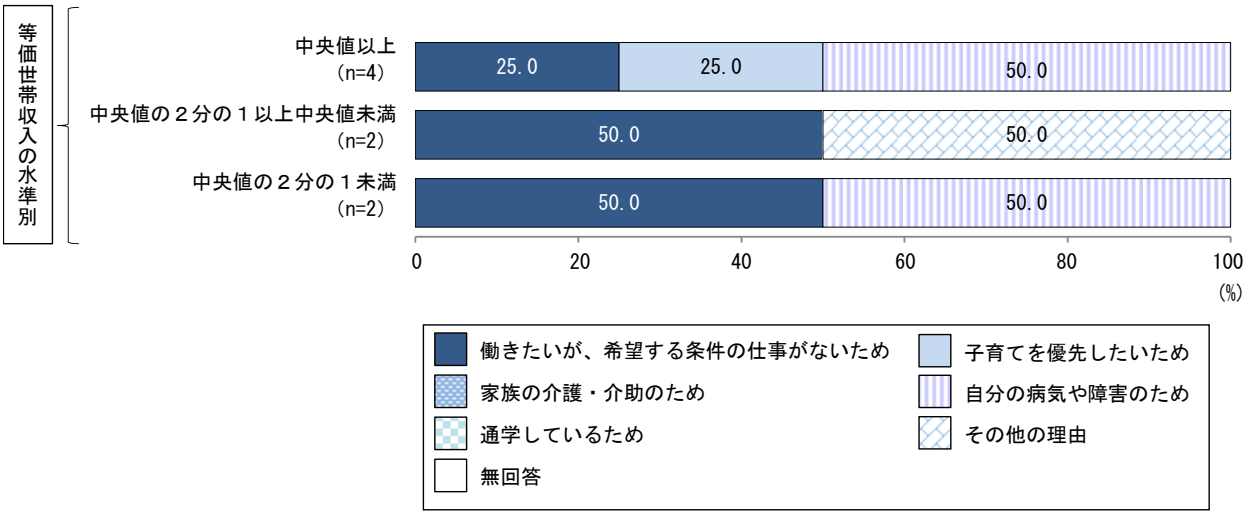
＝ 父親が働いていない理由 ＝

＜等価世帯収入の水準別（小学５年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「自分の病気や障害のため」が 83.3%と他の世帯に比べて高くなっている。

＜等価世帯収入の水準別（中学２年生の保護者）＞

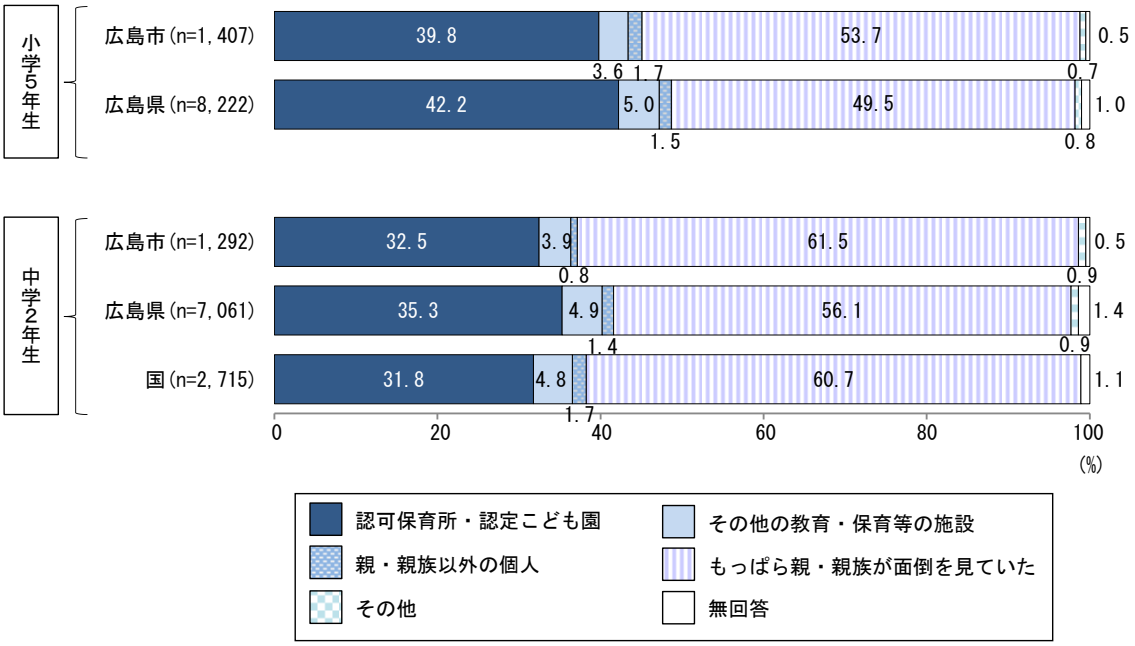


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 50.0%と等価世帯収入の水準が中央値以上の世帯に比べて高くなっている。

（3）保育の状況

保護者票問 12. お子さんが０～２歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。

＜全体＞

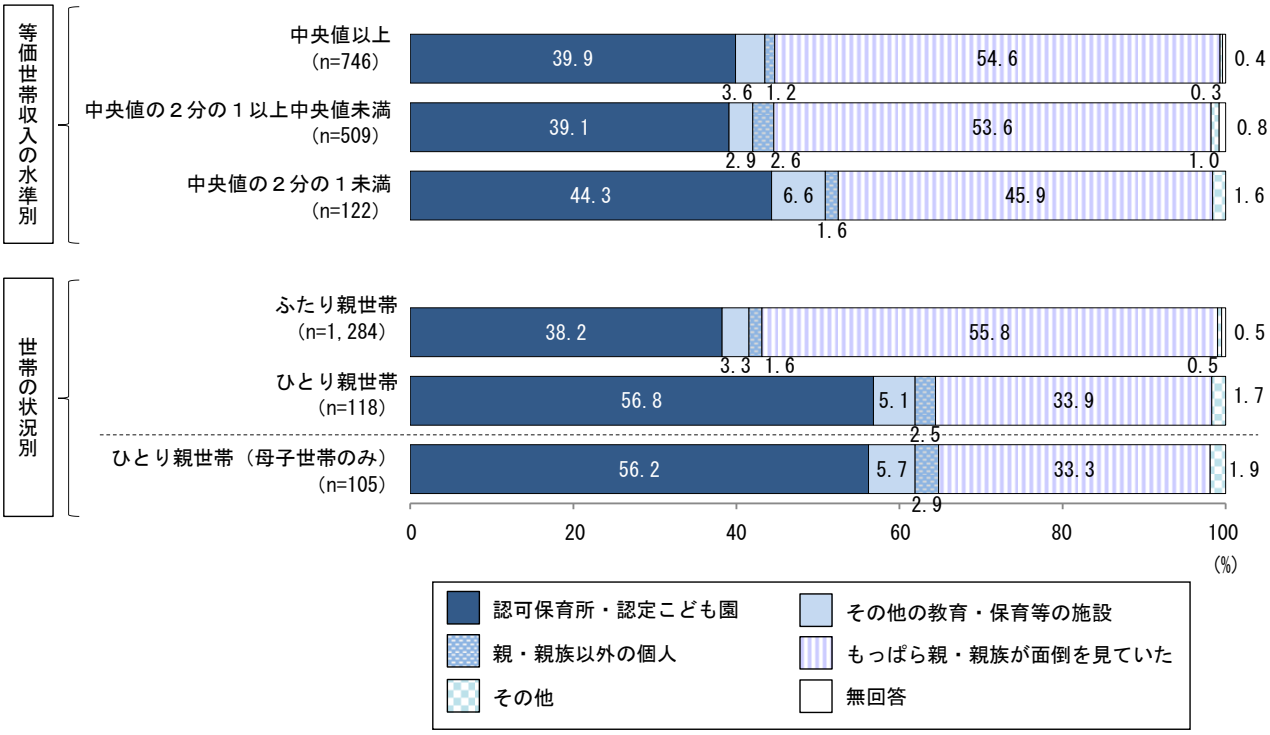


子どもが０～２歳の時に通っていた教育・保育施設等について、小学５年生の保護者では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が 53.7%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」が 39.8%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が 61.5%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」が 32.5%などの順となっている。広島県と比較すると、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」は、広島市（61.5%）が広島県（56.1%）を 5.4 ポイント上回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 12. お子さんが０～２歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞

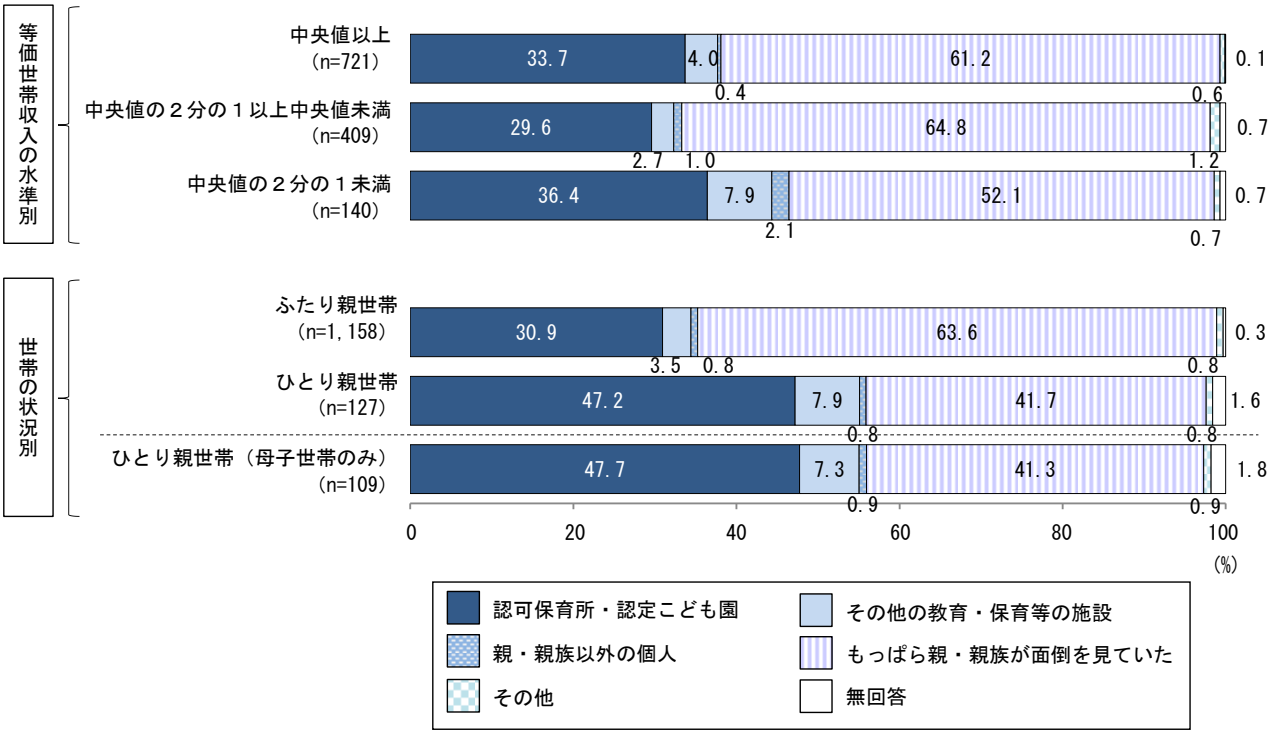


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が 45.9%と他の世帯に比べて低く、「認可保育所・認定こども園」は 44.3%と高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が 33.9%と低く、「認可保育所・認定こども園」は 56.8%と高くなっている。

保護者票問 12. お子さんが０～２歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞

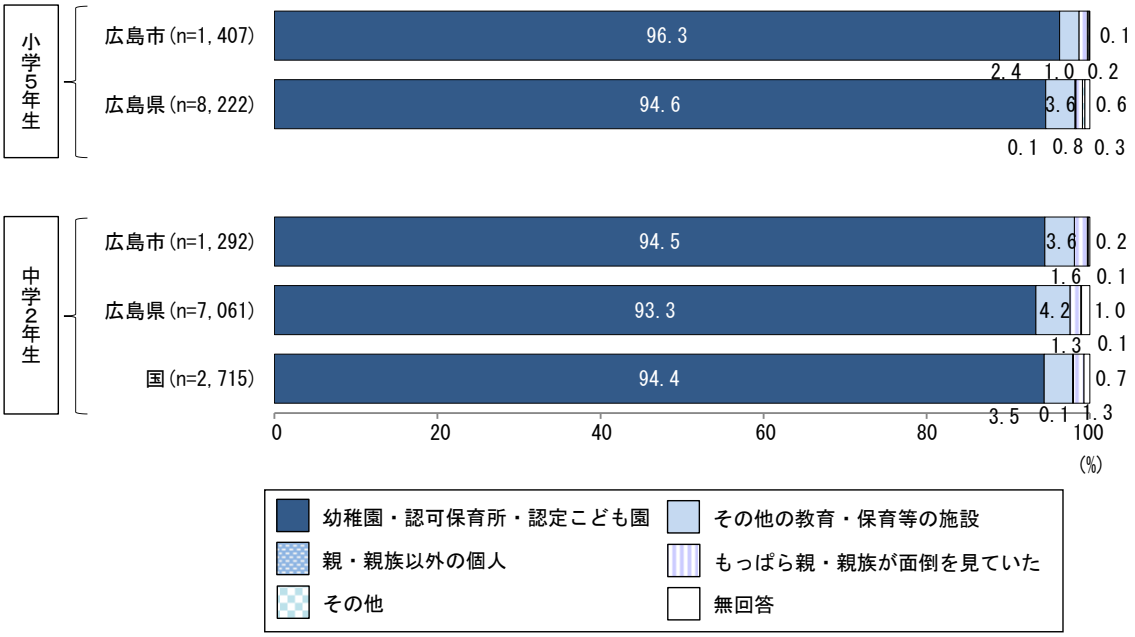


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が 52.1%と他の世帯に比べて低く、「認可保育所・認定こども園」は 36.4%と高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が 41.7%と低く、「認可保育所・認定こども園」は 47.2%と高くなっている。

保護者票問 13. お子さんが３～５歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。

＜全体＞

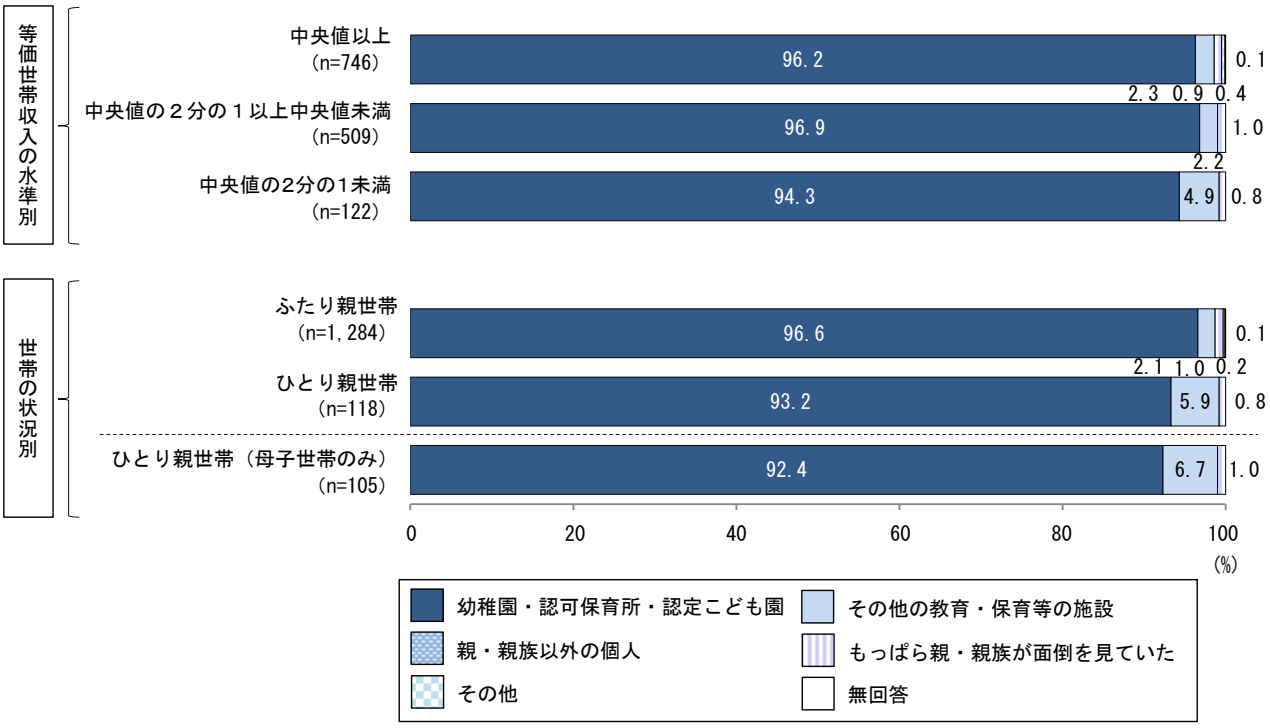


子どもが３～５歳の時に通っていた教育・保育施設等について、小学５年生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が 96.3%と最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」が 2.4%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が 94.5%と最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」が 3.6%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 13. お子さんが３～５歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞

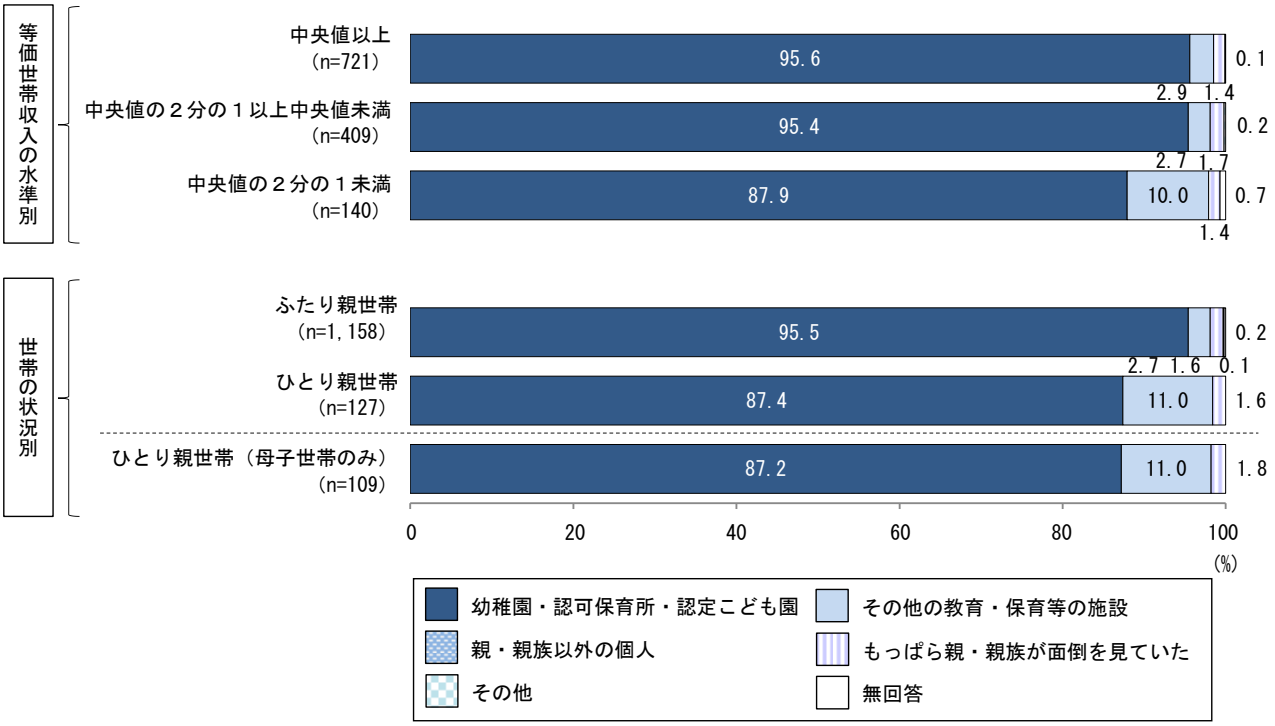


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が 94.3%となっており、他の世帯と大きな差はみられない。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が 93.2%となっており、「ふたり親世帯」と大きな差はみられない。

保護者票問 13. お子さんが３～５歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が 87.9%と他の世帯に比べて低くなっている。

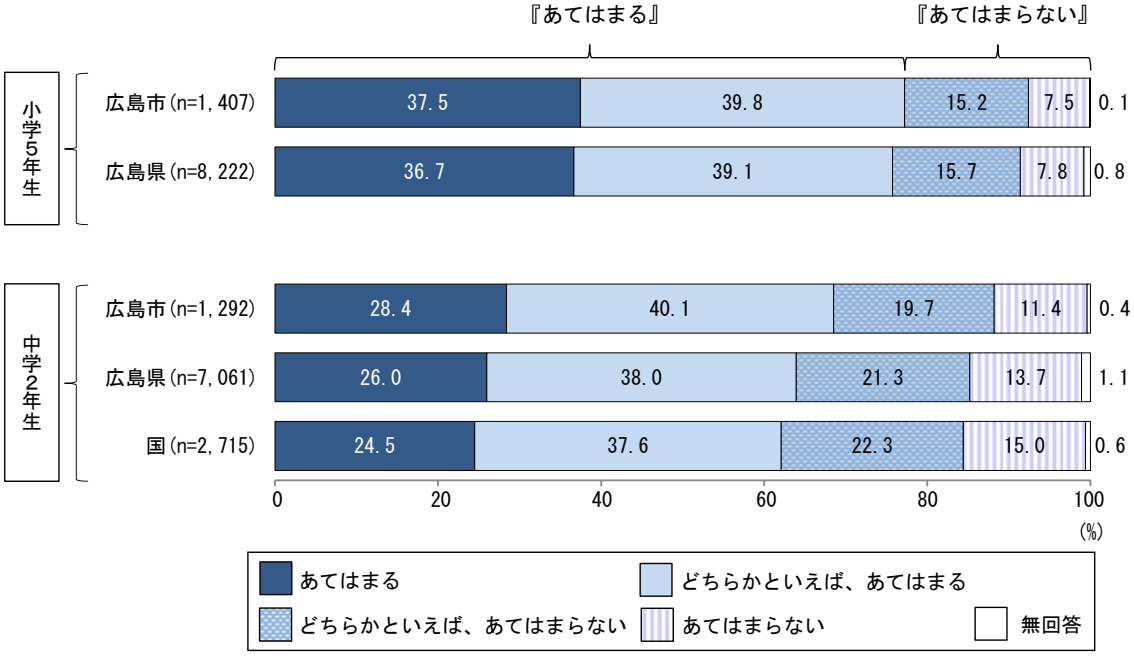
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が 87.4%と他の世帯に比べて低くなっている。

（4）子どもとの関わり方

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

＝ テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている ＝

＜全体＞



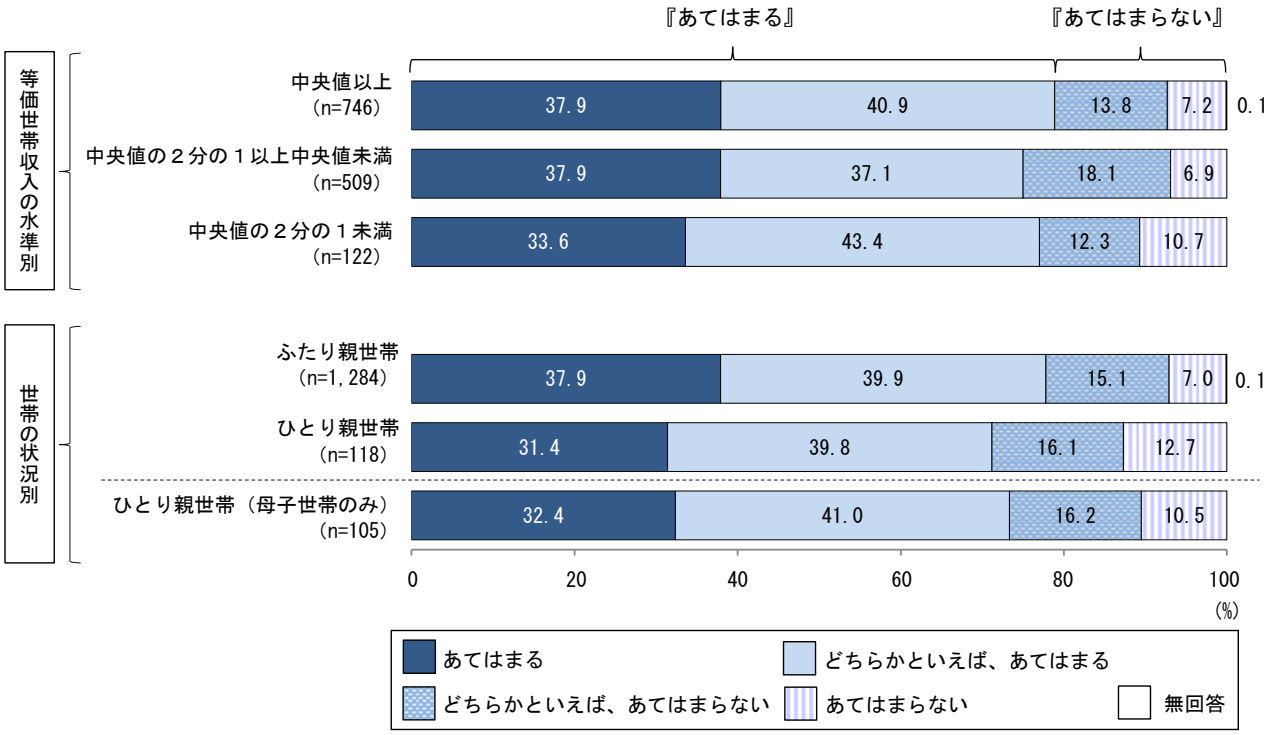
テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、小学５年生の保護者では、『あてはまる（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合）』が 77.3%、『あてはまらない（「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合）』が 22.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、『あてはまる』が 68.5%、『あてはまらない』が 31.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、『あてはまる』は、広島市（68.5%）が国（62.1%）を 6.4 ポイント上回っている。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

＝ テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



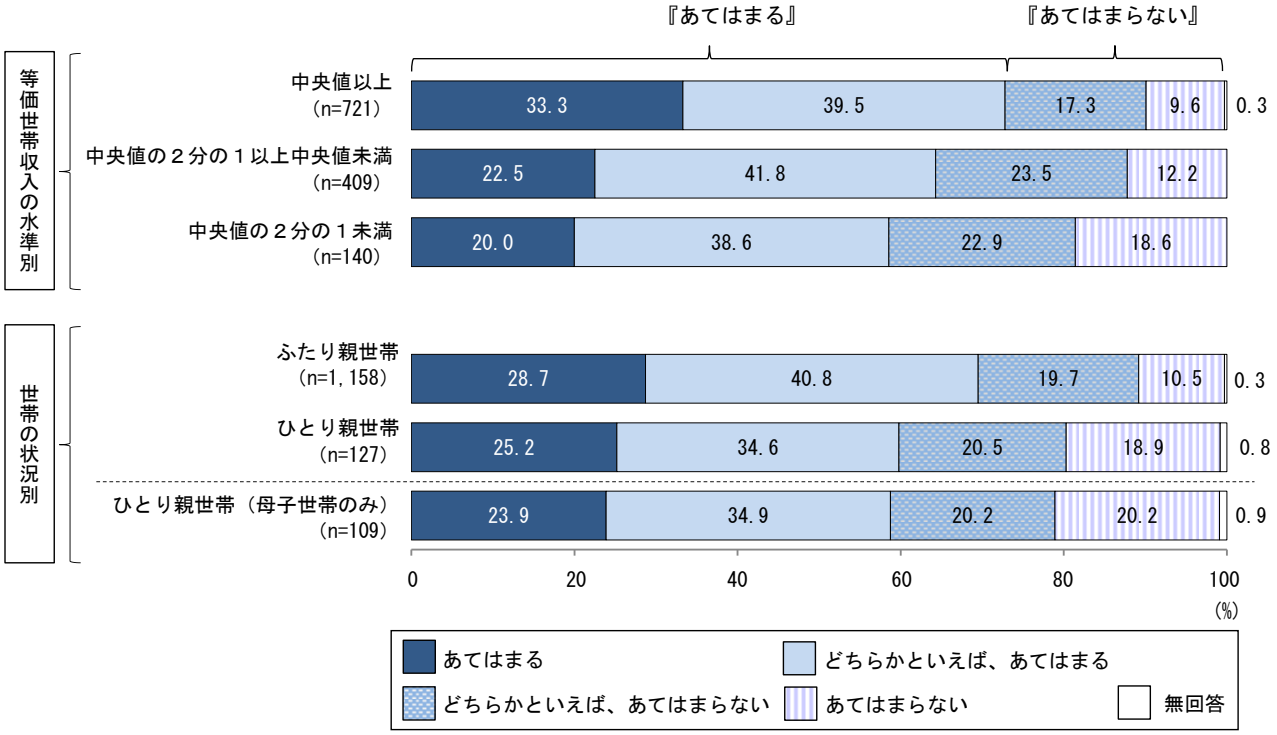
等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 21.0%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 25.0%、「中央値の２分の１未満」では 23.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 22.1%、「ひとり親世帯」では 28.8%、「母子世帯」では 26.7%となっている。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

＝ テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



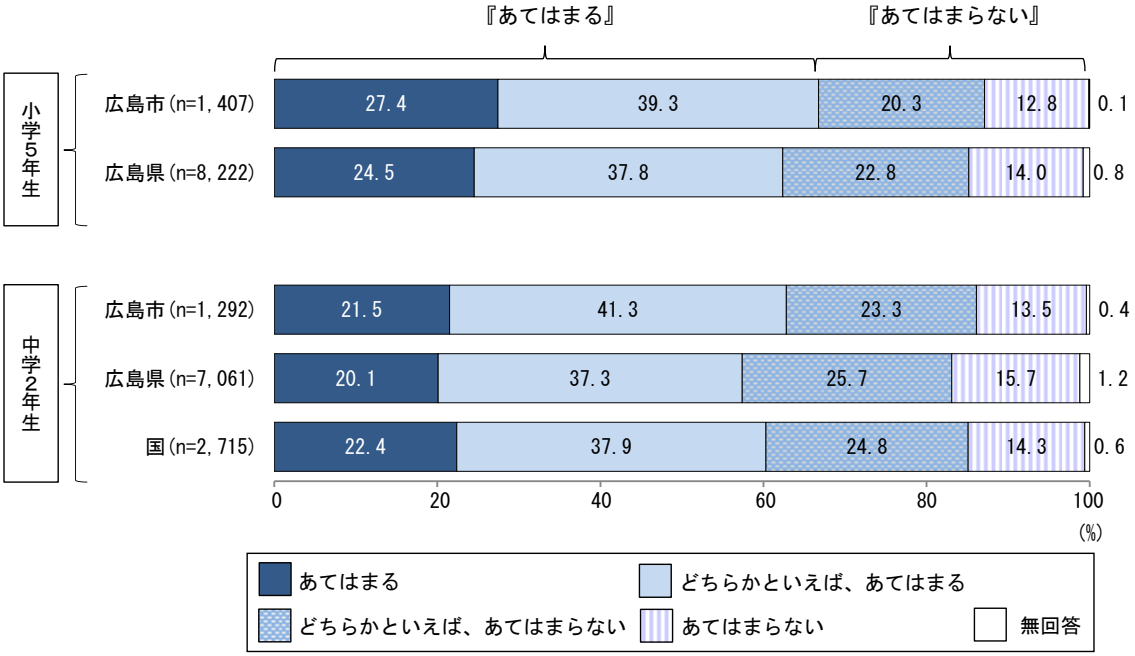
等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまる』は、「中央値以上」では 72.8%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 64.3%、「中央値の２分の１未満」では 58.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまる』は、「ふたり親世帯」では 69.5%、「ひとり親世帯」では 59.8%、「母子世帯」では 58.8%となっている。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

＝ お子さんに本や新聞を読むように勧めている ＝

＜全体＞



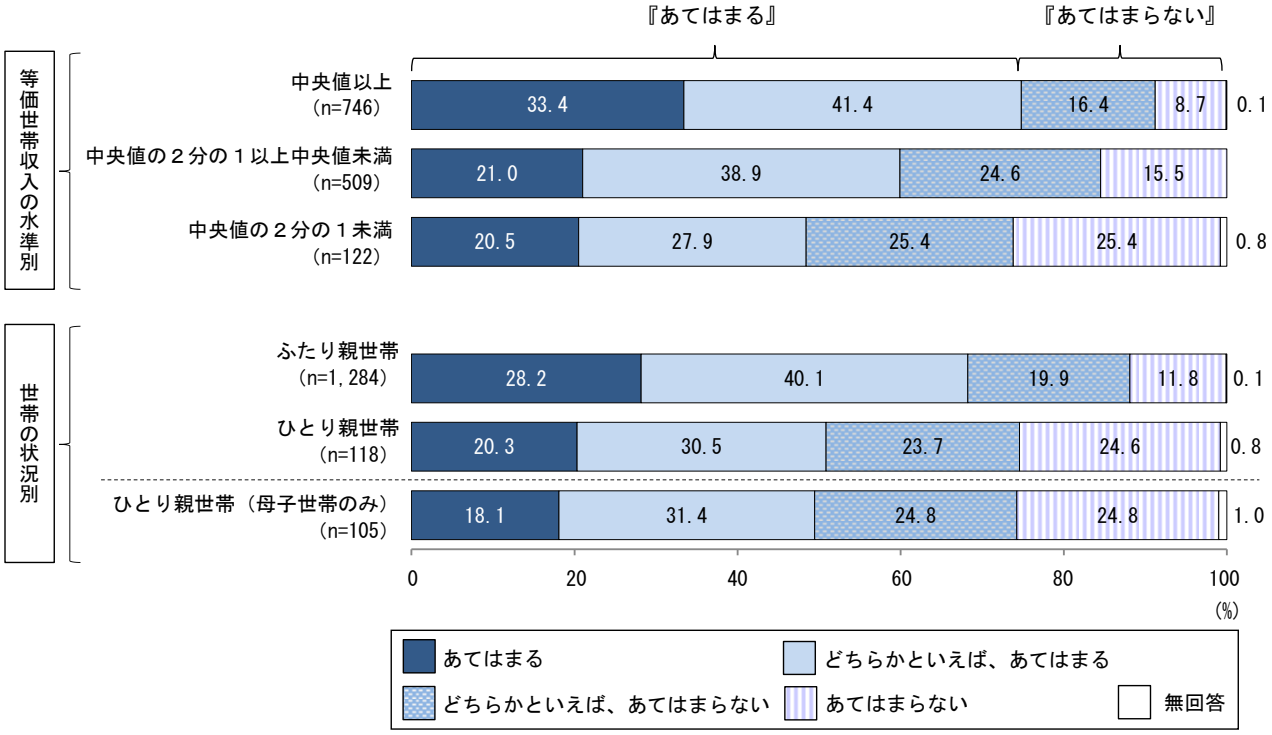
子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、小学５年生の保護者では、『あてはまる』が 66.7%、『あてはまらない』が 33.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、『あてはまる』が 62.8%、『あてはまらない』が 36.8%となっている。広島県と比較すると、『あてはまる』は、広島市（62.8%）が広島県（57.4%）を 5.4 ポイント上回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

＝ お子さんに本や新聞を読むように勧めている ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



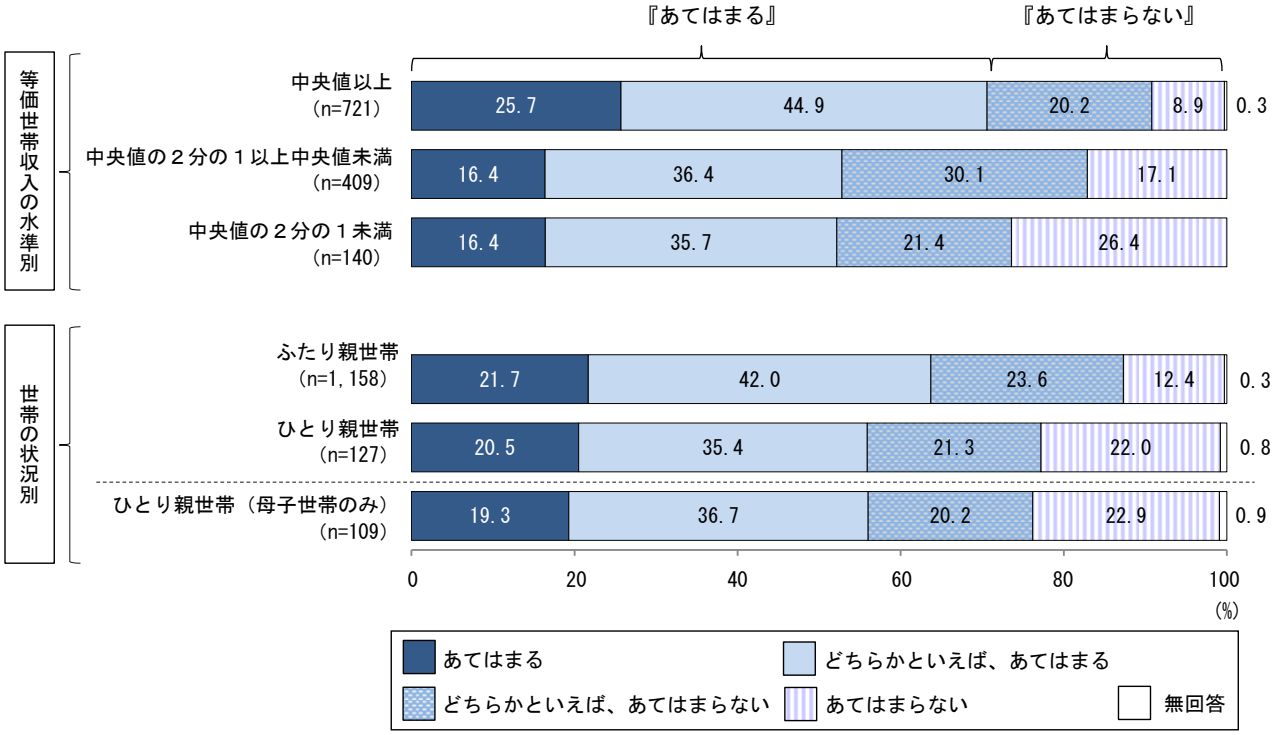
等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 25.1%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 40.1%、「中央値の２分の１未満」では 50.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 31.7%、「ひとり親世帯」では 48.3%、「母子世帯」では 49.6%となっている。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

＝ お子さんに本や新聞を読むように勧めている ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



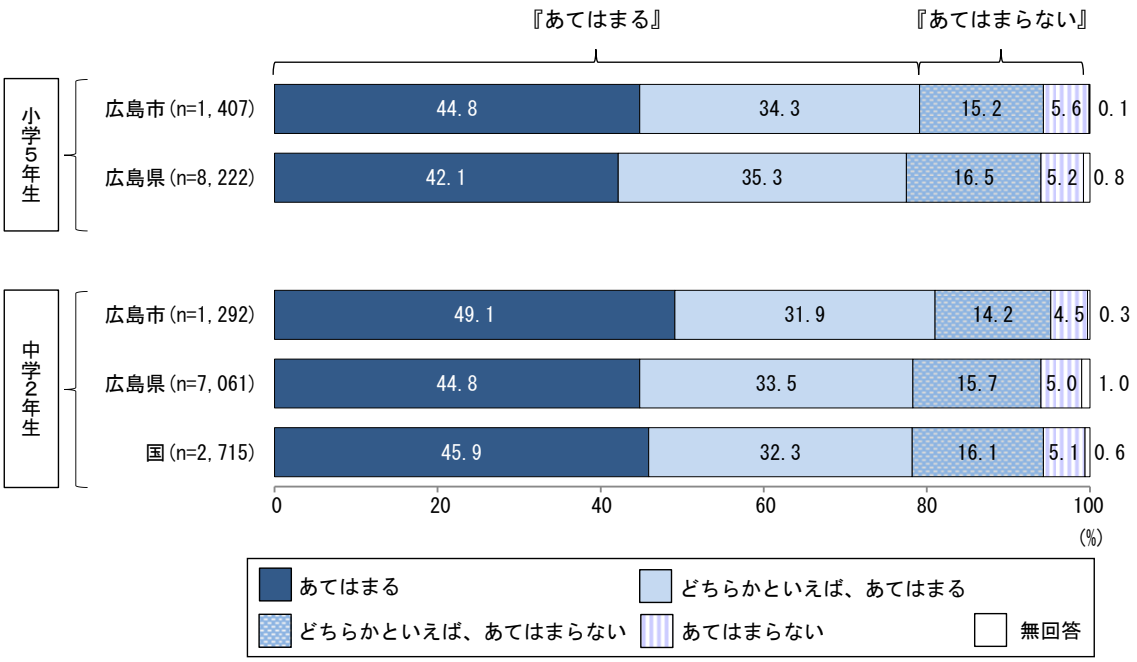
等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 29.1%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 47.2%、「中央値の２分の１未満」では 47.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 36.0%、「ひとり親世帯」では 43.3%、「母子世帯」では 43.1%となっている。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

＝ お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた ＝

＜全体＞



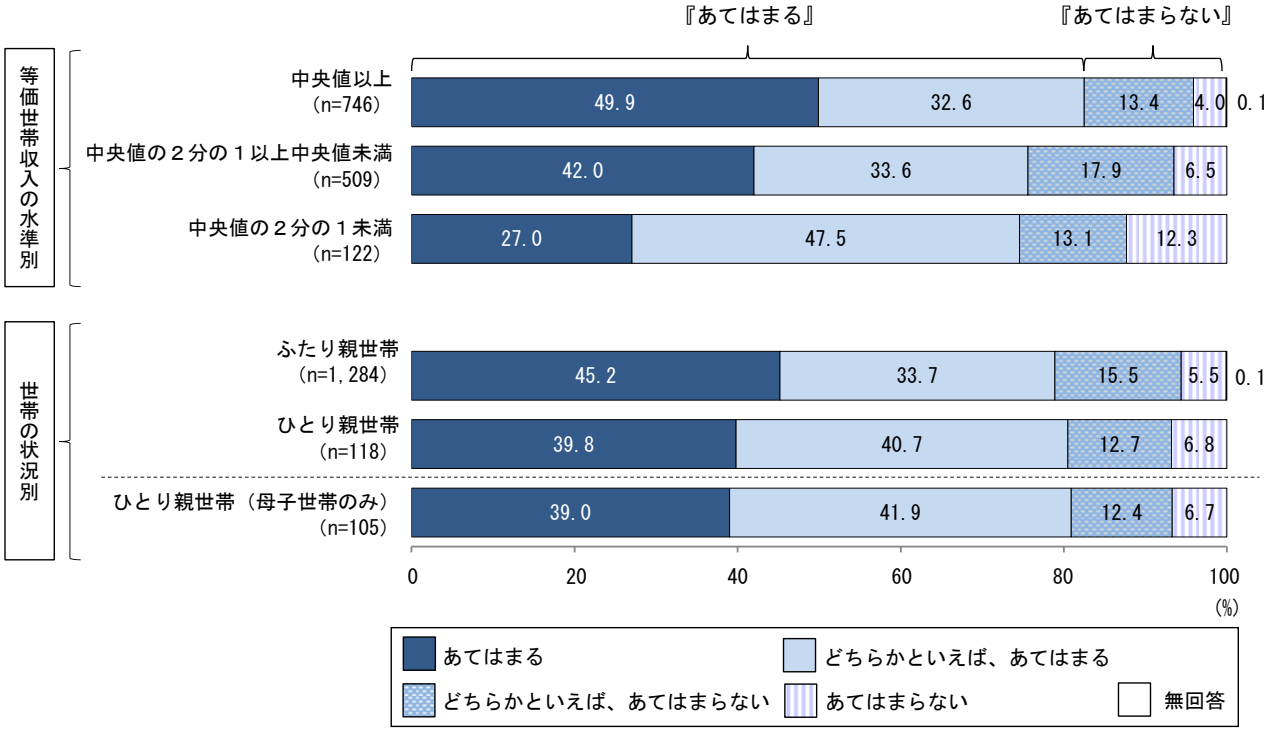
子どもが小さいころに絵本の読み聞かせをしていたかについて、小学５年生の保護者では、『あてはまる』が 79.1%、『あてはまらない』が 20.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、『あてはまる』が 81.0%、『あてはまらない』が 18.7%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

＝ お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



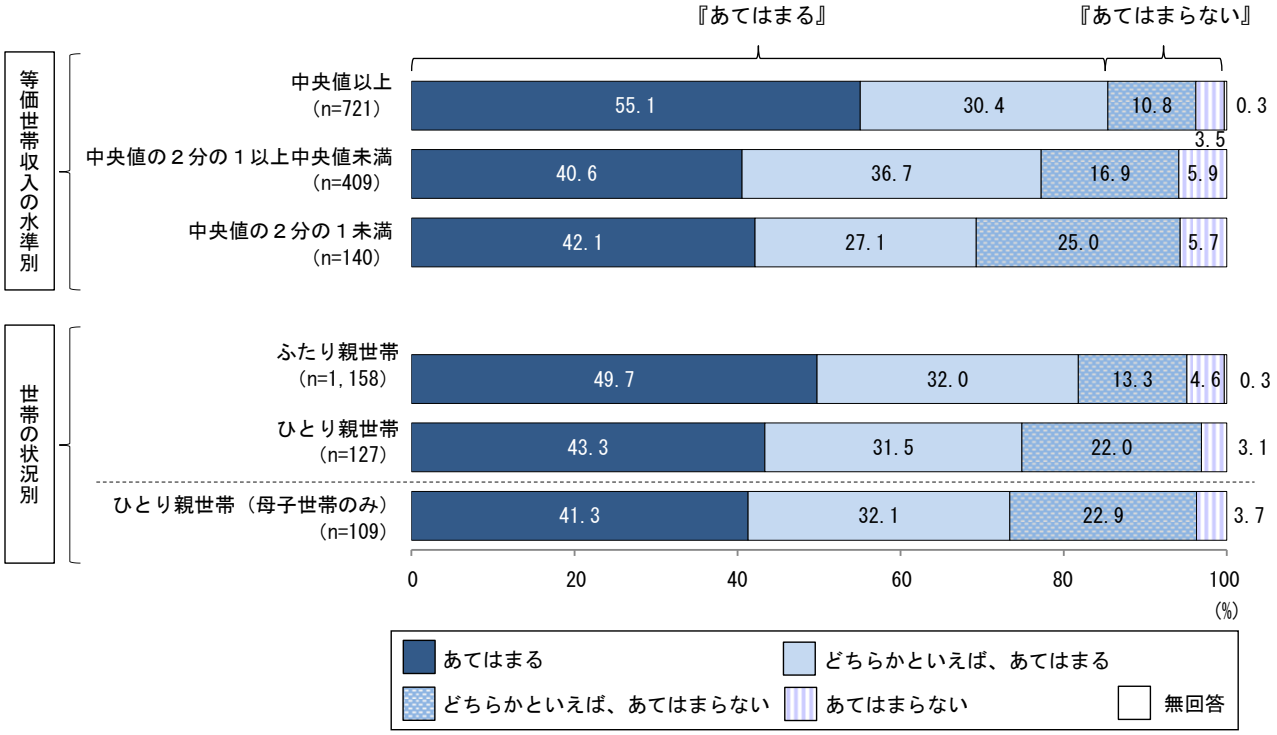
等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 17.4%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 24.4%、「中央値の２分の１未満」では 25.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 21.0%、「ひとり親世帯」では 19.5%、「母子世帯」では 19.1%となっている。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

＝ お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



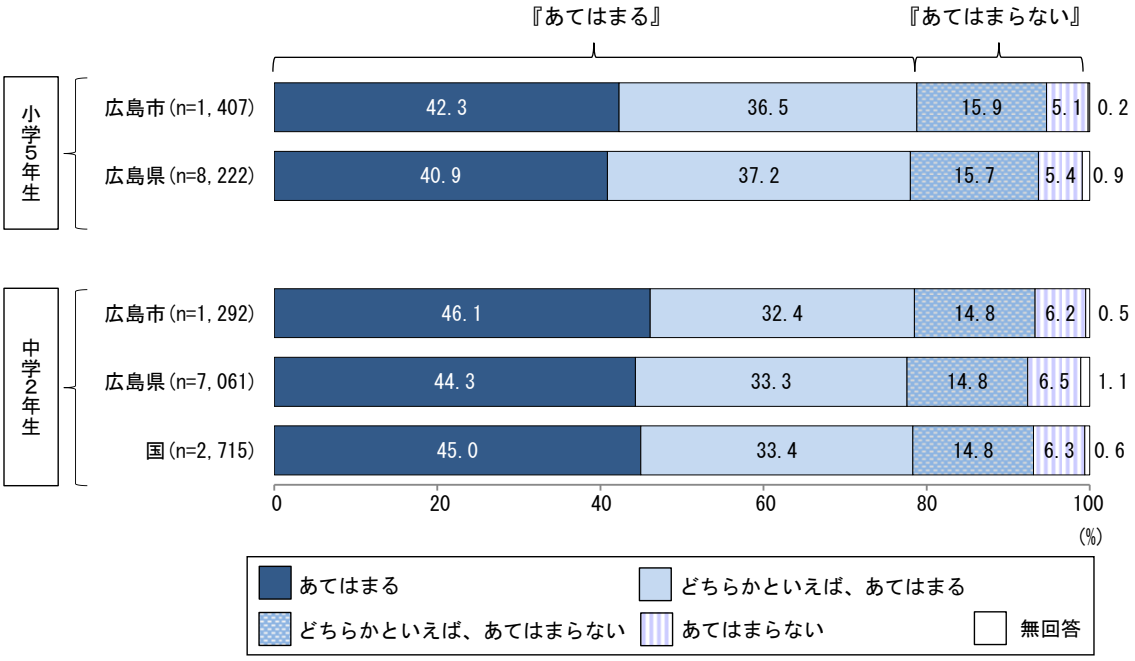
等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 14.3%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 22.8%、「中央値の２分の１未満」では 30.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 17.9%、「ひとり親世帯」では 25.1%、「母子世帯」では 26.6%となっている。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

＝ お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる ＝

＜全体＞



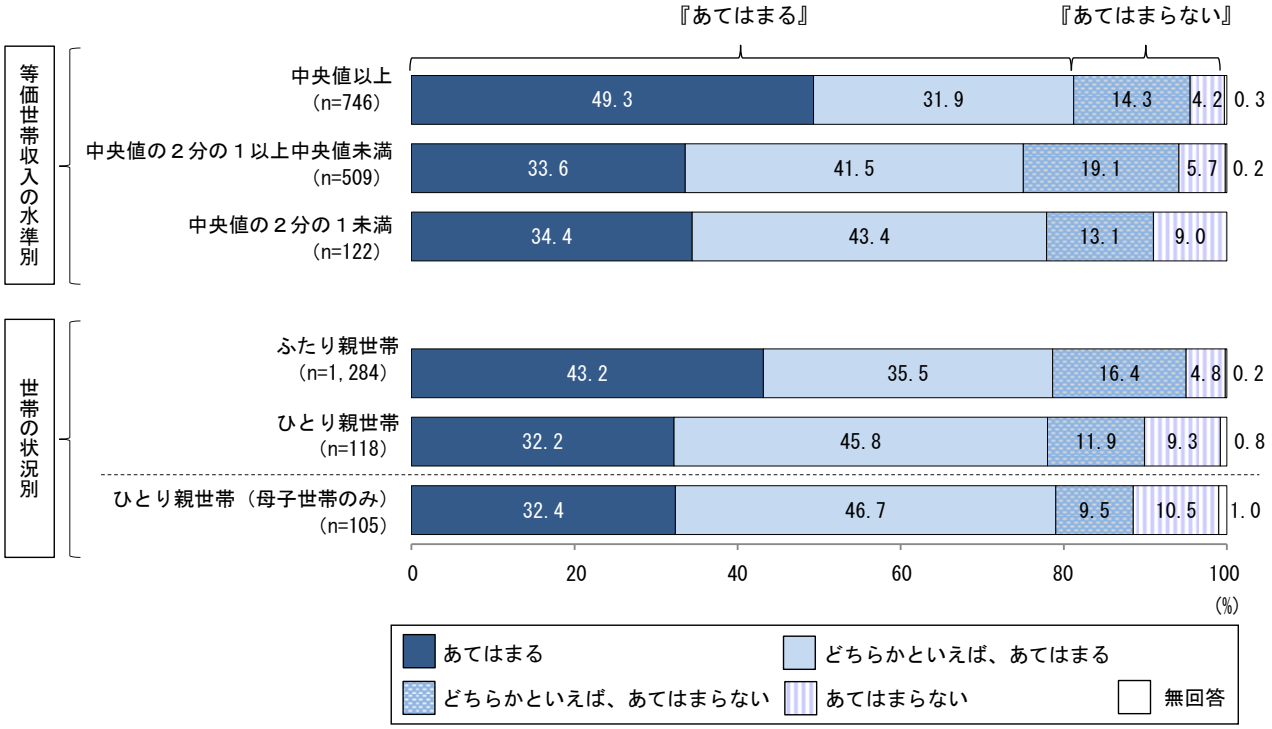
子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、小学５年生の保護者では、『あてはまる』が 78.8%、『あてはまらない』が 21.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、『あてはまる』が 78.5%、『あてはまらない』が 21.0%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

＝ お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



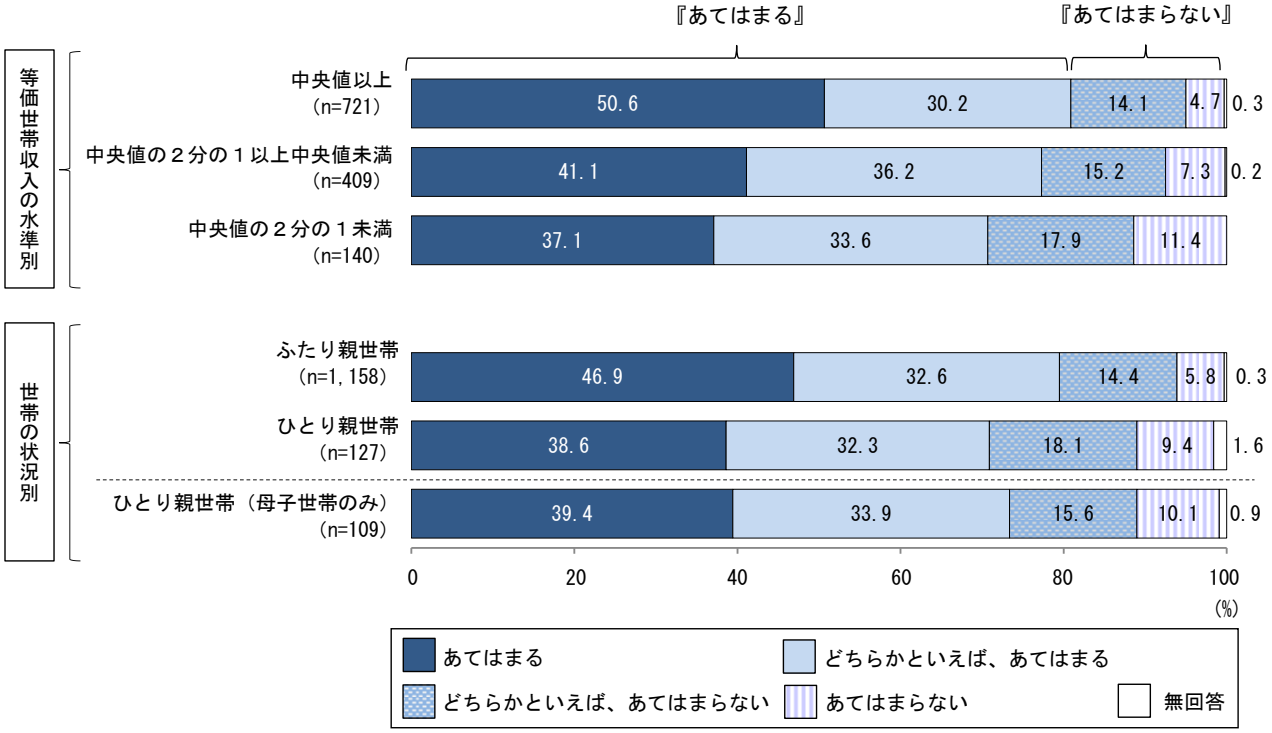
等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 18.5%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 24.8%、「中央値の２分の１未満」では 22.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 21.2%、「ひとり親世帯」では 21.2%、「母子世帯」では 20.0%となっている。

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

＝ お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では 18.8%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 22.5%、「中央値の２分の１未満」では 29.3%となっている。

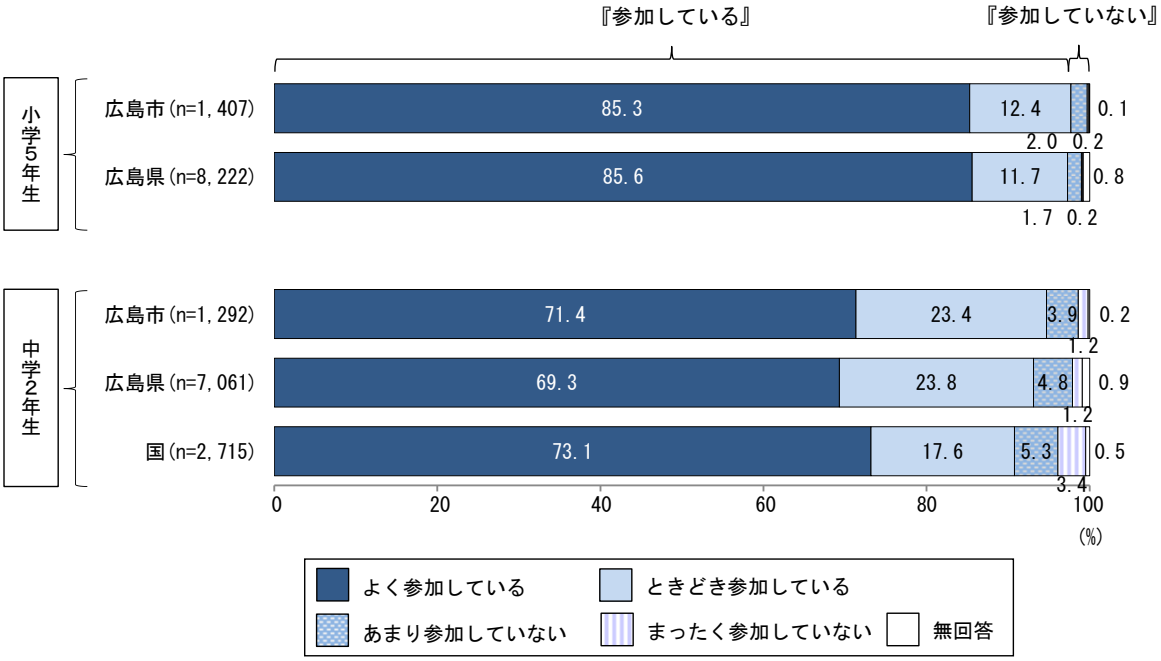
世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では 20.2%、「ひとり親世帯」では 27.5%、「母子世帯」では 25.7%となっている。

（5）学校との関わり・参加

保護者票問 15.　あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

＝ 授業参観や運動会などの学校行事への参加 ＝

＜全体＞



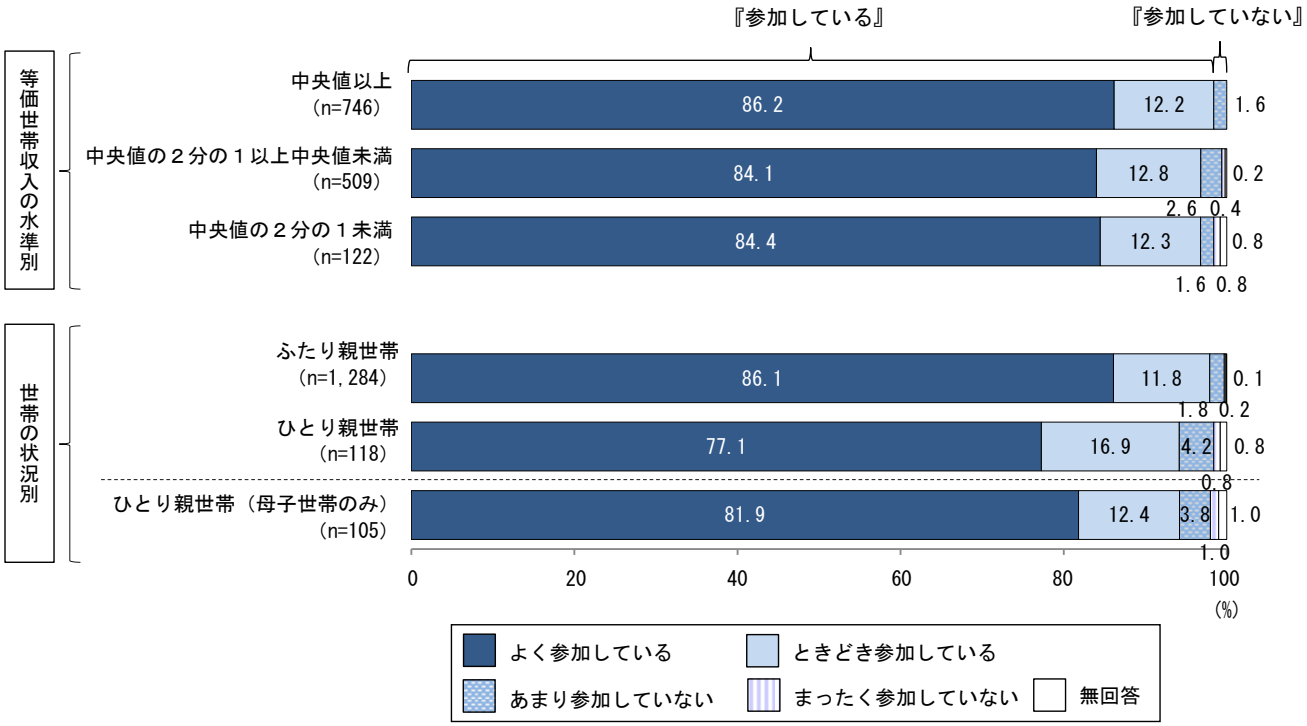
授業参観や運動会などの学校行事への参加について、小学５年生の保護者では、『参加している（「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合）』が 97.7%、『参加していない（「あまり参加していない」と「まったく参加していない」を合わせた割合）』が 2.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、『参加している』が 94.8%、『参加していない』が 5.1%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 15.　あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

＝ 授業参観や運動会などの学校行事への参加 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



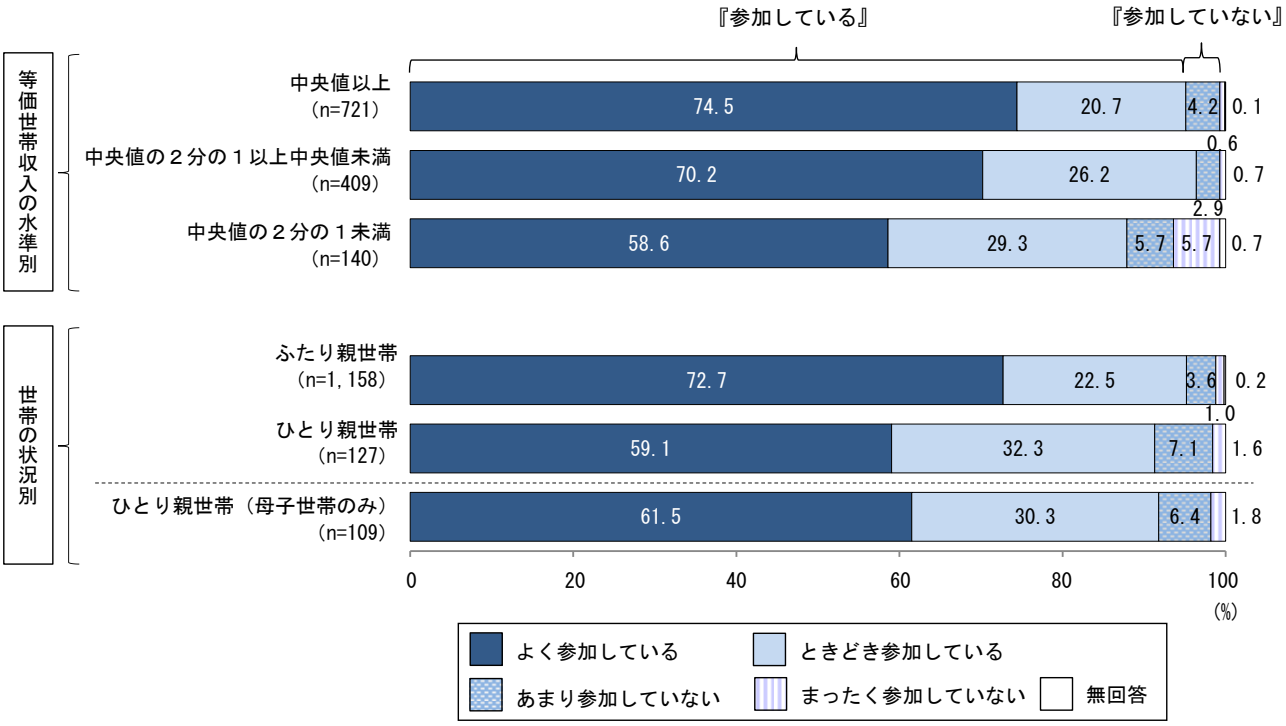
等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では 98.4%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 96.9%、「中央値の２分の１未満」では 96.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では 97.9%、「ひとり親世帯」では 94.0%、「母子世帯」では 94.3%となっている。

保護者票問 15.　あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

＝ 授業参観や運動会などの学校行事への参加 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



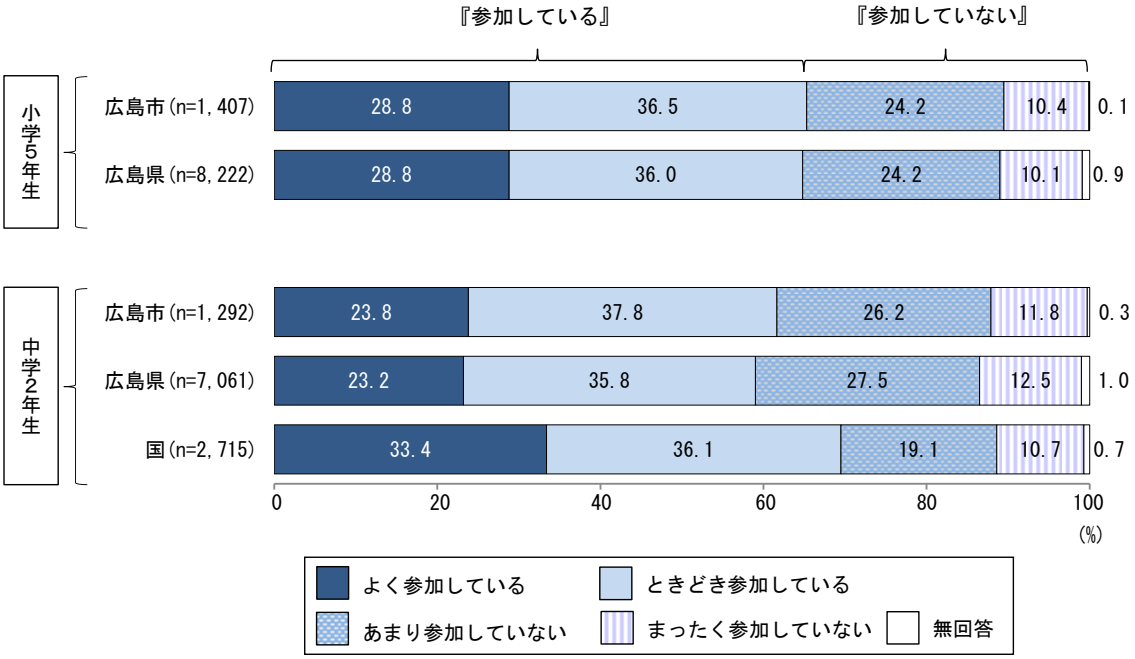
等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では 95.2%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 96.4%、「中央値の２分の１未満」では 87.9%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では 95.2%、「ひとり親世帯」では 91.4%、「母子世帯」では 91.8%となっている。

保護者票問 15.　あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

＝　ＰＴＡ活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加　＝

＜全体＞



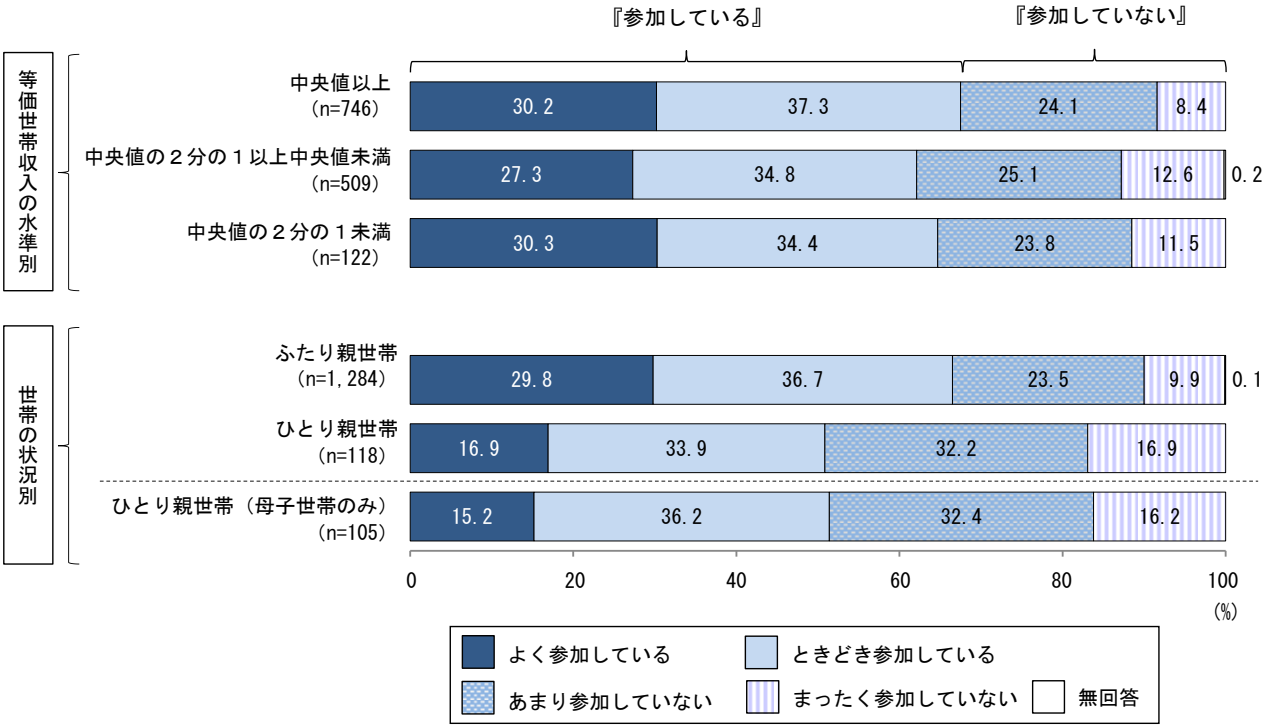
ＰＴＡ活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、小学５年生の保護者では、『参加している』が 65.3%、『参加していない』が 34.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、『参加している』が 61.6%、『参加していない』が 38.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、『参加していない』は、広島市(38.0%)が国（29.8%）を 8.2 ポイント上回っている。

保護者票問 15.　あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

＝　ＰＴＡ活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加　＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



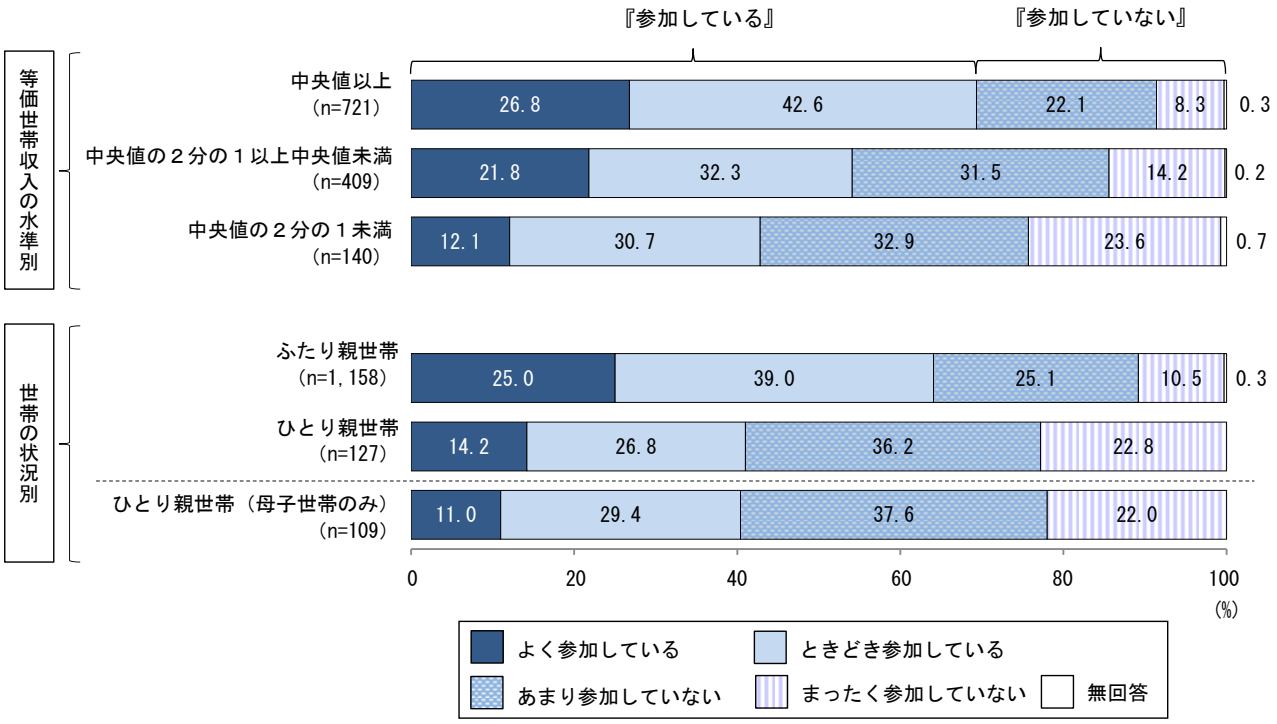
等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では 67.5%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 62.1%、「中央値の２分の１未満」では 64.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では 66.5%、「ひとり親世帯」では 50.8%、「母子世帯」では 51.4%となっている。

保護者票問 15.　あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

＝　ＰＴＡ活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加　＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



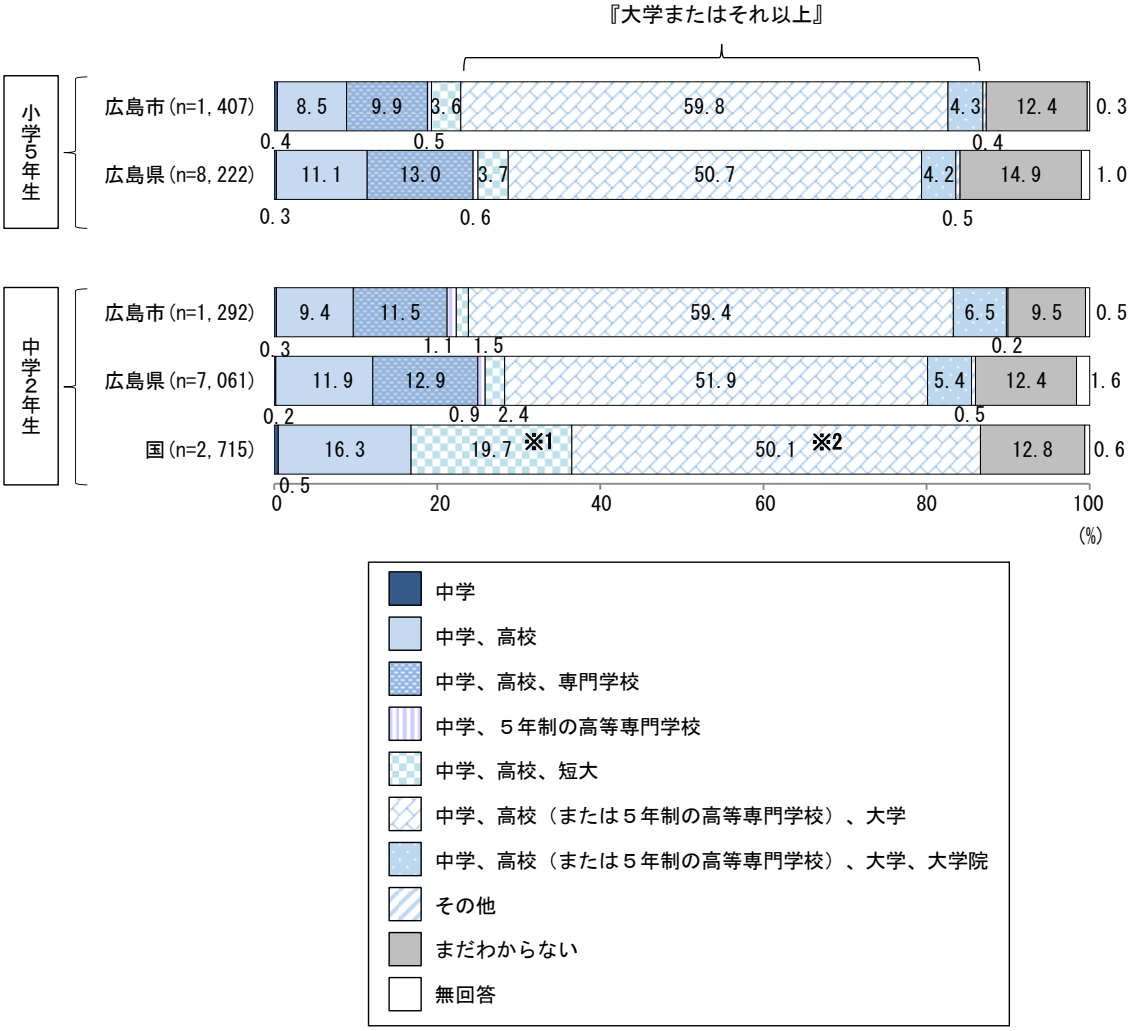
等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では 69.4%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 54.1%、「中央値の２分の１未満」では 42.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では 64.0%、「ひとり親世帯」では 41.0%、「母子世帯」では 40.4%となっている。

（6）進学展望

保護者票問 16.　お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

＜全体＞



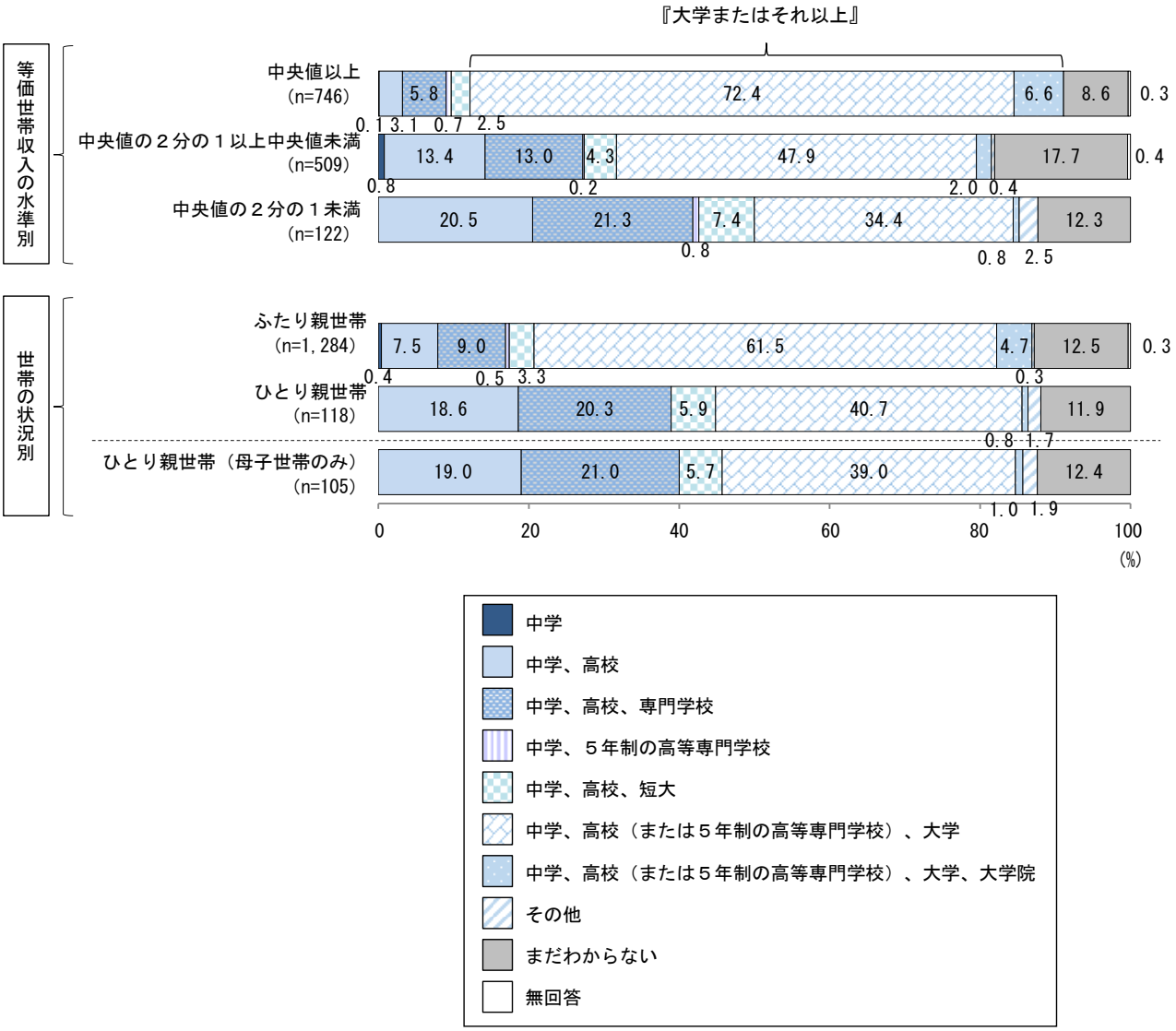
※1：国調査では「短大・高専・専門学校まで」という選択肢になっている
※2：国調査では「大学またはそれ以上」という選択肢になっている

子どもが将来どの学校に進学すると思うかについて、小学５年生の保護者では、「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学」が 59.8%と最も高く、次いで「まだわからない」が 12.4%、「中学、高校、専門学校」が 9.9%などの順となっている。広島県と比較すると、『大学またはそれ以上（「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学」と「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学、大学院」を合わせた割合）』は、広島市（64.1%）が広島県（54.9%）を 9.2 ポイント上回っている。

中学２年生の保護者では、「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学」が 59.4%と最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」が 11.5%、「まだわからない」が 9.5%などの順となっている。広島県と比較すると、『大学またはそれ以上』は、広島市（65.9%）が広島県（57.3%）を 8.6 ポイント上回っている。国と比較すると、『大学またはそれ以上』は、広島市（65.9%）が国（50.1%）を 15.8 ポイント上回っている。

保護者票問 16.　お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞

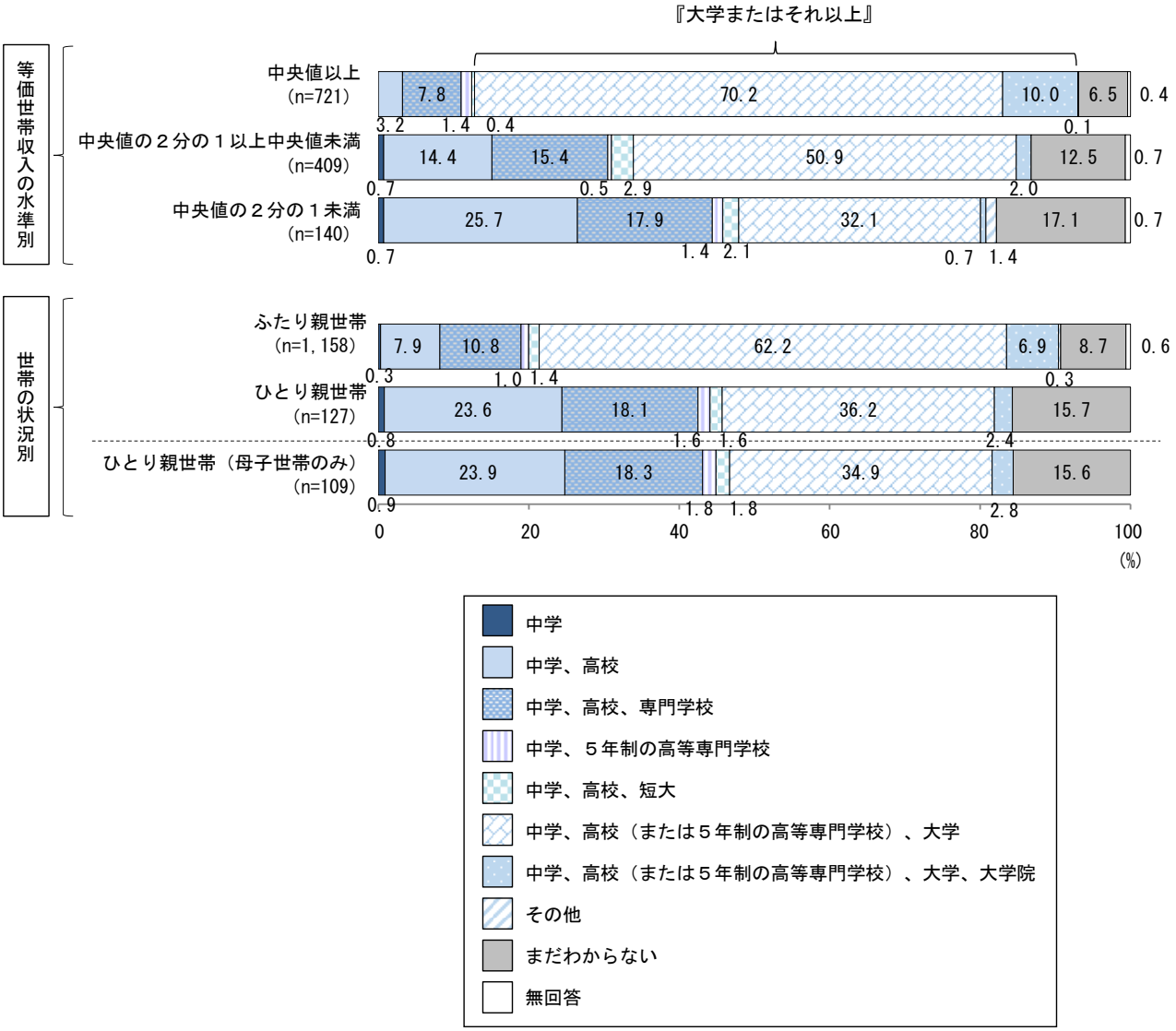


等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では 79.0%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 49.9%、「中央値の２分の１未満」では 35.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では 66.2%、「ひとり親世帯」では 41.5%、「母子世帯」では 40.0%となっている。

保護者票問 16.　お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞

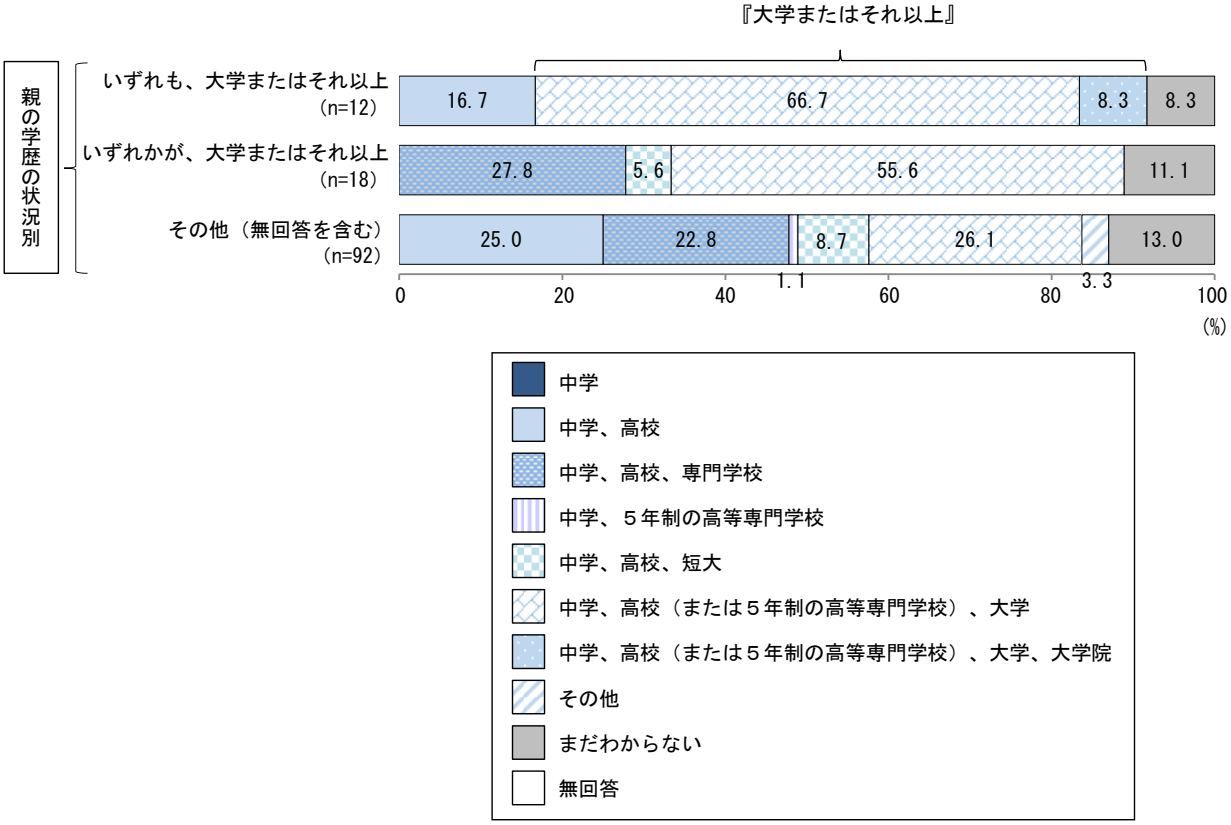


等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では 80.2%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 52.9%、「中央値の２分の１未満」では 32.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では 69.1%、「ひとり親世帯」では 38.6%、「母子世帯」では 37.7%となっている。

保護者票問 16.　お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

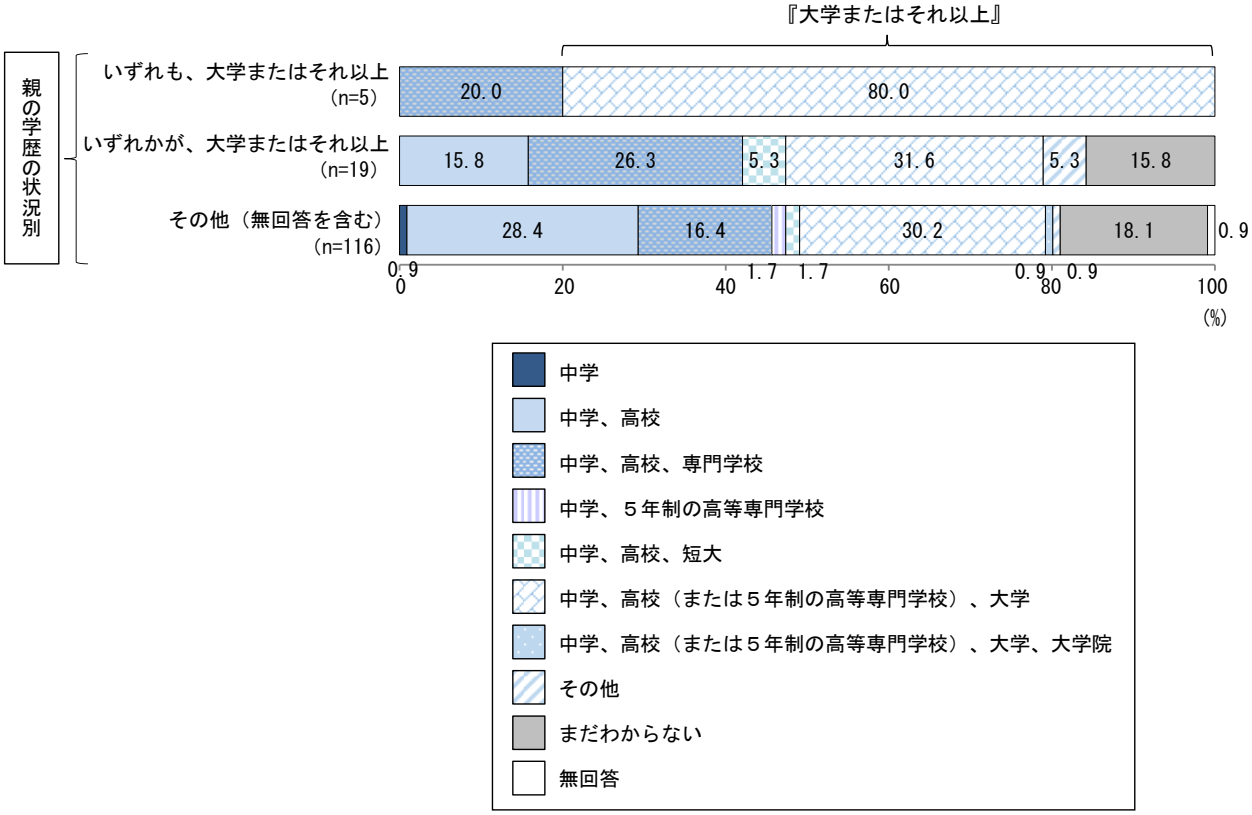
＜親の学歴状況別（等価世帯収入が「中央値の２分の１未満」の場合）（小学５年生の保護者）＞



親の学歴状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「(母親、父親）いずれも、大学またはそれ以上」では 75.0%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では 55.6%となっている。

保護者票問 16.　お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

＜親の学歴状況別（等価世帯収入が「中央値の２分の１未満」の場合）（中学２年生の保護者）＞

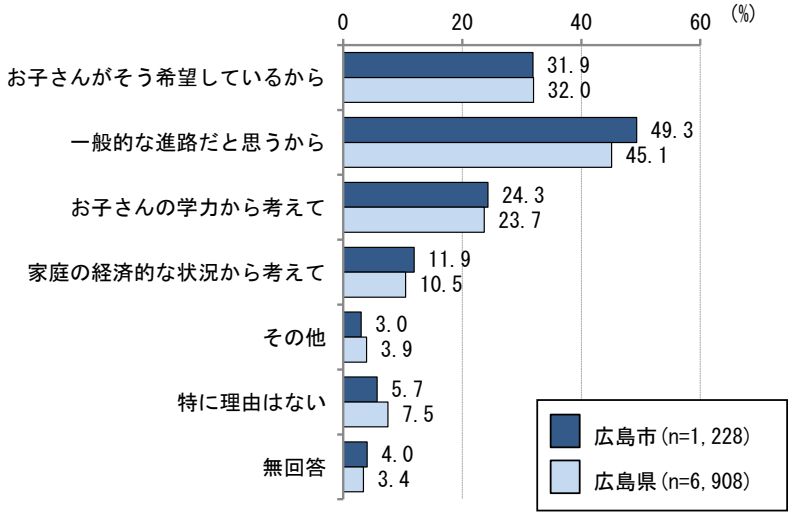


親の学歴状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「(母親、父親）いずれも、大学またはそれ以上」では 80.0%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では 31.6%となっている。

※問 16 で「1～8（「9 まだわからない」以外）」と答えた方に

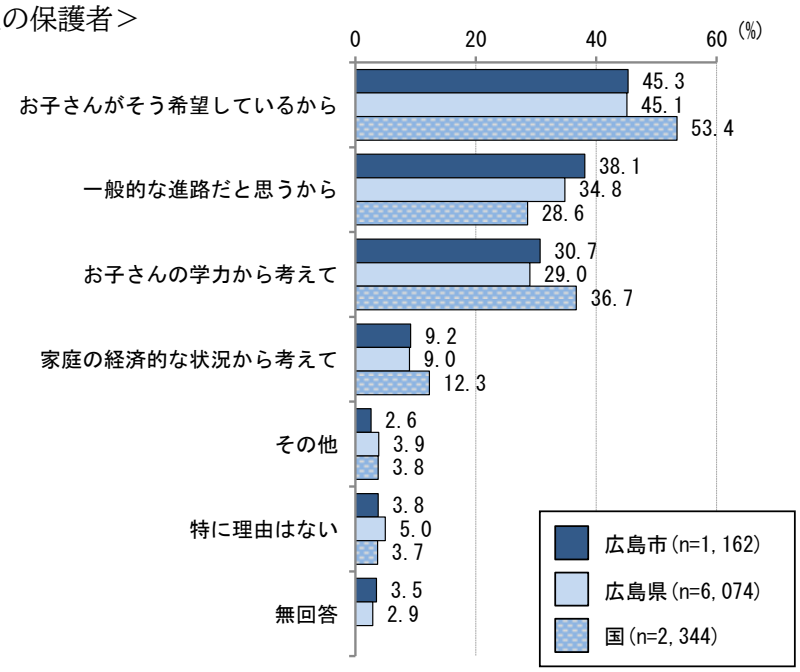
保護者票問 17. その理由は何ですか。（複数回答）

＜小学５年生の保護者＞



子どもの進学先に関する希望・展望について保護者がそう考える理由は、小学５年生の保護者では、「一般的な進路だと思うから」が 49.3%と最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」が 31.9%、「お子さんの学力から考えて」が 24.3%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

＜中学２年生の保護者＞

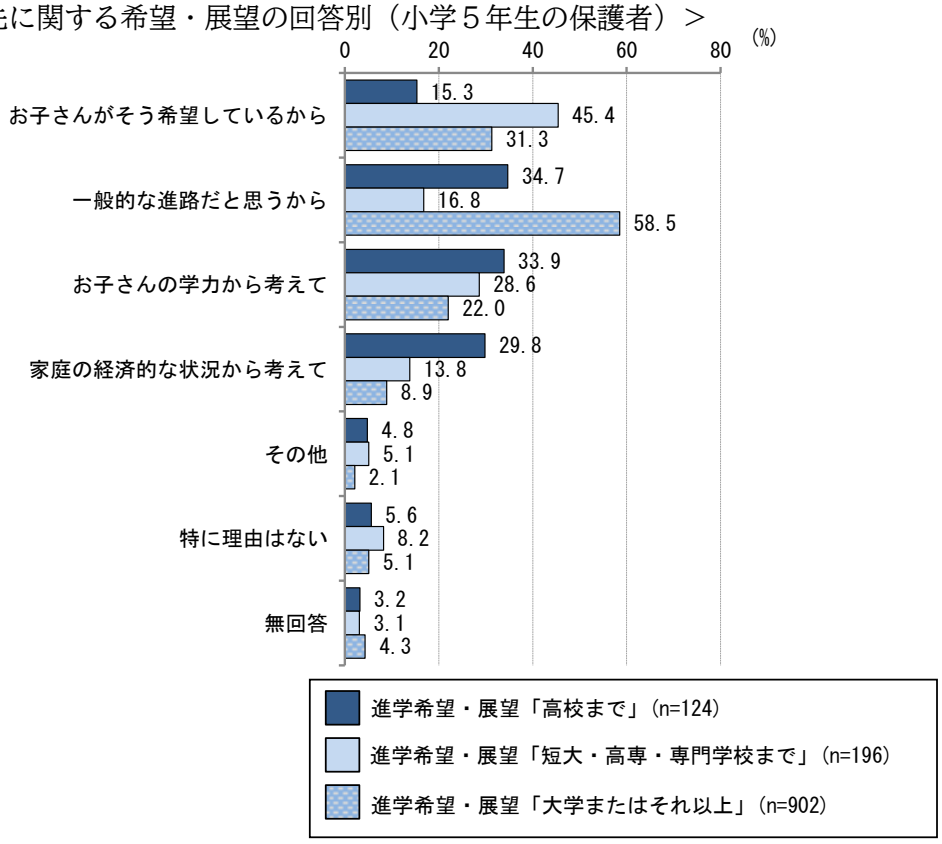


子どもの進学先に関する希望・展望に関して保護者がそう考える理由は、中学２年生の保護者では、「お子さんがそう希望しているから」が 45.3%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」が 38.1%、「お子さんの学力から考えて」が 30.7%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「一般的な進路だと思うから」は、広島市(38.1%)が国(28.6%)を 9.5 ポイント上回っている。

※問 16 で「1～8（「9 まだわからない」以外）」と答えた方に

保護者票問 17. その理由は何ですか。（複数回答）

＜子どもの進学先に関する希望・展望の回答別（小学５年生の保護者）＞

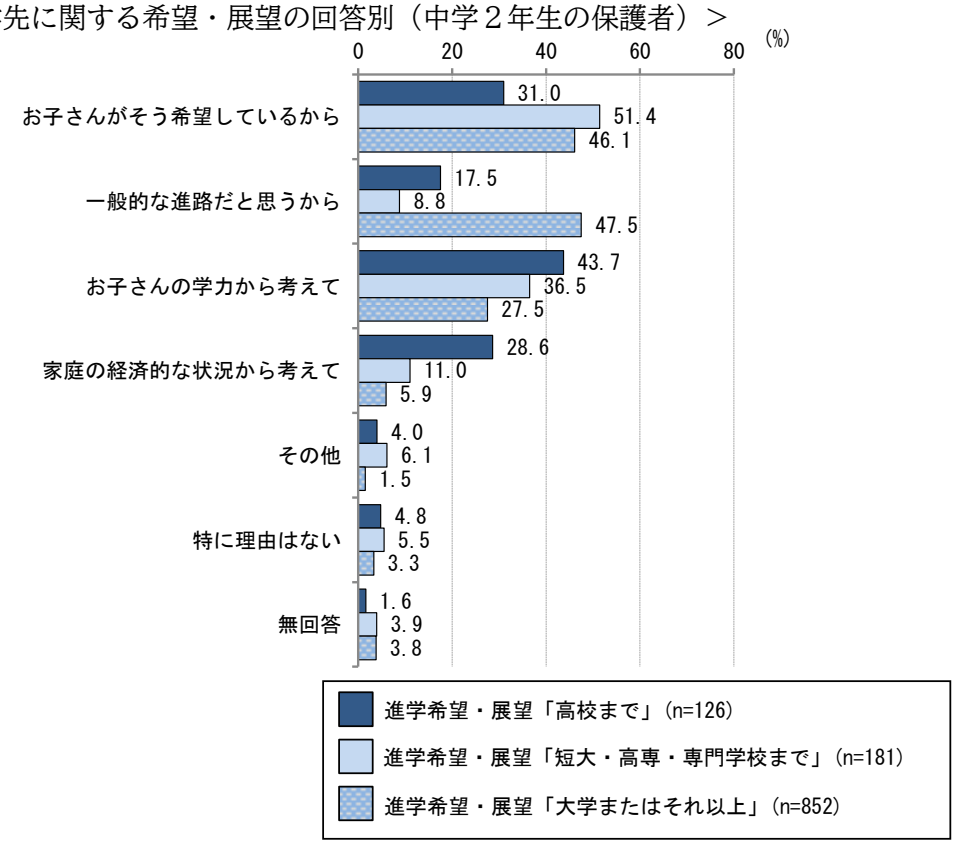


子どもの進学先に関する希望・展望の回答別にみると、『高校まで』では、「お子さんの学力から考えて」が 33.9%、「家庭の経済的な状況から考えて」が 29.8%となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。

※問 16 で「1～8（「9 まだわからない」以外）」と答えた方に

保護者票問 17. その理由は何ですか。（複数回答）

＜子どもの進学先に関する希望・展望の回答別（中学２年生の保護者）＞

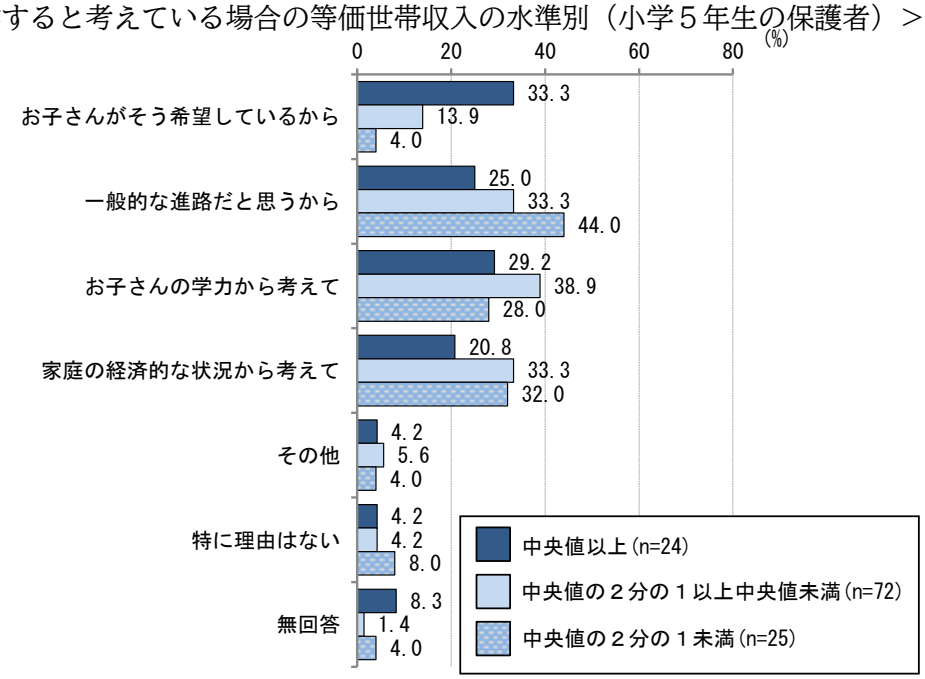


子どもの進学先に関する希望・展望の回答別にみると、『高校まで』では、「お子さんの学力から考えて」が 43.7%、「家庭の経済的な状況から考えて」が 28.6%となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。

※問 16 で「1～8（「9 まだわからない」以外）」と答えた方に

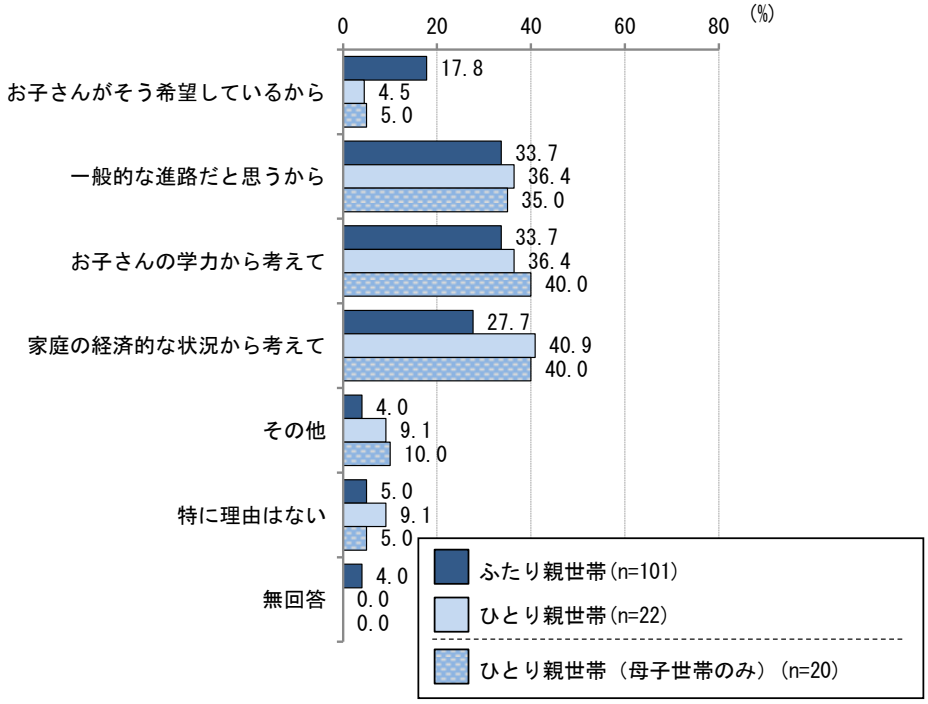
保護者票問 17. その理由は何ですか。（複数回答）

＜高校まで進学すると考えている場合の等価世帯収入の水準別（小学５年生の保護者）＞



『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「一般的な進路だと思うから」が 44.0%と他の世帯と比べて高くなっている。

＜高校まで進学すると考えている場合の世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞

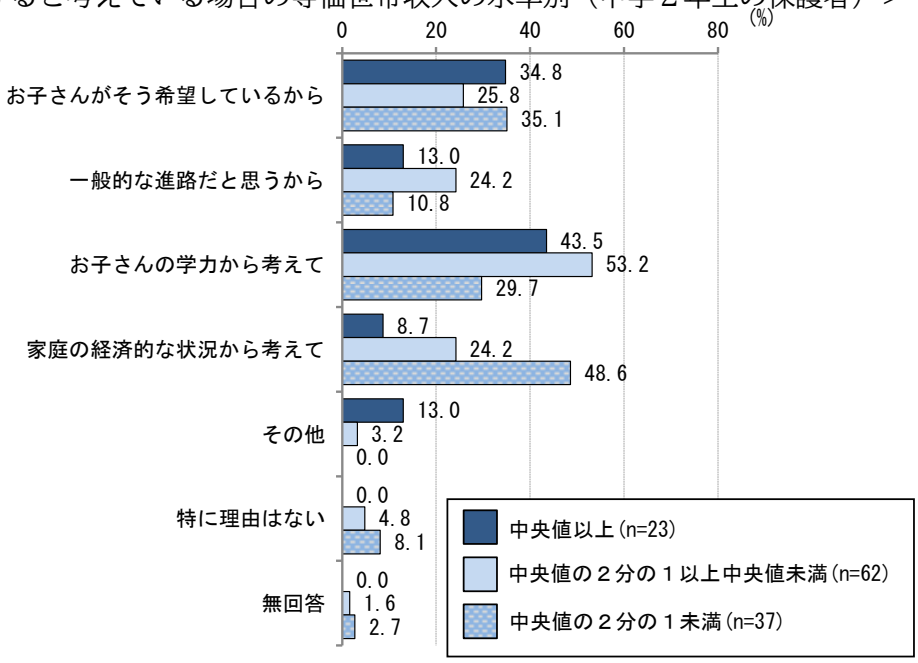


『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家庭の経済的な状況から考えて」が 40.9%と高くなっている。

※問 16 で「1～8（「9 まだわからない」以外）」と答えた方に

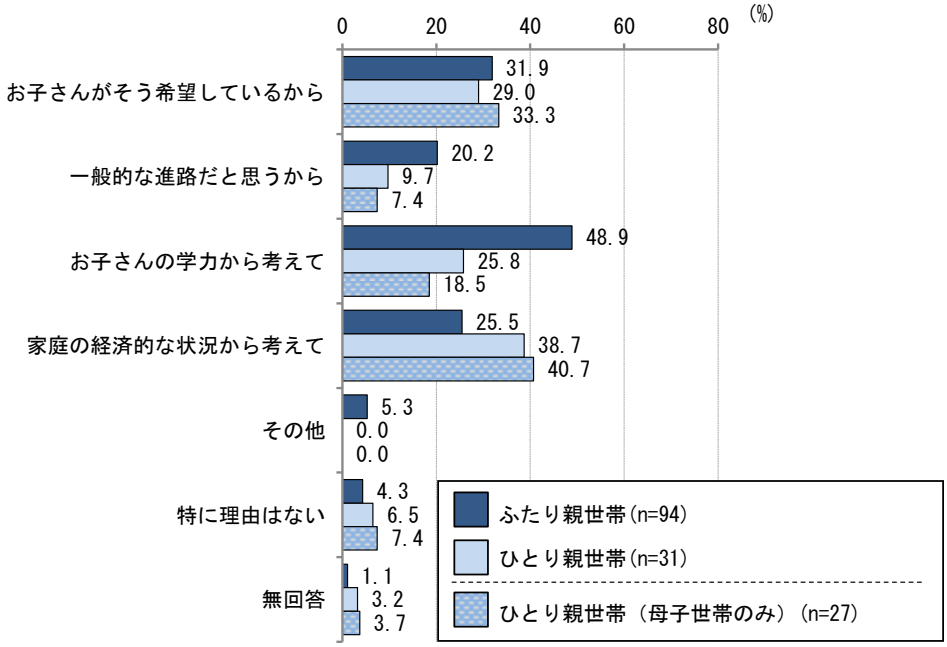
保護者票問 17. その理由は何ですか。（複数回答）

＜高校まで進学すると考えている場合の等価世帯収入の水準別（中学２年生の保護者）＞



『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「家庭の経済的な状況から考えて」が 48.6%と他の世帯と比べて高くなっている。

＜高校まで進学すると考えている場合の世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



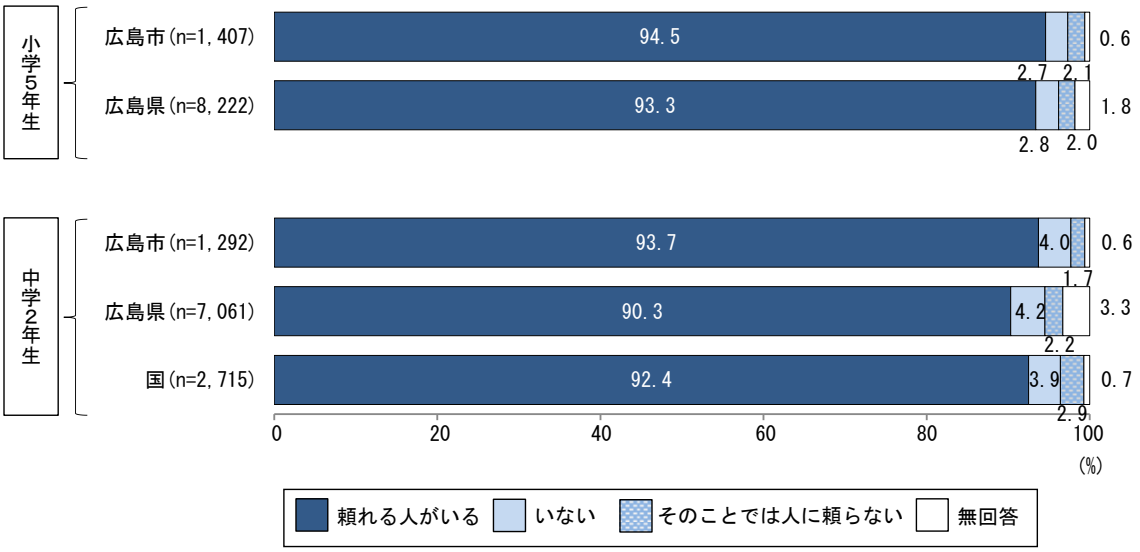
『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家庭の経済的な状況から考えて」が 38.7%と高くなっている。

（7）頼れる人の有無・相手

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 子育てに関する相談 ＝

＜全体＞



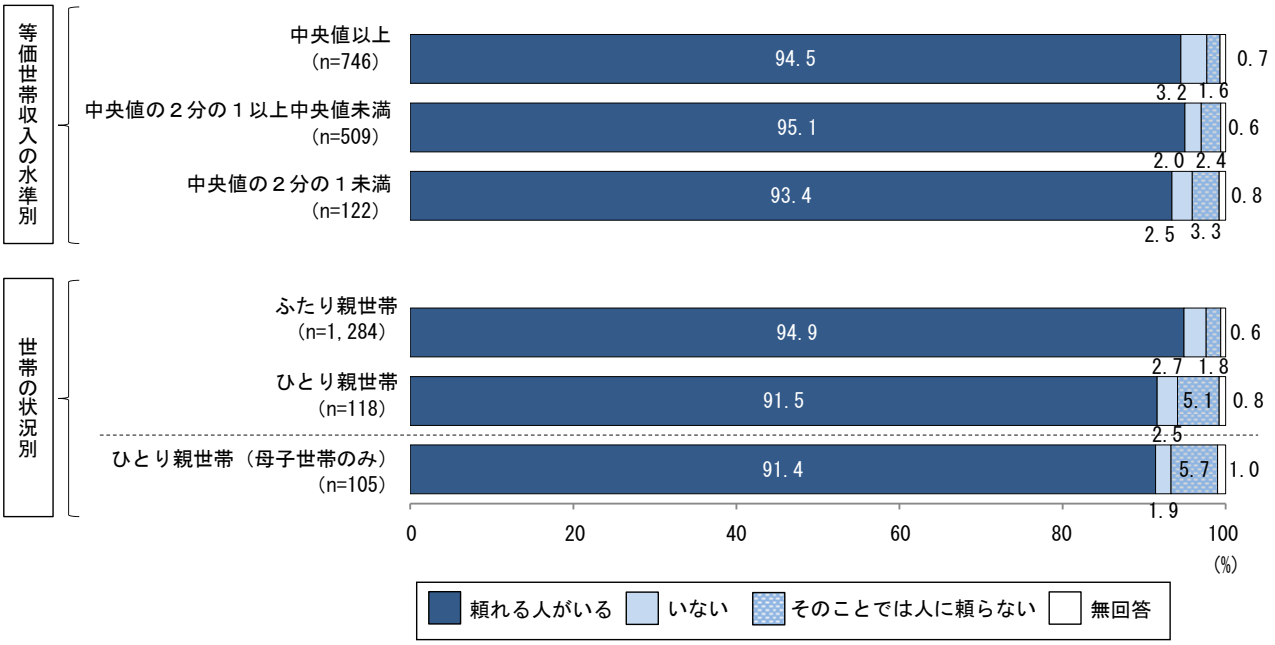
子育てに関する相談について、小学５年生の保護者では、「頼れる人がいる」が 94.5%、「いない」が 2.7%、「そのことでは人に頼らない」が 2.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、「頼れる人がいる」が 93.7%、「いない」が 4.0%、「そのことでは人に頼らない」が 1.7%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 子育てに関する相談 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



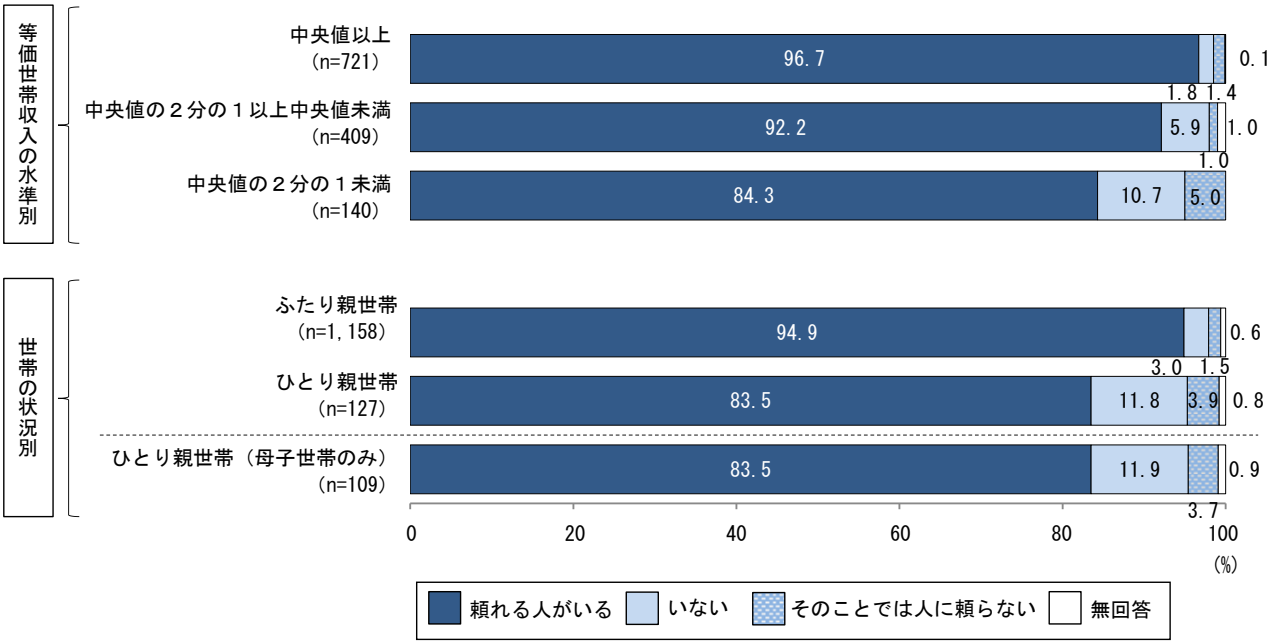
等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 3.2%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 2.0%、「中央値の２分の１未満」では 2.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 2.7%、「ひとり親世帯」では 2.5%、「母子世帯」では 1.9%となっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 子育てに関する相談 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 1.8%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 5.9%、「中央値の２分の１未満」では 10.7%となっている。

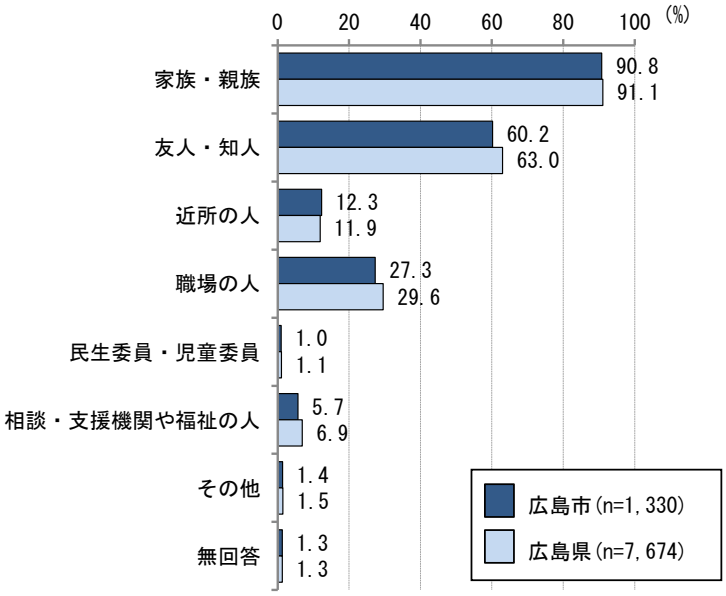
世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 3.0%、「ひとり親世帯」では 11.8%、「母子世帯」では 11.9%となっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 子育てに関する相談 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜小学５年生の保護者＞



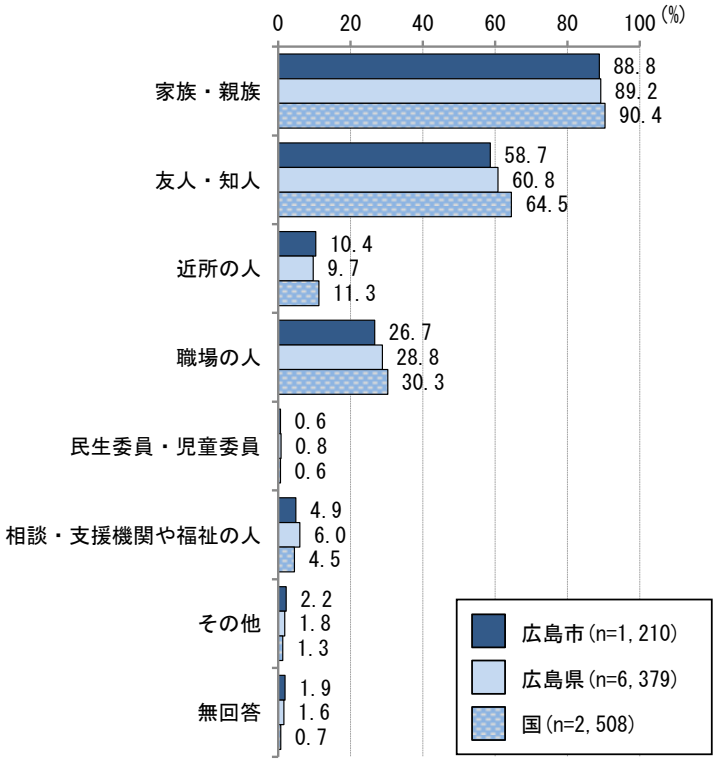
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、小学５年生の保護者では、「家族・親族」が 90.8%と最も高く、次いで「友人・知人」が 60.2%、「職場の人」が 27.3%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 子育てに関する相談 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜中学２年生の保護者＞



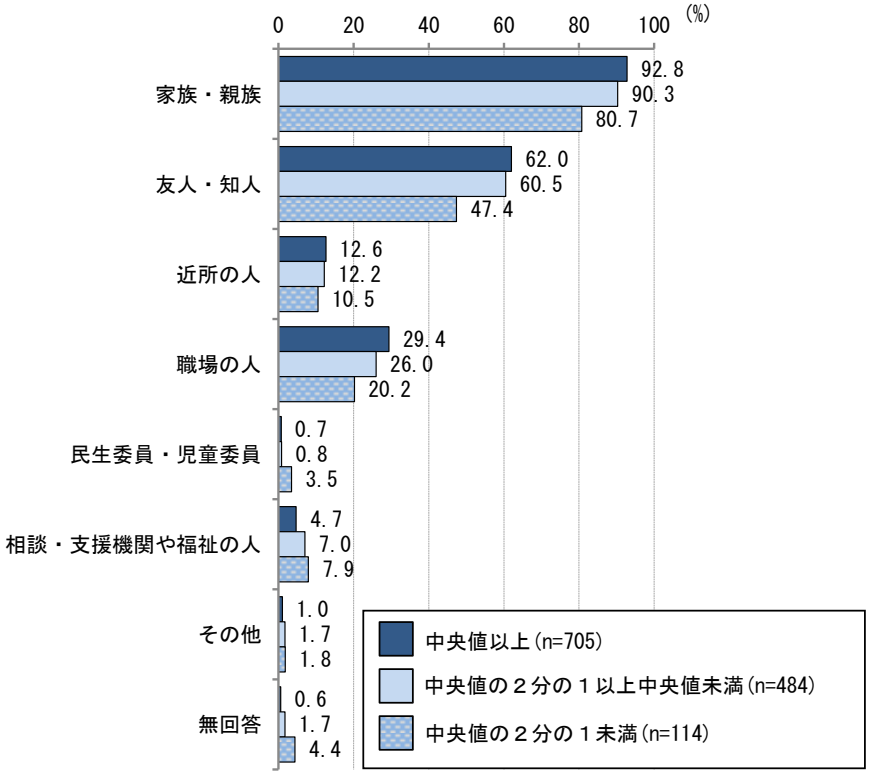
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、中学２年生の保護者では、「家族・親族」が 88.8%と最も高く、次いで「友人・知人」が 58.7%、「職場の人」が 26.7%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「友人・知人」は、広島市（58.7%）が国（64.5%）を 5.8 ポイント下回っている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 子育てに関する相談 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜等価世帯収入の水準別（小学５年生の保護者）＞



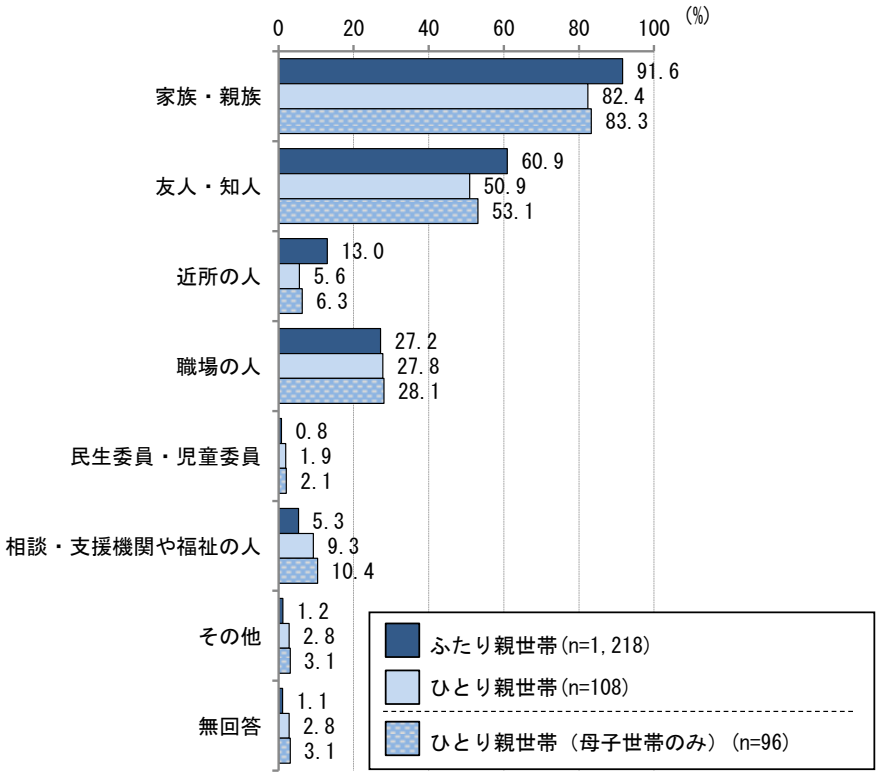
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「家族・親族」が 80.7%、「友人・知人」が 47.4%、「職場の人」が 20.2%と他の世帯と比べて低くなっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 子育てに関する相談 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



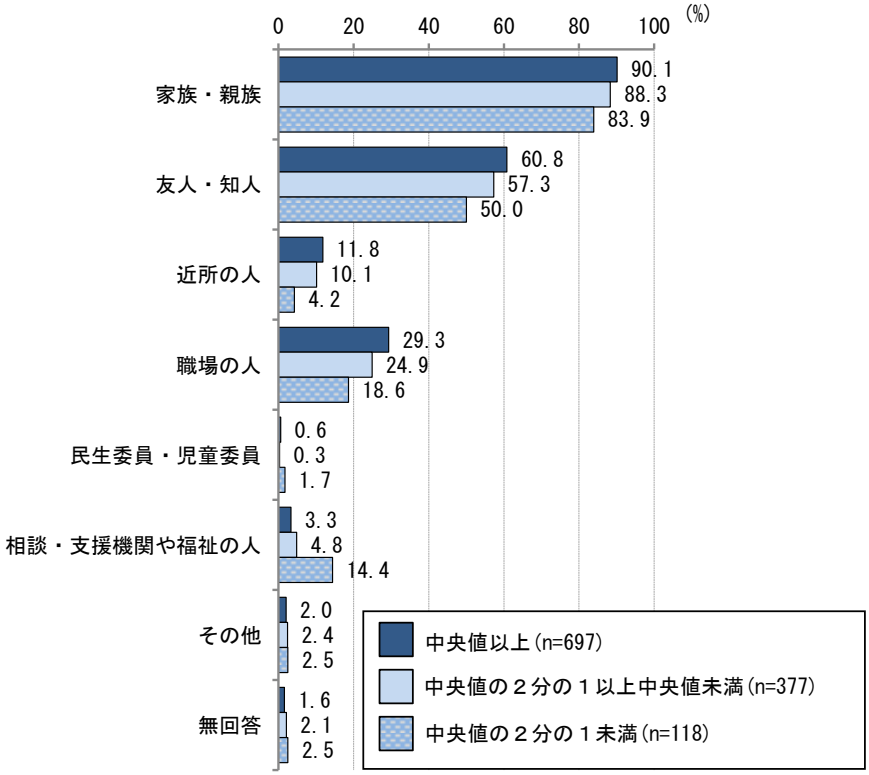
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族・親族」が 82.4%、「友人・知人」が 50.9%、「近所の人」が 5.6%と低くなっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 子育てに関する相談 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜等価世帯収入の水準別（中学２年生の保護者）＞



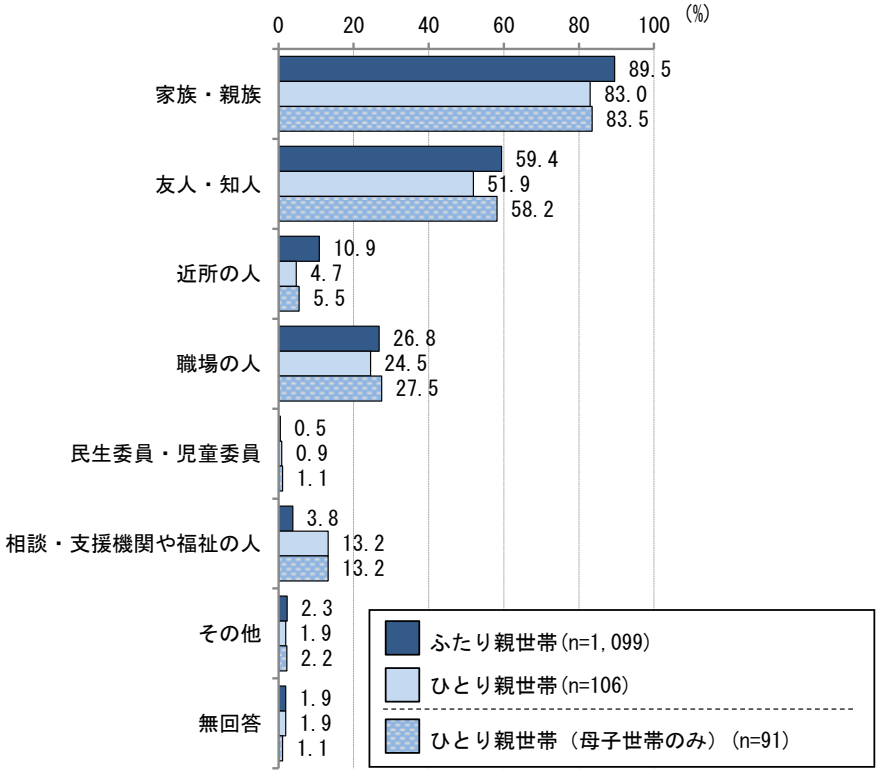
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「家族・親族」が 83.9%、「友人・知人」が 50.0%、「近所の人」が 4.2%、「職場の人」が 18.6%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「相談・支援機関や福祉の人」は 14.4%と高くなっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 子育てに関する相談 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

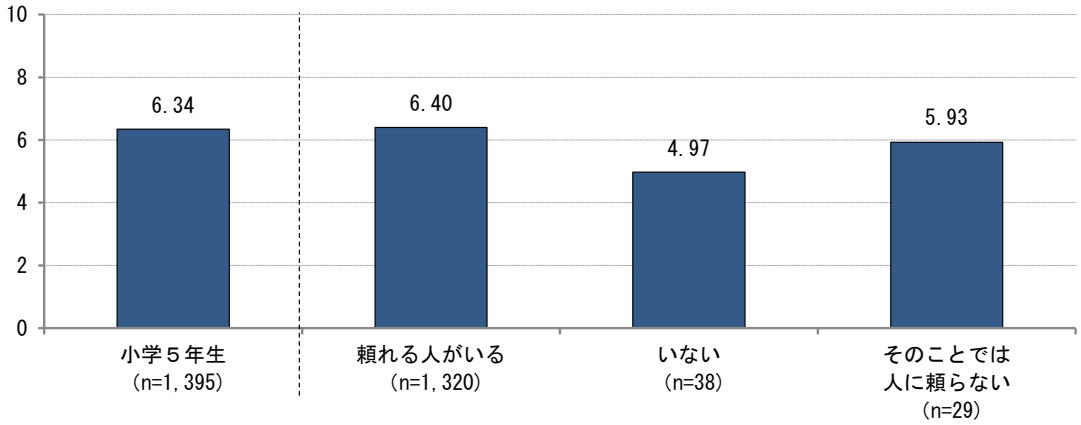
＜世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて「家族・親族」が 83.0%、「友人・知人」が 51.9%、「近所の人」が 4.7%と低くなっている。一方で、「相談・支援機関や福祉の人」は 13.2%と高くなっている。

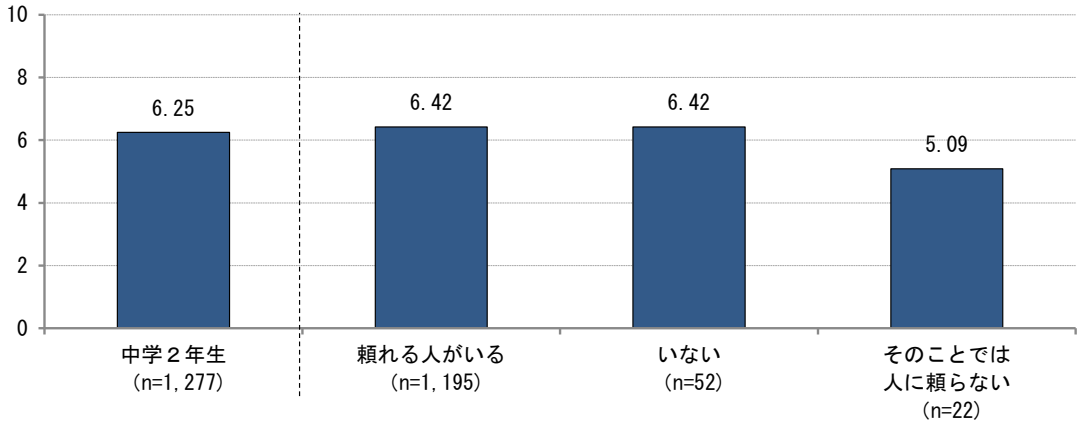
保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＜子育てに関する相談をできる人の有無別 生活満足度（小学５年生の保護者）＞



子育てに関する相談をできる人の有無別に、保護者の生活の満足度の平均値をみると、「いない」(4.97）が「頼れる人がいる」(6.40）を 1.43 点下回っている。

＜子育てに関する相談をできる人の有無別 生活満足度（中学２年生の保護者）＞

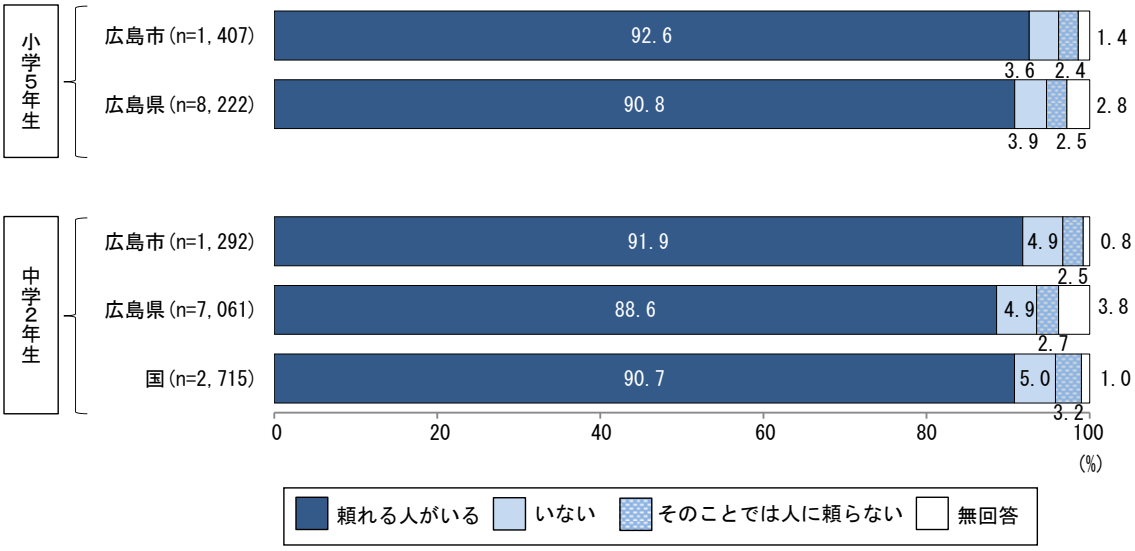


子育てに関する相談をできる人の有無別に、保護者の生活の満足度の平均値をみると、「頼れる人がいる」(6.42)、「いない」(6.42)、「そのことでは人に頼らない」(5.09）となっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 重要な事柄の相談 ＝

＜全体＞



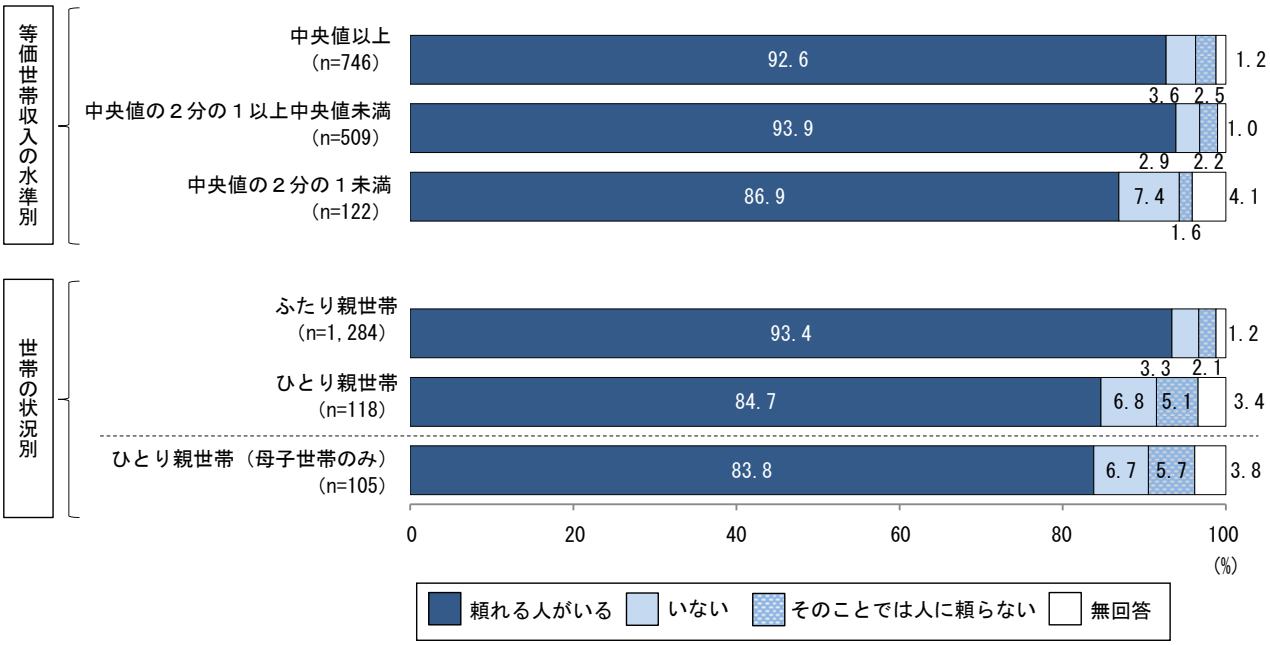
重要な事柄の相談について、小学５年生の保護者では、「頼れる人がいる」が 92.6%、「いない」が 3.6%、「そのことでは人に頼らない」が 2.4%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、「頼れる人がいる」が 91.9%、「いない」が 4.9%、「そのことでは人に頼らない」が 2.5%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 重要な事柄の相談 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



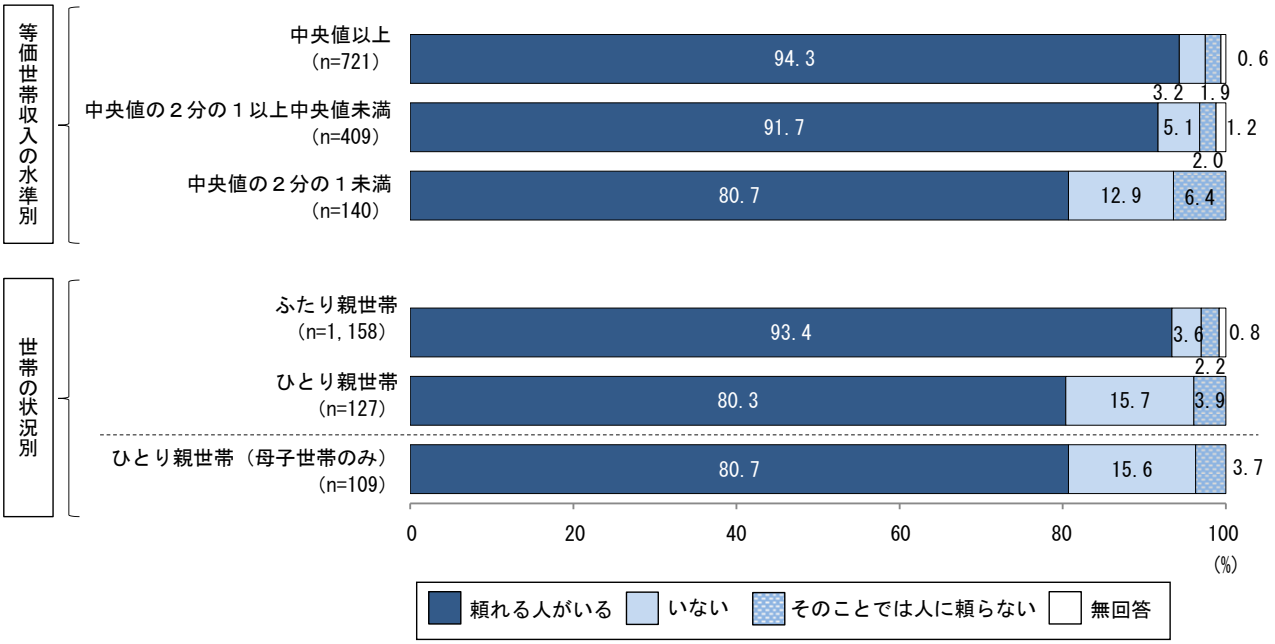
等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 3.6%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 2.9%、「中央値の２分の１未満」では 7.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 3.3%、「ひとり親世帯」では 6.8%、「母子世帯」では 6.7%となっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 重要な事柄の相談 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 3.2%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 5.1%、「中央値の２分の１未満」では 12.9%となっている。

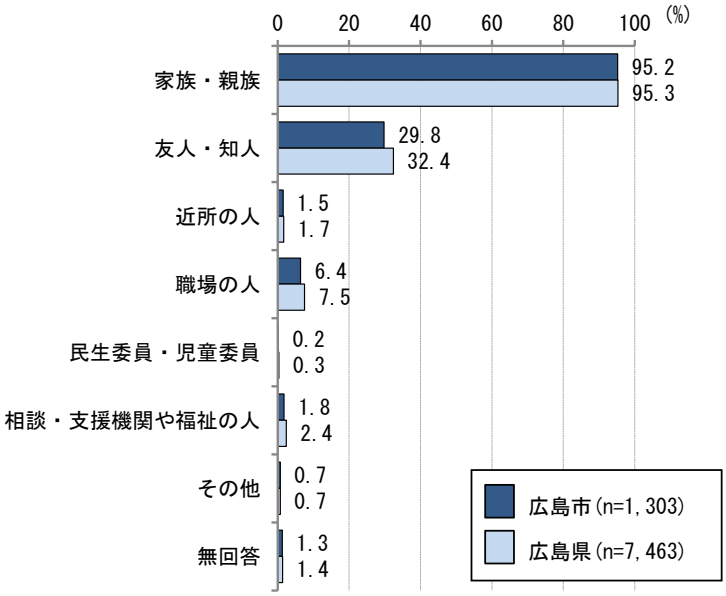
世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 3.6%、「ひとり親世帯」では 15.7%、「母子世帯」では 15.6%となっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 重要な事柄の相談 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜小学５年生の保護者＞



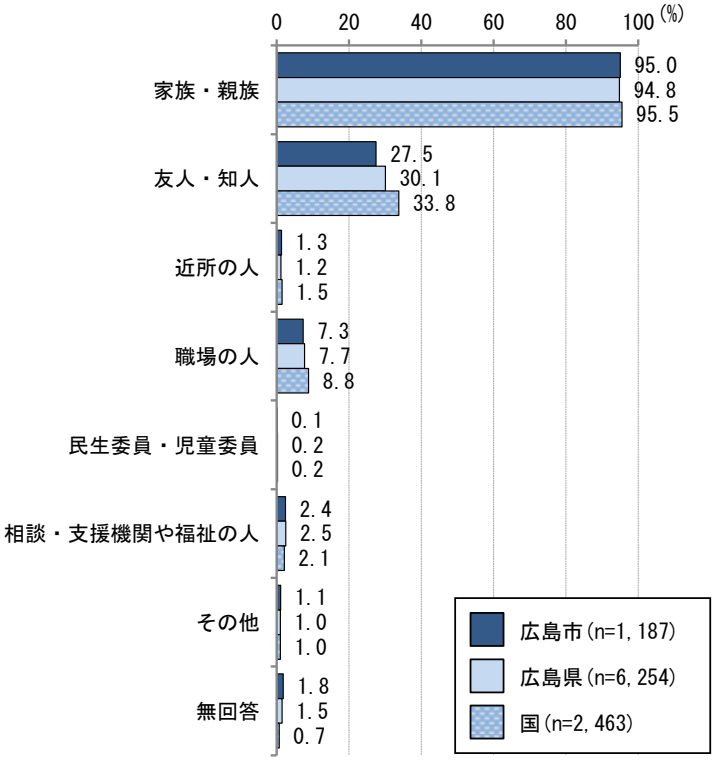
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、小学５年生の保護者では、「家族・親族」が 95.2%と最も高く、次いで「友人・知人」が 29.8%、「職場の人」が 6.4%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 重要な事柄の相談 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜中学２年生の保護者＞



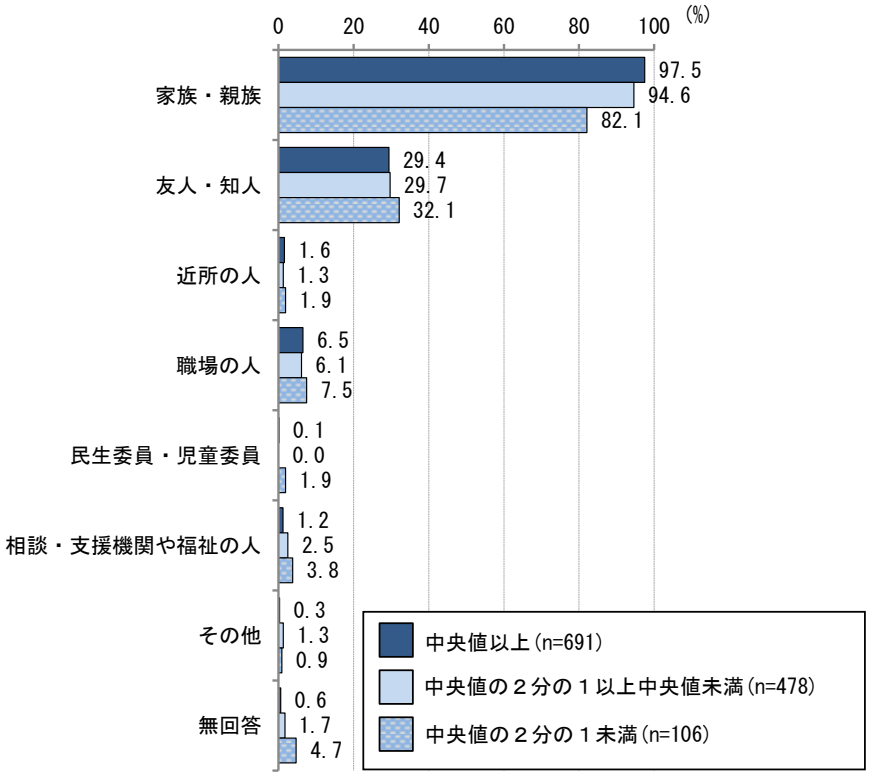
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、中学２年生の保護者では、「家族・親族」が 95.0%と最も高く、次いで「友人・知人」が 27.5%、「職場の人」が 7.3%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「友人・知人」は、広島市（27.5%）が国（33.8%）を 6.3 ポイント下回っている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 重要な事柄の相談 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜等価世帯収入の水準別（小学５年生の保護者）＞



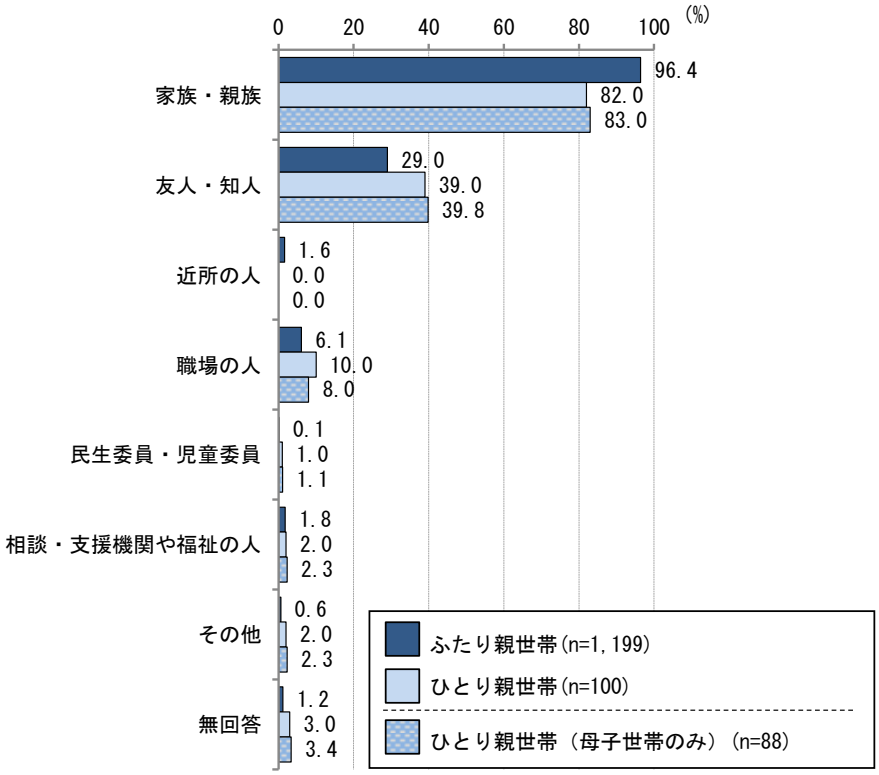
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「家族・親族」が 82.1％と他の世帯と比べて低くなっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 重要な事柄の相談 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



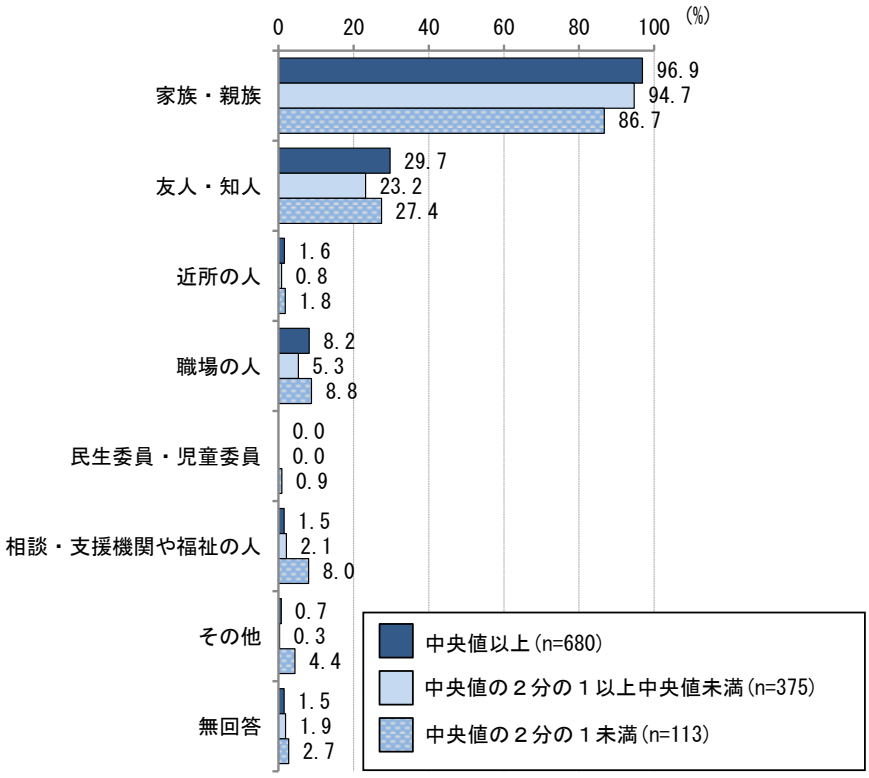
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族・親族」が 82.0%と低くなっている。一方で、「友人・知人」は 39.0%と高くなっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 重要な事柄の相談 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜等価世帯収入の水準別（中学２年生の保護者）＞



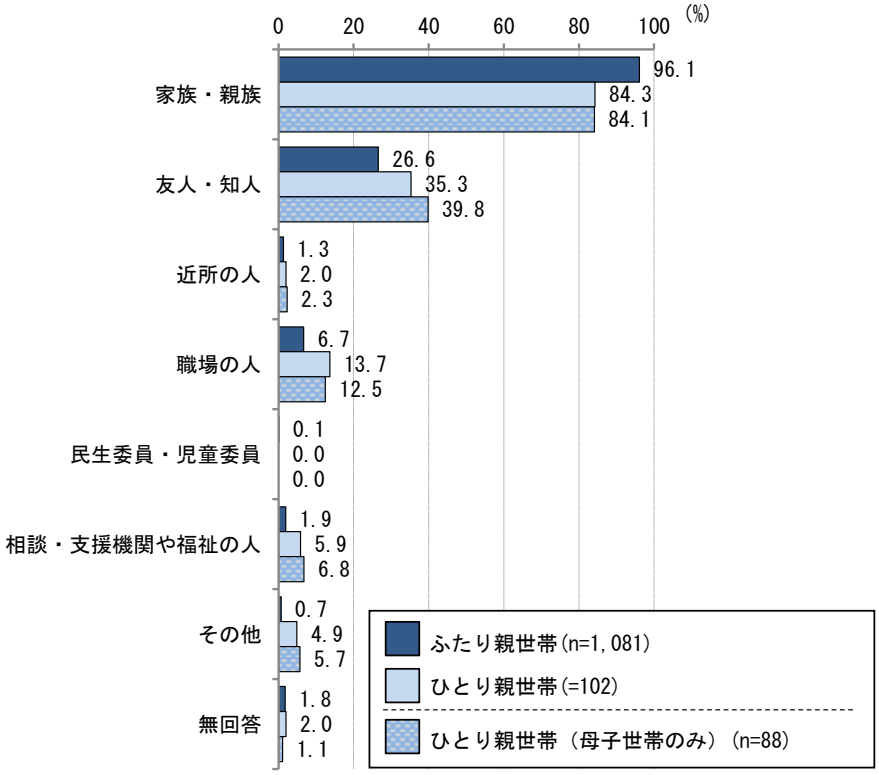
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「家族・親族」が 86.7%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「相談・支援機関や福祉の人」は 8.0%と高くなっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ 重要な事柄の相談 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞

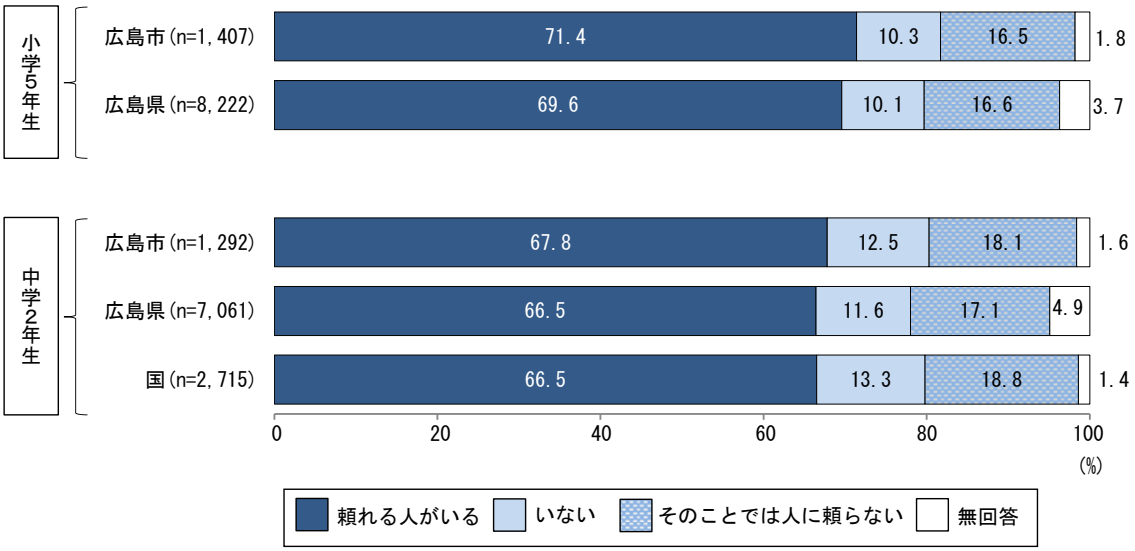


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族・親族」が 84.3%と低くなっている。一方で、「友人・知人」は 35.3%と高くなっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ いざという時のお金の援助 ＝

＜全体＞



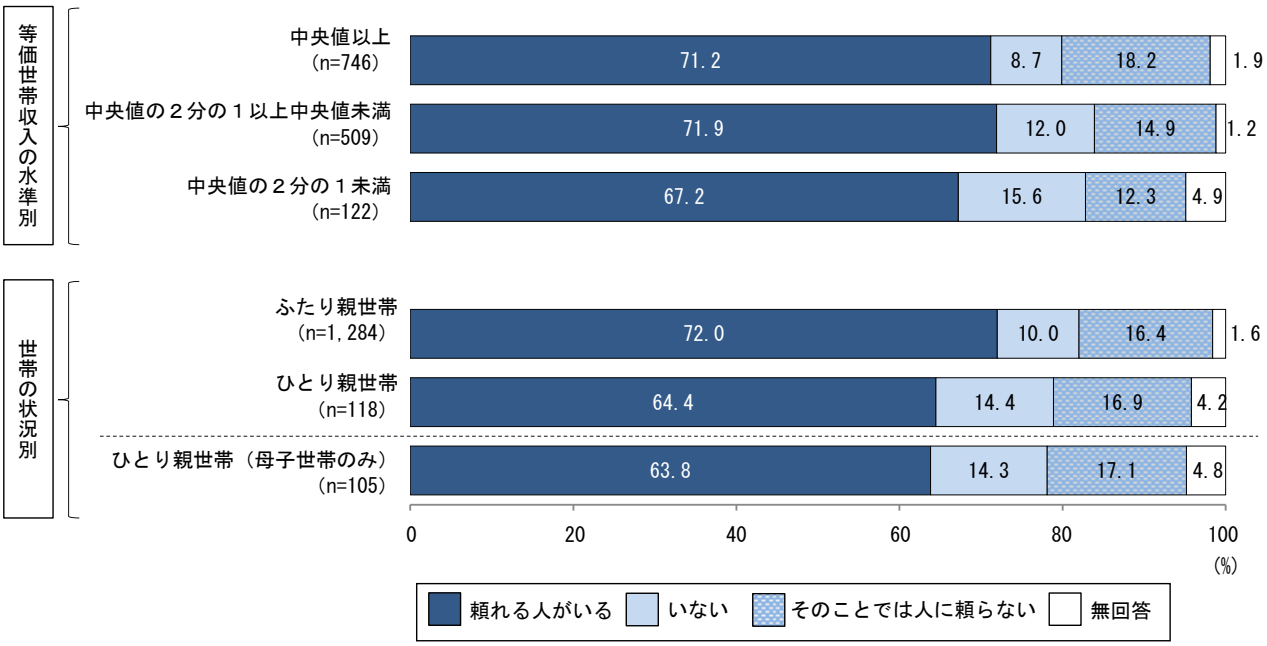
いざという時のお金の援助について、小学５年生の保護者では、「頼れる人がいる」が 71.4%、「いない」が 10.3%、「そのことでは人に頼らない」が 16.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、「頼れる人がいる」が 67.8%、「いない」が 12.5%、「そのことでは人に頼らない」が 18.1%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ いざという時のお金の援助 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



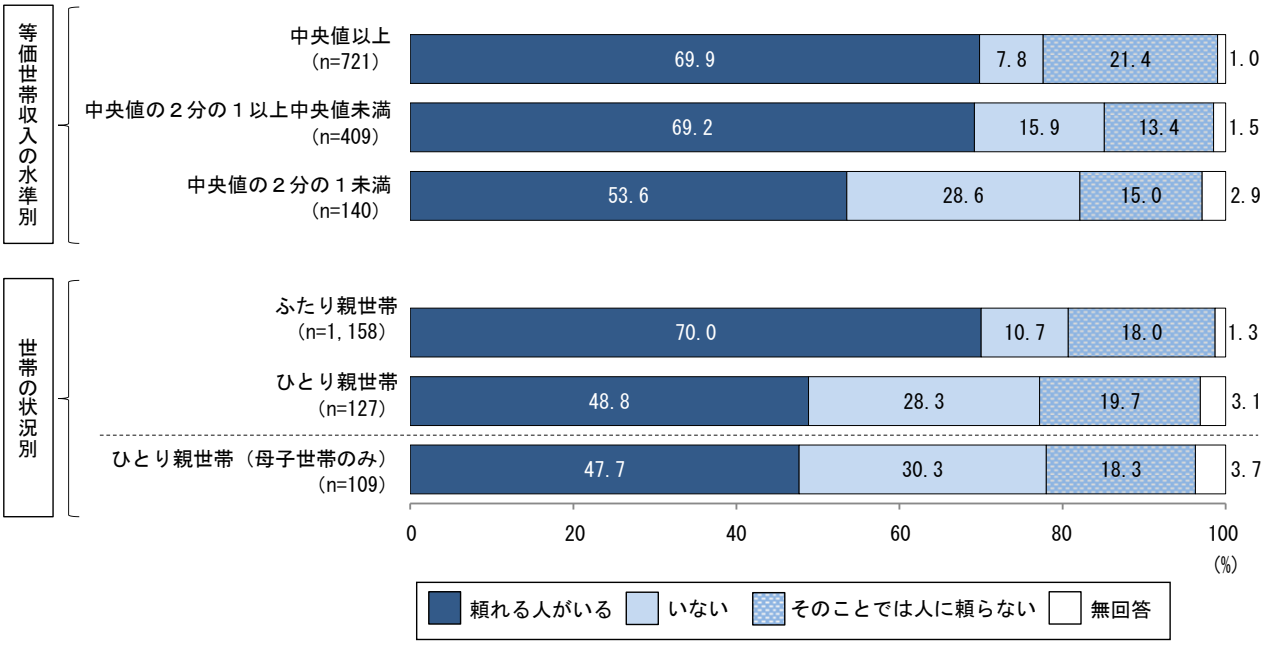
等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 8.7%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 12.0%、「中央値の２分の１未満」では 15.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 10.0%、「ひとり親世帯」では 14.4%、「母子世帯」では 14.3%となっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ いざという時のお金の援助 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では 7.8%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 15.9%、「中央値の２分の１未満」では 28.6%となっている。

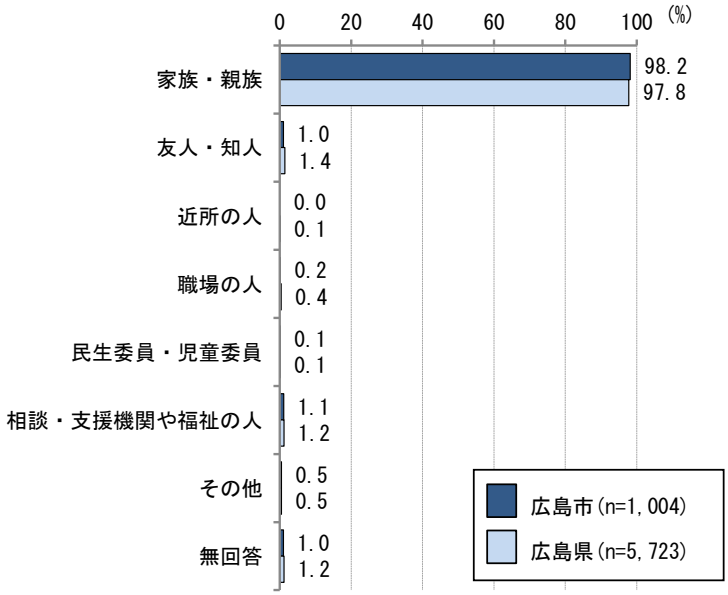
世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では 10.7%、「ひとり親世帯」では 28.3%、「母子世帯」では 30.3%となっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ いざという時のお金の援助 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜小学５年生の保護者＞



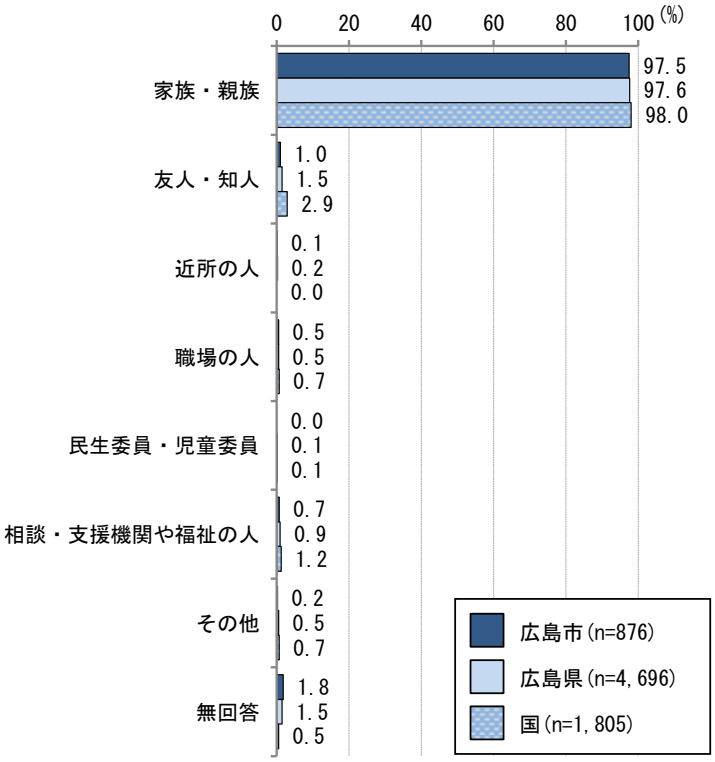
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、小学５年生の保護者では、「家族・親族」が 98.2%と最も高く、次いで「相談・支援機関や福祉の人」が 1.1%、「友人・知人」が 1.0%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ いざという時のお金の援助 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜中学２年生の保護者＞



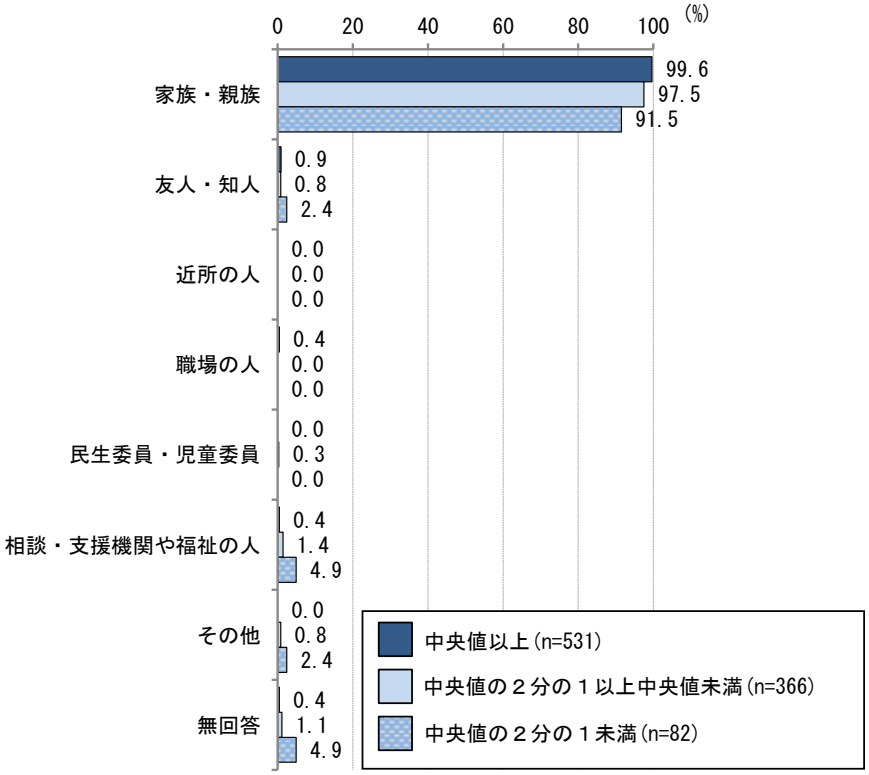
「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手について、中学２年生の保護者では、「家族・親族」が 97.5%と最も高く、次いで「友人・知人」が 1.0%、「相談・支援機関や福祉の人」が 0.7%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ いざという時のお金の援助 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜等価世帯収入の水準別（小学５年生の保護者）＞



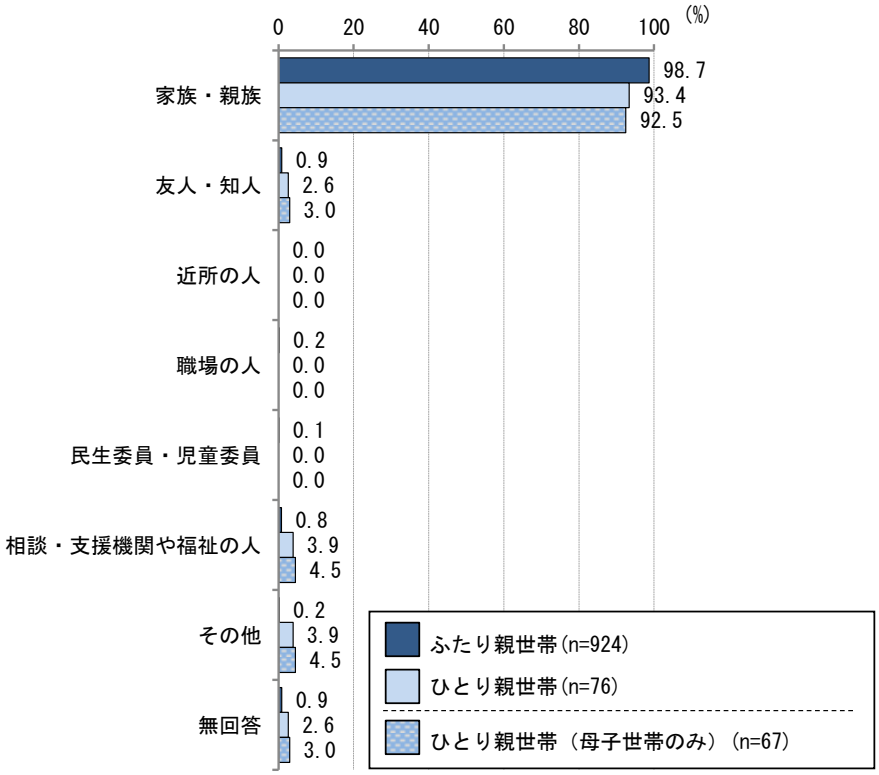
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「家族・親族」が 91.5%と他の世帯と比べて低くなっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ いざという時のお金の援助 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



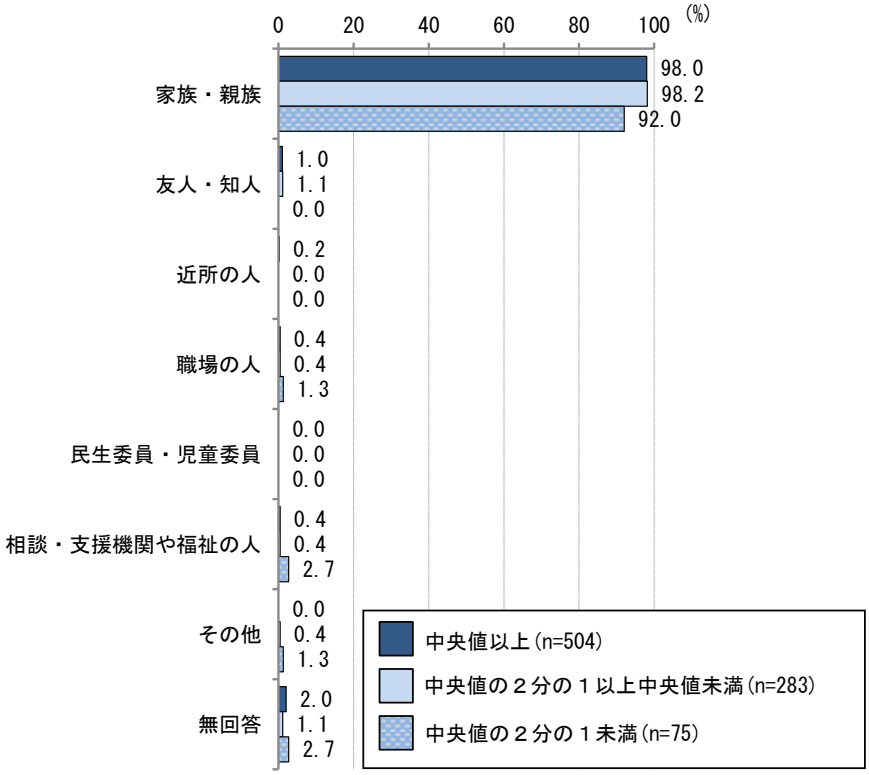
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族・親族」が 93.4%と低くなっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ いざという時のお金の援助 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜等価世帯収入の水準別（中学２年生の保護者）＞



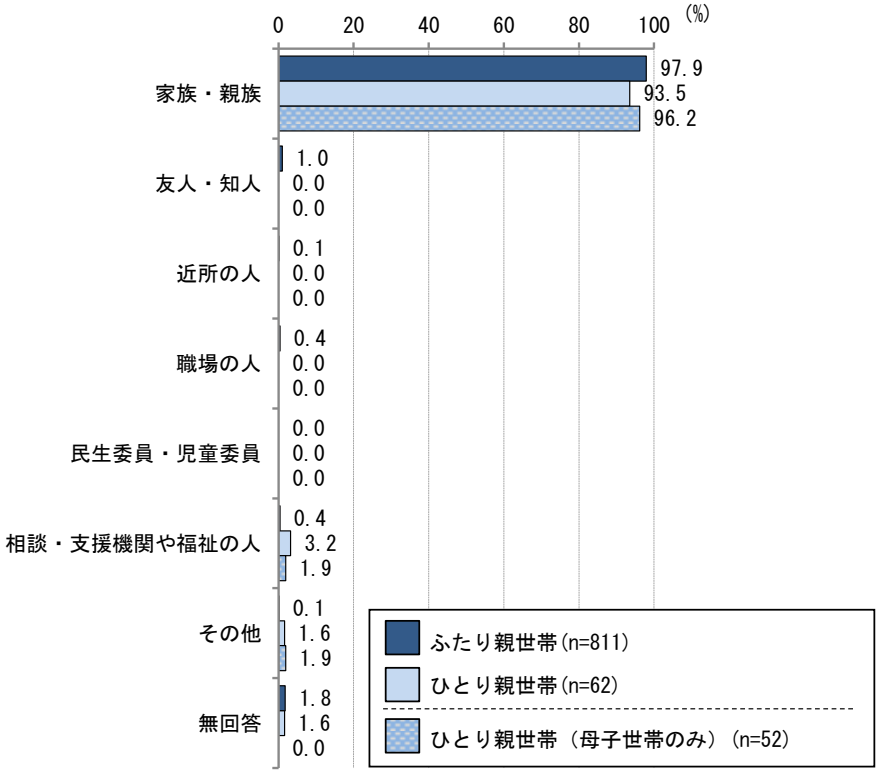
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「家族・親族」が 92.0％と他の世帯と比べて低くなっている。

保護者票問 18.　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
また、「1　頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（複数回答）

＝ いざという時のお金の援助 ＝

～「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手～

＜世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族・親族」が 93.5%となっており、「ふたり親世帯」と大きな差はみられない。

（8）心理的な状態

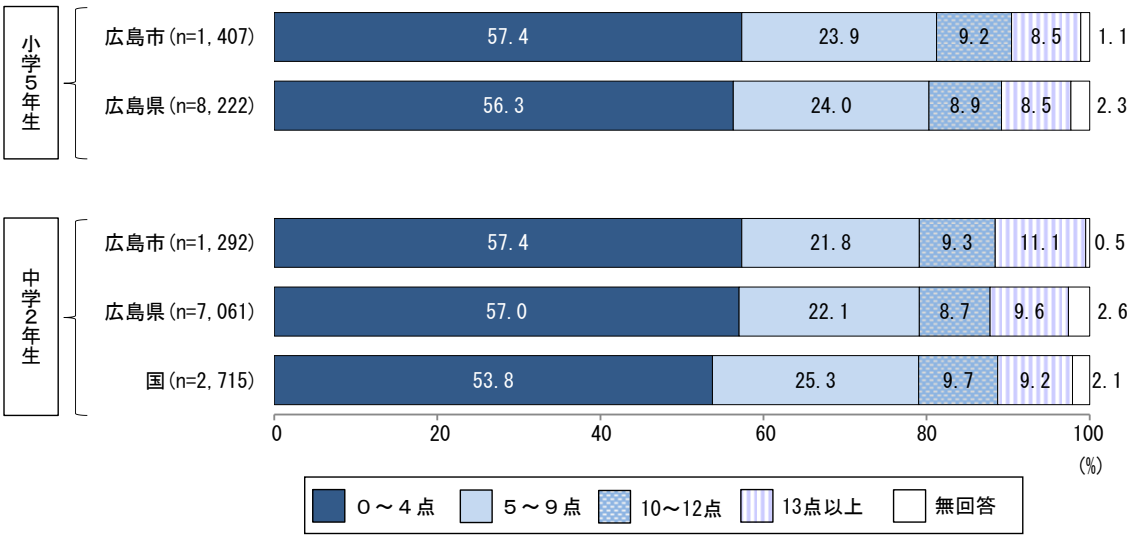
保護者票問 24. 次の a～f の質問について、この１か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。

a. 神経過敏に感じた
b. 絶望的だと感じた
c. そわそわ、落ち着かなく感じた
d. 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた
e. 何をするのも面倒だと感じた
f. 自分は価値のない人間だと感じた

「保護者の心理的な状態」に関して、本調査では、内閣府の「子供の生活状況調査」と同様に、「K6」※と呼ばれる指標を把握するための６つの項目を設定した。採点方法は、１つの質問ごとに、「まったくない」０点、「少しだけ」１点、「ときどき」２点、「たいてい」３点、「いつも」４点を振り、その合計（０点から 24 点）を計算した。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示しており、13 点以上を「うつ・不安障害相当」と考えれらるものとした。

（※「K6」は、心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として利用されている。）

＜全体＞

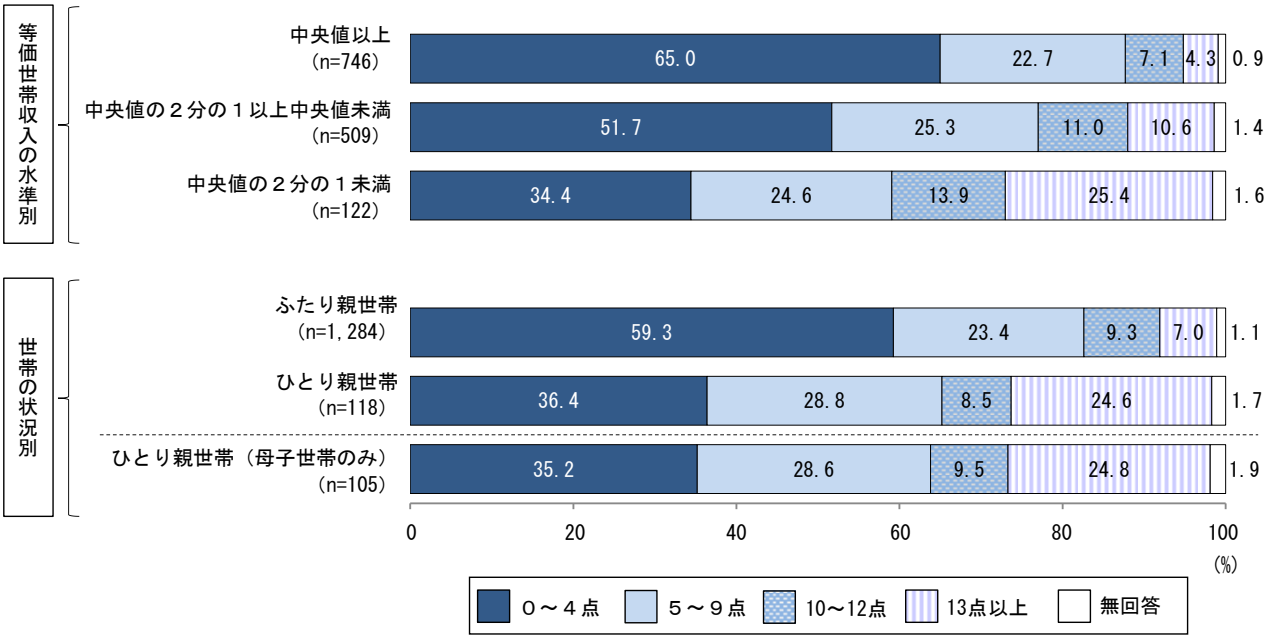


小学５年生の保護者では、「13 点以上」は 8.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、「13 点以上」は 11.1%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 24.　次の a～f の質問について、この１か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。

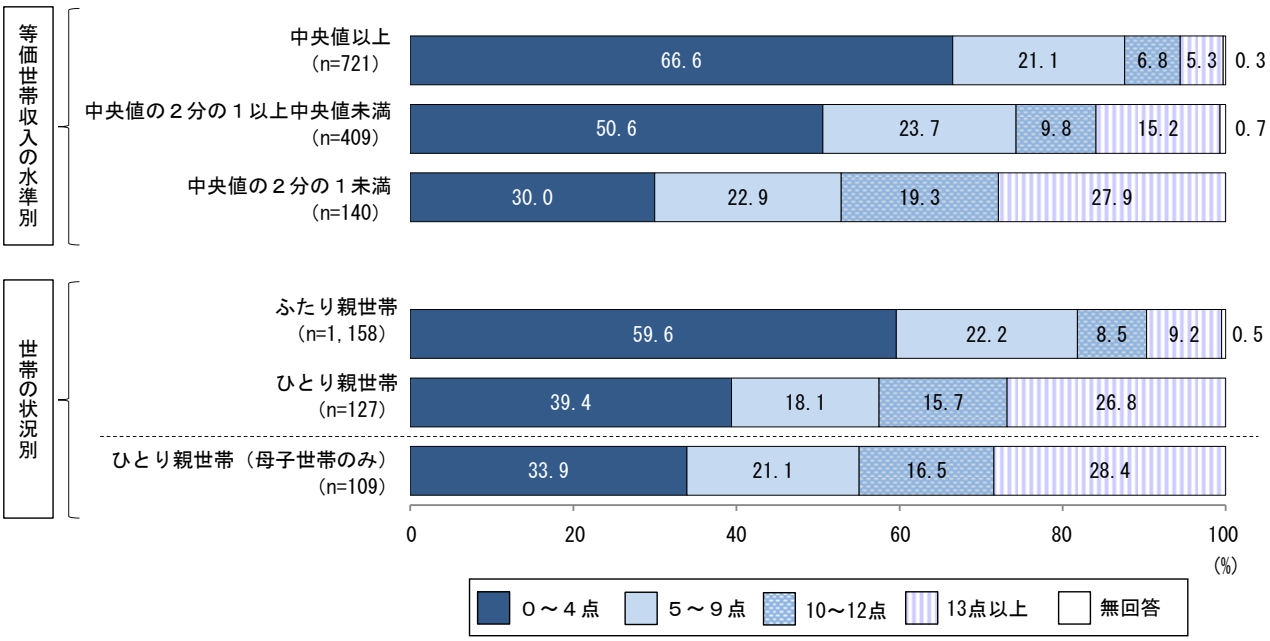
＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「13 点以上」は、「中央値以上」では 4.3%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 10.6%、「中央値の２分の１未満」では 25.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「13 点以上」は、「ふたり親世帯」では 7.0%、「ひとり親世帯」では 24.6%、「母子世帯」では 24.8%となっている。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞

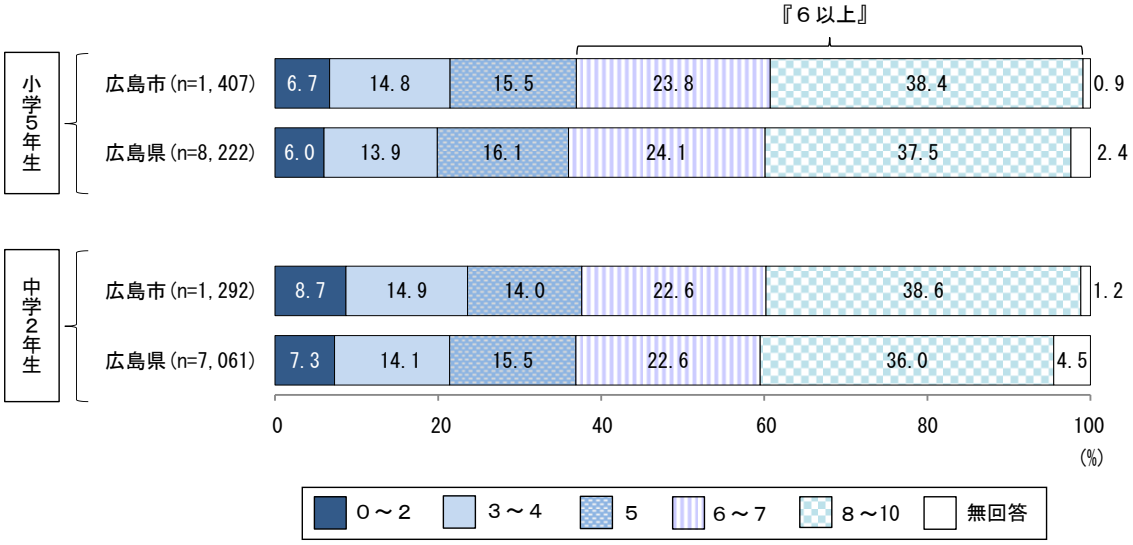


等価世帯収入の水準別にみると、「13 点以上」は、「中央値以上」では 5.3%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 15.2%、「中央値の２分の１未満」では 27.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「13 点以上」は、「ふたり親世帯」では 9.2%、「ひとり親世帯」では 26.8%、「母子世帯」では 28.4%となっている。

保護者票問 25.　全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。
「０」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。

＜全体＞

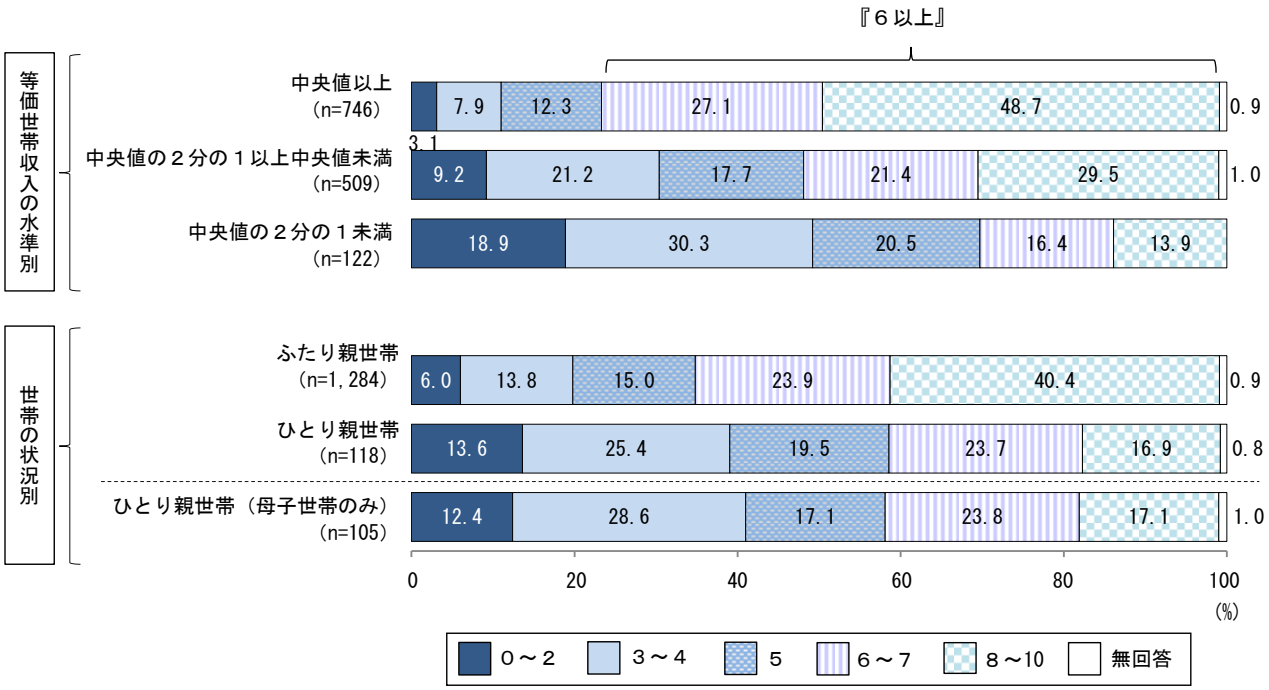


最近の生活の満足度について、小学５年生の保護者では、「０～２」が 6.7%、「３～４」が 14.8%、「５」が 15.5%、「６～７」が 23.8%、「８～10」が 38.4%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、「０～２」が 8.7%、「３～４」が 14.9%、「５」が 14.0%、「６～７」が 22.6%、「８～10」が 38.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 25.　全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。
「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞

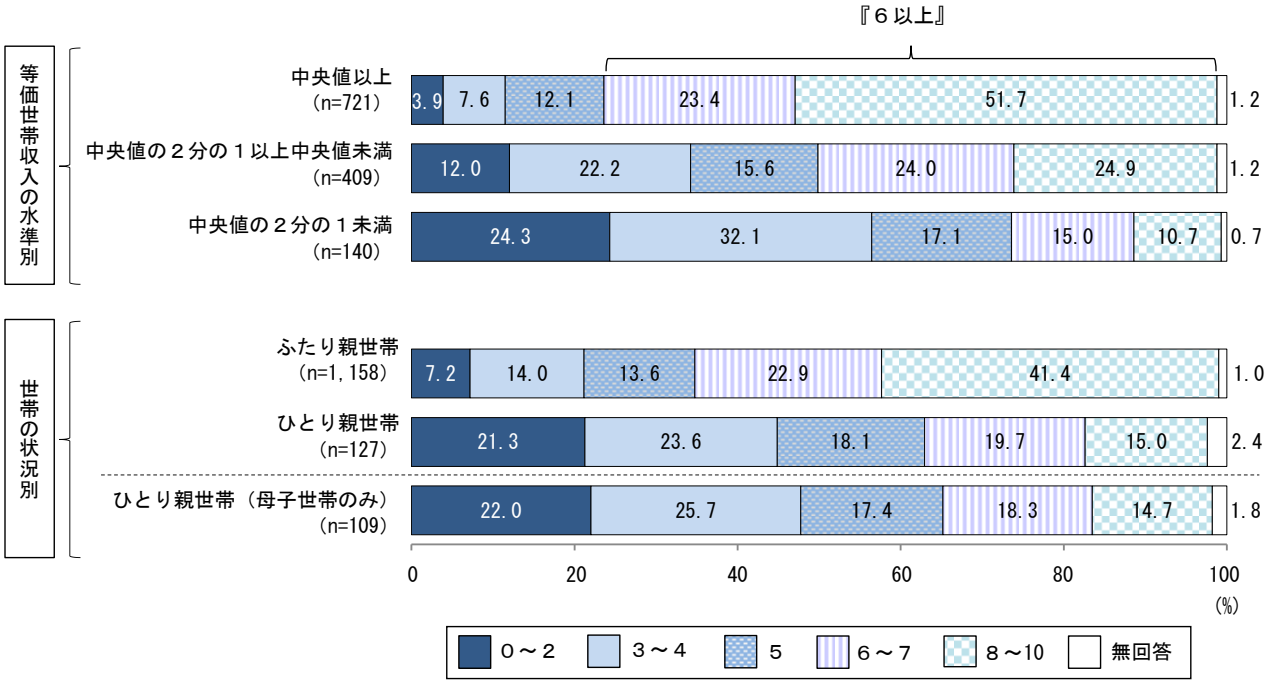


等価世帯収入の水準別にみると、『６以上』は、「中央値以上」では 75.8%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 50.9%、「中央値の２分の１未満」では 30.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『６以上』は、「ふたり親世帯」では 64.3%、「ひとり親世帯」では 40.6%、「母子世帯」では 40.9%となっている。

保護者票問 25.　全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。
「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、『６以上』は、「中央値以上」では 75.1%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 48.9%、「中央値の２分の１未満」では 25.7%となっている。

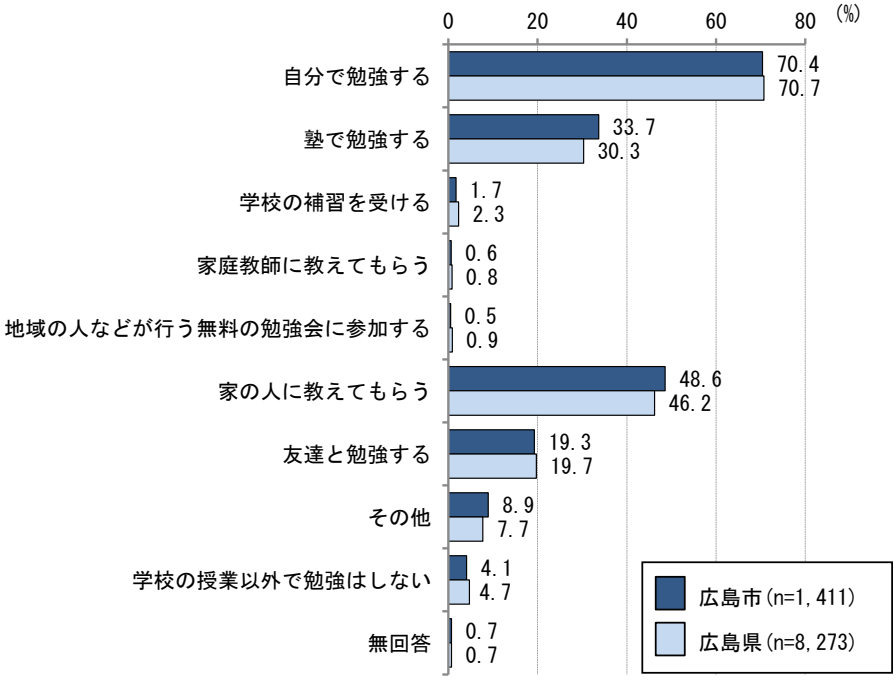
世帯の状況別にみると、『６以上』は、「ふたり親世帯」では 64.3%、「ひとり親世帯」では 34.7%、「母子世帯」では 33.0%となっている。

２　子どもの状況

（１）学習の状況

子ども票問２．あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。（複数回答）
※勉強には学校の宿題もふくみます。

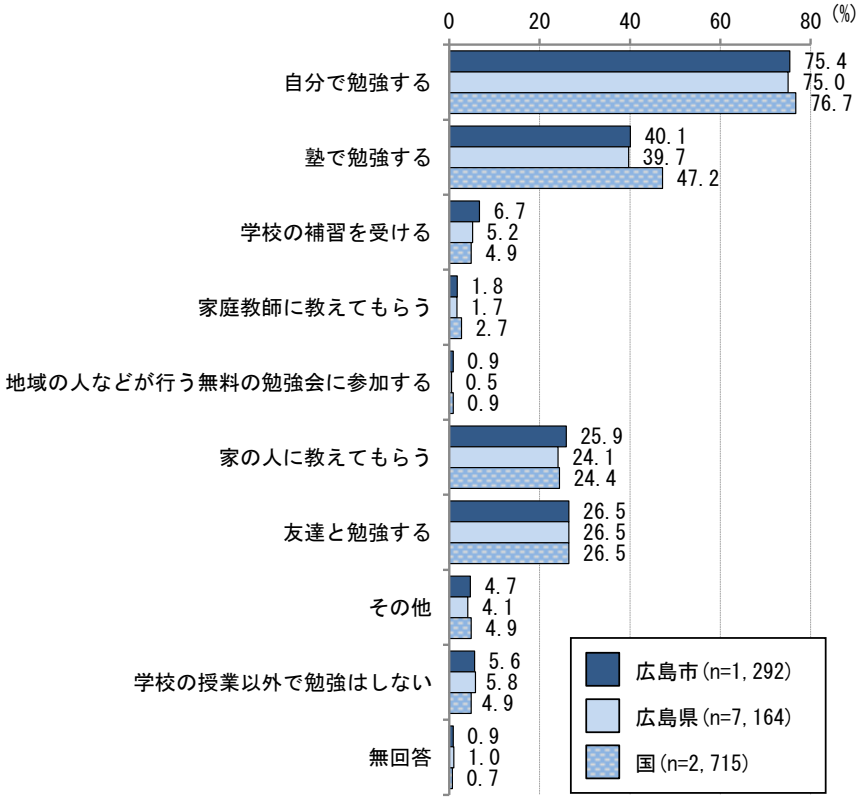
＜小学５年生＞



ふだんの勉強の仕方について、小学５年生では、「自分で勉強する」が70.4%と最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」が48.6%、「塾で勉強する」が33.7%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

子ども票問２．あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。（複数回答）
※勉強には学校の宿題もふくみます。

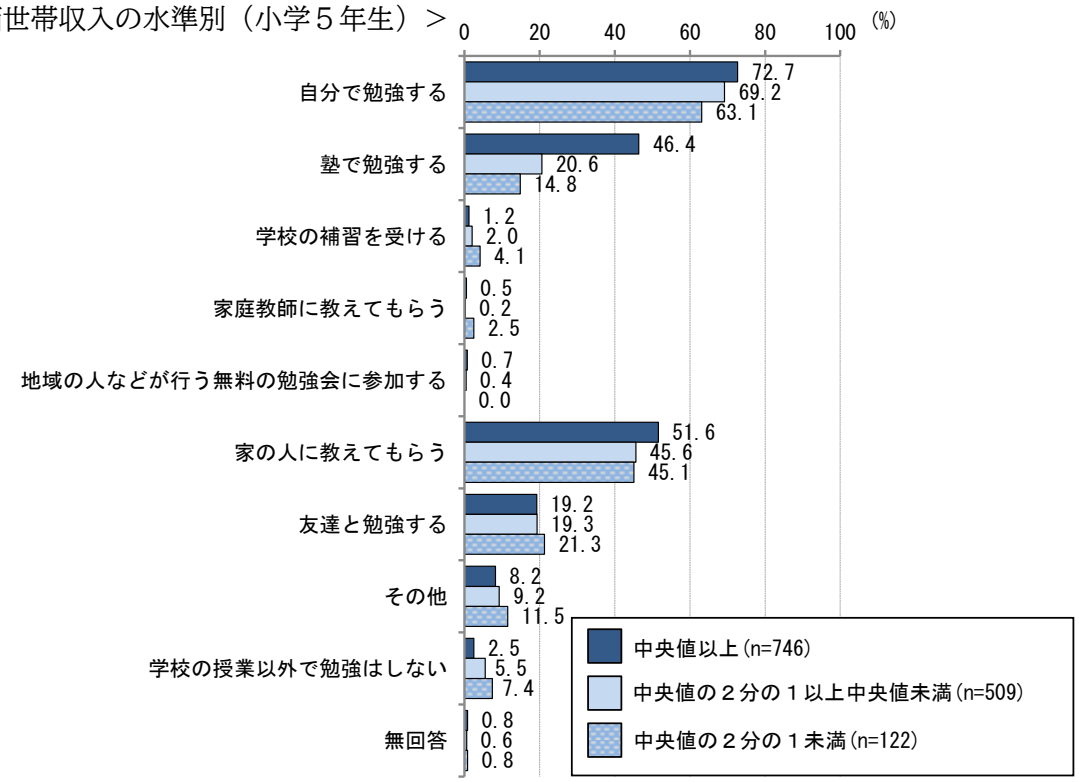
＜中学２年生＞



ふだんの勉強の仕方について、中学２年生では、「自分で勉強する」が75.4%と最も高く、次いで「塾で勉強する」が40.1%、「友達と勉強する」が26.5%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「塾で勉強する」は、広島市（40.1%）が国（47.2%）を7.1ポイント下回っている。

子ども票問２．あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。（複数回答）
※勉強には学校の宿題もふくみます。

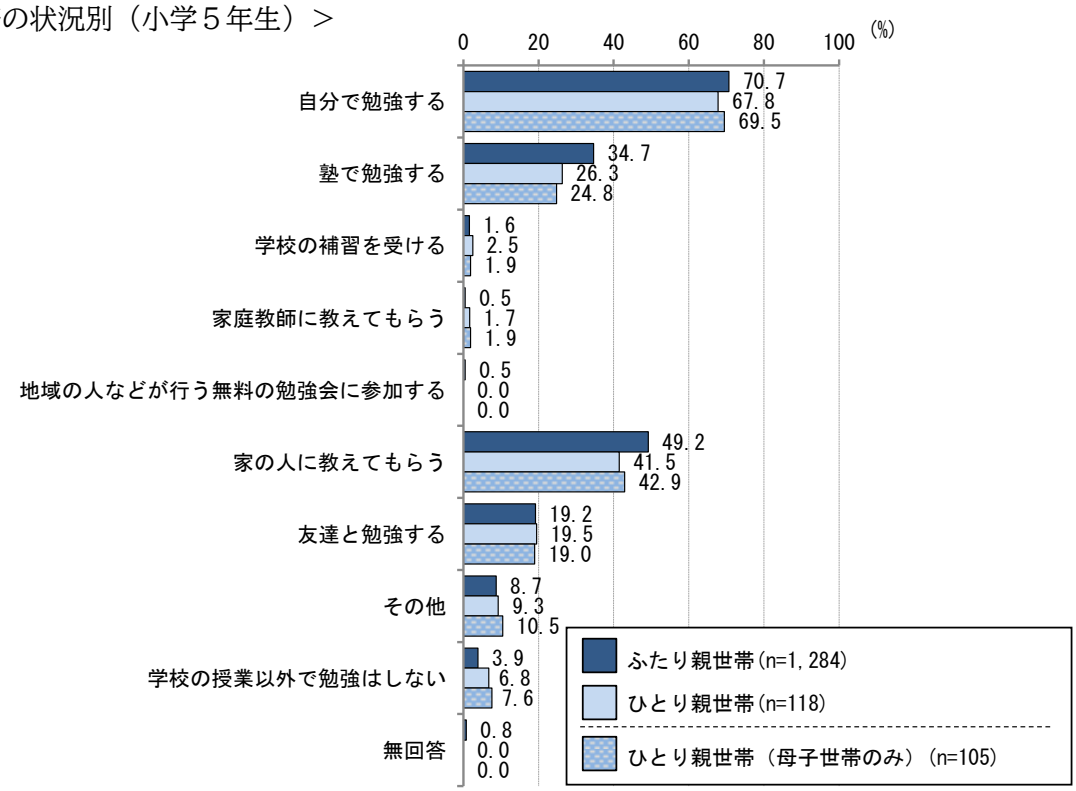
＜等価世帯収入の水準別（小学５年生）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「自分で勉強する」が 63.1%、「塾で勉強する」が 14.8%と他の世帯と比べて低くなっている。

子ども票問２．あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。（複数回答）
※勉強には学校の宿題もふくみます。

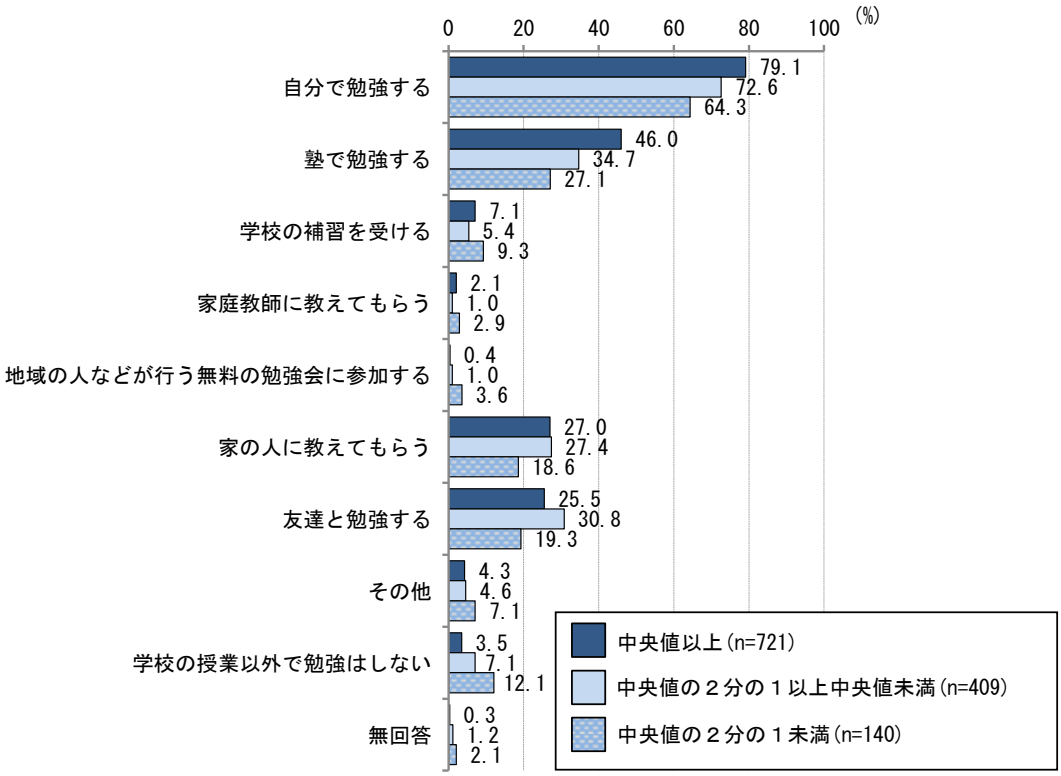
＜世帯の状況別（小学５年生）＞



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「塾で勉強する」が 26.3%、「家の人に教えてもらう」は 41.5%と低くなっている。

子ども票問２．あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。（複数回答）
※勉強には学校の宿題もふくみます。

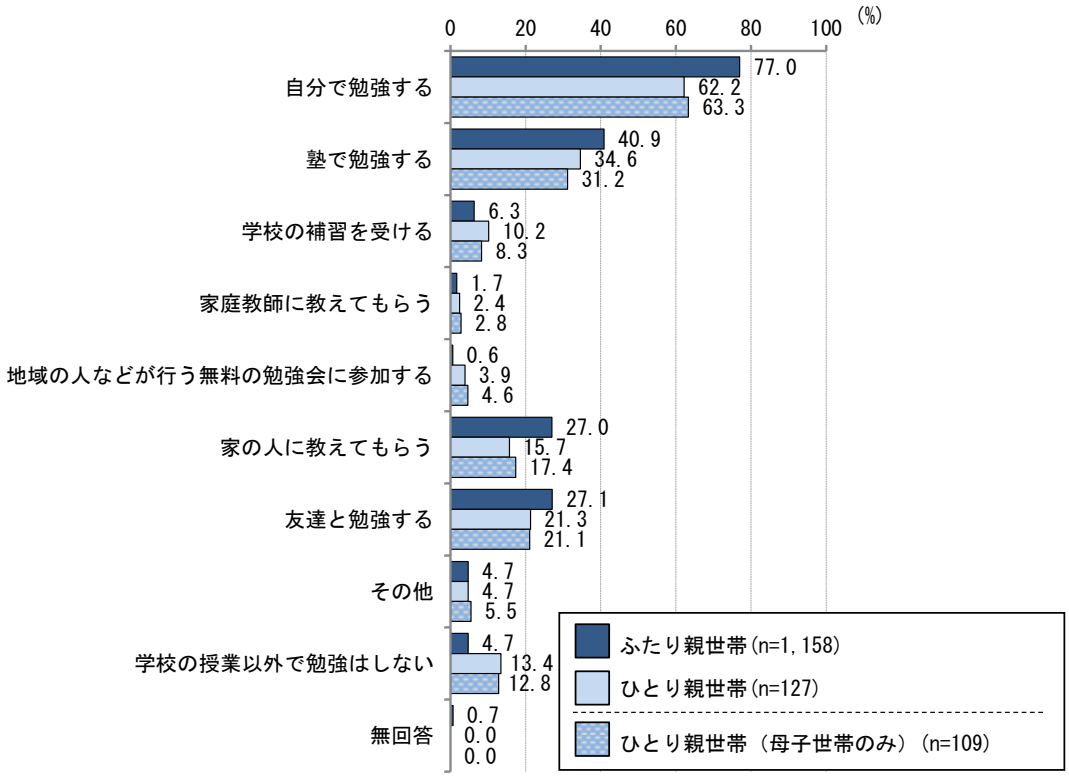
＜等価世帯収入の水準別（中学２年生）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「自分で勉強する」が 64.3%、「塾で勉強する」が 27.1%、「家の人に教えてもらう」が 18.6%、「友達と勉強する」が 19.3%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「学校の授業以外で勉強はしない」は 12.1%と高くなっている。

子ども票問２．あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。（複数回答）
※勉強には学校の宿題もふくみます。

＜世帯の状況別（中学２年生）＞

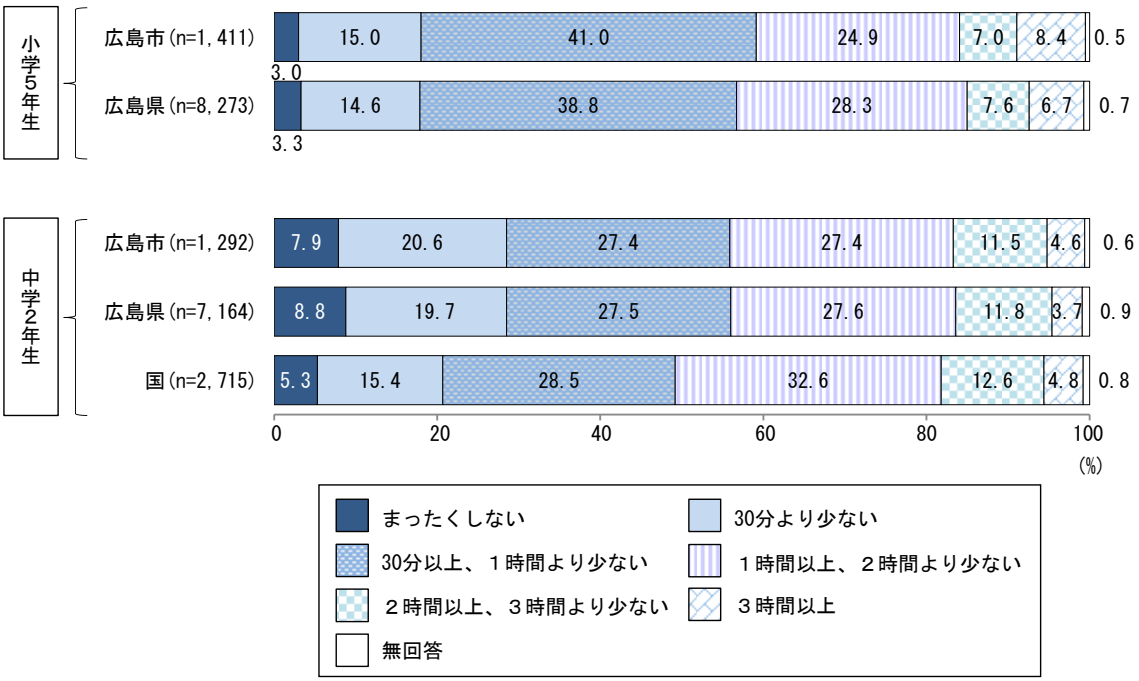


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「自分で勉強する」が 62.2%、「塾で勉強する」が 34.6%、「家の人に教えてもらう」が 15.7%、「友達と勉強する」が 21.3%と低くなっている。一方で、「学校の授業以外で勉強はしない」は 13.4%と高くなっている。

子ども票問３．あなたは、ふだん学校の授業以外に、１日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

＝ 学校がある日（月～金曜日） ＝

＜全体＞



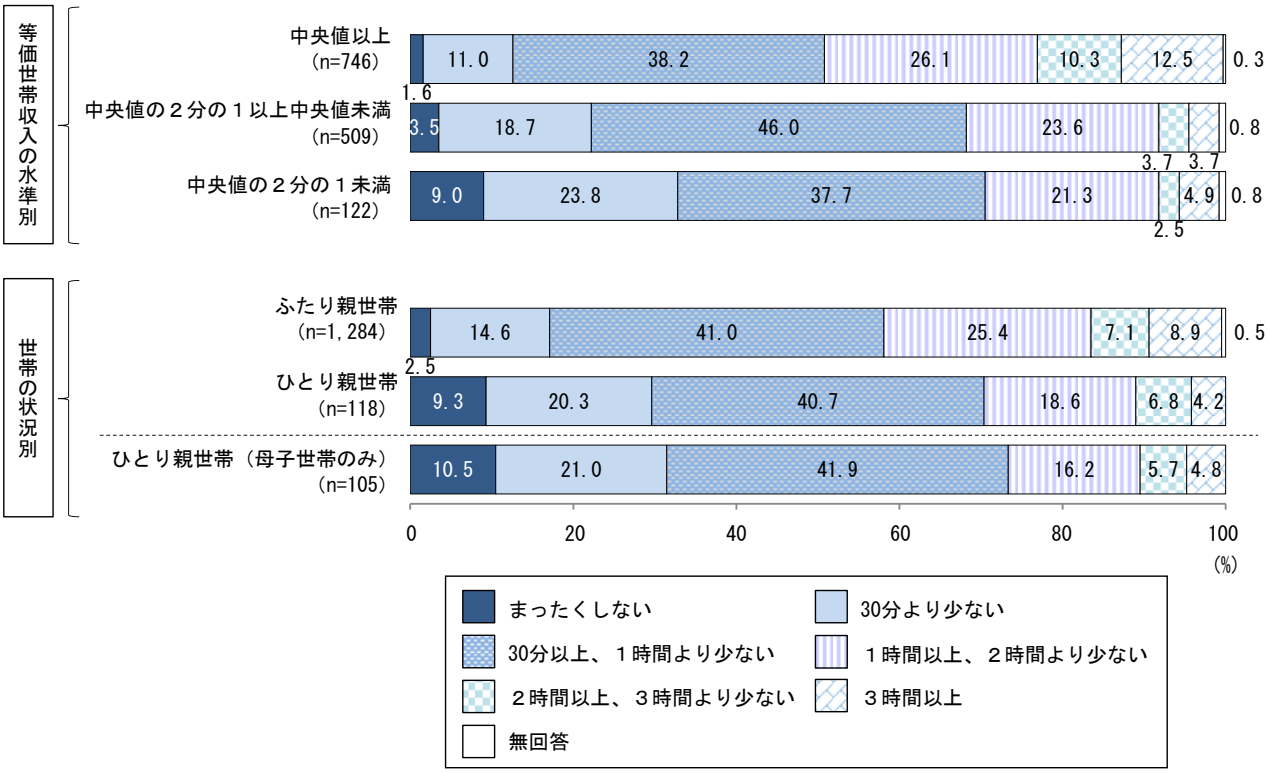
１日あたりの勉強時間（学校がある日）について、小学５年生では、「30 分以上、１時間より少ない」が 41.0%と最も高く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が 24.9%、「30 分より少ない」が 15.0%などの順となっている。また、「まったくしない」は 3.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「30 分以上、１時間より少ない」、「１時間以上、２時間より少ない」がともに 27.4%と最も高く、次いで「30 分より少ない」が 20.6%、「２時間以上、３時間より少ない」が 11.5%などの順となっている。また、「まったくしない」は 7.9%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「30 分より少ない」は、広島市（20.6%）が国（15.4%）を 5.2 ポイント上回っており、「１時間以上、２時間より少ない」は、広島市（27.4%）が国（32.6%）を 5.2 ポイント下回っている。

子ども票問３．あなたは、ふだん学校の授業以外に、１日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

＝ 学校がある日（月～金曜日） ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞



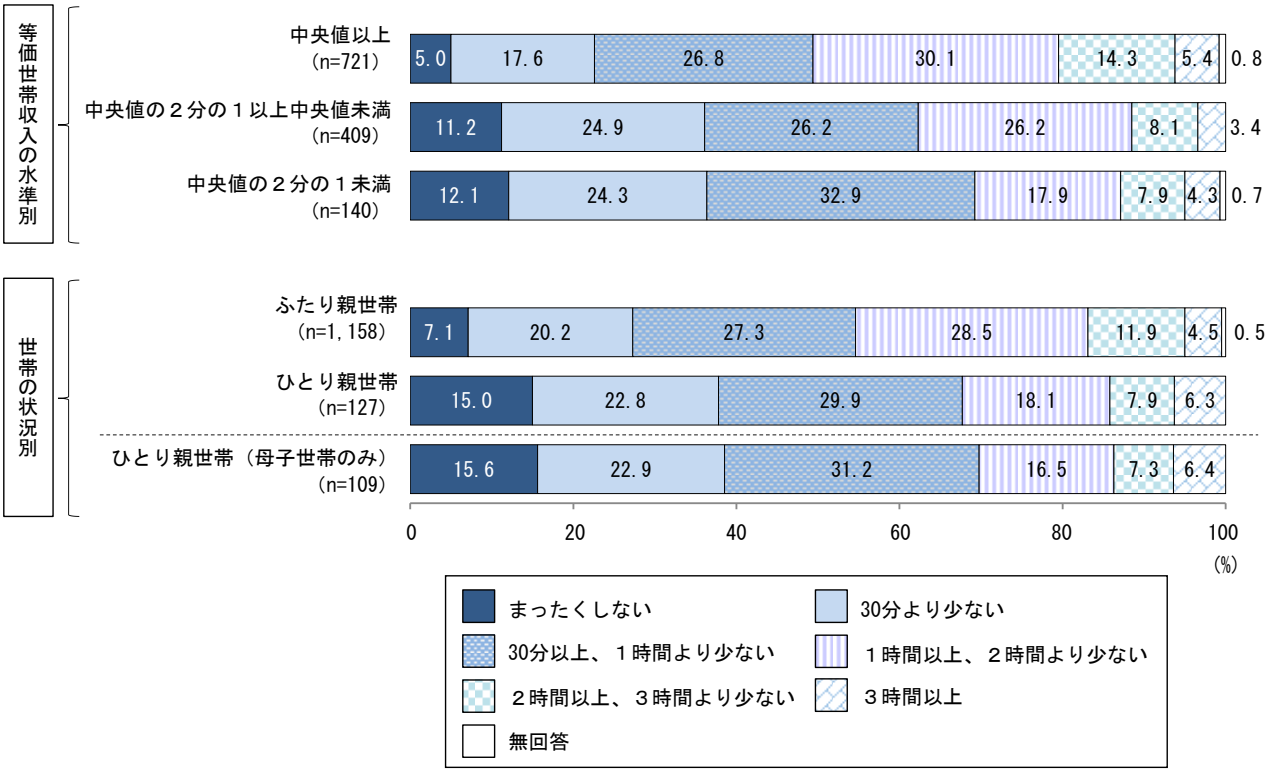
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「まったくしない」が 9.0%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「まったくしない」が 9.3%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

子ども票問３．あなたは、ふだん学校の授業以外に、１日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

＝ 学校がある日（月～金曜日） ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞



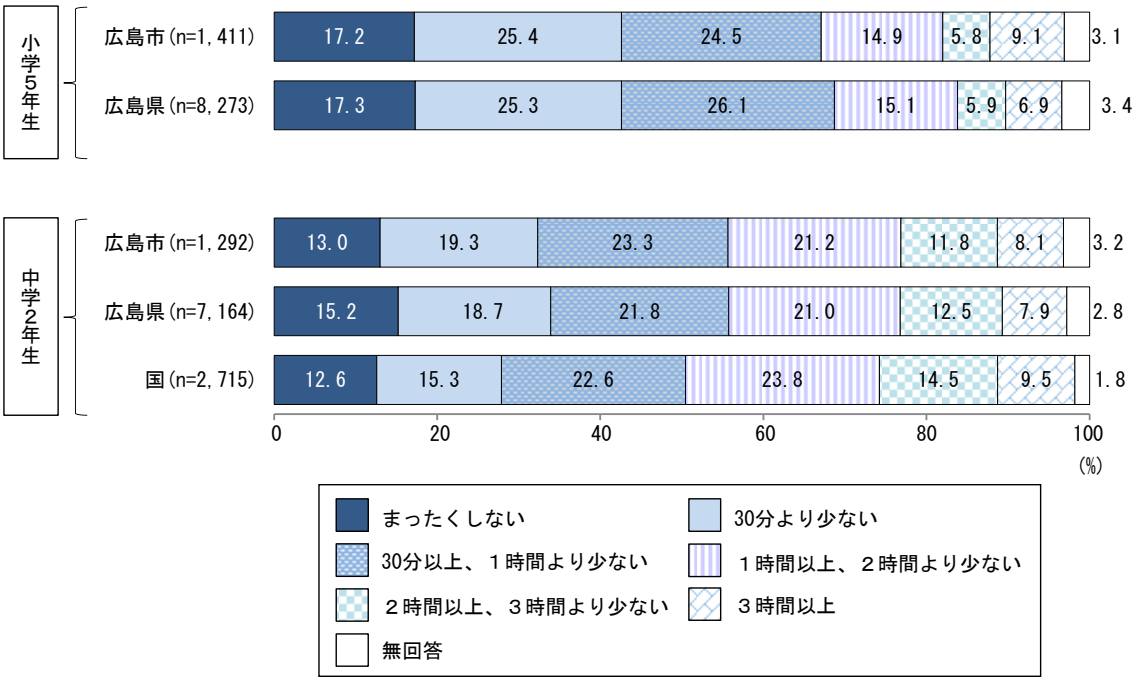
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「まったくしない」が 12.1%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「まったくしない」が 15.0%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

子ども票問３．あなたは、ふだん学校の授業以外に、１日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

＝ 学校がない日（土・日曜日・祝日） ＝

＜全体＞



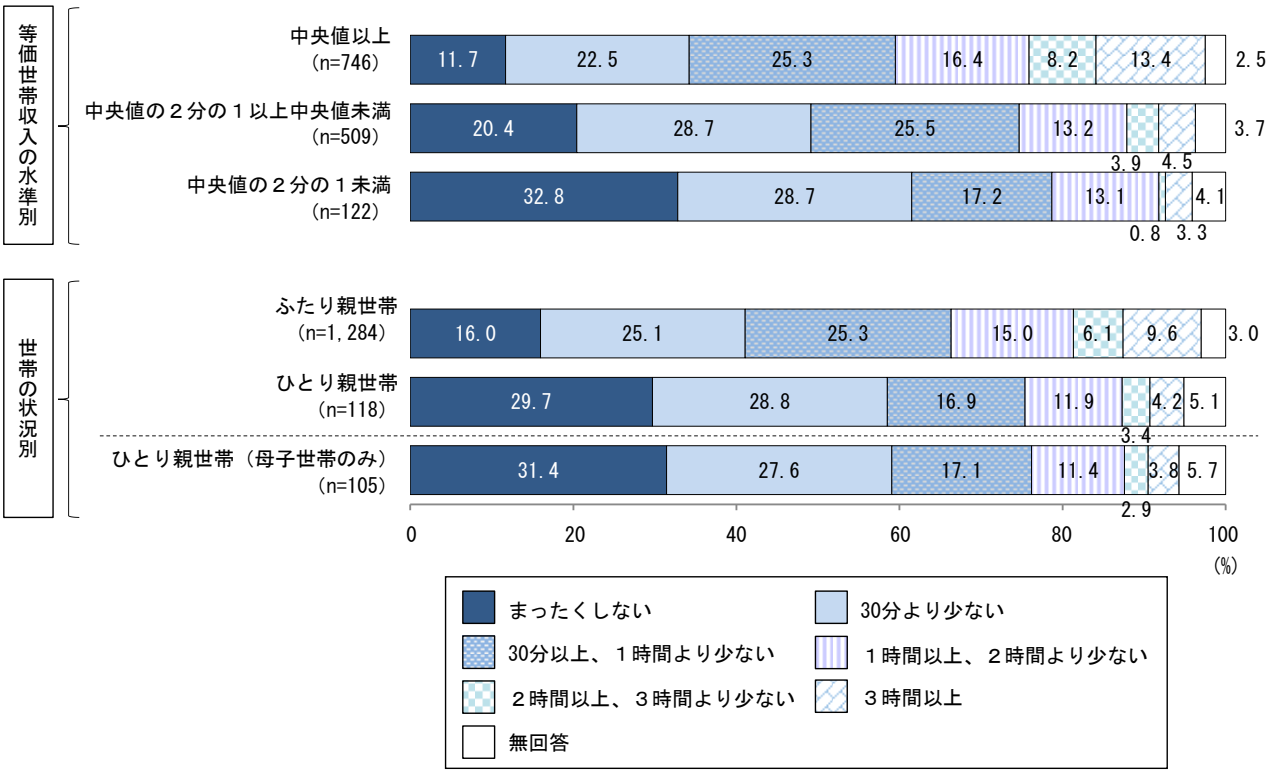
１日あたりの勉強時間（学校がない日）について、小学５年生では、「30 分より少ない」が 25.4%と最も高く、次いで「30 分以上、１時間より少ない」が 24.5%、「まったくしない」が 17.2%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「30 分以上、１時間より少ない」が 23.3%と最も高く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が 21.2%、「30 分より少ない」が 19.3%などの順となっている。また、「まったくしない」は 13.0%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

子ども票問３．あなたは、ふだん学校の授業以外に、１日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

＝ 学校がない日（土・日曜日・祝日） ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞



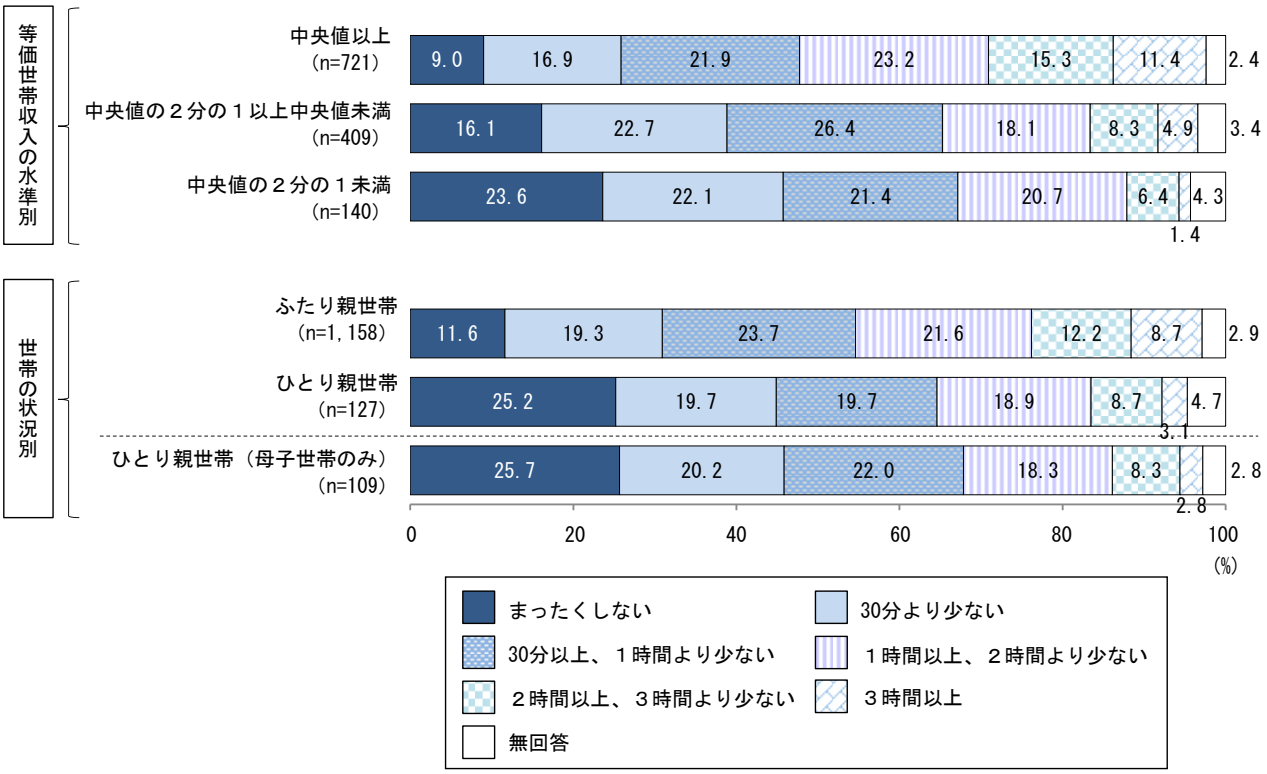
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「まったくしない」が 32.8%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「まったくしない」が 29.7%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

子ども票問３．あなたは、ふだん学校の授業以外に、１日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

＝ 学校がない日（土・日曜日・祝日） ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞

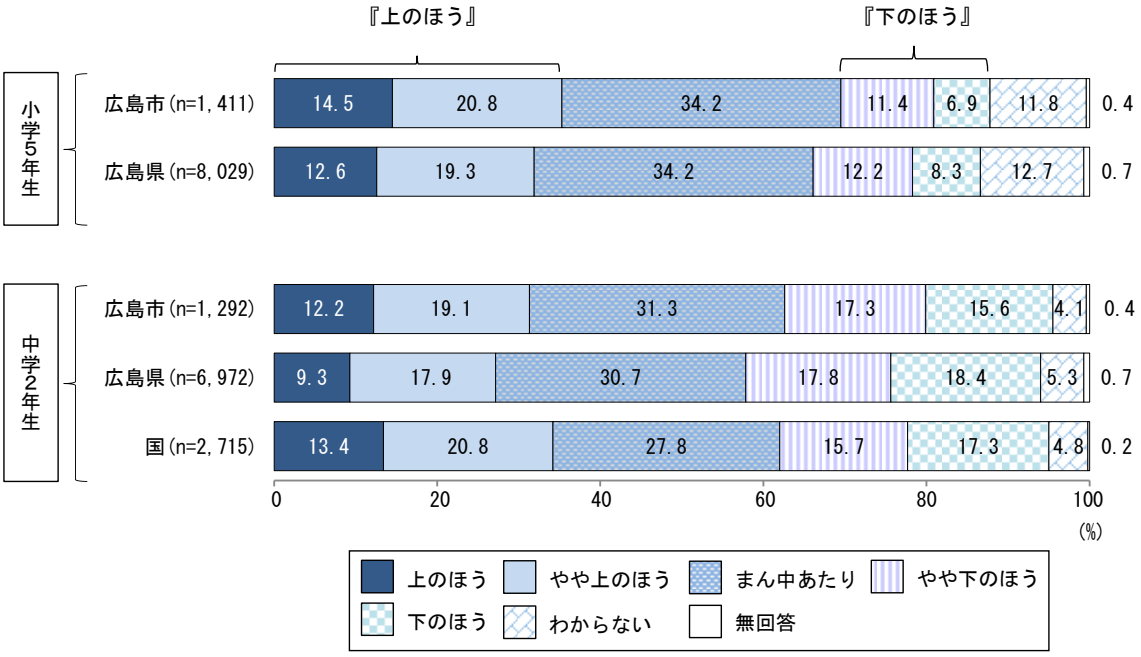


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「まったくしない」が 23.6%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「まったくしない」が 25.2%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

子ども票問4．あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

＜全体＞

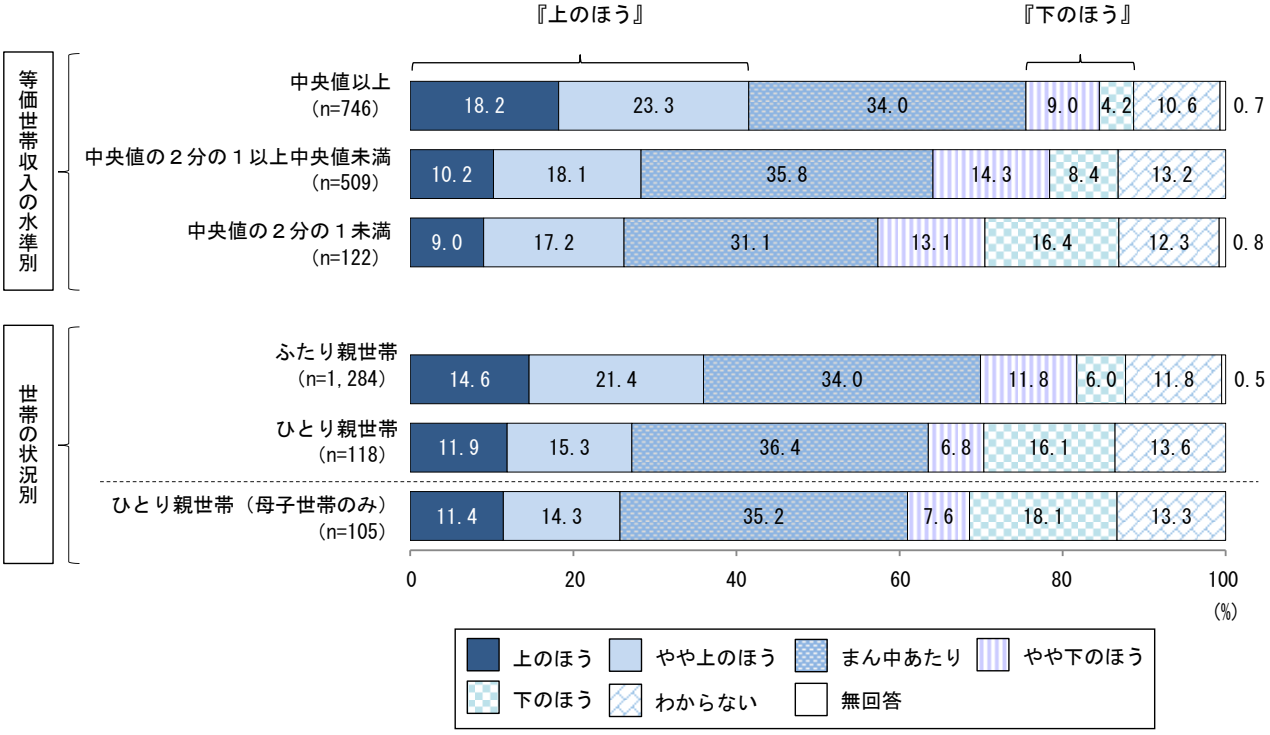


クラスの中での成績について、小学５年生では、『上のほう（「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた割合）』が 35.3%、「まん中あたり」が 34.2%、『下のほう（「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた割合）』が 18.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、『上のほう』が 31.3%、「まん中あたり」が 31.3%、『下のほう』が 32.9%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

子ども票問４．あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞

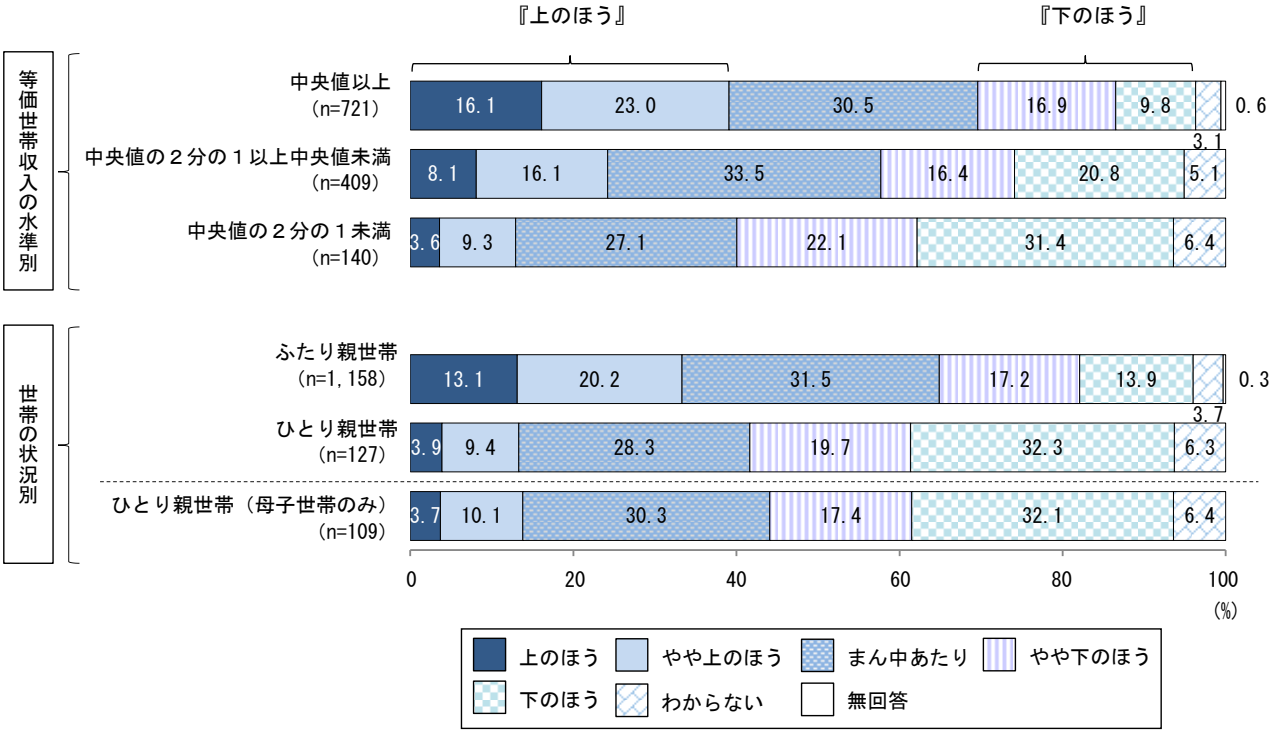


等価世帯収入の水準別にみると、『下のほう』は、「中央値以上」では 13.2%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 22.7%、「中央値の２分の１未満」では 29.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『下のほう』は、「ふたり親世帯」では 17.8%、「ひとり親世帯」では 22.9%、「母子世帯」では 25.7%となっている。

子ども票問４．あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞

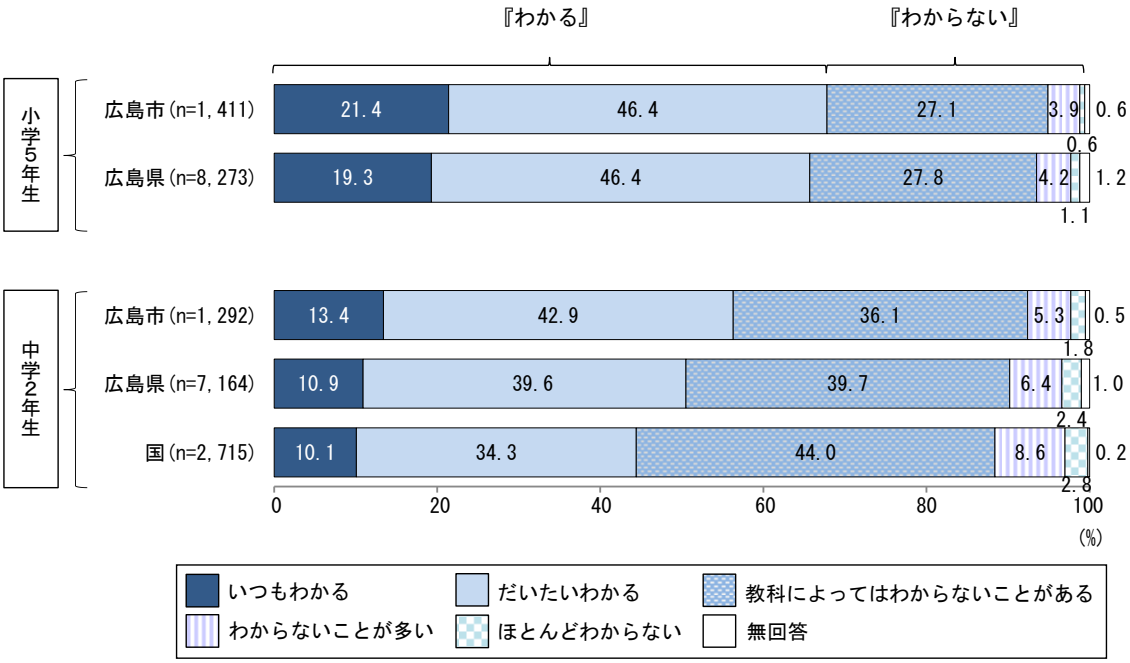


等価世帯収入の水準別にみると、『下のほう』は、「中央値以上」では 26.7%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 37.2%、「中央値の２分の１未満」では 53.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『下のほう』は、「ふたり親世帯」では 31.1%、「ひとり親世帯」では 52.0%、「母子世帯」では 49.5%となっている。

子ども票問５．あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

＜全体＞

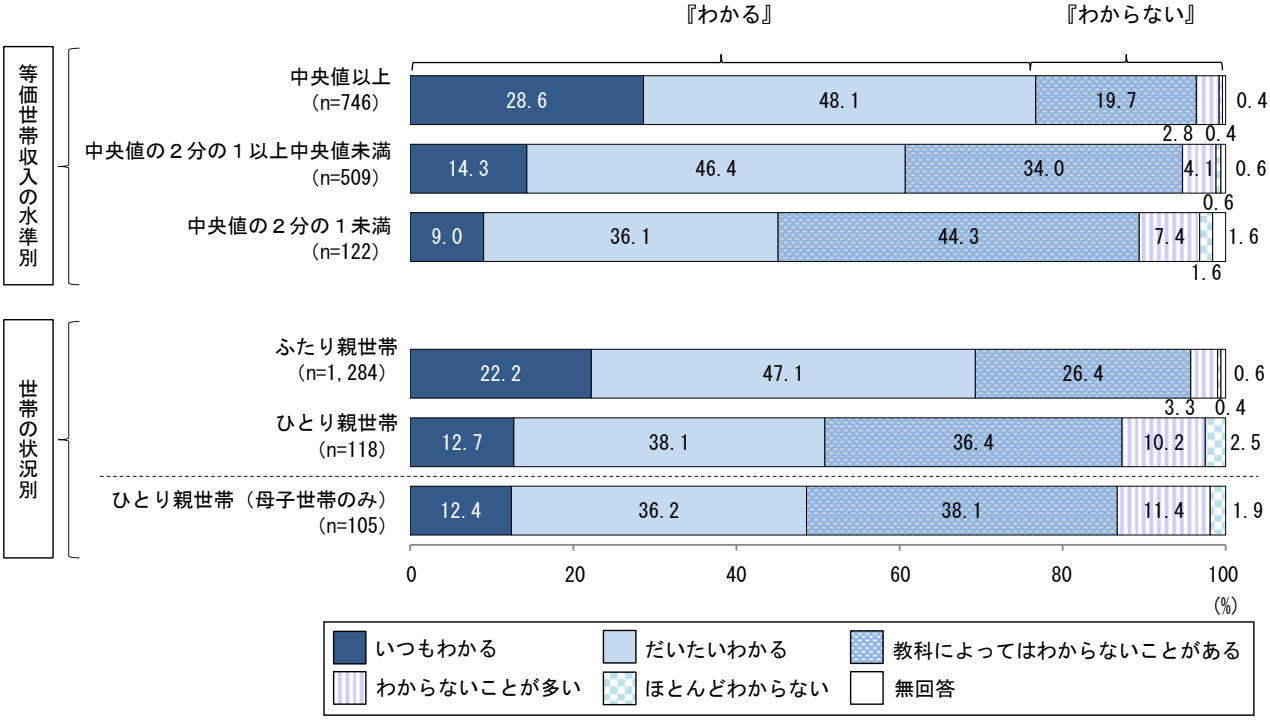


授業の理解状況について、小学５年生では、『わかる（「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合）』が 67.8%、『わからない（「教科によってはわからないことがある」と「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合）』が 31.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、『わかる』が 56.3%、『わからない』が 43.2%となっている。広島県と比較すると、『わかる』は、広島市（56.3%）が広島県（50.5%）を 5.8 ポイント上回っている。国と比較すると、『わからない』は、広島市（43.2%）が国（55.4%）を 12.2 ポイント下回っている。

子ども票問５．あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞

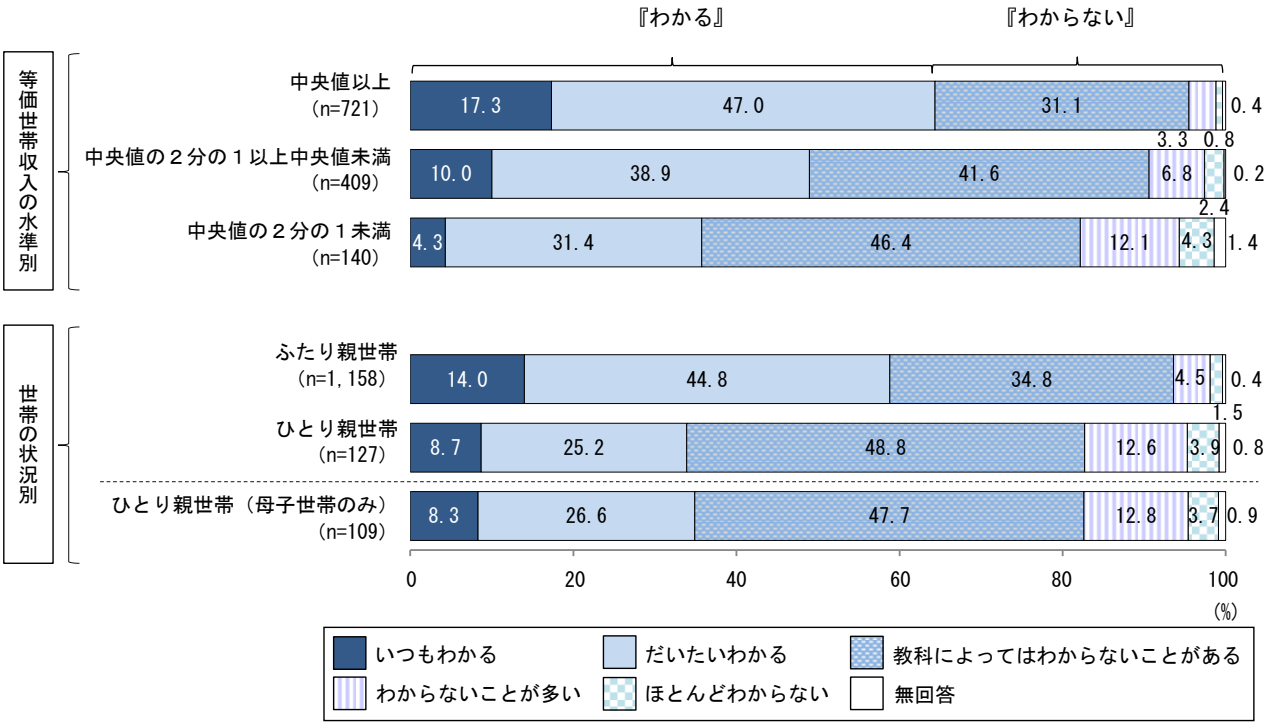


等価世帯収入の水準別にみると、『わからない』は、「中央値以上」では 22.9%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 38.7%、「中央値の２分の１未満」では 53.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『わからない』は、「ふたり親世帯」では 30.1%、「ひとり親世帯」では 49.1%、「母子世帯」では 51.4%となっている。

子ども票問５．あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞



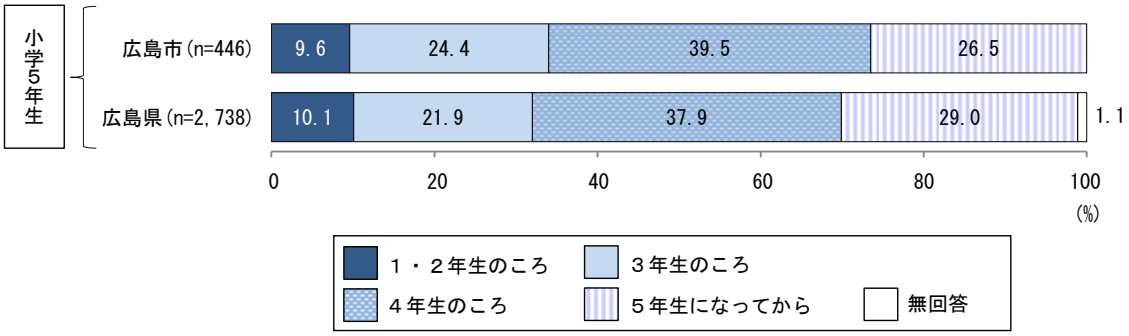
等価世帯収入の水準別にみると、『わからない』は、「中央値以上」では 35.2%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 50.8%、「中央値の２分の１未満」では 62.8%となっている。

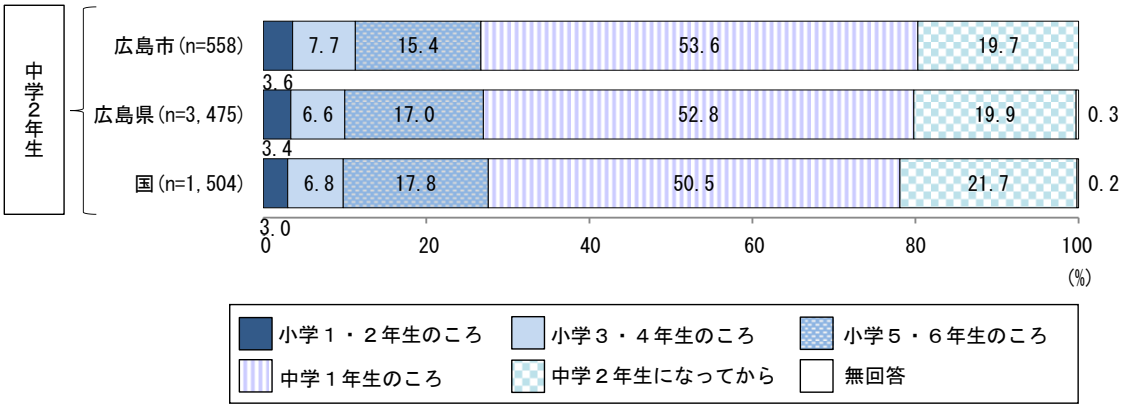
世帯の状況別にみると、『わからない』は、「ふたり親世帯」では 40.8%、「ひとり親世帯」では 65.3%、「母子世帯」では 64.2%となっている。

※問５で「３　教科によってはわからないことがある」「４　わからないことが多い」「５　ほとんどわからない」と答えた方に

子ども票問６．いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

＜全体＞





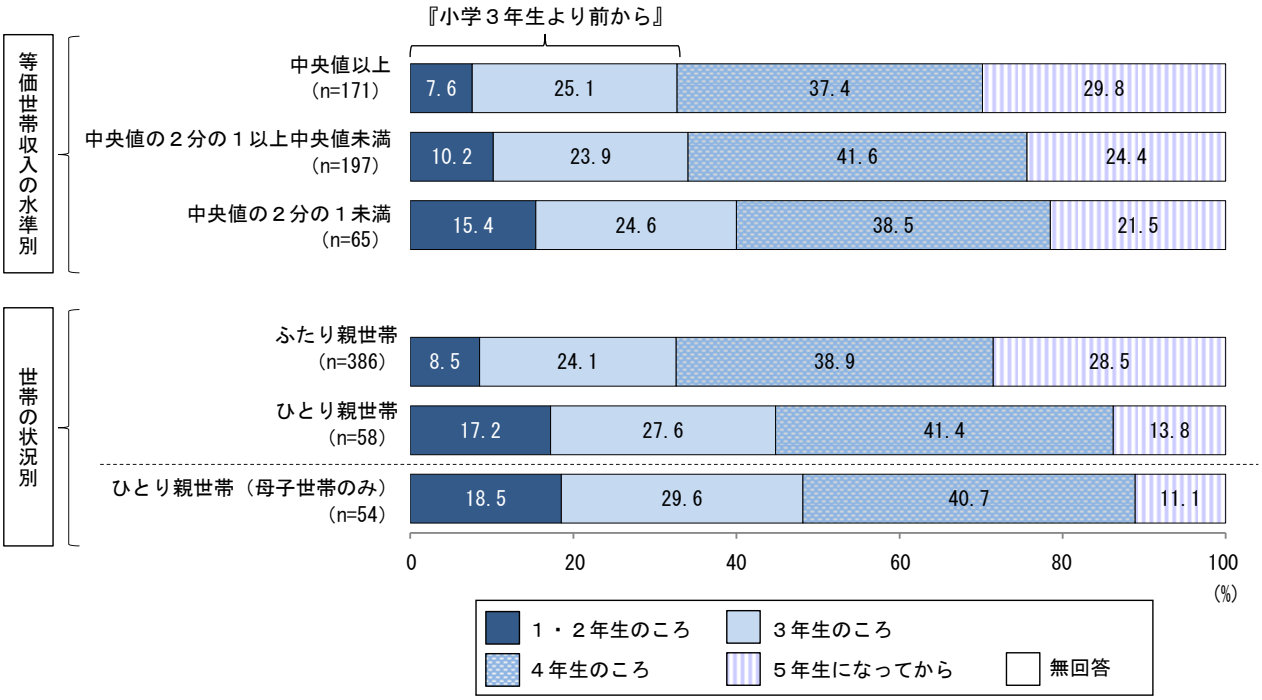
授業がわからなくなった時期について、小学５年生では、「４年生のころ」が 39.5%と最も高く、次いで「５年生になってから」が 26.5%、「３年生のころ」が 24.4%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「中学１年生のころ」が 53.6%と最も高く、次いで「中学２年生になってから」が 19.7%、「小学５・６年生のころ」が 15.4%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

※問５で「３　教科によってはわからないことがある」「４　わからないことが多い」「５　ほとんどわからない」と答えた方に

子ども票問６．いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞



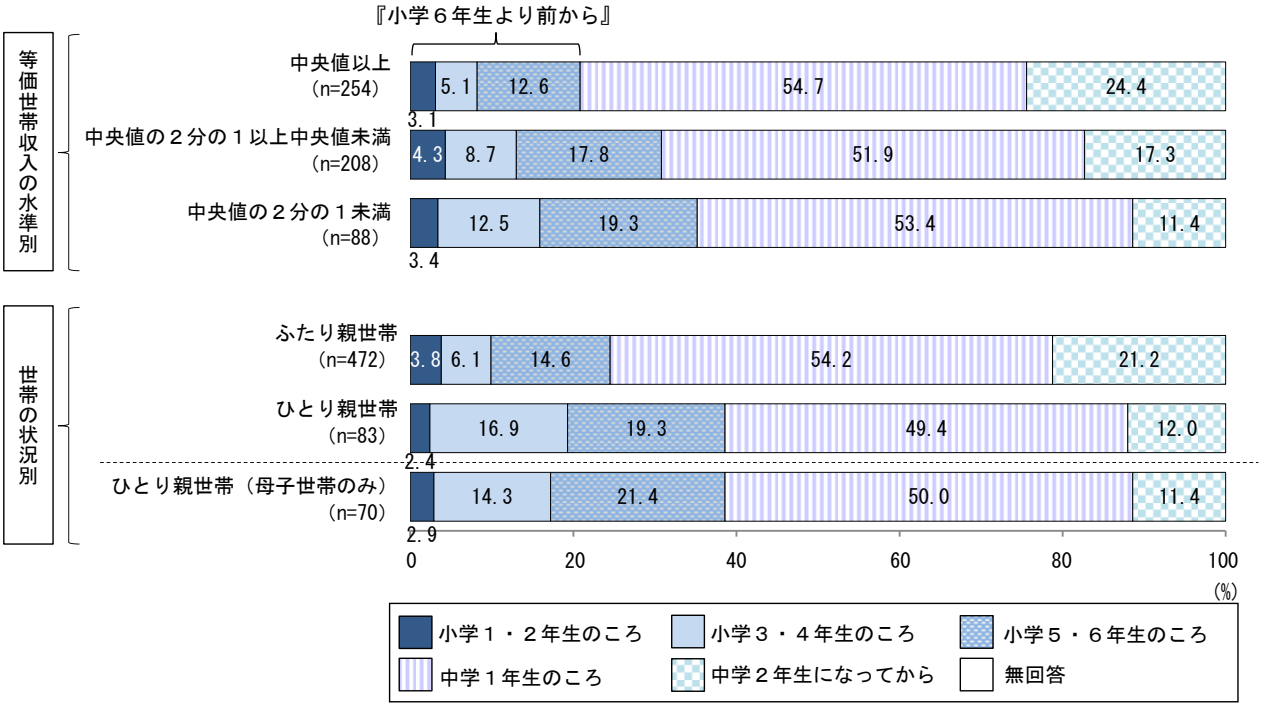
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、『小学３年生より前から（「小学１・２年生のころ」と「小学３年生のころ」を合わせた割合）』が 40.0％と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では『小学３年生より前から』が 44.8％と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

※問５で「３　教科によってはわからないことがある」「４　わからないことが多い」「５　ほとんどわからない」と答えた方に

子ども票問６．いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞



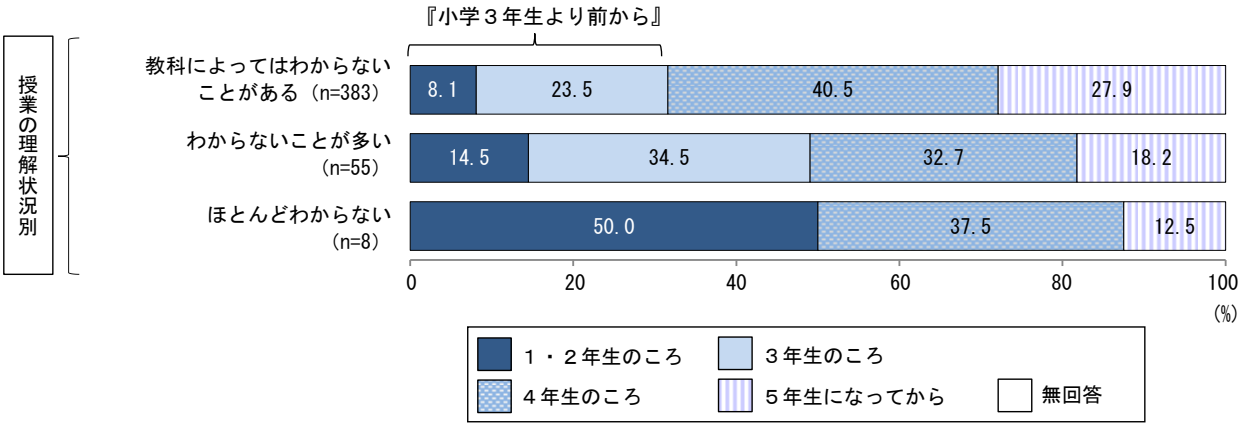
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、『小学６年生より前から（「小学１・２年生のころ」と「小学３・４年生のころ」と「小学５・６年生のころ」を合わせた割合）』が35.2%と他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では『小学６年生より前から』が38.6%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

※問５で「３　教科によってはわからないことがある」「４　わからないことが多い」「５　ほとんどわからない」と答えた方に

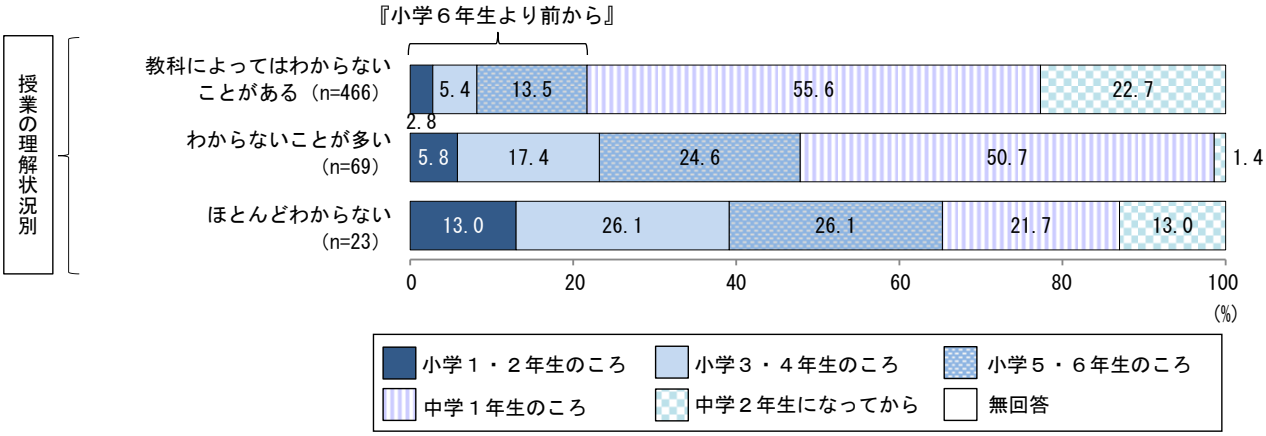
子ども票問６．いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

＜授業の理解状況別（小学５年生）＞



授業の理解状況別にみると、「わからないことが多い」や「ほとんどわからない」では、『小学３年生より前から』が「教科によってはわからないことがある」に比べて高くなっている。

＜授業の理解状況別（中学２年生）＞

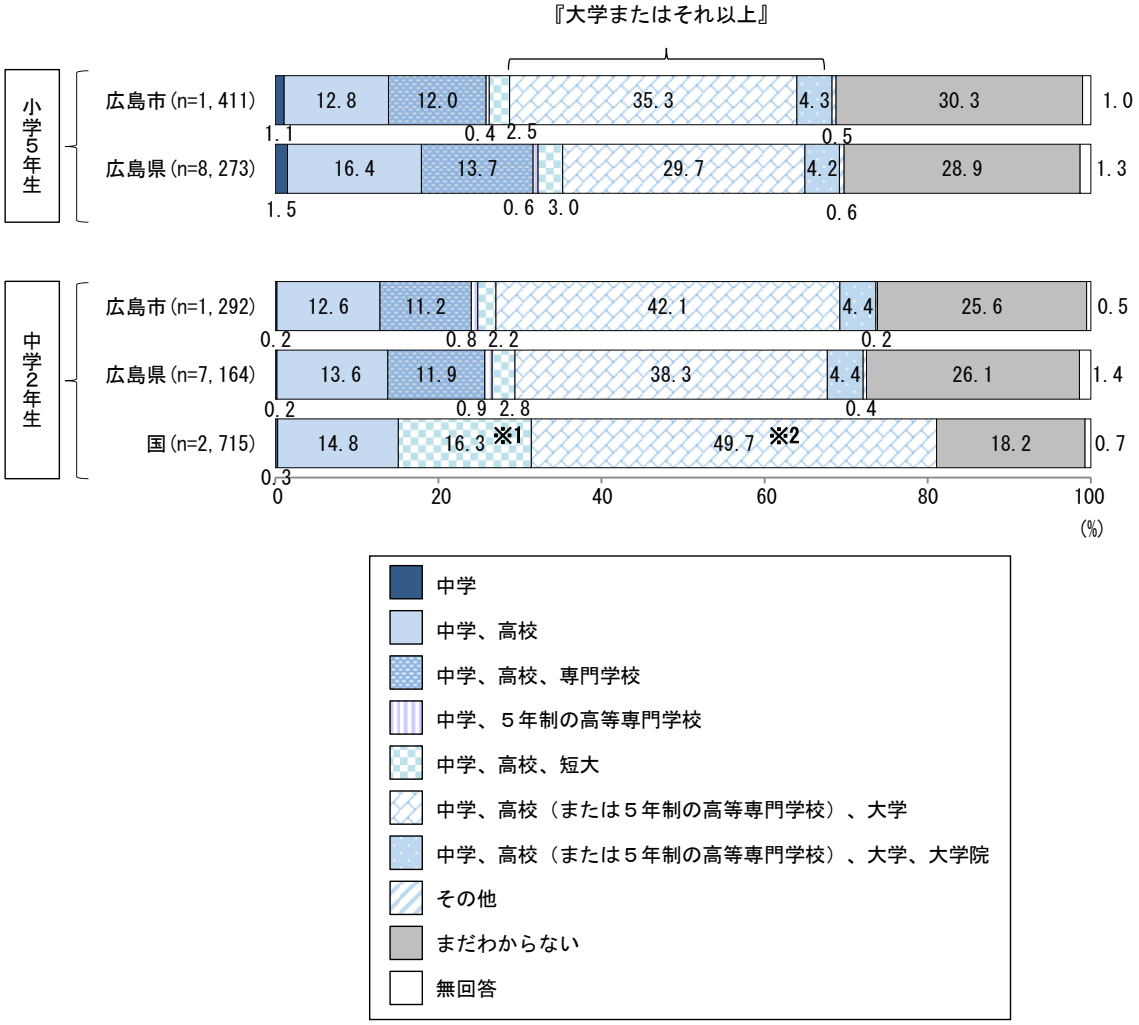


授業の理解状況別にみると、「わからないことが多い」や「ほとんどわからない」では、『小学６年生より前から』が「教科によってはわからないことがある」に比べて高くなっている。

（2）進学希望

子ども票問７．あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。

＜全体＞



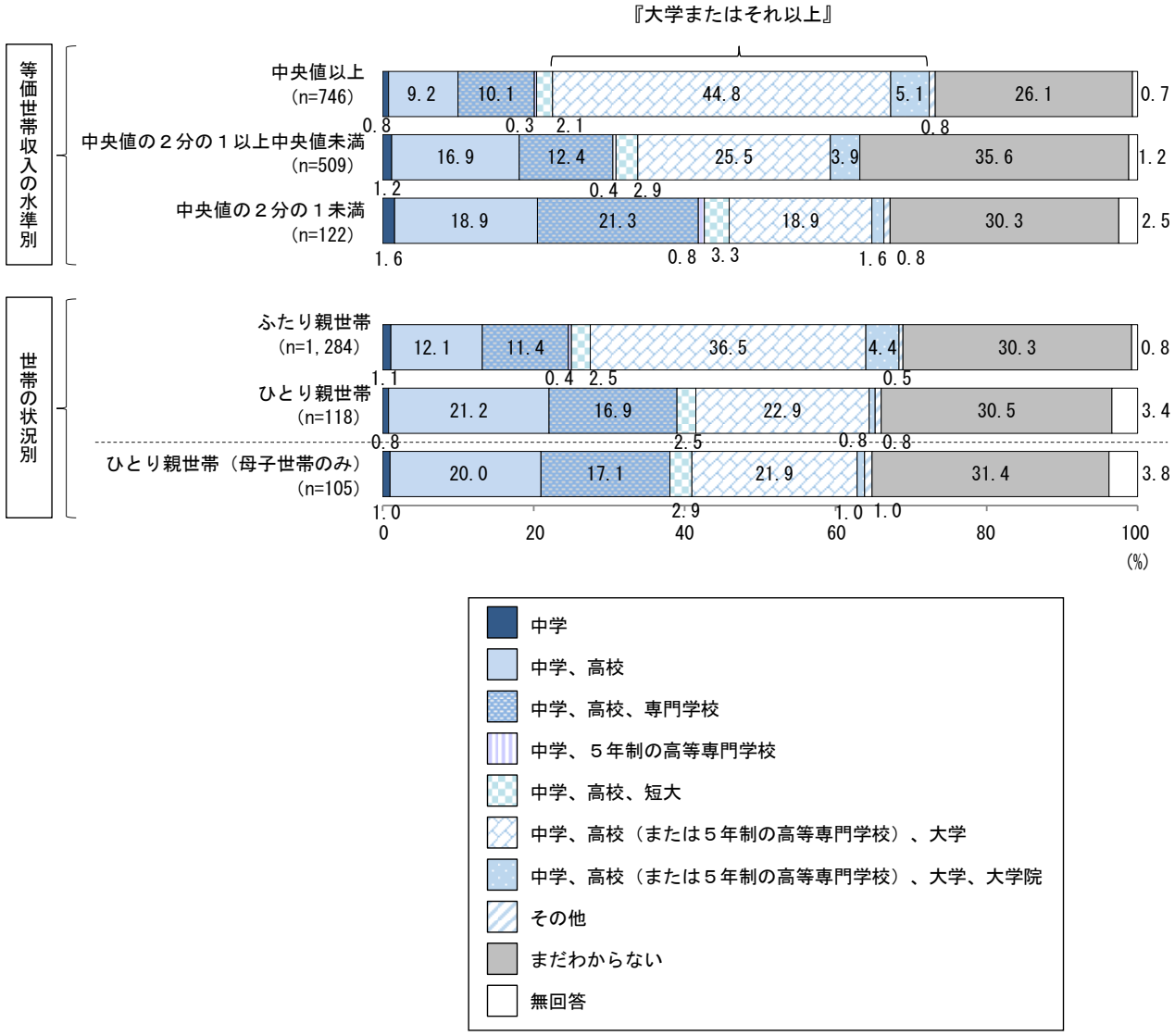
※1：国調査では「短大・高専・専門学校まで」という選択肢になっている
※2：国調査では「大学またはそれ以上」という選択肢になっている

進学希望について、小学５年生では、「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学」が 35.3%と最も高く、次いで、「中学、高校」が 12.8%、「中学、高校、専門学校」が 12.0%などの順となっている。また、「まだわからない」は 30.3%となっている。広島県と比較すると、『大学またはそれ以上』は、広島市（39.6%）が広島県（33.9%）を 5.7 ポイント上回っている。

中学２年生では、「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学」が 42.1%と最も高く、次いで、「中学、高校」が 12.6%、「中学、高校、専門学校」が 11.2%などの順となっている。また、「まだわからない」は 25.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「まだわからない」は、広島市（25.6%）が国（18.2%）を 7.4 ポイント上回っている。

子ども票問７．あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞

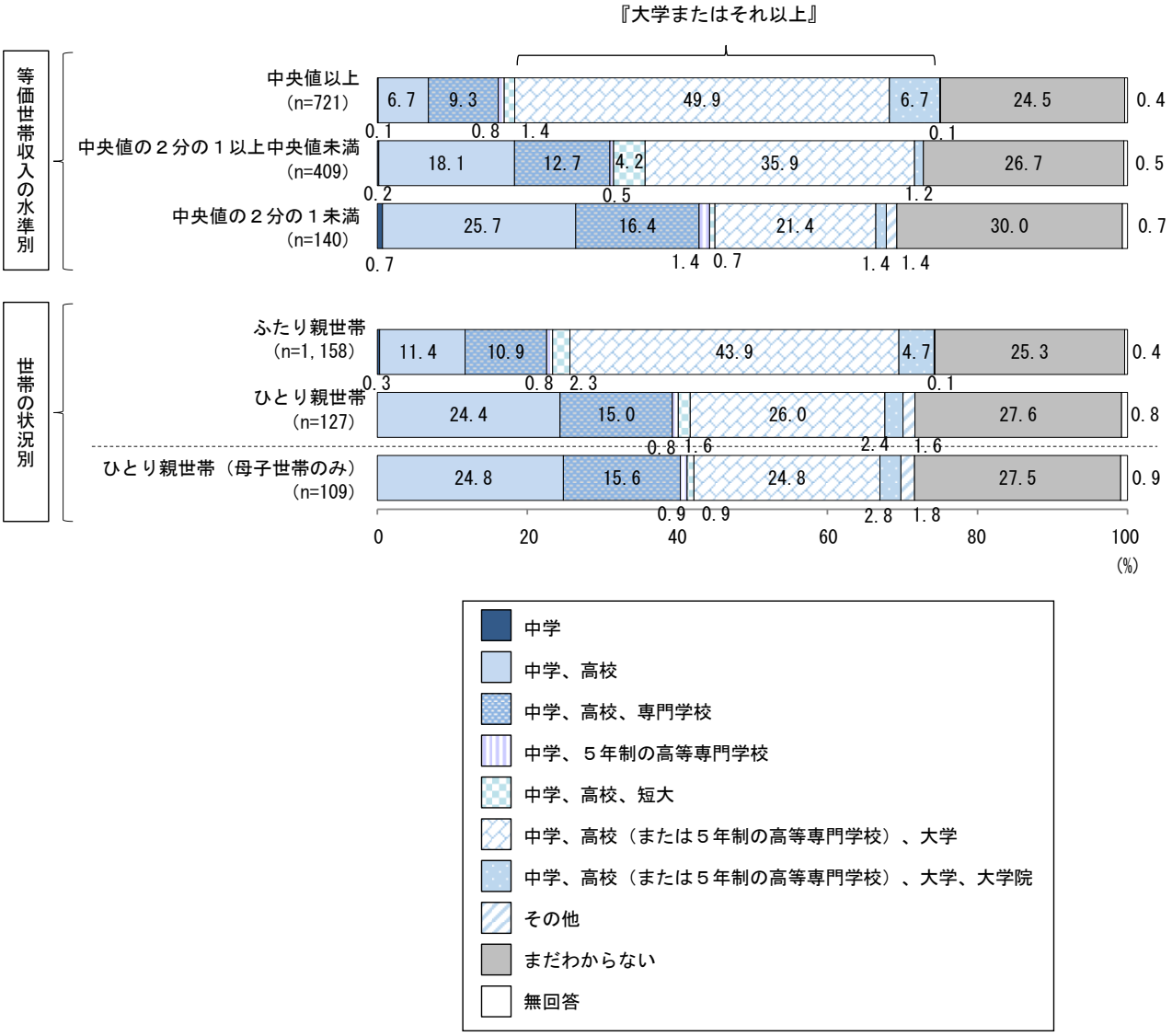


等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では 49.9%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 29.4%、「中央値の２分の１未満」では 20.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では 40.9%、「ひとり親世帯」では 23.7%、「母子世帯」では 22.9%となっている。

子ども票問７．あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞

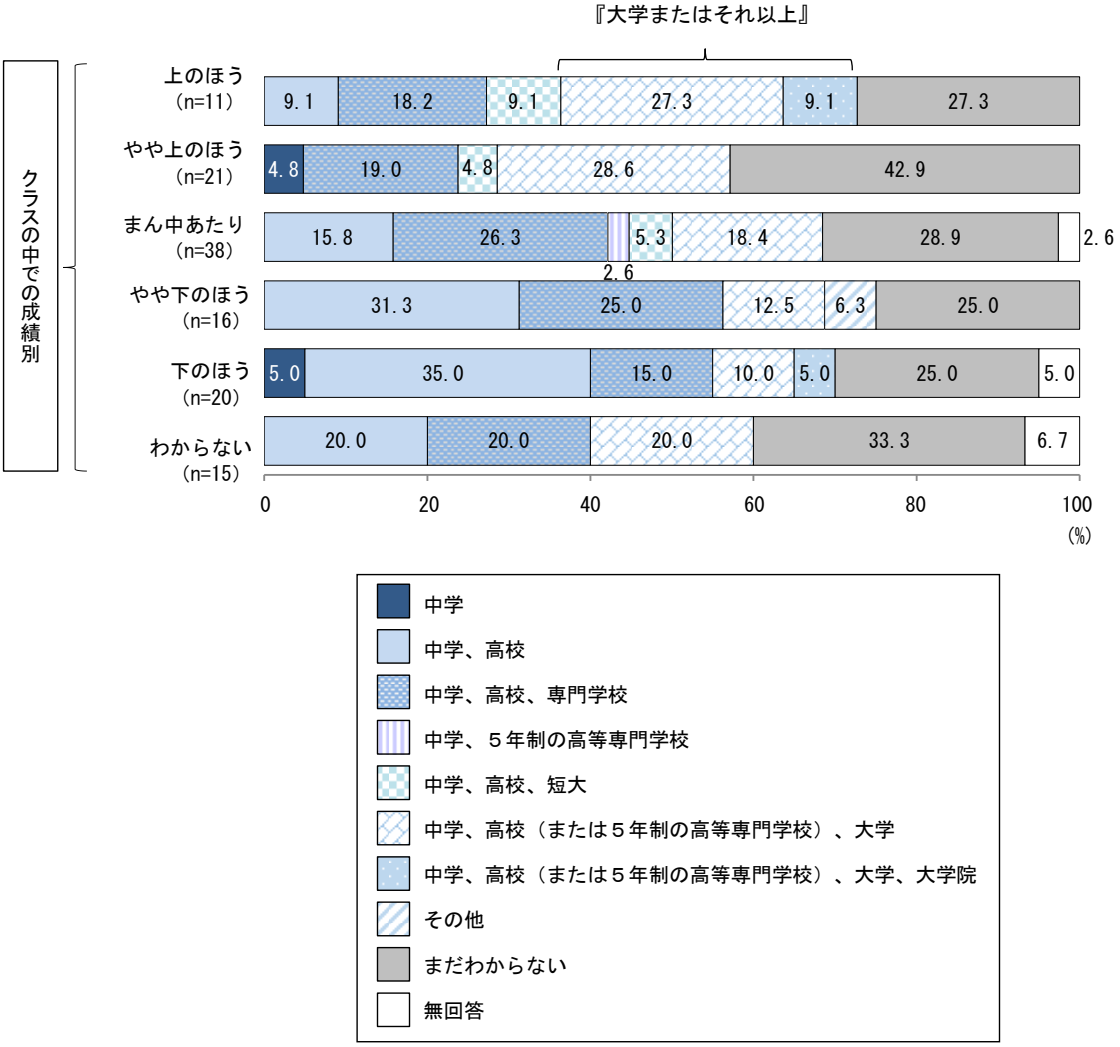


等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では 56.6%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 37.1%、「中央値の２分の１未満」では 22.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では 48.6%、「ひとり親世帯」では 28.4%、「母子世帯」では 27.6%となっている。

子ども票問７．あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。

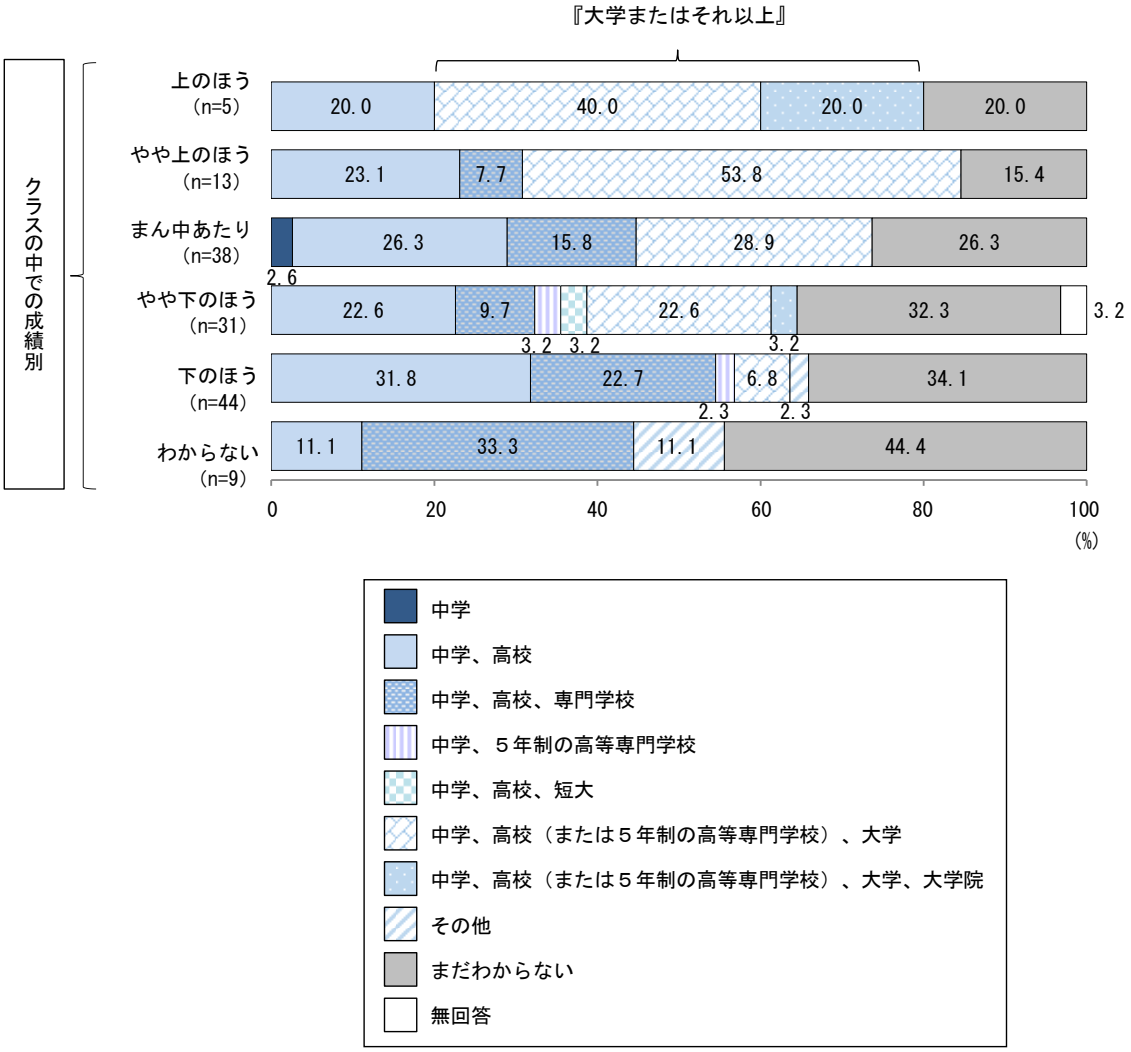
＜クラスの中での成績別（等価世帯収入が「中央値の２分の１未満」の場合）（小学５年生）＞



クラスの中での成績別にみると、収入が低い場合であっても、クラスの中での成績が「上のほう」と思っている場合には、『大学またはそれ以上』を希望する割合が 36.4%と高くなっている。

子ども票問７．あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。

＜クラスの中での成績別（等価世帯収入が「中央値の２分の１未満」の場合）（中学２年生）＞



クラスの中での成績別にみると、収入が低い場合であっても、クラスの中での成績が「上のほう」と思っている場合には、『大学またはそれ以上』を希望する割合が60.0%と高くなっている。

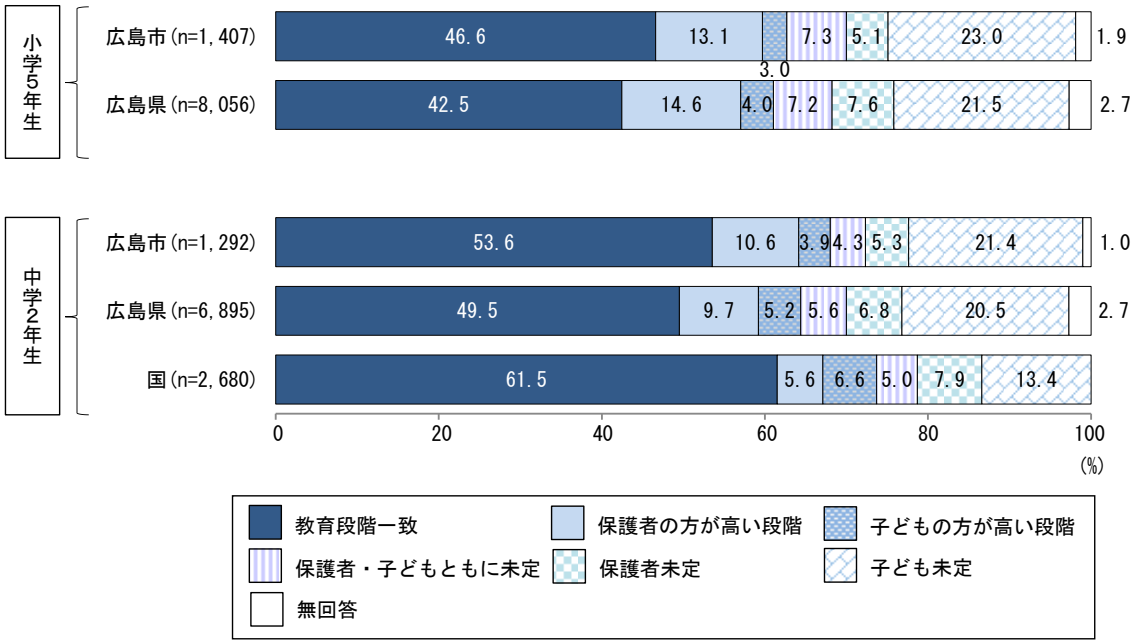
＝ 保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況 ＝

保護者が考える子どもの進学段階に関する展望の回答（P.60 参照）と、子ども自身が進学したいと思う教育段階（P.125 参照）の一致・不一致の状況について、「教育段階一致」、「保護者の方が高い段階」、「子どもの方が高い段階」、「保護者・子どもともに未定」、「保護者未定」、「子ども未定」の６分類で集計した。

※短大・高専・専門学校、大学・大学院はそれぞれ同じ段階として集計した。

※保護者・子どものいずれか、または両方が「8 その他」や「無回答」の場合は無回答として集計した。

＜全体＞

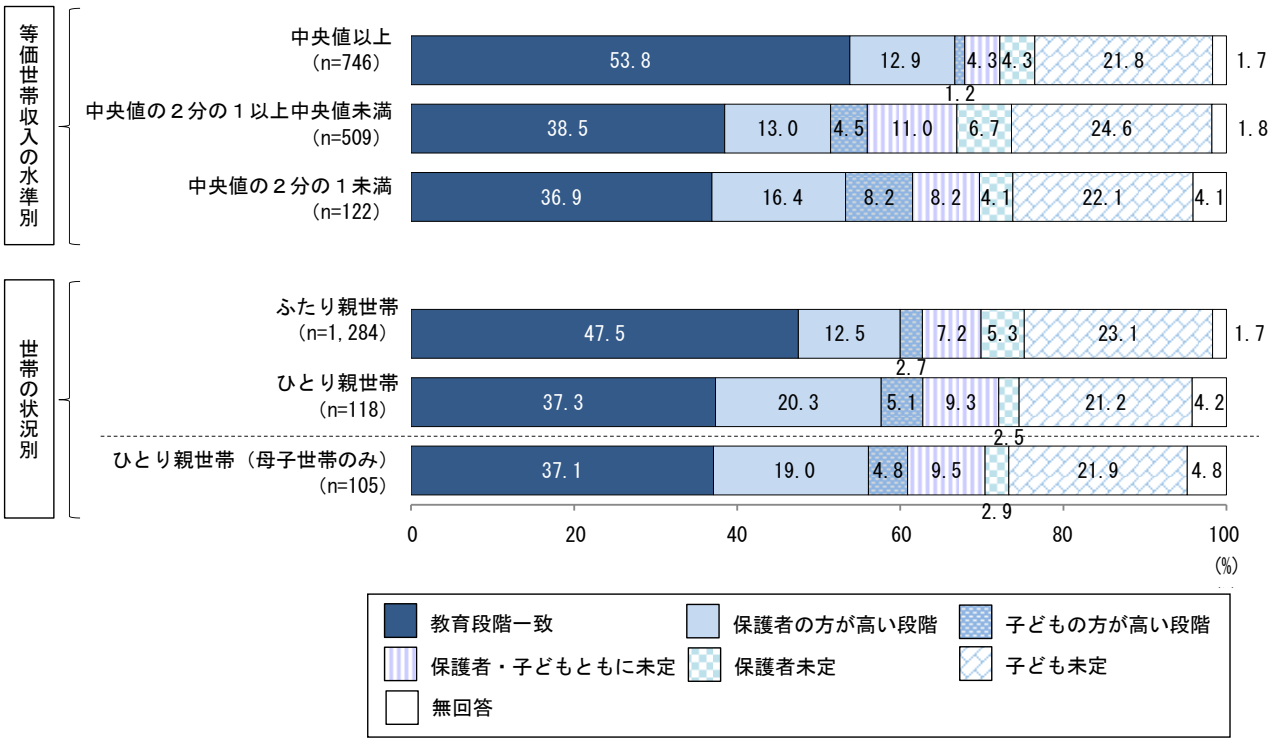


保護者と子どもの考えの一致･不一致の状況について、小学５年生では、「教育段階一致」が 46.6%と最も高く、次いで「子ども未定」が 23.0%、「保護者の方が高い段階」が 13.1%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「教育段階一致」が 53.6%と最も高く、次いで「子ども未定」が 21.4%、「保護者の方が高い段階」が 10.6%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「教育段階一致」は、広島市（53.6%）が国（61.5%）を 7.9 ポイント下回っており、「保護者の方が高い段階」は、広島市（10.6%）が国（5.6%）を 5.0 ポイント、「子ども未定」は、広島市（21.4%）が国（13.4%）を 8.0 ポイント上回っている。

＝ 保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞

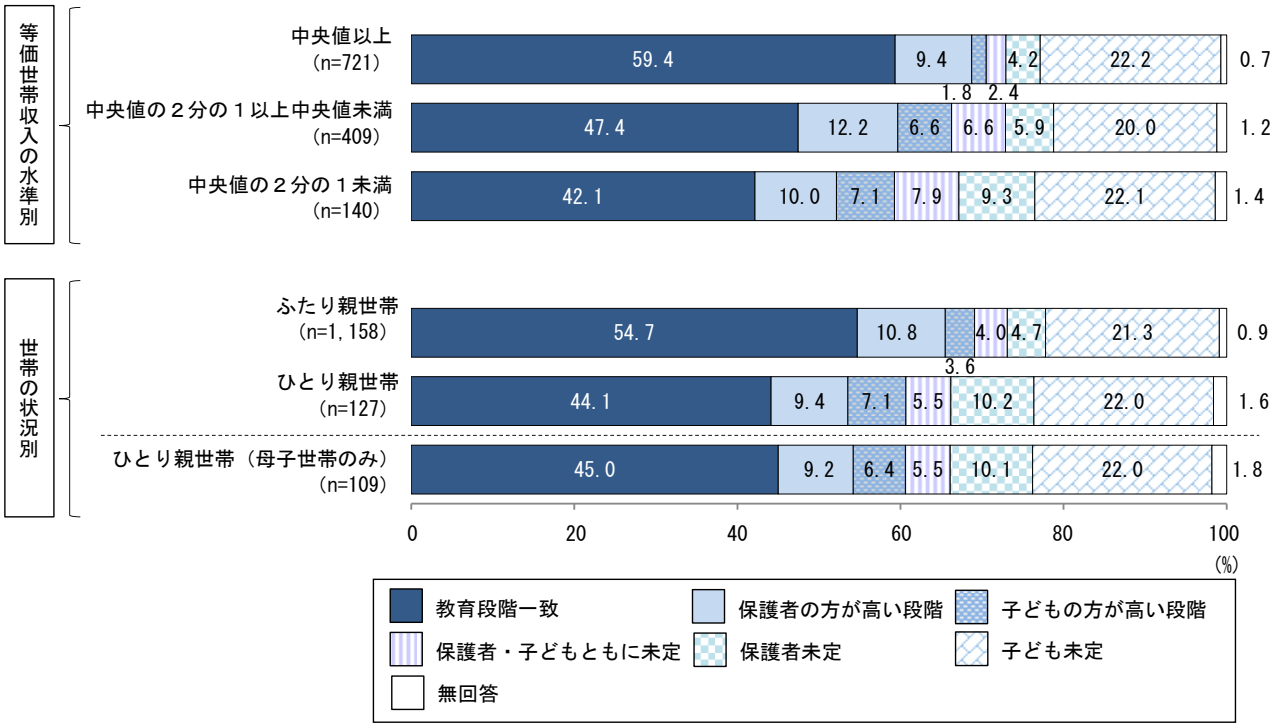


等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」は、「中央値以上」では 53.8%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 38.5%、「中央値の２分の１未満」では 36.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「教育段階一致」は、「ふたり親世帯」では 47.5%、「ひとり親世帯」では 37.3%、「母子世帯」では 37.1%となっている。

＝ 保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞



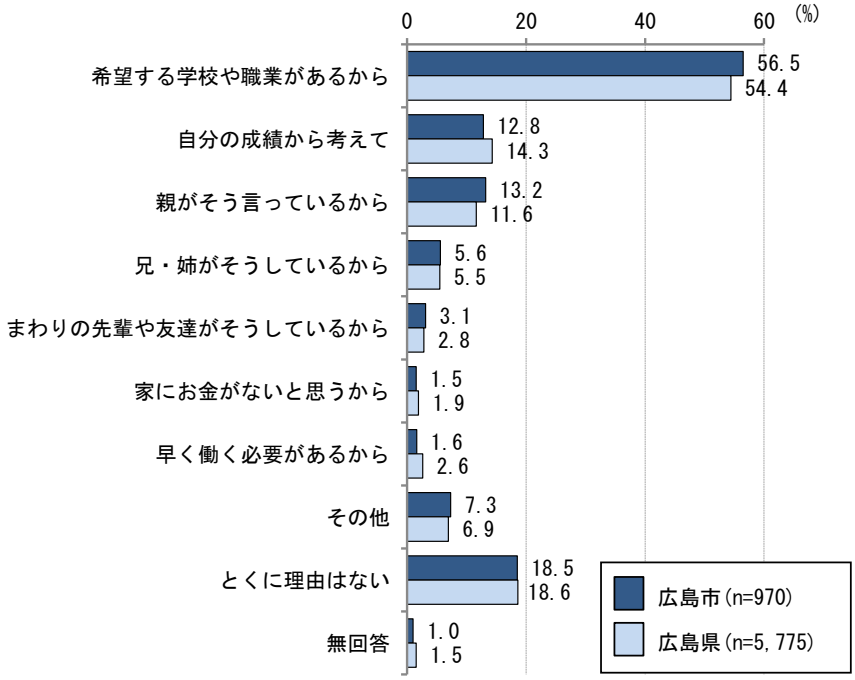
等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」は、「中央値以上」では 59.4%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 47.4%、「中央値の２分の１未満」では 42.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「教育段階一致」は、「ふたり親世帯」では 54.7%、「ひとり親世帯」では 44.1%、「母子世帯」では 45.0%となっている。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜小学５年生＞

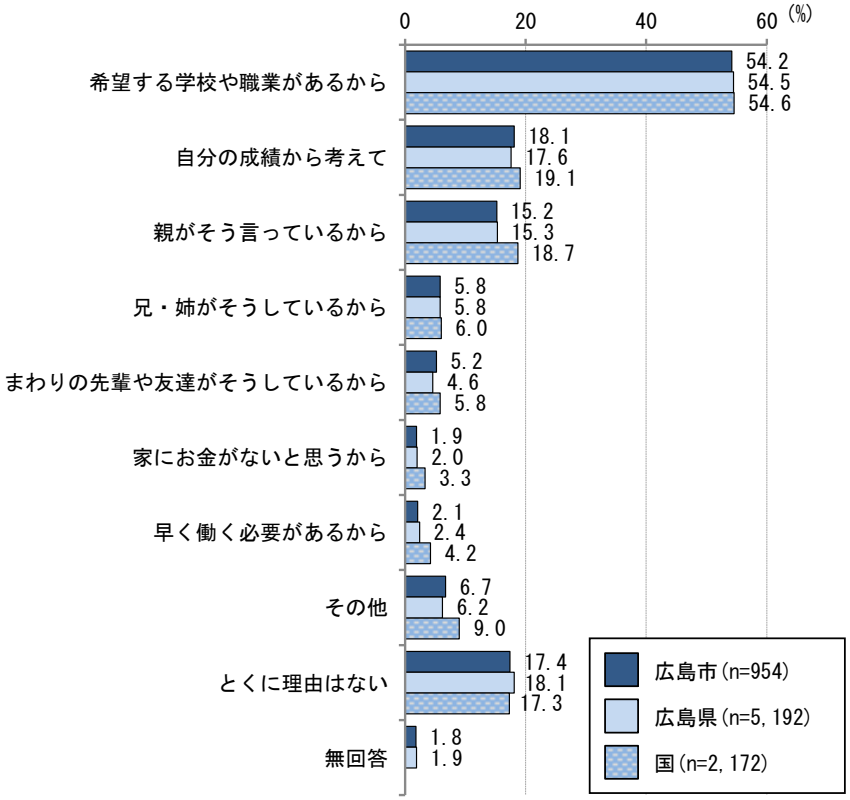


進学希望の理由について、小学５年生では、「希望する学校や職業があるから」が 56.5%と最も高く、次いで「親がそう言っているから」が 13.2%、「自分の成績から考えて」が 12.8%などの順となっている。また、「とくに理由はない」は 18.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜中学２年生＞

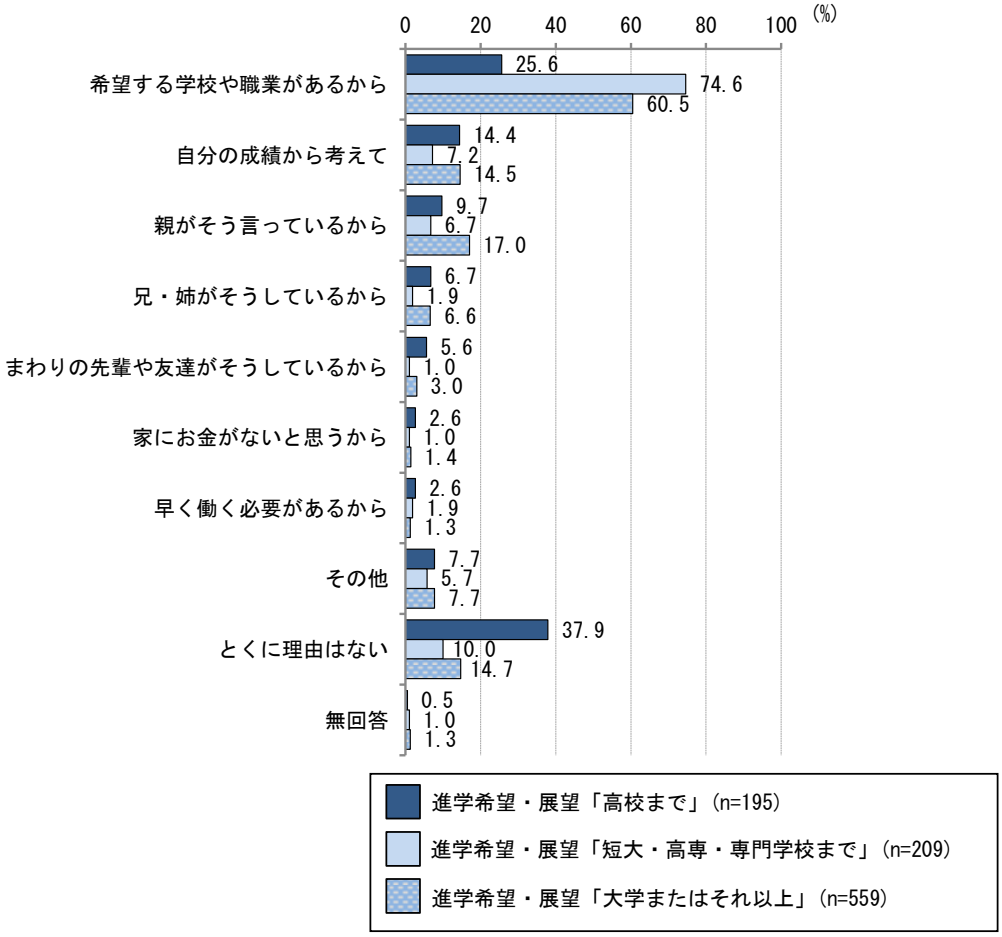


進学希望の理由について、中学２年生では、「希望する学校や職業があるから」が 54.2%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が 18.1%、「親がそう言っているから」が 15.2%などの順となっている。また、「とくに理由はない」は 17.4%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜進学したいと思う教育段階別（小学５年生）＞

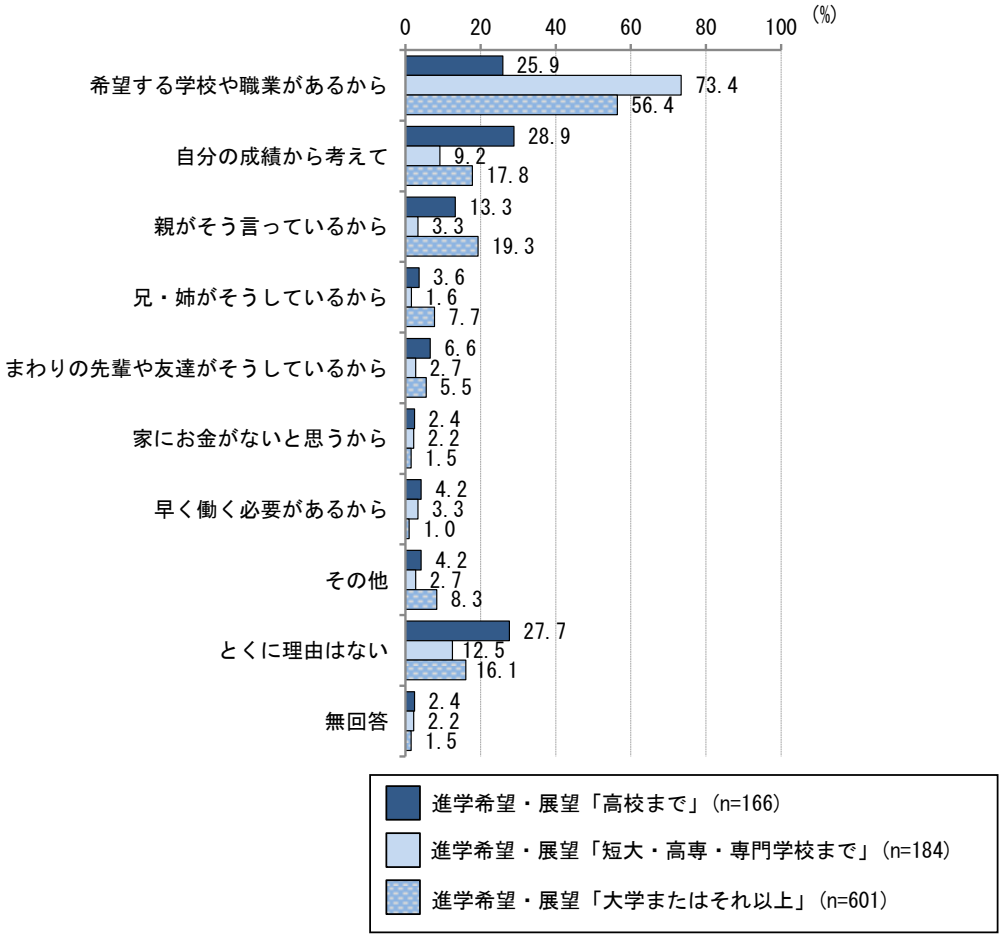


進学したいと思う教育段階別にみると、『高校まで』では、「希望する学校や職業があるから」が25.6%となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて低くなっている。一方で、「とくに理由はない」は37.9%と高くなっている。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜進学したいと思う教育段階別（中学２年生）＞

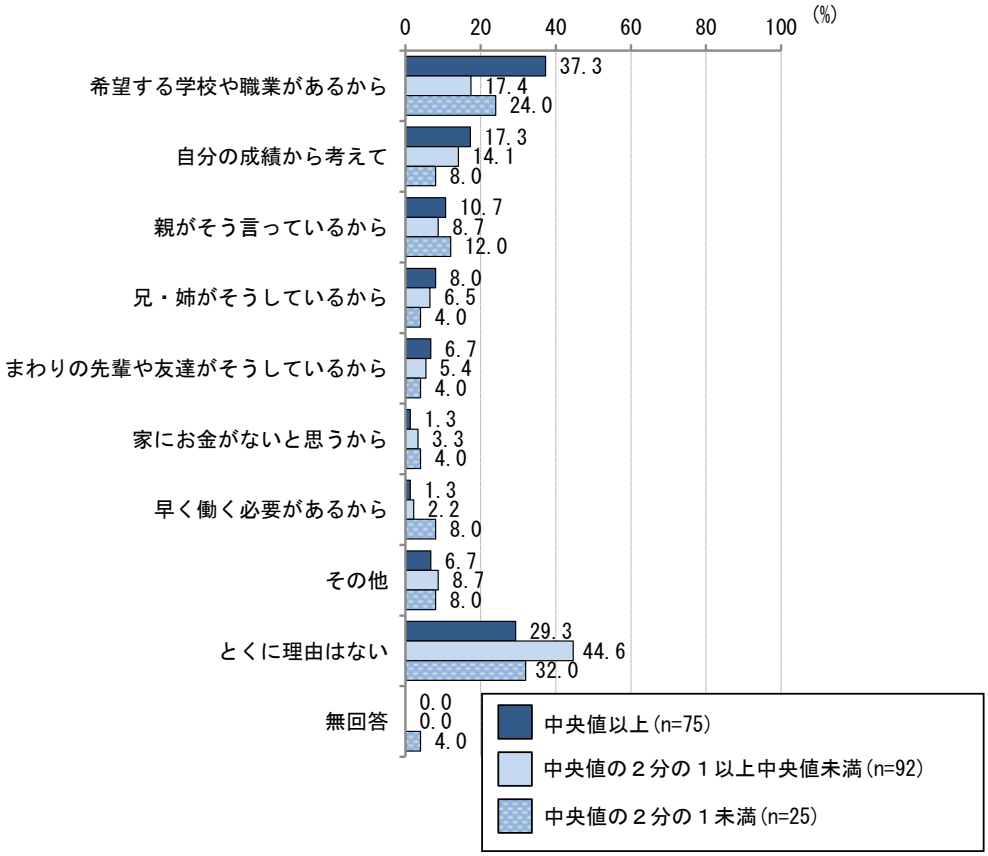


進学したいと思う教育段階別にみると、『高校まで』では、「希望する学校や職業があるから」が25.9%となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて低くなっている。一方で、「自分の成績から考えて」は28.9%、「特に理由はない」は27.7%と高くなっている。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜高校までを希望している場合の等価世帯収入の水準別（小学５年生）＞

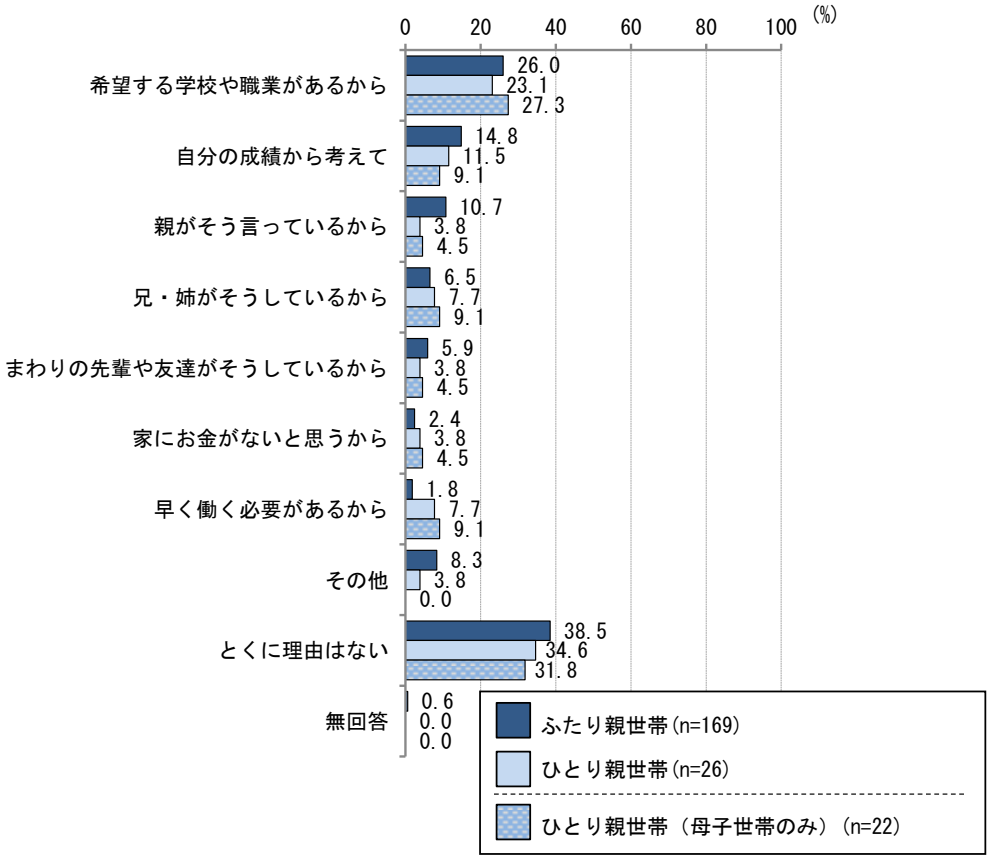


『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「早く働く必要があるから」が 8.0%と他の世帯と比べて高くなっている。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜高校までを希望している場合の世帯の状況別（小学５年生）＞

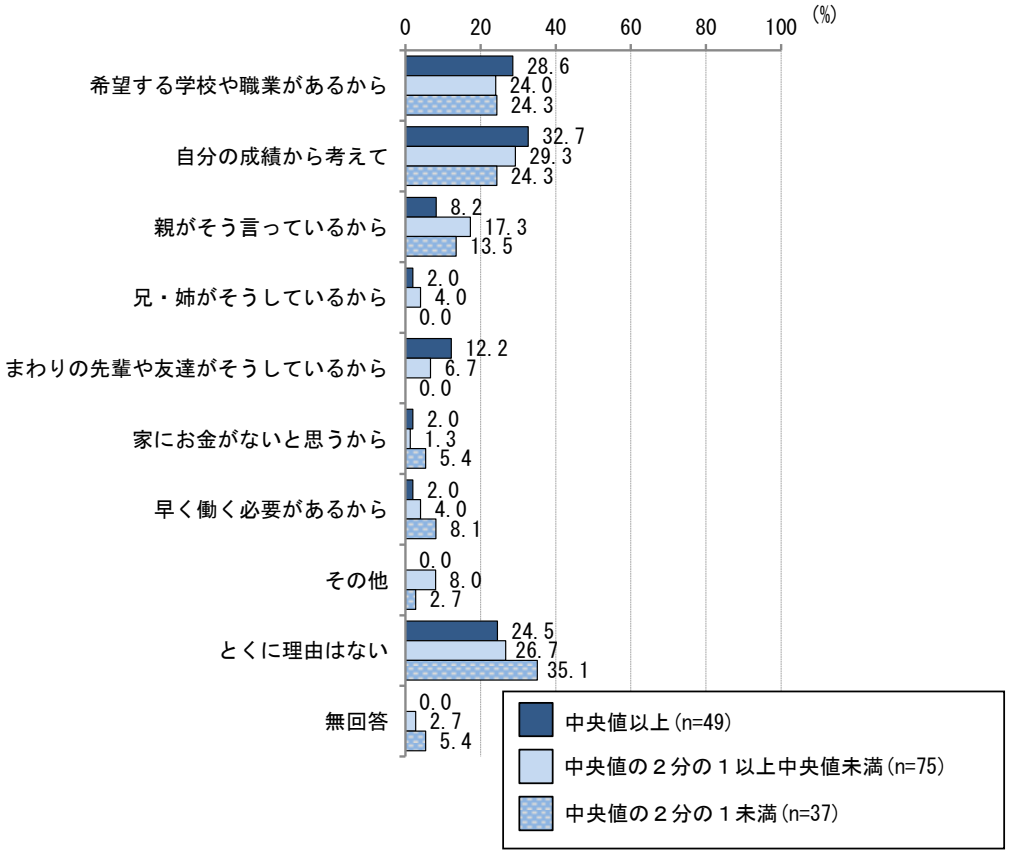


『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「早く働く必要があるから」が7.7%と高くなっている。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜高校までを希望している場合の等価世帯収入の水準別（中学２年生）＞

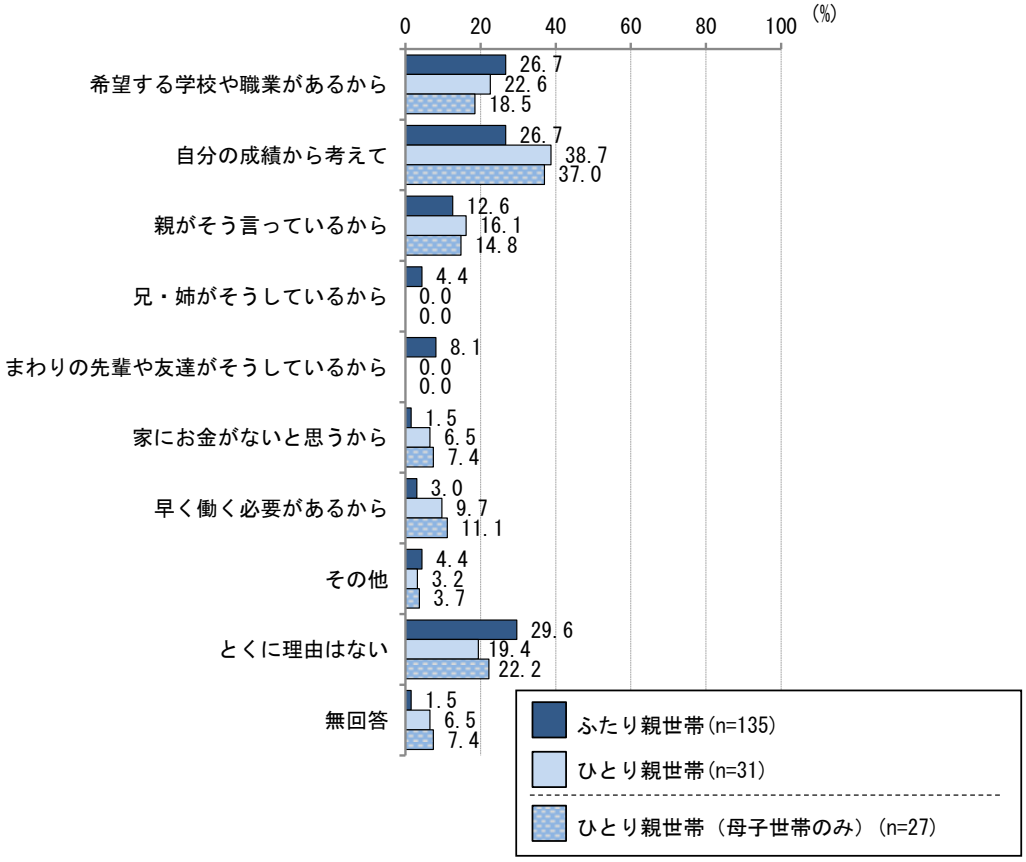


『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「早く働く必要があるから」が8.1%、「とくに理由はない」が35.1%と他の世帯と比べて高くなっている。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜高校までを希望している場合の世帯の状況別（中学２年生）＞

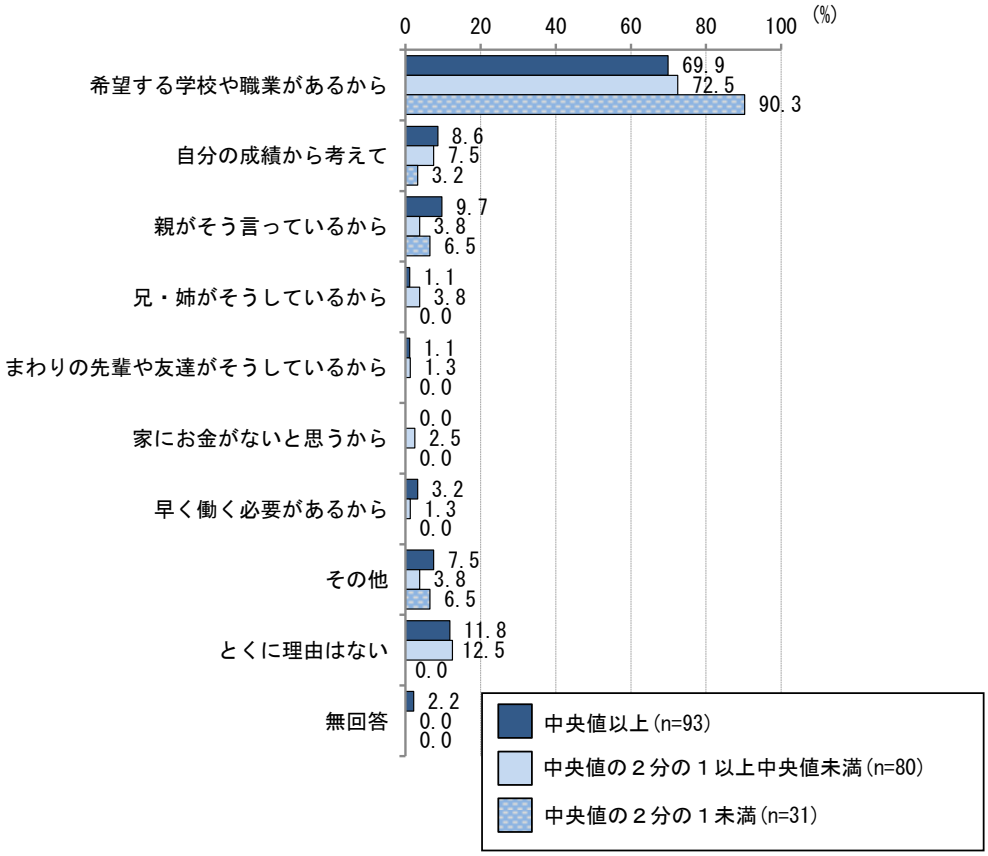


『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「自分の成績から考えて」が38.7%、「家にお金がないと思うから」が6.5%、「早く働く必要があるから」が9.7%と高くなっている。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜短大・高専・専門学校までを希望している場合の等価世帯収入の水準別（小学５年生）＞

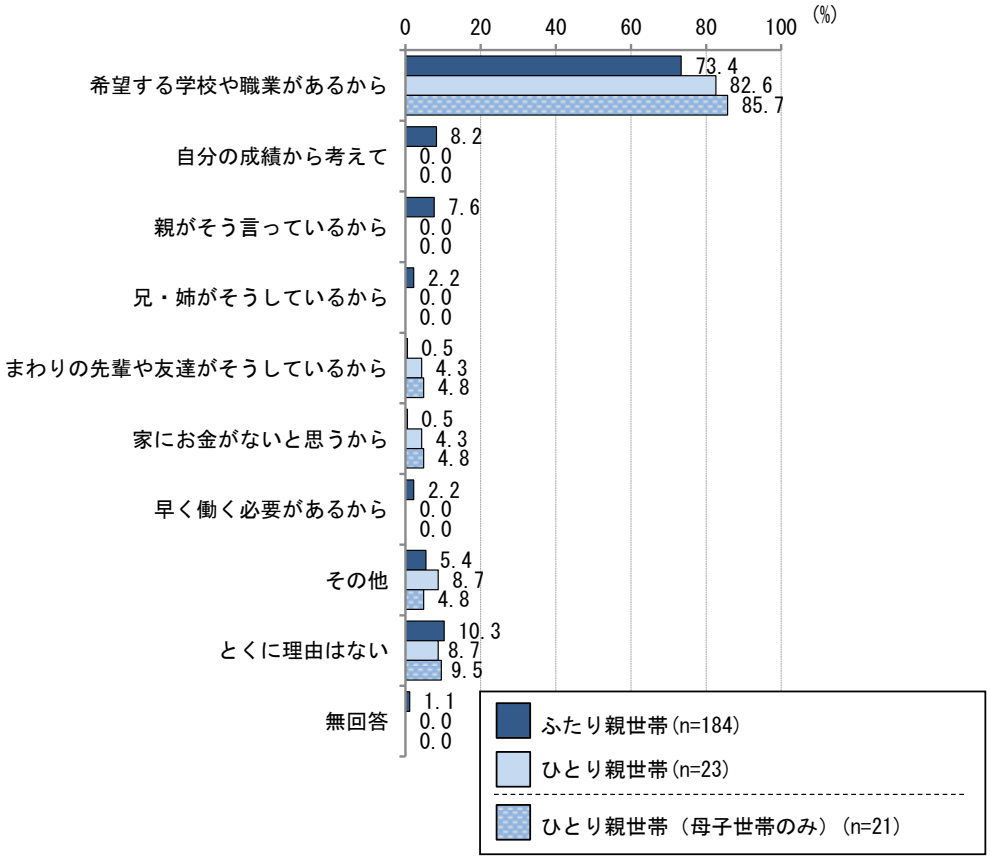


『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「希望する学校や職業があるから」が 90.3%と他の世帯と比べて高くなっている。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜短大・高専・専門学校までを希望している場合の世帯の状況別（小学５年生）＞

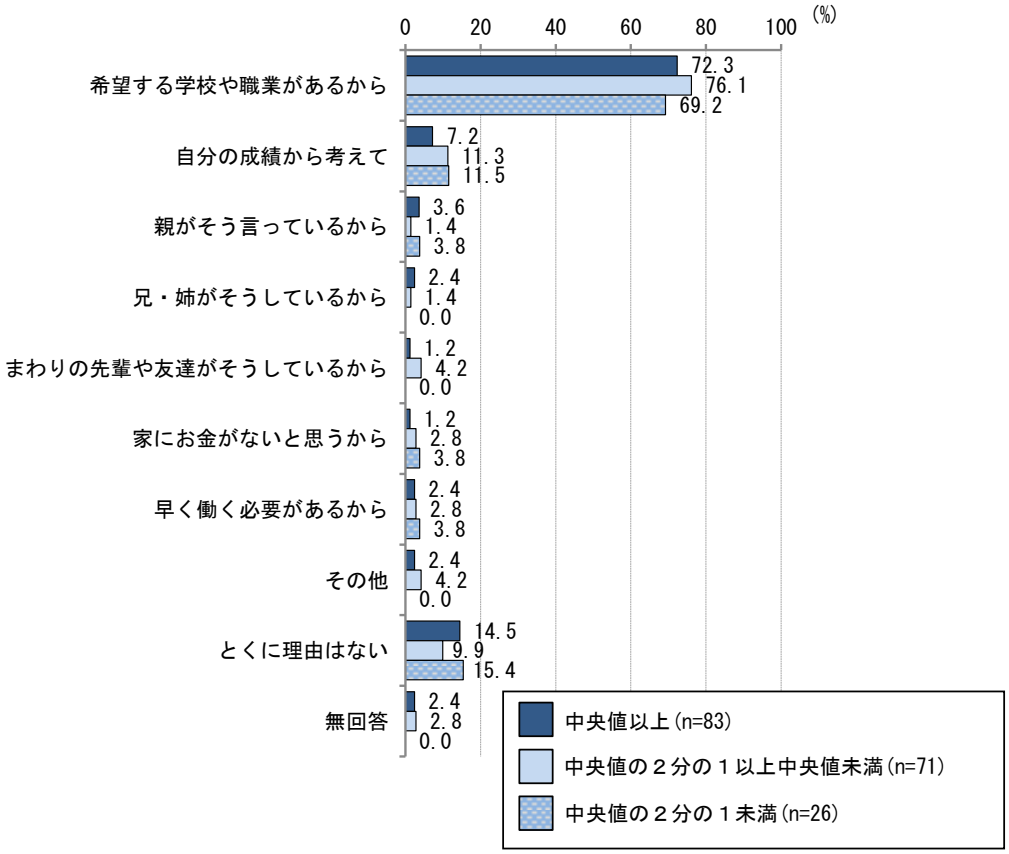


『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「希望する学校や職業があるから」が 82.6%と高くなっている。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜短大・高専・専門学校までを希望している場合の等価世帯収入の水準別（中学２年生）＞

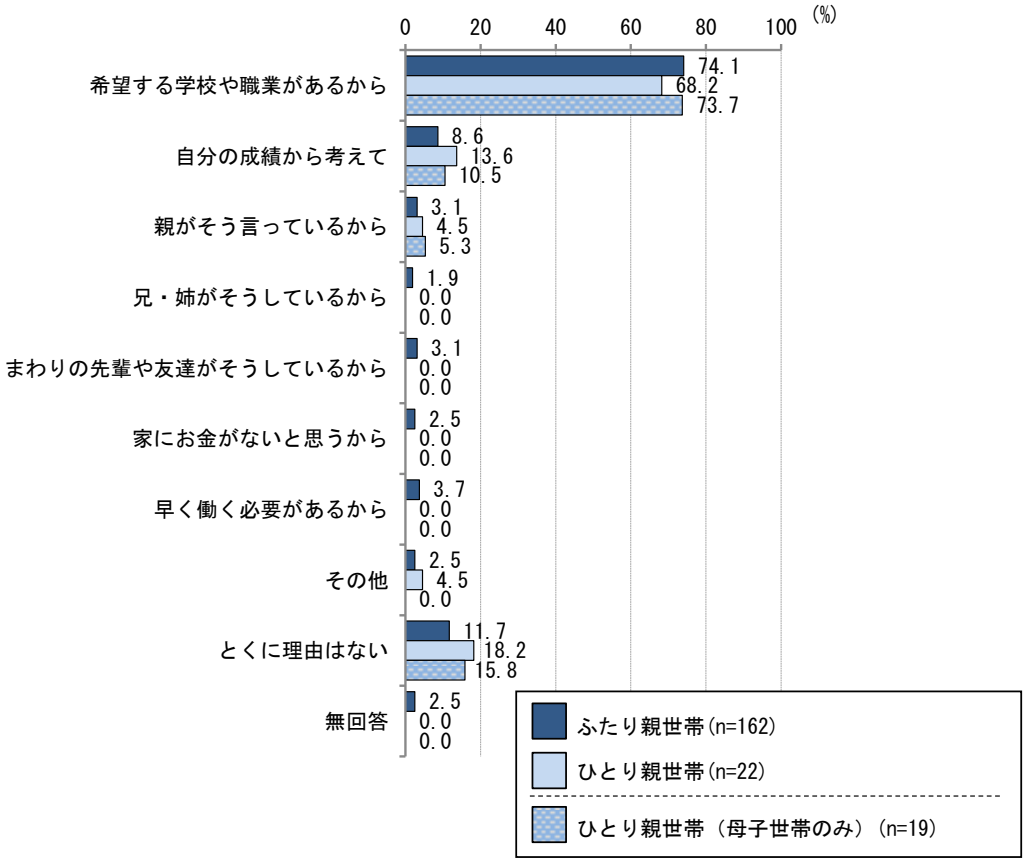


『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「中央値以上」の世帯では 72.3%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 76.1%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 69.2%となっている。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜短大・高専・専門学校までを希望している場合の世帯の状況別（中学２年生）＞

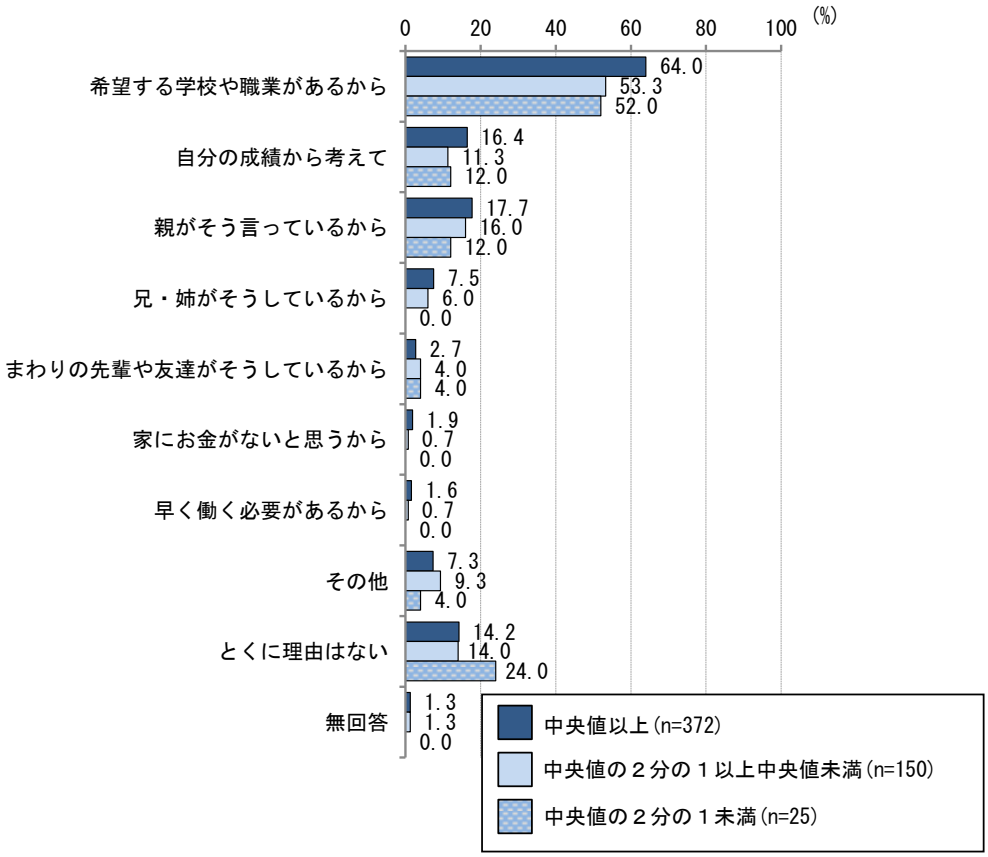


『短大・高専・専門学校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「自分の成績から考えて」が 13.6%と高くなっている。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜大学またはそれ以上を希望している場合の等価世帯収入の水準別（小学５年生）＞

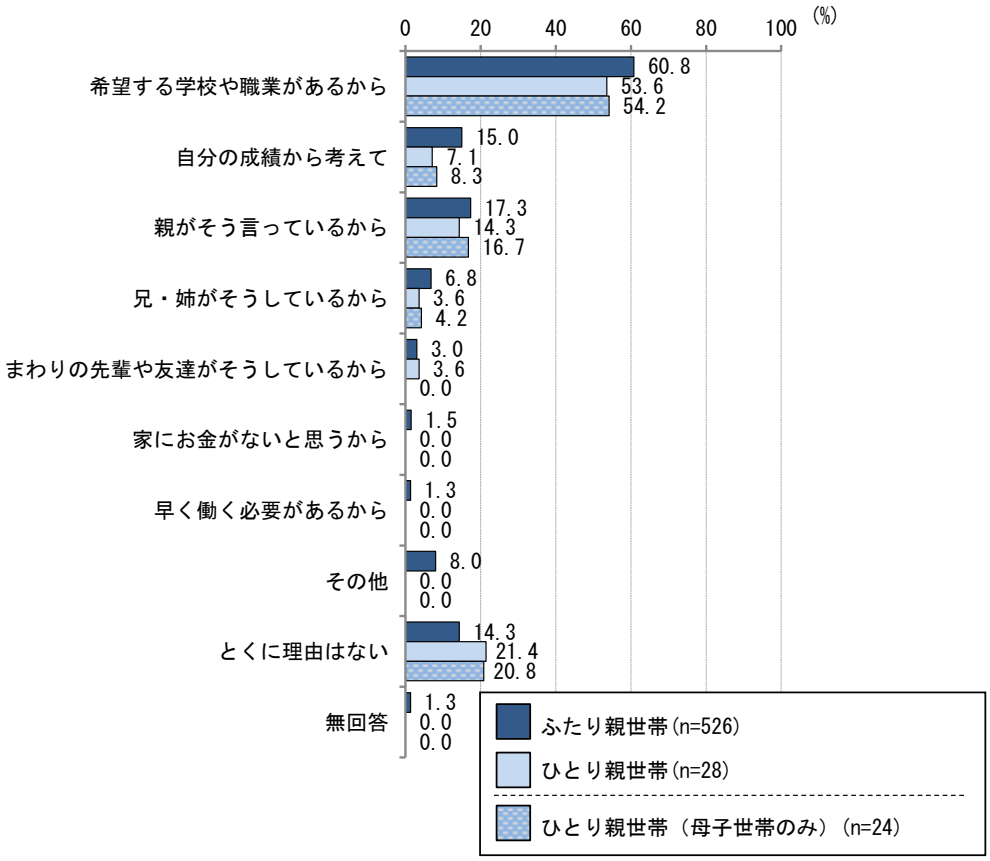


『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「中央値以上」の世帯では 64.0%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 53.3%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 52.0%となっている。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜大学またはそれ以上を希望している場合の世帯の状況別（小学５年生）＞

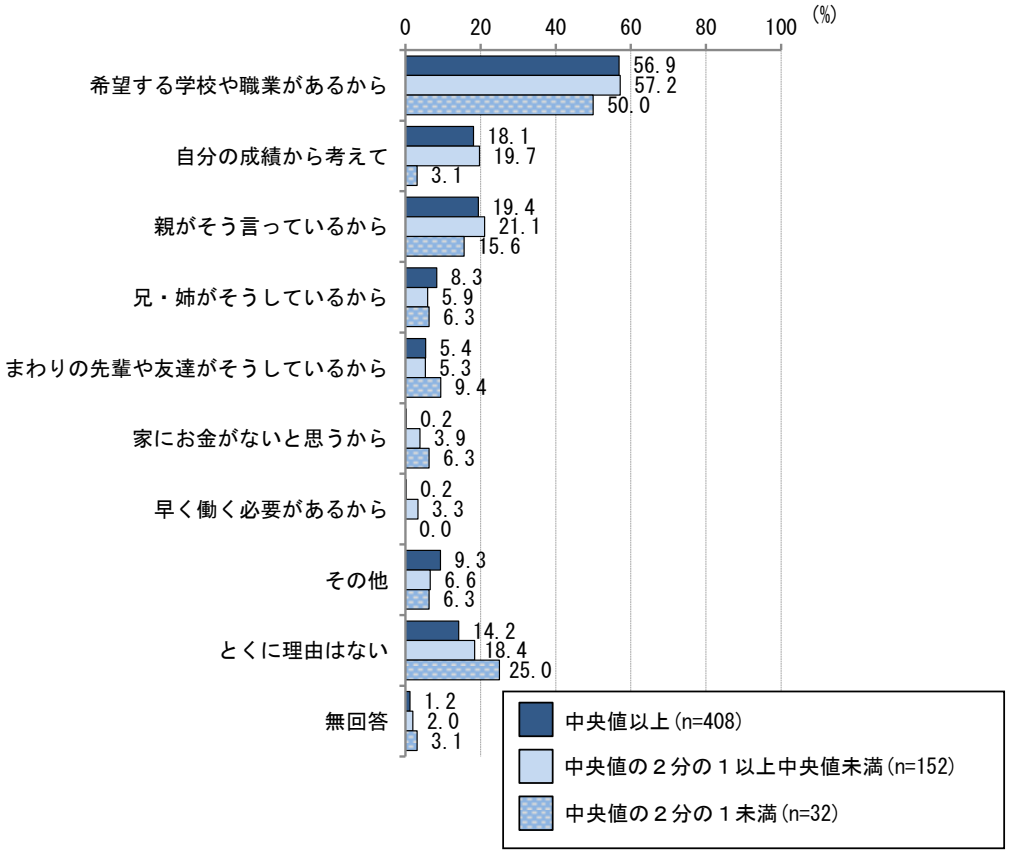


『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「ふたり親世帯」では 60.8%、「ひとり親世帯」では 53.6%、「母子世帯」では 54.2%となっている。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜大学またはそれ以上を希望している場合の等価世帯収入の水準別（中学２年生）＞

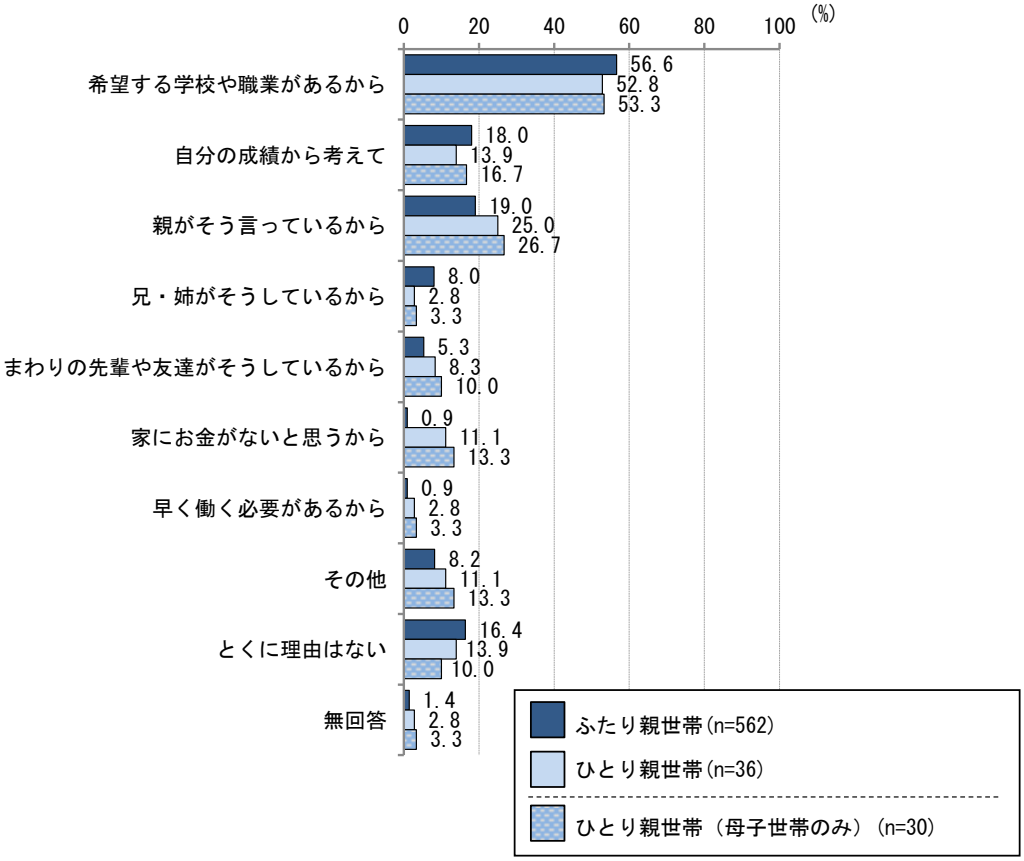


『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「希望する学校や職業があるから」は、「中央値以上」の世帯では 56.9%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 57.2%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 50.0%となっている。

※問７で「１～８」（「９　まだわからない」以外）と答えた方に

子ども票問８．その理由を答えてください。（複数回答）

＜大学またはそれ以上を希望している場合の世帯の状況別（中学２年生）＞

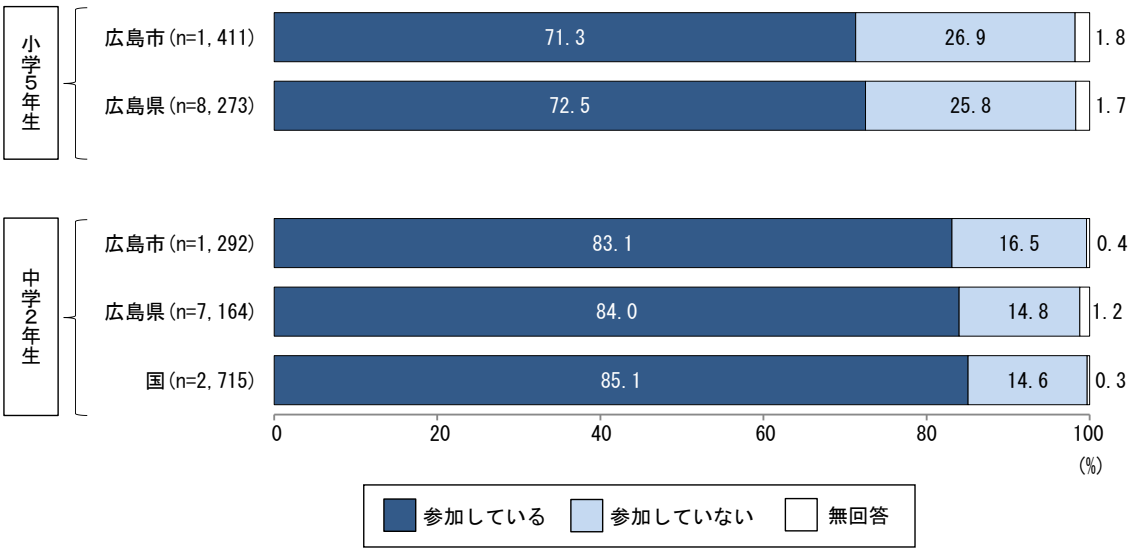


『大学またはそれ以上』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「親がそう言っているから」が 25.0%、「家にお金がないと思うから」が 11.1%と高くなっている。

（3）部活動等への参加状況

子ども票問9．あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

＜全体＞

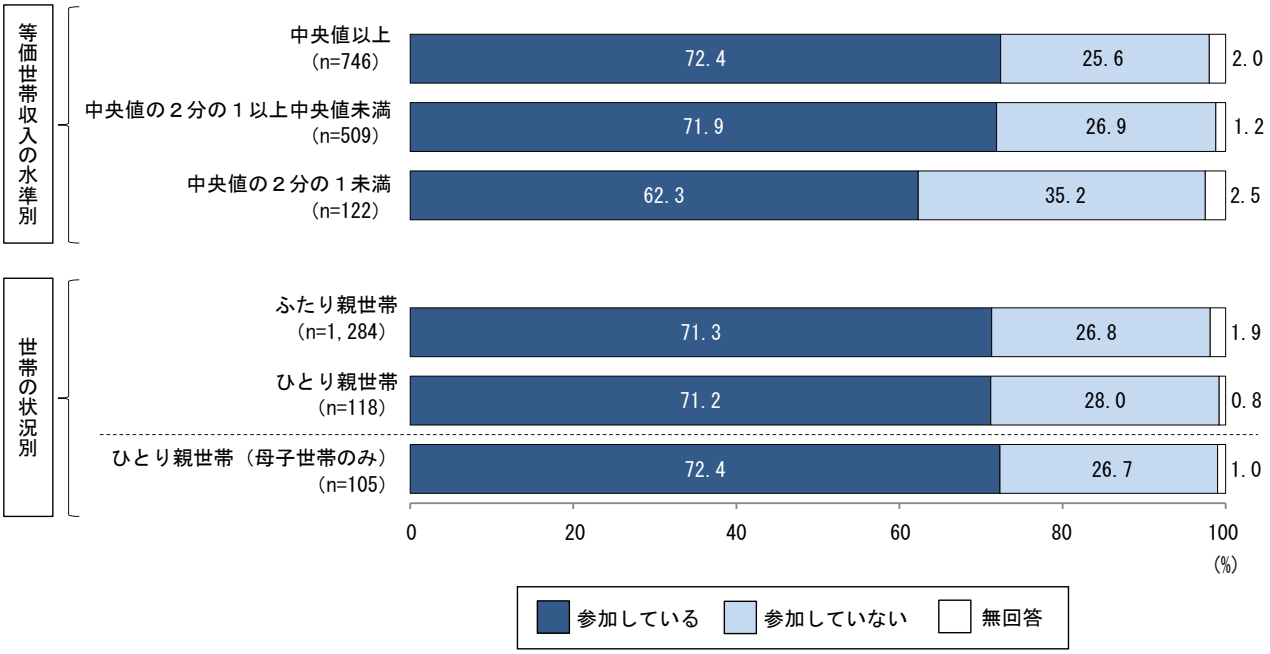


部活動等への参加状況について、小学５年生では、「参加している」が 71.3%、「参加していない」が 26.9%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「参加している」が 83.1%、「参加していない」が 16.5%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

子ども票問９．あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞

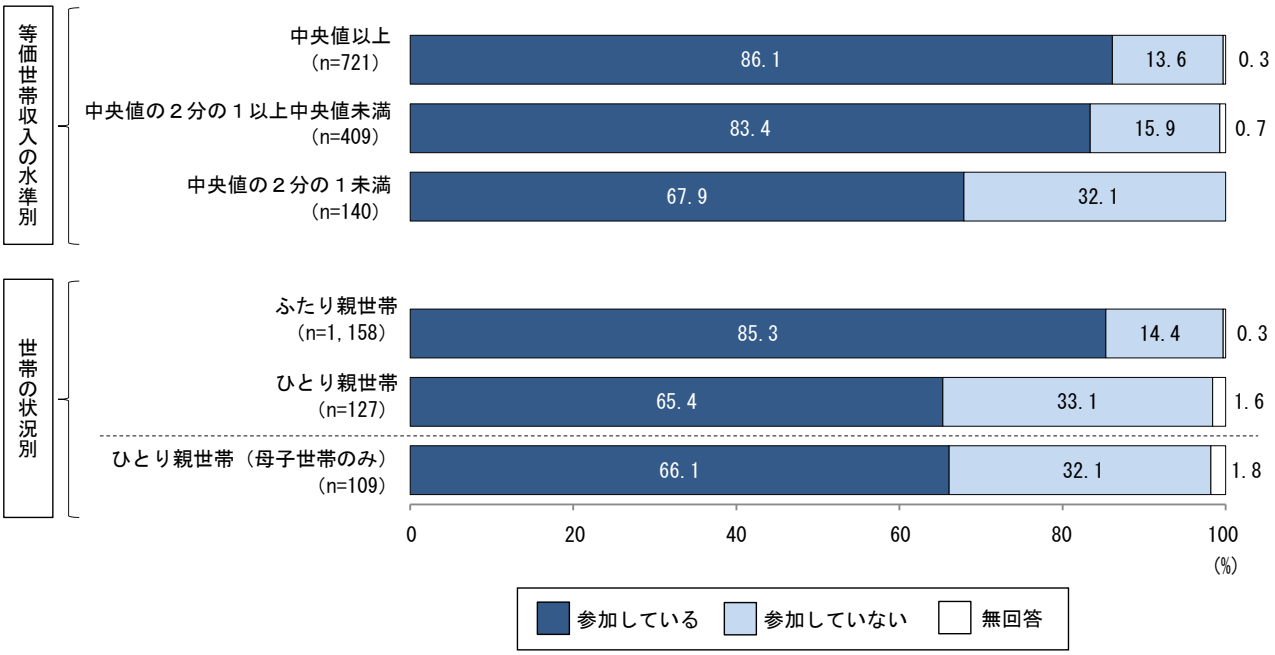


等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」は、「中央値以上」では 25.6%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 26.9%、「中央値の２分の１未満」では 35.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」は、「ふたり親世帯」では 26.8%、「ひとり親世帯」では 28.0%、「母子世帯」では 26.7%となっている。

子ども票問９．あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞



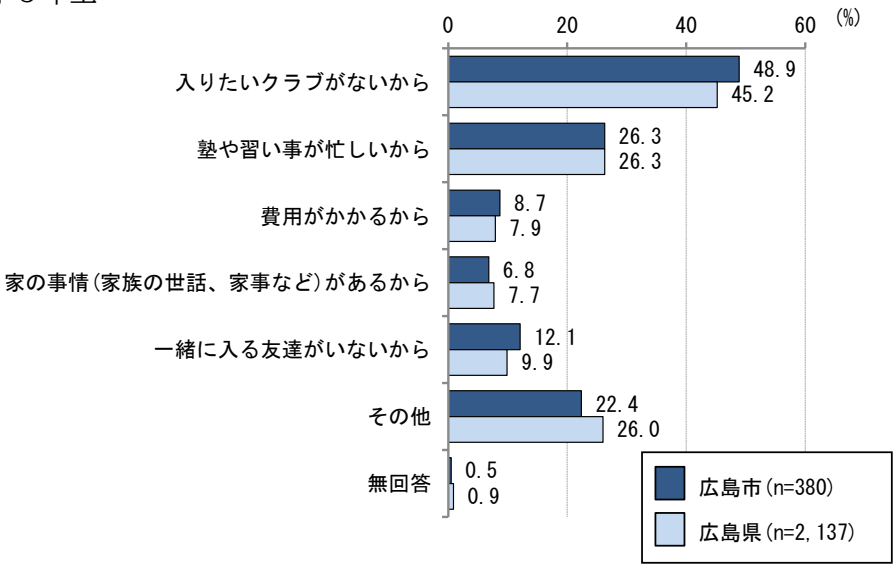
等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」は、「中央値以上」では 13.6%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 15.9%、「中央値の２分の１未満」では 32.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」は、「ふたり親世帯」では 14.4%、「ひとり親世帯」では 33.1%、「母子世帯」では 32.1%となっている。

※問９で「２ 参加していない」と答えた方に

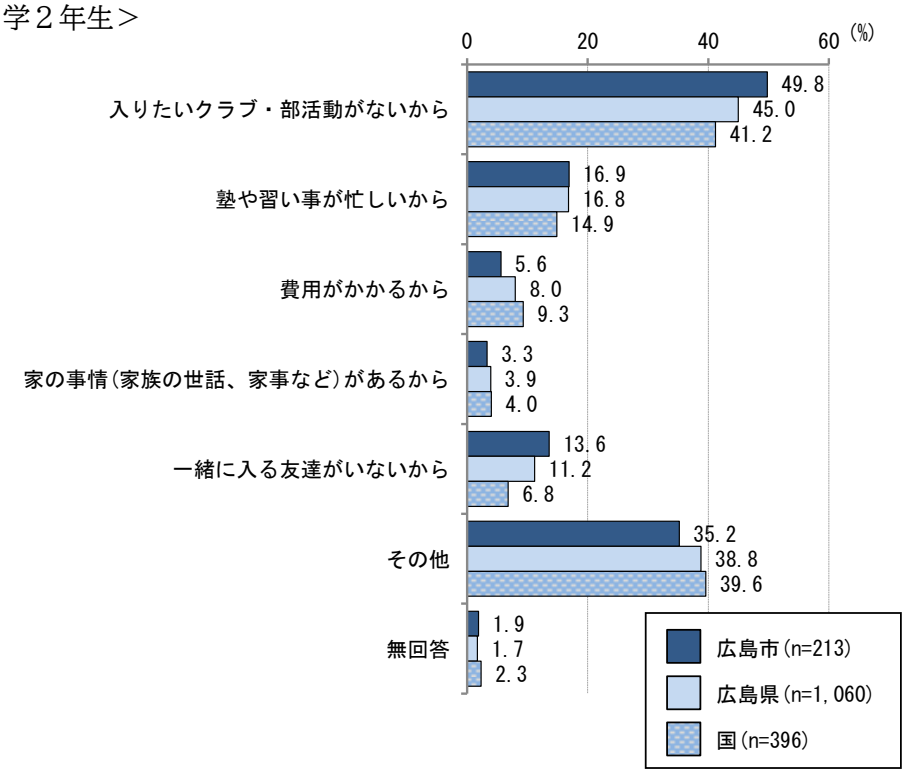
子ども票問 10. 参加していない理由は何ですか。（複数回答）

＜小学５年生＞



部活動等に参加していない理由について、小学５年生では、「入りたいクラブがないから」が 48.9%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が 26.3%、「一緒に入る友達がいないから」が 12.1%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

＜中学２年生＞

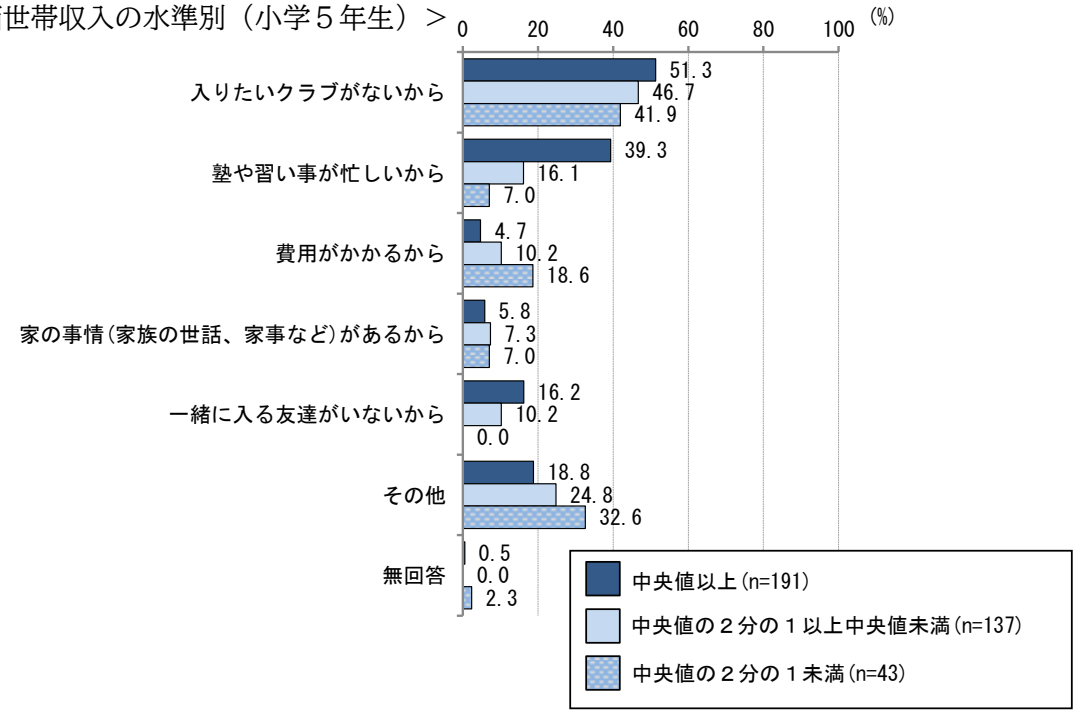


部活動等に参加していない理由について、中学２年生では、「入りたいクラブ・部活動がないから」が 49.8%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が 16.9%、「一緒に入る友達がいないから」が 13.6%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「入りたいクラブ・部活動がないから」は、広島市（49.8%）が国（41.2%）を 8.6 ポイント上回っている。

※問９で「２ 参加していない」と答えた方に

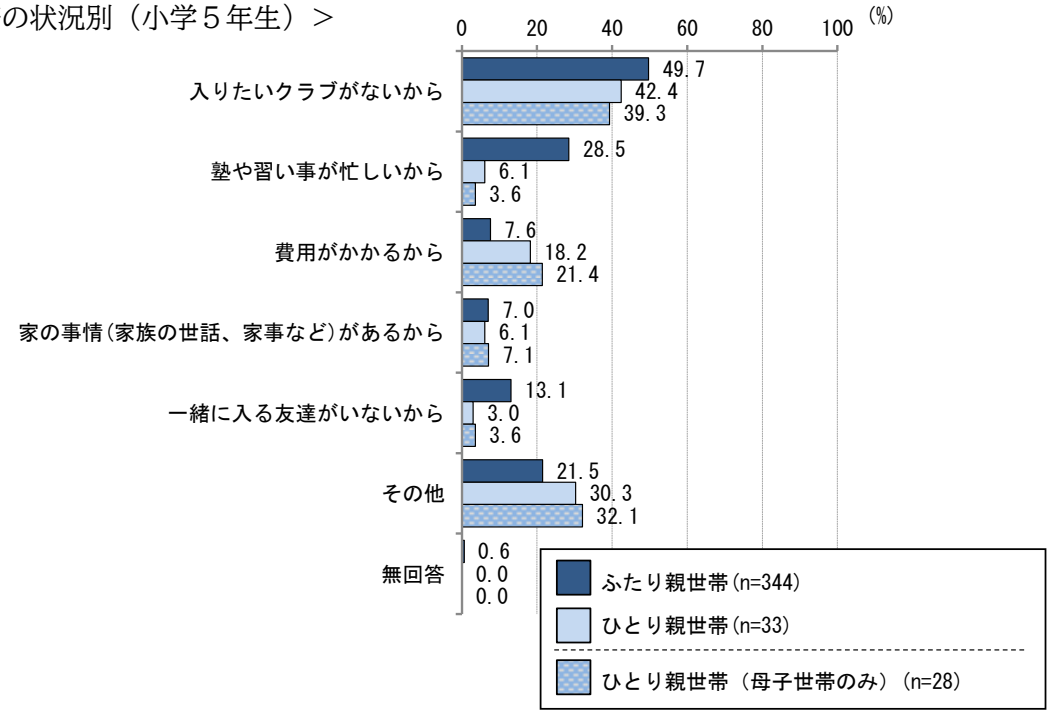
子ども票問 10. 参加していない理由は何ですか。（複数回答）

＜等価世帯収入の水準別（小学５年生）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「入りたいクラブがないから」が 41.9%、「塾や習い事が忙しいから」が 7.0%、「一緒に入る友達がいないから」が 0.0%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「費用がかかるから」が 18.6%と高くなっている。

＜世帯の状況別（小学５年生）＞

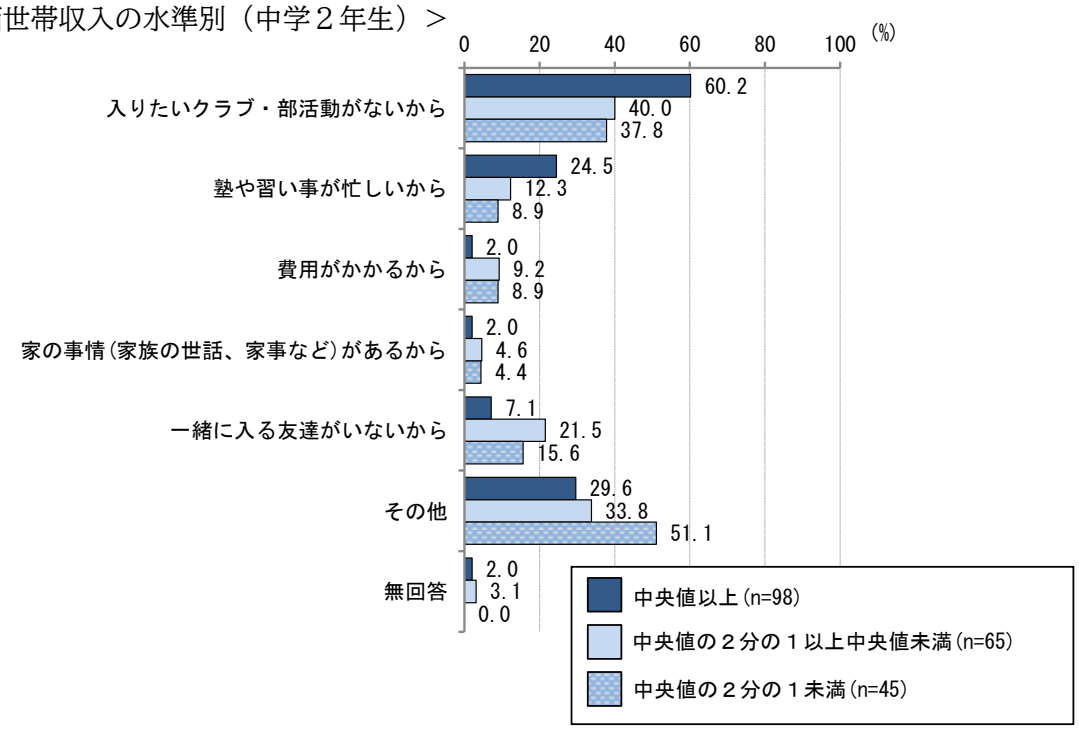


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「入りたいクラブがないから」が 42.4%、「塾や習い事が忙しいから」が 6.1%、「一緒に入る友達がいないから」が 3.0%と低くなっている。一方で、「費用がかかるから」は 18.2%と高くなっている。

※問９で「２ 参加していない」と答えた方に

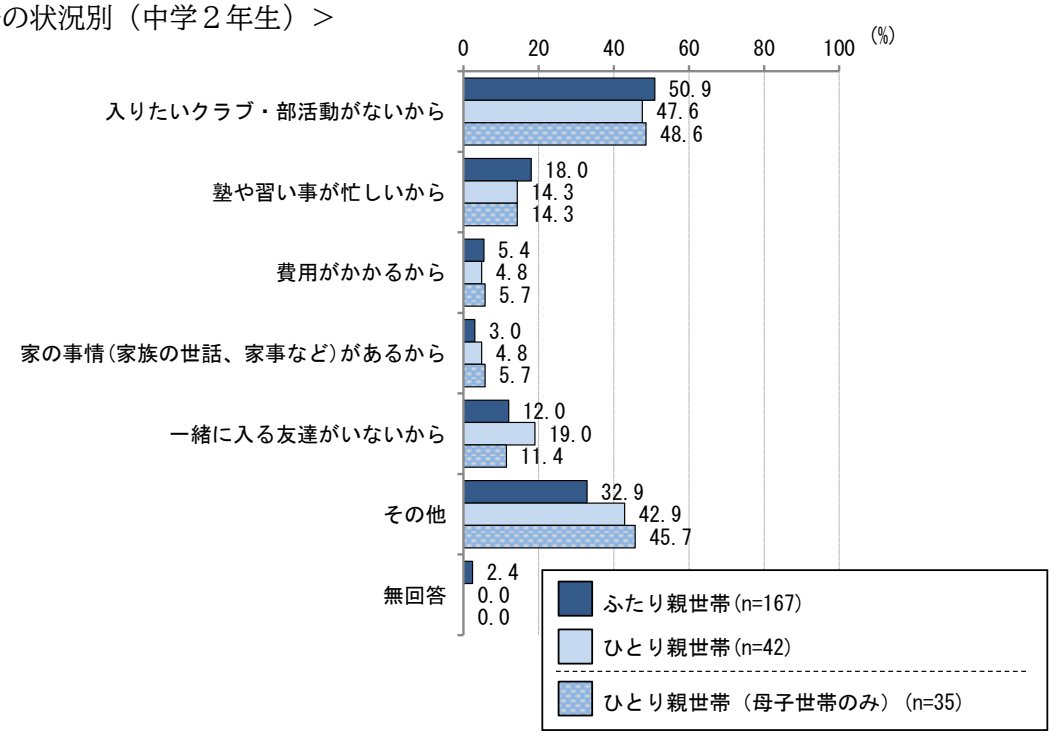
子ども票問 10. 参加していない理由は何ですか。（複数回答）

＜等価世帯収入の水準別（中学２年生）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「入りたいクラブ・部活動がないから」は 37.8%、「塾や習い事が忙しいから」は 8.9%と他の世帯と比べて低くなっている。

＜世帯の状況別（中学２年生）＞



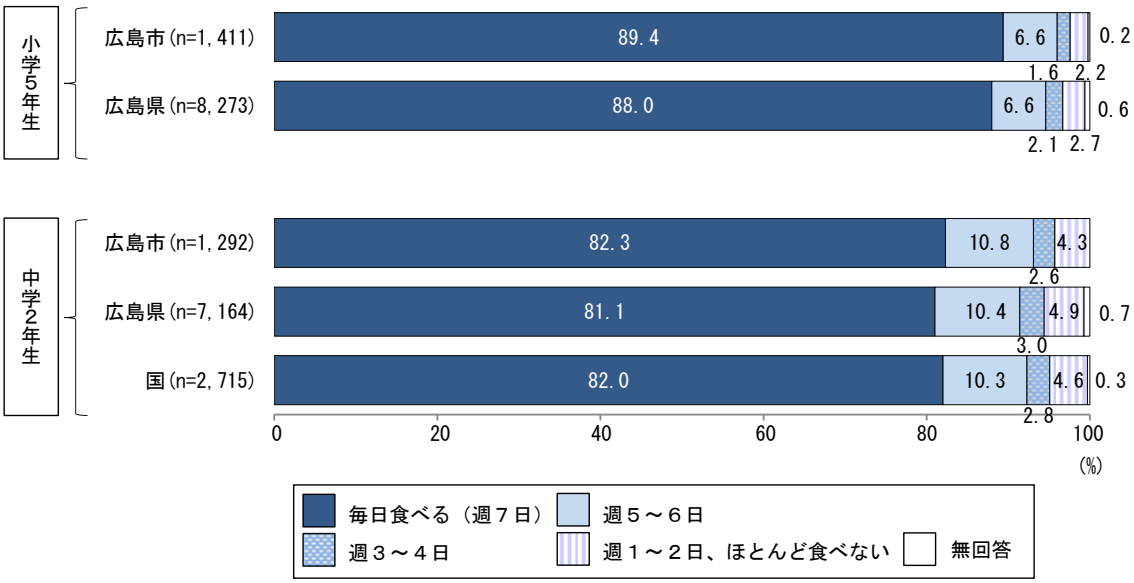
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「一緒に入る友達がいないから」が 19.0%と高くなっている。

（4）日常的な生活の状況

子ども票問 11.　あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

＝ 朝食 ＝

＜全体＞



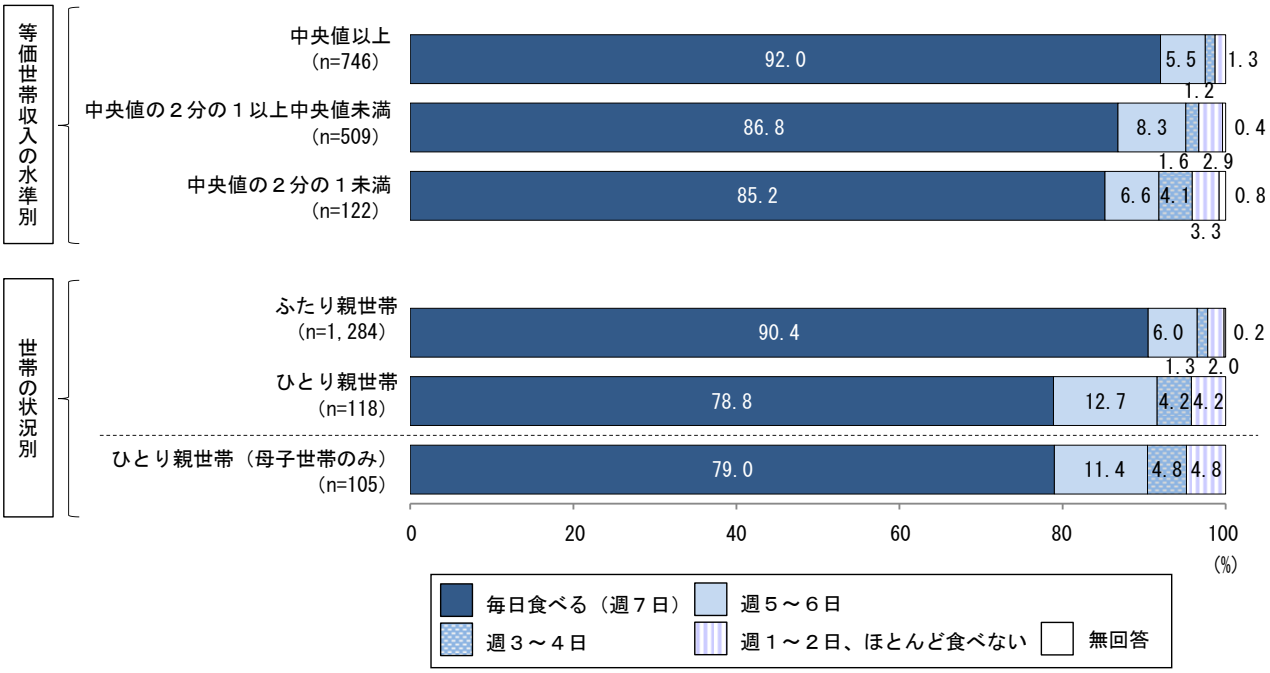
朝食について、小学５年生では、「毎日食べる（週７日）」が 89.4%、「週５～６日」が 6.6%、「週３～４日」が 1.6%、「週１～２日、ほとんど食べない」が 2.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「毎日食べる（週７日）」が 82.3%、「週５～６日」が 10.8%、「週３～４日」が 2.6%、「週１～２日、ほとんど食べない」が 4.3%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

子ども票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

＝ 朝食 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞



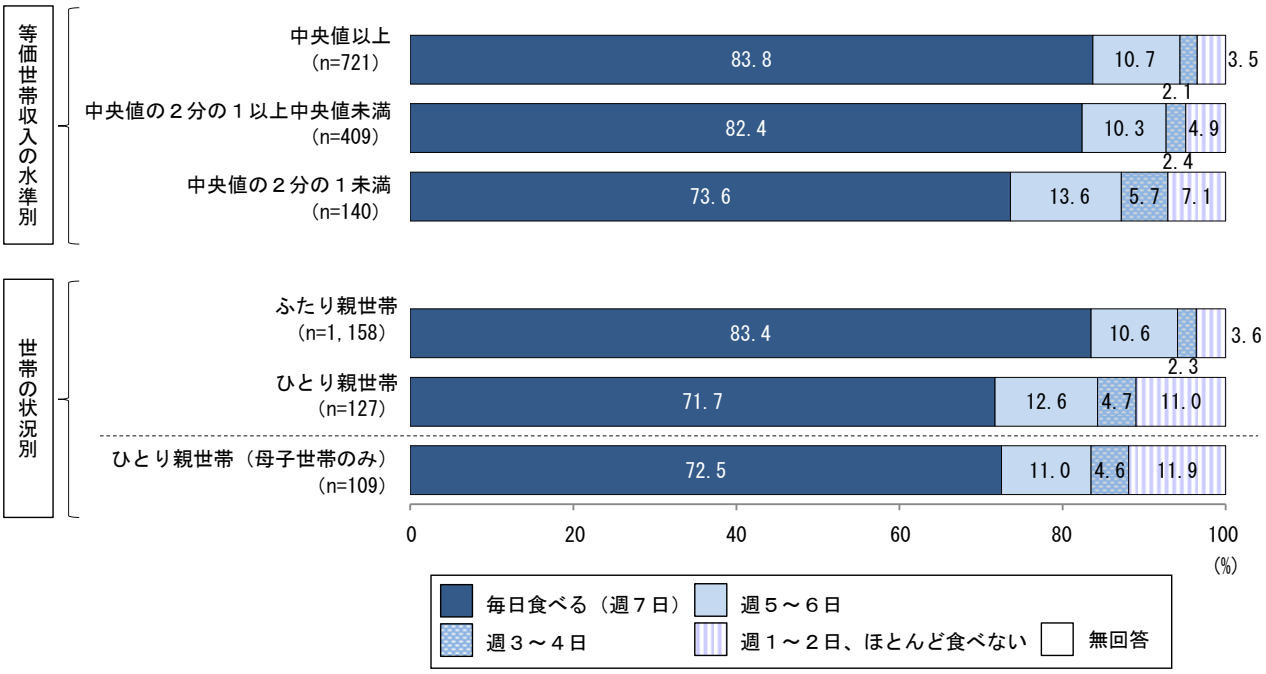
等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる（週７日）」は、「中央値以上」では 92.0%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 86.8%、「中央値の２分の１未満」では 85.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる（週７日）」は、「ふたり親世帯」では 90.4%、「ひとり親世帯」では 78.8%、「母子世帯」では 79.0%となっている。

子ども票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

＝ 朝食 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞



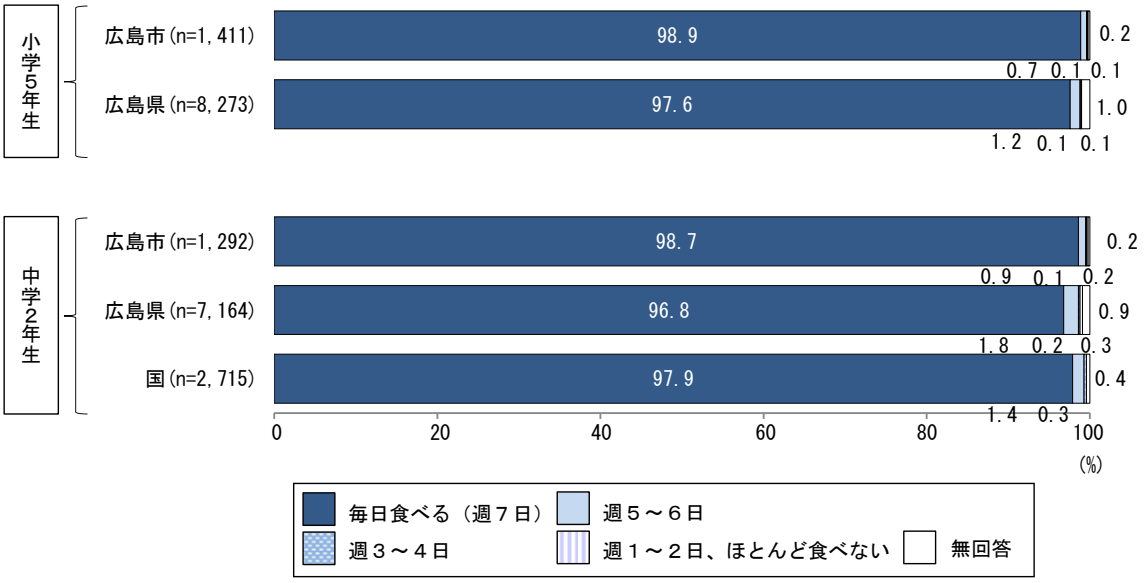
等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる（週７日）」は、「中央値以上」では 83.8%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 82.4%、「中央値の２分の１未満」では 73.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる（週７日）」は、「ふたり親世帯」では 83.4%、「ひとり親世帯」では 71.7%、「母子世帯」では 72.5%となっている。

子ども票問 11.　あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

＝ 夕食 ＝

＜全体＞



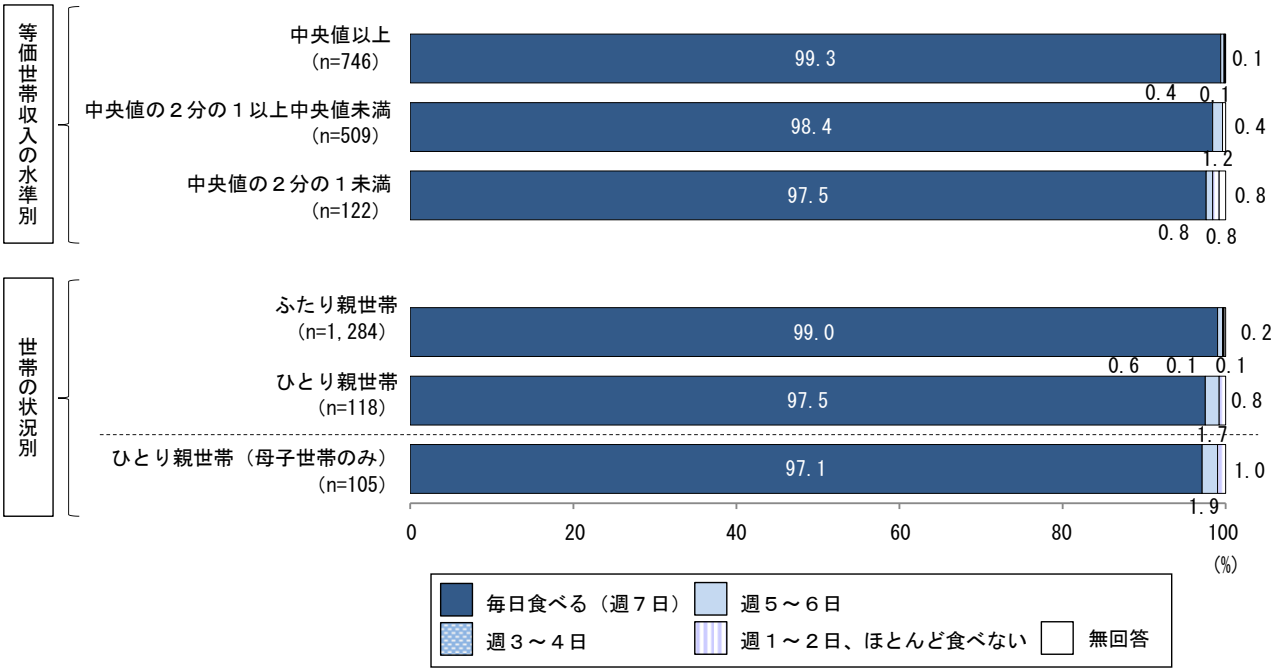
夕食について、小学５年生では、「毎日食べる（週７日）」が 98.9%、「週５～６日」が 0.7%、「週３～４日」が 0.1%、「週１～２日、ほとんど食べない」が 0.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「毎日食べる（週７日）」が 98.7%、「週５～６日」が 0.9%、「週３～４日」が 0.1%、「週１～２日、ほとんど食べない」が 0.2%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

子ども票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

＝ 夕食 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞



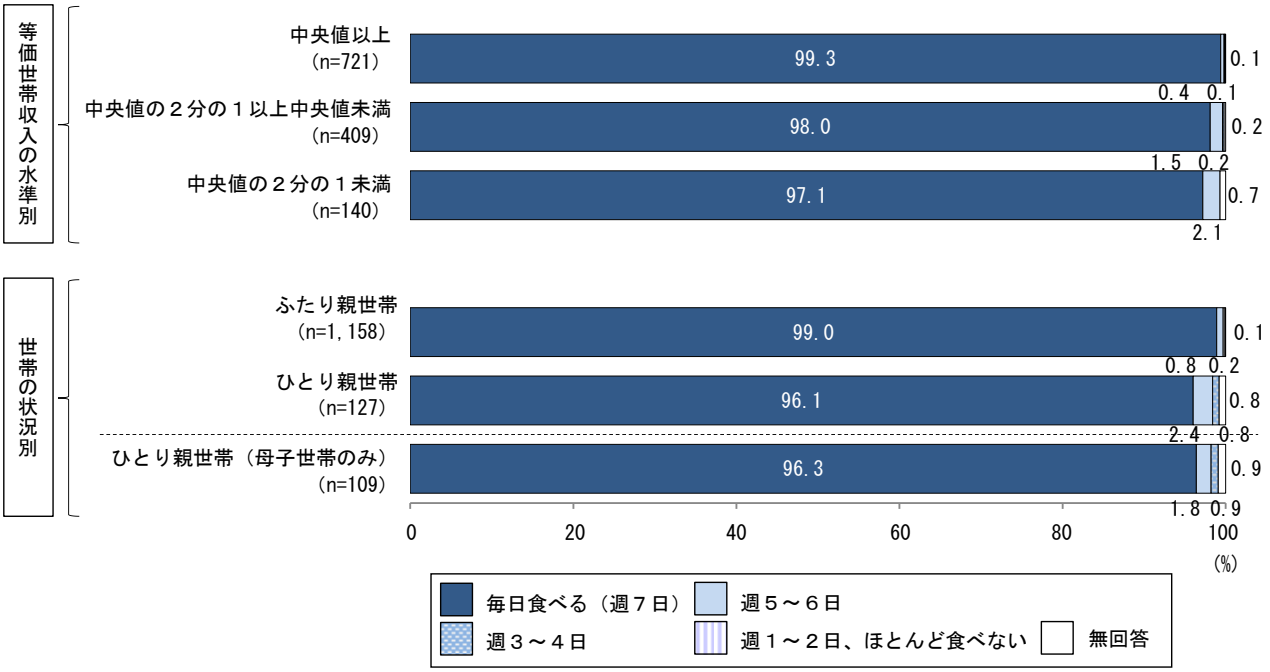
等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる（週７日）」は、「中央値以上」では 99.3%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 98.4%、「中央値の２分の１未満」では 97.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる（週７日）」は、「ふたり親世帯」では 99.0%、「ひとり親世帯」では 97.5%、「母子世帯」では 97.1%となっている。

子ども票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

＝ 夕食 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞



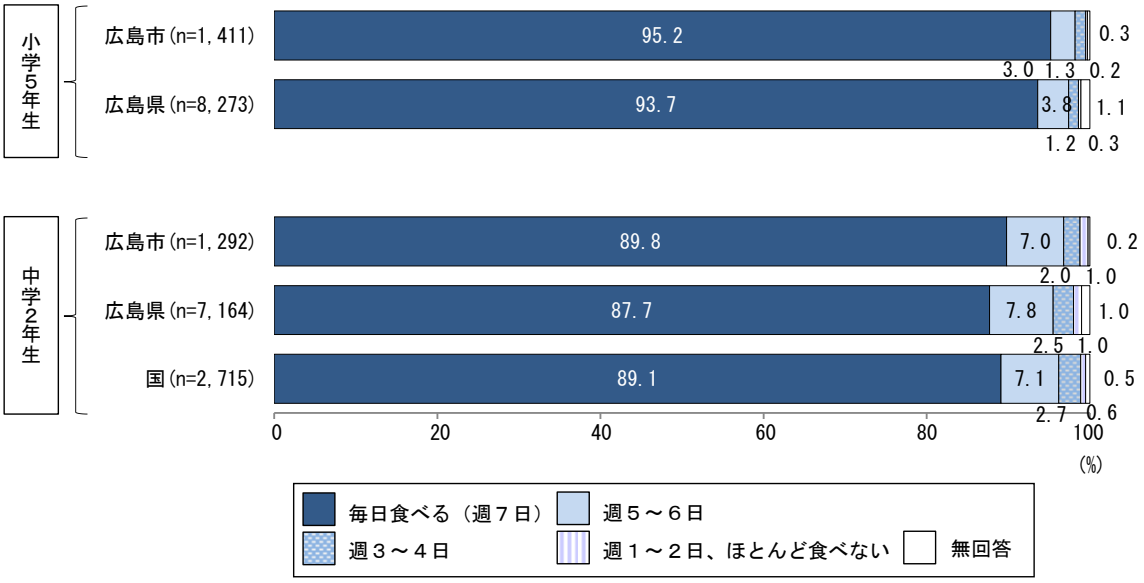
等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる（週７日）」は、「中央値以上」では 99.3%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 98.0%、「中央値の２分の１未満」では 97.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる（週７日）」は、「ふたり親世帯」では 99.0%、「ひとり親世帯」では 96.1%、「母子世帯」では 96.3%となっている。

子ども票問 11.　あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

＝ 夏休みや冬休みなどの期間の昼食 ＝

＜全体＞



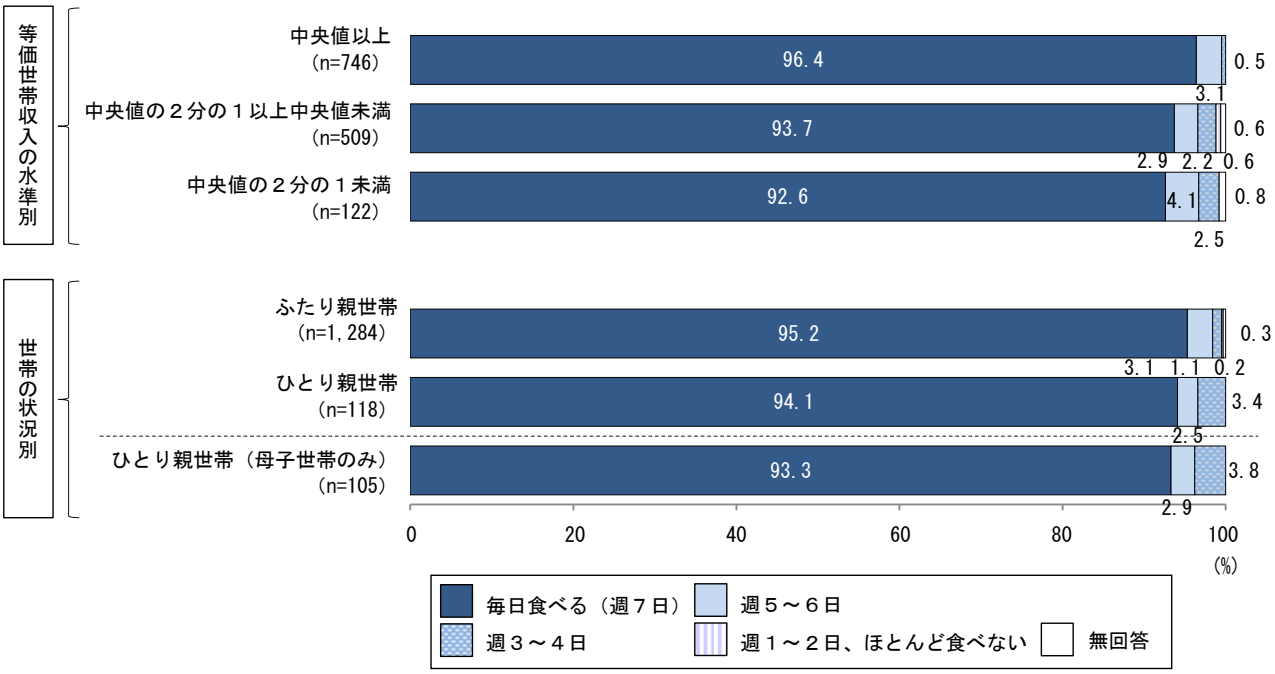
夏休みや冬休みなどの期間の昼食について、小学５年生では、「毎日食べる（週７日）」が 95.2%、「週５～６日」が 3.0%、「週３～４日」が 1.3%、「週１～２日、ほとんど食べない」が 0.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「毎日食べる（週７日）」が 89.8%、「週５～６日」が 7.0%、「週３～４日」が 2.0%、「週１～２日、ほとんど食べない」が 1.0%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

子ども票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

＝ 夏休みや冬休みなどの期間の昼食 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞



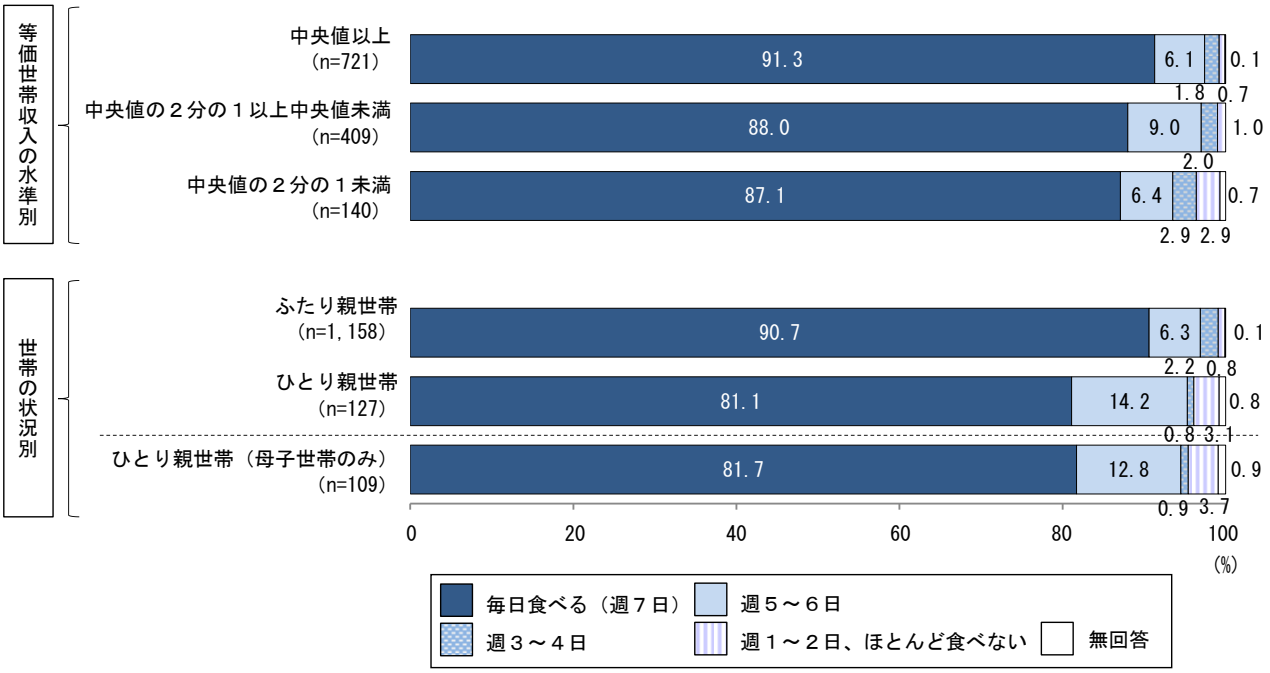
等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる（週７日）」は、「中央値以上」では 96.4%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 93.7%、「中央値の２分の１未満」では 92.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる（週７日）」は、「ふたり親世帯」では 95.2%、「ひとり親世帯」では 94.1%、「母子世帯」では 93.3%となっている。

子ども票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

＝ 夏休みや冬休みなどの期間の昼食 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞

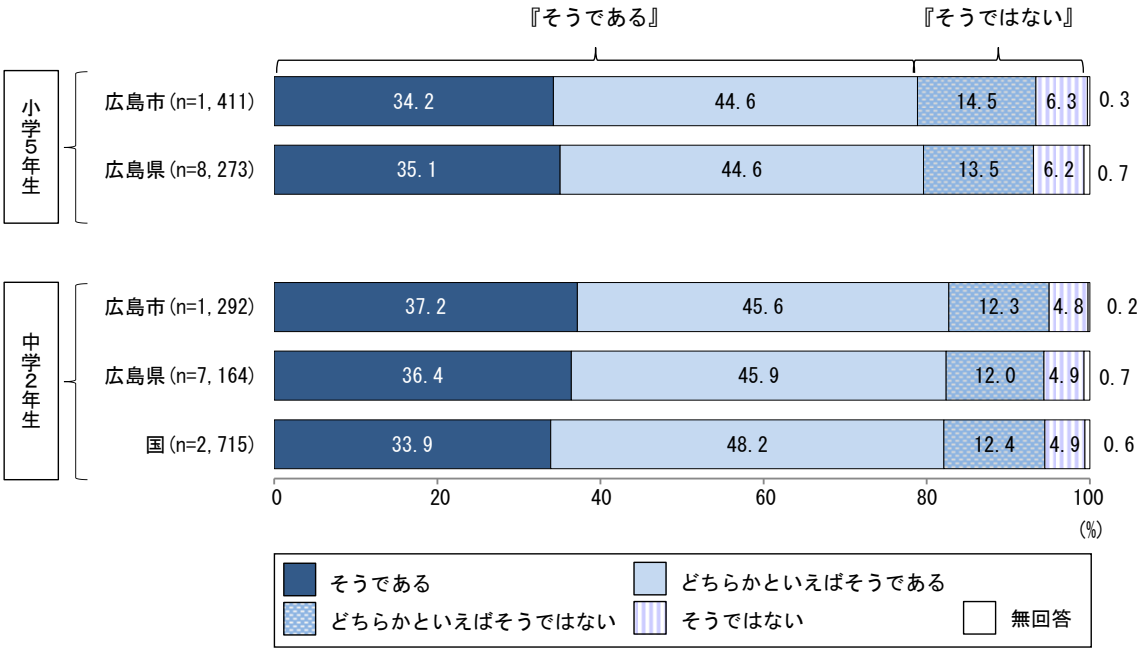


等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる（週７日）」は、「中央値以上」では 91.3%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 88.0%、「中央値の２分の１未満」では 87.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる（週７日）」は、「ふたり親世帯」では 90.7%、「ひとり親世帯」では 81.1%、「母子世帯」では 81.7%となっている。

子ども票問 12.　あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

＜全体＞

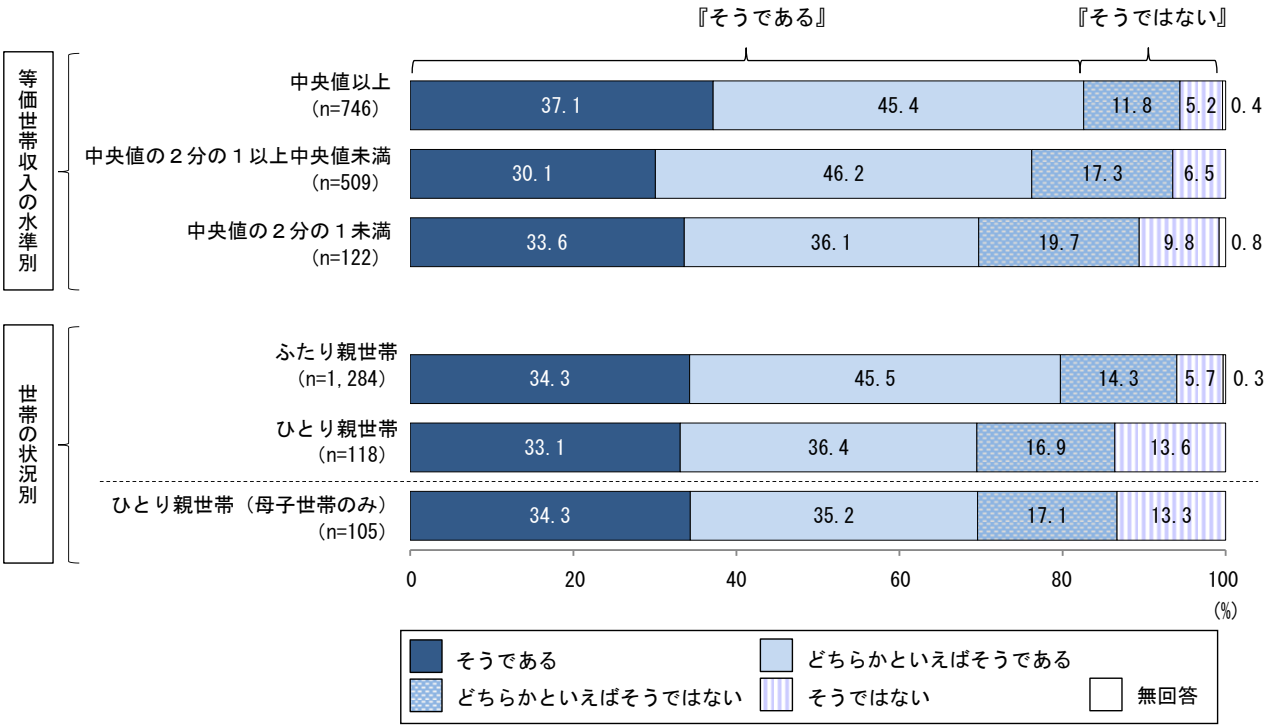


就寝時間に関してほぼ同じ時間に寝ているかについて、小学５年生では、『そうである（「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた割合)』が 78.8%、『そうではない（「どちらかといえばそうではない」と「そうではない」を合わせた割合)』が 20.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、『そうである』が 82.8%、『そうではない』が 17.1%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

子ども票問 12. あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞

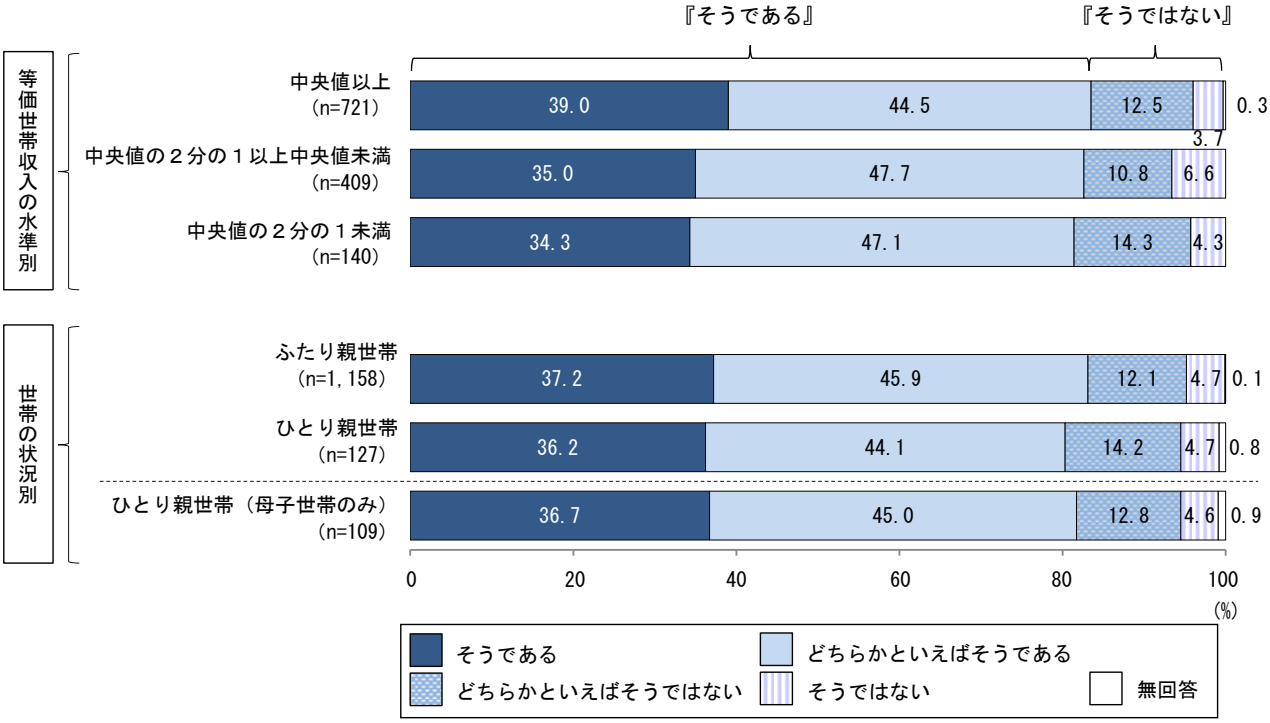


等価世帯収入の水準別にみると、『そうである』は、「中央値以上」では 82.5%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 76.3%、「中央値の２分の１未満」では 69.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『そうである』は、「ふたり親世帯」では 79.8%、「ひとり親世帯」では 69.5%、「母子世帯」では 69.5%となっている。

子ども票問 12. あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞

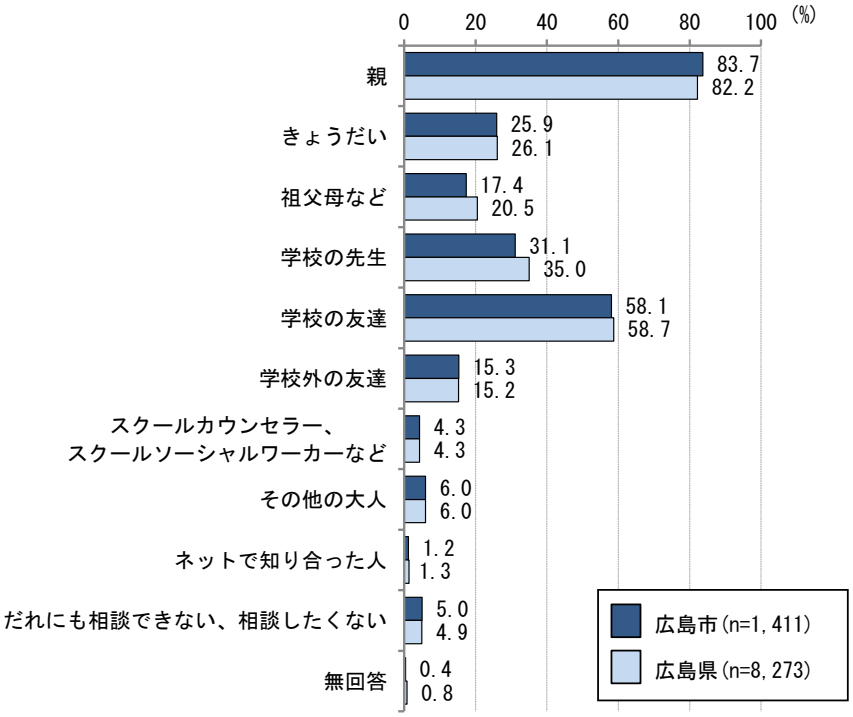


等価世帯収入の水準別にみると、『そうである』は、「中央値以上」では 83.5%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 82.7%、「中央値の２分の１未満」では 81.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『そうである』は、「ふたり親世帯」では 83.1%、「ひとり親世帯」では 80.3%、「母子世帯」では 81.7%となっている。

子ども票問 13. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（複数回答）

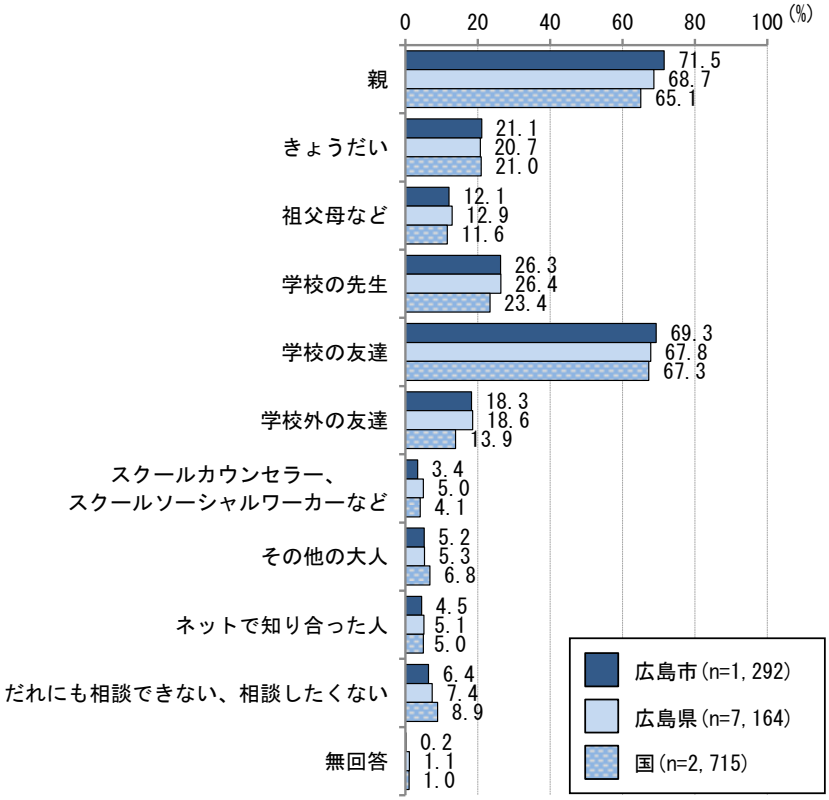
＜小学５年生＞



困っていることや悩みごとがあるときに相談できると思う人について、小学５年生では、「親」が83.7%と最も高く、次いで「学校の友達」が 58.1%、「学校の先生」が 31.1%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

子ども票問 13. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（複数回答）

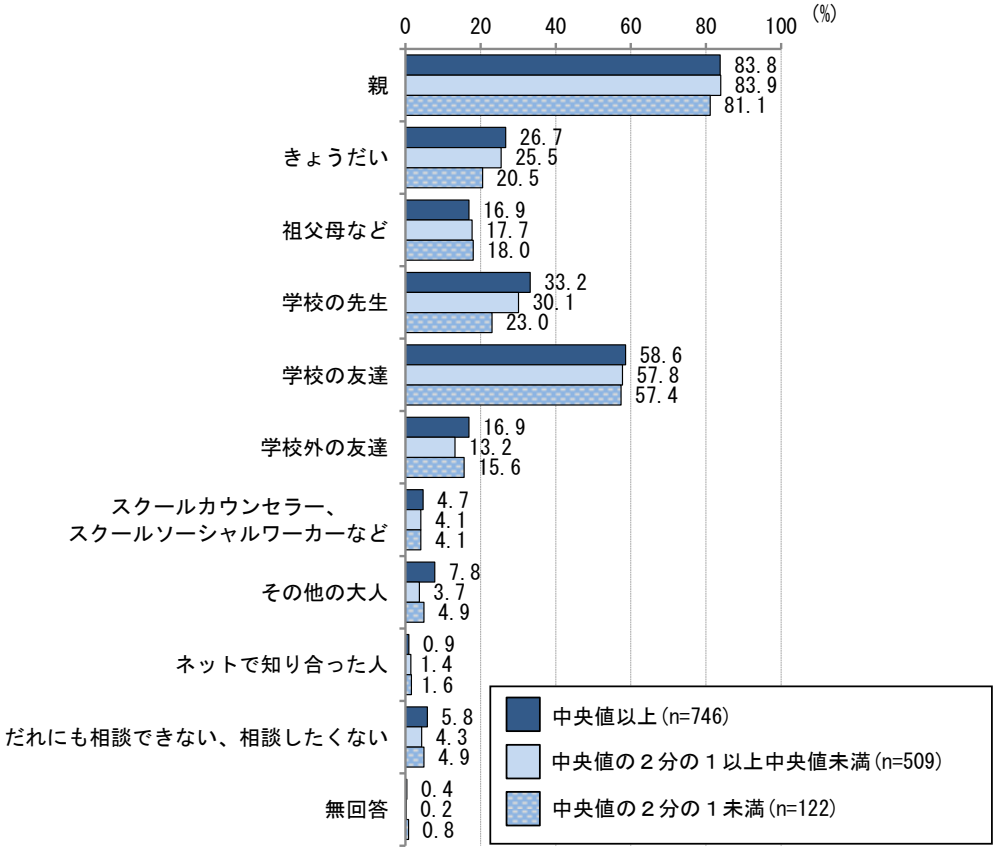
＜中学２年生＞



困っていることや悩みごとがあるときに相談できると思う人について、中学２年生では、「親」が 71.5%と最も高く、次いで「学校の友達」が 69.3%、「学校の先生」が 26.3%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「親」は、広島市（71.5%）が国（65.1%）を 6.4 ポイント上回っている。

子ども票問 13. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（複数回答）

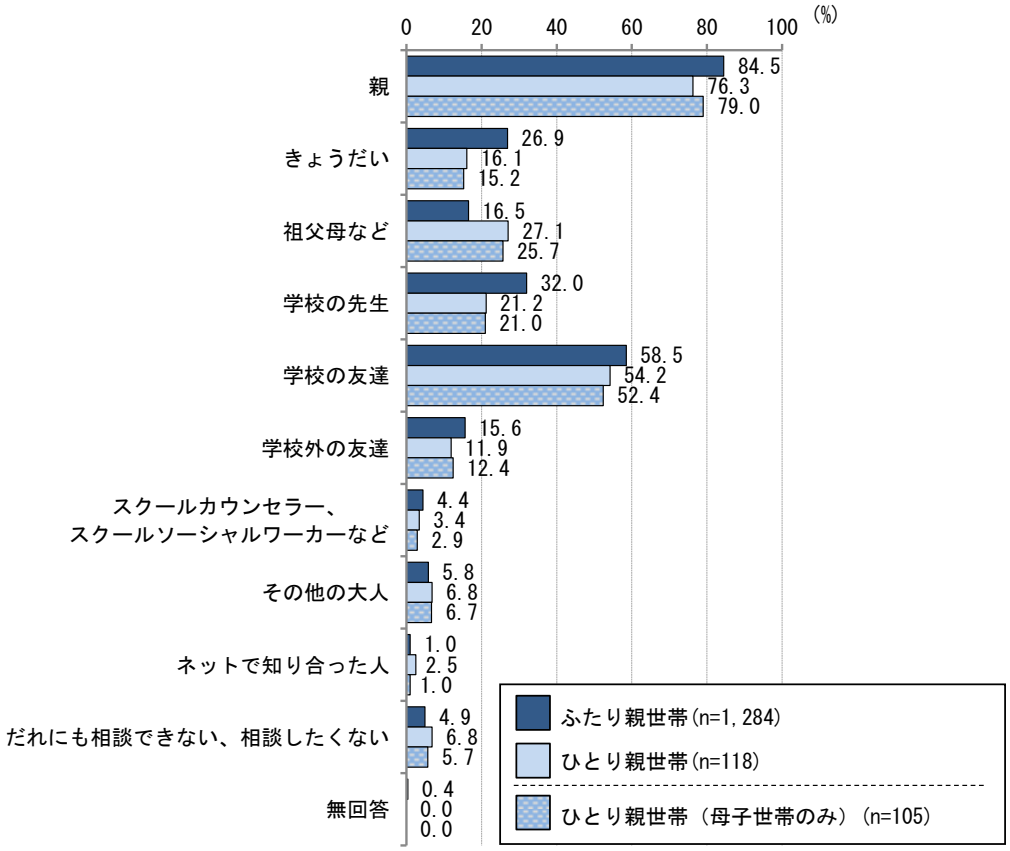
＜等価世帯収入の水準別（小学５年生）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「きょうだい」が 20.5%、「学校の先生」が 23.0%と他の世帯と比べて低くなっている。

子ども票問 13. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（複数回答）

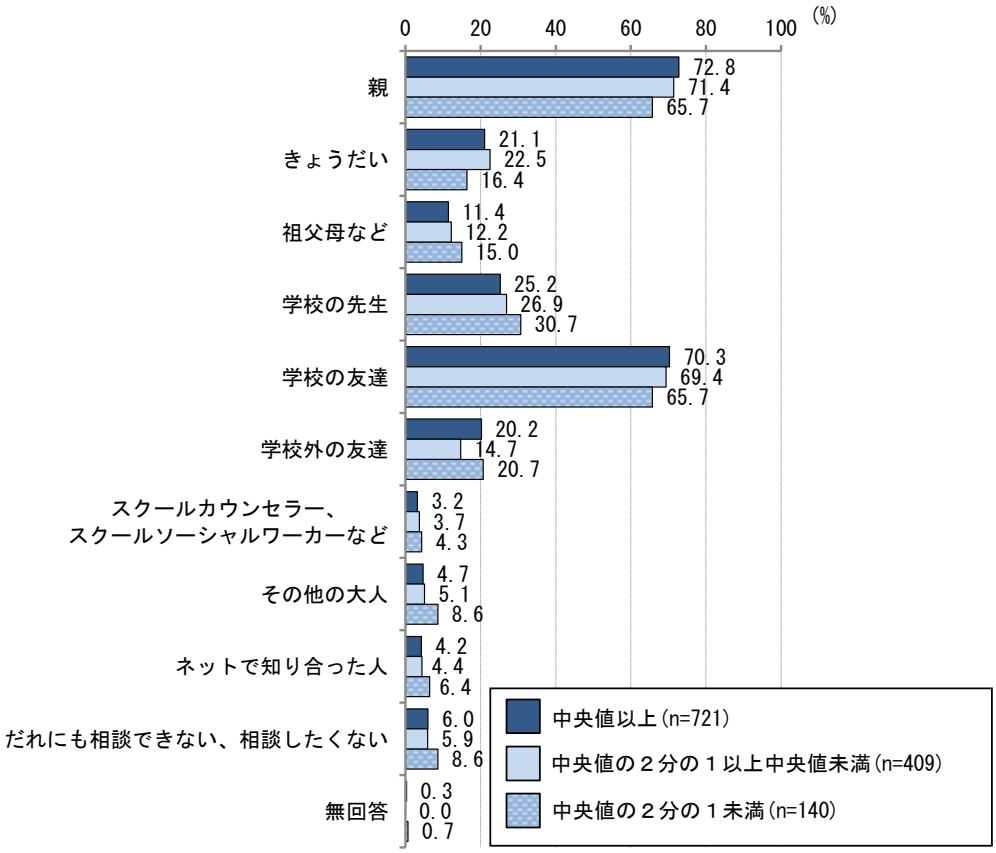
＜世帯の状況別（小学５年生）＞



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「親」が 76.3%、「きょうだい」が 16.1%、「学校の先生」が 21.2%と「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。一方で、「祖父母など」は 27.1%と高くなっている。

子ども票問 13. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（複数回答）

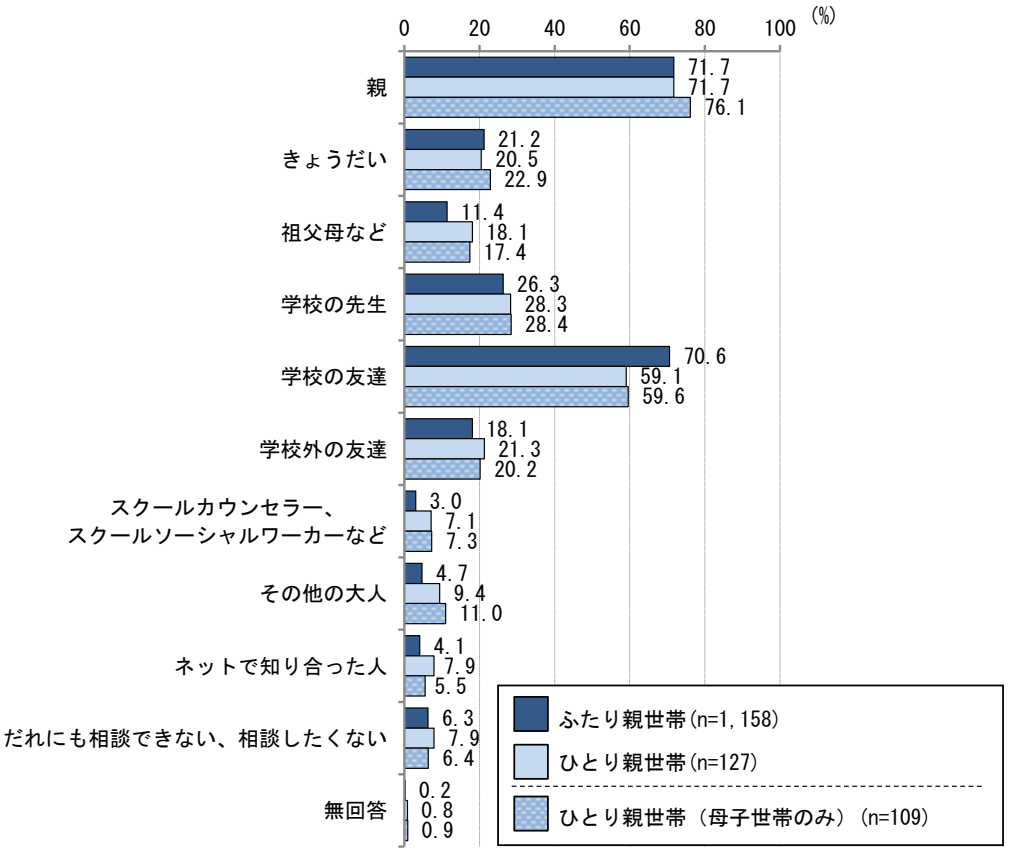
＜等価世帯収入の水準別（中学２年生）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「親」が 65.7%、「きょうだい」が 16.4%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「学校の先生」は 30.7%と高くなっている。

子ども票問 13. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（複数回答）

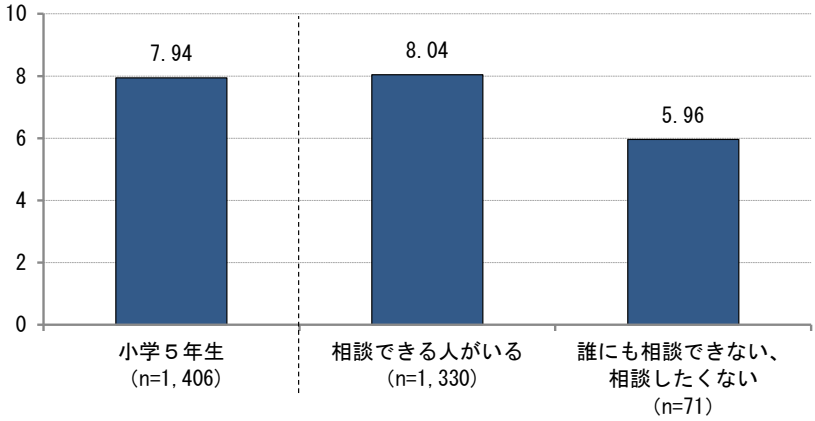
＜世帯の状況別（中学２年生）＞



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「学校の友達」が 59.1%と「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。一方で、「祖父母など」は 18.1%と高くなっている。

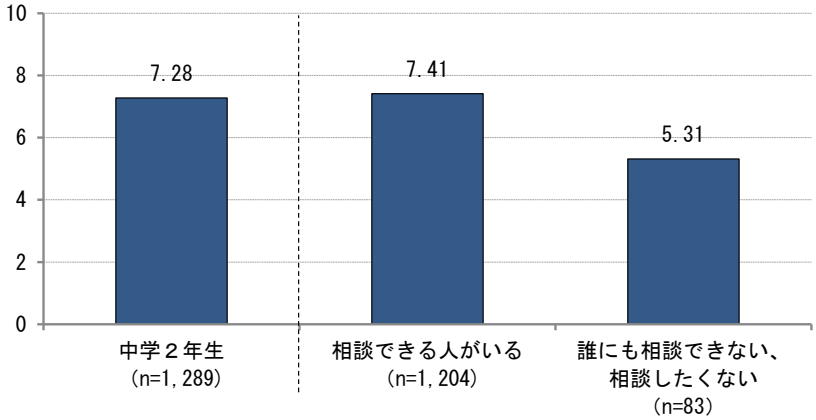
子ども票問 13. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（複数回答）

＜相談できる人の有無別 生活満足度（小学５年生）＞



相談できる人の有無別に、子どもの生活の満足度の平均値をみると、「誰にも相談できない、相談したくない」（5.96）が「相談できる人がいる」（8.04）を 2.08 点下回っている。

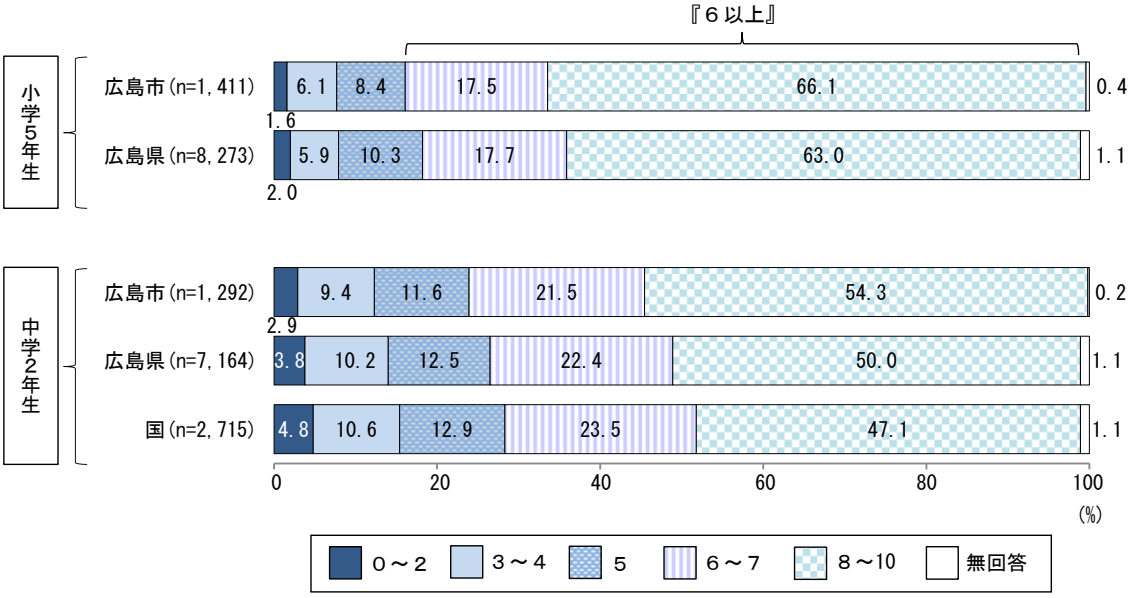
＜相談できる人の有無別 生活満足度（中学２年生）＞



相談できる人の有無別に、子どもの生活の満足度の平均値をみると、「誰にも相談できない、相談したくない」（5.31）が「相談できる人がいる」（7.41）を 2.10 点下回っている。

子ども票問 14.　全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。
「０」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。

＜全体＞

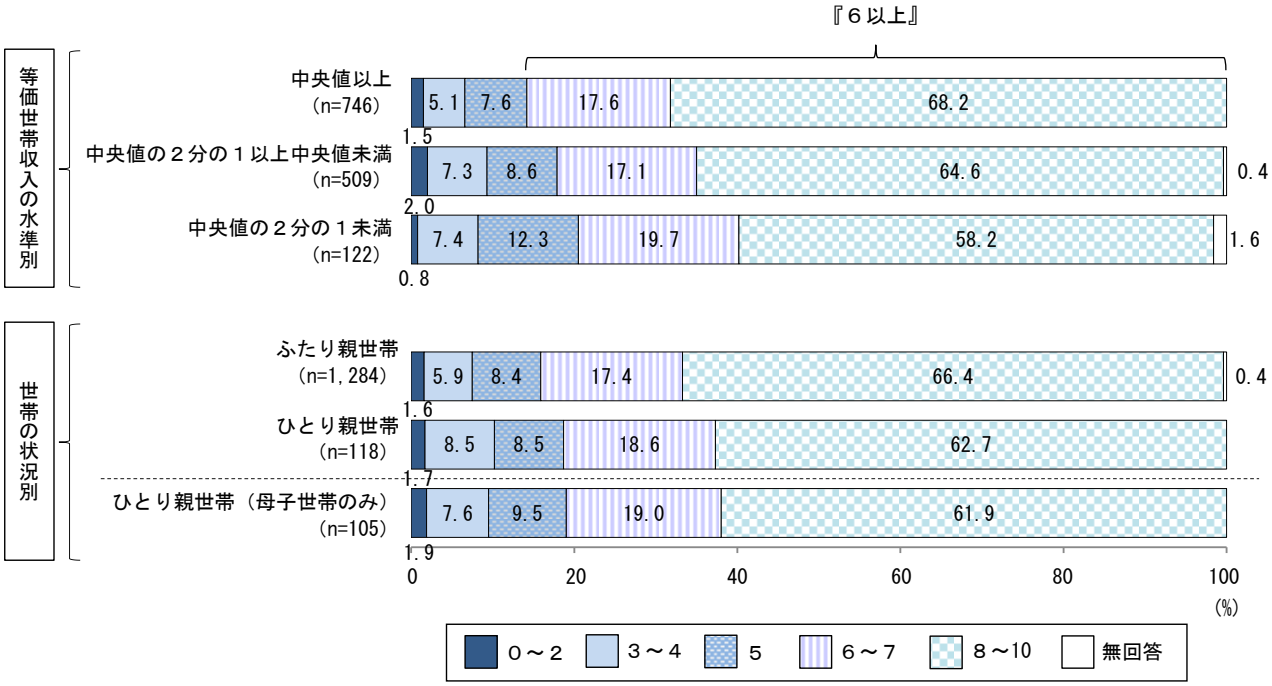


最近の生活の満足度について、小学５年生では、「０～２」が 1.6%、「３～４」が 6.1%、「５」が 8.4%、「６～７」が 17.5%、「８～10」が 66.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「０～２」が 2.9%、「３～４」が 9.4%、「５」が 11.6%、「６～７」が 21.5%、「８～10」が 54.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「８～10」は、広島市（54.3%）が国（47.1%）を 7.2 ポイント上回っている。

子ども票問 14.　全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。
「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞

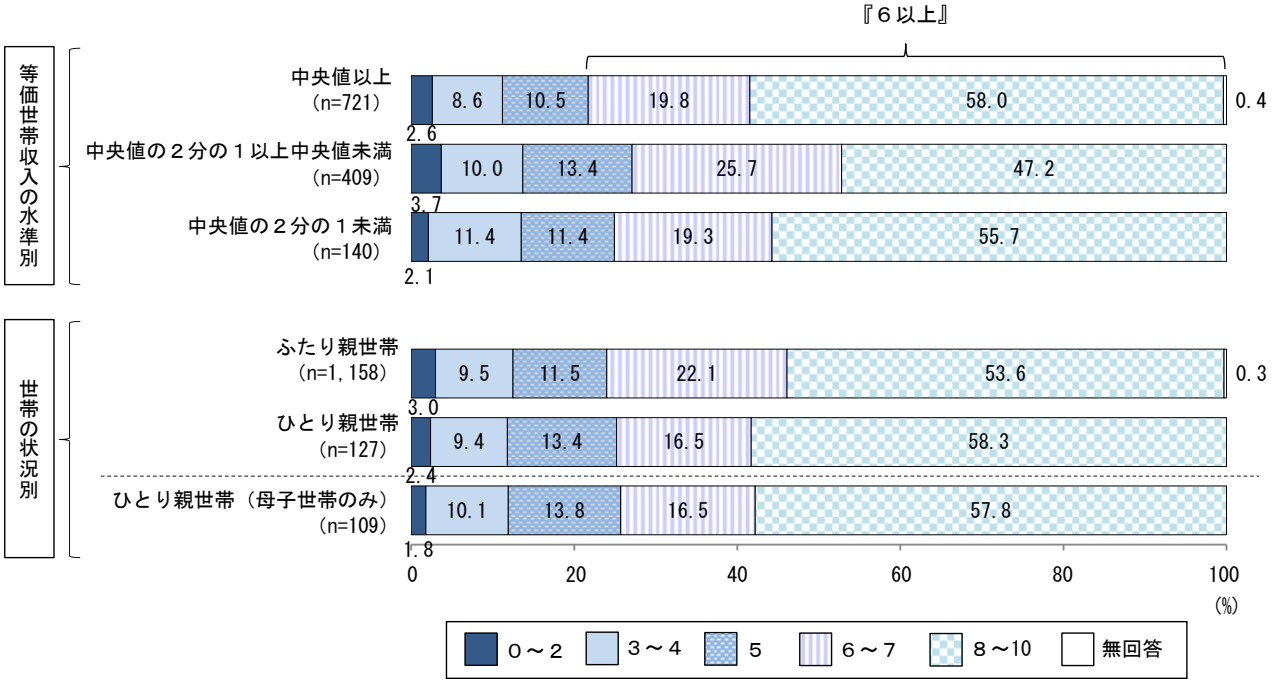


等価世帯収入の水準別にみると、『６以上』は、「中央値以上」では 85.8%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 81.7%、「中央値の２分の１未満」では 77.9%となっている。

世帯の状況別にみると、『６以上』は、「ふたり親世帯」では 83.8%、「ひとり親世帯」では 81.3%、「母子世帯」では 80.9%となっている。

子ども票問 14.　全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。
「０」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞



等価世帯収入の水準別にみると、『６以上』は、「中央値以上」では 77.8%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 72.9%、「中央値の２分の１未満」では 75.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『６以上』は、「ふたり親世帯」では 75.7%、「ひとり親世帯」では 74.8%、「母子世帯」では 74.3%となっている。

（５）子どもの心理的な状態

「子どもの心理的な状態」に関して、本調査では、内閣府の「子供の生活状況調査」と同様に、「強さと困難さアンケート（SDQ：Strengths and Difficulties Questionnaire)」の調査項目のうち、「情緒（不安や抑うつなど)」の問題、「仲間関係」の問題、「向社会性」を把握するための項目を設定した。

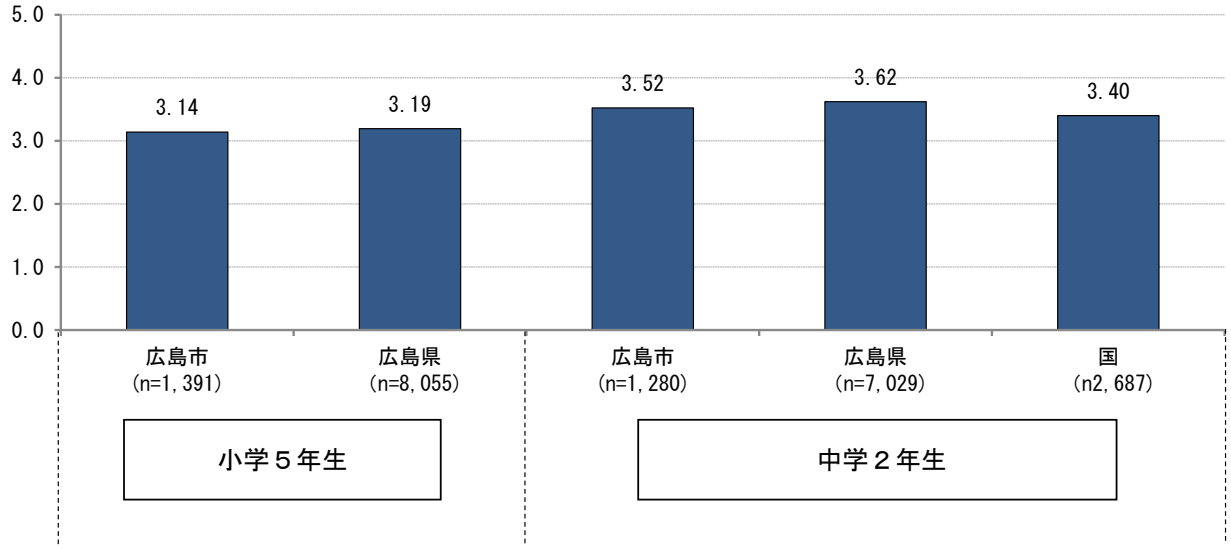
子ども票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「１　あてはまらない」「２　まああてはまる」「３　あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。

＝ 情緒の問題 ＝

b. 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
e. 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
h. 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。
j. 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
o. 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

「情緒の問題」に関して、５つの質問ごとに、「あてはまらない」０点、「まああてはまる」１点、「あてはまる」２点を振り、その合計（０～10 点）を計算した。スコアが高くなるほど課題があると考えられる。

＜全体＞



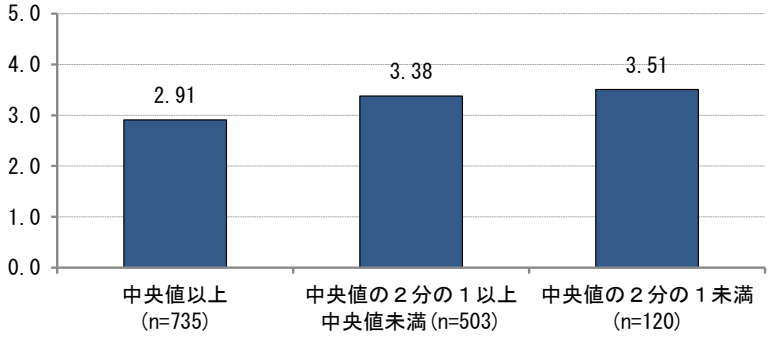
「情緒の問題」について、小学５年生全体の平均値は 3.14 となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

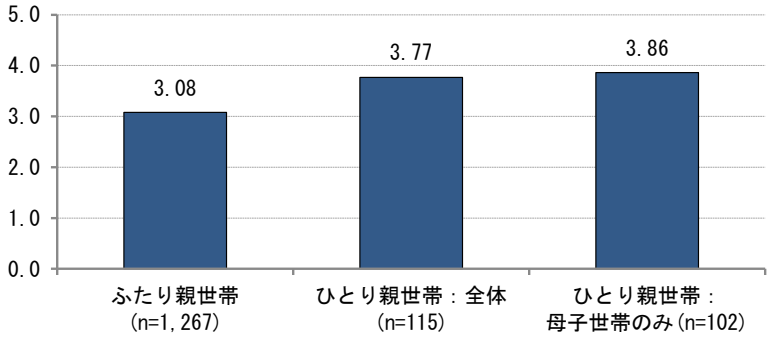
中学２年生全体の平均値は 3.52 となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

子ども票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「１　あてはまらない」「２　まああてはまる」「３　あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。

＝ 情緒の問題 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞





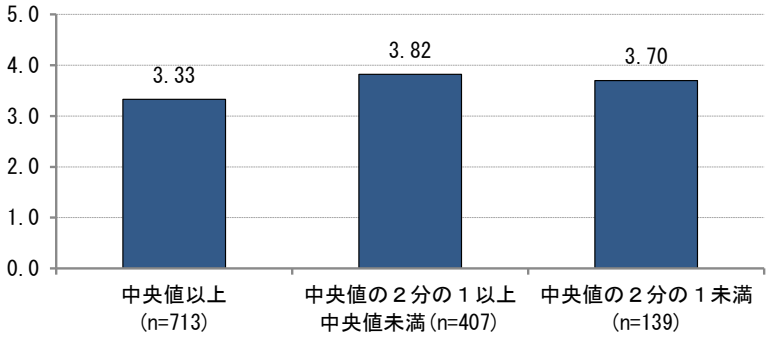
等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」では 2.91、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 3.38、「中央値の２分の１未満」では 3.51 となっている。

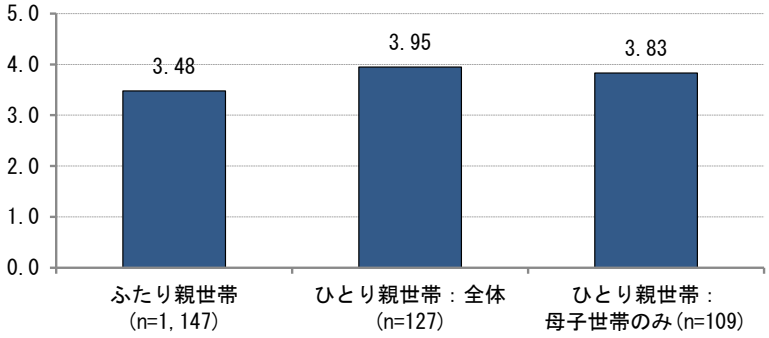
世帯の状況別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では 3.08、「ひとり親世帯」では 3.77、「母子世帯」では 3.86 となっている。

子ども票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「１　あてはまらない」「２　まああてはまる」「３　あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。

＝ 情緒の問題 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞





等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」では 3.33、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 3.82、「中央値の２分の１未満」では 3.70 となっている。

世帯の状況別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では 3.48、「ひとり親世帯」では 3.95、「母子世帯」では 3.83 となっている。

子ども票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「１　あてはまらない」「２　まああてはまる」「３　あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。

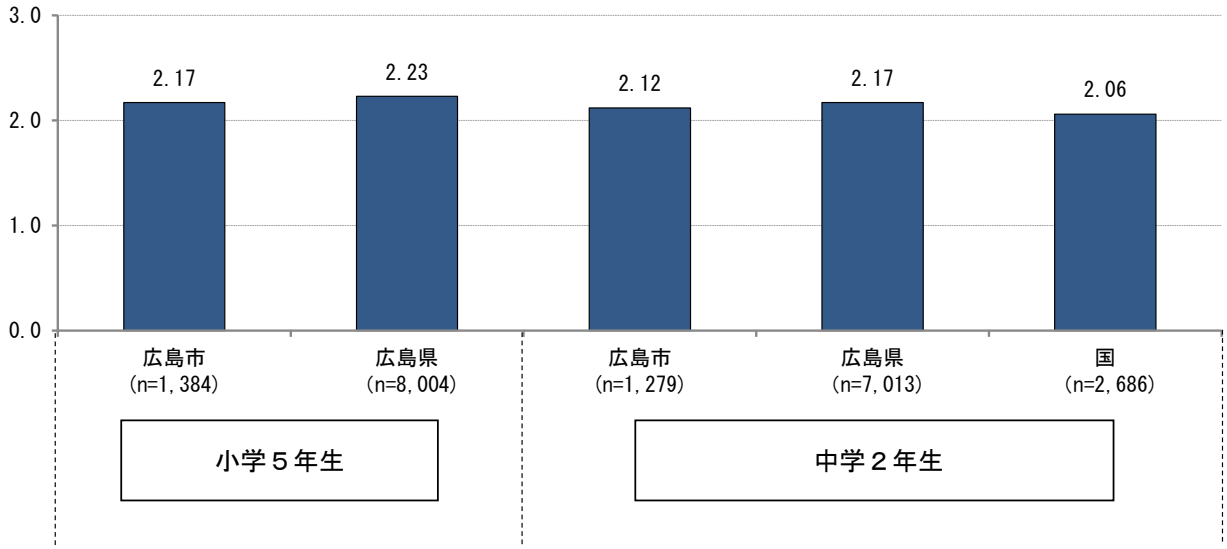
＝ 仲間関係の問題 ＝

d. 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
i. 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたいは好かれている。
l. 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。
n. 私は、他の子どもたちより、大人といる方がうまくいく。

「仲間関係の問題」に関して、５つの質問ごとに、「あてはまらない」０点、「まああてはまる」１点、「あてはまる」２点を振り、その合計（０～10 点）を計算した。スコアが高くなるほど課題があると考えられる。

※「g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。」と「i. 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたいは好かれている。」の質問項目は、逆転項目としてスコアを算出した。

＜全体＞



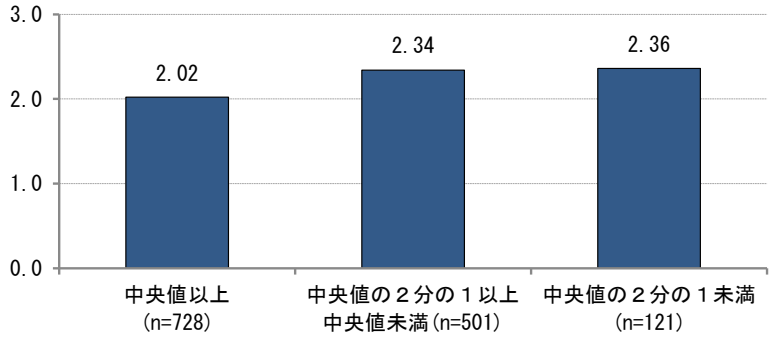
「仲間関係の問題」について、小学５年生全体の平均値は 2.17 となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

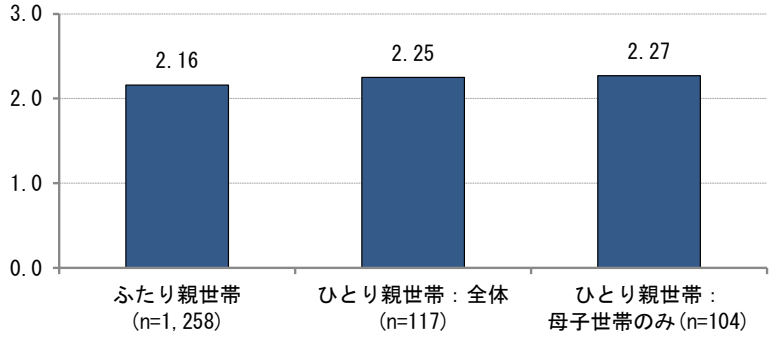
中学２年生全体の平均値は 2.12 となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

子ども票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「１　あてはまらない」「２　まああてはまる」「３　あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。

＝ 仲間関係の問題 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞





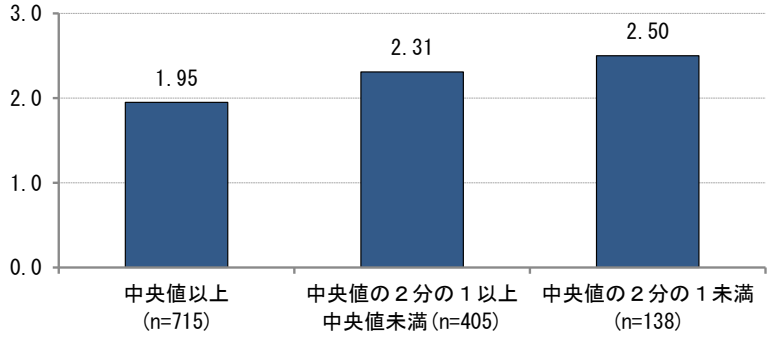
等価世帯収入の水準別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「中央値以上」では 2.02、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 2.34、「中央値の２分の１未満」では 2.36 となっている。

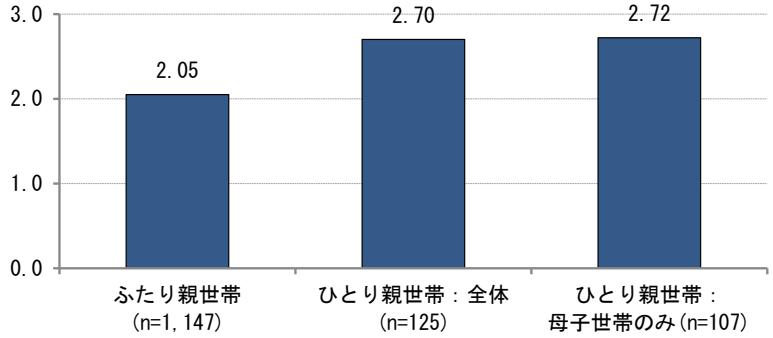
世帯の状況別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では 2.16、「ひとり親世帯」では 2.25、「母子世帯」では 2.27 となっている。

子ども票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「１　あてはまらない」「２　まああてはまる」「３　あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。

＝ 仲間関係の問題 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞





等価世帯収入の水準別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「中央値以上」では 1.95、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 2.31、「中央値の２分の１未満」では 2.50 となっている。

世帯の状況別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では 2.05、「ひとり親世帯」では 2.70、「母子世帯」では 2.72 となっている。

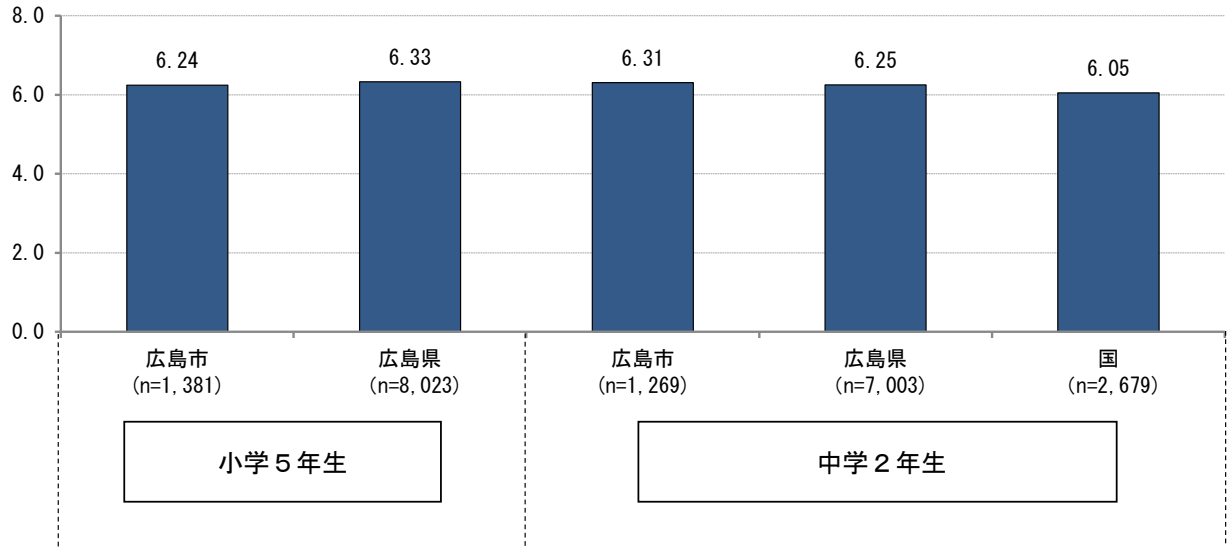
子ども票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「１　あてはまらない」「２　まああてはまる」「３　あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。

＝ 向社会性 ＝

a. 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
c. 私は、他の子どもたちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
f. 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。
k. 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。
m. 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・子どもたちなど）。

「向社会性」に関して、５つの質問ごとに、「あてはまらない」０点、「まああてはまる」１点、「あてはまる」２点を振り、その合計（０～10 点）を計算した。スコアが高くなるほど社会性が高いと考えられる。

＜全体＞



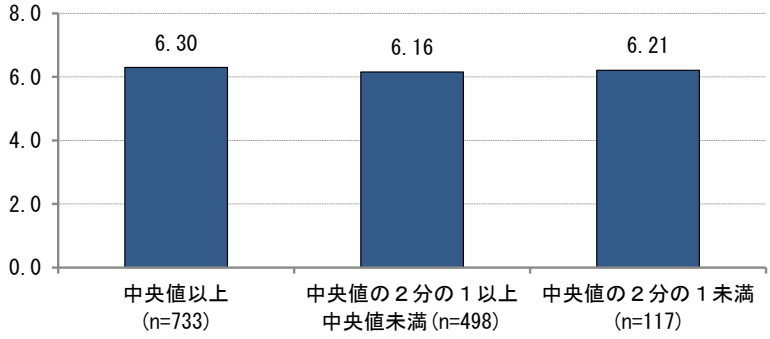
「向社会性」について、小学５年生全体の平均値は 6.24 となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

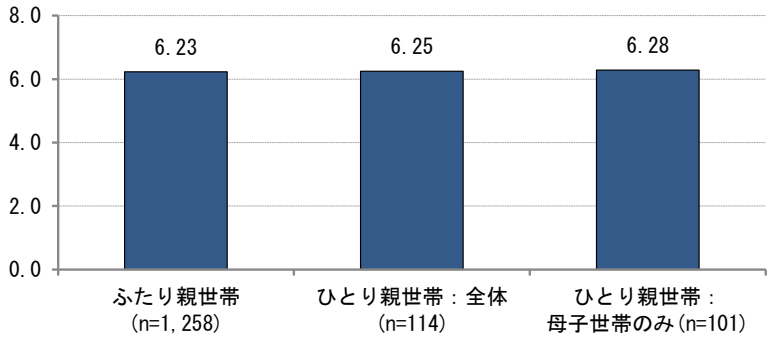
中学２年生全体の平均値は 6.31 となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

子ども票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「１　あてはまらない」「２　まああてはまる」「３　あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。

＝ 向社会性 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞





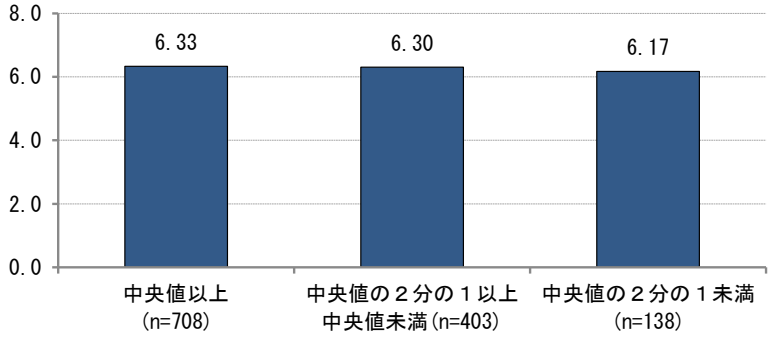
等価世帯収入の水準別にみると、「向社会性」の平均値は、「中央値以上」では 6.30、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 6.16、「中央値の２分の１未満」では 6.21 となっている。

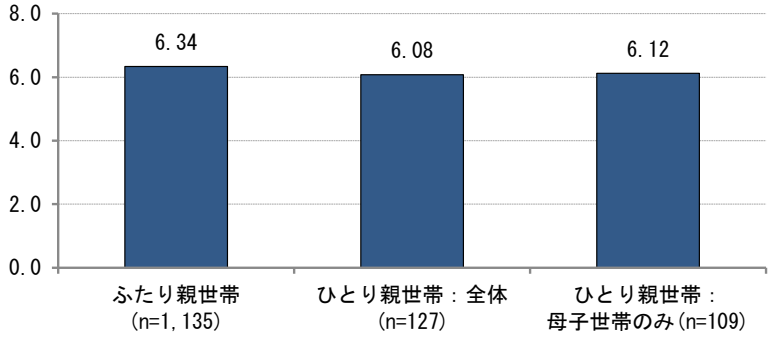
世帯の状況別にみると、「向社会性」の平均値は、「ふたり親世帯」では 6.23、「ひとり親世帯」では 6.25、「母子世帯」では 6.28 となっている。

子ども票問 15. 以下のそれぞれの質問について、「１　あてはまらない」「２　まああてはまる」「３　あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。

＝ 向社会性 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞





等価世帯収入の水準別にみると、「向社会性」の平均値は、「中央値以上」では 6.33、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 6.30、「中央値の２分の１未満」では 6.17 となっている。

世帯の状況別にみると、「向社会性」の平均値は、「ふたり親世帯」では 6.34、「ひとり親世帯」では 6.08、「母子世帯」では 6.12 となっている。

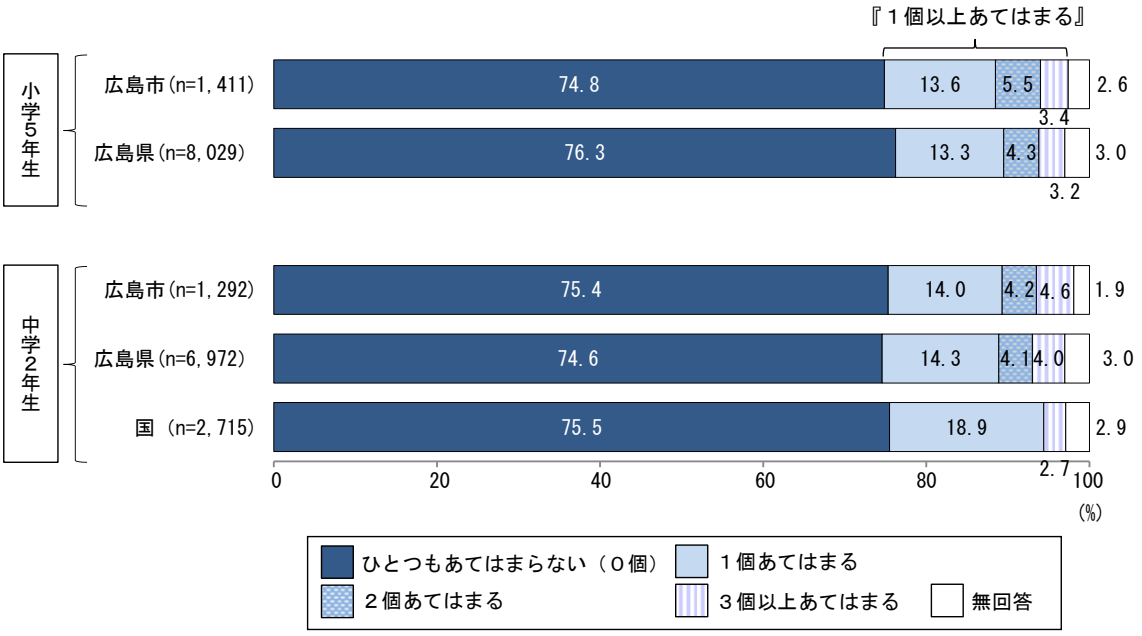
（6）逆境体験

子ども票問 18. あなたは今までに、以下の a～h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。

a. 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
b. 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
c. 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
d. 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
e. 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
f. 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
g. 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
h. 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

本調査では、内閣府の「子供の生活状況調査」と同様に、「逆境体験」について、８つの項目を基に状況把握を行った。

＜全体＞



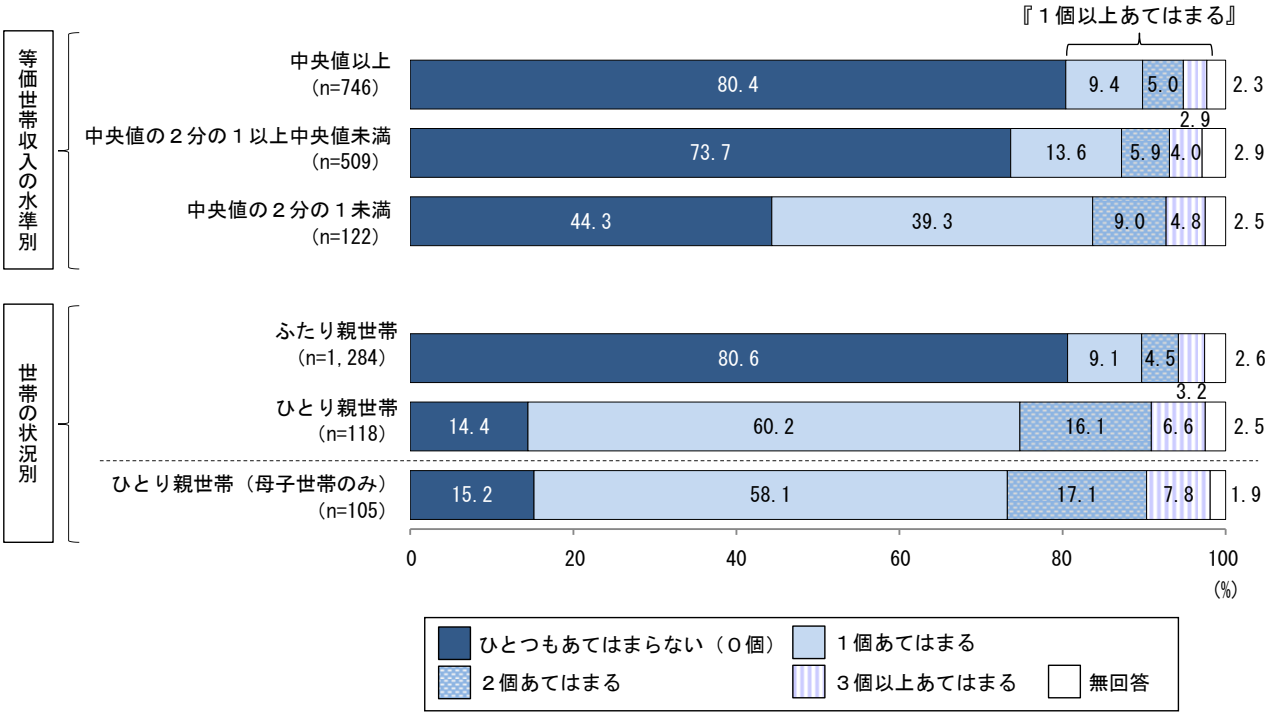
※国調査では「１～２個あてはまる」という選択肢になっている

「逆境体験」について、小学５年生では、「ひとつもあてはまらない（０個)」が 74.8%、「１個あてはまる」が 13.6%、「２個あてはまる」が 5.5%、「３個以上あてはまる」が 3.4%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「ひとつもあてはまらない（０個)」が 75.4%、「１個あてはまる」が 14.0%、「２個あてはまる」が 4.2%、「３個以上あてはまる」が 4.6%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

子ども票問 18. あなたは今までに、以下の a～h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞

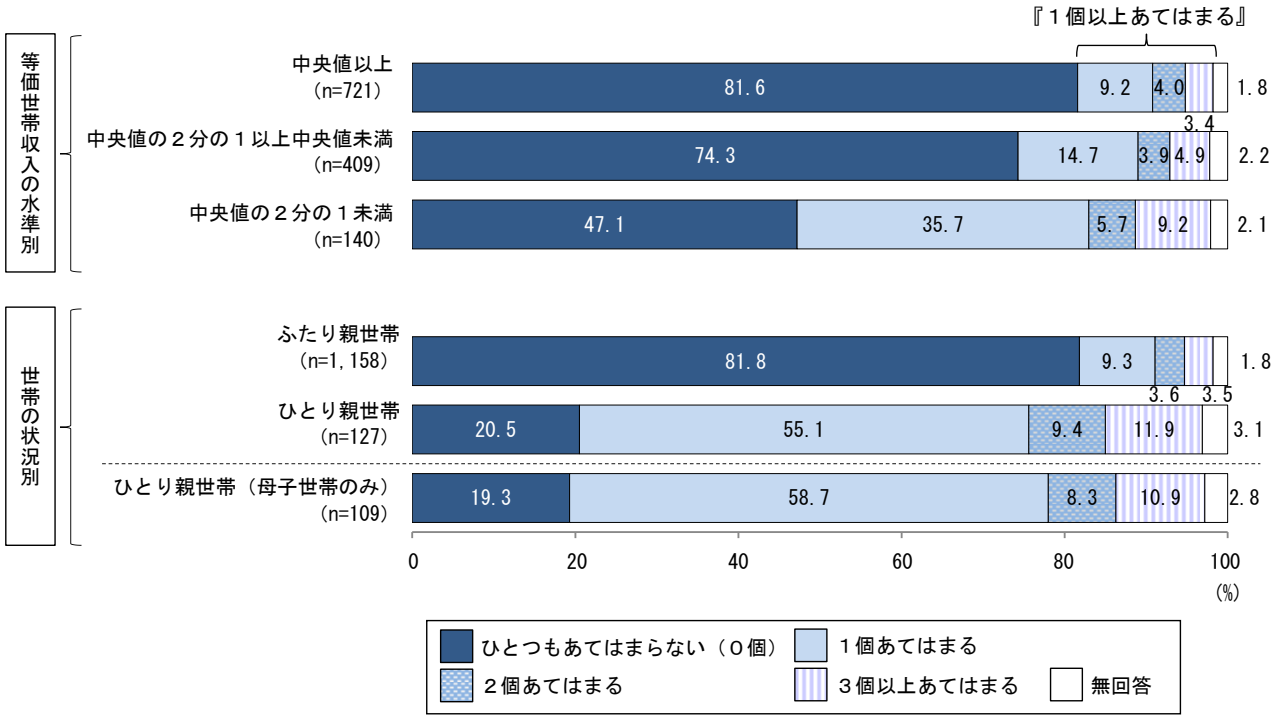


等価世帯収入の水準別にみると、『１個以上あてはまる（「１個あてはまる」と「２個あてはまる」と「３個以上あてはまる」を合わせた割合）』は、「中央値以上」では 17.3%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 23.5%、「中央値の２分の１未満」では 53.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『１個以上あてはまる』は、「ふたり親世帯」では 16.8%、「ひとり親世帯」では 82.9%、「母子世帯」では 83.0%となっている。

子ども票問 18.　あなたは今までに、以下の a～h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞

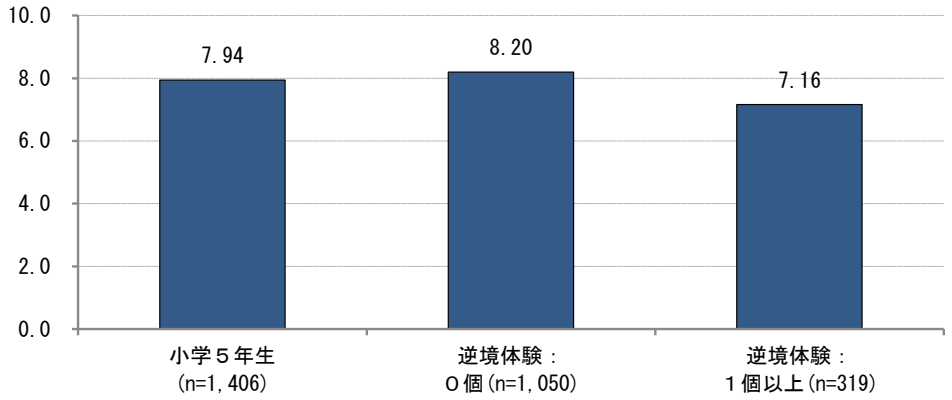


等価世帯収入の水準別にみると、『１個以上あてはまる』は、「中央値以上」では 16.6%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 23.5%、「中央値の２分の１未満」では 50.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『１個以上あてはまる』は、「ふたり親世帯」では 16.4%、「ひとり親世帯」では 76.4%、「母子世帯」では 77.9%となっている。

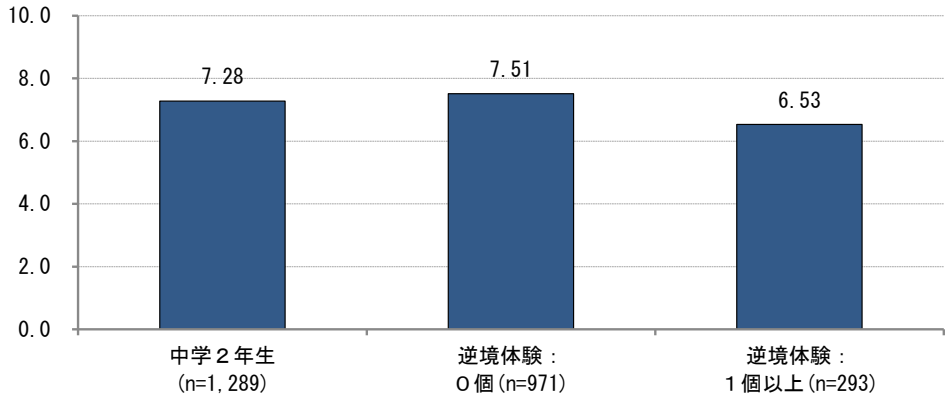
子ども票問 18. あなたは今までに、以下の a～h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。

＜逆境体験の有無別 生活の満足度（小学５年生）＞



逆境体験の有無別に、子どもの生活の満足度の平均値をみると、「ひとつもあてはまらない（０個）」（8.20）が『１個以上あてはまる』（7.16）を 1.04 点上回っている。

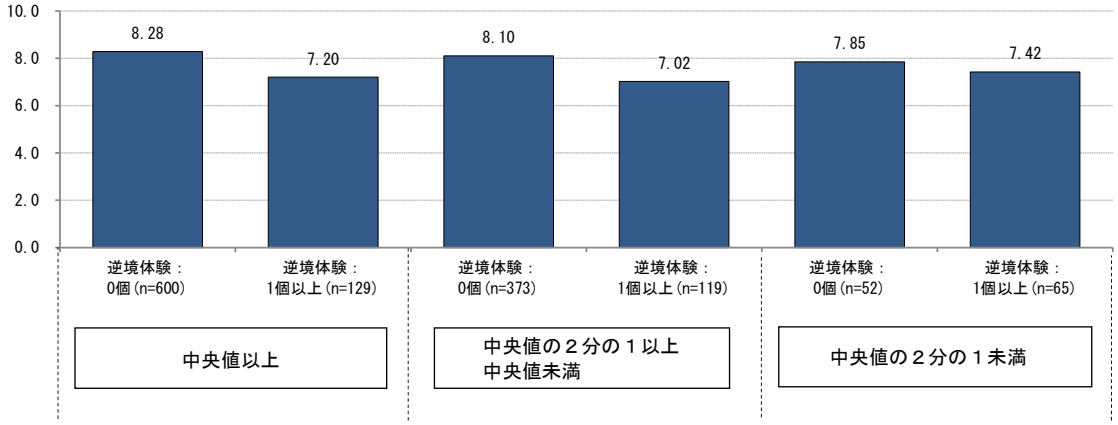
＜逆境体験の有無別 生活の満足度（中学２年生）＞



逆境体験の有無別に、子どもの生活の満足度の平均値をみると、「ひとつもあてはまらない（０個）」（7.51）が『１個以上あてはまる』（6.53）を 0.98 点上回っている。

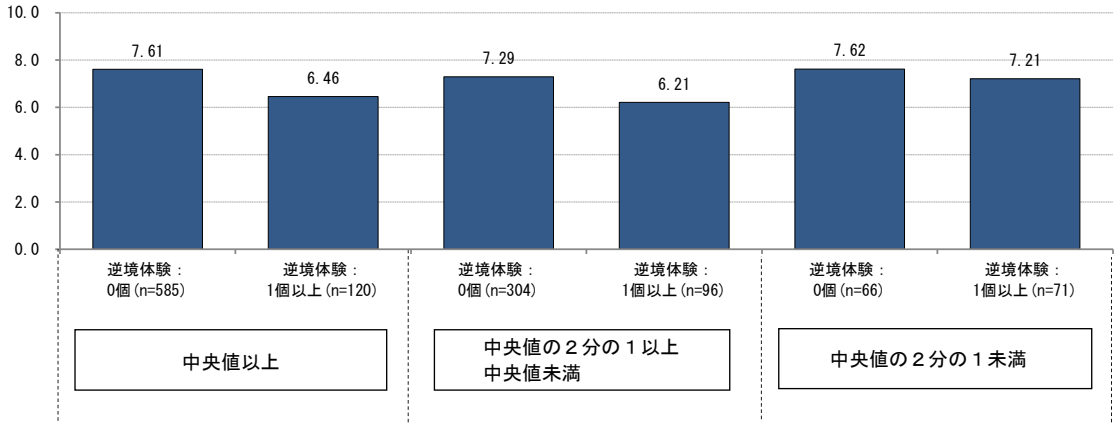
子ども票問 18. あなたは今までに、以下の a～h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。

＜逆境体験の有無別×世帯収入の水準別（小学５年生）＞



等価世帯収入の水準で分類した上で、逆境体験の有無別に子どもの生活満足度をみると、等価世帯収入の水準がいずれの場合であっても、逆境体験がある場合は生活満足度の平均値が低くなっている。

＜逆境体験の有無別×等価世帯収入の水準別（中学２年生）＞

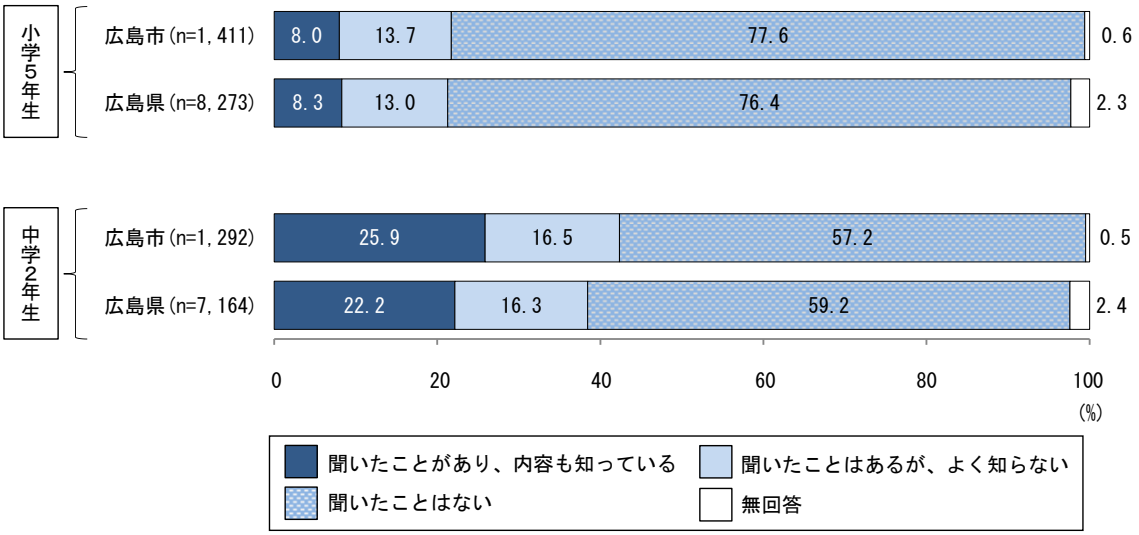


等価世帯収入の水準で分類した上で、逆境体験の有無別に子どもの生活満足度をみると、等価世帯収入の水準がいずれの場合であっても、逆境体験がある場合は生活満足度の平均値が低くなっている。

（7）ヤングケアラーの実態

子ども票問 21.　あなたはヤングケアラーという言葉を聞いたことがありますか。
※ヤングケアラーとは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、自分のやりたいことができないなど、子どもの権利が守られていないと思われる 18 歳未満の子どもをいいます。

＜全体＞

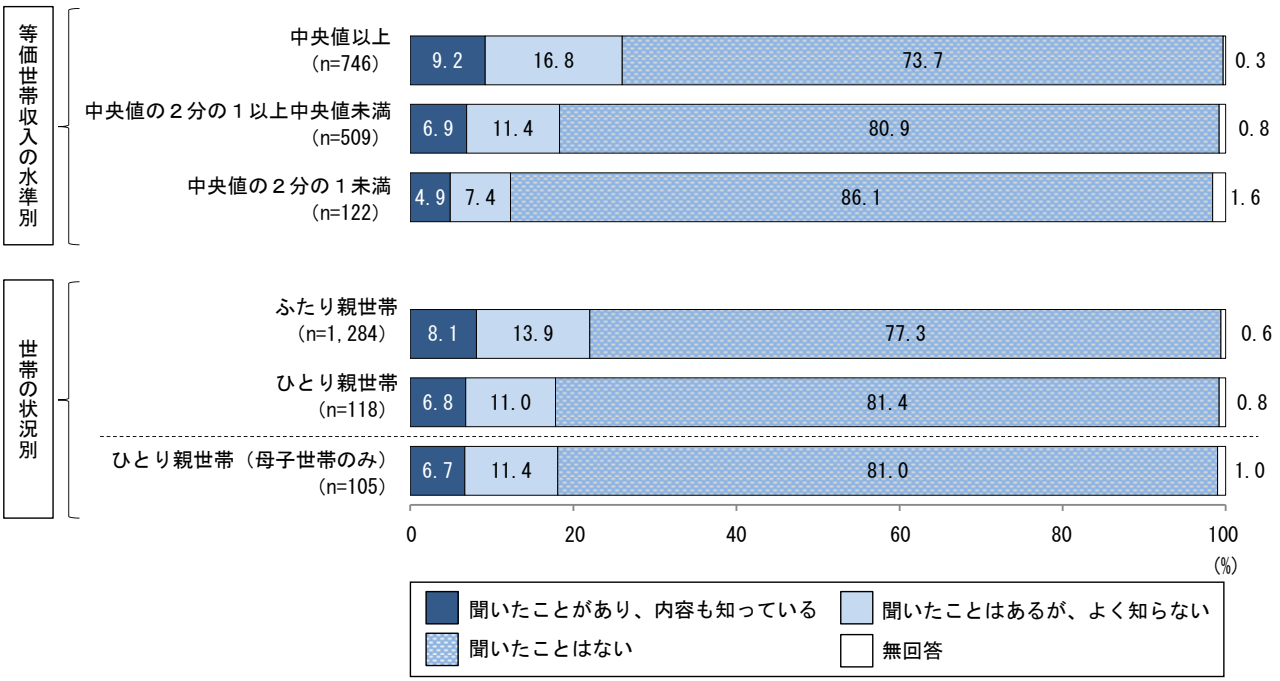


ヤングケアラーの言葉の認知について、小学５年生では、「聞いたことがあり、内容も知っている」が 8.0%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 13.7%、「聞いたことはない」が 77.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「聞いたことがあり、内容も知っている」が 25.9%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 16.5%、「聞いたことはない」が 57.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

子ども票問 21.　あなたはヤングケアラーという言葉を聞いたことがありますか。
※ヤングケアラーとは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、自分のやりたいことができないなど、子どもの権利が守られていないと思われる 18 歳未満の子どもをいいます。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞

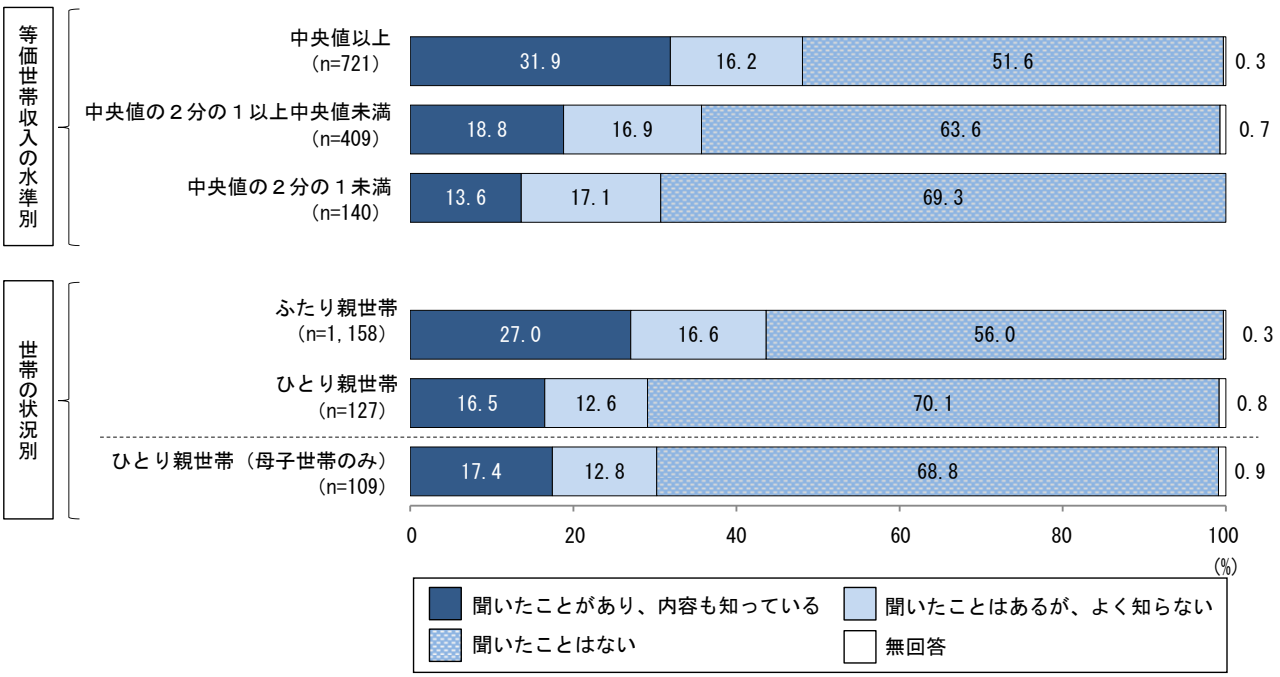


等価世帯収入の水準別にみると、「聞いたことはない」は、「中央値以上」では 73.7%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 80.9%、「中央値の２分の１未満」では 86.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「聞いたことはない」は、「ふたり親世帯」では 77.3%、「ひとり親世帯」では 81.4%、「母子世帯」では 81.0%となっている。

子ども票問 21.　あなたはヤングケアラーという言葉を聞いたことがありますか。
※ヤングケアラーとは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、自分のやりたいことができないなど、子どもの権利が守られていないと思われる 18 歳未満の子どもをいいます。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞

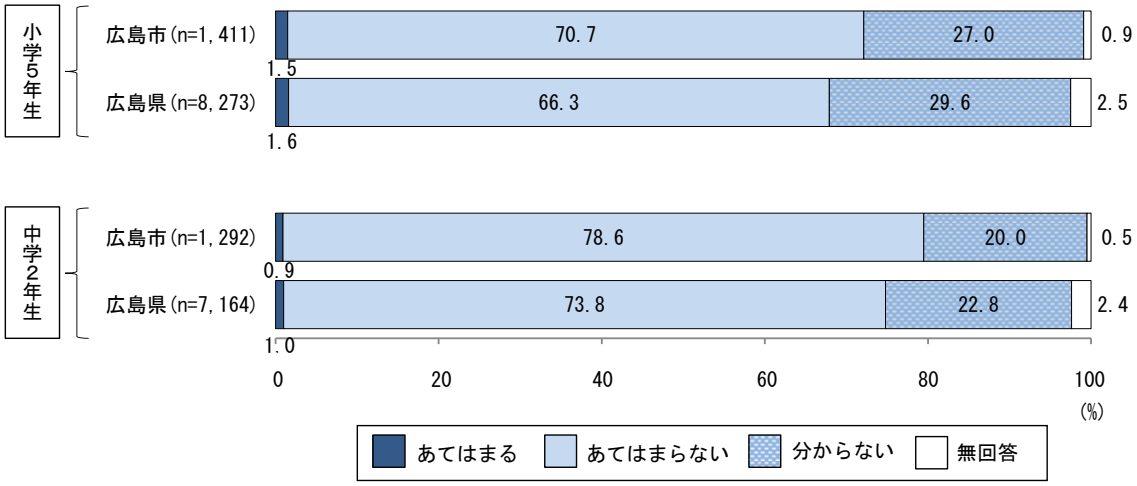


等価世帯収入の水準別にみると、「聞いたことはない」は、「中央値以上」では 51.6%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 63.6%、「中央値の２分の１未満」では 69.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「聞いたことはない」は、「ふたり親世帯」では 56.0%、「ひとり親世帯」では 70.1%、「母子世帯」では 68.8%となっている。

子ども票問 22. あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。

＜全体＞

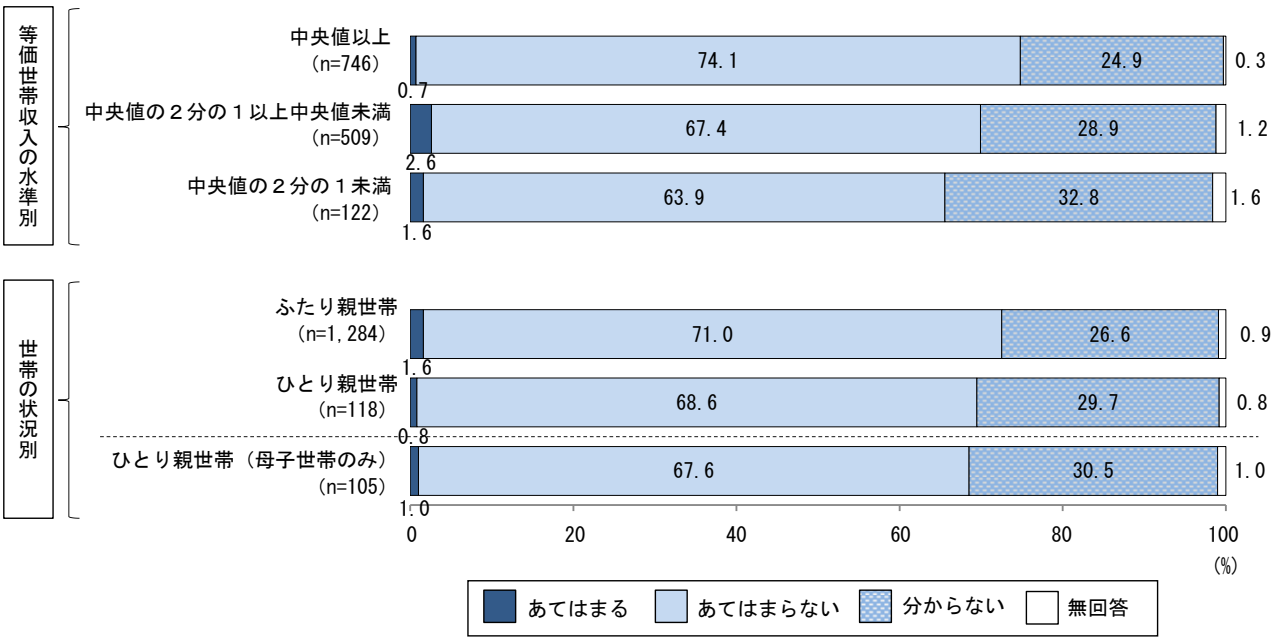


自分がヤングケアラーにあてはまると思うかについて、小学５年生では、「あてはまる」が 1.5%、「あてはまらない」が 70.7%、「分からない」が 27.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「あてはまる」が 0.9%、「あてはまらない」が 78.6%、「分からない」が 20.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

子ども票問 22. あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。

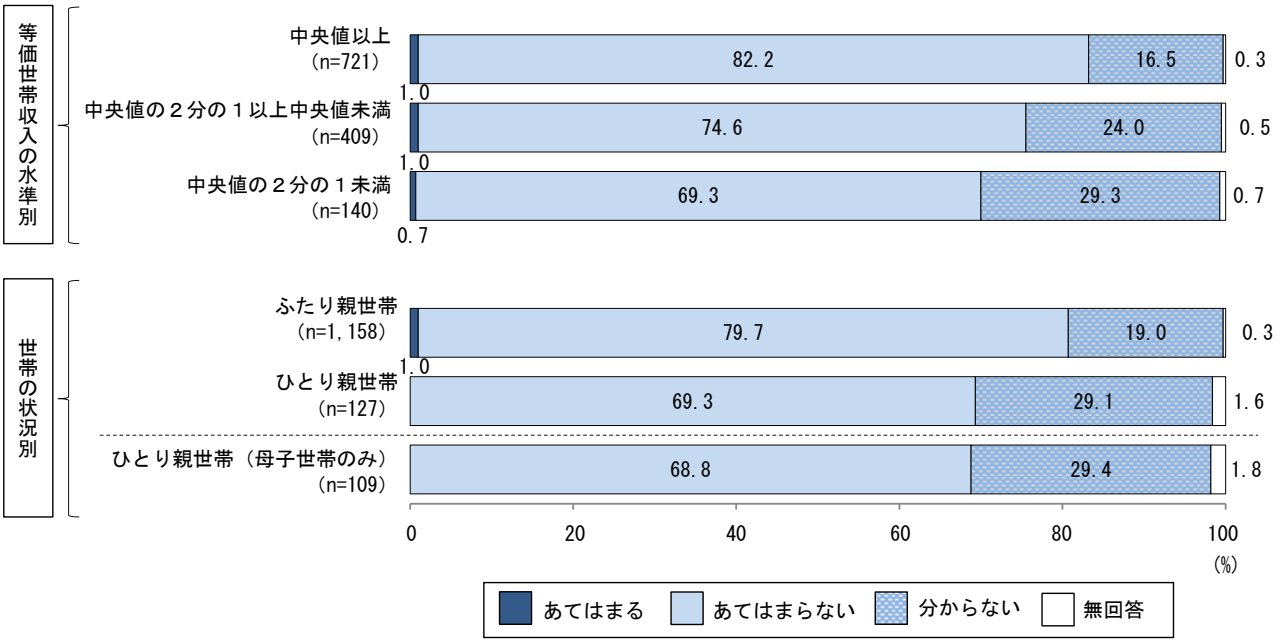
＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「あてはまる」は、「中央値以上」では 0.7%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 2.6%、「中央値の２分の１未満」では 1.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「あてはまる」は、「ふたり親世帯」では 1.6%、「ひとり親世帯」では 0.8%、「母子世帯」では 1.0%となっている。

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞

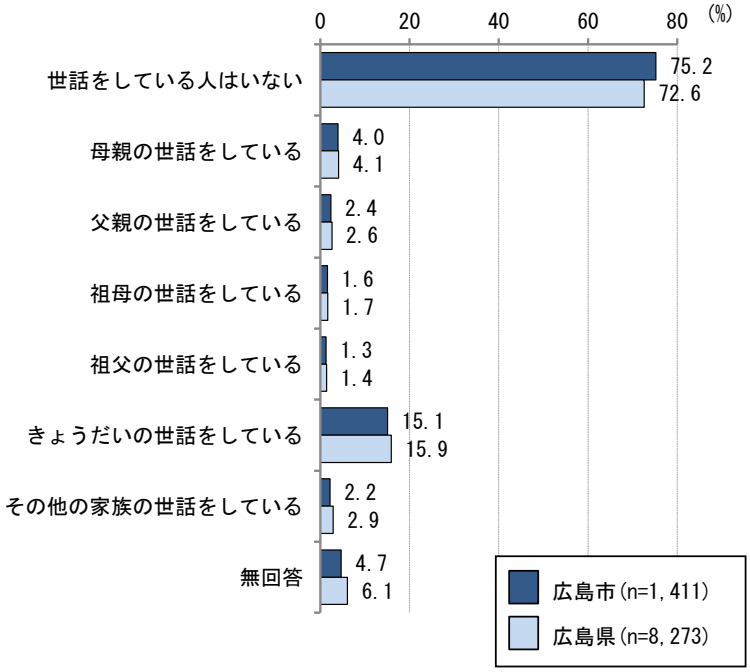


等価世帯収入の水準別にみると、「あてはまる」は、「中央値以上」では 1.0%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 1.0%、「中央値の２分の１未満」では 0.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「あてはまる」は、「ふたり親世帯」では 1.0%、「ひとり親世帯」、「母子世帯」では 0.0%となっている。

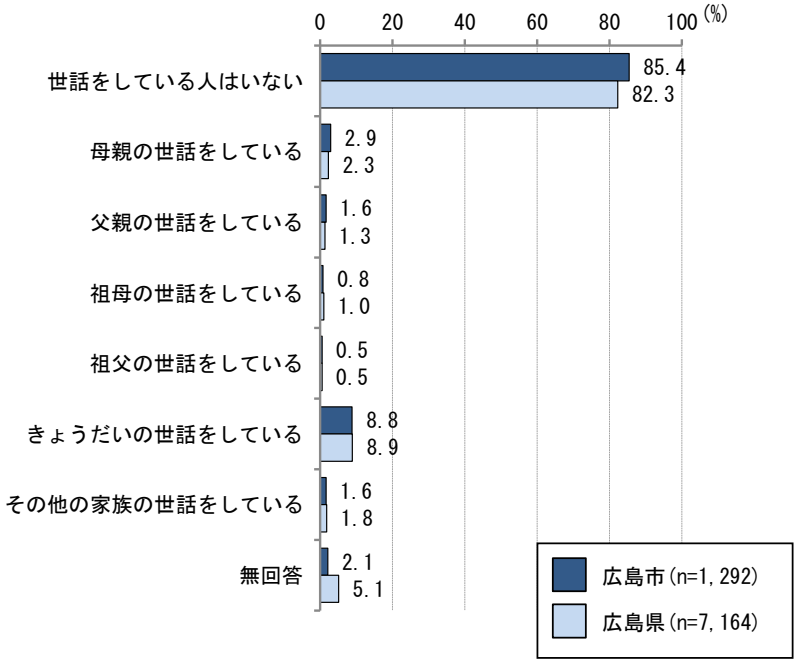
子ども票問 23. 家族の中にあなたが世話（※）をしている人はいますか。（複数回答）
※この質問でいう「世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話のことを指します。

＜小学５年生＞



家族の世話について、小学５年生では、「世話をしている人はいない」が 75.2%と最も高く、次いで「きょうだいの世話をしている」が 15.1%、「母親の世話をしている」が 4.0%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

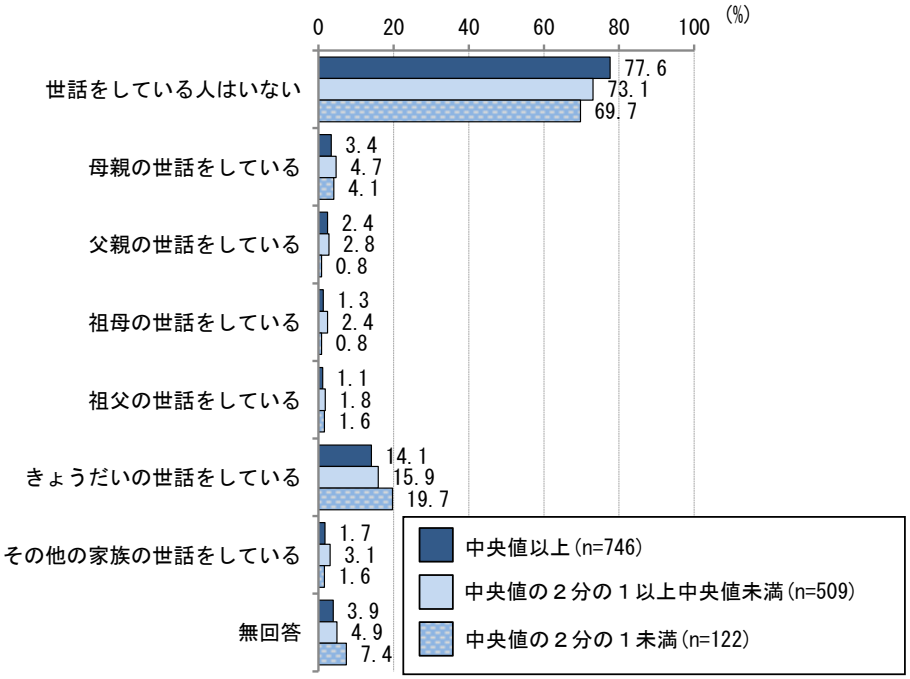
＜中学２年生＞



家族の世話について、中学２年生では、「世話をしている人はいない」が 85.4%と最も高く、次いで「きょうだいの世話をしている」が 8.8%、「母親の世話をしている」が 2.9%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

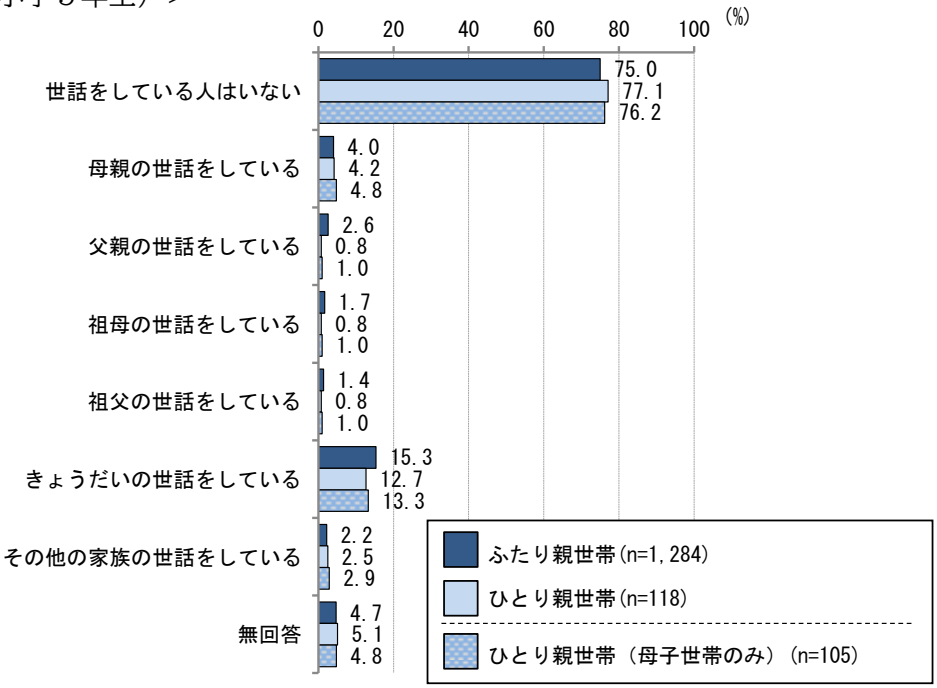
子ども票問 23. 家族の中にあなたが世話（※）をしている人はいますか。（複数回答）
※この質問でいう「世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話のことを指します。

＜等価世帯収入の水準別（小学５年生）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「世話をしている人はいない」は、「中央値以上」では 77.6%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 73.1%、「中央値の２分の１未満」では 69.7%となっている。

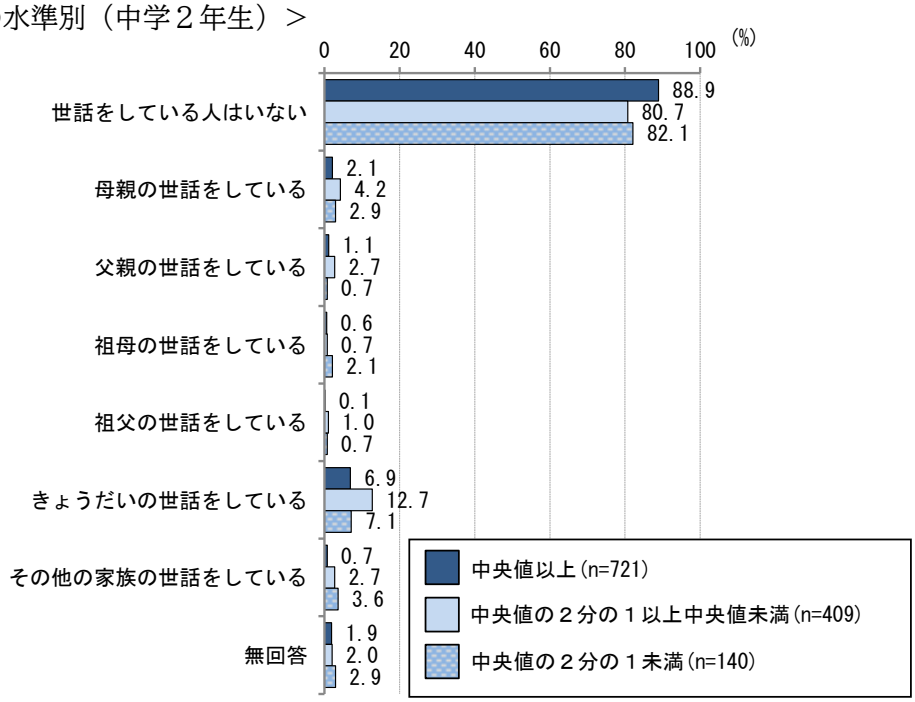
＜世帯の状況別（小学５年生）＞



世帯の状況別にみると、「世話をしている人はいない」は、「ふたり親世帯」では 75.0%、「ひとり親世帯」では 77.1%、「母子世帯」では 76.2%となっている。

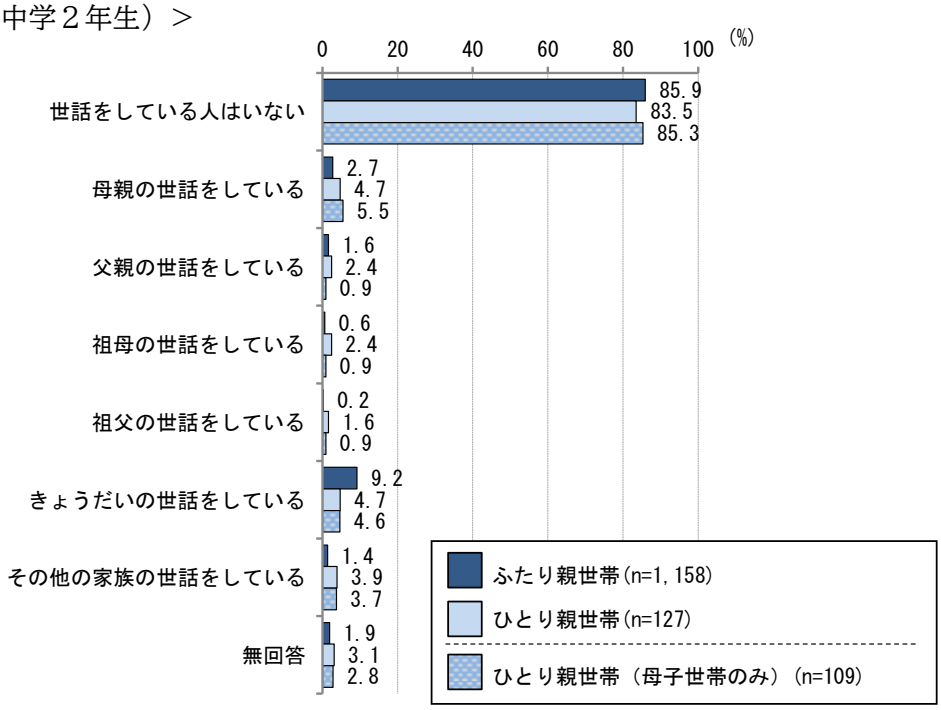
子ども票問 23. 家族の中にあなたが世話（※）をしている人はいますか。（複数回答）
※この質問でいう「世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話のことを指します。

＜等価世帯収入の水準別（中学２年生）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「世話をしている人はいない」は、「中央値以上」では 88.9%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 80.7%、「中央値の２分の１未満」では 82.1%となっている。

＜世帯の状況別（中学２年生）＞



世帯の状況別にみると、「世話をしている人はいない」は、「ふたり親世帯」では 85.9%、「ひとり親世帯」では 83.5%、「母子世帯」では 85.3%となっている。

3　新型コロナウイルス感染症の影響

（1）保護者

保護者票問 26.　あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大する前（2019 年以前）と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）では、どのように変わりましたか。

保護者票問 27.　あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）と現在を比べて、どのように変わりましたか。

＜小学５年生の保護者＞

n=1,407

a)世帯全体の収入の変化		問27 増えた	問27 減った	問27 変わらない	問27 無回答
問26	増えた	7.2	0.4	1.3	0.0
	減った	2.1	12.2	5.8	0.1
	変わらない	2.4	2.1	66.0	0.1
	無回答	0.0	0.1	0.1	0.2

b)生活に必要な支出の変化		問27 増えた	問27 減った	問27 変わらない	問27 無回答
問26	増えた	46.7	0.6	6.6	0.1
	減った	3.1	1.3	1.2	0.1
	変わらない	5.5	0.4	33.9	0.1
	無回答	0.3	0.0	0.0	0.1

c)お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと		問27 増えた	問27 減った	問27 変わらない	問27 無回答
問26	増えた	10.1	0.6	1.6	0.0
	減った	0.2	1.6	0.6	0.0
	変わらない	0.8	0.2	83.6	0.1
	無回答	0.0	0.0	0.3	0.4

d)お子さんと話をすること		問27 増えた	問27 減った	問27 変わらない	問27 無回答
問26	増えた	13.3	1.0	7.5	0.0
	減った	0.6	2.7	0.8	0.0
	変わらない	1.4	0.4	71.9	0.1
	無回答	0.1	0.0	0.1	0.1

保護者票問 26.　あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大する前（2019 年以前）と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）では、どのように変わりましたか。

保護者票問 27.　あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）と現在を比べて、どのように変わりましたか。

n=1,407

e)家庭内で、もめごとが起こること		問27 増えた	減った	変わらない	無回答
問26	増えた	10.0	2.7	4.1	0.0
	減った	0.2	2.0	0.9	0.1
	変わらない	1.4	0.6	77.5	0.0
	無回答	0.0	0.0	0.3	0.2

f)自身がイライラを感じたり、気分が沈むこと		問27 増えた	減った	変わらない	無回答
問26	増えた	23.7	5.3	8.5	0.0
	減った	0.2	1.7	0.6	0.0
	変わらない	1.7	0.7	57.1	0.0
	無回答	0.1	0.0	0.1	0.2

新型コロナウイルス感染症による生活の変化について、小学５年生の保護者では、「生活に必要な支出の変化」の項目で、感染症の拡大前、拡大していた期間、現在を通じて「増えた」が最も高くなっている。それ以外の項目では、感染症の拡大前、拡大していた期間、現在を通じて「変わらない」が最も高くなっている。

保護者票問 26.　あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大する前（2019 年以前）と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）では、どのように変わりましたか。

保護者票問 27.　あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）と現在を比べて、どのように変わりましたか。

＜中学２年生の保護者＞

n=1，292

a)世帯全体の収入の変化		問27 増えた	問27 減った	問27 変わらない	問27 無回答
問26	増えた	7.7	0.7	1.6	0.0
	減った	3.3	11.8	6.1	0.2
	変わらない	3.0	1.3	64.1	0.1
	無回答	0.1	0.0	0.1	0.1

b)生活に必要な支出の変化		問27 増えた	問27 減った	問27 変わらない	問27 無回答
問26	増えた	49.0	0.6	6.3	0.2
	減った	2.4	1.5	1.0	0.0
	変わらない	6.1	0.2	32.4	0.2
	無回答	0.1	0.0	0.1	0.0

c)お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと		問27 増えた	問27 減った	問27 変わらない	問27 無回答
問26	増えた	11.5	0.2	1.9	0.0
	減った	0.1	0.7	0.8	0.0
	変わらない	1.3	0.5	82.4	0.2
	無回答	0.0	0.0	0.1	0.5

d)お子さんと話をすること		問27 増えた	問27 減った	問27 変わらない	問27 無回答
問26	増えた	10.2	1.2	5.4	0.1
	減った	0.4	4.1	1.1	0.0
	変わらない	2.3	1.1	73.7	0.2
	無回答	0.0	0.0	0.1	0.1

保護者票問 26.　あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大する前（2019 年以前）と新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）では、どのように変わりましたか。

保護者票問 27.　あなたのご家庭の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大していた期間（2020 年から 2022 年）と現在を比べて、どのように変わりましたか。

n=1，292

e)家庭内で、もめごとが起こること		問27			
		増えた	減った	変わらない	無回答
問26	増えた	10.1	2.8	4.1	0.0
	減った	0.0	2.2	1.1	0.0
	変わらない	0.8	0.5	77.9	0.2
	無回答	0.1	0.0	0.1	0.3

f)自身がイライラを感じたり、気分が沈むこと		問27			
		増えた	減った	変わらない	無回答
問26	増えた	22.1	4.9	9.7	0.1
	減った	0.0	1.0	1.1	0.0
	変わらない	0.9	0.9	59.0	0.1
	無回答	0.0	0.0	0.2	0.2

中学２年生の保護者では、「生活に必要な支出の変化」の項目で、感染症の拡大前、拡大していた期間、現在を通じて「増えた」が最も高くなっている。それ以外の項目では、感染症の拡大前、拡大していた期間、現在を通じて「変わらない」が最も高くなっている。

（2）子ども

子ども票問 16. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間では、どのように変わったと思いますか。

子ども票問 17. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

＜小学５年生＞

n=1,411

a) 学校の授業以外で勉強する時間		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	17.2	2.8	7.2	0.1
	減った	4.2	2.3	2.1	0.0
	変わらない	7.8	1.9	53.9	0.2
	無回答	0.0	0.0	0.1	0.1

b) 学校の授業がわからないと感じること		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	10.9	1.9	3.9	0.1
	減った	0.9	12.4	5.7	0.1
	変わらない	3.2	5.0	55.4	0.1
	無回答	0.0	0.0	0.2	0.1

c) 地域のクラブ活動や学校の部（クラブ）活動で活動する回数		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	10.8	1.3	3.2	0.1
	減った	16.0	8.2	6.9	0.3
	変わらない	5.9	2.1	44.5	0.1
	無回答	0.0	0.1	0.3	0.2

d) 食事を抜く回数		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	2.3	0.6	1.0	0.0
	減った	0.3	3.2	1.6	0.0
	変わらない	1.0	3.3	85.8	0.4
	無回答	0.0	0.2	0.2	0.1

子ども票問 16. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間では、どのように変わったと思いますか。

子ども票問 17. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

n=1,411

e) 夜遅くまで起きている回数		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	23.2	2.7	5.9	0.3
	減った	1.2	4.7	1.7	0.1
	変わらない	5.4	1.5	52.3	0.3
	無回答	0.3	0.1	0.1	0.2

f) 親以外の大人や友達と話をすること		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	22.3	2.3	6.4	0.2
	減った	13.1	4.9	4.3	0.1
	変わらない	9.0	1.2	35.3	0.1
	無回答	0.4	0.0	0.2	0.1

g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	13.9	1.8	3.1	0.1
	減った	26.2	8.4	6.1	0.2
	変わらない	5.3	2.6	31.0	0.4
	無回答	0.2	0.4	0.2	0.1

h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	11.9	5.4	6.2	0.2
	減った	0.9	8.6	4.7	0.1
	変わらない	3.1	5.6	52.4	0.4
	無回答	0.2	0.0	0.1	0.1

子ども票問 16. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間では、どのように変わったと思いますか。

子ども票問 17. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

n=1,411

i) 家族で外食する回数		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	10.2	1.3	2.6	0.2
	減った	25.8	13.8	9.7	0.1
	変わらない	5.6	3.3	26.8	0.3
	無回答	0.1	0.0	0.1	0.1

j) 家族で旅行する回数		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	6.9	0.9	1.3	0.0
	減った	19.3	17.1	14.1	0.4
	変わらない	3.3	2.6	33.5	0.2
	無回答	0.1	0.1	0.1	0.2

k) 野外レジャーに行く回数		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	8.0	1.6	2.9	0.1
	減った	13.6	13.7	12.3	0.2
	変わらない	5.5	2.6	38.8	0.4
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.4

子ども票問 16. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間では、どのように変わったと思いますか。

子ども票問 17. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

n=1,411

l) 屋内施設に行く回数		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	10.3	1.2	2.3	0.1
	減った	18.3	12.4	9.8	0.4
	変わらない	5.5	2.3	37.0	0.2
	無回答	0.1	0.0	0.1	0.1

m) 家族で家で過ごす時間		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	25.2	12.5	19.3	0.1
	減った	1.3	3.8	1.8	0.1
	変わらない	4.1	1.8	29.4	0.1
	無回答	0.1	0.0	0.2	0.1

新型コロナウイルス感染症による生活の変化について、小学５年生では、いずれの質問でも、感染症の拡大前、拡大していた期間、現在を通じて「変わらない」と回答した割合が最も高くなっている。

また、感染症の拡大前、拡大していた期間、現在を通じて「増えた」と回答した割合が高くなっているものは、「a)学校の授業以外で勉強する時間」が 17.2%、「f)親以外の大人や友達と話をすること」が 22.3%、「m)家族で家で過ごす時間」が 25.2%となっている。一方で、「e)夜遅くまで起きている回数」が 23.2%、「h)イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」が 11.9%となっている。

「c)地域のクラブ活動や学校の部（クラブ）活動で活動する回数」や「g)親以外の大人や友達の素顔を見ること」などは、感染症が拡大していた期間に減ったものの、現在にかけて回復しつつある。

子ども票問 16. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間では、どのように変わったと思いますか。

子ども票問 17. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

＜中学２年生＞

n=1, 292

a) 学校の授業以外で勉強する時間		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	18.3	3.7	8.8	0.0
	減った	2.5	4.6	3.3	0.1
	変わらない	9.7	3.3	45.0	0.2
	無回答	0.2	0.0	0.2	0.4

b) 学校の授業がわからないと感じること		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	17.3	2.6	5.1	0.4
	減った	1.2	4.9	2.2	0.0
	変わらない	5.7	2.6	57.4	0.2
	無回答	0.0	0.0	0.2	0.4

c) 地域のクラブ活動や学校の部（クラブ）活動で活動する回数		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	16.6	1.8	2.9	0.0
	減った	18.8	10.1	7.4	0.2
	変わらない	7.3	1.5	32.6	0.0
	無回答	0.1	0.1	0.2	0.5

d) 食事を抜く回数		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	4.1	0.7	1.2	0.0
	減った	0.4	1.5	2.0	0.0
	変わらない	1.6	1.7	85.8	0.3
	無回答	0.0	0.0	0.2	0.4

子ども票問 16. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間では、どのように変わったと思いますか。

子ども票問 17. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

n=1，292

e) 夜遅くまで起きている回数		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	26.8	2.7	11.3	0.4
	減った	0.5	1.9	1.6	0.0
	変わらない	5.0	0.8	48.1	0.2
	無回答	0.2	0.1	0.2	0.3

f) 親以外の大人や友達と話をすること		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	18.5	0.9	5.1	0.2
	減った	13.5	5.4	4.7	0.2
	変わらない	7.8	1.8	40.8	0.2
	無回答	0.2	0.2	0.3	0.3

g) 親以外の大人や友達の素顔を見ること		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	9.3	0.9	2.5	0.2
	減った	29.2	12.7	9.1	0.3
	変わらない	4.5	1.2	29.3	0.1
	無回答	0.3	0.0	0.2	0.3

h) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと		問17 増えた	問17 減った	問17 変わらない	問17 無回答
問16	増えた	17.5	3.5	8.0	0.3
	減った	1.2	3.3	3.0	0.1
	変わらない	2.7	3.3	56.3	0.1
	無回答	0.2	0.0	0.2	0.3

子ども票問 16. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間では、どのように変わったと思いますか。

子ども票問 17. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

n=1, 292

i) 家族で外食する回数		問17 増えた	減った	変わらない	無回答
問16	増えた	4.6	0.5	1.3	0.1
	減った	24.3	15.1	13.4	0.2
	変わらない	4.5	2.1	32.9	0.2
	無回答	0.2	0.1	0.2	0.3

j) 家族で旅行する回数		問17 増えた	減った	変わらない	無回答
問16	増えた	2.9	0.2	0.6	0.0
	減った	17.9	18.6	19.3	0.1
	変わらない	3.1	1.3	35.2	0.2
	無回答	0.0	0.1	0.2	0.3

k) 野外レジャーに行く回数		問17 増えた	減った	変わらない	無回答
問16	増えた	5.2	0.7	1.5	0.1
	減った	13.0	15.8	17.7	0.2
	変わらない	3.8	1.8	39.3	0.1
	無回答	0.2	0.0	0.3	0.3

子ども票問 16. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前と、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間では、どのように変わったと思いますか。

子ども票問 17. あなたの生活は、新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間と現在を比べて、どのように変わったと思いますか。

n=1, 292

l) 屋内施設に行く回数		問17 増えた	減った	変わらない	無回答
問16	増えた	10.4	0.7	2.5	0.0
	減った	18.3	12.7	11.1	0.2
	変わらない	5.3	2.1	35.9	0.2
	無回答	0.1	0.0	0.4	0.3

m) 家族で家で過ごす時間		問17 増えた	減った	変わらない	無回答
問16	増えた	23.0	12.0	22.4	0.0
	減った	0.5	5.3	1.5	0.0
	変わらない	2.1	2.4	29.9	0.4
	無回答	0.2	0.1	0.1	0.3

新型コロナウイルス感染症による生活の変化について、中学２年生では、小学５年生とおおむね同様の傾向がみられるが、「b)学校の授業がわからないと感じること」は、感染症の拡大前、拡大していた期間、現在を通じて「増えた」が 17.3%と高くなっている。

４　支援制度の利用状況等

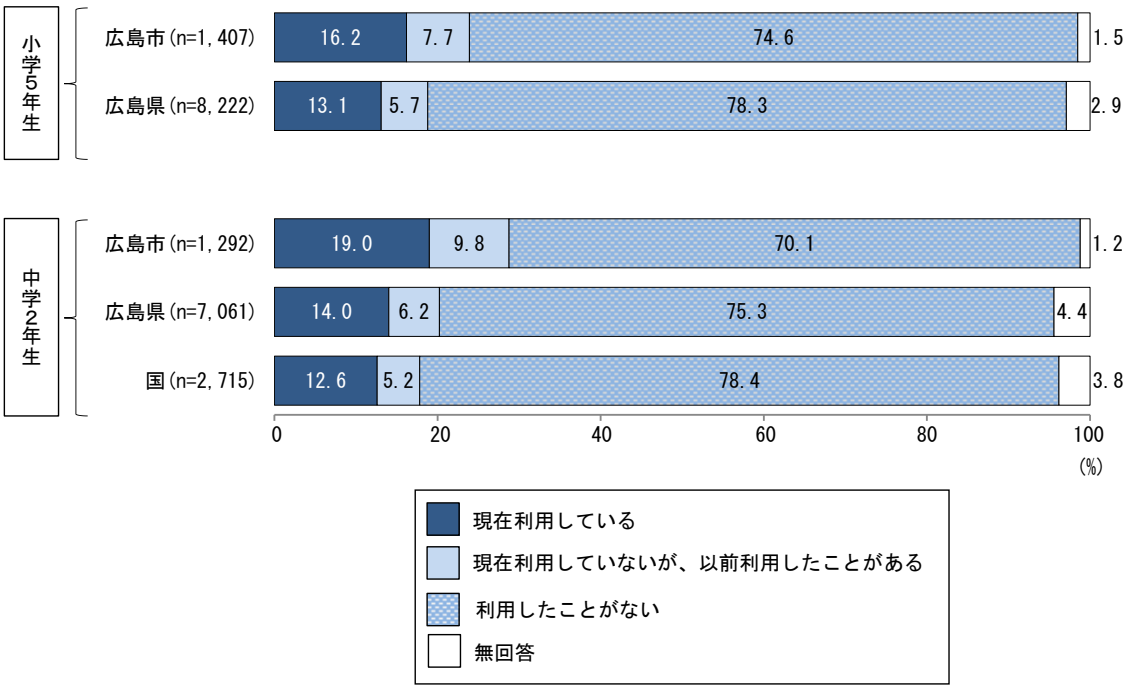
（１）保護者

ア　支援制度の利用状況

保護者票問 28.　あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
また、「３　利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

＝ 就学援助の利用状況 ＝

＜全体＞



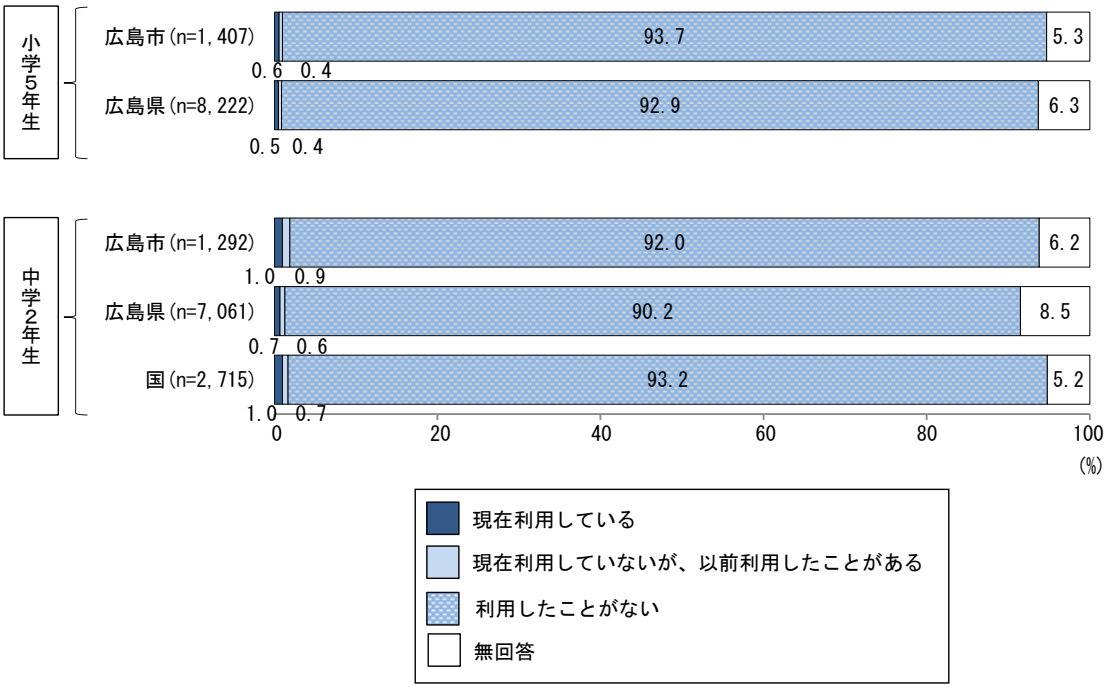
就学援助の利用状況について、小学５年生の保護者では、「現在利用している」が 16.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 7.7%、「利用したことがない」が 74.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、「現在利用している」が 19.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 9.8%、「利用したことがない」が 70.1%となっている。広島県と比較すると、「利用したことがない」は、広島市（70.1%）が広島県（75.3%）を 5.2 ポイント下回っている。国と比較すると、「利用したことがない」は、広島市（70.1%）が国（78.4%）を 8.3 ポイント下回っている。

保護者票問 28.　あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
また、「３　利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

＝ 生活保護の利用状況 ＝

＜全体＞



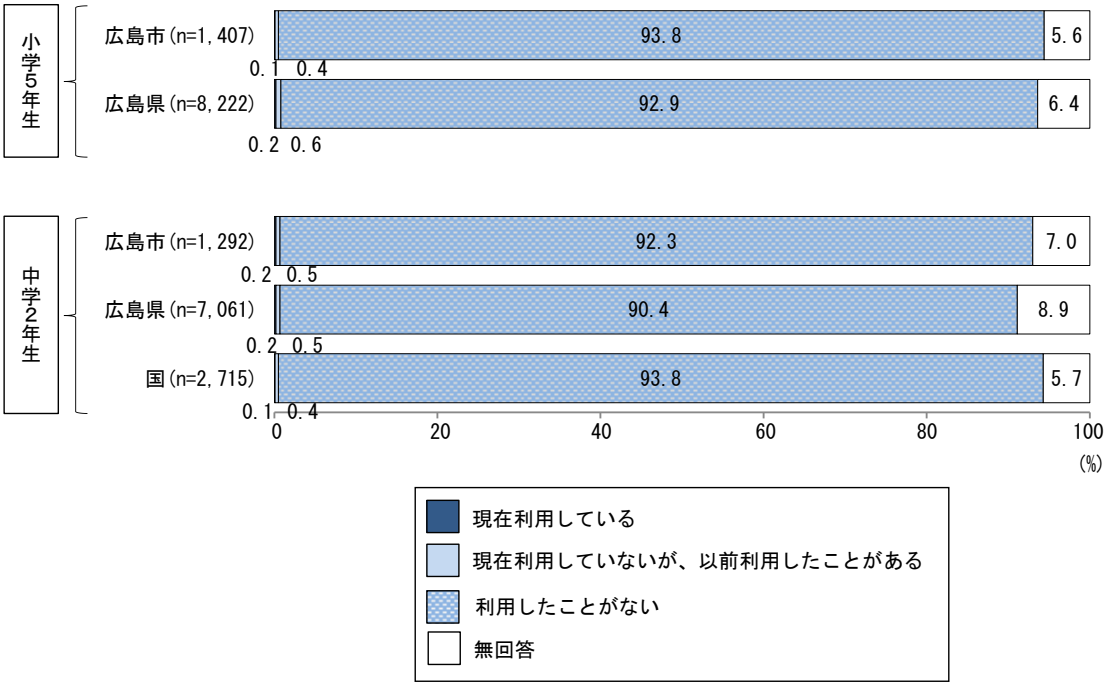
生活保護の利用状況について、小学５年生の保護者では、「現在利用している」が 0.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 0.4%、「利用したことがない」が 93.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、「現在利用している」が 1.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 0.9%、「利用したことがない」が 92.0%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 28.　あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
また、「３　利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

＝ 生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況 ＝

＜全体＞



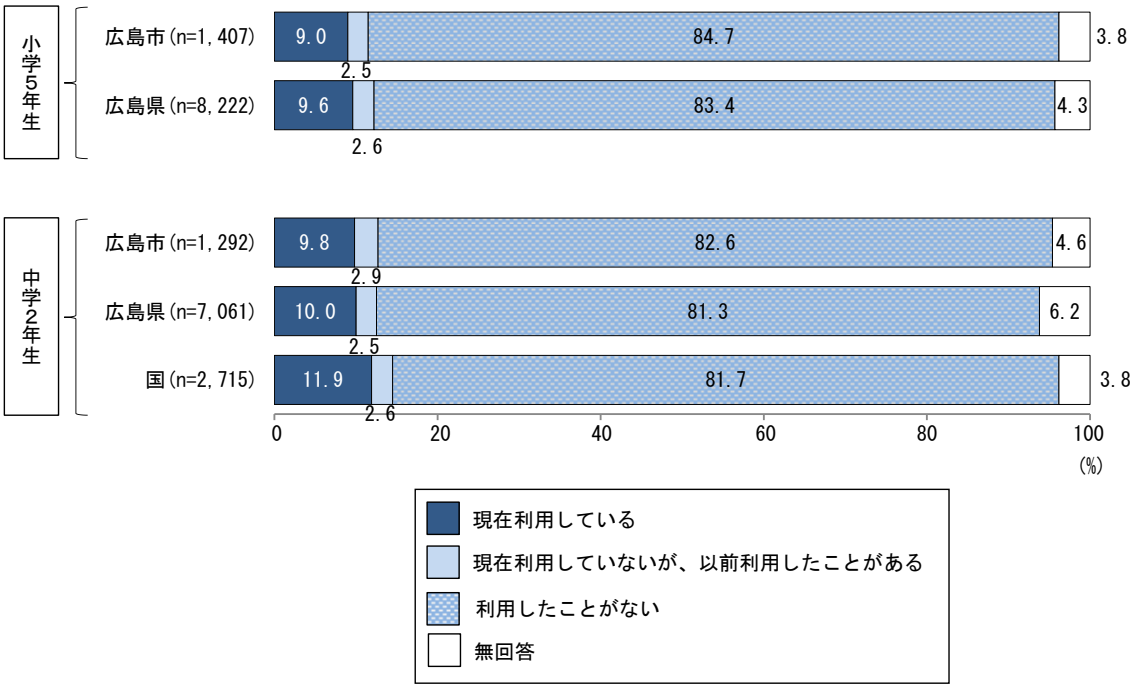
生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況について、小学５年生の保護者では、「現在利用している」が 0.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 0.4%、「利用したことがない」が 93.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、「現在利用している」が 0.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 0.5%、「利用したことがない」が 92.3%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 28.　あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
また、「３　利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

＝ 児童扶養手当の利用状況 ＝

＜全体＞



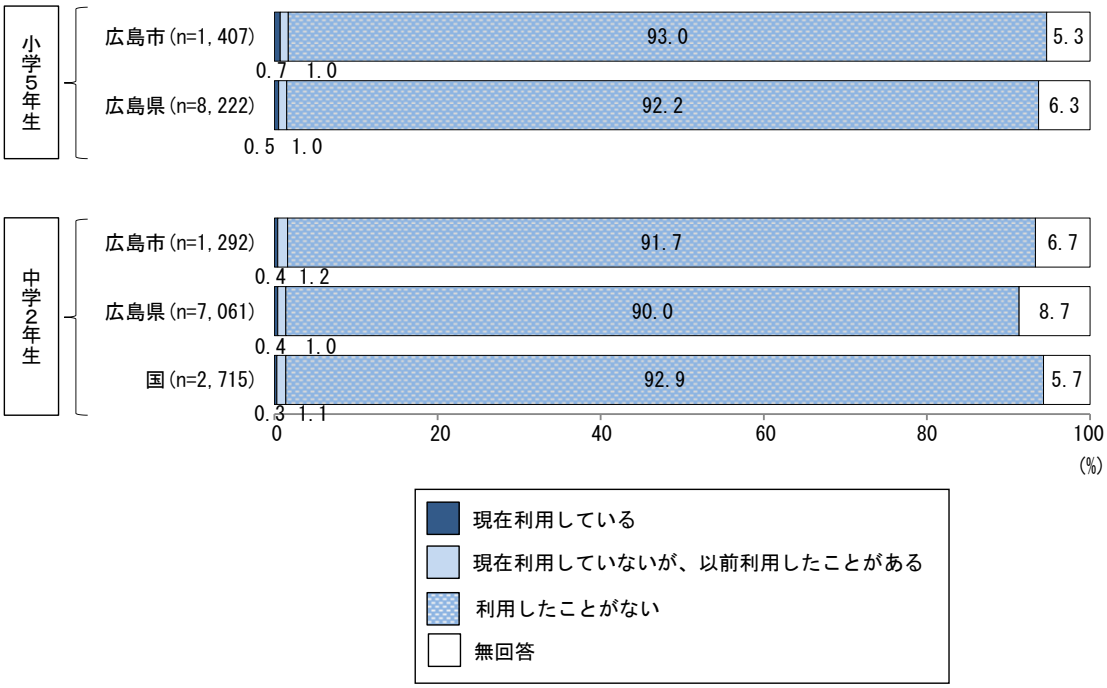
児童扶養手当の利用状況について、小学５年生の保護者では、「現在利用している」が 9.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 2.5%、「利用したことがない」が 84.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、「現在利用している」が 9.8%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 2.9%、「利用したことがない」が 82.6%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 28.　あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
また、「３　利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

＝ 母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況 ＝

＜全体＞



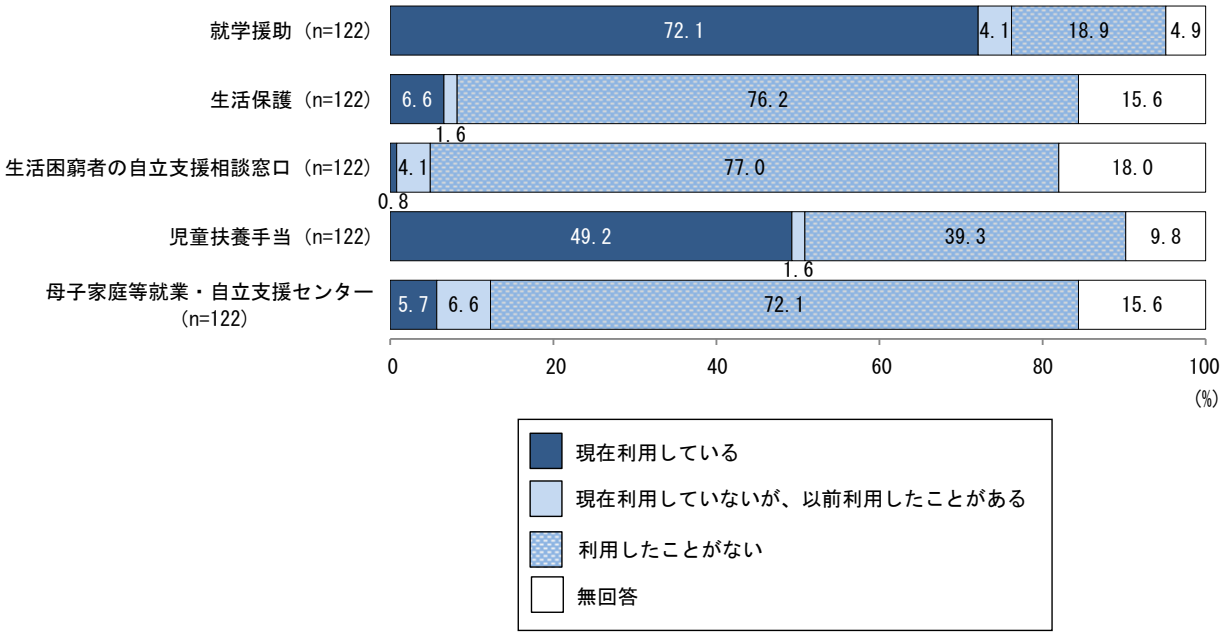
母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況について、小学５年生の保護者では、「現在利用している」が 0.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 1.0%、「利用したことがない」が 93.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生の保護者では、「現在利用している」が 0.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 1.2%、「利用したことがない」が 91.7%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

保護者票問 28.　あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
また、「3　利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

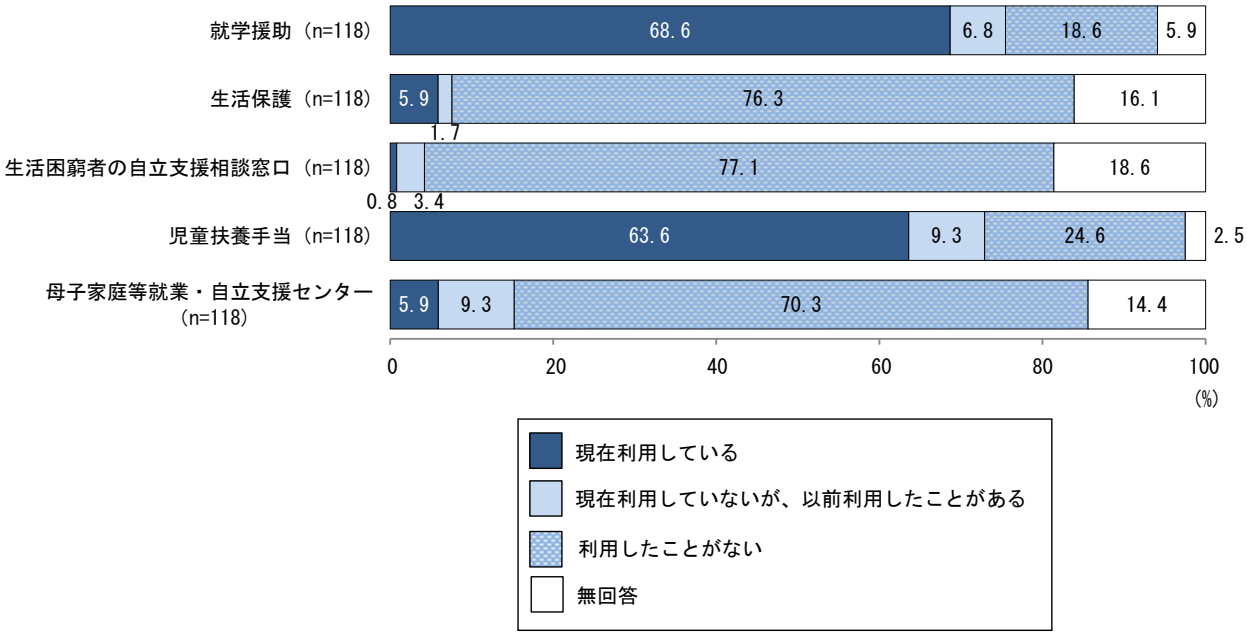
＝ 支援制度の利用状況 ＝

＜等価世帯収入の水準が「中央値の２分の１未満」の場合（小学５年生の保護者）＞



等価世帯収入が「中央値の２分の１未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で 72.1%、「児童扶養手当」で 49.2%となっている。それ以外では、「現在利用している」は 10%未満となっている。

＜世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合（小学５年生の保護者）＞

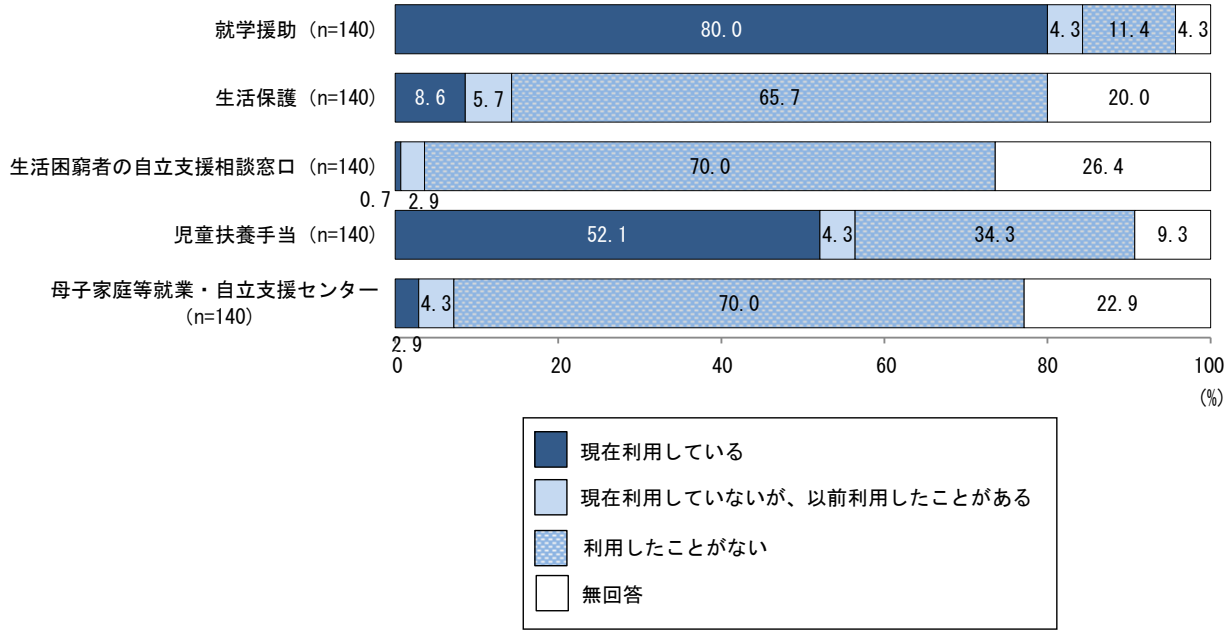


「ひとり親世帯」に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で 68.6%、「児童扶養手当」で 63.6%となっている。それ以外では、「現在利用している」は 10%未満となっている。

保護者票問 28.　あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
また、「3　利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

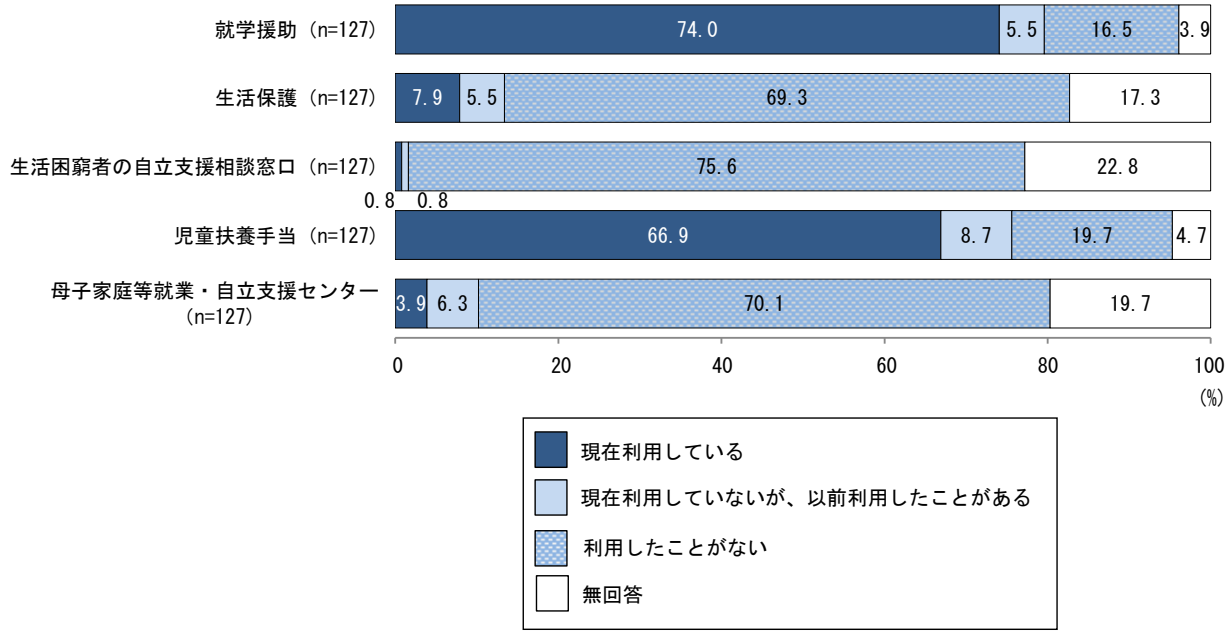
＝ 支援制度の利用状況 ＝

＜等価世帯収入の水準が「中央値の２分の１未満」の場合（中学２年生の保護者）＞



等価世帯収入が「中央値の２分の１未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で 80.0%、「児童扶養手当」で 52.1%となっている。それ以外では、「現在利用している」は 10%未満となっている。

＜世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合（中学２年生の保護者）＞

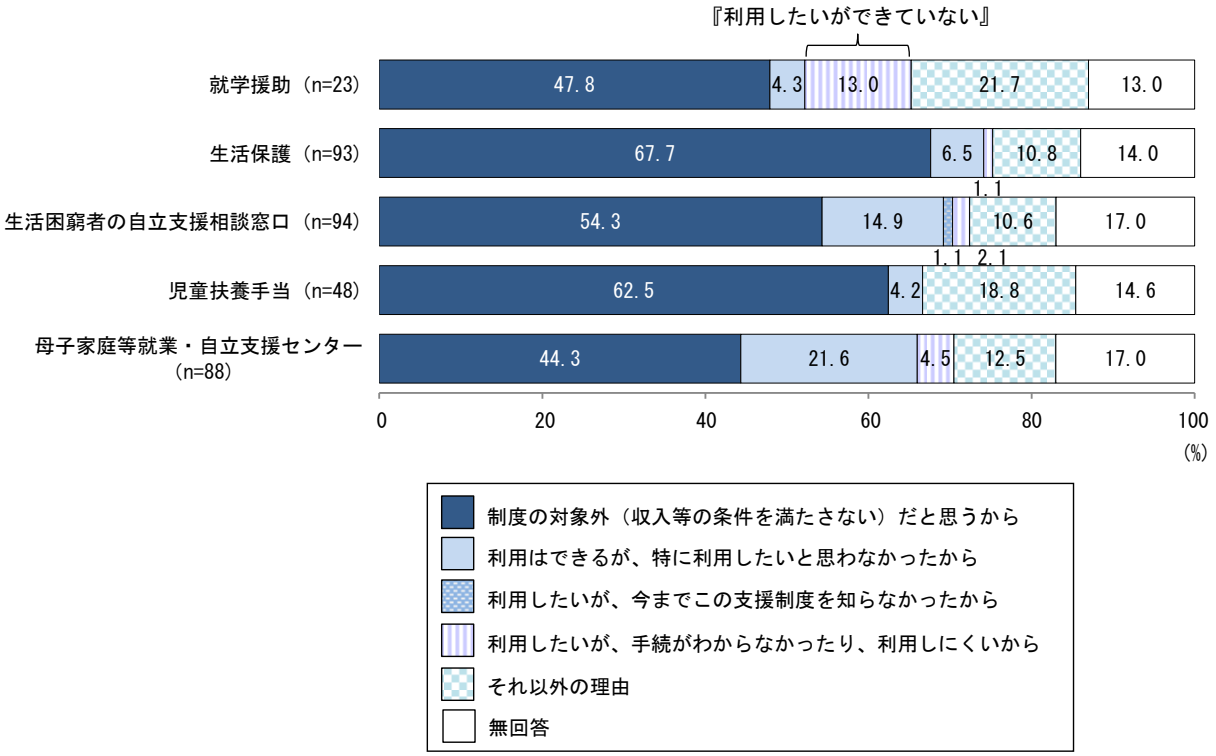


「ひとり親世帯」に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で 74.0%、「児童扶養手当」で 66.9%となっている。それ以外では、「現在利用している」は 10%未満となっている。

イ　支援制度を利用していない理由

保護者票問 28.　あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
また、「３　利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

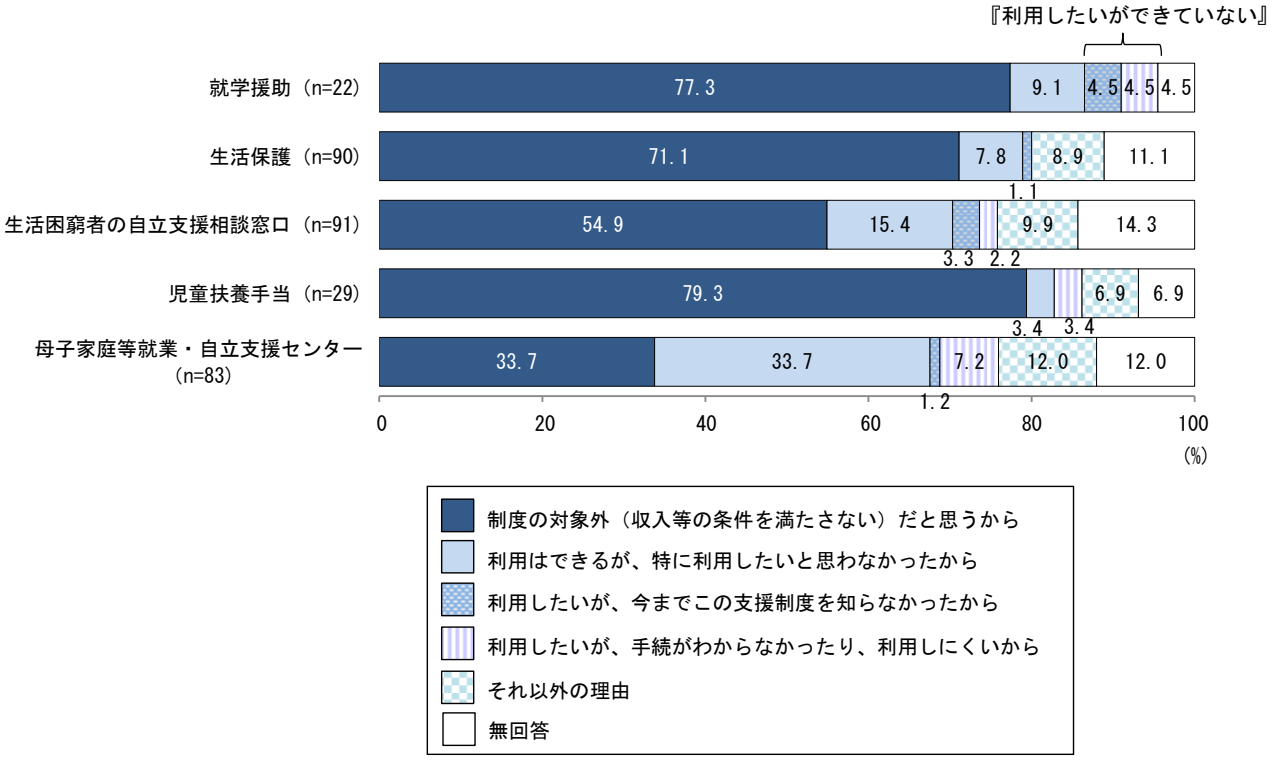
＜等価世帯収入の水準が「中央値の２分の１未満」の場合（小学５年生の保護者）＞



各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の２分の１未満」の世帯に限って集計すると、小学５年生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない（「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合）』は、「就学援助」で 13.0%となっている。

保護者票問 28.　あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
また、「３　利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

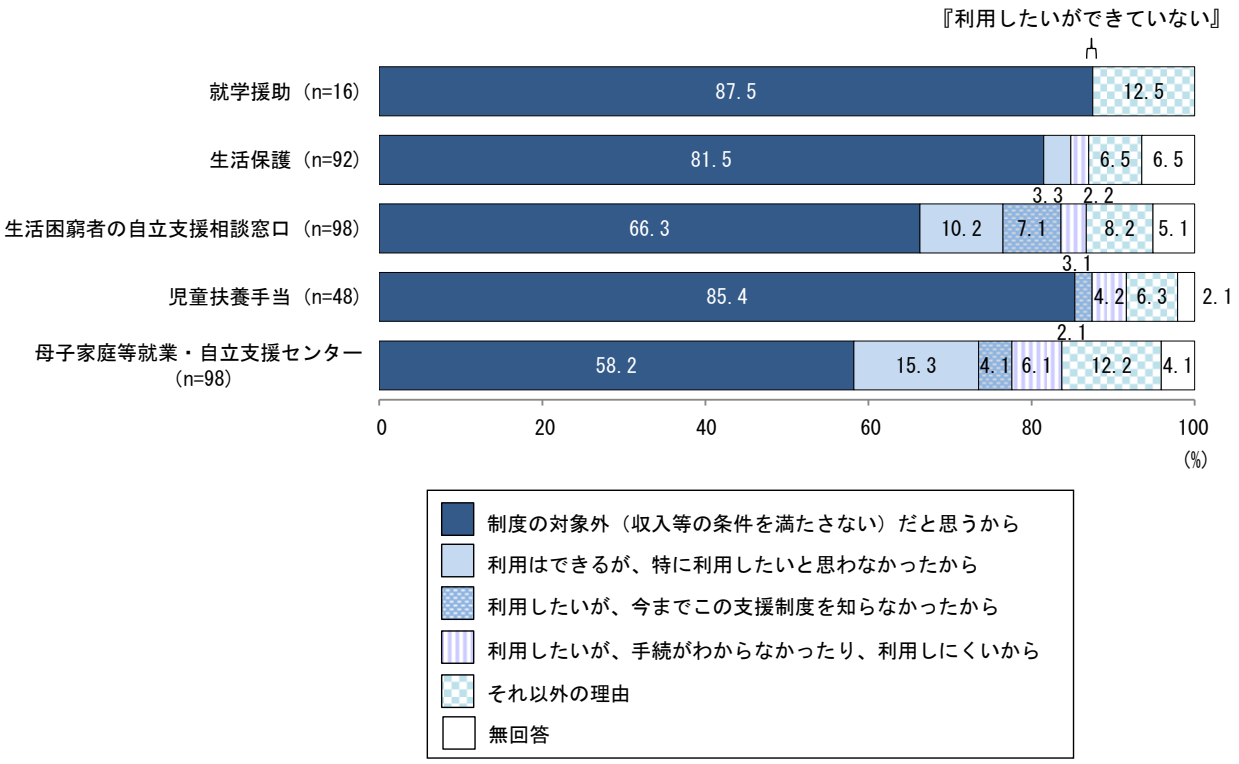
＜世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合（小学５年生の保護者）＞



各支援制度を利用していない理由について、「ひとり親世帯」に限って集計すると、小学５年生の保護者では、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」は、「母子家庭等就業・自立支援センター」で 33.7%と他の支援制度に比べて低くなっている。一方で、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」は、33.7%と他の支援制度と比べて高くなっている。

保護者票問 28.　あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
また、「3　利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

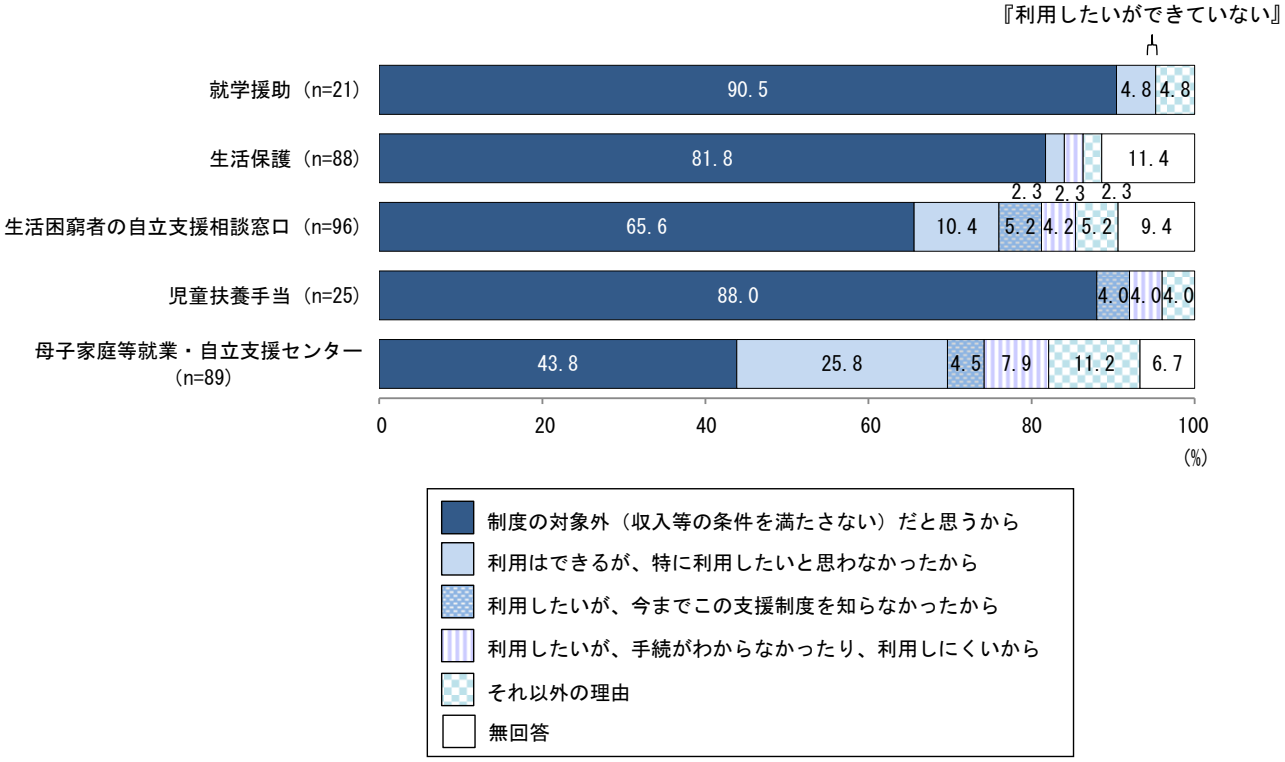
＜等価世帯収入の水準が「中央値の２分の１未満」の場合（中学２年生の保護者）＞



各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の２分の１未満」の世帯に限って集計すると、中学２年生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「母子家庭等就業・自立支援センター」で 10.2%となっている。

保護者票問 28.　あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
また、「3　利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

＜世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合（中学２年生の保護者）＞

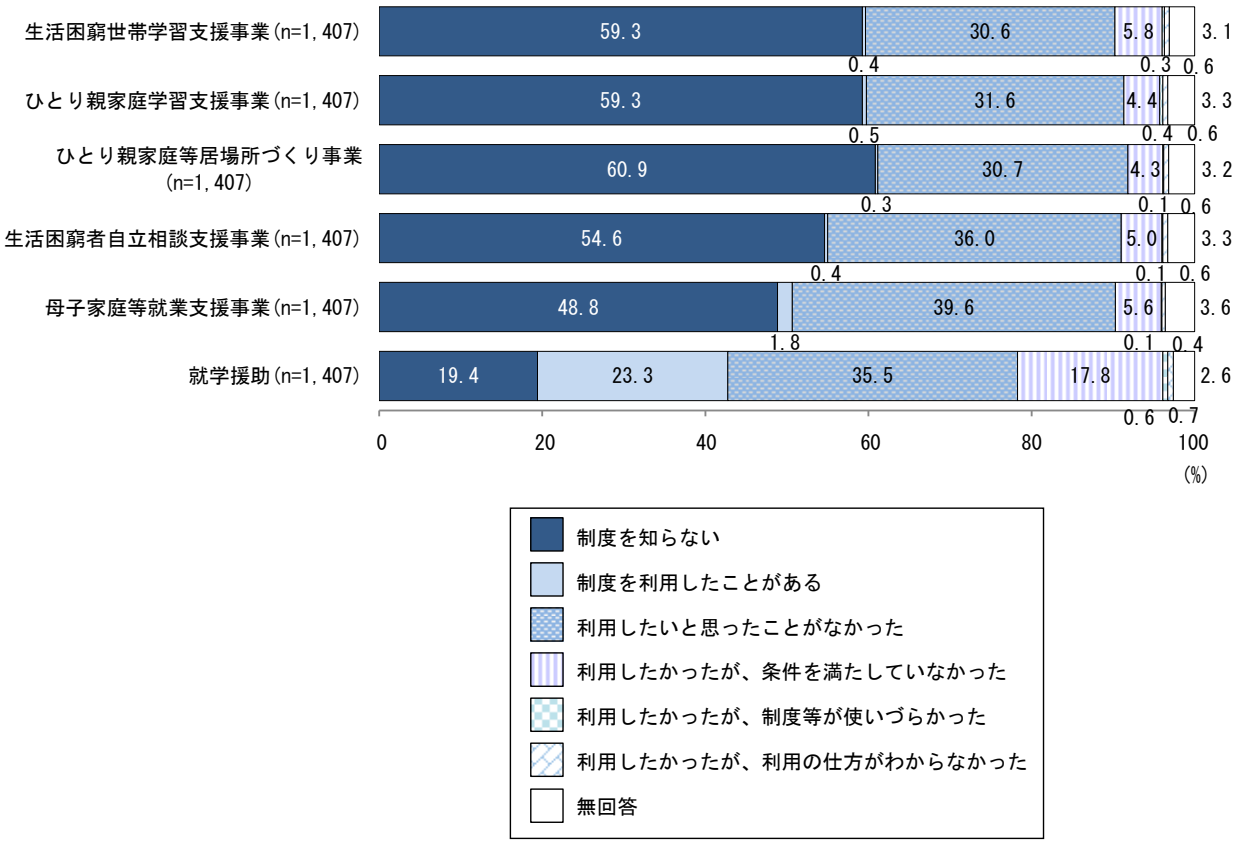


各支援制度を利用していない理由について、「ひとり親世帯」に限って集計すると、中学２年生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「母子家庭等就業・自立支援センター」で 12.4%となっている。

ウ　支援制度等の認知・利用状況[広島市独自調査項目]

保護者票問 31.　支援制度等の認知・利用状況について、最も近いものを選んでください。

＜小学５年生の保護者＞

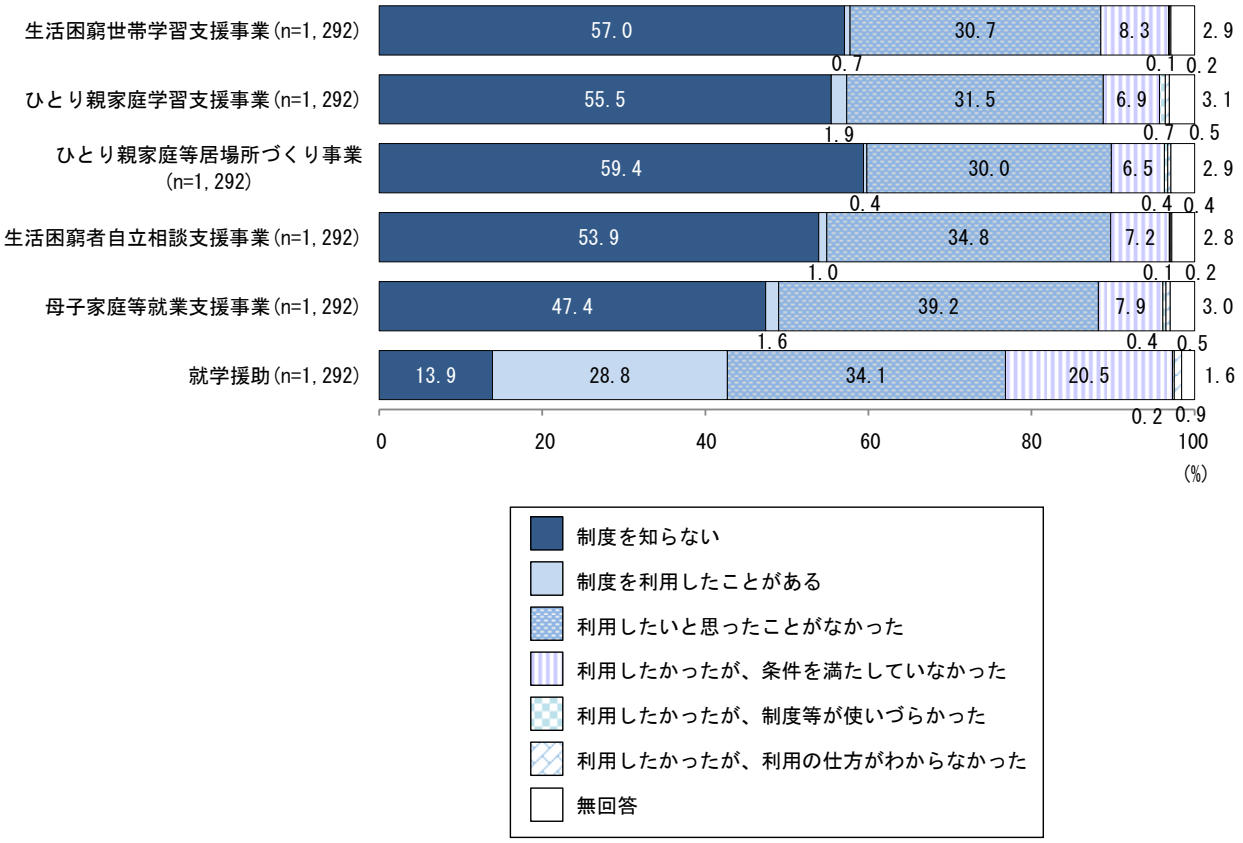


支援制度等の認知・利用状況について、小学５年生の保護者では、「生活困窮世帯学習支援事業」、「ひとり親家庭学習支援事業」、「ひとり親家庭等居場所づくり事業」、「生活困窮者自立相談支援事業」に関しては、「制度を知らない」の割合が 50%台半ば～約 60%となっている。

また、「就学援助」に関しては、「制度を利用したことがある」の割合が 23.3%、「利用したかったが、条件を満たしていなかった」の割合が 17.8%となっている。

保護者票問 31.　支援制度等の認知・利用状況について、最も近いものを選んでください。

＜中学２年生の保護者＞

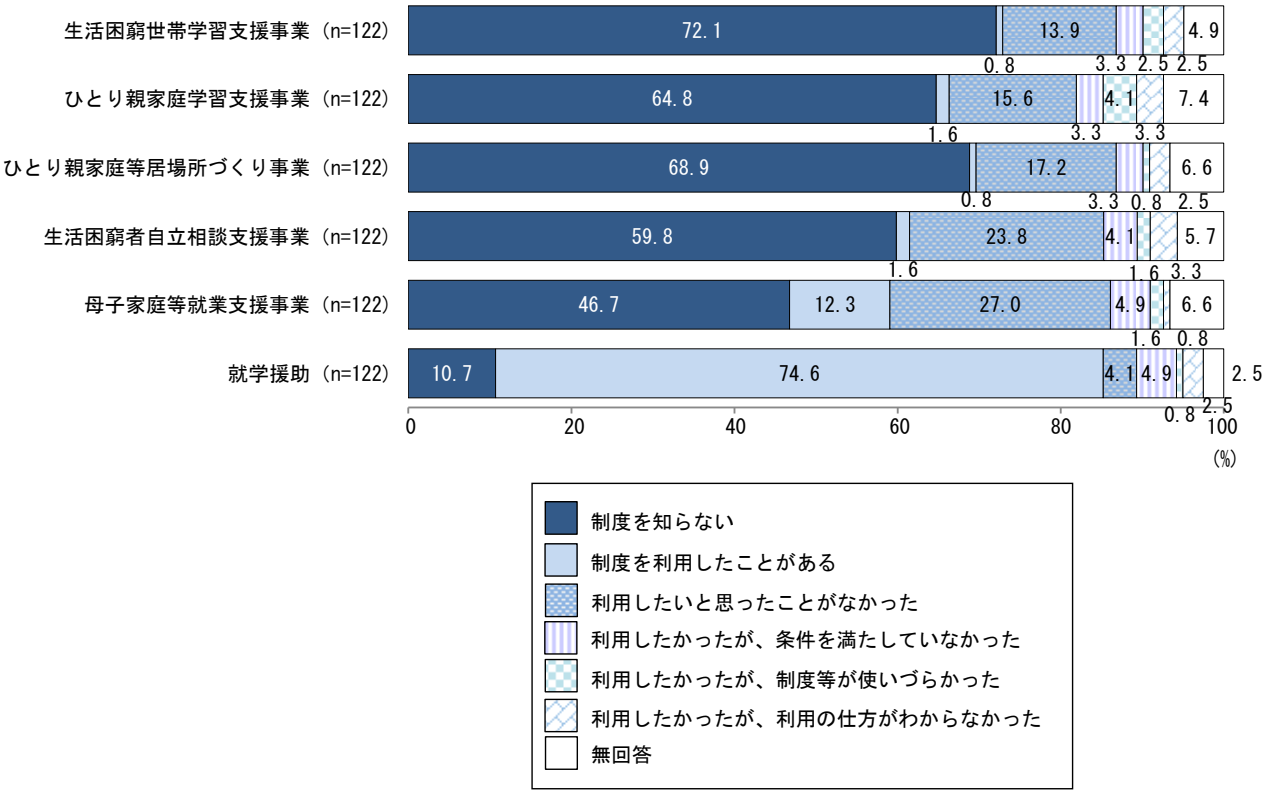


支援制度等の認知・利用状況について、中学２年生の保護者では、「生活困窮世帯学習支援事業」、「ひとり親家庭学習支援事業」、「ひとり親家庭等居場所づくり事業」、「生活困窮者自立相談支援事業」に関しては、「制度を知らない」の割合が 50%台半ば～約 60%となっている。

また、「就学援助」に関しては、「制度を利用したことがある」の割合が 28.8%、「利用したかったが、条件を満たしていなかった」の割合が 20.5%となっている。

保護者票問 31. 支援制度等の認知・利用状況について、最も近いものを選んでください。

＜等価世帯収入の水準が「中央値の２分の１未満」の場合（小学５年生の保護者）＞

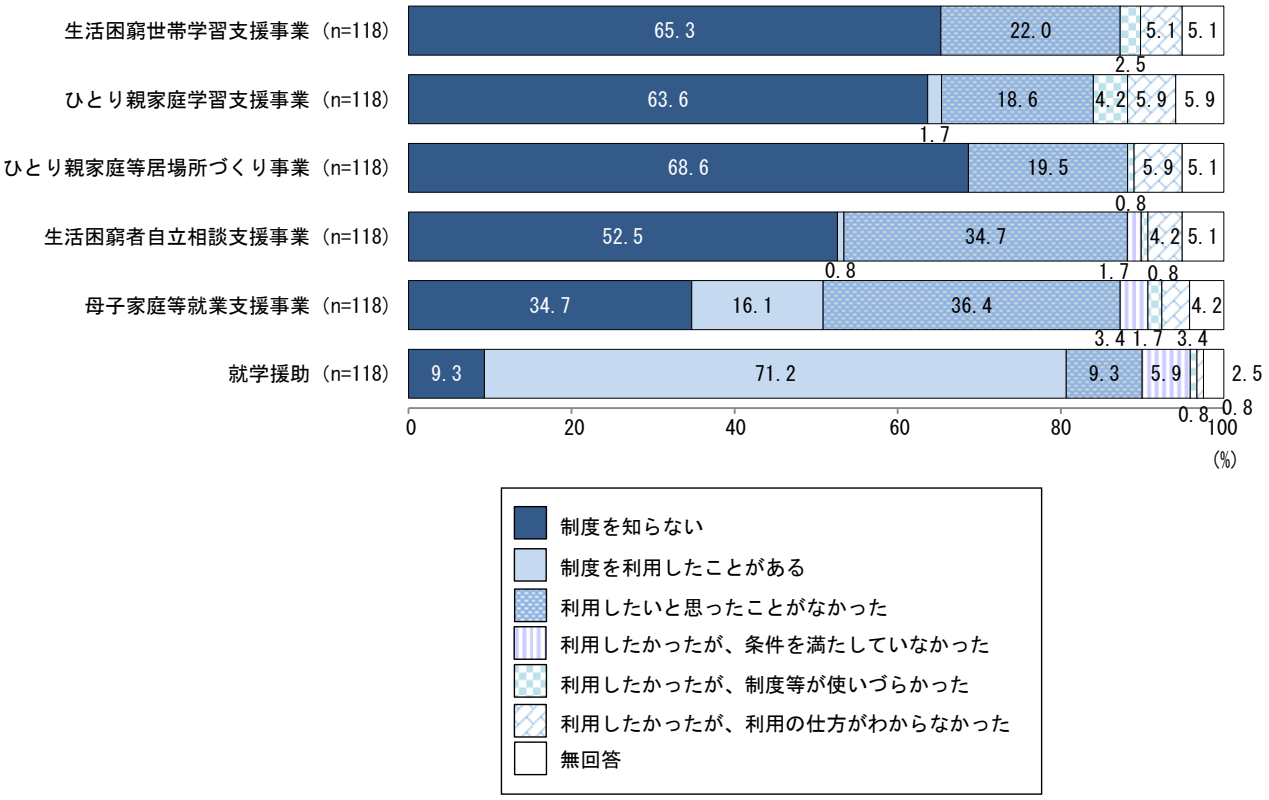


等価世帯収入が「中央値の２分の１未満」の世帯に限って集計すると、小学５年生の保護者では、「生活困窮世帯学習支援事業」、「ひとり親家庭学習支援事業」、「ひとり親家庭等居場所づくり事業」に関しては、「制度を知らない」の割合が 60%台半ば～70%超となっている。

また、「制度を利用したことがある」は、「就学援助」で 74.6%、「母子家庭等就業支援事業」で 12.3%となっている。それ以外では、「制度を利用したことがある」は 10%未満となっている。

保護者票問 31. 支援制度等の認知・利用状況について、最も近いものを選んでください。

＜世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合（小学５年生の保護者）＞

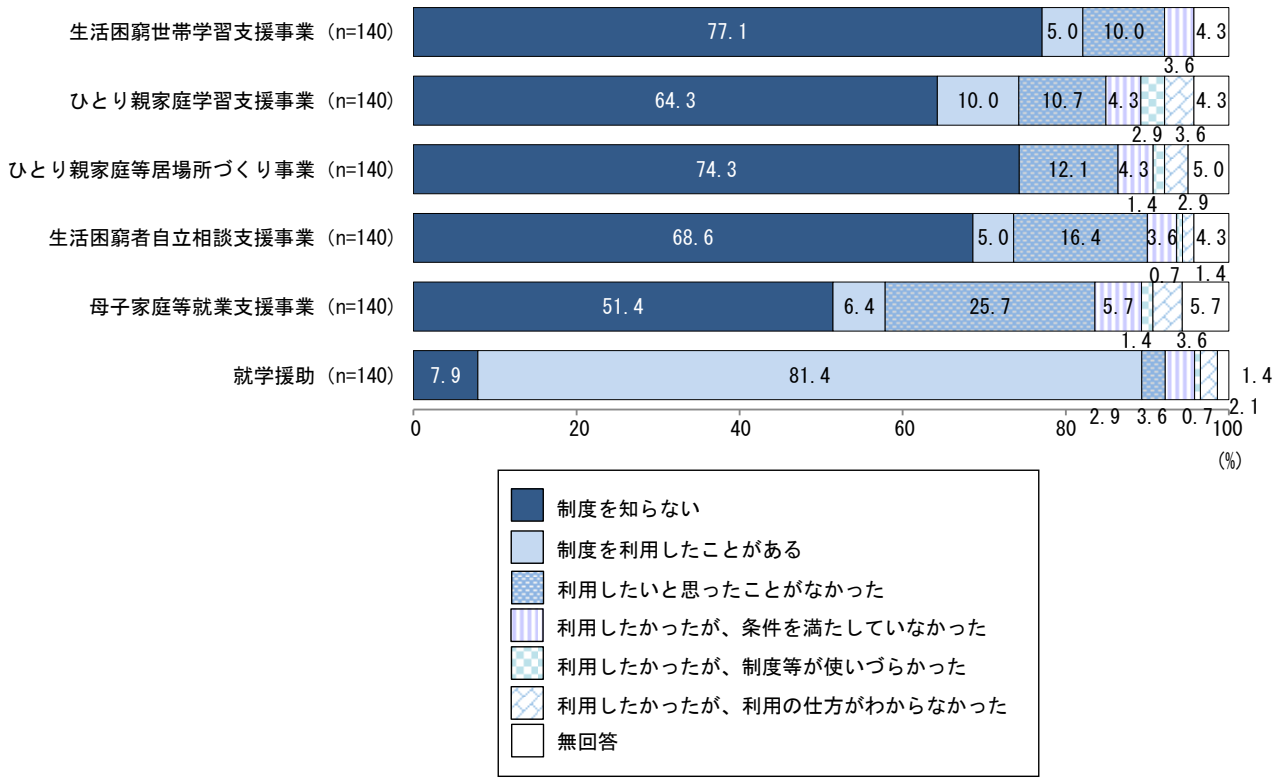


「ひとり親世帯」に限って集計すると、小学５年生の保護者では、「生活困窮世帯学習支援事業」、「ひとり親家庭学習支援事業」、「ひとり親家庭等居場所づくり事業」に関しては、「制度を知らない」の割合が 60%台半ば～約 70%となっている。

また、「制度を利用したことがある」は、「就学援助」で 71.2%、「母子家庭等就業支援事業」で 16.1%となっている。それ以外では、「制度を利用したことがある」は 10%未満となっている。

保護者票問 31．支援制度等の認知・利用状況について、最も近いものを選んでください。

＜等価世帯収入の水準が「中央値の２分の１未満」の場合（中学２年生の保護者）＞

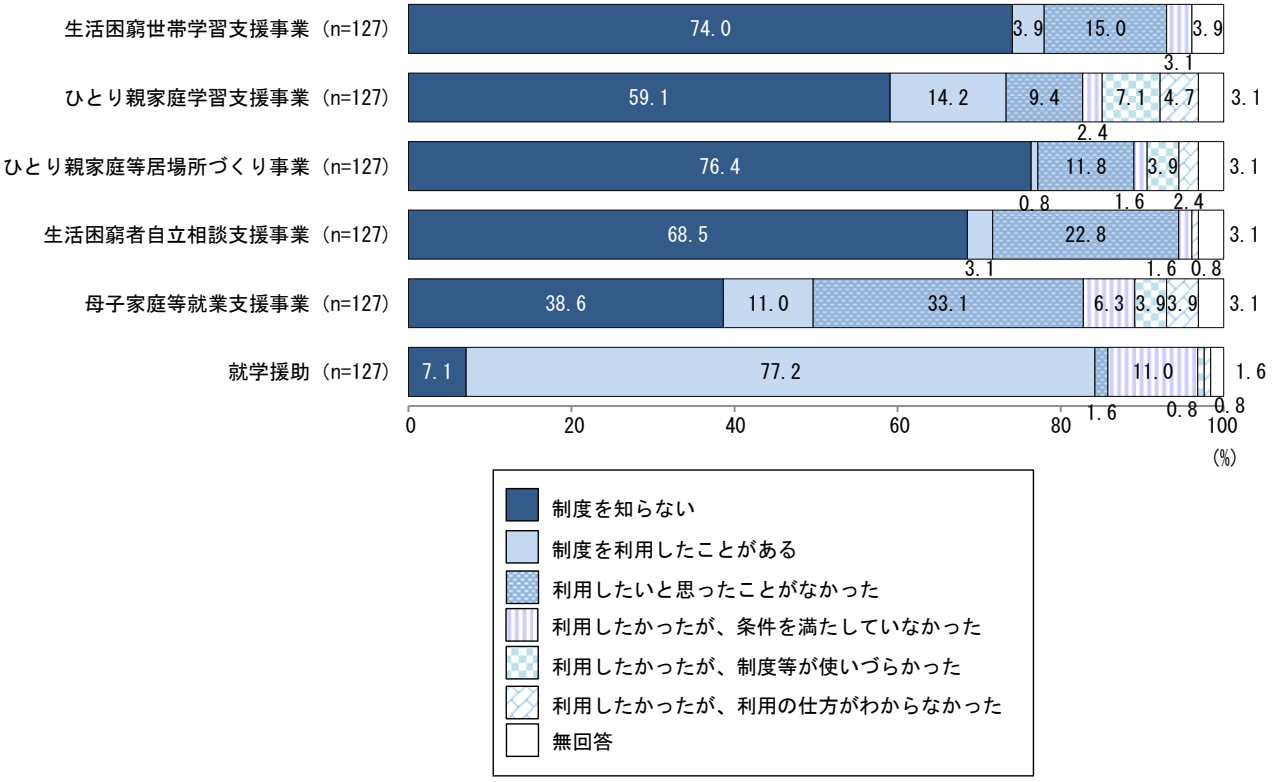


等価世帯収入が「中央値の２分の１未満」の世帯に限って集計すると、中学２年生の保護者では、「生活困窮世帯学習支援事業」、「ひとり親家庭学習支援事業」、「ひとり親家庭等居場所づくり事業」、「生活困窮者自立相談支援事業」に関しては、「制度を知らない」の割合が 60％台半ば～70％台半ばとなっている。

また、「制度を利用したことがある」は、「就学援助」で 81.4％、「ひとり親家庭学習支援事業」で 10.0％となっている。それ以外では、「制度を利用したことがある」は 10％未満となっている。

保護者票問 31. 支援制度等の認知・利用状況について、最も近いものを選んでください。

＜世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合（中学２年生の保護者）＞



「ひとり親世帯」に限って集計すると、中学２年生の保護者では、「生活困窮世帯学習支援事業」、「ひとり親家庭等居場所づくり事業」に関しては、「制度を知らない」の割合が 70%台半ばとなっている。

また、「制度を利用したことがある」は、「就学援助」で 77.2%、「ひとり親家庭学習支援事業」で 14.2%、「母子家庭等就業支援事業」で 11.0%となっている。それ以外では、「制度を利用したことがある」は 10%未満となっている。

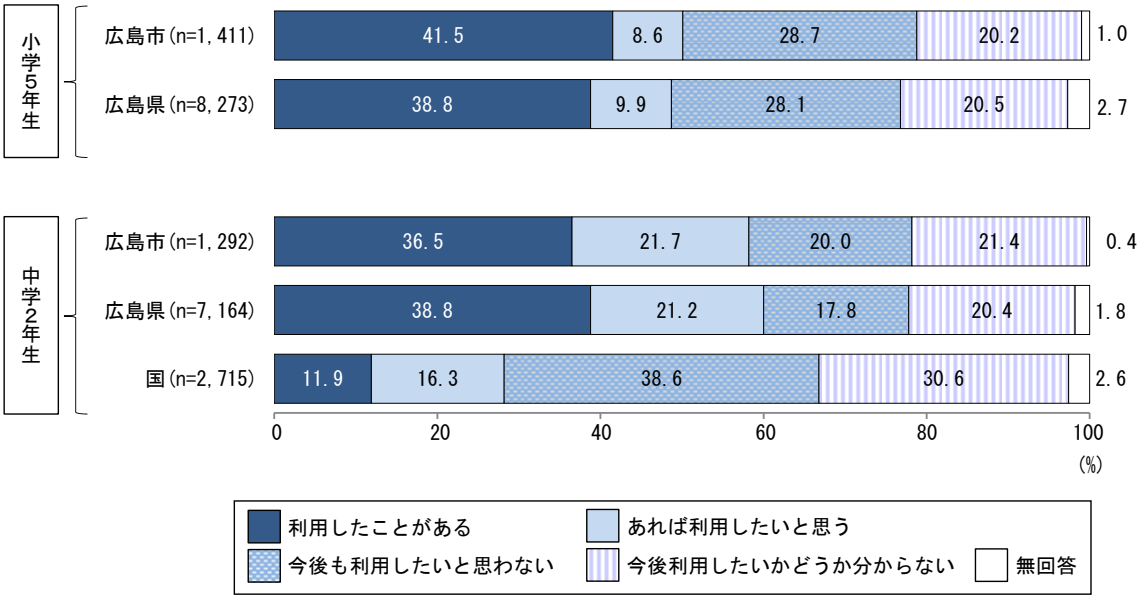
（2）子ども

ア　子どもの居場所の利用状況

子ども票問 19. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

＝（自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所（放課後児童クラブ、放課後子ども教室、児童館、公民館、図書館など）＝

＜全体＞



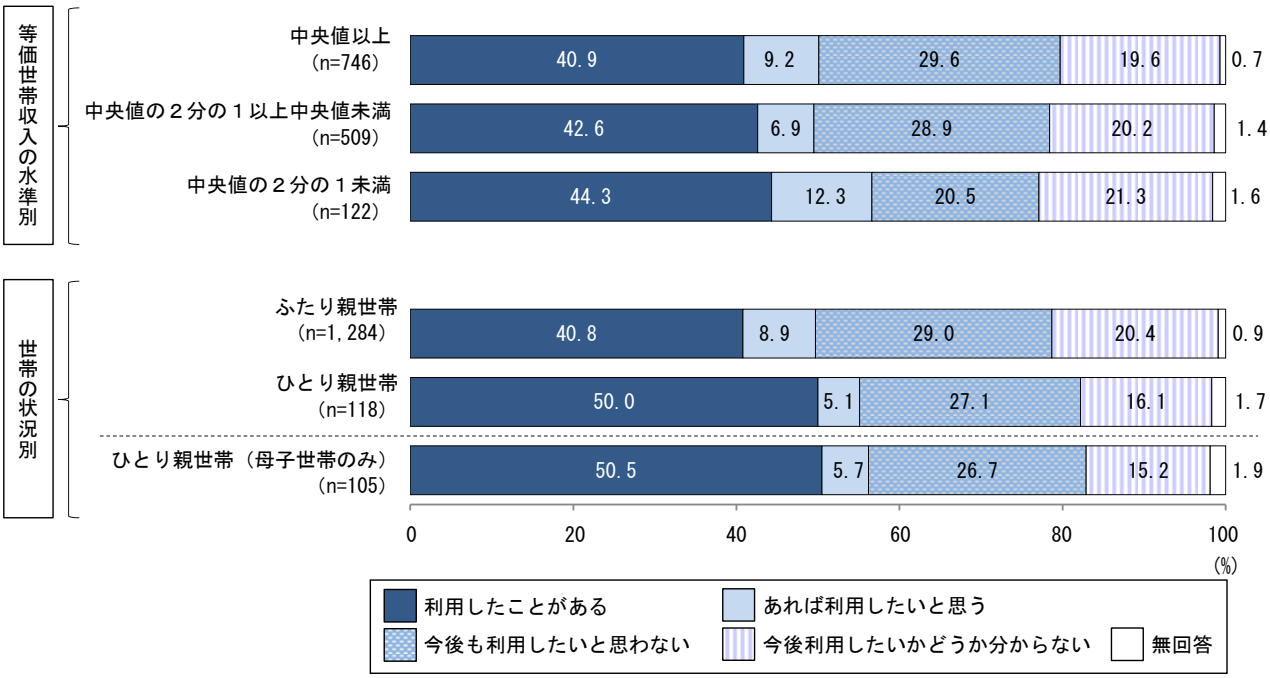
平日の夜や休日を過ごすことができる場所の利用状況について、小学５年生では、「利用したことがある」が 41.5%、「あれば利用したいと思う」が 8.6%、「今後も利用したいと思わない」が 28.7%、「今後利用したいかどうか分からない」が 20.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「利用したことがある」が 36.5%、「あれば利用したいと思う」が 21.7%、「今後も利用したいと思わない」が 20.0%、「今後利用したいかどうか分からない」が 21.4%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「利用したことがある」は、広島市（36.5%）が国（11.9%）を 24.6 ポイント上回っている。

子ども票問 19. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

＝（自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所 （放課後児童クラブや放課後子ども教室、児童館など）＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞



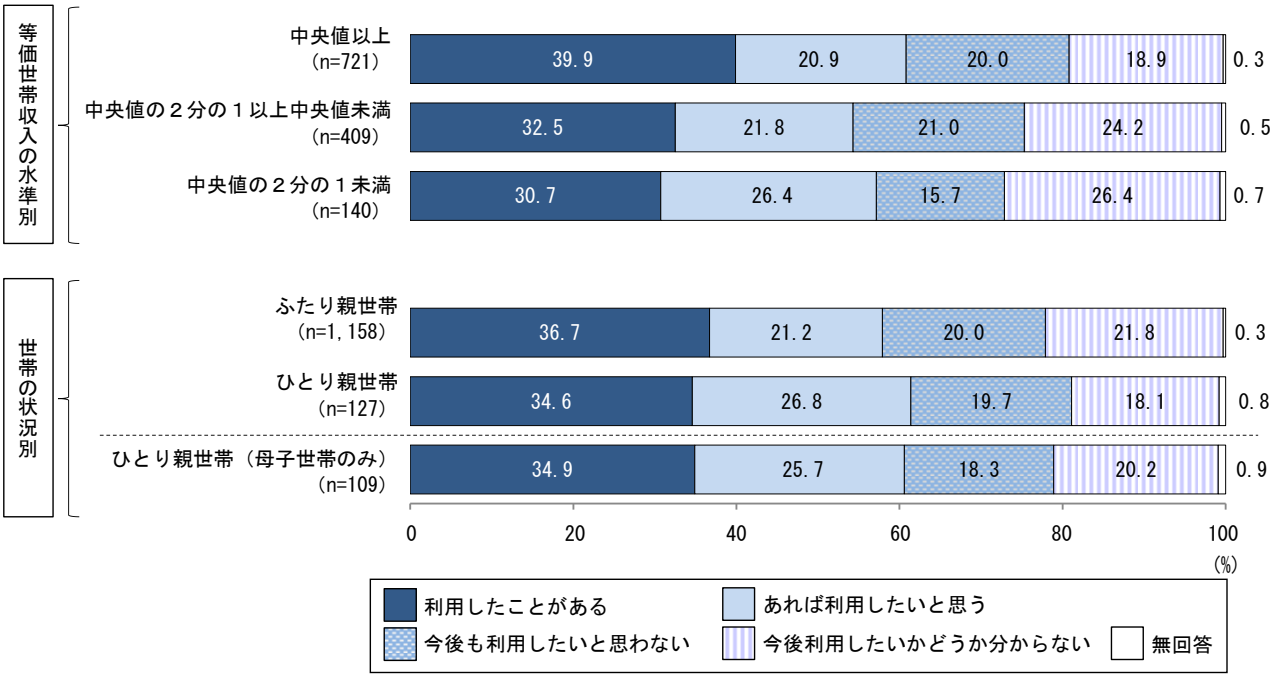
等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 9.2%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 6.9%、「中央値の２分の１未満」では 12.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 8.9%、「ひとり親世帯」では 5.1%、「母子世帯」では 5.7%となっている。

子ども票問 19. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

＝（自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所（公民館や図書館など、勉強などができる場所）＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞



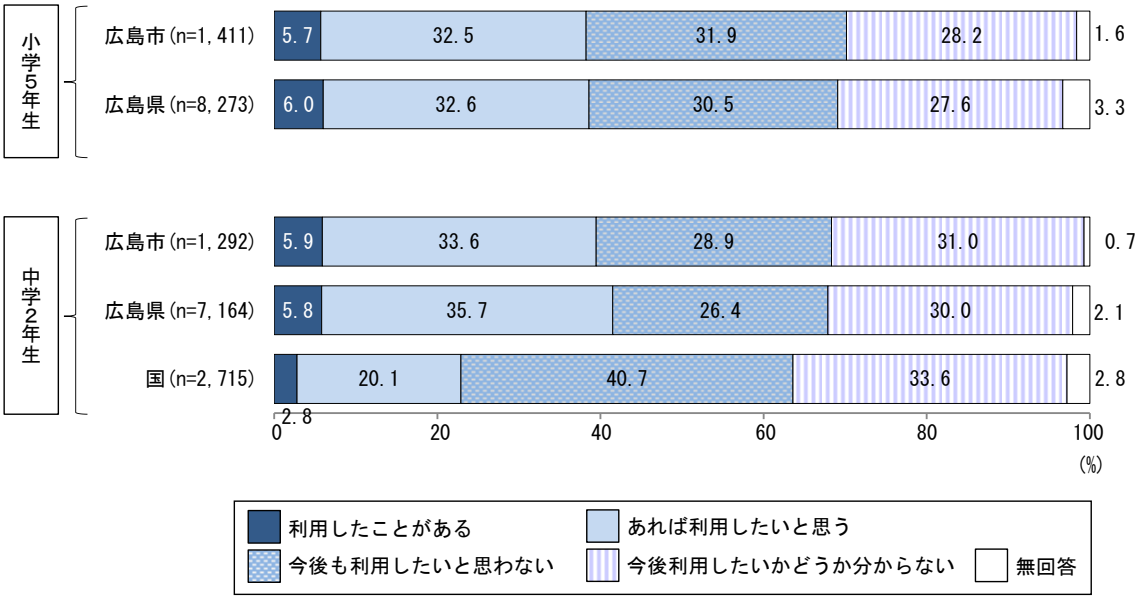
等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 20.9%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 21.8%、「中央値の２分の１未満」では 26.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 21.2%、「ひとり親世帯」では 26.8%、「母子世帯」では 25.7%となっている。

子ども票問 19. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

＝（自分や友人の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）＝

＜全体＞



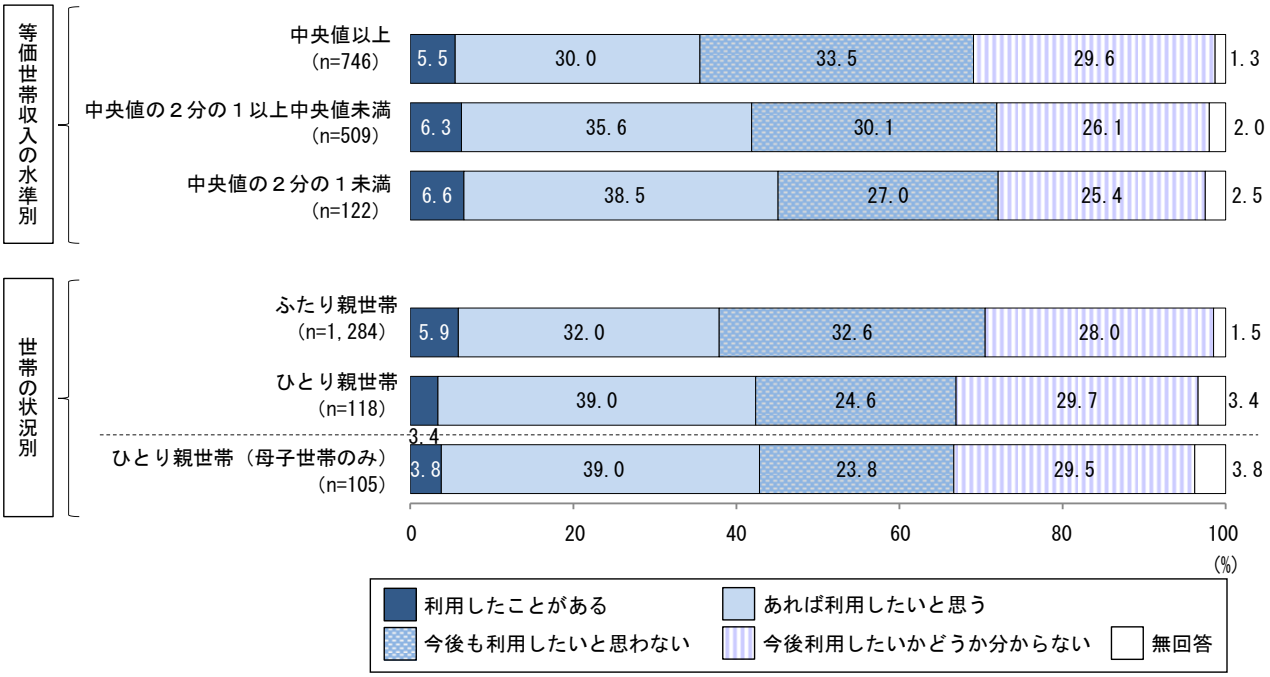
夕ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用状況について、小学５年生では、「利用したことがある」が 5.7%、「あれば利用したいと思う」が 32.5%、「今後も利用したいと思わない」が 31.9%、「今後利用したいかどうか分からない」が 28.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「利用したことがある」が 5.9%、「あれば利用したいと思う」が 33.6%、「今後も利用したいと思わない」が 28.9%、「今後利用したいかどうか分からない」が 31.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「あれば利用したいと思う」は、広島市（33.6%）が国（20.1%）を 13.5 ポイント上回っている。

子ども票問 19. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

＝（自分や友人の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）　＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞



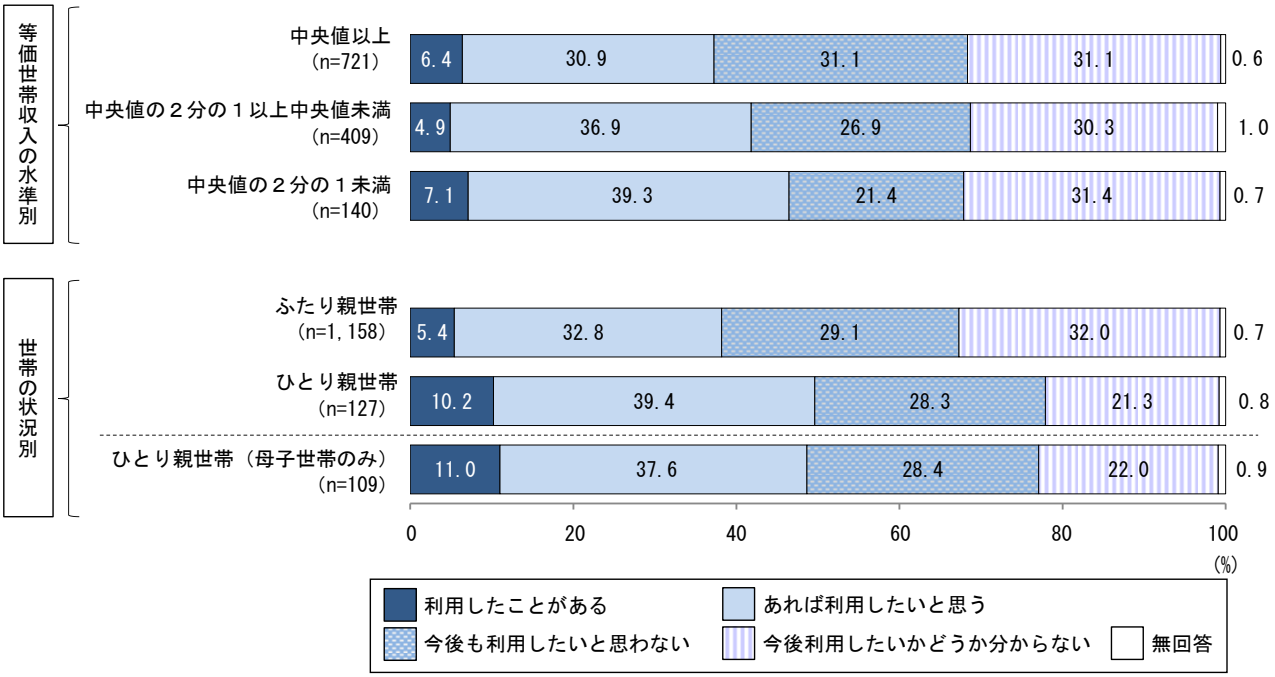
等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 30.0%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 35.6%、「中央値の２分の１未満」では 38.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 32.0%、「ひとり親世帯」では 39.0%、「母子世帯」では 39.0%となっている。

子ども票問 19. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

＝（自分や友人の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）　＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞



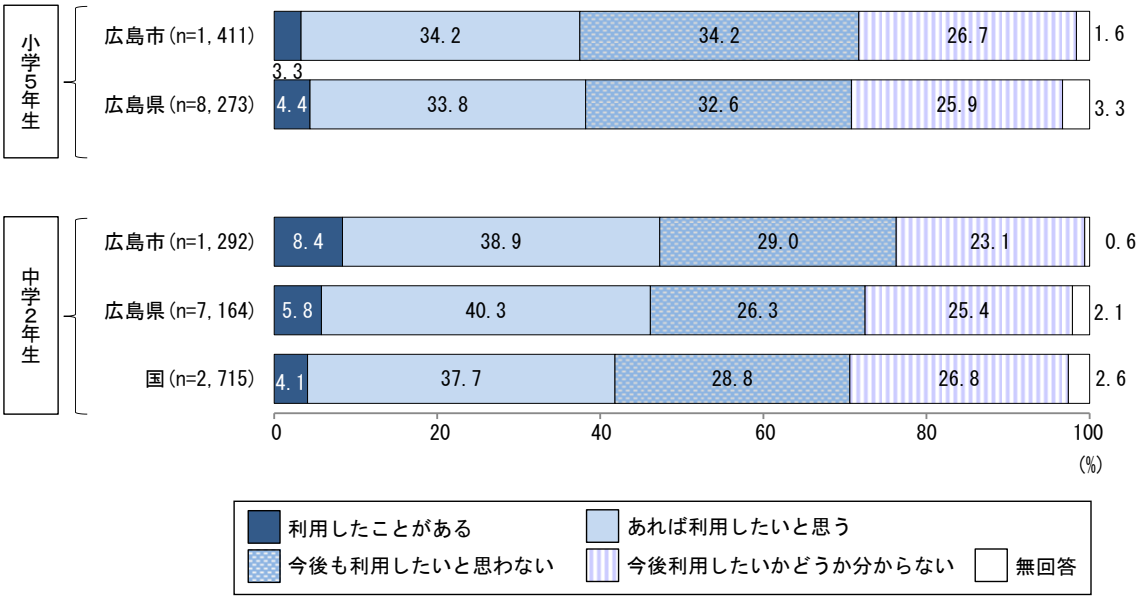
等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 30.9%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 36.9%、「中央値の２分の１未満」では 39.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 32.8%、「ひとり親世帯」では 39.4%、「母子世帯」では 37.6%となっている。

子ども票問 19. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

＝ 勉強を無料でみてくれる場所 ＝

＜全体＞



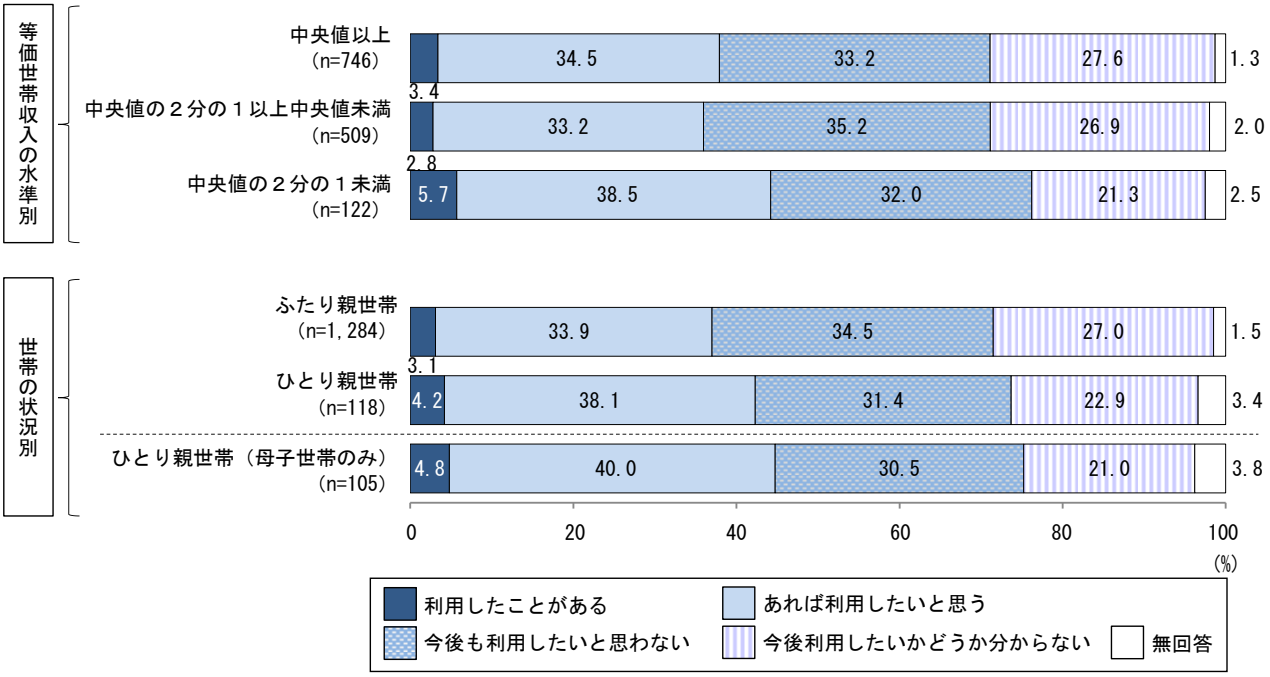
勉強を無料でみてくれる場所について、小学５年生では、「利用したことがある」が 3.3%、「あれば利用したいと思う」が 34.2%、「今後も利用したいと思わない」が 34.2%、「今後利用したいかどうか分からない」が 26.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「利用したことがある」が 8.4%、「あれば利用したいと思う」が 38.9%、「今後も利用したいと思わない」が 29.0%、「今後利用したいかどうか分からない」が 23.1%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

子ども票問 19. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

＝ 勉強を無料でみてくれる場所 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞



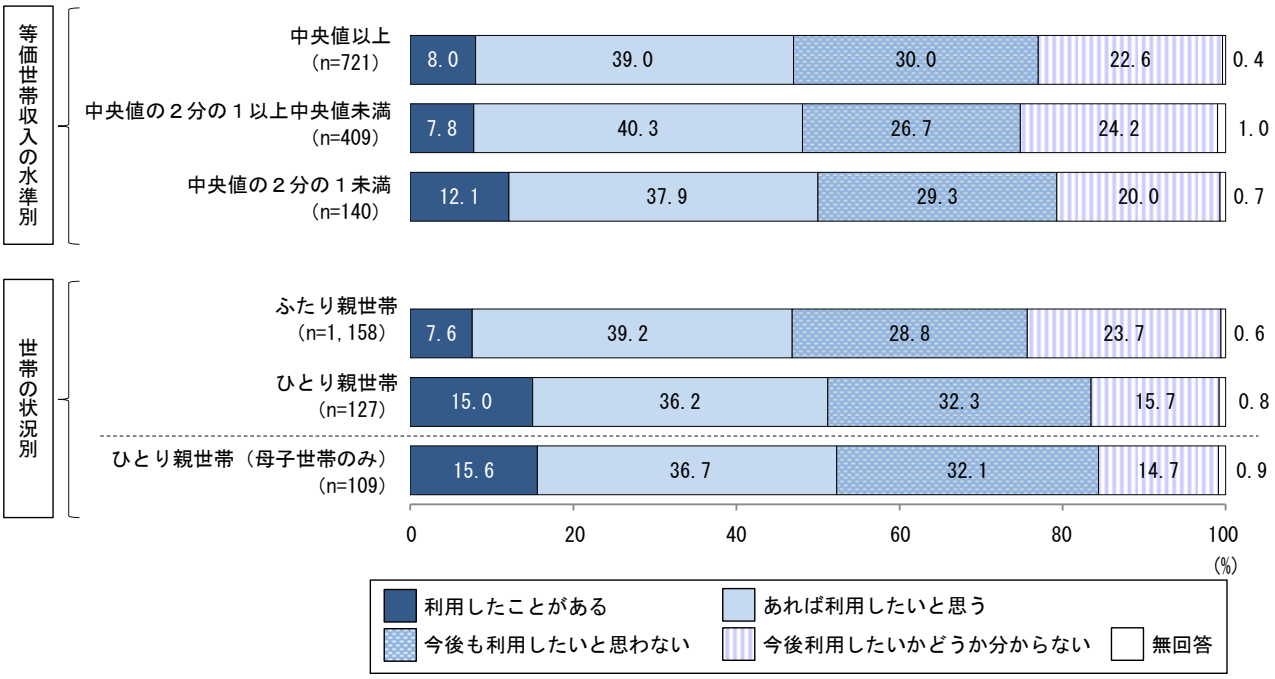
等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 34.5%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 33.2%、「中央値の２分の１未満」では 38.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 33.9%、「ひとり親世帯」では 38.1%、「母子世帯」では 40.0%となっている。

子ども票問 19. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

＝ 勉強を無料でみてくれる場所 ＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞



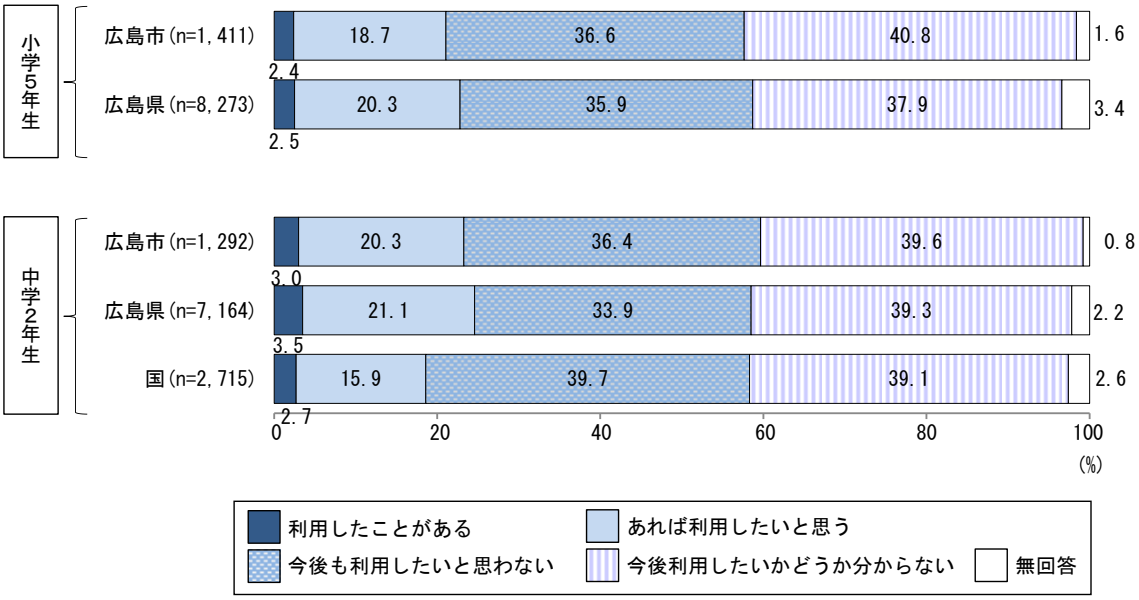
等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 39.0%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 40.3%、「中央値の２分の１未満」では 37.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 39.2%、「ひとり親世帯」では 36.2%、「母子世帯」では 36.7%となっている。

子ども票問 19. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

＝（家や学校以外で)何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）　＝

＜全体＞



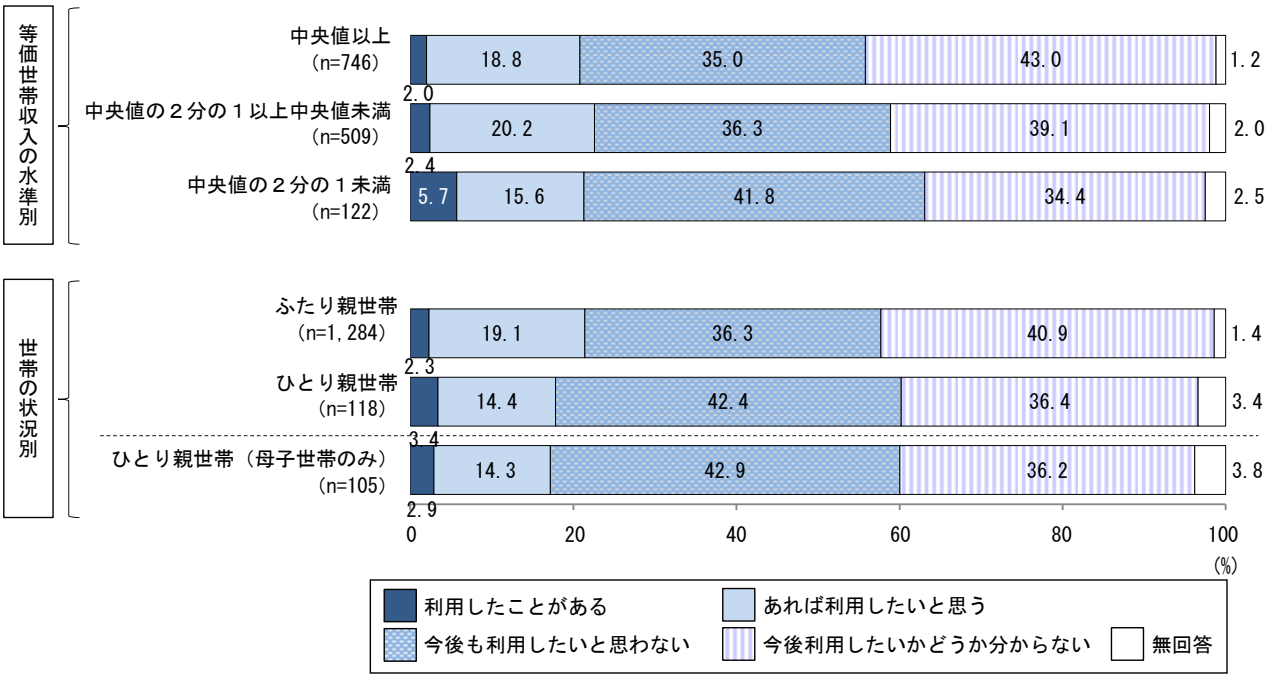
何でも相談できる場所について、小学５年生では、「利用したことがある」が 2.4%、「あれば利用したいと思う」が 18.7%、「今後も利用したいと思わない」が 36.6%、「今後利用したいかどうか分からない」が 40.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学２年生では、「利用したことがある」が 3.0%、「あれば利用したいと思う」が 20.3%、「今後も利用したいと思わない」が 36.4%、「今後利用したいかどうか分からない」が 39.6%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

子ども票問 19. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

＝（家や学校以外で)何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）　＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（小学５年生）＞



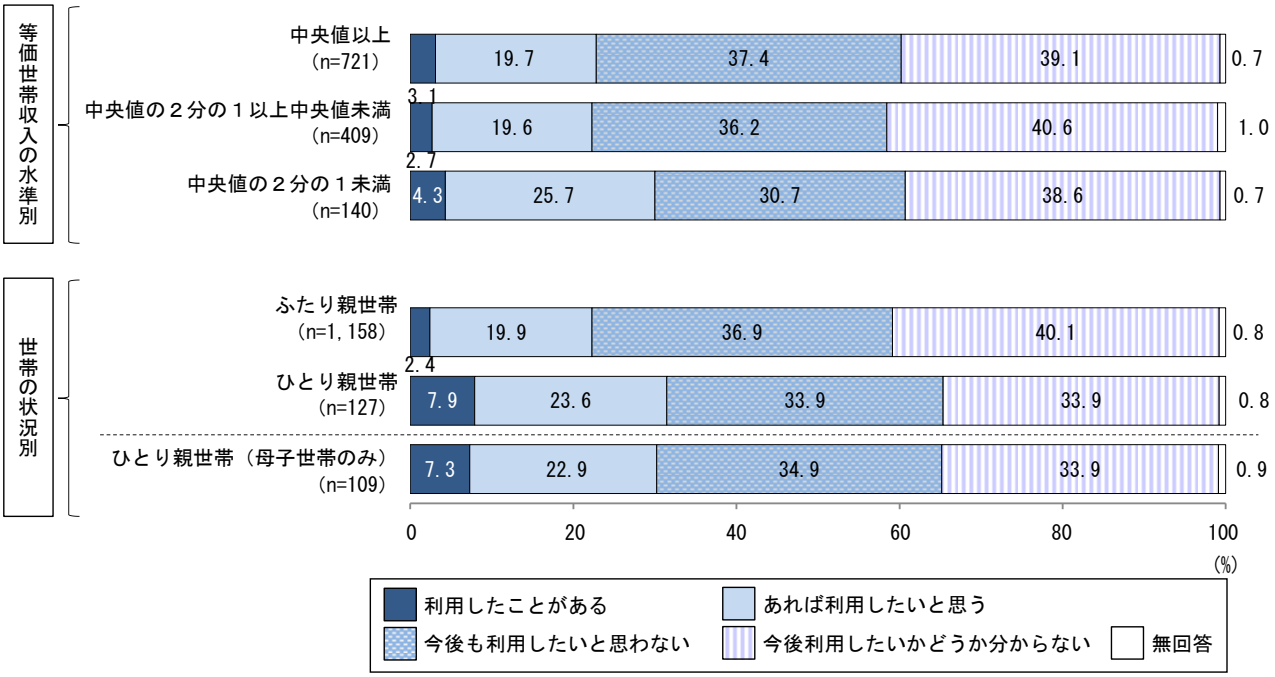
等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 18.8%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 20.2%、「中央値の２分の１未満」では 15.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 19.1%、「ひとり親世帯」では 14.4%、「母子世帯」では 14.3%となっている。

子ども票問 19. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

＝（家や学校以外で)何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）　＝

＜等価世帯収入の水準別・世帯の状況別（中学２年生）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 19.7%、「中央値の２分の１以上中央値未満」では 19.6%、「中央値の２分の１未満」では 25.7%となっている。

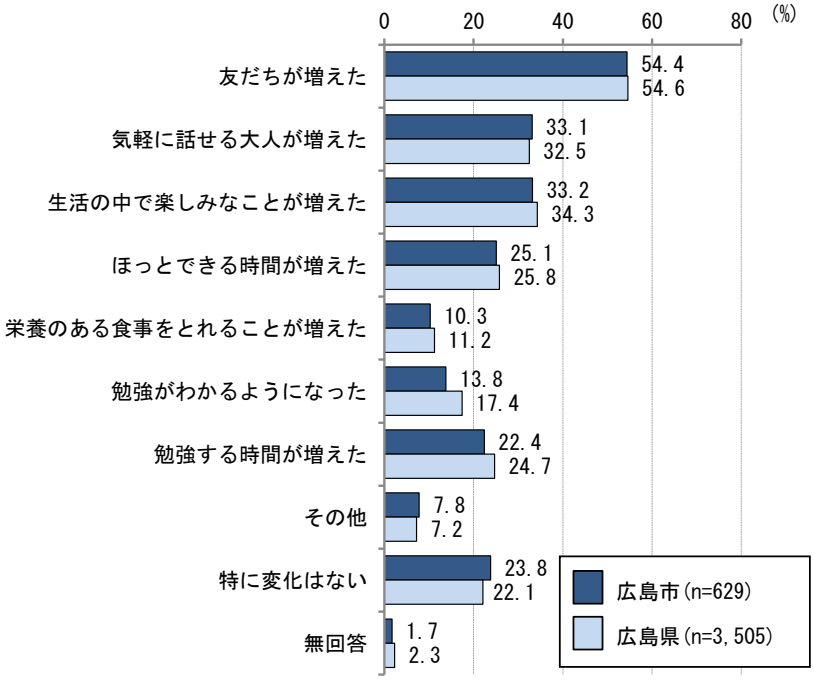
世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 19.9%、「ひとり親世帯」では 23.6%、「母子世帯」では 22.9%となっている。

イ　子どもの居場所の利用効果

※問 19 で１つでも「１　利用したことがある」と答えた方に

子ども票問 20.　そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（複数回答）

＜小学５年生＞

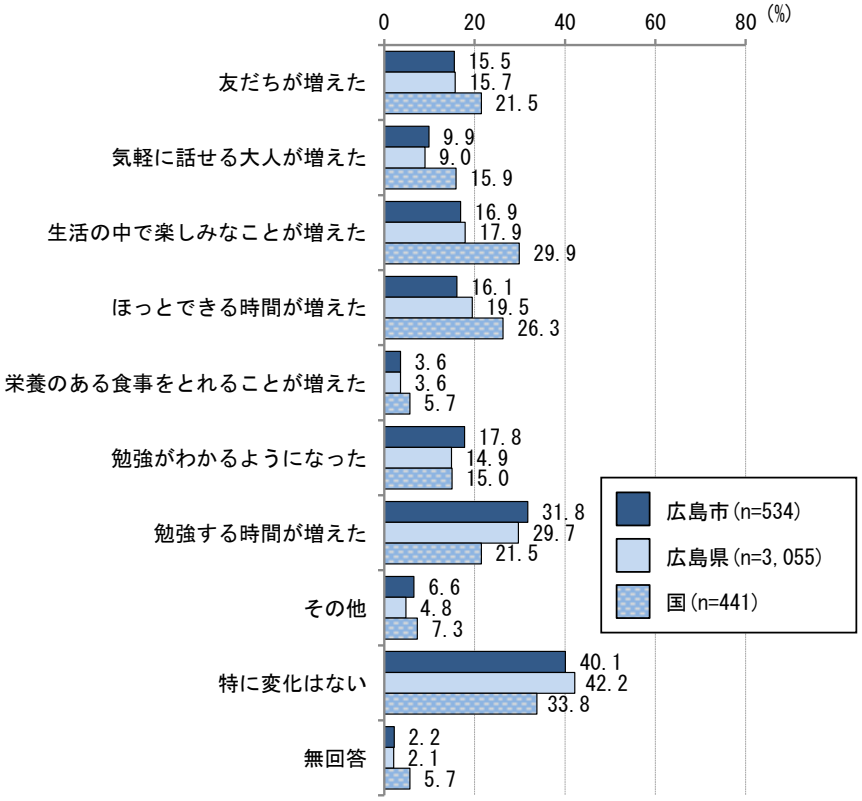


利用による変化について、小学５年生では、「友だちが増えた」が 54.4%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が 33.2%、「気軽に話せる大人が増えた」が 33.1%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

※問 19 で１つでも「１　利用したことがある」と答えた方に

子ども票問 20.　そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（複数回答）

＜中学２年生＞

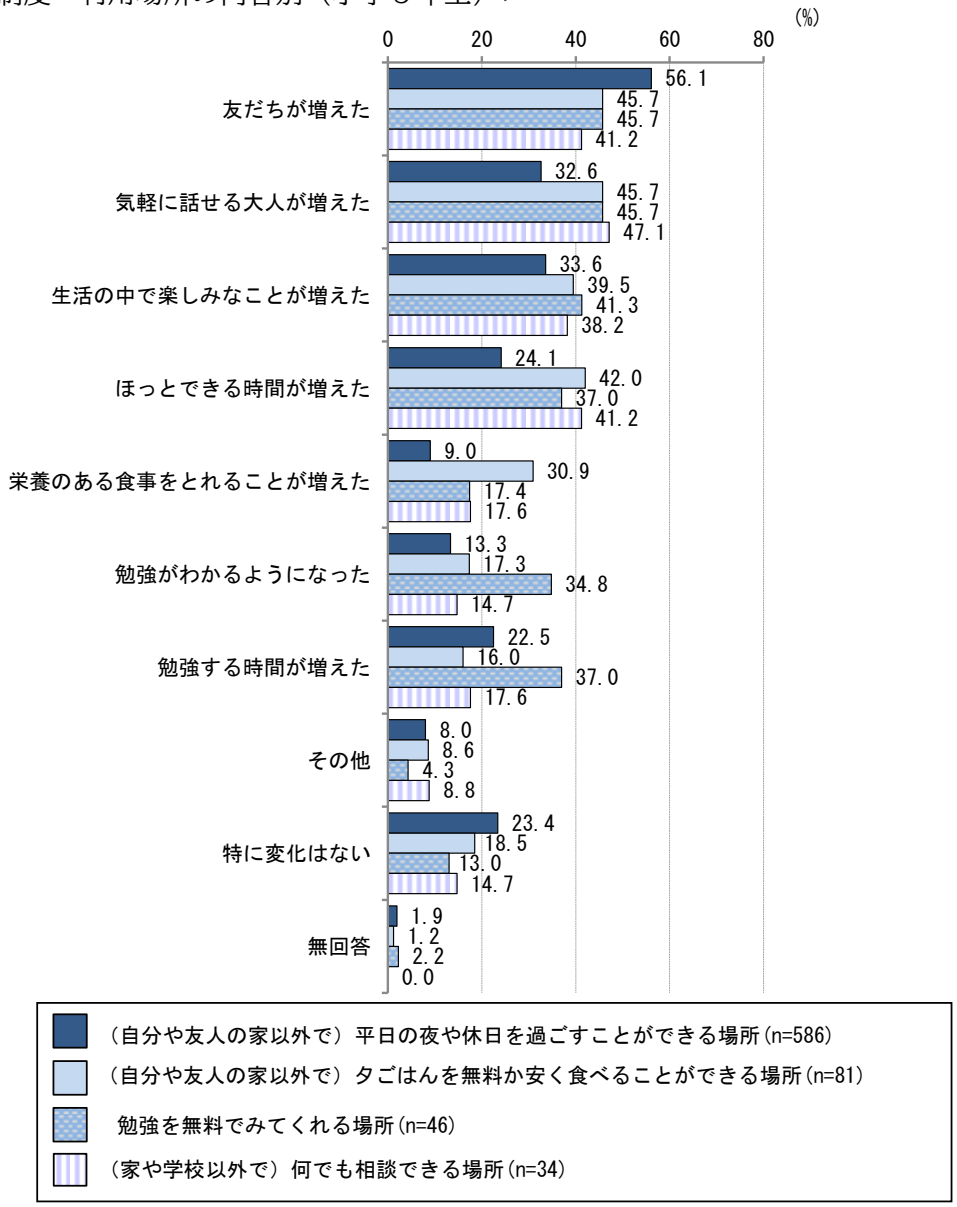


利用による変化について、中学２年生では、「勉強する時間が増えた」が 31.8%と最も高く、次いで「勉強がわかるようになった」が 17.8%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が 16.9%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「生活の中で楽しみなことが増えた」は、広島市（16.9%）が国（29.9%）を 13.0 ポイント下回っている。

※問 19 で１つでも「１　利用したことがある」と答えた方に

子ども票問 20.　そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（複数回答）

＜利用した支援制度・利用場所の内容別（小学５年生）＞

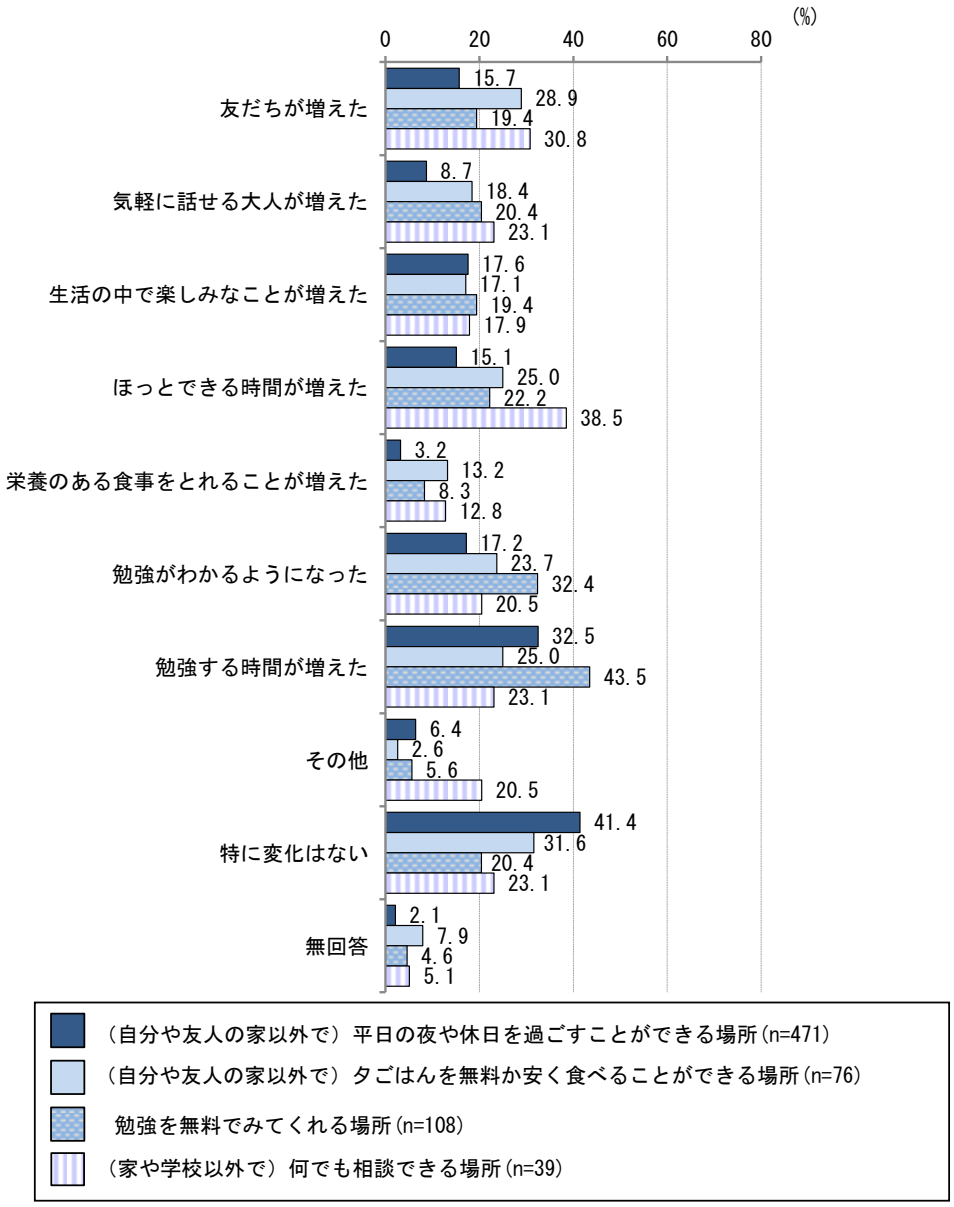


利用した支援制度・利用場所の内容別にみると、「勉強を無料でみてくれる場所」では、「勉強する時間が増えた」が 37.0%となっている。

※問 19 で１つでも「１　利用したことがある」と答えた方に

子ども票問 20.　そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（複数回答）

＜利用した支援制度・利用場所の内容別（中学２年生）＞

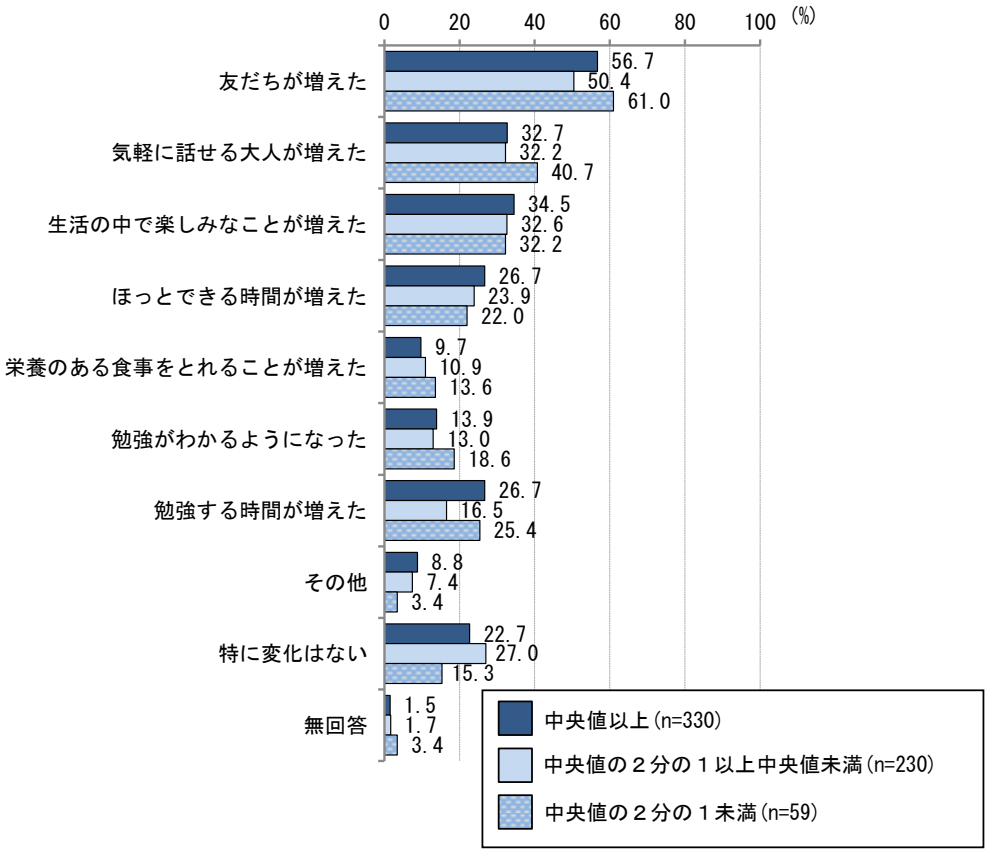


利用した支援制度・利用場所の内容別にみると、「勉強を無料でみてくれる場所」では、「勉強する時間が増えた」が 43.5%となっている。また、「何でも相談できる場所」では、「ほっとできる時間が増えた」が 38.5%となっている。

※問 19 で１つでも「１　利用したことがある」と答えた方に

子ども票問 20.　そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（複数回答）

＜等価世帯収入の水準別（小学５年生）＞

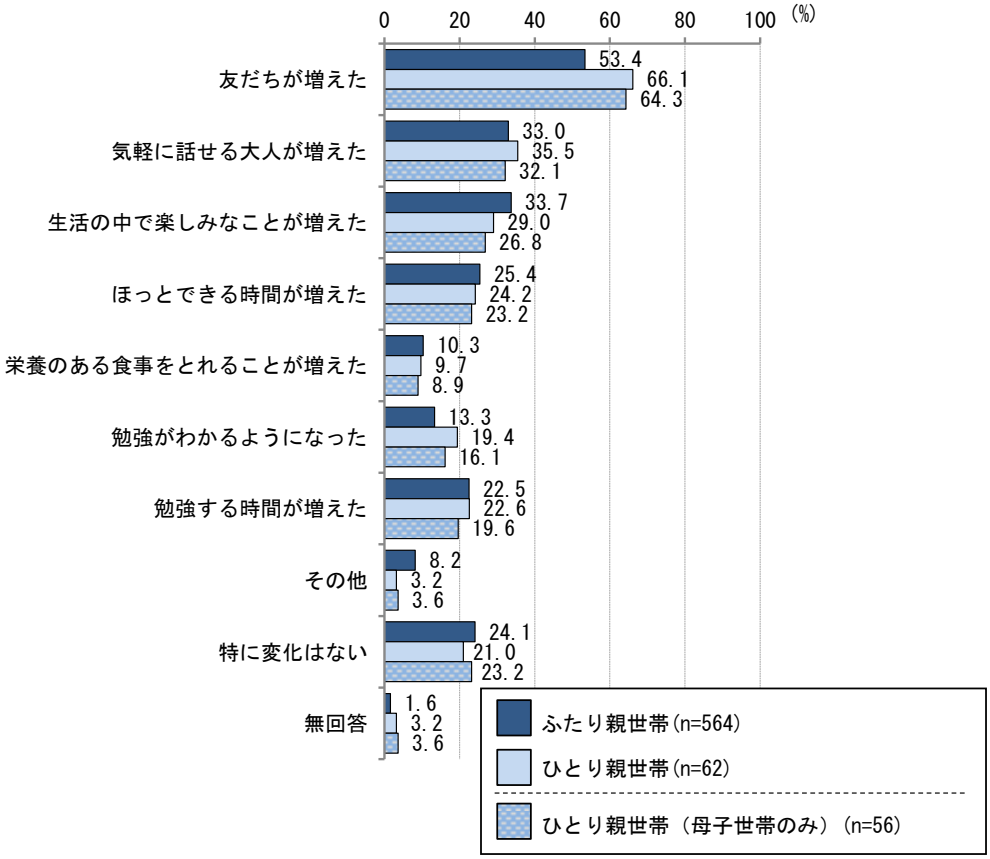


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「友だちが増えた」が 61.0%、「気軽に話せる大人が増えた」が 40.7%、「勉強がわかるようになった」が 18.6%と他の世帯と比べて高くなっている。一方で、「特に変化はない」は 15.3%と低くなっている。

※問 19 で１つでも「１　利用したことがある」と答えた方に

子ども票問 20.　そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（複数回答）

＜世帯の状況別（小学５年生）＞

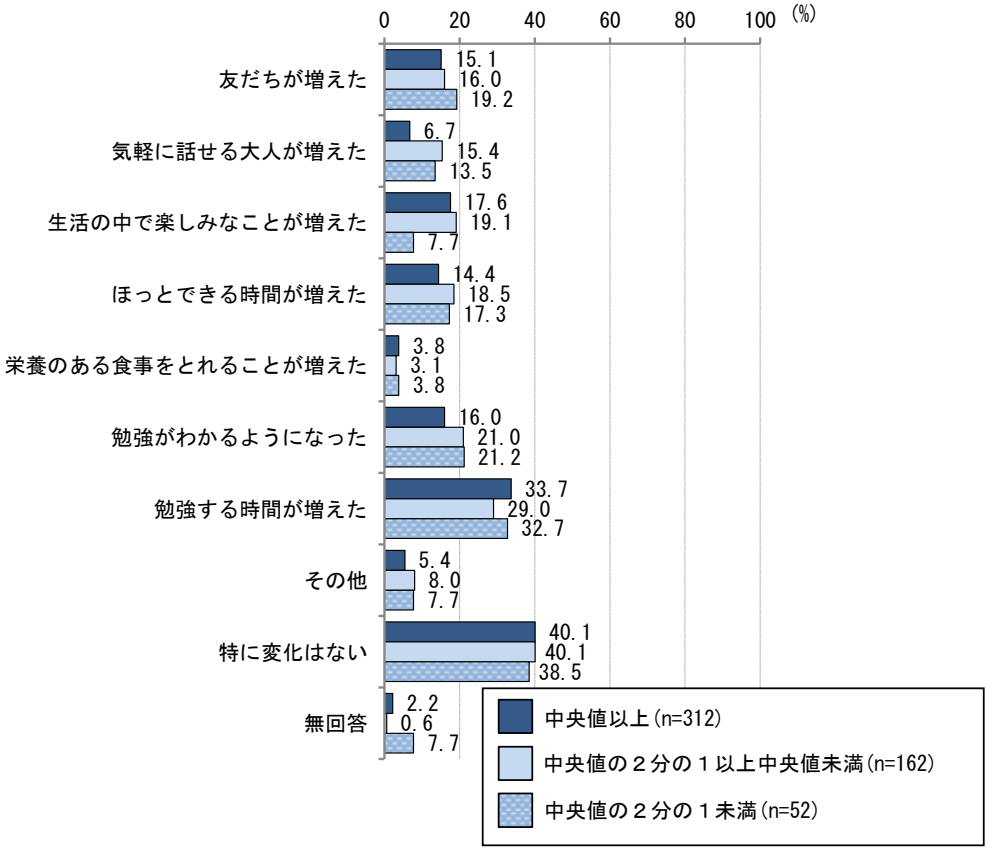


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「友だちが増えた」が 66.1%、「勉強がわかるようになった」が 19.4%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

※問 19 で１つでも「１　利用したことがある」と答えた方に

子ども票問 20. そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（複数回答）

＜等価世帯収入の水準別（中学２年生）＞

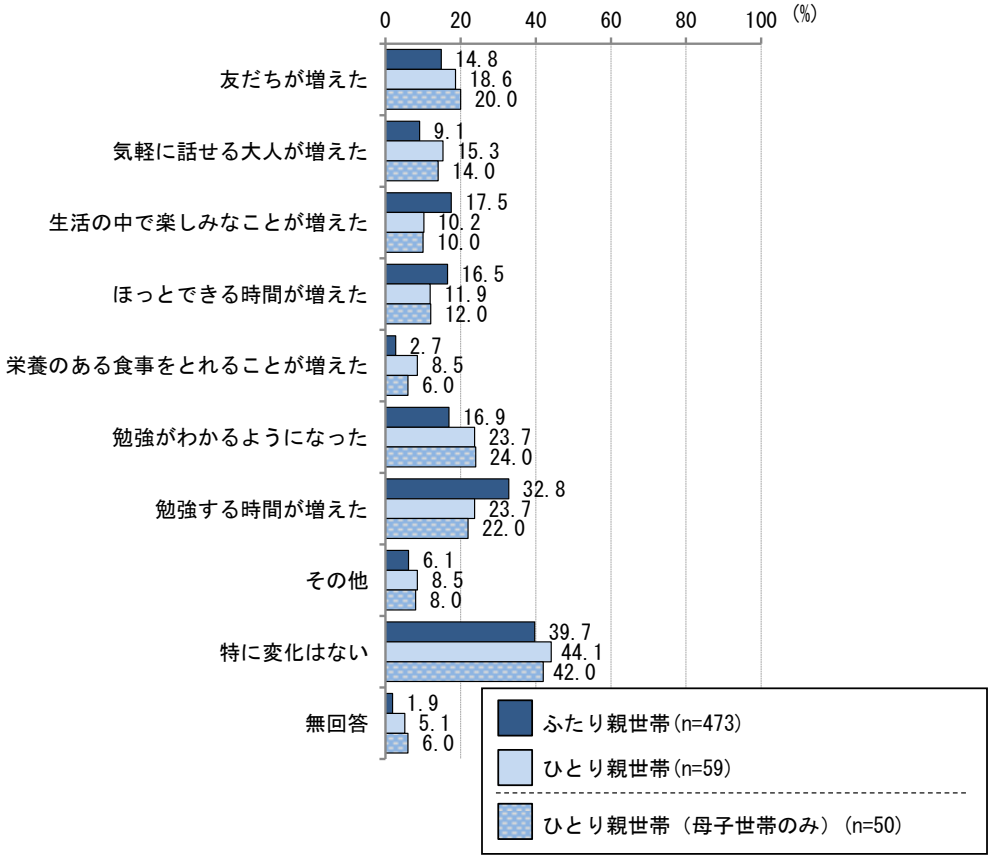


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「勉強がわかるようになった」が 21.2%と他の世帯と比べて高くなっている。一方で、「生活の中で楽しみなことが増えた」は 7.7%と低くなっている。

※問 19 で１つでも「１　利用したことがある」と答えた方に

子ども票問 20.　そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（複数回答）

＜世帯の状況別（中学２年生）＞



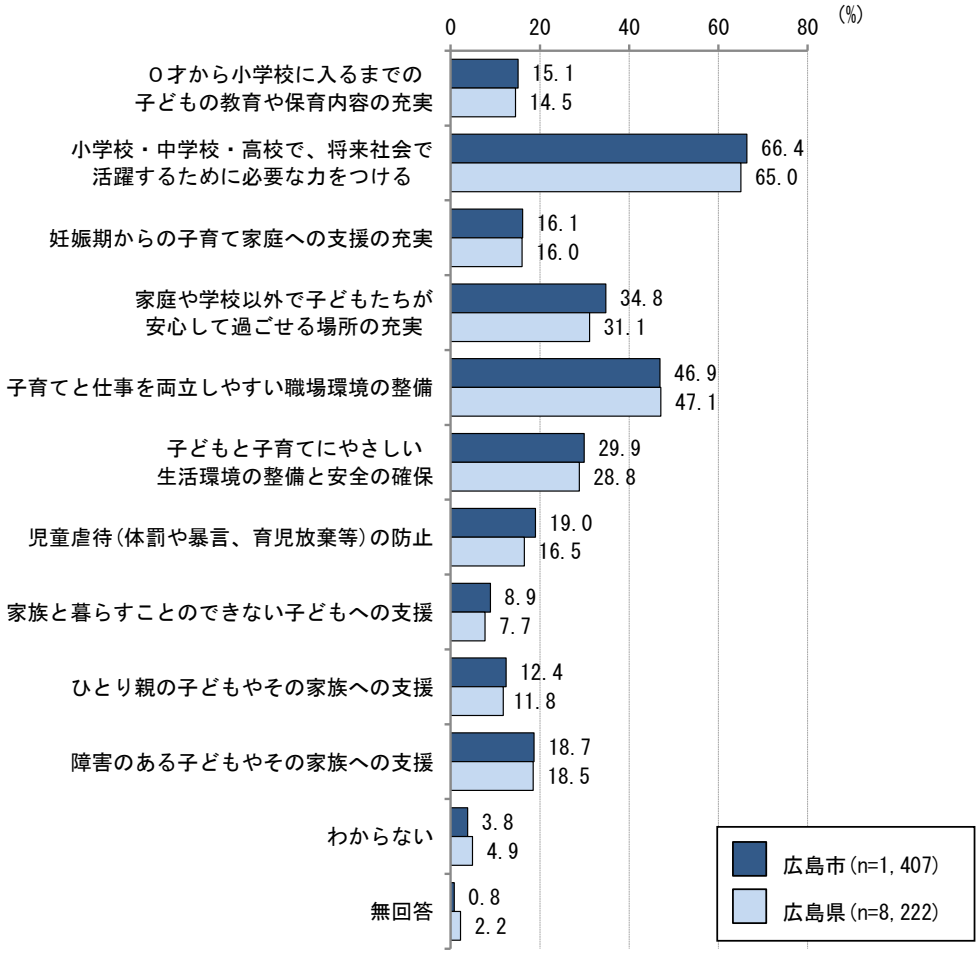
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「気軽に話せる大人が増えた」が 15.3%、「栄養のある食事をとれることが増えた」が 8.5%、「勉強がわかるようになった」が 23.7%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。一方で、「生活の中で楽しみなことが増えた」は 10.2%、「勉強する時間が増えた」は 23.7%と低くなっている。

5　広島県の子ども政策への希望

（1）保護者

保護者票問 29. あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。（上位３つまで）

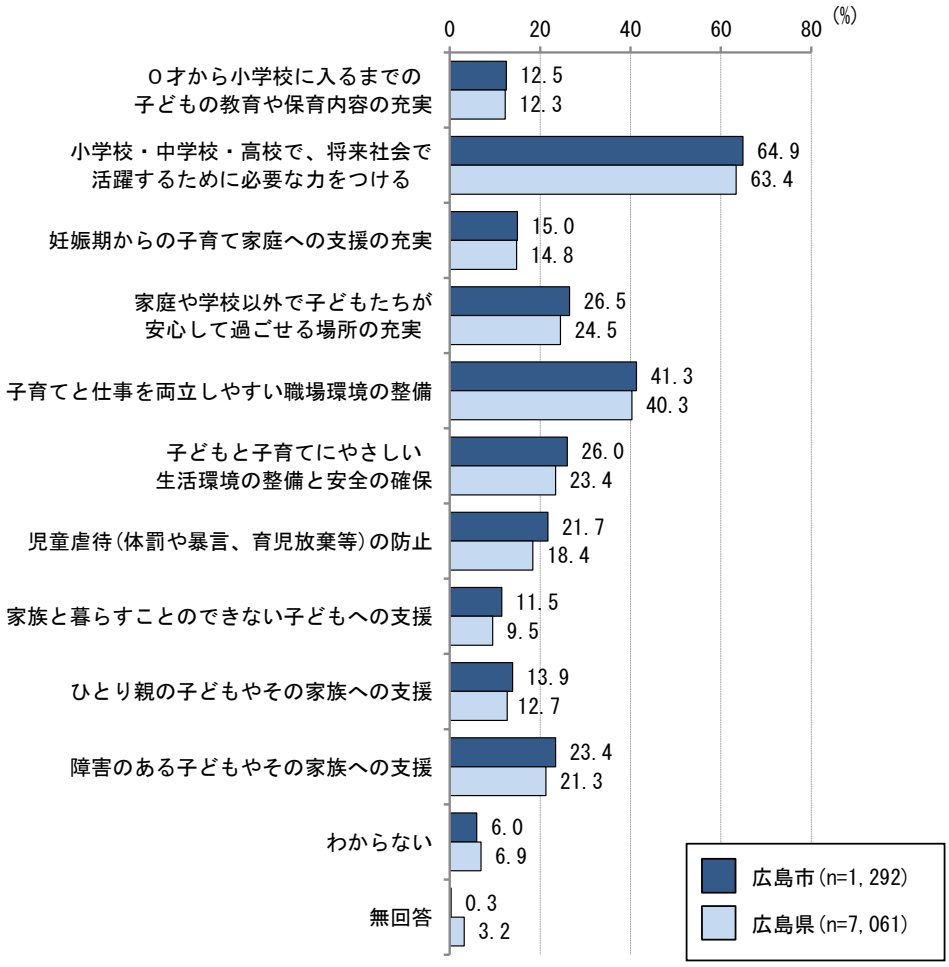
＜小学５年生の保護者＞



力を入れてほしい子どもに関する取組について、小学５年生の保護者では、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が 66.4%と最も高く、次いで「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」が 46.9%、「家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実」が 34.8%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 29. あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。（上位３つまで）

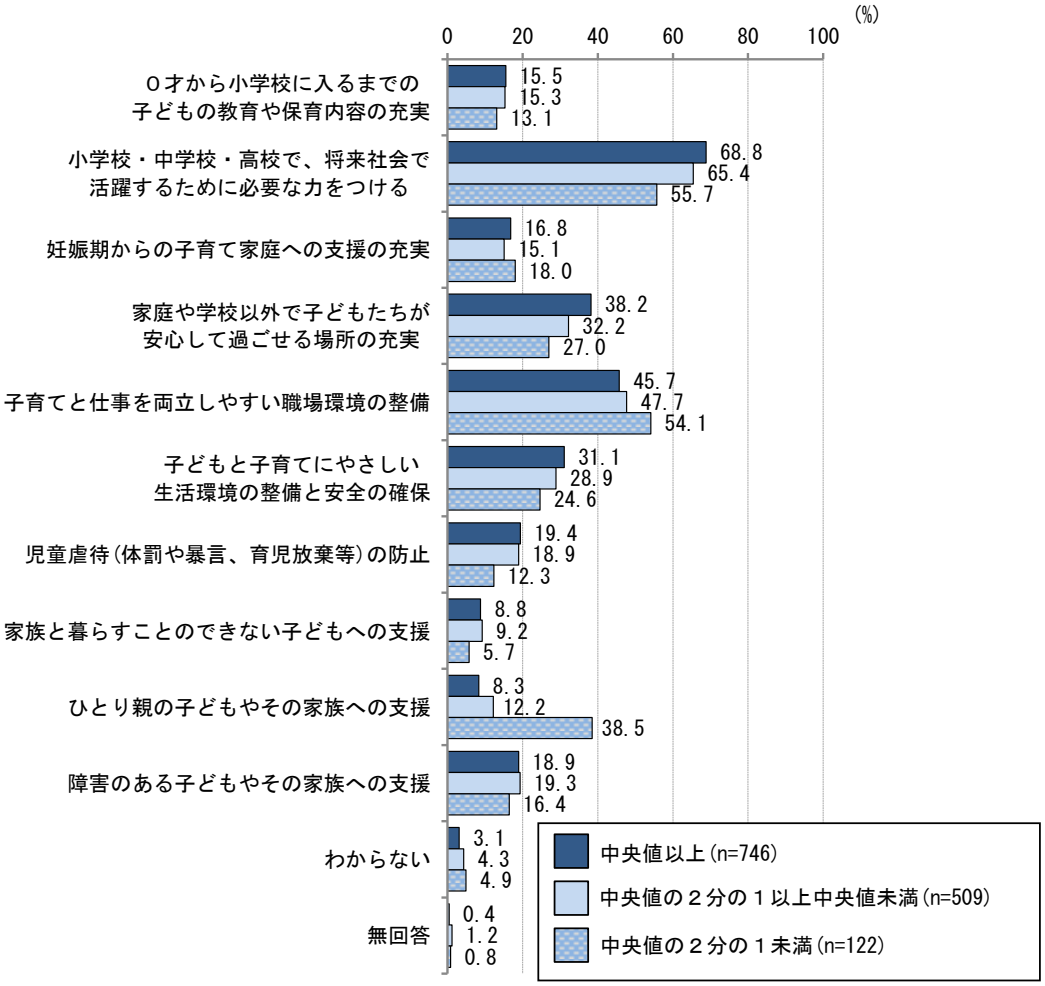
＜中学２年生の保護者＞



力を入れてほしい子どもに関する取組について、中学２年生の保護者では、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が 64.9%と最も高く、次いで「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」が 41.3%、「家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実」が 26.5%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

保護者票問 29. あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。（上位３つまで）

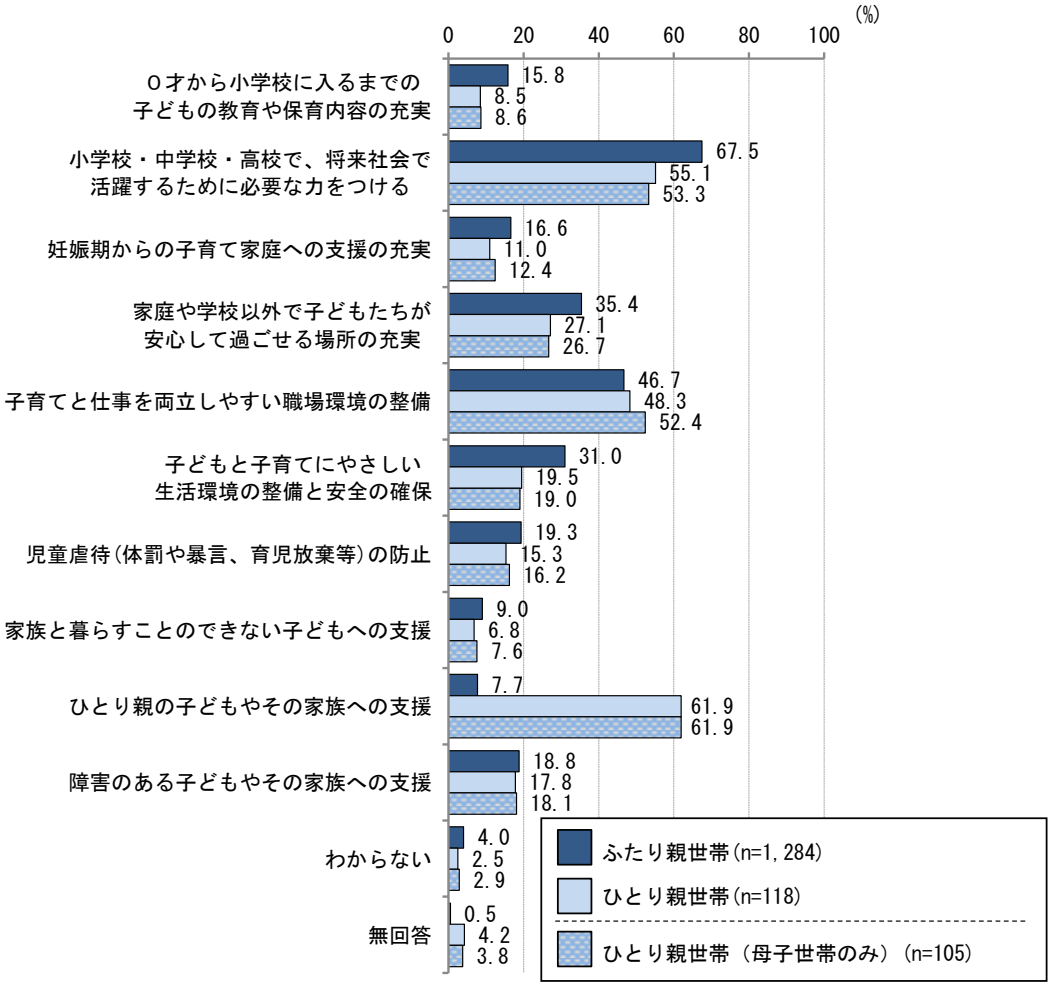
＜等価世帯収入の水準別（小学５年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」が 54.1%、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が 38.5%と他の世帯と比べて高くなっている。

保護者票問 29. あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。（上位３つまで）

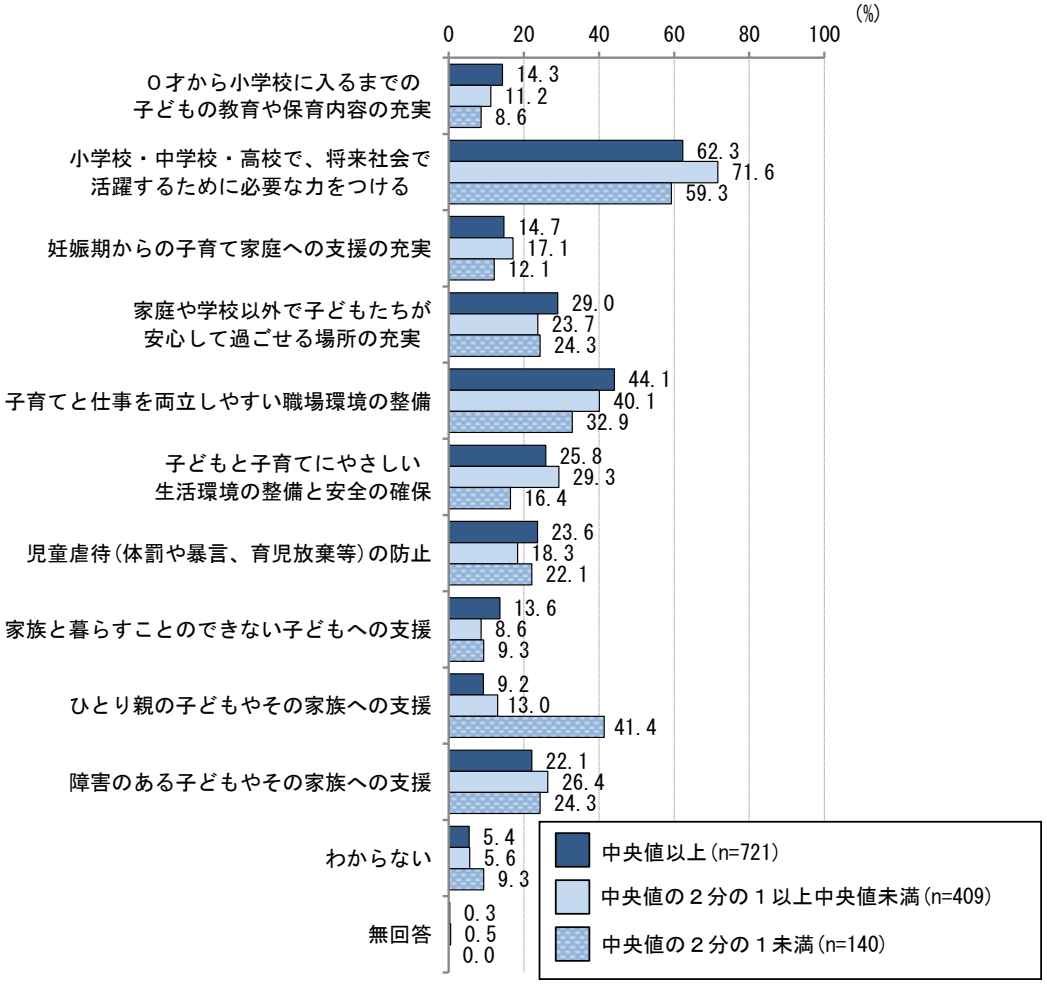
＜世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が 61.9%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

保護者票問 29. あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。（上位３つまで）

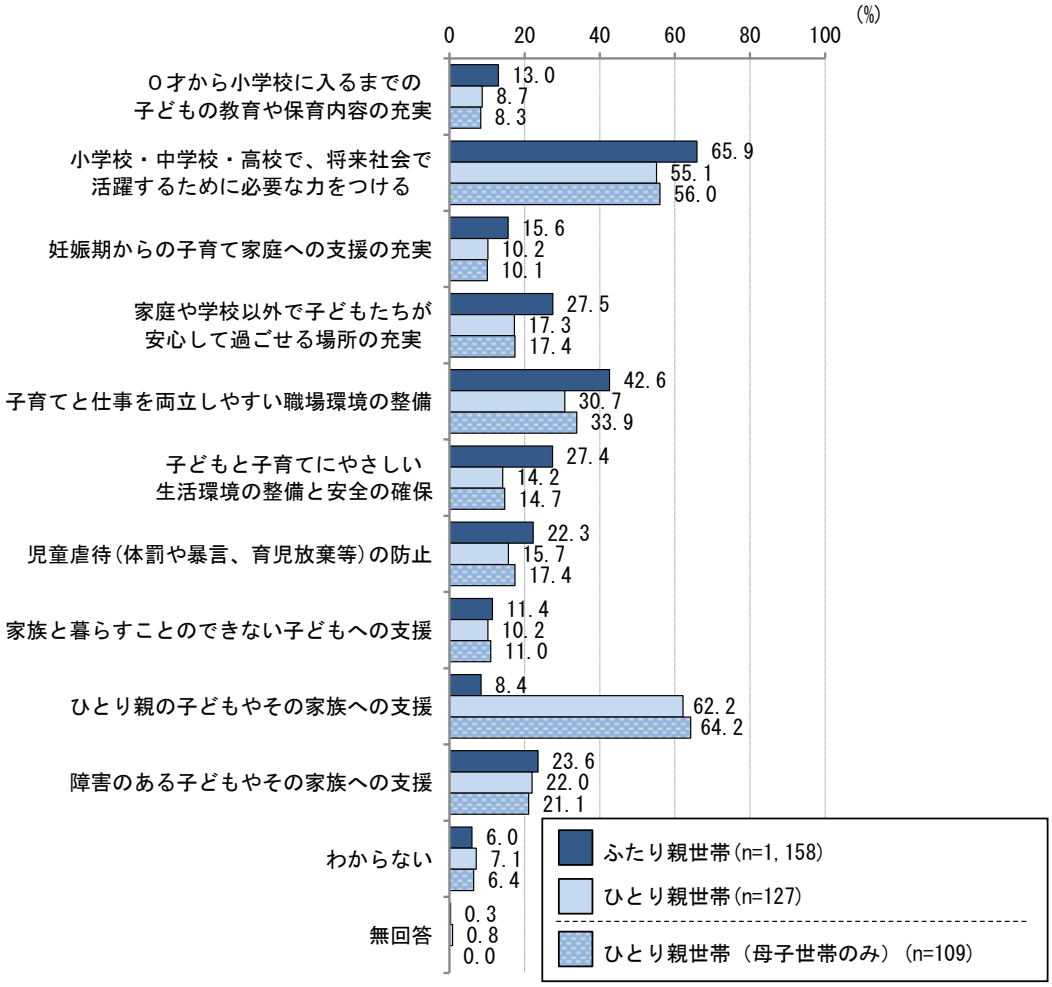
＜等価世帯収入の水準別（中学２年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が 41.4%と他の世帯と比べて高くなっている。

保護者票問 29. あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。（上位３つまで）

＜世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が 62.2%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

※問 29 で「１～10（「11　わからない」以外）」と答えた方に

保護者票問 30．理由があれば教えてください。

＝「０才から小学校に入るまでの子どもの教育や保育内容の充実」の理由（74 件）＝

保育園等の入所の改善や保育料の軽減、保育士の増員を求める意見等がみられる。

1	保育料が高いのでなんとかしてください。
2	有料で構わないので、保育園で体操教室や英会話など日替わりで習いごとをさせてほしい。
3	親が希望する保育所・園に待機なく入れるようになってほしい。先生の人数の確保と給料アップをお願いしたい。
4	保育園の待機児童が多く、長子と第２子が別々の保育園に通っているケースもあるので、早急に増やしてほしい。保育士さんの待遇を良くしてください。
5	保育園に入るまで何ヵ月か待ったので、仕事するのに困った。
6	保育園の空きがなく、なかなか入れなかった。今も第２希望の所へ行くしかないので、入りやすくしてほしかった。
7	送迎時間の確保が難しく習い事に行かせてやれなかった。ピアノ、英語、習字、そろばんなど保育時間に取り入れてほしい。
8	働いていないと保育園に入れない。働いていたとしても保育料が高すぎる。収入が保育料で消える。
9	一日のうち大半を過ごす保育園等での経験や先生方大人から受ける影響は大きいと思うから。
10	善悪が判る、自分で考える力が育つ、学習に重きを置かない幼稚園を増やしてほしい。
11	第３子まで子を産んでいるのに、上の子が小学生になると第１子扱いになる。少子化なのに、補助が減ることに不満がある。
12	英語の学習が早まっていることもあり、幼い頃からそういう環境を整えてもらえると助かる。
13	未就労の親と同居ということで、保育園の預り保育やベビーシッターをお願いできなかった。母親の体調も配慮して柔軟な対応をお願いしたい。
14	子どものために仕事を時短にすると収入は減るのに、０～２才までの保育料が高いままなのはとてもしんどかった。
15	乳幼児期が一番大切な時期。日本の未来を担う子ども達の自己肯定感を育むために保育施設の充実を望む。
16	教育というより、保育士さんの数を増やしてほしい。個々の負担を減らせるようにしてほしい。保育士さんたちは保護者に大変さを見せないようしているが、非常に大変な仕事だと思う。
17	特に保育園では、長時間にわたり子どもが過ごす場所となるので、学習的な要素がもう少しカリキュラムに含まれるとよいと思う。
18	職場の同僚や後輩が育休明けに保育園入所できず、復職が延期することがあり、職場としては痛手になるから。
19	保育園でも、先生の負担軽減がいわれる。コロナで地域や人との関わりが減る中、社会性を身につけるスタートなので、介入してサポートできてもいいように思う。
20	預けたい人が待機なく預けることのできるよう施設数の充実を求める。また、保育士は命を預かる仕事なので、相応の給与を出す必要があると考える。

＝「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」の理由（377 件）＝

学校教育の充実や、学力以外の力（コミュニケーション能力、表現力等）を身につけてほしいといった意見等がみられる。

1	子どもたちが社会生活を送るために必要な力をつけることは、長期的にみて重要。
2	グローバルな時代なので、英語の必要性を痛感している。
3	学力の面では塾で補えるが、学力以外の社会に出て必要な思考力、表現力、コミュニケーション能力は、学校や体験する事柄で培っていけると思うので、学校で力を入れて取り組んでもらいたい。
4	塾等へ通っている子との学力の差があると感じる。
5	語学力、自主性、自己表現力の向上。
6	勉強なども大事だが、お金に関する教育も、生きていくためにもっと力を入れてほしいと思う。
7	今の学校教育の内容だけでは不安。塾は高いため困難。
8	教育はとても大切だと実感。コミュニケーション、ディベート、表現力。子どもは国の宝だと本当に思う。将来を担う子どもには、しっかりとした教育を望む。
9	政治に興味が持てるように、自分達が動けば社会はより良くなるということを理解してもらいたい。
10	グローバルに活躍できるような、コミュニケーション、ディベート等の能力が必要だと思う。
11	ジェンダーギャップや差別をしない・させない・見すごさない教育が必要。アクティブ・バイスタンダー（行動する傍観者）の考えを。
12	自分を大切にしてもいいことを伝えてほしいし、先生方も自分を大切に仕事ができるようにしてほしい。
13	公立中学に通っているが、学力の低下、学校による教育の差があると感じる。また、不登校の児童が多いにもかかわらず、不登校の児童への教育は放置されていると感じる。
14	公立小学校の宿題と授業だけでは学習時間が少ない。結局、塾に通っている子だけ賢くなる。自宅でタブレット学習などもっと充実してほしい。
15	これからＡＩ社会が進み、人材が要らなくなると、自分の子どもがちゃんと社会で働けるのか不安。
16	将来社会へ出ても困らない力をつけてほしい。皆が可能性をもてるように、高校までの学費無償化を希望する。
17	子どもが小学校の勉強についていけていないようで、対策として、自分で通える塾へ入会させているが、あまり効果を感じない。共働きで忙しく、家庭でゆっくり勉強をみてあげることができない。時間がある時、教えても我が子だとカーっとなってしまい冷静に教えることができない。学校で、別費用の個別指導などしてもらえたら助かる。
18	子どもたちがこれからの社会に先ず興味・関心を抱き、何か目的を見つけるきっかけになると思うから。

19	高校で将来社会に出たときに必要な力をつけることに力を入れてほしい。仕事について、もっと事前に学ぶ機会があればいい。いきなり就活になると、就職できる所に入社し、やりたくない仕事をしてやめるのくりかえし。
20	基本、授業ペースが早いので分からないまま次々進んでしまう。不得意な所をコツコツ見てくれるようにしてもらえたらよい。
21	習い事など親の努力だけでなく、普通の学業で身につけるようにしてほしい。
22	もっと勉強ができるようになりたいと子どもに言われたが、親が教えるには限界があり、塾は高くて通わせられないので、塾代に補助金とかあればいいなと思う。
23	母と子２人暮らしなので、母の私は１日仕事のため、我が子は大人の人と過ごす時間が少なかった。放課後児童クラブなどで、もっと大人の人と関わり、思考力や表現力などの能力を伸ばしてほしい。
24	同じクラスになると、“必ず仲良くしないといけない”雰囲気があるので、仲良くならなくても、存在を認めるなどコミュニケーションの取り方のような指導があると、いじめも少なくなっていくのではと感じる。
25	オンライン授業が普及したため、その環境を普段の生活では関わりのない地域やコミュニティーなどと交流するツールとして使用できるとよい。
26	水平、垂直思考の向上、コミュニケーション力、金融に関する知識は、社会に出て必須だと考える。変化に対応できる人材になる必要がある。
27	先生が一方的に講議する授業や、テストの点数で子どもの能力を計るなど、教育内容が今の時代に合っていないと感じるため。子どもたちが大人になる数年先に通用する教育を望む。
28	銀行での口座開設や仕組み、社会保険や税金のことなど、社会に出た時のお金に関することを学校でももっと教えた方がよいと思う。
29	塾などに行かなくても十分な学力や思考力、プレゼンテーション能力を身に付けられる教育を受けることができたら、日本全体の学力向上につながるから。
30	勉強は大切だが、それ以外のコミュニケーション能力を伸ばすことの必要性、働くことの意味、自立して生きていくために必要な能力などを伝えることなどを、小さい頃から知ってほしい。
31	公立の学校でも、学力に応じてのクラス分けなどをしてほしい。できる子を伸ばしてほしい。
32	英語教育に力を入れてほしい。基本的に中学・高校の計６年間も習っているのにしゃべれない・使えない人がほとんどなのは大問題。小学生のうちからネイティブな英語・会話に触れるべき。文法は後からでよい。
33	学校に子どもが好きな時に利用できる自習室・オープンスペースのような場所ができればなと思う。夏休みや放課後に気軽に利用でき、先生や学生さんなど、勉強や宿題で質問があった時等に教えてもらえる人員がいると尚よいと思う。教員の過重労働が問題になっているので、ボランティアを募集したり、外部に委託したり、学生のアルバイトを募ってみたり、教員志望の学生たちの実習の一環でお願いしたりするとよい。働いているため、なかなか時間を取って宿題や勉強が見られないことも多く、塾までは子どもが希望して行きたがらないので、学校内に自由に過ごせる場所があると安心できる。もちろん、遊びではなく、あくまで勉強をする場所としての利用。

＝「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」の理由（112 件）＝

医療費を始めとした経済面での支援の充実を求める意見が多くみられるほか、気軽に相談や交流ができる場所の充実を求める意見等がみられる。

1	小さな会社ほど休みづらい。親も子も無理して、結局弱い子どもにシワ寄せがいっている。出産することにお金を投じようとしているが、お金がないから出産しないのではなく、産んでから働きながら子育てすることを想像すると、出産・子育てをためらうのだと思う。
2	何をするのにもお金。お金が不足すると、体調が悪くても病院行くのもやめてしまうから。
3	専業主婦だと、一人で家で子どもと向き合う時間が多いので、誰かと関われる、話が気軽にできる場はもっと必要だと思う。そうすると、虐待防止にもなるのではないか。
4	自身が情報不足で不安いっぱいだった。不妊治療も経験しているが、子どもを授かる前から乳幼児期の間の親支援こそ一番大切であると思う。地域ごとにきめ細かな支援を望む。二人目、三人目を産もうという気持ちにもつながると思う。
5	他の自治体では、高校卒業まで医療費無料などあるが、小学校（外来）、中学校（入院）までしかなく、所得制限もあり、何の恩恵も受けられない。
6	支援内容を知らないのは困っていないからだとは思うが、困ったときはこのような支援や制度があると、通常でも知っておけるのが望ましい。貧富の差で子どもたちの未来が決まることのないよう、障害によって貧富の差ができないようにしてほしいから。
7	助産師をしているが、初産年齢が年々高くなっており、親が高齢などで産後のサポートがない妊産婦さんが多くなっていると感じる。妊娠期から支援をしていくことで、少しでも安心して子育てができるようになればよいと考える。
8	市や県によって医療費の補助に差があることが残念。収入に関係なく無料の地域や数百円の地域が羨ましい。
9	医療費の所得制限の徹廃。余裕がさほどあるわけでもないので気軽に受診できない。子どもが受けるものに対してはすべて平等であってほしい。
10	周りに頼る人がおらず、孤独な子育てだった。もっと子育ての悩みを相談したり、話したりできる場。支援が欲しいと感じながら子育てをしていたから。
11	妊娠中の検査費用や子どものインフルエンザ予防接種など、高額になるものは負担が大きく、受けた方が良いとわかっていても費用面で諦めてしまうことがあるため、市から補助してもらえると安心できる。
12	夫の実家が遠方で、母親が他界していたため、出産後に子どもを預けることができず育児がしんどかった時があったので、新生児でも２時間ぐらい預ってもらえるなどのサービスがあればいいと思う。
13	初めての妊娠、出産、子育てはわからないことばかりで、私自身も助けてほしいと思っていたので。
14	妊娠、出産にかかる費用が高すぎる。もう少し支援してもらえると産み育てやすい社会になるのでは。
15	転勤などで他県から移って来た場合など、近くに頼れる人もなく不安なので、安心できる場所を提供して欲しい。その場所にいる人が優しいと尚良い。
16	今の母親の子育ては孤独だと感じる。役所のような相談できる場所は、ハードルが高い上に、人によっては説教のように聞こえる場合もある。もう少しリラックスして話を聞いてもらえるカフェなどの場所があるといい。
17	広島市はオープンスペースが少ない。他都市で２年子育てをしたが、徒歩圏内に３箇所児童館があり、毎日親子で遊びに行けていた。同じ年齢の子を育てる親同士が気軽に歩いて行ける交流の場が必要と感じる。
18	妊娠から子育て期は、子育て情報やささいな日常の相談が必要となる。一人で小さな子を連れて歩いているママ達は、大人同士で話をする機会を求めている。
19	地域によっては小児科が遠く、車のない家庭は病気の子を公共機関で連れて行かねばならず大変。近所の内科でも気軽に相談できるとよい。

＝「家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実」の理由（215 件）＝

放課後児童クラブの受入枠や開設時間の拡大のほか、夏の屋内での居場所の確保を求める意見等がみられる。

1	夏休み等の長期休暇中に放課後児童クラブに入れず、子どもだけを家に置いて仕事に行くことが心配で困ったため、定員の枠を広げる等、対応してほしい。
2	子どもが低学年のとき急な休校や放課後に１人になる時があり、預け先がなく困った経験が何度かある。そのような時、支援してもらえる制度があると助かったと思う。
3	小学校から子育てにかかるお金が増える、０～６才まではそんなにお金はかからない。育ててみてはじめてわかる。０～６才の子育て費用に注意がいきがちだが、大きくなれば食費も衣服も勉強にもお金がいる。親が共働きで、小学生を家にほったらかしておく状況がある。金銭的に余裕があれば、早く帰社したりできるのにと思う。学童保育があっても、１８：００に迎えにはいけない。夕方１人で帰らせるくらいなら、家においておく方が安心。
4	放課後の行き場がないのか、マンションや商業施設等でゲーム片手に集まり、場所が埋まっているから。
5	小学校２年生の娘がいるが、夏休みの放課後児童クラブに入ることができなかった。パートとして働いている親としてはとても困っている。
6	児童館はあるが、高学年になるにつれて優先順位が下がるし、子どもも好んで行きたいと思わない。児童館に行くよりも、家にいた方がよいと言う。家ではゲームやＹＯＵＴＵＢＥというようなメディア漬けになるのを避けたい気持ちはあるが、他のことへの興味が乏しい。探究心を伸ばせるような放課後の過ごし方を提案してくれる施設の充実をはかり、自らが「これをしたい」と学び続けられる居場所がほしい。化学実験の体験、料理教室、地域の子どもたちで野菜を育てるなど。ひとり親家庭でなくても、子育てに関して自分では対応できない状況がある。
7	放課後児童クラブに入れなかったため、子どもが小４の時、勤務時間をかなり減らさなければならなくなった。
8	家はあっても共働きで親不在のため家では遊べず、児童館は放課後児童クラブの子どもだけの利用で、利用していないうちの子は留守番。暑寒すぎで公園へは行けない。
9	より多くの大人との関わりによる、子どもの安全の確保や、助けを求めることができる場所は必要だと思う。母でも、息の詰まる時はあるので、安心して行ける所がほしい。
10	放課後児童クラブに下の子を通わせているが、外遊びができないなど、細かい生活ルールが多く、のびのびと過ごせていない。
11	小学校高学年になると、放課後児童クラブに入れなくなる人がいるから。有料になってからは少し改善されたように思う。中学校から、長期休みの間の居場所がなくなるので、集まって勉強や楽しめる場所があるとうれしい。
12	働いている私にとって唯一安心して預けることのできる場所だと思うので、預ける時間など時代のニーズに合ったものにしていく必要があると思う。
13	放課後児童クラブでは外遊びができず、また、職員や設備の不足を感じた。子どもが行きたがらなくなってしまい、充分に活用できず、仕事との両立が大変。
14	小学校３年生から放課後児童クラブの定員もれで入れなくなり、職を変えなければならなくなったから。
15	学童保育について、夏休みなどの長期休暇中は、利用開始時間が、親の就業時間より遅くなり負担が大きい。お弁当作りも季節柄、気を遣うし、親は仕事には変わりないのに負担が増え大変だった。

16	放課後児童クラブに子どもが行きたがるような環境を作ってほしい。受け入れ人数の拡大、高学年までは誰でも入れるようにしてほしい。
17	夏休みなどの長期休みは、暑すぎて公園にも行けず、共働きだと１人で子どもが家で過ごす時間が増える。高学年で放課後児童クラブに行くほどではない場合、体育館等、開放される施設が増えると助かる。
18	放課後や休日、夏休みなどの大型連休中に屋内で過ごせる場所がない。夏場は暑すぎて外遊びできないので公共の屋内で過ごせる場所がほしい。
19	公園はボール使用禁止や大声を出すなと制約が厳しく、学校のグランドも使用禁止。子どもが思いきり体を動かして遊ぶ場所がない。
20	幼稚園までは預かり保育等で夕方まで安心して預けられる場があったが、小学生以上になると、子どもだけで過ごす時間が増える。働いている親は学童に預けられるが、専業の場合は預け先がなくて困る。また、家庭内で問題を抱えた子の居場所を作ってあげてほしい。親にも先生にも相談できない子がほっとできる、安心できる場所があればいいと思う。
21	保育所や放課後児童クラブの充実と手続きの簡易化。子育てしながら仕事しながら大量の手書き書類を用意するのは困難。
22	下の子（小２）の放課後児童クラブが今年度より有料化され、月５千円の支払いとなり家計を圧迫している。姉は高校生で今から大学に向け貯金したい時なのに。中２の子も今後のためにお金を貯めたいから必死で働いているのに、どうして幼い子を預ける放課後児童クラブが今年より有料になったのか、理解できない。
23	近所の小さな公園では限られた遊びしかできないので、小学校の校庭を放課後に開放してほしい。放課後の校庭は先生方の管理ではなく、公園と同じ扱いにして、何かあれば親や近くの大人に助けを求めるでもよい気がする。
24	子どもが小学校へ入学する時の“小１の壁”が本当にキツかった。安心して預けられる場づくりをぜひして頂きたい。児童館・放課後児童クラブ（先生方の労働環境・質も含めて）の充実を心から願う。
25	共働きの人が多いので、夏休みなどの過ごし方はみんな悩んでいる。親の環境や経済力により、子の経験値が違ってくる場面だと思う。経済の差が小さくなるようにしてほしい。
26	共働き世帯が多い中で、子どもだけで家庭で過ごす時間が増えているので、地域や社会でこどもたちが安心安全で過ごせるようになってほしい。
27	保育園から学童に上がったときに、見ていてくれる大人がいることには助かったが、本当に見ているだけの場であり、自分の子どもたちには合わなかった。もう少し積極的に関わってもらえる場があればいい。
28	産後１年で復帰したので、保育園、放課後児童クラブにお世話になった。放課後児童クラブについては、長期休業中の利用がしやすいよう、枠の拡充を望む。
29	雨が降った日は遊ぶ場所がなく、誰か友達のおうちで遊べないか、子どもがよく困っているから。また、夏場はずっと外で遊ぶには暑すぎるので、子どもたちだけで遊べる施設があると嬉しい。
30	いつでも子どもを預けられる場所が欲しい。１時間１０００円までなら、有料でもかまわない。ファミサポなどは事前登録やマッチングなど、手続きが多いと思う。

＝「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」の理由（271 件）＝

子育てに関する職場の理解の促進や、労働時間の改善、在宅勤務を始めとした柔軟な働き方の推進を求める意見等がみられる。

1	子どもの行事や、突発的な病気等で休まざるを得なくなった時に、まだまだ休みづらさを感じる。子を持つ親が働き方に融通を利かせられるような制度が少ないため。
2	母親主導の育児が主流。子どもの発達に、母親の精神状態はどれくらい影響するのか、研究結果が欲しい。子どもの幸福と関係があるなら、明確に情報が欲しい。
3	男性が育休を取得するのが難しい。中・小企業だと職場の理解がなされていない現状がある。子どもが病気でも、休みをとりづらい。
4	子どもが小さい、小・中・高といれば参加行事も増えるので、参加するための休暇を作って欲しい。取得できる休暇が足りず不参加が増える。
5	小規模で働いていると、子どもが熱を出している時に抜けにくくなる。そして、抜けられても給料が低くなる。パートも正社員と同じ仕事をしているのに、給料を減らされたら厳しいので無理をしてでも働くことになる。
6	子どもが病気でも病児保育に預けたくない親は多い。休む時は主に母親が休むことになるが、父親が当たり前のように休める環境があれば負担が半分になる。
7	子どもが学校から帰ってくるまでに仕事を終えておきたいが、そういった仕事はなかなかない。夏休みや冬休みなどは、子どもが家にいるので働くことがむずかしい。
8	子どもに熱が出ても、人材不足で自らの収入も減るので、預けて働かなければならない。子どものために働いているのに必要な時にいてやれない現実。
9	今の職場は中小企業のため、子育てと仕事を両立しやすい環境とは言い難い。障害者雇用助成金のように、ひとり親の助成金などが会社側に支払われたりすれば、もっと環境も整ってくるのではないかと思う。
10	職員の数がギリギリで、休みが取れない。子どもとの時間を作りにくい。急な体調不良などで休めない。
11	正社員として時短勤務していたが、時間通りに帰れたことがあまりなく、子育てが思うようにできなかったので、会社をやめた。
12	今の状況では、子ども３人を抱えて仕事はできない。急な病気で休むこともある。そんな時に利用できる病児保育やサポートがほしい。
13	年齢を問わず子どもがいる家庭では、出社する時間を遅くしてほしい。
14	特に体調不良の時など、急だと預かってもらえるところがほとんどなかったので、親に頼るしかなかったため。
15	子どもが病気になった際も、職場の人数を考えて休むことができるかできないか考えてからになってしまうので、しんどい。
16	仕事に就いても月の半分も病気などで保育園に行けない。また小学生になっても休校で対応困難なことが多い。両立はむずかしい。
17	働きたくても採用してもらえる会社が少ない。特に未就学児の子どもがいる場合。急な休みを取る場合に、なかなか受け入れてもらえない。

18	子どもがいると病気などで休まなければならないことも多いので、職場に申し訳なく感じることがあった。そう思わなくてよい会社、社会づくりをしてほしい。
19	学費等が高すぎて生活も楽ではないが、子どもを一日留守番させて働くには安全性が不安。時給等の改善がないとどうしても長時間労働となり、母親の家事の負担は一向に変わらない。他県のように、小・中・高の学費の無償化などの仕組みを導入してほしい。大学等の費用の負担が心配。働きたくても、夫の帰宅が遅い為、自分が体調を崩すと頼れる人がいない。
20	子育てと仕事の両立のための制度が整っている職場であっても、その制度を利用している人が多い場合は限界があり、定時に帰れなかったりするため。
21	祖父母が近くにいないので、学校の行事などで休まないといけないが、頼める日数に限りがあったり、何かあれば対応しなければいけないので、コロナ禍になって離職した。
22	子どもが病気になっても休みにくい環境にあり、１人で寝かせていたり、病児保育にお願いしてきたが、病児保育に頼めば金欠になり、１人で寝かせれば心配で辛かった。
23	仕事が、とにかく平日休みにくい。自分の代わりがおらず、結果我が子が置き去り。仕事量が定時以上。
24	育休が終わると同時に、待ちかまえたように大量の仕事を任され、子どもを朝７時から夜２０時まで保育園に預かってもらう日々が続き、子どもも私もつぶれてしまった。せめて、時短制度が小学校の間は有効になっていたら、仕事を辞めることはなかったと思う。
25	正社員の基礎就労時間の見直し。今の８時間労働が子どもの立場から良くない。無理があると思うので男女関係なく短くするべき。
26	子育てしやすい環境を会社が整備するにも会社側に余裕が無ければ難しい。国や市町村・県で制度を考えてほしい。
27	息子の障害で家庭での勉強のフォローや、宿題・提出物・持ち物のフォローなどが大変。残業して勉強に使える物を買い、家でフォローしているが、経済的・精神的に辛い。
28	体調が悪かったり子どもに手がかかっても、在宅でできる仕事が増えれば就業しやすくなり収入が増やせると思うから。
29	保育士をしているが、我が子が０～２歳の間は、よく熱を出していたが、保育士が足りなくなるため「休ませてください」が申し訳なく、言いにくかった。我が子を祖母に預け、他人の子どものお世話をしていると、我が子が辛い時に自分は一体何をしているのだろう、と感じることも。保育士の働く環境を整えてもらわないと、なり手不足。育児が辛い。自分の時間をとりたいからと思っている方が預ける場所を確保するためにも、国に頑張ってほしい。発達障害児も昔に比べかなり増え、昔のように年長児 30 人超を一人でみることはもう難しいが、親が認めないと手帳も加配もつかない。もっと質のいい保育を提供したいが、ゆとりある人数の保育士がいないと、心にゆとりをもって関わることは難しい。保育士をしたい、保育士の仕事にまた戻りたいと思える環境を。これは子育て支援にも、虐待防止にもつながると思う。
30	ぜひ週休３日制の導入又はリモートワークの充実を進めて欲しい。子どもが健全に成長するためには、学校・地域といろいろな力が必要だけれど、１番は家庭であると思う。週休２日、フルタイムで働いていると子どもとかかわる時間が本当に短い。

＝「子どもと子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」の理由（137 件）＝

ボールが使えるなど子どもが伸び伸びと遊べる場所を求める意見が多くみられるほか、子どもも保護者も安心・安全に外出できる環境の整備を求める意見等がみられる。

1	ボール遊びができる公園が学区内にない。子どもが自分で遊びに行ける範囲に、友だちと伸び伸びと遊べる場所がほしい。
2	放課後、学校の校庭を開放して欲しい。公園では、ボール遊びが禁止で、子どもが遊べる場所がない。
3	交響楽団やコンサートなど芸術鑑賞に連れて行きたくても、未就学児お断わりのケースが多く、あきらめたことが何回かあった。本物を見せてあげられないことが、もったいないと思った。親子教室の充実などで、可能性が広がればよいなと思う。
4	タブレットを使用するようになり、持ち帰り品が増えた。月・金曜日は６時間分の教科書、ノート、金曜日セット＋タブレットや絵の具セット、水筒。タブレットが無くても多い荷物を持って帰宅する姿を見ると、体調や事故が心配。
5	夏休みなどに、公民館など校区内に屋内の過ごせる場所を確保してほしい。夏休みも同世代の友達との触れ合いが大切だと思うが、暑すぎて場所がない。
6	子どもが０～５才の頃、夫が単身不任中でワンオペの中、子どもと過ごせる無料又は安価な施設が少なく、苦労していたので。
7	オムツを使用している車いすの子どもをバリアフリーの店に連れて行っても、トイレにはベビーベッドしかなく、オムツ交換ができないところがまだまだ多い。
8	他県では中学生まで電車のフリーパスがあり、無料で公共交通機関に乗ることができるので、広島もそのようにしてほしい。
9	災害や犯罪の種類が昔より多様化・悪化していると思うので、子ども達には具体的なケースを交えた講習や、実地訓練をする機会を義務教育の中でやってほしい。
10	環境の整備や障害への支援は、子育て期だけに必要なのではなく、長期間にわたり必要なもので、さらにどの年齢であっても活用・応用できるから。
11	近年、子どもが一人で出掛けるのが危険となっているため、安心安全な地域環境が必要となっていると思うため。
12	出産してベビーカーを押して初めて気が付いたことだが、車道から歩道に上がる時やふみきりを通りにくい。歩道も狭く、ガタガタしている場所がまだ多く危ない。車いすの方や歩行が困難な方のためにも、整備してほしい。
13	広島は遊ぶ場所が少ない。０～12 才までが利用でき、小学生が１人で行ってもＯＫの保育士さんがいるような場所をつくってほしい。室内あそび場、たくさん増えるといい。
14	横断歩道に歩行者用の信号機がないところが多く、怖い思いを何度もしている。広島市内、全て、歩車分離になったらいいなと思う。歩道がほとんどない所や狭い所があるのに、団地やマンションをどんどん建てるので、交通量が増え、とても危険。歩道も含め、道をしっかりと整備してから、団地やマンションの建築を許可するようになったらいいなと思う。
15	５人の子育てをしている私としては、小学校１年生に上がる頃、放課後児童クラブ以外のサービスが選べるとうれしいと思った。障害のある子どもたちはサービス事業所が選べるが、自立支援受給者証を持たない子は、放課後児童クラブか自宅の２択。
16	乳児等の活動は、以前よりもサポートが増えている気がする。しかし、小・中学生が遊べる広い公園が少なすぎる。小さい子ばかりの支援が目立っている印象。

＝「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」の理由（116 件）　＝

社会全体で子どもを守ることや、親へのサポートが大切との意見のほか、子どもへのアプローチを含めた支援の充実を求める意見等がみられる。

1	虐待で苦しむ子どものニュースが多いので。専門的な知識がある人がその職につき、人員も増やして欲しい。
2	児童相談所が機能不全を起こしているように感じる。専門職、特に経験者を増やし、民間との協働を行うべき。
3	虐待を受けて辛い思いをする子どもをなくしたい。私にも何かできることないかといつも考える。
4	家庭でのことはわからないので、子どもが犠牲になるなど、社会でとり残されることのないようにして欲しいため。
5	全ての子ども達が十分な教育を受け、可能性を伸ばせる社会であってほしい。
6	父親からのネグレクト、育児放棄があり苦しんでいる。育メンという言葉を耳にするが、うちはない。ワンオペ育児で３人育てている。頼れる・相談する所が分からない。
7	弱い子どもが声をあげられず犠牲になることのない社会に変わってほしいから。母親の精神的サポートの必要性。父親の育児への積極的参加を促すプランがあればいい。
8	各種のハラスメントなどの社会問題に直接・間接的に関わってくることであり、その予防として最も効果のあることだと思うから。人権の尊重のために重要。
9	絶対にあってはならないし、昨今のニュースなどで取りあげられている事件等、どうしてもっと早く対応してあげられなかったのかと感じることが多いから。
10	体罰で得られるメリットはひとつもない。だが、手を挙げてしまう気持ちもわかるので、助けて欲しいと思うことはあった。
11	子どもは虐待されていても“自分が悪いことをしたから怒られている”としか思っていないから。周りの人が即座に介入できるようにするべきだと思う。自分がそうだったから。
12	児童虐待に関するニースなど見ると、心が苦しくなる。そのような子どもを守れる社会になってほしい。
13	この世で悲しい思いをする子どもが一人でも減って欲しいから。この国の将来を担う全ての子ども達にすくすくと育って欲しいから。人に優しく接して、困っている人を助けることのできる、経済的にも精神的にも自立した強い人間に育って欲しいから。
14	見えにくい環境なので、力を入れてほしい。
15	子どもの頃からの啓発活動。また、大人たちへの啓発、大人たちがゆとりあるソフト・ハード面からのサポートが、人に優しくできる心を作ると思う。そこにつながる政策を行ってほしい。
16	育休中、１才５か月差の年子２人の子育てをしていた時、親も中距離の場所でなかなか頼れず、とてもストレスだった。このまま子ども達とずっと一緒にいたら虐待してしまうかもと思い、仕事復帰したが、周りのサポートの大切さを身にしみて感じた。周りにサポートがない人は、子どもがストレス発散の対象になりうることもあると思うので、そういうことがないようサポート体制を充実させてほしい。

17	毎回ニュースで見て悲しい気持ちになるから、自分のことも思い出してしまう。虐待してしまう親にも、もう少し周りに助けてくれる人がいたらと思ってしまう。ツライ思いをしてほしくないから。
18	連日、親子の不幸なニュースを耳にする。物価高で経済的困窮や不安や不満を抱えている方がたくさいることは容易に想像でき、結果、子どもの虐待に結びついているケースも多々あると思うので、早急に対処して頂きたい。このままだと、増えていくばかりだと思う。ニュースをきくたびに、ネガティブな気持ちになる。
19	子どもがかけこめるシェルターをもっと作ってほしい。
20	日々悲しい事件、事故のニュースが多すぎる。親のメンタルケアをはじめ、もっと周囲の人からの情報に耳をかたむけ、制度の見直しがあるなら早急に改善してほしい。
21	１人で暮らすこともできない子どもは、逃げることができない。力の弱い、心も大人に頼っている子どもが、虐待を受けていると心が苦しい。
22	夏休みに公園で暑い中、１人で過ごす子どもを見かけたことがあり、心配になった。家にいられない環境の子どもが、誰かを頼るためにどこに相談したらよいのかわからないと思うので、直接子どもへのアプローチが必要だと思う。
23	子ども自身にも性的虐待という自覚が持てるように教育をしたり、チャイルドラインや人権110番などへ子どもからもっとアクセスしやすくなるよう周知をして欲しい。また、全ての学校にスクールソーシャルワーカーを配置して、教師以外に子どもや家族の困りごとに対応できる制度をととのえて欲しい。
24	日々、何の罪もない子ども達の命が奪われていくニュースは、胸が痛む。核家族化しているので、地域や医療機関が連携して防止に努めて欲しい。
25	イライラする生活でおかしくなりそう。子どもを一人前にするのにお金がかかりすぎる。しなかったら、よい所で働けず自分のようになると思うとやめられず、子どももちゃんとやらないと、イライラしてしまう。

＝「家族と暮らすことのできない子どもへの支援」の理由（53 件）＝

里親やファミリーホームなど家庭的な環境での養育の充実や、児童養護施設から退所した子どもへの支援の充実を求める意見等がみられる。

1	養護施設を退所した子どもが、社会に出て大変な思いをしていることを身近で感じているから。
2	自分の周りに施設を利用している子がいるわけではないが、退所後の生活はどうしているのか。個人的なことのため公にはされず情報が全くないので、そういう子どもたちが健全に生活していけているのかと思うことがあるので。
3	子どもには何も原因が無いため、しっかりとケアしてあげてほしい。
4	社会全体で子どもを育てる仕組みがあった方がいいと思うので。
5	近くにファミリーホームがあり、一般家庭と変わらない生活をされて、子どもをサポートされているから。もっと増えてほしい。
6	里親やファミリーホームを増やしてほしい。また施設退所後の子どもの支援を本気でやって欲しい。頼れる人のいない心細さは、犯罪の呼び水となるため。
7	けんかしても、大嫌いでも、受け入れてくれる家庭の「愛」を学んで欲しい。帰る場所や落ち着く場所を持たせてあげたい。
8	里親になりたいと思って調べてみたが、研修を受けたり、仕事の都合がつかなくて大変そう。支援を続けてほしい。私もなんとかしたい。
9	虐待を防ぐことも大切だが、現在助けが必要な子のケアを充実させる必要もあると思う。
10	大人からの愛情を受けて欲しいという願いから。
11	全ての子ども達が十分な教育を受け、可能性を伸ばせる社会であってほしい。
12	どの子も安心・安全な居場所で生活できる環境作りや、地域でも愛されていくことが大事。
13	里親制度など、もっとアピールをしてもよいのではないかと思う。
14	子どもの支援を充実させてほしい。そういう部分に税金が使われるなら、納めてよかったと思える。
15	過去に施設・里親さんに頼ったことがあり、そういった色んな事情をもった子どもたちを他人事と思えず、力を入れて頂きたい。
16	広島に限らず、日本全体として社会が障害者に対してまだまだ差別的だと思うので、里親手当がもう少し増えれば、私も里親になってみたい。物価の高騰などあるので、時代によって手当が充実し、もっと制度が認知されればいいのにと思う。
17	福岡のように里親を増やしてほしい。短期間あずかりや里親のための支援に取り組んでほしい。
18	どんな境遇にいる子どもも、一人一人とても大切な存在。大切な成長の時期に安心してすごせる場と、細やかな支援が必要。
19	どこの家庭にも起こりうるかもしれない。事故、病気などで家族がいなくなるなど他人事ではないと思う。
20	昔、ボランティアで関わったことがあり、まだまだ支援が必要と感じたから。
21	施設で生活する子どもの人格作りができるといいと思った。

＝「ひとり親の子どもやその家族への支援」の理由（96 件）＝

経済面の子育て負担の軽減を求める意見が多くみられるほか、養育費確保の支援の充実を望む意見等がみられる。

1	自分がひとり親になって大変だと思うことがたくさんあるから、支援が増えると将来への不安が少しでも減るのではないかと思う。
2	法的にひとり親でない世帯への、何かしらの援助や取組などにもっと目を向けてほしい。
3	本当に生活が苦しいので家賃を出してほしい。子ども手当では足りない。夏休みの食費など支払いできない。
4	ひとり親世帯なので大変助かっている。今後ともより充実してほしい。臨時給付金はとても助けられた。
5	児童扶養手当の２人目からの金額がとても少ない。
6	ひとり親だと他に預けたりすることができないことが多いので、預けられないと仕事を休むことになり収入が減るので、もっとひとり親に対する支援を充実させてほしい。
7	以前、元夫からの養育費が未払いになり裁判所で手続き等をするのに、とても長い期間、費用がかかり、精神的にも、とても追いつめられることがあった。養育費が未払いになった時に、「立て替え制度」等を市、県が独自に導入して頂けると、とても助かる。滞りなく、子どもが養育費を受け取れるように協力して頂けると、とても助かる。
8	現在、児童扶養手当はもらえていないが、子どもの習い事などがかさみ、収入は変わらないけど出費は増える一方。児童扶養手当を収入と出費のバランスで見直してほしい。
9	ひとり親に対する支援について、一定の所得があれば何もないが、同居する両親の食費を負担することが多く、自分一人の収入で５人分の生活を支えているのは経済的に大変。親は別世帯だが、同居ということで収入状況を確認されるが、今後、親も子も支出が増えていくばかりであるため、自分一人の収入でやっていけるか不安。
10	ひとり親になるために、仕事を見つけるのが楽になればよい。
11	児童扶養手当が、２人目の加算では、１人とは違い足りない。食費など、かかる費用は倍いる。
12	一人親でも安心して育てられる社会なら、少子化対策などとあえて言わなくても良い社会だと思う。
13	現在、自分自身が児童扶養手当の資格停止をされているから。充分所得があると判断されたが、子どもとの時間を減らし、仕事を頑張っているからであって、ひとり親だからと苦労させたくないから。ひとり親手当関係に所得制限があるのはいかがなものかと思う。そんな中、結婚や、子どもをもう１人とは思えない。手当をいらないという人以外支給すべきだと思う。
14	私の収入が少ない。今現在、失業中。私のきょうだいも世帯が同一なので、その給与も合算され、支援が少ない。きょうだいから何も支援されてはいない。
15	ひとり親対象の高等職業訓練を利用し、資格を取得、就職したが、親戚のサポートや親にお手伝いしてもらうなど、自身のバックグラウンドが充実していたから就職につなげられたと思う。そうした周囲からの支援のない人が利用しやすいような給付金の増額や手続きの簡素化が必要。
16	周りを見ると、ひとり親家庭が思っていたよりも多いと感じているが、親の負担のしわよせが子どもにかかってくると思うので支援してほしい。

17	ひとり親は、子どもの心のケア、お金を稼ぐなど一生懸命やっても、１人では本当に厳しい。資格を取ったり、仕事を頑張っても、父親がわりにはなれず、自分の心も体もケアできなくて、投げ出したくなる時がある。それでも、子どもと生活のために働いているが、物価高騰と時代についていけない。
18	正社員で仕事をしていても、生活に余裕がなく、毎月なんとか暮らしている状況で塾に行かせるなど、とても余裕がない。家賃補助や、塾や習い事の補助があると助かる。
19	子どもの体調、自身の体調で仕事は休まないといけないケースは多いと思う。それにより信用や収入が減り、生活も苦しくなるとメンタルが保てない。
20	子どもが中学校に入って不登校になり、今は縁あって全寮制の中学校へ入学し、子どもは楽しく過ごせているが、ひとり親なため、月に 11～12 万学費がかかるので、正社員で働いているところの給料が半分持っていかれ、私自身が生活できないのでかけもちでアルバイトをしているが、国民年金や健康保険、家賃も上がり、子どもへの学費がかかるからといって減免されない。働けば働くほど公費が上がり、肉体的にとてもしんどいため。
21	自分も以前母子家庭で、広島市の援助があり看護学校に通ってとても助かった。今、再婚しているが、母子家庭でもお母さんが資格をとったり、いきいきと生活できる援助を続けてほしいから。
22	私一人で育てているため、日々の生活に追われ食べさせるのが精一杯で、夏休み等、子どもはどこかへ行きたがるが、行き場所がお金の掛かる所ばかりで限られてしまい、すまない思い。クールシェアできるような場が全く無くて困っている。
23	子どもは多くの大人が関わって育てるべき。社会で育てるべき子どもを一人で育てるのは大変。特に母親は金銭面が大変だろう。父親もＰＴＡなどの母親メインの活動は大変。一人でできないことは社会で支援すればよい。
24	ひとり親でフルタイム勤務は想像以上の労力。できる限りの支援を求めている。子どもにみじめな思い、気を使わせないように毎日必死。
25	収入が少し増えたとしても、子どもへのお金もかかるようになってきている。例えば、学校からタブレットを持って帰り宿題するようになったため、ＷｉＦｉが必要となり、今まで利用していなかったＷｉＦｉをつなげたなど。
26	養育費の取り決めや面会については、親がしっかりしていないと、取り決めされないことが多いと聞く。子どもの権利であるため、しっかりと取り決め、実行してほしい。そのために、第三者が介入し、感情任せにならないようにしてほしい。自分自身が離婚した際、大変だなと思った。自身は取り決めをきちんとしたが、疲れて、取り決めをせずに離婚する親も多くいるだろうなと感じた。
27	親が病気などによりフルタイムで働けないとき、苦しくならないようにできたらいい。物価が高くて苦しい。
28	母子手当などすごく助かっているが、それでも足りない時がある。高騰化で出費もかさんでとても苦しいから。

＝「障害のある子どもやその家族への支援」の理由（163 件）＝

障害のある子どもや家族へのサポートの充実を求める意見が多くみられるほか、社会全体での障害者等への理解の促進や、支援内容や相談窓口の情報提供の充実を求める意見、中学校卒業後の進路への不安についての意見等がみられる。

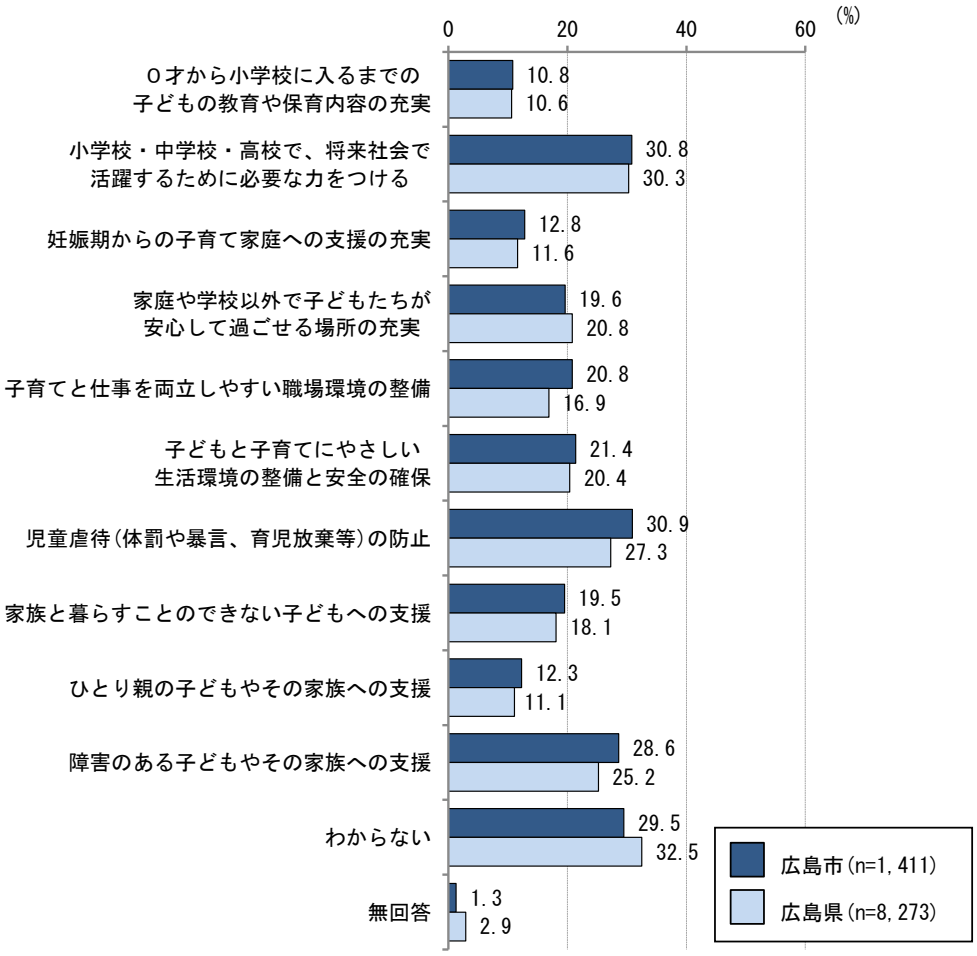
1	子どもがＡＳＤ（自閉スペクトラム症）だから。今は支援級で楽しくやっているが、高校以降どうするのかとても悩んでいる。
2	私も子どもも障害があって、今現在支援を受けているから。
3	相談員さんの人員増加。特支学級指導員さんの増員。
4	障害のある子ども達が暮らしやすい世界が作られれば、健常児も住みやすい世界へとなっていると思われるから。親に少しでも余裕のある時間を作ってもらいたいから。
5	ことばの教室に通っているが、在籍している学校にないので毎回保護者が仕事を休んで付き添いを要する。毎週付き添いで、公共交通機関がなく自転車で通っているが雨の日に行けない。歩道は、通勤時間なので歩行者が多くて子どもがフラフラ自転車に乗り事故を起こしそうで心配。義務教育なので、子どもの学校にことばの先生が来て指導してほしい。ことばの教室のある小学校に在籍していれば上記のような危険と負担はないので、格差を感じる。
6	広島市児童総合センターに障害のことで相談をしたくても、なかなか予約がとれない。もっと枠を増やしてほしい。また気軽に行けるようにしてほしい。
7	家族はつきっきりで休みはないと聞く。もう少し預ける環境の整備、そして、卒業後、成人後の施設の整備をしっかりしていただきたい。
8	中学校の通級教室を安佐北区、安佐南区にも作ってほしい。通いたいのに遠くてあきらめる人もいるし、通う場合も近い人に比べて、時間的にも金銭的にも負担が多い。
9	障害のある子どもへの支援にどのようなものがあるのか知らないことの方が多い。自分で調べないとわからないような仕組みではなく、皆が知っていて当たり前のように、子どものうちから障害についてや相談窓口など、知る機会、学ぶ機会があると、必要な人がより支援を受けられるのではと思ったから。
10	療育を受けたくても予約が取れない、定員オーバーで入れない等、もやもやする。時間がかかりすぎる。親が動かないと何も情報を得られない。ＨＰを見てもよくわからない。「詳しくは各区役所へ」とあるけど、仕事しているから行けない。行けないからＨＰで調べたのに。障害のことだからなかなか人に相談できないし、もっと情報をオープンにしてほしい。そして、例えば「この障害の人は、こういう支援が受けられる」「民間療育施設の紹介」「手帳を取得するとこういうサービスが受けられる」等、もっと簡単に情報を得られるＨＰの作り方、見せ方をしてほしい。また仕組もよくわからない。育てにくい子は、ずっと育てにくい。年齢によって支援内容は変わるのに、低年齢児の支援、対応方法の情報ばかり。中学生以上の支援対応方法の情報もほしい。特に障害度合いが軽いと特別な支援からはずれ、どうしたらよいのか分からなくなる。
11	下の子に障害があるが、所得制限で毎月数万円、放課後デイサービスにかかってしまう。しかし、学習支援をしている所は少なく、個人で家庭教師等利用することは経済的にも、共働きの環境的にも難しい。
12	障害を持つ子にも平等な教育を望む。軽度知的だと特別支援学校に入ることもできずに、行く場所を失って将来が不安。

13	障害児の日々を支えてほしい。通学にバスを使用しているが、付添が必要で父母・祖父母が疲弊している。移動支援サービスを探したが、地域、時間帯的にどこも断られてしまった。支援学級は、小学校では個人に合わせた対応をしてくれていたのが、中学校では担任と１対１であるにも関らず、担任が教科を受け持っていること、支援スタッフが足りないことを理由に、１人で交流クラスでよくわからないまま過ごしていることがあるとのこと。担任はアフターフォローをしてくれているが、本人のストレスが強く、他にもいろんな面で限界を感じている。
14	保護者が右半身麻痺。中学校には手すりが右しかなく、参観日など参加したくても階段を上がれず、いつも悲しい気持ちになる。右、左両方手すりがあれば、上がれて参観等見てやれるのにと思う。
15	自分の子は精神疾患があり、アルバイトをすることもまだ困難で、プロのカウンセリングを受けることは、かなりのお金がかかる。将来が親・子共々に不安で、精神疾患がある子でも、働くことができる所を紹介してもらえたりすると助かるし、週一でも、人と話ができたり悩みを相談できる場が近くにあると、社会に出る準備ができるのにな、と思う。
16	同じ子育てをする親として、障害のある子は本当に大変だと思う。障害をもっている大人の方も含めて、その子や大人の方達が前向きに将来を考えられる体制づくりがされたらいいと思う。
17	上の子が小学校不登校を経験しているが、タブレットが配布してあるので、リモート授業を家でも受けられたら中学へ対応しやすくなると思った。不登校だと親が子どもから離れられず、働ける場がみつからない。塾に行かせたくても費用のことで困っている方もいた。１日２～３時間、週２～３日、子どもの都合で休める職場はない。
18	障害児をもつ家庭の負担を、ある程度社会全体で分かちあうような世の中になるべきだと思うから。
19	自分が子どものときから、障害のある子どもたちと健常児との関わりが変化していないことを感じる。親の負担を思うと心が痛む。中学生になると、ほぼ周りから見えなくなってしまうことに不安を覚える。
20	支援が充実していることが周知されれば、我が子の障害を受け入れやすくなったり、障害をもつ他の子どもや家族に対する理解も深まりやすくなると思うから。
21	障害のレベルが低い人でも利用できる施設があればいいと思う。
22	支援級が増えているが、きちんと将来のことを見据えた教育や進学など。知らないまま中学卒業を迎え、その先の進路に困っている友人がいるので。
23	あらゆる人が幸せだと実感できる社会を。差別や偏見のないように教育も見直してほしい
24	我が子が自閉スペクトラム症で特別支援学級に在籍している。障害のある子に限らず、子ども達が手厚いサポートを受けられるよう、先生方の職場環境の整備に力を入れていただきたい。
25	障害のある身体ではなく、発達障害や心の障害の場合、外からの理解が得られ難く、学校での対応も不十分に感じる。
26	障害をもっている人が特別ではなく、皆同じでお互いが誰しも当事者になりうる。お互い助け合う地域になってほしい。まだまだ健常者に比べたら、選択肢が少ないと感じるから。
27	子どもが中学生になってから発達障害があるとわかった。色々な面でサポートが必要だが、想像以上の費用がかかる。子どもには将来元気に社会で生きてほしいが、親としては経済的に苦しい。重度の障害には手厚い支援が必要だが、軽度の障害には特に何もない気がする。経済的理由からサポートを諦めている家庭も多いのではないかと思う。現金支給ではなく、軽度の障害者たちが、学びや働きやすい環境をサポートしてほしい。

（2）子ども

子ども票問 24. あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。（上位３つまで）

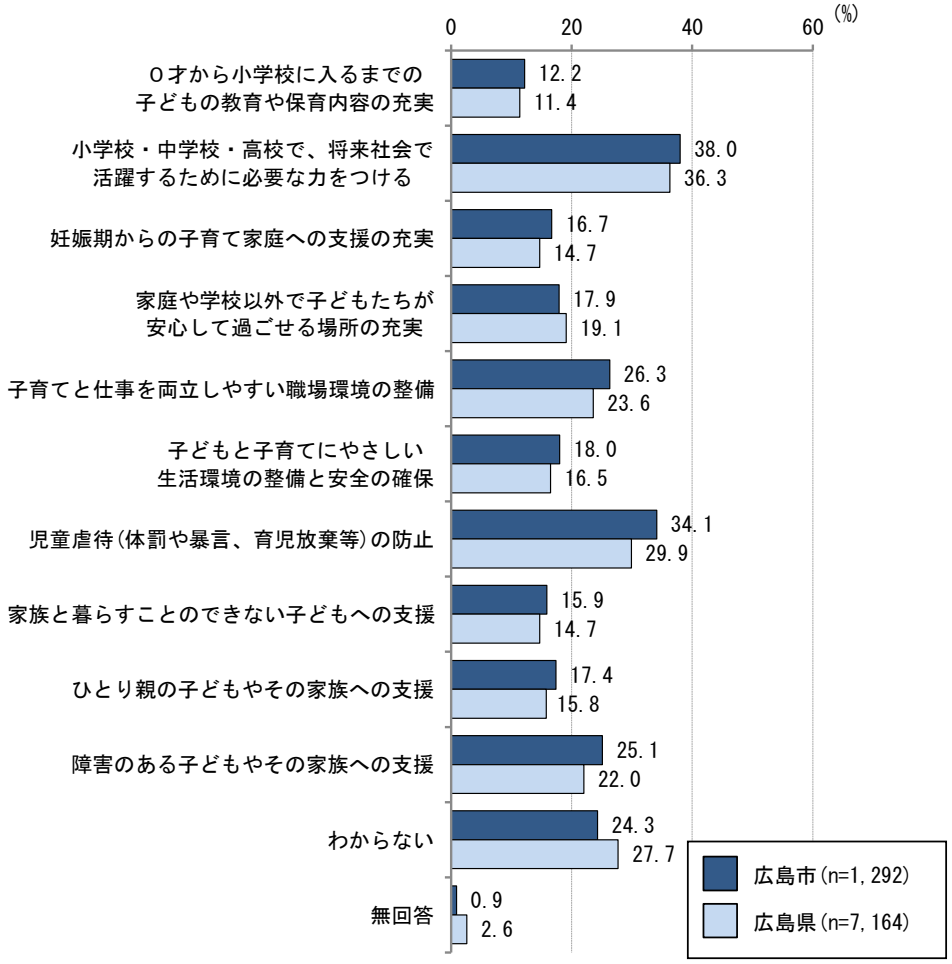
＜小学５年生＞



力を入れてほしい子どもに関する取組について、小学５年生では、「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」が 30.9%と最も高く、次いで「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が 30.8%、「障害のある子どもやその家族への支援」が 28.6%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

子ども票問 24. あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。（上位３つまで）

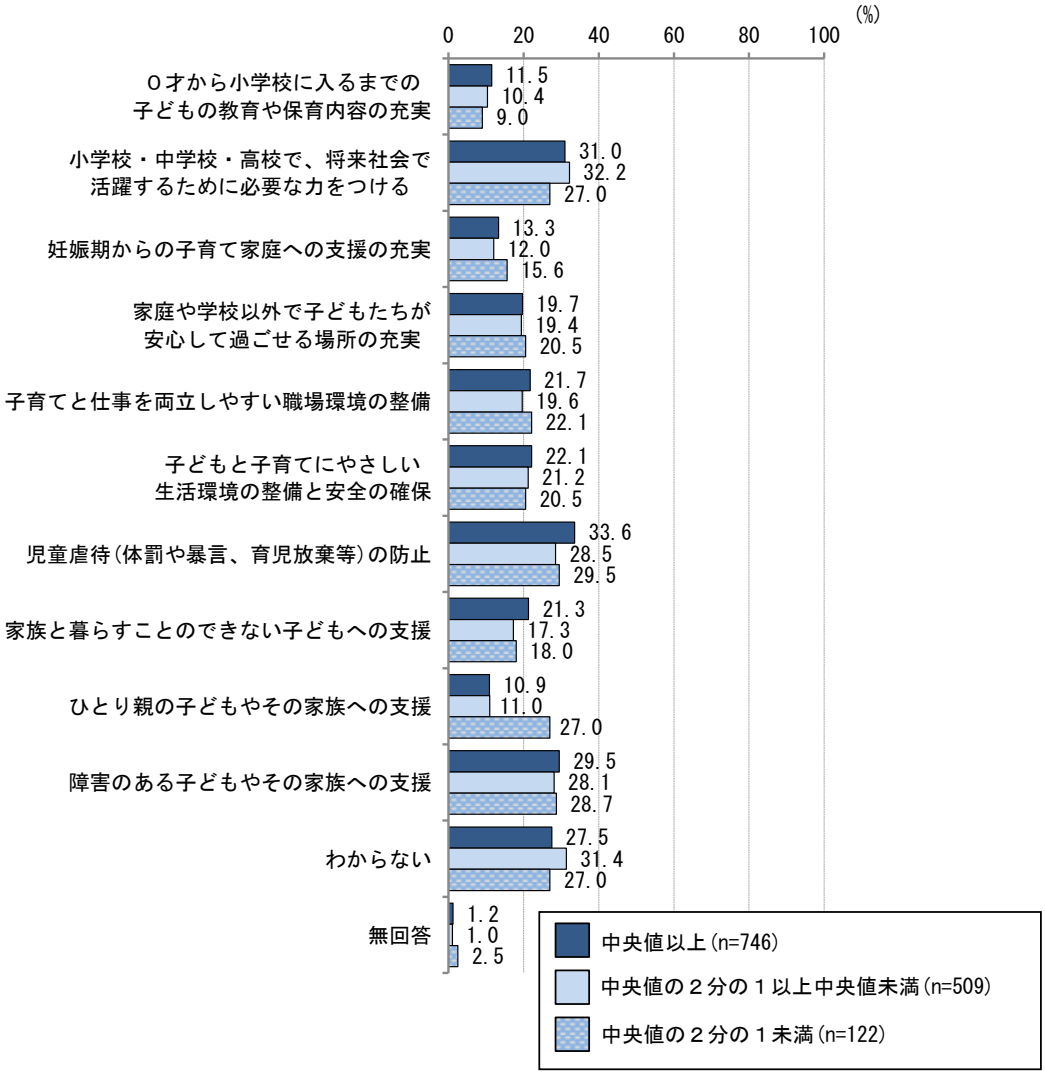
＜中学２年生＞



中学２年生では、「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」が 38.0%と最も高く、次いで「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」が 34.1%、「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」が 26.3%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

子ども票問 24. あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。（上位３つまで）

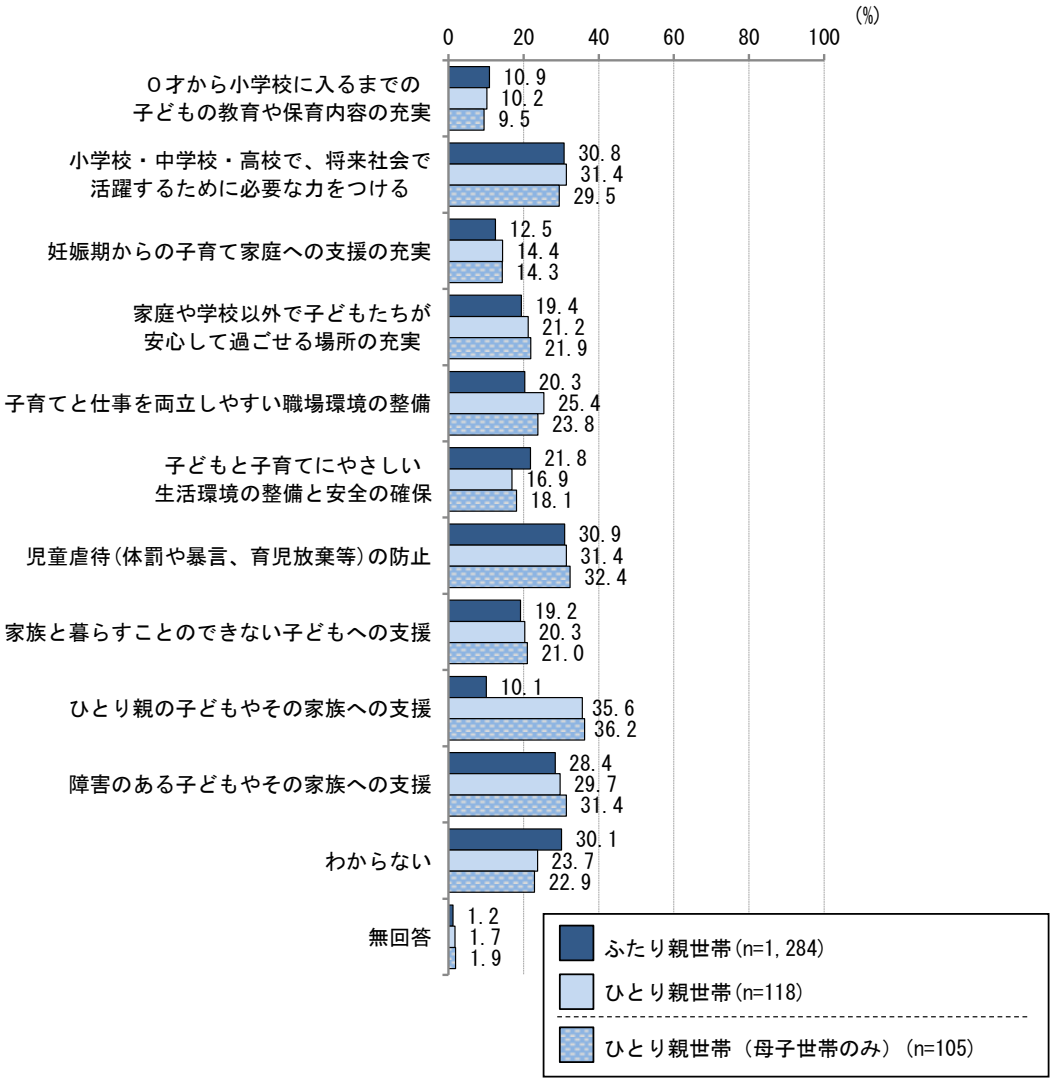
＜等価世帯収入の水準別（小学５年生）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が 27.0%と他の世帯と比べて高くなっている。

子ども票問 24. あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。（上位３つまで）

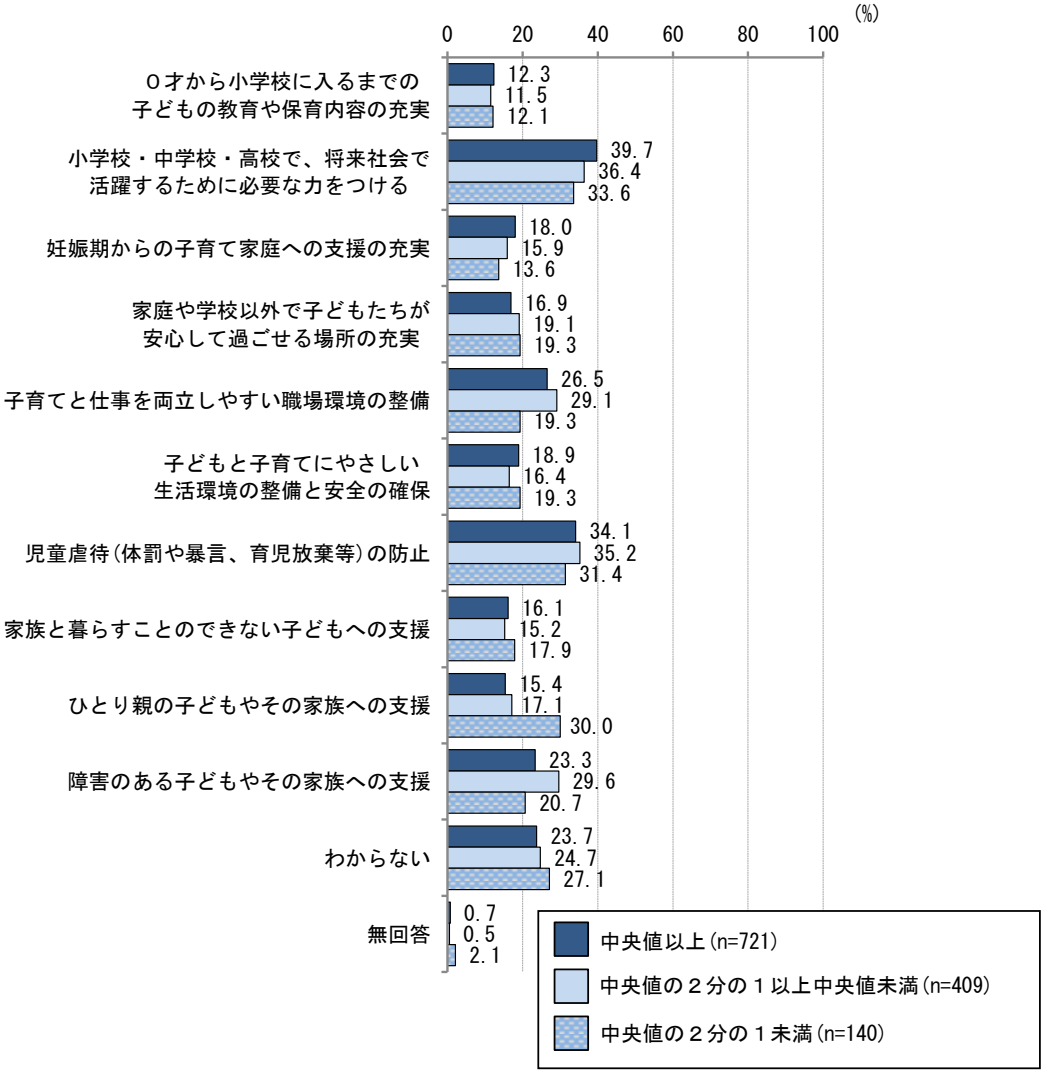
＜世帯の状況別（小学５年生）＞



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」が25.4%、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が35.6%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

子ども票問 24. あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。（上位３つまで）

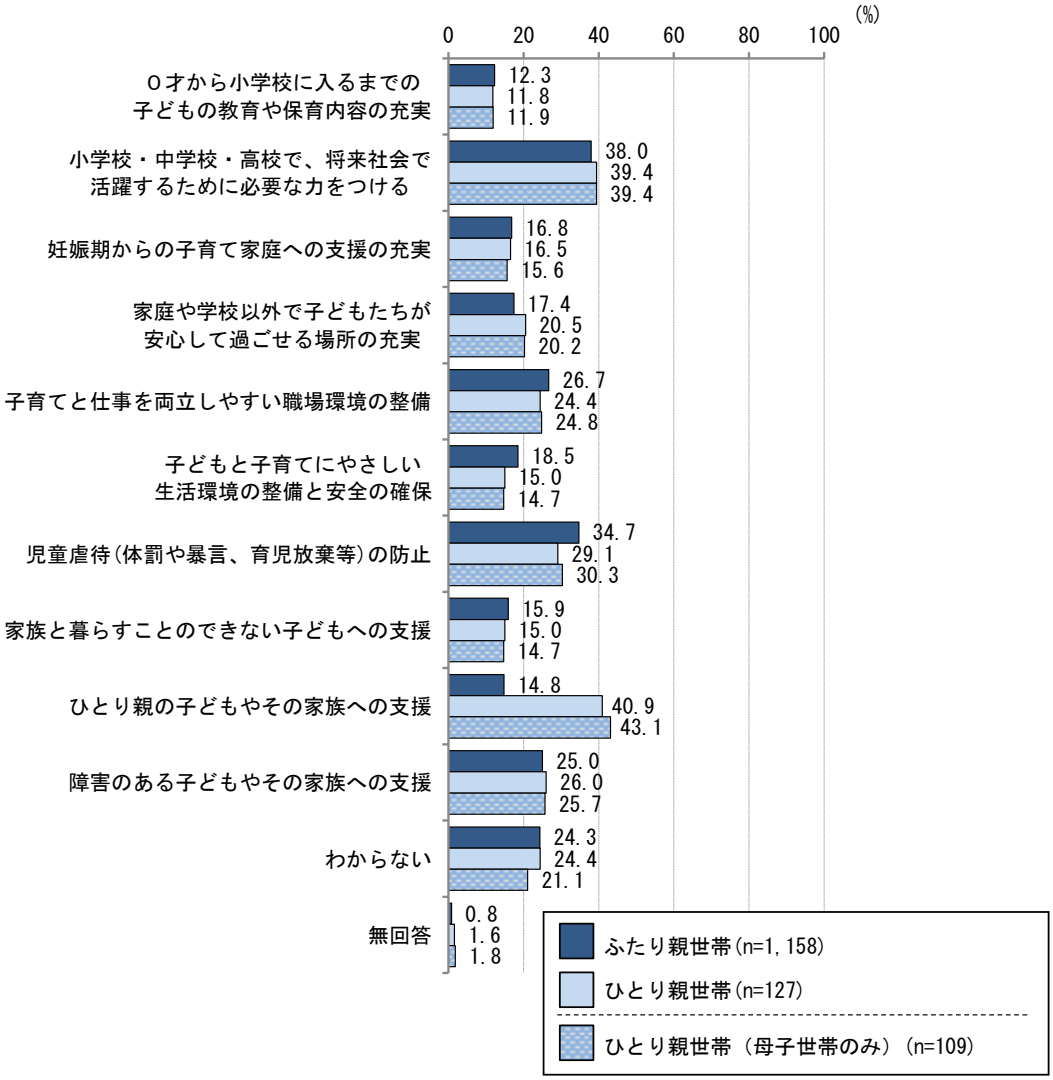
＜等価世帯収入の水準別（中学２年生）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が 30.0%と他の世帯と比べて高くなっている。

子ども票問 24. あなたは、広島県の子どもに関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。（上位３つまで）

＜世帯の状況別（中学２年生）＞



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「ひとり親の子どもやその家族への支援」が40.9%と「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

※問 24 で「１～10（「11　わからない」以外）と答えた方に

子ども票問 25．理由があれば教えてください。

＝「０才から小学校に入るまでの子どもの教育や保育内容の充実」の理由（63 件）　＝

小学校に入るまでの教育の大切さについての意見等がみられる。

1	小学生になるまでの過程で必要なものは全て学ばせた方が、よりよい社会に繋がると思うから。
2	質の高い教育をすることで、いろいろなマナーを学べると思ったから。
3	若いころから教育をしっかりしたら、小学校が楽だと思うから。
4	保育園でのトラブルのニュースをよく見るから。
5	これの対策をしないと、どんどん人が減ってしまうと思うから。
6	今、子どもを育てられると思えるような仕組みが必要であるため。
7	親の負担を減らせると思うから。
8	今、ぼくの弟が１才で、お金のことが大変だとお母さんが言っていたから。
9	いい思い出などができて充実したから。
10	私が保育園に行っていた頃に自然とふれ合う機会が多く、いい経験になったと思うから。
11	子どもの育つ環境は、将来に影響すると思う。
12	最近幼児が虐待で亡くなる事故があったので。
13	小学校に入るまでに英語の勉強などをしていたら、小学校などで勉強するときに頭に入りやすくなると思うから。
14	教育や保育内容の充実によって、子どもに必要な力をつけてほしいから。
15	少子高齢化が始まっているから。
16	最近、バスの中に置き去りで亡くなった子どもが多いから。
17	小学校に入るまでの教育が大切だと聞いたことがあるから。
18	弟が保育園に入れてないから。
19	学校などでの教育がしっかり行われていれば、多少なりとも日本がよりよい国になると思っているから。
20	基礎知識がないと、それからが大変だから。
21	０さいから小学生までは、体がまだ弱いから。とくに力をいれてほしかったから。

＝「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」の理由（195 件）＝

コミュニケーション力、思考力、表現力などの大切さについての意見等がみられる。

1	将来の日本の発展につながるから。
2	勉強以外の力も必要だと思うから。
3	コミュニケーションの力があると、誰とでも丁寧な言葉で話すことができるから。
4	学力ではないが、基礎的な生活力が足りないと思うから。
5	その力を使ってお金を稼ぐから、その力が不足していたらお金が稼げない。
6	やり方だけでなく、考え方（どうしてそういうやり方なのか）も教えてほしい。
7	塾など行かなくても、学校だけでしっかり基礎学力がつくよう学校の方でお願いしたい。
8	コミュニケーション能力や表現力、思考力は、将来社会に出て最も重要なことであるから。
9	もう少しお金の話や税金の話など、将来のためになることをしてほしいから。
10	社会人になって活躍できれば、その人も嬉しいと思うかな、と思ったから。
11	コロナでマスクをしていたので、コミュニケーション能力が落ちていると思うし、子どもの教育には、もっと力を入れた方がいいと思うから。
12	将来に必要な力をつけたら、将来、就活などがしやすくなるから。
13	最近、高校の面接の制度なども変わって、将来的に必要なのは学力のみではないだろうと思ったから。
14	将来のために生かせる力を中学生のうちにもっと知り、実行できるようになりたいから。
15	今年から受験制度が変わって、表現力などが加わったから。
16	教科書で習ったことだけでは将来やっていけなさそうだから。
17	受験をするときに面接や自己表現があるので、コミュニケーション能力を高められたらいいなと思ったから。
18	思考力、表現力を伸ばしたいから。
19	学校で学んだことを将来社会で使えるようにして、日本を支えていけるようになりたいから。
20	勉強も大事だけれど、それ以外の能力などにも、もっと力を入れてくだされば、犯罪や怖い事件が減ると思ったから。
21	塾ではなく公立の学校で学力を充分につけることが可能なら教育費を抑えることができ、少子化防止につながると思うから。
22	これからの時代は、思考力や表現力が必要になってくると思ったから。
23	社会に出た時のふるまい方などを、大人から知っておきたいから。

24	グローバル社会に向けて、人とのコミュニケーションが大事になると思うから。子どもの学力の格差が問題になっていると聞いたことがあるから。
25	現代ではインターネットを使ったパソコンやスマホなどのコミュニケーションツールが主流になっているため、コミュニケーション能力の向上や学力を伸ばすことは必要であると思うため。
26	最近ではインターネットなどを使うことが多くなっていて、人と話すコミュニケーション能力が落ちていると思ったから。
27	将来、社会で活躍できる人が多ければ多いほど良い社会になるし、勉強以外の思考力・コミュニケーション力は、学力よりも大切だと思うから。
28	子どもがどんどんレベルアップしていけば、その子どもたちが大人になって日本社会もレベルアップしていけると思ったから。
29	今はとてもインターネットが発達していて、直接人とコミュニケーションをとろうと積極的に行動している人は少なく感じ、インターネットに依存してコミュニケーション能力の発達が進んでおらず、人との関わりが少ない人が多いと感じたため。
30	今の高校受験などは面接もあるし、コロナのせいで、コミュニケーションの取り方が分からなくなったり苦手な人がいると感じたから。
31	今の小学生、中学生、高校生は、ＳＮＳに触れる時間が増え、大事なことを学べていないと思うから。
32	政治・経済に関する授業を行ってほしいと思ったから。

＝「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」の理由（110 件）＝

妊娠期からの心身や経済的な面に対する支援の大切さについての意見等がみられる。

1	子育てへのお金がないと生活できない。これが児童虐待につながる場合もあると考えたから。
2	子どもを大切にしてもらうためにも、安心して産んだりしてほしいから。
3	妊婦さんへの差別の目が世の中にあると感じたから。
4	産後うつなどの話題をよく聞くから。
5	妊娠中の不安が少しでも減ってくれたらいいと思ったから。
6	出産への不安などを１人で抱え込んでほしくないから。
7	少子高齢化を防ぐために、子どもを産もうと簡単に言うのは無責任だと思うから。まずは基本をしっかりさせて、子どもをもつことに安心感をもたせる必要があるとも思うため。
8	子どもを産んだ時や、その後の子育ても、お金や時間がかかるし、健康な子どもを育てるために必要だから。
9	シングルマザーの方などのための心のケアをしてあげたほうがいいと思ったから。
10	妊娠や子育てに困っている人が相談できる場がなかったら大変だから。

11	最近は子どもを産むことに対して前向きな人が少なく、このままだと少子高齢化が進んでしまうから。
12	子育ては親に負担がかかり、家族に言えないことがあったりすると思うので、少しでも相談しやすい環境を作ることで虐待の防止につながると思うから。
13	物資の支援や、お金の支援があると安心できると思う。妊娠期から支援があると、安心できると思うから。
14	少子高齢化だから。自分が将来妊娠したときに、支援などがあれば嬉しいから。
15	子どもを育てることはとても困難で分からないことだらけだから、だんだんストレスなど精神的負荷がかかってしまうから、心のケアと同時にそういった支援をしたらよいと思ったから。
16	妊娠している人たちが、気持ちが落ち込んでいる時や、安心していける病院があった方が、気持ち的に楽になると思ったから。
17	もし自分が子どもを産むとなったとき、初めてでとても不安だから、産む前から産んだあとの少しの期間だけでも、心のよりどころとして、充実していてほしいから。
18	妊娠して困っていて、いつでも気軽に話せる所があると、安心できると思うから。
19	安心して子どもが産めなかったら不安だし、子どものことで悩んでいる人がいると思うから。
20	妊娠中は気分がしずみやすいし、母子共に健康なために、医療の充実は大事だと思ったから。
21	子育てなどは、初めての大きな経験なので、多くの人が不安をかかえていると思ったから。
22	現在、日本では少子化がすすんでいる。少子化をとめるためには、子を育てやすい環境などを整えるとよいと思うから。
23	出産準備の費用が高かったりなどの理由で、子どもは欲しいが金銭面で諦める人が減ると嬉しいと思ったから。
24	妊娠したらストレスもたくさんたまりやすそうだから、相談できるとストレスが少しでも解消できそうだから。
25	子育てにはたくさんのお金がかかって、精神的にも大変だとよく聞くから。
26	最近、子育てをしたがらない人が増えているから、これをすると、みんなが子育てをすると思ったから。これをすることで、人口減少も少しは止められると思ったから。
27	妊娠の過程や生理のことを男女関係なく十分な知識を得て、望まない妊娠の予防、生理への理解を広げるため。
28	少子化対策としては、これが一番の策だと思うから。
29	少子化もあり妊娠の時サポートしてもらう場があれば、安心できるから。

＝「家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる場所の充実」の理由（84 件）＝

ひとりでも安心して過ごせる場所や交流できる場所の大切さについての意見等がみられる。

1	私も、親が仕事でいなかったとき行ったことがあり、たくさんお世話になったから。
2	公園がなく、遊べる場所がないから。
3	仕事をしていて、遅くまで帰ってこない親の人もいると思うので、その子どもが安心して過ごしてほしい。
4	親が遅くまで帰ってこない子や自分がつらいという子が安心していけたらいいなと思ったから。
5	イベントやプログラムで楽しめる内容だとよいので、いつもの行くだけではなくて、内容の充実したプログラムをお願いしたい。
6	虐待やいじめなどがあり、家でも学校でも安心できなくて、ストレスなどをずっとかかえて困らないように、少しでも安らぎを提供すべきだと思った。
7	家で安心に過ごせない子も、そういう場があると少しは楽しいと思うから。
8	保育所や放課後児童クラブが増えれば、共働きの家族でも安心して子どもを預けられるから。
9	片親だと親に自由が少ない気がしているので、子を安全に預けられる場所があれば、親も楽かなと。
10	学校に行けない子どもたちのために、安心できるような場所を見つけたい。
11	１人でも安心できる施設があればいいなと思ったから。
12	学校以外で集中できる場所がほしいと思ったから。
13	友達と勉強会を開きたいけど、勉強できる場所がない。他の友達は、仕方なくファミレスで勉強会を開いていた。
14	小さい時に感じたのが、世の中をあまり知らないので、学校や家内でつらいこと、嫌なことがあっても、それが全てで、自分が我慢するのが当たり前だと、本当に世の中のせまい所しか知らないので思い込んでしまう節があるので、様々な人とふれ合ったり、支えあったりして、色々な価値感だったり、こういう手段があるんだよと知ったり、考えたりできる所は大切だと思ったから。
15	自分も放課後児童クラブに行き、たくさんのことが学べたから。子どもが他の子どもとコミュニケーションを取ることで、会話が上手になったり、友だちができたりするから。子どもの居場所として、もっと作ってほしいから。
16	外で思いっきりサッカーをできる場所がほしい。近くにサッカーを自主練できる場所がなく、どこでボール遊びをしても大人に怒られる。
17	安心して過ごせる場所があるだけで、心が安定する子もいると思ったから。
18	親の仕事帰りが遅いなどのために、少しでも心を安らげるようにと思ったから。
19	家庭や学校で、ふとした瞬間に息が詰まったり、ちょっと気分が沈んだりするため、それら以外でリラックスできる場所がほしいから。

20	自分も時々家にいて不安なことがあったりするので、そういう場所を増やしてほしいから。
21	家庭や学校外で安心できる場所があれば、ドラマで見た、居場所がなくて悪い人に居場所を求め、事件にまきこまれることが少なくなると思ったから。
22	私も児童館などに行っていたから、もっといろんな人が使えるようにしてほしいと思ったから。
23	不登校の子どもなどの自分の居場所を作ることができる、他人と交流する場を増やすことで、子どものコミュニケーションする機会が増え、コミュニケーション能力が上がるから。
24	複数のコミュニティを持つことで自分の新たな面を見つけられると思うから。

＝「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」の理由（159 件）＝

子育てがしやすい柔軟な働き方の大切さについての意見等がみられる。

1	育児や子育てのために休暇を取りやすいことで、子どもと同じ時間を共有でき、子どもの発達につながるから。
2	仕事によるストレスが軽減されると思う。子どもをしっかりみられるから、両親どっちも、好きな仕事ができると思った。
3	子育てと仕事を両立することは難しいことだと思うし、そのためにも少しでも子育てに専念できたらいいと思ったから。
4	自分が大人になって親の立場になった時に、あってくれるとうれしいと思ったから。
5	子どもの行事などで仕事を休みたいが休みにくい環境があるため。
6	自分は将来子どもをつくりたいと思っているし、なりたい職業があるから。
7	親が頑張りすぎてイライラしてしまうと、余計いやな思いをする人が増えると思った。
8	よく母の仕事の話を聞いていて、すごく忙しそうだと感じたから。いつも母が疲れていて、しんどそうだから。
9	私達が大人になった時、子育てと仕事の両立は当たり前になっていると思うし、ひとり親になった場合も考えたから。
10	父さん、母さんが帰ってくるのが遅くて寂しいから。
11	親が仕事をしているところをみると、仕事と家の両立が大変そうだから。
12	私の母は、土・日あまり休みではない。私が一人で不安な時も、仕事であまり家にいないから。
13	女性は子育てのために仕事を辞める人がいると聞いたことがあり、子育ても自分がやりたいことも両立できた方が良いと思ったから。
14	お母さんが、仕事で疲れているのに、ご飯を作ってくれて、すこし心配だから。
15	夜にずっと１人でいたら、子どもは不安だと思うし、働く人も、ストレスになって、つらいと思うから。

16	子どもをもったことで、仕事を休みにくくなったり、両立できなくなったことで、子どもにいやな心を持ってほしくないから。
17	男性の育休をとるのが少ないと思うから、子どもが産まれた人は、仕事時間を少なくしたらいいと思うから。
18	自分の親が苦労しているから。
19	様々な家族の形があるのなら、それにあわせて、職場の形を変化していくべきだから。
20	実際に僕のお母さんは、子育てと仕事の両立をしていて、大変だったから。
21	子どもの不安を消すことと、大人への負担が減ってほしいと思ったから。
22	お母さんが、働いていた時に、なかなか休暇を取ることができなくて土・日も働いていたから。そして、今の社会、まだまだ男の人が赤ちゃんを見ることは少なく、また、育てる難しさも理解していなくて、「出産後すぐ働けるでしょ」という考えの人がいるから、休暇を取りやすくならないと思う。だから、法律などのしばりをかけないと、安心して子育てができなくなると思うから。
23	子育てと仕事をしている、特にお母さんは精神的に疲れると思い、両立しやすいと負担も軽くなるから。
24	自分の母はよく学校などの用事に積極的に参加しているが、子育てとの両立をうまくできずに、疲れで過去に一度倒れたり暴れたりしていることがある。だからこそ、子どもと子育てに優しい生活環境の整備を急いでほしい。
25	子育てと仕事を両立できないと虐待などにつながると思うから。少子高齢化につながると思った。
26	性的マイノリティについての問題や、男性の育休など色々な変化があるので、男性女性関係なく職場環境を整えたほうがいいと思うから。
27	仕事をしながら赤ちゃんの世話って予想以上に大変で、世話する人のメンタルにくると思うので、休みやすい職場づくりというのは大事なのではないかと思うから。
28	仕事をしたいけど、子どもの世話で働けないときに、食べる物に困ったり、虐待につながったらいけないと思うから。
29	現在、日本では少子化がすすんでいる。少子化を止めるためには、子を育てやすい環境などを整えるとよいと思うから
30	今は別に会社に行かなくてもオンラインで会議などに参加できるので、自宅で働ける環境をもっと作るべきだと思うから。

＝「子どもと子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」の理由（95 件）＝

大人も子どもも安全・安心に生活できる環境の大切さについての意見等がみられる。

1	夏は公園は暑すぎる。変な人がいたりしてこわいことがある。
2	小さな子どもは、飲食店とかで泣いてしまって迷惑になりがち。だから、親の周りへの気遣いが少しでも和らぐ、親にも赤ちゃんにも優しい施設を作ったらいいと思ったから。
3	小さい赤ちゃんをつれたお母さんが、気を使わなくてもいい場所を見たことがないから、お母さんに負担が多いと思ったから
4	バスが増えて鉄道が減ってきたから。鉄道の増加を期待する。
5	子どもに、安心、安全な環境、場所があれば、親、家族が安心できるから。
6	広島に、子どもが楽しめるような公共施設が少ない。
7	子どもが多い人などが助かると思うから。
8	大人になったときに出産したりしたら、公共施設の安全などは大切だと思うから。
9	ベビーカーを使って、移動している人を多く見てるから。
10	大人も助かるし、子どもにとってもいいことだから。
11	いろんな年代の人が施設を利用しやすくし、明るい街にするべきだと考えるから。
12	今、日本は少子化が進んでいるが、それを改善するのに役に立つかもしれないから。
13	安全と書かれている面で、地域でどんな人でも、生活しやすくしてほしい。
14	子どもの死亡原因率を見たところ、交通事故により亡くなる子どもたちがけっこういるため、もっと交通安全の教育に手を入れるべきだと思う。
15	子育てをする人達にも充実した生活を送ってほしいから。
16	その整備が原因で、子どもの命がなくなってほしくないから。
17	バリアフリー化をすすめたりすると、色々な人が楽に使えると思ったから。
18	妊娠している人は、子育てなどが大変だと思うから、使いやすくすると少しは楽になると思うから。
19	親は子どもを育てるのが大変らしいので、少しでも楽に子育てができる、楽しい、優しい環境になったらいいなと思うから。
20	大人と子どもの両方が楽しめる場所が少ないと思ったから。
21	赤ちゃんはベビーカーに乗るので、母さんは手が使えないので、手を使わずにいろんなことができる店になってほしいから。
22	バリアフリー化が進めば、色々な人が過ごしやすくなると思ったから。
23	いろんな所にミルクやご飯を食べるところ、オムツをかえるところなどがあると助かるから。

＝「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」の理由（282 件）＝

児童虐待は決して許されず、子どもを虐待から防ぐことが大切との意見が多くみられる。

1	ニュースなどで虐待のことを見て、防いでいくことが大事だと思ったから。
2	暴言などを言われて悲しんでいる人をほっとけないし、見たくないから。
3	ヤングケアラーなどは、友達にも相談できずに１人で悩んで追いつめられたりするのをニュースで見たことがある。親のせいで、子どもが不自由するのはどうかと思うし、ニュースなどで適切な処置が取られていなかったというのを見たこともあるので、相談した時に対応できるようにしてほしいと思ったから。
4	ニュースで見て、とてもつらい気持ちになるので、子どもたちの傷が深くなる前に助けてあげてほしいから。
5	最近テレビでよく耳にして、子どもたちが大人のストレスによって暴力を振るわれるのはおかしいと思ったから。
6	これから自分の意思や考えで生きていくために親が見本になると思う。それに、小さいころからそんなことされたら、トラウマになる。
7	その暴力のせいで、学校に行きたくなくなる子がいると思ったから。
8	ニュースで自分より小さい子どもが虐待を受けて亡くなっていることを知り、衝撃を受けたから。
9	虐待がなく、子どもが楽しく生きられるように。生きていきたいと思えるように。
10	虐待によって、その後の人生が大きく変化するかもしれないから。
11	親が虐待したら、子どもが結婚して、その子どもにするかもしれないから。
12	児童虐待は体も傷つくし、心も痛むと思うから、そのためにケアしてほしい。
13	ニュースで虐待で亡くなった子どものことを耳にすると、自分より年下の子が何も悪いことをしているわけでもないのに…と悲しい心でいっぱいになるので、絶対にこういうことがない世の中がいいと思ったから。
14	友達の知り合いで育児放棄されている人がいて、話を聞いてショックを受けたから。
15	１つの暴力、暴言で１つの命が消えるかもしれないし、いじめや事故・事件につながってよくないことになると思ったから。
16	子どもが自分の持っている才能を開花できるようにヤングケアラーを減らしていくため。
17	ほんの少しのことで怒られても、子ども側もそれは驚くし、それで殴られたり、自分が嫌に思っていることに対して軽くあしらう的な感覚で言われても心も傷つくから。忘れたくてもずっと忘れられずに苦しくなる子もいると思う。
18	子どもの体や、精神を傷つけることは、大人になってからも心の傷だったり、トラウマになってしまうかもしれないから。
19	自殺をしてしまう子どもがいるかもしれないから。親に話を聞いてもらえなかったり、暴力を受けて毎日苦しんでいる子どもに寄り添ってあげたいと思ったから。

20	子どもと子育てに優しい生活環境が充実されていないと子どもにストレスや悲しみ、苦しみを持ってしまって、自殺などの大きなことに繋がらないために選んだ。
21	虐待を受けることによって、子どもの頃を楽しめないから。人間と接することがこわくなったりして、将来自分がしたいことがしづらくなる。
22	虐待をされたら、恐怖心とずっと戦わなくてはいけなくなるから、その子の明るい未来のために虐待をなくせばよいと思ったから。
23	児童虐待はよくないことだし、１度そのようなことが起きると、その子がずっとつらい思いをかかえたまま、成長していったりするのはよくないし、トラウマになったり、自殺してしまったり、悲しいことになってしまうことになるし、その子の心の負担がすごいから。
24	児童虐待をしていると、大人になった児童が、子どもに対して虐待をしてしまうかもしれないから。
25	虐待をされた人は、将来トラウマになると思う。虐待した側も、将来上手くいかなくなるかもしれないので、そういうことは、防止してほしいと思ったから。
26	苦しめられている子どもがいてはいけないし、それを助けないということは、いじめみたいなものだから。
27	最近、児童虐待などの事件をニュースで見て、虐待はとてもつらいことなんだと知ったから。

＝「家族と暮らすことのできない子どもへの支援」の理由（114 件）＝

家族と暮らすことのできない子どもが安心して暮らせることを望む意見が多くみられる。

1	家族と暮らすことのできない子が世の中にはたくさんいて、かわいそうだと思ったから。
2	里親でも良いから、家族の大切さを知って大切なことだと知ってもらいたいから。
3	家族と暮らすことのできない子ども達を１人ぼっちにさせてあげたくなかったから。
4	子どもの不公平を無くしてほしいと思ったから。
5	何か理由があって家族と暮らすことができない人がいることを知って、自分の生活が当たり前ではないと気付いたから。
6	家族がいない子どもたちに、家族と暮らすことについての楽しさを知ってほしいから。
7	１人でいるのは、自然と気持ちが落ち込んでしまったりすると思うので、誰かそばにいることで少しでも気持ちが和らぐと思ったから。
8	大切に、愛されるように、寂しくならないように育ってほしいから。
9	子どもは一人で抱えこみやすいから、まずは大人の支援よりも子どもを支えてほしいと思ったから。
10	そのような子が犯罪にまきこまれることを防ぐため。
11	家族と暮らすことができない子どもが里親やファミリーホームに入ると、その子どもの暮らしが少しでも楽しくなると思ったから。

12	本当の家族がいなくても、ごく普通に生活を送って、周りとの差別やいじめがおきないようにするため。
13	１人だと不安になったり、寂しいことがあるけど、周りに信頼できる大人がいることで、その気持ちが少しでも和らぐと思ったから。
14	ニュースで家族と一緒に暮らせない子どもを見かけた時に、もし自分がそうだったらと考えると涙が出てくるから、誰にもそういう悲しい思いはしてほしくないと思ったから。
15	家族と暮らせないと子ども１人ではなにもできないから、少しでも受け入れやすい施設で幸せに暮らしてほしいから選んだ。
16	「恵まれない」とつらい思いをしているのに支援も少ない人と、手に入れることも手放すことも簡単にできる自由な人との格差が気になるから。
17	自分は家族と暮らせているけれど、中には親と暮らせていない子どももいる、と考えると、すごく悲しいし、つらいと思うし、そのような子がいる今の日本、世界はよくないと思うから。だから、そのような子どもを減らすために、力を入れてほしい。
18	家族と暮らすことのできない子をそのままにしたらかわいそうだから。
19	家族がいないとつらくて悲しいから。
20	家族は励ましてくれたり、愛情を注いでくれるので、家族といられない子どもたちには、支援をしてあげてほしい。
21	ネットで「施設の管理がよくない」みたいなのを見たことがあるので、１人でも多く、そんな人たちをきちんと支援してほしいから。

＝「ひとり親の子どもやその家族への支援」の理由（91 件）＝

ひとり親世帯の負担が軽くなることを望む意見が多くみられる。

1	その親が育児放棄をしてしまったら子どもがかわいそう。
2	私の知り合いが片親で辛い思いをしていることを聞いたことあるから。
3	ひとり親は子育て、仕事の両立が難しくて時間がないので、ちょっとでも楽にしてあげるために支援が必要と思う。
4	自分の家がひとり親なので、お母さんが「疲れた」と言う回数が減ればいいな、と思うから。自分の家と普通の家の差を感じたくないと思うから。
5	自分のお母さんがひとり親で、本当に大変そうだから。
6	家がシングルマザーのため。
7	自分もひとり親の家庭で育ち、その大変さが分かるため。
8	親が母親しかいない、ひとり親家庭の子どもは自分だから。
9	友達にもひとり親の子がいて、そういう人たちの苦労が少しでも減るといいなと思うから。
10	ヤングケアラーなどが増えているから。
11	友達がいつも親のことや金銭的なことを考え、遠慮していたから。
12	実際に私もひとり親で母に支えてもらっていて、母は１人で働いて私を育ててくれている大変さを知ったから。
13	親が１人だからと、中高生など若いときから仕事をしないといけないという環境はよくないから。その子が夢を諦めることがないようにしてほしい。
14	ひとり親で育てていくのは身体的に辛いと思うから。
15	ひとり親で子どもを育てるのは、ただでさえ大変なのに、お金や居場所など支援が十分でないと思うから。
16	親が１人で子育ても仕事もしなければいけないのはつらいから。
17	小学６年の時、そのような子がクラスにいた。お母さんだけの家庭で、少しお金に困っているようで心配。
18	知り合いにひとり親の子がおり、サポートをしてほしいと思ったから。
19	その環境にいるから周りから対等に扱われなかったり、父の日、母の日なので作文を書きましょうとかあるけど、それが１番辛い。自然に言わざるを得なくなるし、ひとり親ということもあって、その分色んな面での負担が大きい。国はそこにもちゃんと目を向けるべき。
20	ひとりの親ということは子どもがヤングケアラーになる可能性があるから、少しでもお金などの問題を減らし、子どもとの時間を大切にしてほしいから。
21	母子家庭とか１人しか親がいないのに、働きながら育てるって、ハードワークすぎないのか、と思う。だから、子どもを預けられたり、家事代行サービスを安くするなど少しでも楽になってくれたらと思うから。

22	片親だったりすることによって不自由になることを減らすためや、親の負担を減らすことによって、親のストレスが無くなり、子どもを虐待するケースが減ると思ったから。
23	ひとり親で、金銭的に余裕がない家がたくさんあって、そのせいで普通に生きられなかったらかわいそうだと思ったから。
24	ひとり親の子はみんなと違う所があるから、その子だけの悲しみや孤独感もあるから、積極的にサポートしてあげたらよいと思ったから。
25	親が一人しかいないのだから、他の人がたくさん支えていくべきだと思ったから。

＝「障害のある子どもやその家族への支援」の理由（190 件）＝

障害のある子どもやその家族への支援や障害への理解の大切さを始め、障害のある人もない人も一緒に安心して暮らせる社会の大切さについての意見等がみられる。

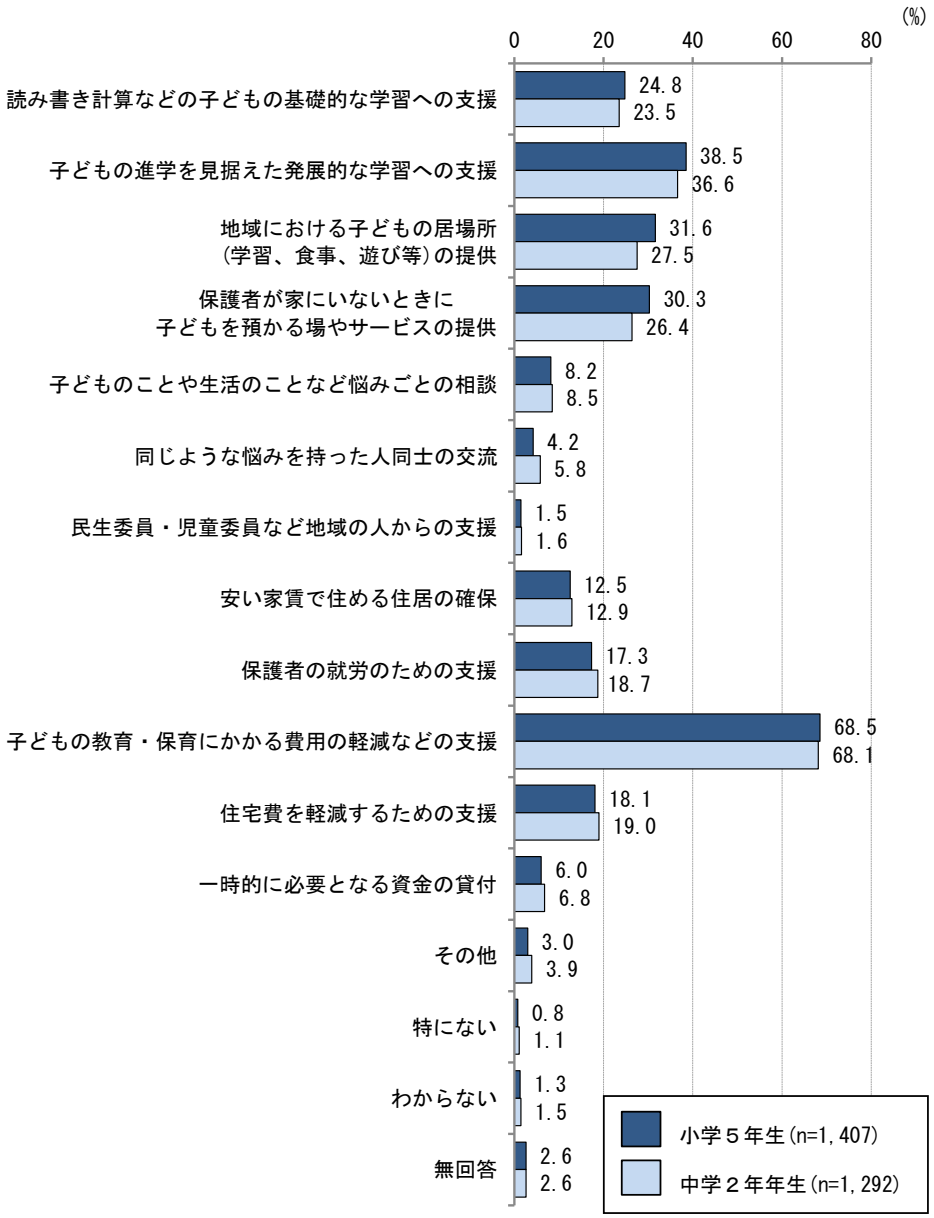
1	障害がある人は、普通の人と違って暮らしにくい場面に遭うかもしれないから、障害がある人には、せめて支援をしてほしいから。
2	なりたくて障害があるわけじゃないのに、陰でこそこそいう人を見たから。
3	障害のある子は、周りの人とそう変わらないような暮らしを提供してあげたいから。
4	私の友人に、聴覚障害を持っている子がいて、その子はたまたま近くに、特別支援学校がなく、遠くから車で通っていたから。近くにあったら、もっと楽だったのではないかなと思ったから。
5	障害のある人たちを知ってもらうための取組として、募金をもう少し増やしたり、その障害について学べる施設を増やしてほしいから。
6	自分の家族が障害を持っているから。
7	みんなと同じ環境でみんなが受け入れてくれる社会を作りたいから。
8	義務教育で、ハンデを持つ人を知る機会をもっと増やした方がよいと思うから。
9	障害をもっている子も、みんなと同じように勉強・生活などをしてほしいから。
10	障害があり差別などをされてしまい、学校や外に出られなくなっている人が世の中にたくさんいるから。
11	障害者は皆と違うからという理由で差別されたり、いじめられたりしている人がいると思うから、そのような人も皆と同じように勉強したり、ちゃんとした生活をして社会で活躍できるようになってほしいから。
12	自然に違いを受け入れる世の中になってほしいから。
13	今では他人から見ても分からない障害をもっている人や理解してもらえない人がたくさんいるから、そのような人を減らしたいと思ったから
14	障害をもっている人のために、障害のある人でも働けるお店などで働けるように支援したほうがいいと思ったから。
15	障害があっても普通の子と同じようにできるようにしてあげたいし、障害があるからといってできないわけじゃないと思ったから。

16	僕のクラスにも軽い障害を持った人がいるが、いつもみんなと違うことをしてからかわれたり、バカにされたりしていて、つらそうだと思っていた。でもそんな人でも僕たちと同じ人間で平等に公平であるべきだと思ったから。
17	よく障害のある子は就職できなかったりして、暮らしにくいと聞くので、そういう子がちゃんと暮らせる世の中になってほしいと思ったから。
18	障害があっても、公平に生きていけるようにするのは、大切だと思うため。
19	障害がある子たちも私たちと同じ人間であるから、同じような楽しい日々を過ごしてほしいから。
20	障害を持っている人も一緒に同じ社会を作り上げていきたいと思ったから。
21	その人にあった生活をしてほしいから。自分でも自分に合った、環境にいたいから。
22	障害という壁が自分だけにあることが原因でいじめられたり、健康な子を溺愛し、育児放棄という例があるので、その面を良くするべきだと思う。
23	障害のある人が、他の人と比べて生きづらさを感じていて、自分が障害者であることを人に言えない現状があるから。障害者施設が少ない。
24	同じクラスにそのような人がいるが、障害のない自分から見るととても大変そうに思えたので、支援などがあるといいなと思う。
25	私たちは障害の怖さ大変さを知らないけど、気持ちだけでも伝わればいいし、家族も楽になると思うから、今よりもっと障害のある人も楽しく過ごせたらいいと思ったから。
26	障害のある子も社会の１人として生きてほしいから。
27	障害があるからといって、他の子と違う不便な生活をしてほしくないから。
28	障害のある子ももっと充実した生活をしてほしいし、少しでも楽しくなってもらいたいと思ったから。

6　充実を望む支援［広島市独自調査項目］

保護者票問 32. 全ての子どもたちが生まれた環境に左右されることなく、夢と希望を持って成長していける社会の実現に向け、どのような支援が充実するとよいと思いますか。
（３つまで）

＜全体＞

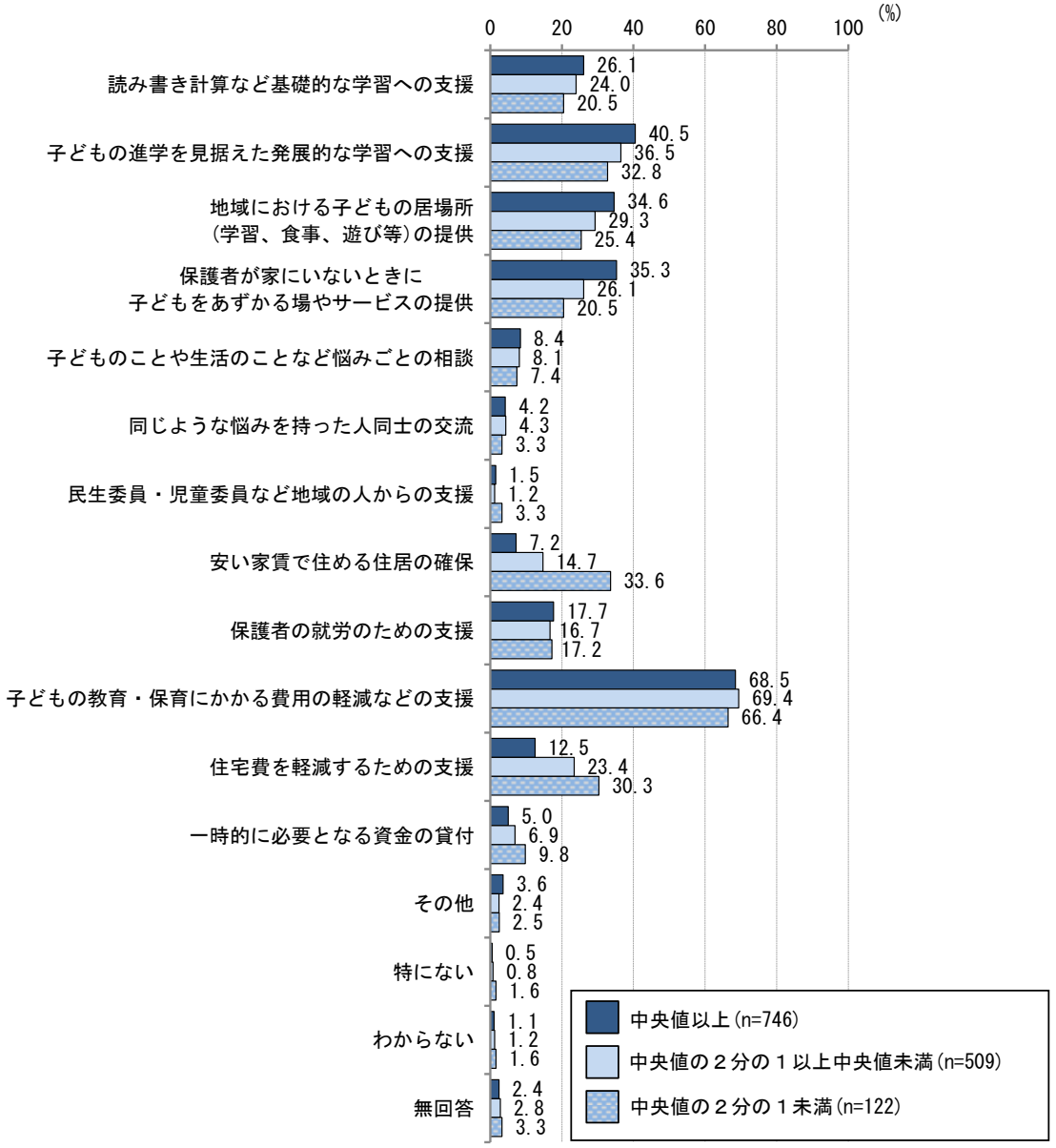


充実してほしい支援について、小学５年生では、「子どもの教育・保育にかかる費用の軽減などの支援」が 68.5%と最も高く、次いで「子どもの進学を見据えた発展的な学習への支援」が 38.5%、「地域における子どもの居場所（学習、食事、遊び等）の提供」が 31.6%などの順となっている。

中学２年生では、「子どもの教育・保育にかかる費用の軽減などの支援」が 68.1%と最も高く、次いで「子どもの進学を見据えた発展的な学習への支援」が 36.6%、「地域における子どもの居場所（学習、食事、遊び等）の提供」が 27.5%などの順となっている。

保護者票問 32. 全ての子どもたちが生まれた環境に左右されることなく、夢と希望を持って成長していける社会の実現に向け、どのような支援が充実するとよいと思いますか。
（３つまで）

＜等価世帯収入の水準別（小学５年生の保護者）＞

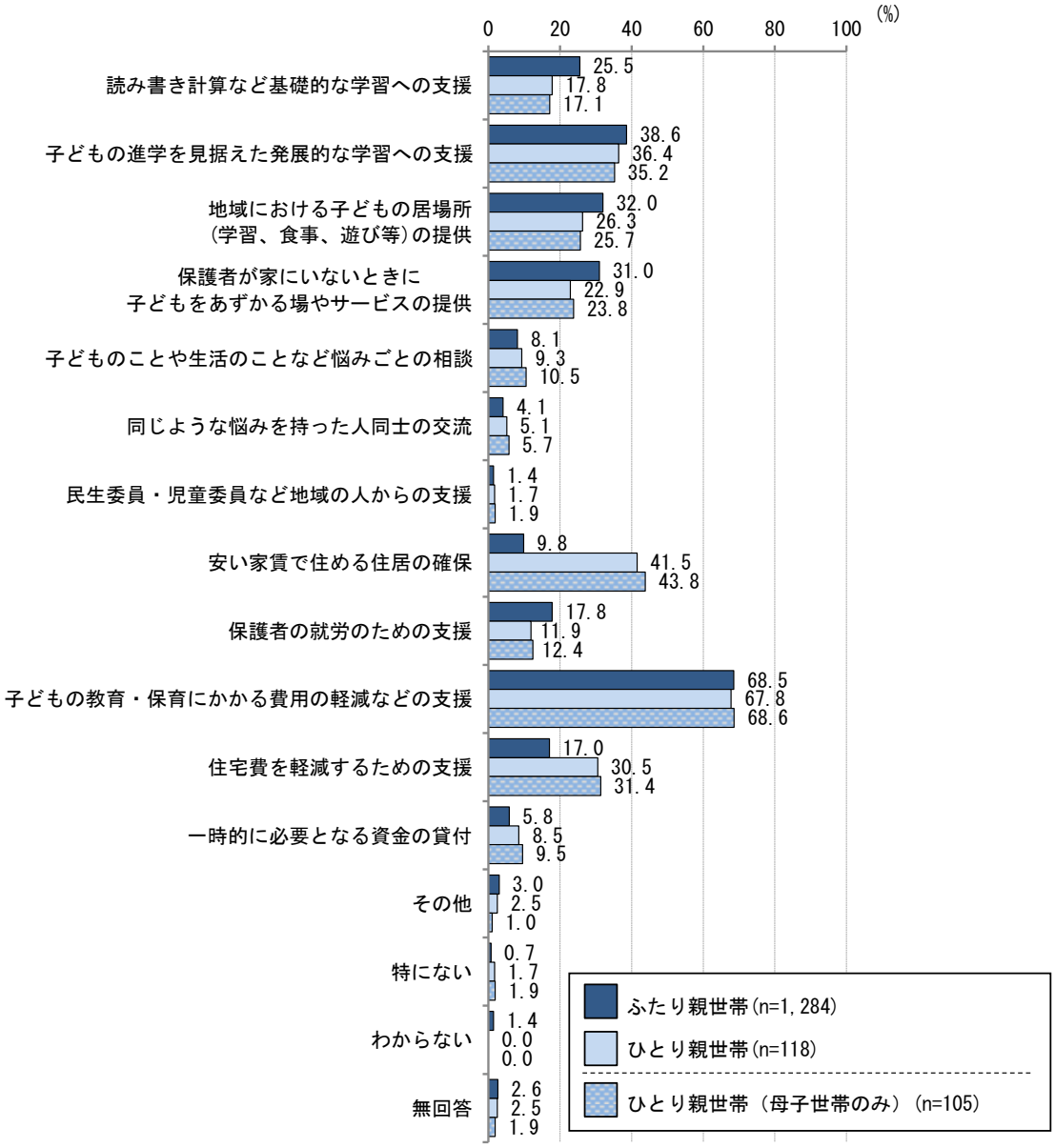


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「安い家賃で住める住居の確保」が 33.6%、「住宅費を軽減するための支援」が 30.3%と他の世帯と比べて高くなっている。

6　充実を望む支援

保護者票問 32. 全ての子どもたちが生まれた環境に左右されることなく、夢と希望を持って成長していける社会の実現に向け、どのような支援が充実するとよいと思いますか。
（３つまで）

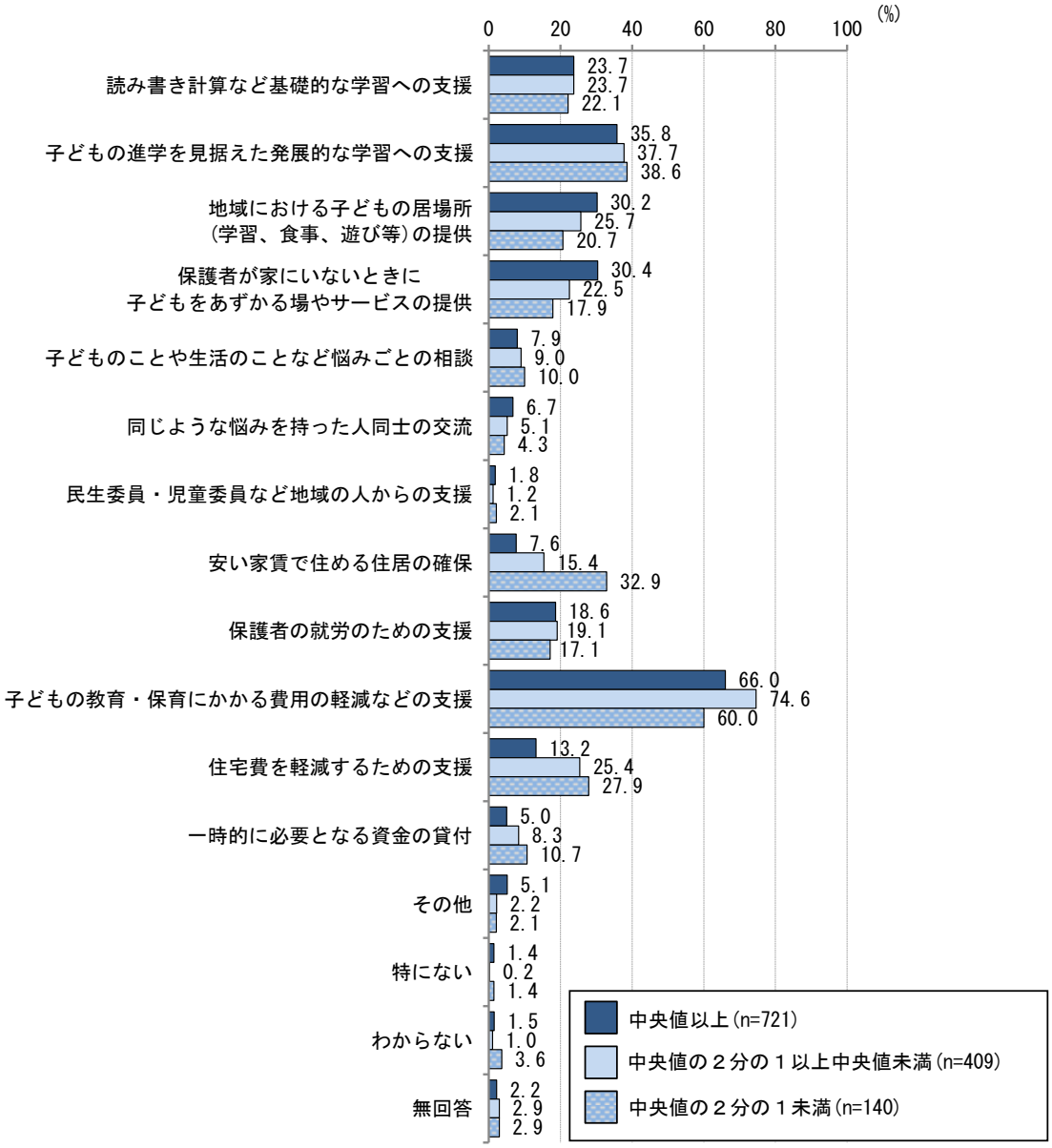
＜世帯の状況別（小学５年生の保護者）＞



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「安い家賃で住める住居の確保」が 41.5%、「住宅費を軽減するための支援」が 30.5%と「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

保護者票問 32. 全ての子どもたちが生まれた環境に左右されることなく、夢と希望を持って成長していける社会の実現に向け、どのような支援が充実するとよいと思いますか。
（３つまで）

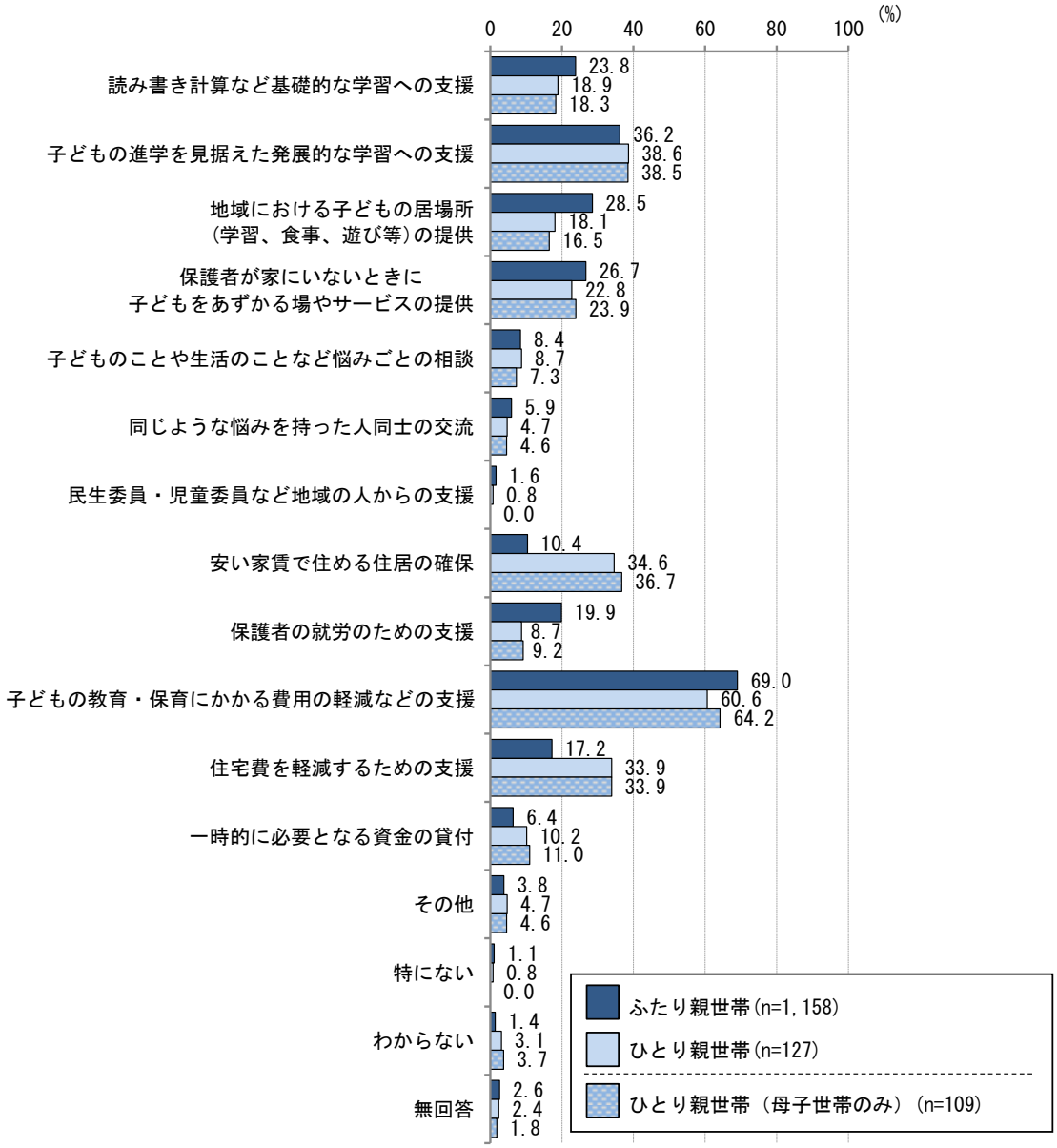
＜等価世帯収入の水準別（中学２年生の保護者）＞



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の２分の１未満」では、「安い家賃で住める住居の確保」が 32.9%、「住宅費を軽減するための支援」が 27.9%、「一時的に必要となる資金の貸付」が 10.7%と他の世帯と比べて高くなっている。

保護者票問 32. 全ての子どもたちが生まれた環境に左右されることなく、夢と希望を持って成長していける社会の実現に向け、どのような支援が充実するとよいと思いますか。
（３つまで）

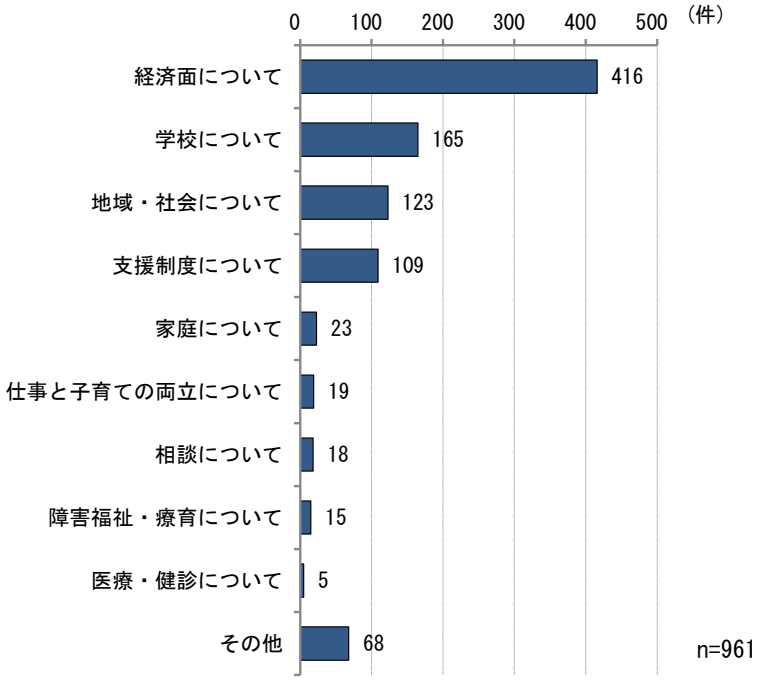
＜世帯の状況別（中学２年生の保護者）＞



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「子どもの進学を見据えた発展的な学習への支援」が 38.6%、「安い家賃で住める住居の確保」が 34.6%、「住宅費を軽減するための支援」が 33.9%、「一時的に必要となる資金の貸付」が 10.2%と「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

7　施策や制度のあり方について広島市に望むこと［広島市独自調査項目］

保護者票問 33. 次世代を担う子どもたちが、健やかに育っていくための広島市の施策や制度のあり方について、特に望むことやご意見がありましたら、ご自由にお書きください。



＝経済面について（416 件）　＝

医療費や教育費についての要望・意見が多くみられる。

1	家庭の経済的理由で、子どもたちに学力の差が生まれないこと、学校での差別にならないことを望む。習い事をしたくても、家庭の経済状況で、できない子どもをよく聞く。未来ある子どものために支援等が必要だと感じる。
2	学費や医療費が高すぎるため、改善されれば、出生率が上がったり、行きたい学校に行ったりできるのではと思う。幼い子ほど病院にかかることが多いため、医療費が家計を圧迫する。「子どもを産みたい」という環境になればいい。
3	子育て支援は弱すぎる。子どもの医療費支援や就学支援制度のより充実化を期待する。
4	大学無償化になれば、学ぶ意欲のある子はどんどん育つ。学資ローンが当たり前になっては、出産・育児を望む際大きな壁になり、健全な生活に支障をきたすのではないか心配になる。
5	物価が上昇し続ける中、収入は変わらないので、生活水準は変わらなくても支出が増える一方のため、子どもの進学のための貯蓄が難しくなってきているので、そういう収入面の支援や医療費無料化などできるようになってほしい。子どもを育てやすい環境を作ってほしい。
6	子どもが小さい時の金銭面での制度はあるが、実際は高校～専門・短大・大学の期間が一番お金が必要となってくる。子どもが選んだ道を応援して進ませてあげたいが、不安である。この期間の支援があると大変助かる。
7	乳児・幼児、児童・中学生・義務教育課程中の子どもだけに手厚くするのではなく、大学在学中までしっかり助成等できる市の制度改正を望む。

8	子どもを産み育てるには、たくさんの時間とお金がかかる。全ての子どもが産まれてよかったと思う環境を作るには、まず全ての親が子どもを産み育ててよかったと思える環境が必要。産まれた家の収入や生活状況に関係なく、子どもの教育に関する費用の補助は、みな一律にしていただきたい。一定の収入がある家は、子どもとの時間やお金を犠牲にしてがんばっている。
9	こども医療費は、中学校３年生まで、通院も 500 円にしてほしかった。
10	赤ちゃんや、幼稚園の子どもにお金もかかるが、体が大きくなる中学生、高校生の方が教育、生活においてすべてにお金がかかる。ひとり親だけでなく、その家族に何人、どのくらいの子どもがいるのかを把握して、費用の軽減や支援をしていただきたい。生活するのがやっと。
11	収入が変わらないのに、物の高騰が家計にひびく…。夫の収入だけでは生活できず、私の肩にも生活費を稼ぐことをのせられる。私の稼ぎが増えれば、少し余裕が出て来たように思うが、税金関係の支払が家計を苦しめる。それが原因で、いつも夫婦ゲンカ。家計を上手くまわしたいと働きに出ても、楽にならない。それどころか更にキツい。家庭が壊れる。子どものために頑張ろうとして、家庭が壊れたら意味がない。来年は就学援助を受けるための条件を満たすことはできないだろう。また、お金のことで悩まないといけない日々を送るのかとイヤになる。お金の問題は、子育てをする上で１番の問題だと思う。本当にどうにかしてほしい。
12	小さい子どもへの支援に着目されがちだが、実際将来を考えると大学費用の方がかかるし、義務教育ではなくなってからの支援はないから困る。次世代を担ってほしいなら、そこまで考えた方がいい。
13	ひとり親や生活保護世帯の苦しさばかりニュースでクローズアップされるが、“普通の”中流家庭もものすごく苦しい。ひとり親家庭へは食品の無料配布などがあって、「いいなぁ」と思ってしまう。正直、苦しくない家庭なんてほぼないと思うので、子育て世帯全体を支援してほしい。
14	２人の子どもを育てているが、成長するごとにお金はかかる。半年で 10ｃｍも身長が伸びて、全部の服が小さくなった時は、なんとか上下あわせて２着買うのが限界。文房具や小さいものから、食費もそうだが、子どもの体格によっても食べる量も変わってくる。せめてお誕生日だけでも、お金を考えずにお祝いしてあげたいが、プレゼントかご馳走のどちらかしか叶えてあげられない。２人とも大学へ行きたいそうだが、お金を考えると不安しかない。
15	転勤族で各地をまわっている。地域ごとに格差を実感している。例えば医療費。東京は無料。広島市では補助なしの３割負担。全国一律で子育て支援を進めて欲しい。
16	子どもが多い家庭にもっと支援を。子どもが大きくなるにつれ、出費も多く、上の子に学費でお金が必要になると、下の子にお金がかけられなくなる。
17	塾に行っているが、個人だと、１教科週１回でとんでもない料金になる。同様に、私立での高校進学を子どもが望んでいるが、県外となると、それだけでも夢を叶えてやれないほどのお金がかかる。教育を受けるのに、金銭面が理由であきらめざるをえない状況を変えて頂きたい。
18	子どもが多く出費も多いのに、３人の子どもの年齢の間隔が空いていると子どもの人数にカウントされず、支援が受けられない。子どもを多く持とうという希望につながらないので、子どもはいつまでたっても就職するまでお金がかかり続けるものなので、支援がほしい。
19	子どもたちの健康を維持できるよう、高校生までの医療費を無料にしてほしい。収入が少ない家族への支援ばかり充実させるのではなく、教育が必要な子どもへの費用負担はどのような収入状況でも同じにしてほしい。内容を公平にするだけではなく、負担を公平に。親の負担が増えすぎ。

20	保育料が高すぎて、主婦のパートでは働いてもまったくプラスにならず意味がないので、103 万円の壁をなくしたり、年が離れていても３人子どもがいたら３人目は無料にするなど、女性の働きたい意欲が収入に反映して余裕のある暮らしができれば、子どもを望む人も増えると思う。まずは子どものカウントの仕方をどうにかしてほしい。３人生んだのに年齢が離れているのでまったく恩恵がない。
21	子ども医療費を、せめて中学卒業まで世帯年収に関係なく助成してほしい。予防医療と言われて受診することもあるが、正直後回しにしたくなる。アトピーで受診し投薬すると、月に最低でも 4000 円はかかる。花粉症の時期は 6000 円。せめて子どもの医療費を少なくしてほしい。
22	子どもがスポーツで県外などに行く機会が多いが、他の県では県外の全国大会などに行くための資金援助があるところもあるようだ。そういう制度もあれば助かる。
23	父母ともに働いており３人の子どもを育てている。共働きだが、毎月赤字の状態で日々を過ごすのに必死。父子・母子の方たちが手厚い支援を受け、父母２人が働いていると、収入が多いとのことで支援は受けれない状態。この先老後も含め、子どもたちの進学に希望が持てない。共働きでも苦しい家庭があることを知ってほしい。パートだが、賃金をあげてほしい。子どもの未来のために貯金ができない状態。
24	子どもが大きくなるにつれて支出は増えるのに、手当が減るのでしんどくなる。医療費の補助や教育費用の負担が減ると、もう少し安心して過ごして行けると思う。
25	医療費の無償化を切に願う。子どもを健康に育てたい。お金の心配をして医療をあきらめるようなことになりたくない。
26	子どもが興味のあること等、色々な体験をさせてやりたいと思っているが、経済的、時間的な余裕がない。色々我慢させてしまっていて心苦しい。楽しい思い出作りに、旅行やおでかけをしたいが、食べさせるだけで精一杯。経済的な理由で進学先の選択肢が減る。親の収入額での支援でなく、すべての子ども達に同じように支援があればよい。
27	増税や物価の高騰がすごいのに、給料は上がらなくて生活が苦しい。子どもたちによいお肉や栄養価の高い物を食べさせてあげたくても、いつも安くて決まったお肉しか買えなかったり、買うのをやめたりする。部活に励む時期だが、欲しいと言った部活道具を買えないこともある。市の施策とは離れているかもしれないが、子どもたちに我慢をさせる生活を変えられるようにしていただけたらと思う。あと固定資産税が高すぎてしんどい。
28	医療費補助を中学卒業までにして欲しい。小学生高学年になると視力低下やスポーツなどでのケガ、中学生になるとニキビなどの肌トラブルで病院に行きたいが、ドラッグストアなどで購入したりするため。病院は高いし、時間が読めないので、行くことが減る。制度があれば、行く機会は増えると思う。
29	給料が減り、主人が単身赴任になったので、ちょっと大変になった。物価もあがり、単身赴任手当はあるが、手当分給料が上がったとみなされ税金も増えてしまうと聞く。固定資産税も増え、ボーナスは税金などで結構なくなるので、なかなか貯金がたまらなくなった。単身赴任のマイナス部分を貯金で補っているので、不安になることは多い。税金が高いのできつい。

＝学校について（165 件）　＝

学校の設備や給食についての要望・意見が多くみられる。

1	小・中学校の給食制度について、給食があるのは大変ありがたい。中学校によって給食・配食・お弁当など差があることに驚いたし、不公平だと思う。給食にすべきだと思う。
2	義務教育であっても、子どもや親の希望による学区及び市またぎの公立学校への越境入学の自由を認めて頂きたい。どうしても、馬の合わない子と一緒になりたくなくて、いじめにあったとか書類を提出とかしても、認められないと他校へ行けない。自由に越境を認めていないのは広島市くらいで、かなり教育面で考えが古く、立ち遅れていると認識している。
3	小学校のトイレをリフォームしてほしい。
4	コロナが始まって学校行事がなくなり、今は少しずつ戻ってきているもののまだまだで、運動会、バザーや野外学習、発表の場をまた以前のようにしてほしい。クラスの人以外の前に立って自分の意見を言う場面が少なく、小さなころから人前に立つ度胸、緊張感や失敗、成功、達成感を味わってほしい
5	保育園もだが、勉強する小学校では、１クラスあたりの配置基準を見直してほしい。ＭＡＸの子どもを相手にする場合、担任の先生も余裕がないのではないかと推測する。義務教育の間は、ゆとりのある配置基準にしてもらい、子どもも勉強の不明点を先生に聞いたりできるようになると学力も上がるし、コミュニケーションも増え、生活面や友達間トラブル問題にも早く気付ける等の利点が増えるのではないかと思う。教育不足と言われているが、ゆとりのある配置基準にすることで、働き方改革となり、なり手も増えるのではないか。
6	ＰＴＡの強制参加のために、子どもを夜留守番させてまで参加する制度はやめてほしい。留守番中に何かあったらと思うとこわい。そもそもＰＴＡをやめてしまってもよいのではないか。
7	最近子どもが給食が美味しくなくなったと言っている。コスト削減の故なのか…。子どもにとっては大きな問題。デザートが出ることも少なくなっていて、市でもう少し力を入れてほしいと思う。
8	不登校の子どもたち、病気等で登校が難しい子どもたち、その家庭への支援があればいいなと思う。登校しなくてもオンライン等で学習できる環境づくり。公立の学校でも柔軟に対応して欲しい。通院のため、医療費が負担になっている。中学３年卒業まで、医療費を軽減していただけたら、助かる家庭は多いと思う。
9	不登校の子が勉強できるオンラインのシステム等があればいいと思う。
10	留守番でゲームやスマホばかり見るのを減らすため、放課後児童クラブの待機を失くしてほしい。
11	コロナや治安の悪さで学校と地域との関わりが減っていると思う。小学校では、放課後にグランドで遊べなくなっている。子ども達が、学校以外の人との関わりがなくなっているので、心配している。
12	不登校児をかかえると、親は働けない。そのため、収入が減り経済的に苦しくなる。もっと不登校児に対しての支援や居場所等、考えてほしい。あるが充実しておらず、居場所等、実用的でない。無料にして頂きたい。
13	もっと世界や世の中の流れにフレキシブルに対応して欲しい。タブレットを配布するくらいなら、エアコンをたくさん設置するなど設備投資が先。

14	校庭を課外は開放。子どもや地域住民も利用できるようにする。防犯カメラは設置。
15	個々の成長をほめることができる教育。クラスの少人数化、指導員さんの増員。ふれあい教室を午後からも機能させて欲しい。発達障害の特性や対応を勉強してほしい。不登校児への段階的アプローチについて初期、定着期等でアプローチを変えるべき。勉強してほしい。不登校になる前の行きしぶり時点での親の相談を鼻で笑わずに聞いて欲しい。不登校親の会設立援助、公民館で交流会をする等…。
16	クラブ活動充実。顧問が無理なら別の指導員等教えていただけたら嬉しい。
17	学校の図書室が充実されていない。市の図書館も本が少なく、借りたい本はほとんどない。
18	主要な科目については、習熟度別のクラスがあればいいなと思う。普通級、支援級の２つで分けるのは難しい子どもがたくさんいる。自分に合った学習をすることが当たり前になればいいなと思う。
19	教員不足だからと言って、闇雲に採用枠を拡大し、教師として相応しくない人が増えるのは、子どもに悪影響だと感じている。また、定年をただ待っているやる気のない教師には、早々に教育現場から退いていただきたい。子どもにとって、チェンジの効かない先生と１年もの時間を強制されるのは、ムダな時間であり、苦痛でしかない。子どもたちが、興味を持ち、楽しく受けられる授業は、ネットに山程ある。全国どこにいても、質の良い、前向きになれる授業を受けられるようにして欲しい。
20	部活動など子ども達がもっと活動できるよう、施設の充実を望む。グランドが狭く、他の部活動との兼ね合いもあり、思うように練習できない。また学校も規則が多く、早く帰宅するよう厳しく指導されるため、もっと子ども達が自由に活動できることを望む。
21	学校の校舎の老朽化が目立つ。トイレが古く汚い。天井のコンクリートがくずれて怖い思いをした…。安心して通えるよう、なんとかしてほしい。
22	公立中・高で通学時間が長くなる場合のバス運行や交通費の援助等。夏は熱中症になる心配も多い。郊外に住んでいる子は、歩いて 40 分や自転車で１時間などの子もいる。危ないと思う。
23	地球温暖化で、自分たちが子どもの時に比べて最高気温も変化している状況で、昔と同じ方法でプール授業や体育を実施していたり、夏休みの期間も同じで対応が遅い。暑さのせいにして全て中止にするのは簡単なことだけど、気温に関係なくプールが使用できる環境整備、暑い時期は外で遊べるわけではないので、冷房の効いた学校で授業を受け、外で活動できる時期に休みを設けるなど、子どもたちのことを考えての教育を望む。学校が親の顔色を伺いすぎる傾向があることも気になる。
24	公立の小・中・高校の先生のレベルがピンキリで、先生によって言うことが違う。子どものことを信じてくれない。守ってくれないことがあり、安心して通うことのできる学校、先生の教育を行ってほしい。
25	給食が他市に比べて劣っている点がある。メニューの充実を希望する。日本古来のメニュー（麦、米、魚など）、欧米化メニュー（牛乳）を多くするなど。
26	学校教育にもっと自由を。公立中学校に上がり、戦時中かと思うような規則の厳しさ、一部の先生の堅苦しさに驚いている。子どもが萎縮している。子どもたちがのびのびとその良さを伸ばしていけるよう、先生たちにも自由とゆとりが生まれる工夫が必要。学校は楽しいところ、学ぶのが楽しいところのはず。先生も子どももももっとわくわくできる場所に。もっと柔軟に小さな声がきちんとトップまで届く仕組みに。

＝地域・社会について（123 件）　＝

遊び場を始めとした子どもの居場所についての要望・意見が多くみられる。

1	台風などで学校が休校の時に預ける場所がなく、仕事を休むしかないので、預けることができる場所が必要。
2	子ども食堂等、地域のボランティアへの協力体制がより充実するとよいと思う。
3	公園など、子どもが遊べる場を充実してもらえたらと思う。近所の公園も、遊具が老朽化していたり、草が生えすぎていたりで遊べない。キレイで遊具が充実している公園が少ないように思う。子ども達が笑顔で遊べる場を提供してほしい。
4	公園などの規制のあり方。厳しすぎたりしないか。
5	雨天でも遊べる場所が少なすぎる。特に無料の場所は無い。公園の遊具で、古い設備の物があったり、小児が遊べる遊具が無かったりと困る。
6	乳幼児の制度などが多くなっているのはよいが、小学校高学年や中学生がもっと利用できる施設があるとよい。例えば東京では、博物館でも小さな子が楽しめるような展示が多いと思う。もっと深く学べるような施設にしてほしい。
7	子どもが遊べる所が広島市には本当に少ない。東広島や福山市にまで遊びに行かないといけない。色んな施策が広島市は子どもに対して足りていないと思う。
8	親が教えられない宿題などを、気軽に見ていただける場があるとありがたい。塾に通わせるのも有りだろうが。
9	通学路の整備・安全な環境作り。
10	昔のように、子どもが外でのびのび遊べる環境が欲しい。共働きの家族が増え、親のいない家への出入りは不安もあるため、放課後に子ども同士で遊ぶ機会がほとんどなくなっている。グラウンドも広く、普段通っている学校のグラウンドを開放してもらえれば、親も安心して遊びに行かせることができるので。
11	学用品を含め、リユースステーションを充実すべき。広島では広島市西部リサイクルプラザしか知らないが、以前住んでいた福岡市では２か所あり、衣類・書籍はもちろん、食器や雑貨、家具も持ち込みＯＫで利用しやすかった。今は遠いので、まだ使えるものでもゴミとして処分しているが、使ってもらったらうれしいし、廃棄物や処理費用の削減にもなるはず。
12	広島の企業で、職場体験や見学がもっとできるといいなと思う。子どもが将来、「大工になりたい」「ガラス工芸職人になりたい」と言っても、広島で体験や見学するところが見当たらない。昨年、裁判所の見学・体験が小学生しか参加できず、子どもが落ちこんでいたが、電話で問い合わせをし、ぜひ中学生の部も検討してほしいと言ったところ、今年は、中学生の参加できる見学会を設けてくれた。一部企業が夏休みを利用して職場体験できるようだが、こちらから情報をとりにいかないと、わからないまま。メールやＳＮＳなどでもっと告知してほしい。
13	近隣の市町村より、区役所内の子育てオープンスペースが狭く利用しづらいのが変わらないのは残念。もっと残念なのは、小学生の元気ざかりの子たちが思いきり体を動かせる場所が家の近くにないこと。はしゃぐとすぐ近所迷惑と親からも言われ子どももストレスがたくさんたまっているはず。健やかに成長できる環境を大人がつくれないのは、子どもの人権侵害になるはずだが、常態化されてしまっている。

14	図書館の充実。リラックスして、自由に図書館資料と触れる環境へ。ＤＶＤ、本、雑誌スペースを広く、横になって本が読めるなど。屋内のフリースペースの充実。学習ができる、憩える、語らえる場を増やす。フリーＷｉＦｉの充実。
15	広島市も、中区などは施設や道路の交通事情は充実しているが、郊外に住む人も多いのに、廃校になったりして学校が近くになかったり、お年寄りが多く若い人が少ないなど人数構成が偏っていて、生活に苦労している。スーパーが車で 20 分かかったり、学校も中学校や小学校が車で 20 分かかる。移動手段がないので、勉強の問題より生活の問題が大きいと思う。子どもの興味のあるものが田舎にはなくて、家でパソコンやスイッチなどゲームばかりしている。特にインターネットのやりすぎは依存になる。業者に、子どものいる家庭への配慮が全くないので問題だと思う。またここの地域は、学校（進学の選択肢）がないことに困っている。
16	子どもが、放課後、夏休みなど長期休期に過ごせる場所が充実することを望む。民間の学童や連日の習いごとは、金銭的に現実的ではないため。
17	うちの子は小５だが、外遊びする場所が本当になくて困っている。団地なので、家の前で遊んでいたらご近所の方に公園で遊びなさいとおこられ、公園に行くとその近所の方からうるさいからどこか他で遊んでくれと言われる。人のたくさんいる大きな公園は近くにないし、普通に遊ぶことが本当に難しい。外で遊ぶと大人におこられるので、いつもすごく周りの目を気にしている。
18	外で遊ぶ際の大人のおおらかな態度。（例）公園でボールあそびをしていると近所から苦情がくるなど、見守れる環境が減った。→子どもがテレビやゲーム等室内で過ごすことになる環境
19	近所に、こども食堂があり、月に１回誰でも利用できるので、心のゆとりが保てる。そういった取り組みがあることが有り難い。
20	共稼ぎをしている者も多いが、子を預ける施設が少ないこと。また、時間制限もあるため、もう少し、緩和してほしい。もちろん、長時間子を施設に預けることは好ましくないと思うが、時々でも、早朝、夜間等、低予算で預けられると嬉しい。ありがたいと思う。
21	専門的カテゴリーに片寄りしすぎている現代と思う。それも大切だが、夏まつりなど、地域が関わるほのぼの愛が関係している行事などを、もっと大切に考えていかないといけないと思う。形にしばられている分、愛的部分が不足していると思う。
22	公園がどんどん減っていき、アパートやマンションばかり建っていくので、もっと子どもたちが外でのびのびと遊べる場所をたくさん作ってほしい。
23	子どもたちの居場所がとても少ない。児童館は表向きには開放してくれているが、コロナになって明らかに行きにくい雰囲気になってしまった。夏休みの午前中など、無料で児童館を開放してほしい。現状は、午前中は児童館預かりの子のみしか行けず、小５の我が子は１人留守番をしている。中学生の子にも、地域で自習室など、お年寄りなどが無償ボランティアで勉強を教えてくれる場所がたくさんあったらうれしい。
24	市の図書館、蔵書に対する扱いが不満。公共施設は市民の財産。利権と関係なく利用する市民のために充実させていただきたい。
25	中学の教員をしているが、地域の方々は、自分のできることがあったらと思われているなと感じている。コミュニティースクールの取組を進めて、地域の方が学校の支援に入りやすくなればと感じている。自分も将来は、母校の支援ができたらありがたいと思っている。
26	子どもが遊べる公園の整備をしてほしい。また街路樹がもう少し多くてもよいと思う。緑は心が安らぐとともに、暑さ対策にも効き、通学が快適になると思う。

＝支援制度について（109 件）　＝

支援の拡充や支援制度の周知についての要望・意見が多くみられる。

1	子どもに格差がないようにするのは理想ではあるが、一時的な支援より、親の就労や子ども自身に学力をつけさす等、長期的な支援がのぞましいと思う。現金をわたす等は好ましくないと思う。
2	親が安心して暮らすことで、子どもに余裕を持って接することができるので、子どもに対してのアプローチのみでなく、親への支援が必要だと思う。悪条件での就労に対する厳しい指導など。
3	家庭の状況に左右されず、支援の幅を広くする。支援を受けている方々に、他にどんな支援が必要か聞いたらよいと思う。教員や保育士など教育に携わっている方々の給与アップ他。やりたい、なりたい、魅力のある職業にすべき。なり手がいなくなったら大変。
4	施策や制度を知らない人は多いと思う。困窮しているのに、その情報にアクセスできない。そういった状況の人をたまに見かける。それと、制度の対象外ということも。「調べる」ことが難しいのだと思う。ネット検索でたどり着けるように、更にわかりやすいページを作って、アクセスしやすいよう願う。
5	市営住宅への応募を８年しているが当たらない。子どもの学校区を優先していて、他の地域で探すことが難しい。ひとり親で当選率があがっているようだが、全く意味がない。何か別の優遇措置があれば助かる。
6	生活困窮家庭への支援はもちろん必要だが、それ以外の子どもにも平等に様々な機会やサポートがあったらよいと思う。所得に応じてサポートを切られることが多く、不平等に思うことが多い。
7	中学３年生までの支援が多く感じるので、子どもが何かを学んでいる間、支援を続けてほしい。
8	他地域と比べて子育てに関する支援が薄い。遅れている。保育料の無料等、我が子が対象外の年齢となった後で行われ、成長した子に対するキャッチアップのような施策がない。
9	勉強する意欲、働く意欲が湧くような子ども達には、平等な制度、支援をして欲しい。
10	児童虐待や貧困、ヤングケアラーが減るように、まずは大人の支援制度が整うように頑張って欲しい。と同時に、子どもの救済制度も必要。調査して下さり、感謝する。子ども達全てが、健やかに成長することを願っている。
11	子が望んだ時に望んだことをさせてあげられる、させ続けられる施策や制度があれば、子ども達は皆、何かしらのエリートになると思う。色々な理由で断念せずにいられない時が、親としても一番悲しい。
12	広島市は、近隣の他の市より、何でも遅くて補助が少ないのが不満。
13	広島市は、子育て支援が他県や市に比べ少なすぎる。住居手当や、保育料、子どもの医療費軽減等、他の県・市などを参考にしてほしい。
14	児童扶養手当や就学援助の審査を、もう少し柔軟にしていただきたい。世帯年収が多くても、子どもにかかる費用が、誰から支払っているか等も調べて審査してほしい。せっかく申請しても、不認定になるので申請してない。
15	現在もさまざまな制度があると思うが、知らないと利用できないので、わかりやすく広報をして欲しい。

16	県の奨学金サービスの拡大。一部の人たちのみ受けられるので、もう少し受けられる人数を増やしてほしい。私もその制度に助けられ今の生活があり、とても感謝している。一般的な奨学金は返済があるので、働きながら何十年も返済し続けている人も見受けられる。県がよくなるように、一住人として応援している
17	制度を知らない、もしくは紙面だけを渡されても親が理解できず、申請までできないことがあると思う。誰にでもわかりやすく、また学校で出前説明会を行うなど、必ず親が制度の有り無しを知ることができる機会を作っていってはどうかと思う。
18	学習支援など、子どもに関する支援は、ひとり親や生活困窮にかかわらず全ての子どもが利用できるようにしてほしい。親の収入が多いからといって、全ての親が子どもの教育に力を入れているとは限らない。子どもが望めば提供してほしい。
19	各種費用に対する支援をぜひお願いしたい。子どもたちには、とにかく多くのお金がかかる。健やかに育つためには、保護者のお金と心のゆとりが必要で、色々な面で支援があると、心に余裕が生まれ、環境も良い状態が保たれ、結果的に健やかに育ってくれるかと。このままでは、将来が不安で、少子化がますます増える一方。
20	国の支援、制度には期待できないため、市には所得制限のない支援制度を行っていってほしい。
21	義務教育後、全ての子どもが安心して進学できるように、選択できる制度があるといいなと思う。障害があるかもしれない、認定されないけど健常児と少しちがう…という位置の子どもたちが、本人に合った支援を学校で受けられるようにしてほしい。学校だけでなく、大人になるまで見守って、アドバイスしてくれるような制度があれば、とてもありがたい。
22	金銭的援助よりも、働きやすい、子どもを産みやすい環境づくりにお金をかけてほしい。単発ではなく、継続して支援できることを望む。
23	不登校で悩む家族の負担を、軽くする制度があったらいい。子どもがずっと家にいて、頭がおかしくなりそう。
24	広島市は、子ども達に対する支援が少ないと思う。あっても制度をわかりやすく公表しないと意味がないので、工夫してほしい。知らない方が悪いではなく、知ってもらう努力をしなければ社会全体が良くなるはずがない。ＳＮＳで発信して若い世代に届け、平和都市として市民のウェルビーイングの向上をして、世界に広島の平和の心を発信できたらいいなと思う。
25	現在の広島市が子どもたちに行っている施策・制度をよく知らないので、もっと認知度を上げるべきと思う。もし、受けられる制度があり、対象となるならば、自己申告制ではなく、市から通知して頂けるといいなと思う。
26	多子世帯に対して、ハンガリーのような大胆な改革で行ってほしい。小さな施策や制度はインパクトもないし、長期でみてみると一時的でしかないので、いつまでたっても苦しいし、大変。ぜひ、びっくりするような、誰もが広島に住みたくなるような改革をしてほしい。
27	支援が必要な子に届く体制。支援が必要な子を見逃さないこと。
28	型にはまらない支援の制度にしてほしい。同じ収入・家族講成でも、家庭によって生活はかなり違うので、希望する支援が変わる。

＝家庭について（23 件）　＝

家族を始めとした人との関わりの重要性についての意見等がみられる。

1	中学２年生の子どもを持つ母親だが、学校から帰ったら、まず携帯かタブレットに集中している毎日。何か代わるもので、もっと魅力的な何か一生懸命に取り組めるものがあればいいなと思う。
2	虐待を受けている子ども達が、自分は虐待をうけているかもしれない、と気付けるような教育が必要だと思う。気付けた子どもが、相談しやすい環境作りも必要だと思う。
3	子どもが健やかに育つことを考えたときに、幼い頃から家族はもちろん、人と関わり接する機会の重要性、またのびのびと子ども同士が遊べる環境か大切だと考える。閉鎖的、孤立する家庭が、最も子ども・親にとっても悪いものと思われるので、そのような家庭が減るよう、人と人とのつなかりをもてる施策や制度があれば更に良くなると考える。
4	どうすれば夫婦が仲良くいられるか。離婚が減れば、親が仲いい関係でいられたら、子どもは安心して、性格も落ちつく。お金が少なくても、子どもやひとり親の支援は大事。その前に夫婦関係が問題。
5	ひとり親で正社員で働いていると、圧倒的に時間が足りない。平日は、晩ご飯、家事で余裕がない。特にご飯を作る時間が一番かかり、あっという間に食事。作る時間と後片付けに時間がかかり、ゆっくり話をする時間もなく、学校から持って帰ったプリントに目を通す時間もままならない。仕事から帰ってきたら晩ご飯を作ってくれている人がいるだけで、ぜんぜん違うのに…といつも思う。

＝仕事と子育ての両立について（19 件）　＝

ライフスタイルに合わせた柔軟な働き方についての意見等がみられる。

1	子どもの帰宅時に家にいるなど子どもに関わっていたいけど、働かないとお金が稼げない。どちらも大切にしたい。せめて、中学卒業するまでは、短時間でも働ける、１、２日でも働ける、子どもの休みは自由に休める、柔軟に働ける職場が増えるといい。
2	子育てにお金がかかりすぎるので、親が長時間働く、また共働きを避けられない。そこが改善されれば親に余裕もでき、子どもに目を向けられる時間も増える。少子化防止も期待できる。広島市がモデルとなれるよう、頑張ってほしい。
3	子育てと仕事の両立は、子どもが安全な場所にいる状況ではじめて安心して働くことができる。子育て中はフレックスタイムで働くことができれば、子どもの安全確認、食事の準備のあいまに仕事ができ、働く母親が増えるのではないか、と思う。時短では、学校の終わる時間や長期休暇など心配になる日が多くある。
4	再婚するまでは、上の子たちで制度を利用した。ただ役所での手続きなど、働きながらでは時間を作って行くことが大変だった。１人での書類記入は分からないことが多かったので、行くしかなかった。日曜数時間でも窓口が開いていればなと思った。
5	夫の転勤等でパート職員しか働き口がないのに、産休も育休も取得できなかった。合わせないといけない身であるのは分かってはいるが、その制度を利用できないだけで子の数を制限してしまうのは否定できない。キャリアも収入も我慢するのはいつも女性である。

＝相談について（18 件）　＝

気軽に相談できる場所の必要性についての意見等がみられる。

1	妊娠・出産・子育てや、生活が困窮した時、親との関係に問題を抱えた時などに、相談できる制度があることを、中学校などで教えてほしい。市・県民税などの税金を社会人となった時に自分が払う必要があることも、中学校などで教えてほしい。
2	安心して子育ての相談ができる、教育をまかせられる場所は、公的な機関ではないと思っている。小学校も先生の負担がこちらにも伝わってきて、頼ることはできない。自分達親が、考え、選び、悩んでやっていくしかないんだなと、日々感じている。なかなか、気が休まることがない。
3	親に相談しにくいことなどを気軽に話せる場があればと思う。
4	ワンオペ育児してきた。専業主婦はヒマだと言われ、少しのグチも許されない環境で、相談できる場所が欲しかった。身内に話しづらいことを聞いてもらえる場所が欲しかった。自分のために使えるお金もなかったので、無料の子連れＯＫの相談所が欲しかった。子どものためも大切だけれど、孤独なワンオペを強いられる母親も救って欲しい。

＝障害福祉・療育について（15 件）　＝

親も子どもも安心・安全に生活できるような支援や教育の充実についての要望・意見等がみられる。

1	障害を持った子どもが、親が歳をとったときにも安心、安全に不自由なく生活できるような社会。障害を持った子を持つ親が、そうでない家庭の親と同じように働ける社会。制度。時間に制限があり、体調不良などで長期入院となるとつきそい入院となり、一般の会社では働けない。資格をとりたくても学校に通えない。将来、この子が一人になって大丈夫だろうかと心配。
2	我が子２人とも発達障害の可能性があるが、それに対しての学校での支援するフォローが遅いと思う。大阪などでは、障害者も健康な人もお互いを分かりあう教育が進んでいるのをみた。今の時代、仕事場の人にも発達障害の人がいるが、大変な人がいて親も苦労していることに対して、広島市、広島県教育委員会がしっかりやってほしい。
3	障害のある子を育てているが、広島市は療育環境のリソースが充分でないと感じる。重度～中度の知的障害の子は、「もっと改善する子優先でリソース不足のため療育対象ではない」とはっきりと公的な療育センターで言われた。かと思えば、福祉制度も利用するために何度も断わられたりして、結局親が頑張るしかない冷たい印象。きょうだい児への支援環境も整っていない。民間福祉事業者さんたちが、制度の中で必死にやって下さっているが、それでよいのか…。
4	子どもは三人共発達障害がある。小学校の頃からもっとサポーターの先生をつけてほしい。ルビ打ち教科書も中学校にはなく、ルビを打ったものをコピーしてもらっているのが現状。中学になっても、しっかり一日を通して一人一人をみてほしい。
5	療育手帳取得時の判定の基準を明確にしていただきたい。手帳更新をするたびに、嫌な思いをしている。利益のために更新しているのではなく、困っているので更新をしている。障害をもつ子ども達に不利益となるような制度は、本当にやめていただきたい。

＝医療・健診について（５件）　＝

不妊治療や病児保育についての要望・意見等がみられる。

1	不妊治療に通院している人が多いことを知ってほしい。
2	病児保育の施設が少ないので増やしてほしい。
3	保育料が軽減されたり、年々子どもにかかる費用が、私達が利用していた 10 年くらい前よりも緩和されていると思う。コロナ禍の時に、学校が利用できない時の学習等もタブレットを使用したり、本人がやる気であれば学習も可能になるが、コロナにかかってしまった時、病院で何時間も待たされたり、親は家族が快復するまで仕事ができない。また、第６波がやって来た時、もっとスムーズで安全に対応できるように、病院、救急面を対策してほしいと思う。

＝その他（68 件）　＝

子どもたちが健やかに育つ地域社会の実現に向けての要望・意見等がみられる。

1	一昔前と比べると、娯楽が増え、親が求める自由時間も多いように思う。金銭的な支援より、このような時間の確保を支援する方が、効果は高いと思う。
2	働いている大人が充実している、楽しそう、人との付き合いをしている姿を見せていかないと、大人になることの楽しみ、期待、目的がわからないのではないかと思う。社会のために、人のためにということを理解して実践する大人の姿を見ることで、子どもは、健やかに心身のバランスをとって育っていけるのではと常々考えている。なので、青年世代が心のゆとりを持てるような施策も併せて考えてほしい。
3	もっと広報に力を入れるべきと思う。
4	どの子も未来に向けてがんばりたい、がんばれる市であってほしい。子どもを大切にしているなぁーと思える広島市であってほしい。
5	コロナ禍前後で子ども達の生活は変化してしまった。なるべく本来の生活を送れるように親として心がけていた。施策や制度によって生活に制限をかけることは望んでいない。
6	それぞれの子どもの才能がつぶされないよう、支援いただけると幸い。
7	世の中の動向に合わせて改善する活動を継続して行っていただきたい。
8	もっとスポーツに参加しやすい環境を。スポーツが次世代を担う子どもを育てると思う。
9	こういった調査をしようと考えてくれたことに感謝している。親は親の人生、子には子の人生がある。親が作った負債を子に背負わせない社会になってほしい。
10	どんな子ども達も健やかに育つのは当たり前だと思うので、広島市には子ども達のためにどんどん予算をたててお金を使っていってほしい。
11	１人の人を妊娠し出産し、育てていくことに対する理解と、実際に体験しなければ分かりえない大変さを全ての人が知ることから始まるのではないか。24 時間、365 日ずっと一緒に過ごして初めて理解できることがとてもたくさんある。伝え、知る、学ぶ、そういう環境が整い充実した時間を過ごし、幸福感が増していく世の中になることを期待する。
12	今回のような実態調査を活かし、意見が反映されるような行政運営であって欲しいと思う。
13	税金のあり方、使い方について希望がもてる社会を作ってもらいたい。
14	他県から移住や引越して来た人々の意見をもっと聞いて、足りていない部分を充実させてほしい。
15	差別なく子ども達が現在と将来やりたいことを実現できるようになってほしい。